那覇市　こども計画（仮称）策定のための
アンケート調査報告書
【子どもの生活状況調査】

令和６年３月

那　覇　市

目　　次

第１章　調査の概要

１．調査の目的 1
２．調査の対象 1
３．調査の方法 1
４．調査の期間 1
５．回収結果 1
６．報告書の見方 1
７．本市における分析区分 2

第２章　調査結果

１．基本属性 4
２．保護者の状況 10
３．学校・学習状況について 26
４．ふだんの暮らし（小学生児童・中学生生徒） 62
５．ふだんの暮らし（保護者） 126
６．制度の利用状況 216

資料編

１．小学生児童・中学生生徒票 242
２．保護者票 252

第１章　調査の概要

第１章　調査の概要

１．調査の目的

子育て家庭の日ごろの生活や子育ての実態を把握することで那覇市における子どもの貧困対策のあり方を考えるとともに、安心して子育てをするために必要な取組を検討し、「那覇市こども計画（仮称）」を策定するための基礎資料とすることを目的とします。

２．調査の対象

市内の全小学校と全中学校に通う児童、生徒とその保護者

３．調査の方法

学校を通じてアンケート案内文を配布、Ｗｅｂアンケートによる回収

４．調査の期間

令和６年２月 13 日～令和６年３月８日
※令和６年３月８日までにＷｅｂアンケートで回答があったものを有効回答として扱い、集計・分析を行いました。

５．回収結果

	案内文配布数	回収数(有効回収数)	回収率(有効回収率)
小学生児童	18,361 件	1,438 件	7.8%
中学生生徒	8,738 件	624 件	7.1%
小学生児童の保護者	18,361 件	2,152 件	11.7%
中学生児童の保護者	8,738 件	524 件	6.0%

※親子のマッチング状況　　1,007 件

６．報告書の見方

- 回答は、各質問の回答者数（計）を基数とした百分率（%）で示しています。小数点以下第２位を四捨五入しているため、比率の合計が 100.0%にならない場合があります。
- 回答があっても、小数点第２位を四捨五入して 0.1%に満たない場合は、グラフには「0.0」と表記しています。
- 複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- 基本属性等とのクロス集計は、原則として、表側の各属性等の「無回答」を表示していません。ただし、「全体」は属性の「無回答」を含んでいます。
- 集計によっては、回答者数が 10 人未満と非常に少ない場合もあり、このような集計は参考程度として見る必要があります。
- グラフや表およびコメントにおいて、回答選択肢を簡略化して表記している場合があります。

７．本市における分析区分

本調査では、下記３つの視点から分析を行いました。なお、下記の区分は本市の現状を把握するためのひとつの目安として定義したものであり、区分されたすべての世帯が実際に困窮しているということではありません。

（１）所得区分（相対的貧困）

本調査では、経済状況による影響を分析するため、世帯収入（税金や社会保険料の額を差し引いた手取り収入）と生計を共にしている人数を用いて、等価可処分所得（世帯の可処分所得を世帯人員の平方根で割って調整した所得）を算出しました。可処分所得の算出にあたっては、世帯収入の中央値を用いています（例：50 万未満の場合は 25 万円）。

分類にあたっては、沖縄県が示す貧困線（127 万円）を基準とし、周辺の世帯の状況を把握することを目的に、貧困線の 1.5 倍の年収にあたる 190.5 万円でも区分を設け、以下のとおり世帯の困窮程度を３つの区分に分類しています。

所得３区分表

区分の名称	貧困線（等価可処分所得）	貧困線をベースにした係数	所得
低所得層Ⅰ	127 万円未満	沖縄県の貧困線未満 （1.0 倍未満）	低
低所得層Ⅱ	127 万円～190.5 万円未満	沖縄県の貧困線 1.5 倍未満 （1.0～1.5 倍未満）	
一般層	190.5 万円以上	沖縄県の貧困線 1.5 倍以上 （1.5 倍以上）	高

（２）生活困窮世帯

低所得による経済的困窮だけでは貧困の実態を十分に捉えられるとは限らないため、剥奪指標を用い、生活困窮の状況について多面的な把握に努めることとしました。

具体的には、経済的理由により、必要な「食料」や「衣服」が購入できなかったり「電気料金」や「ガス料金」などの公共料金の支払いができなかったりした世帯を「生活困難世帯」と定義し、本市独自指標として分析軸に加えました。

※剥奪指標の１つ以上に該当した場合を「生活困窮世帯」と定義

（３）ひとり親

困窮世帯が多いと言われている「ひとり親世帯」について、本市独自指標として分析軸に加えました。

※国と同様、「離婚」、「死別」、「未婚」を「ひとり親世帯」と定義

第２章　調査結果

第２章　調査結果

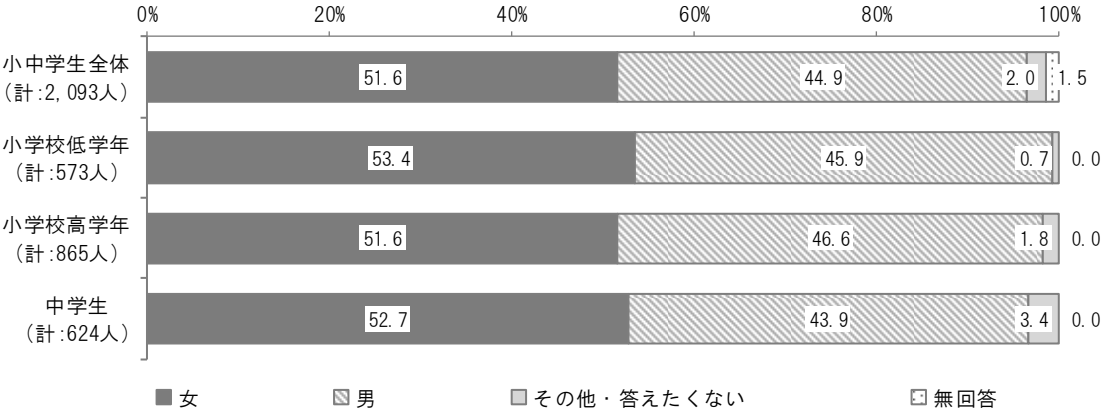
１．基本属性

（１）性別・年齢

ａ）お子さんの性別

＜小学生・中学生票＞問１　あなたの性別を教えてください。（１つに○）

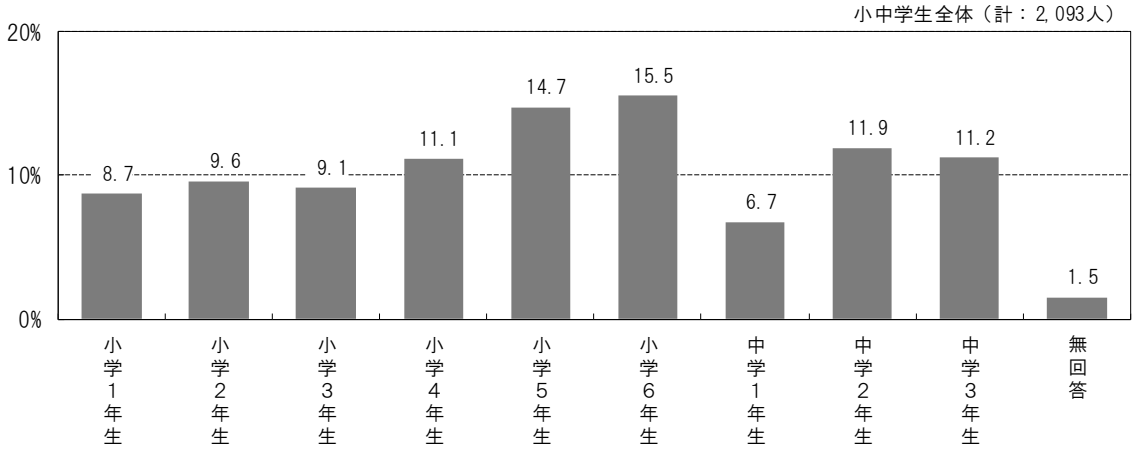
◆　性別について、小中学生全体では「女」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、51.6%となっています。次いで、「男」（44.9%）、「その他・答えたくない」（2.0%）となっています。



ｂ）お子さんの学年

＜小学生・中学生票＞問２　あなたは、小学生ですか。それとも中学生ですか。（１つに○）

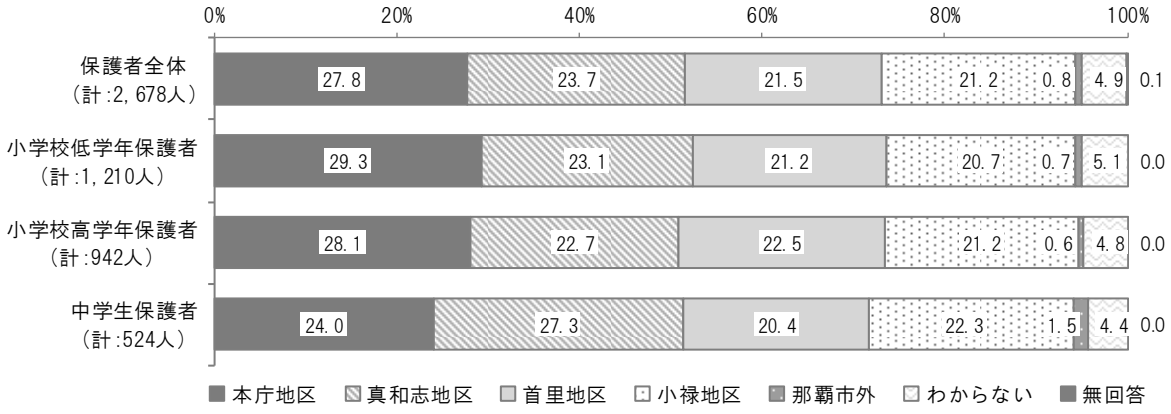
◆　回答者の学年は、「小学６年生」の割合が最も高く、15.5%となっています。次いで、「小学５年生」（14.7%）、「中学２年生」（11.9%）となっています。



c）居住地区

＜保護者票＞問３　お住まいの地区についておうかがいします。（１つに○）

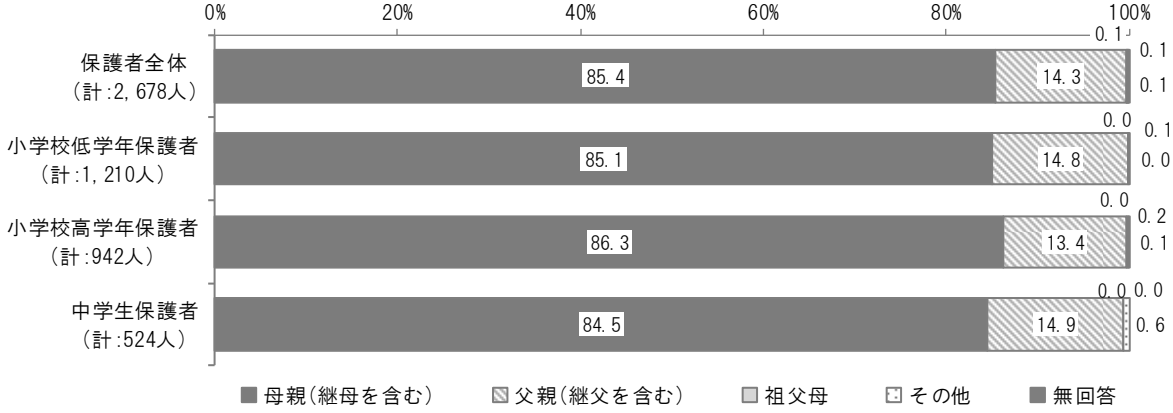
◆　居住地区について、保護者全体では「本庁地区」の割合が最も高く、27.8%となっています。次いで、「真和志地区」（23.7%）、「首里地区」（21.5%）となっています。



（２）回答者の属性

＜保護者票＞問４　お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんから見た続柄でお答えください。（１つに○）

◆　回答した保護者の属性について、保護者全体では「母親(継母を含む)」の割合が最も高く、85.4%となっています。次いで、「父親(継父を含む)」(14.3%)、「祖父母」・「その他」（0.1%）となっています。

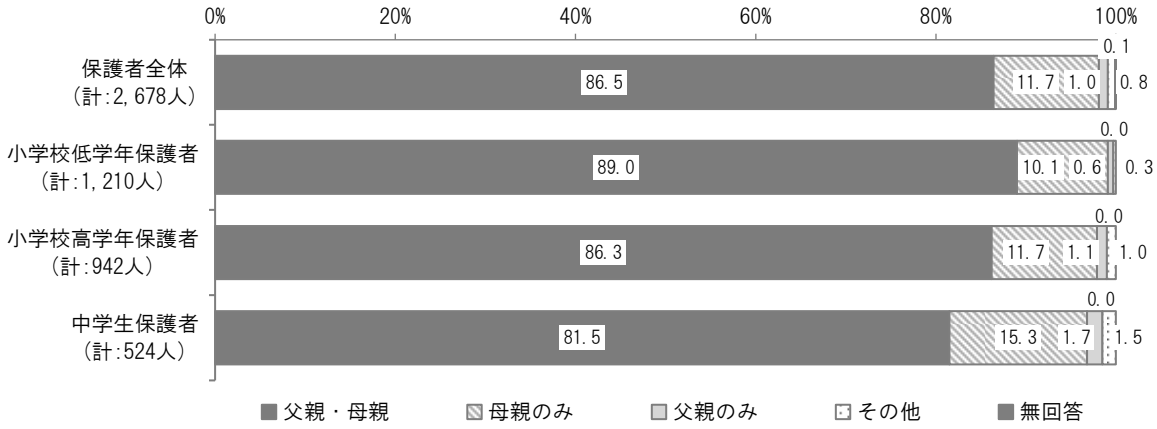


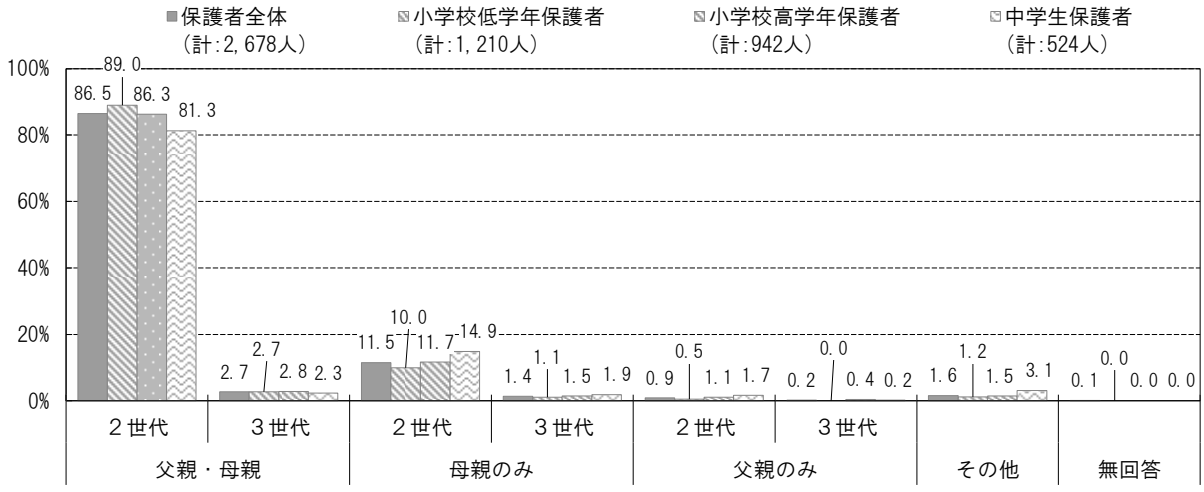
（3）生計を同一とする家族

＜保護者票＞問6　お子さんと生計が同じご家族の方は、どなたですか。それぞれ人数も教えてください。お子さんから見た続柄でお答えください。（あてはまるものすべてに○）

本調査では、「父親・母親」、「母親のみ」、「父親のみ」、これらに該当しないものを「その他」とし、さらに「２世代（親とこども）」と「３世代（親と子どもと祖父母）」で区分を設けました。

- ◆ 生計が同じ家族について、保護者全体では「父親・母親」の割合が最も高く、86.5%となっています。次いで、「母親のみ」（11.7%）、「父親のみ」（1.0%）となっています。
- ◆ 生計が同じ家族の世代別でみると、保護者全体では「父親・母親の２世代」の割合が最も高く、86.5%となっています。次いで、「母親のみの２世代」（11.5%）、「父親・母親の「３世代」（2.7%）となっています。





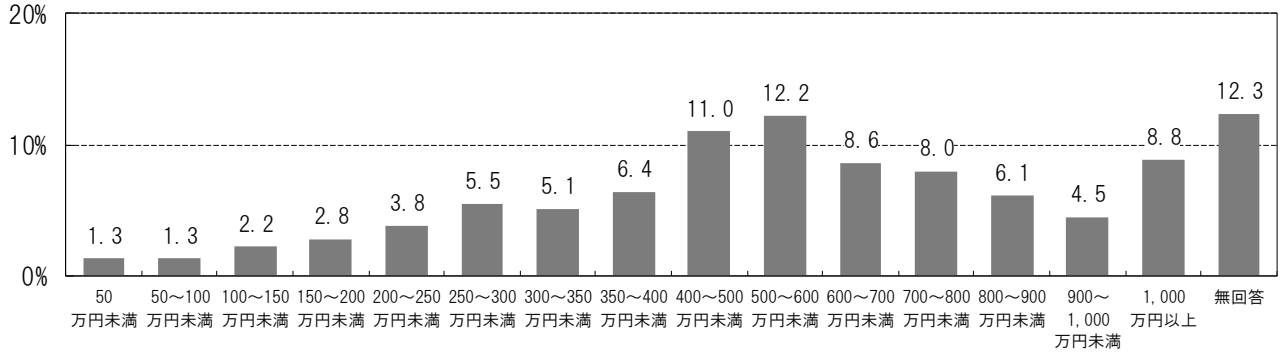
（4）世帯収入

a）世帯収入

＜保護者票＞問 26①　お子さんと生計（家計）を共にしている方全員の収入を合わせた、昨年の「世帯の年間手取り収入（ボーナス含む手取り額）」を教えてください。世帯の収入から、税金や社会保険料の額を差し引いた後の額でお答えください。

◆ 世帯の年間手取り収入について、「500～600 万円未満」と回答した保護者の割合が最も高く、12.2%となっています。次いで、「400～500 万円未満」（11.0%）、「1,000 万円以上」（8.8%）となっています。

保護者全体（計：2,678人）

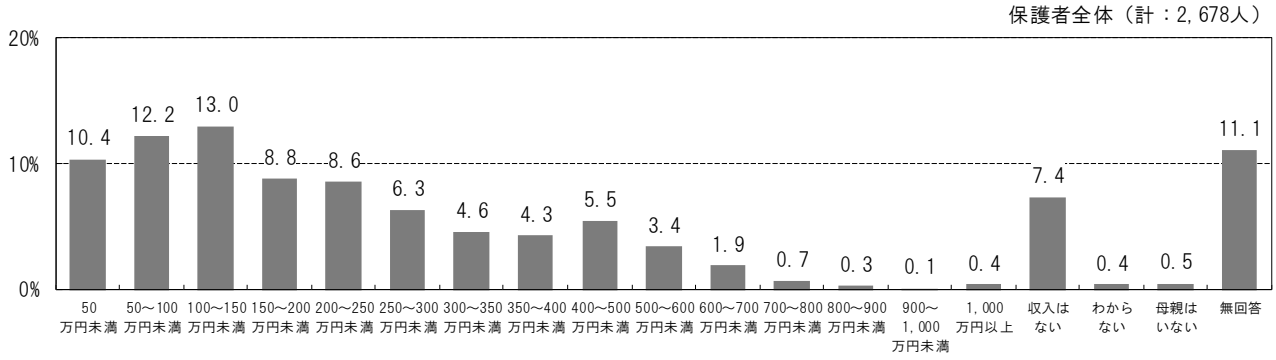


b）母親の収入

＜保護者票＞問 26②③ 世帯の手取り収入のうち、お子さんの母親（または母親にかわる方）と父親（または父親にかわる方）のおおよその年間収入を教えてください。（①～③それぞれについて、あてはまるもの１つに○）

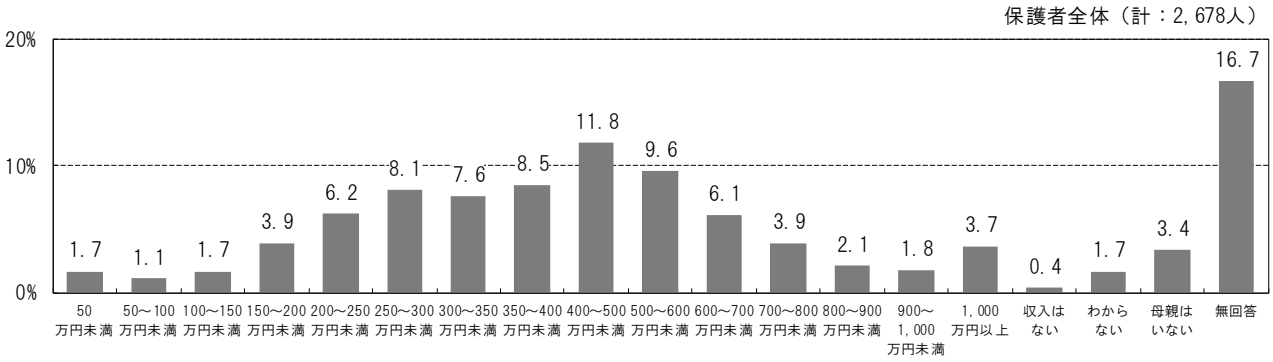
◆ 母親の年間手取り収入について、「100～150 万円未満」と回答した保護者の割合が最も高く、13.0%となっています。次いで、「50～100 万円未満」（12.2%）、「50 万円未満」（10.4%）となっています。

保護者全体（計：2,678人）



c）父親の収入

◆ 父親の年間手取り収入について、「400～500 万円未満」と回答した保護者の割合が最も高く、11.8%となっています。次いで、「500～600 万円未満」（9.6%）、「350～400 万円未満」（8.5%）となっています。

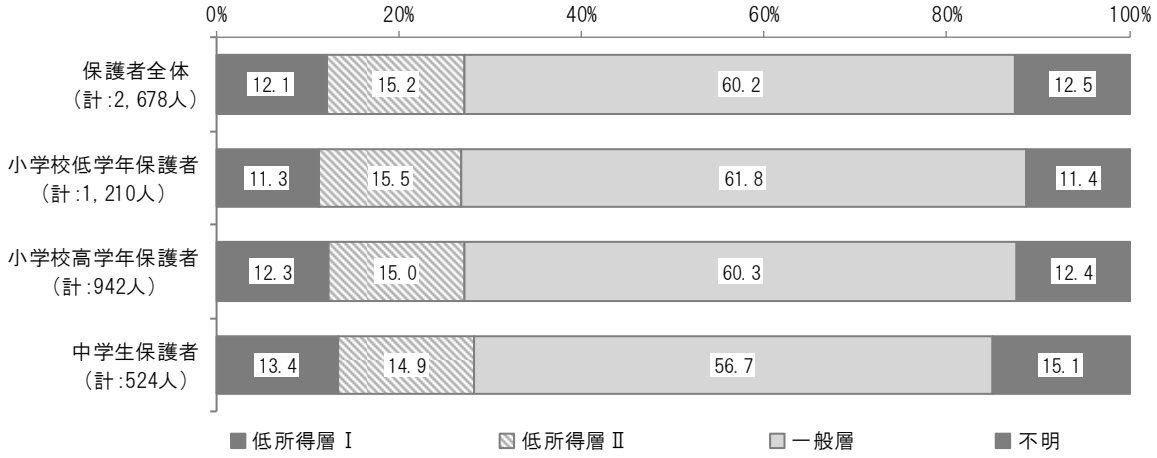


（5）困窮分類

a）所得区分

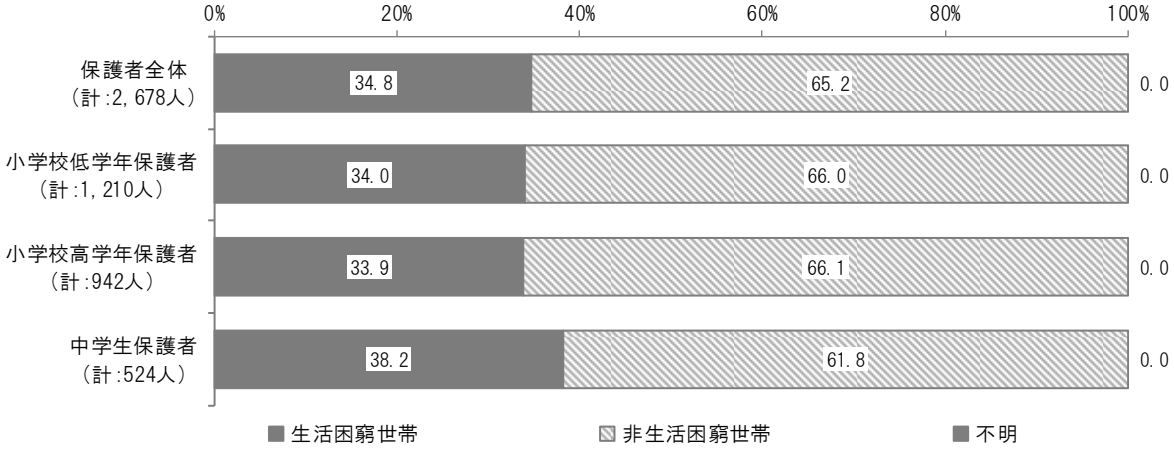
◆ 保護者票の問 26①の世帯収入と問５の生計を共にしている人数を用いて算出した等価可処分所得による所得の状況をみたところ、保護者全体では「一般層」の割合が最も高く、60.2%となっています。次いで、「低所得層Ⅱ」（15.2%）、「低所得層Ⅰ」（12.1%）となっています。

◆ 小学生の保護者に比べ、中学生の保護者の低所得層（低所得層Ⅰ＋低所得層Ⅱ）の割合が若干高くなっています。



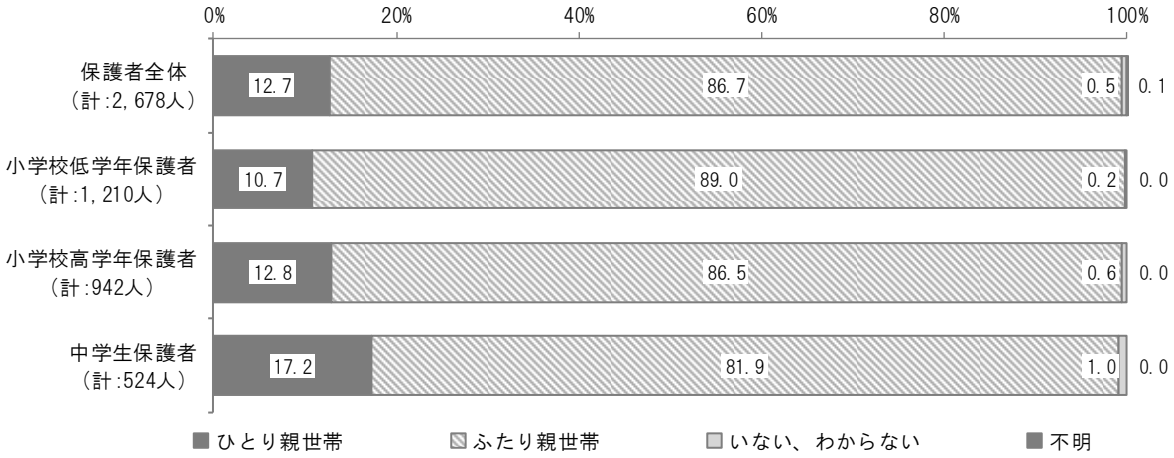
b）生活困窮世帯

◆ 保護者票の問 20（「１～３」のいずれかと回答）および問 21（「１」と回答）を用いて、生活困窮の状況をみたところ、保護者全体では「生活困窮世帯」の割合は 34.8%となっています。一方、「非生活困窮世帯」の割合は 65.2%となっています。
◆ 小学生の保護者に比べ、中学生の保護者の生活困窮世帯の割合が高くなっています。



c）ひとり親世帯

◆ 保護者票の問７を用いてひとり親の状況をみたところ、保護者全体では「ひとり親世帯」の割合は 12.7%となっています。一方、「ふたり親世帯」の割合は 86.7%となっています。
◆ 小学生の保護者に比べ、中学生の保護者のひとり親世帯の割合が高くなっています。



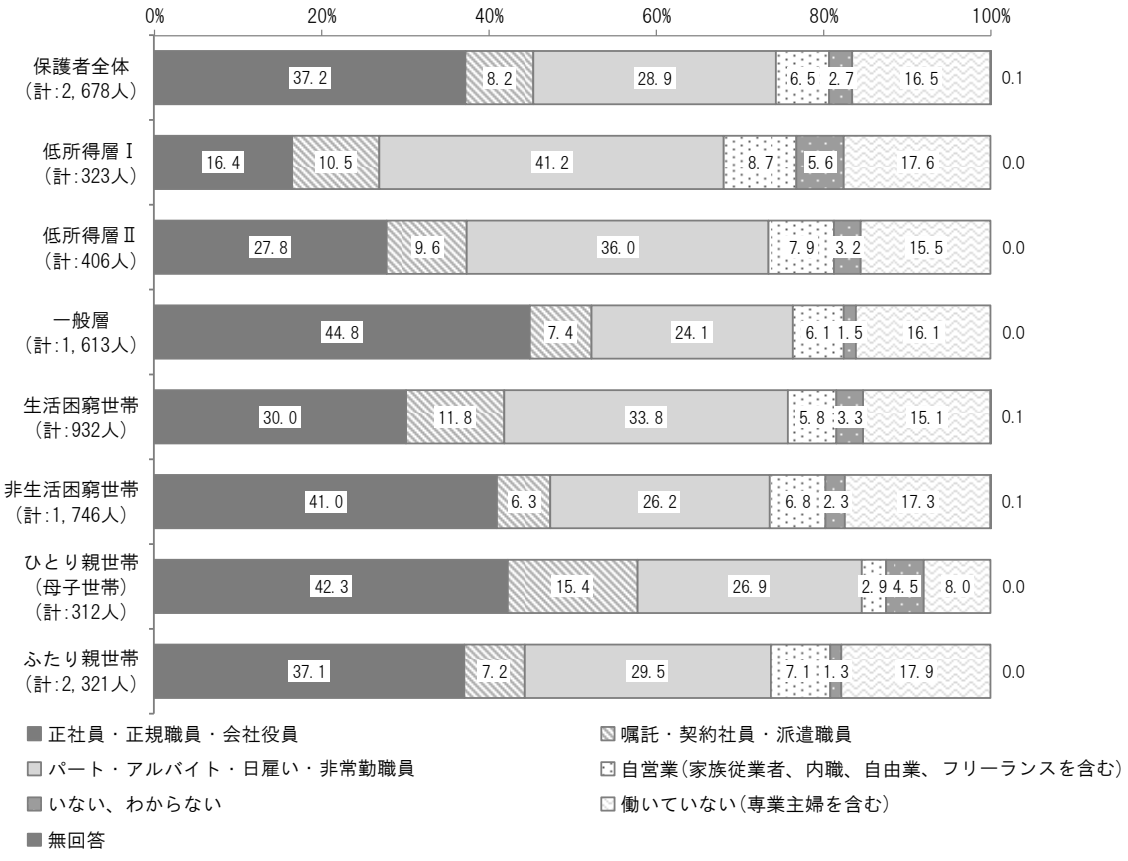
2．保護者の状況

（1）母親の就労状況

ａ）母親の就労形態

＜保護者票＞問９　お子さんの母親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。現在、産前・産後休業、育児・介護休業を取得している方は、就労時の状況をお答えください。（１つに○）

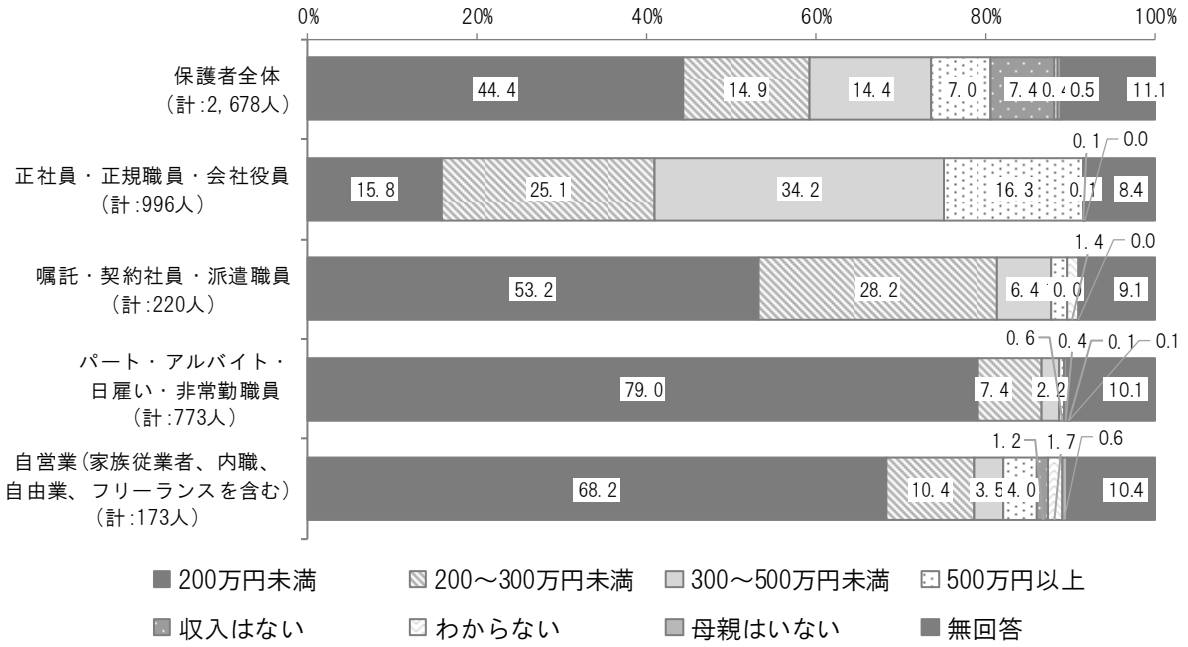
- ◆ 母親の就労形態について、保護者全体では「正社員・正規職員・会社役員」と回答した保護者の割合が最も高く、37.2%となっています。次いで、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」（28.9%）、「嘱託・契約社員・派遣職員」（8.2%）となっています。
- ◆ 一般層では、「正社員・正規職員・会社役員」として働く割合が最も高いのに対し、低所得層ではその割合が低下し「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」や「嘱託・契約社員・派遣職員」として働く割合が高くなっています。
- ◆ 非生活困窮世帯では、「正社員・正規職員・会社役員」として働く割合が最も高いのに対し、生活困窮世帯ではその割合が低下し「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」や「嘱託・契約社員・派遣職員」として働く割合が高くなっています。
- ◆ ふたり親世帯では、「正社員・正規職員・会社役員」や「嘱託・契約社員・派遣職員」として働く割合が低いのに対し、ひとり親世帯ではその割合が高くなっています。



ｂ）母親の収入（就労形態別）

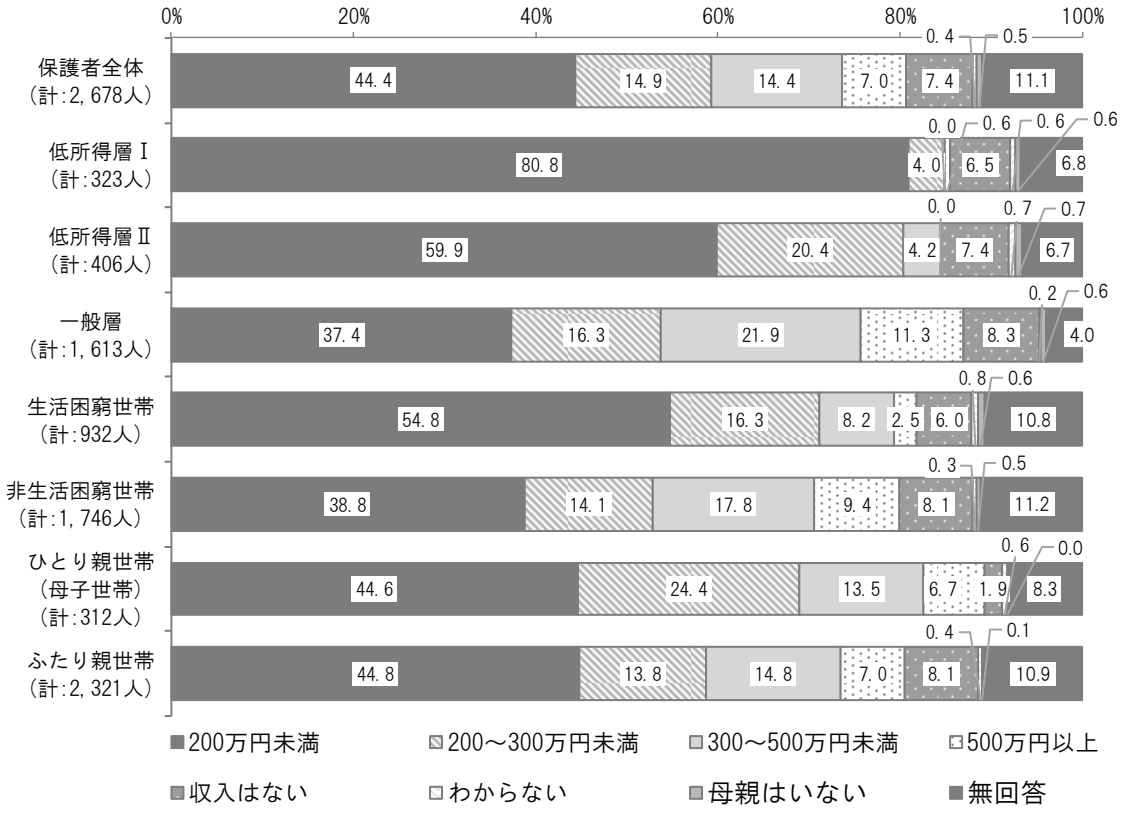
＜保護者票＞問 26　世帯の手取り収入のうち、お子さんの母親（または母親にかわる方）と父親（または父親にかわる方）のおおよその年間収入を教えてください。（１つに○）

- ◆ 母親の収入について、保護者全体では「200 万円未満」と回答した保護者の割合が最も高く、44.4%となっています。次いで、「200～300 万円未満」（14.9%）、「300～500 万円未満」（14.4%）となっています。
- ◆ 就労形態別にみると、「正社員・正規職員・会社役員」以外の就労形態では「200 万円未満」が５割以上を占めている一方、「正社員・正規職員・会社役員」では「200 万円未満」の割合が低くなっています。「正社員・正規職員・会社役員」では「300～500 万円未満」の割合が最も高くなっています。



ｂ）母親の収入（困窮分類別）

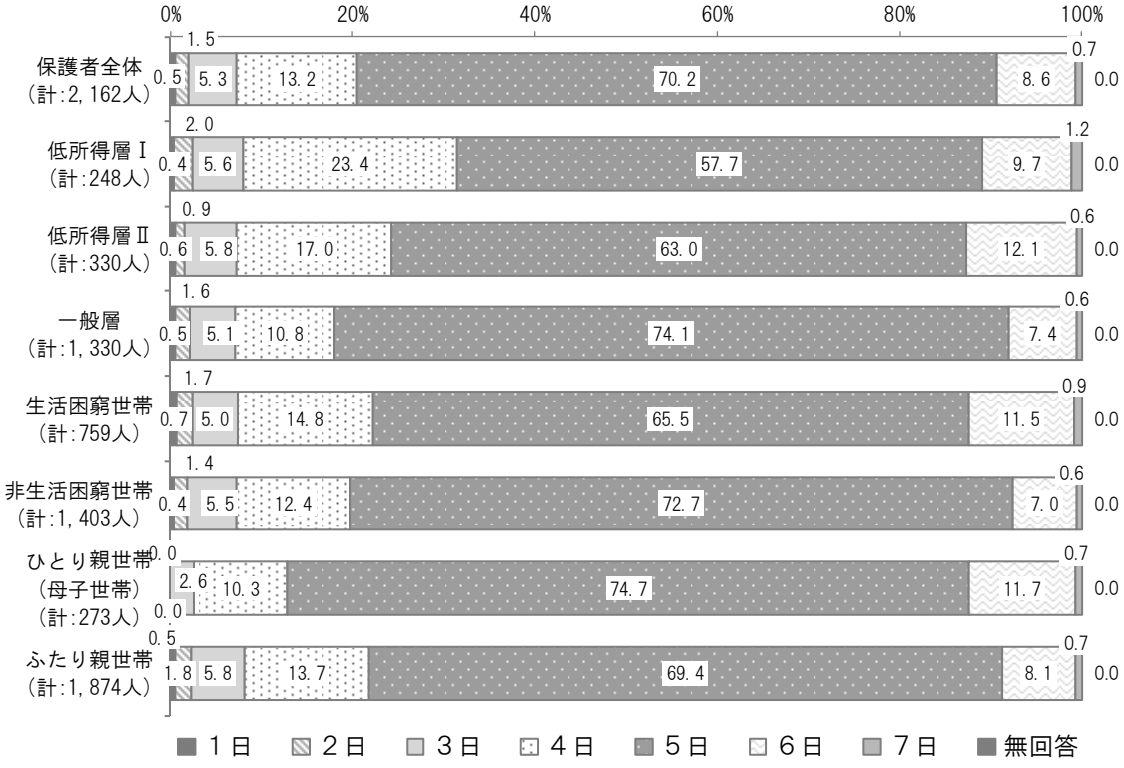
- ◆ 一般層では、「200 万円未満」が 37.4%に対し、低所得層Ⅰでは 80.8%、低所得層Ⅱでは 59.9%と、低所得層の方がその割合が高くなっています。
- ◆ 非生活困窮世帯では、「200 万円未満」が 38.8%に対し、生活困窮世帯では 54.8%と、生活困窮世帯の方がその割合が高くなる傾向となっています。
- ◆ ふたり親世帯とひとり親世帯の「200 万円未満」の割合はほぼ等しく、ふたり親世帯では、「200～300 万円未満」が 13.8%に対し、ひとり親世帯では 24.4%と、ひとり親世帯の方がその割合が高くなっています。



ｃ）母親の労働日数

＜保護者票＞問９-２　《問９で「１～４」を選んだ方にお聞きします。》
１週間の平均的な労働日数を教えてください。複数のお仕事をしている場合はすべて合わせた日数をお答えください。（１つに○）

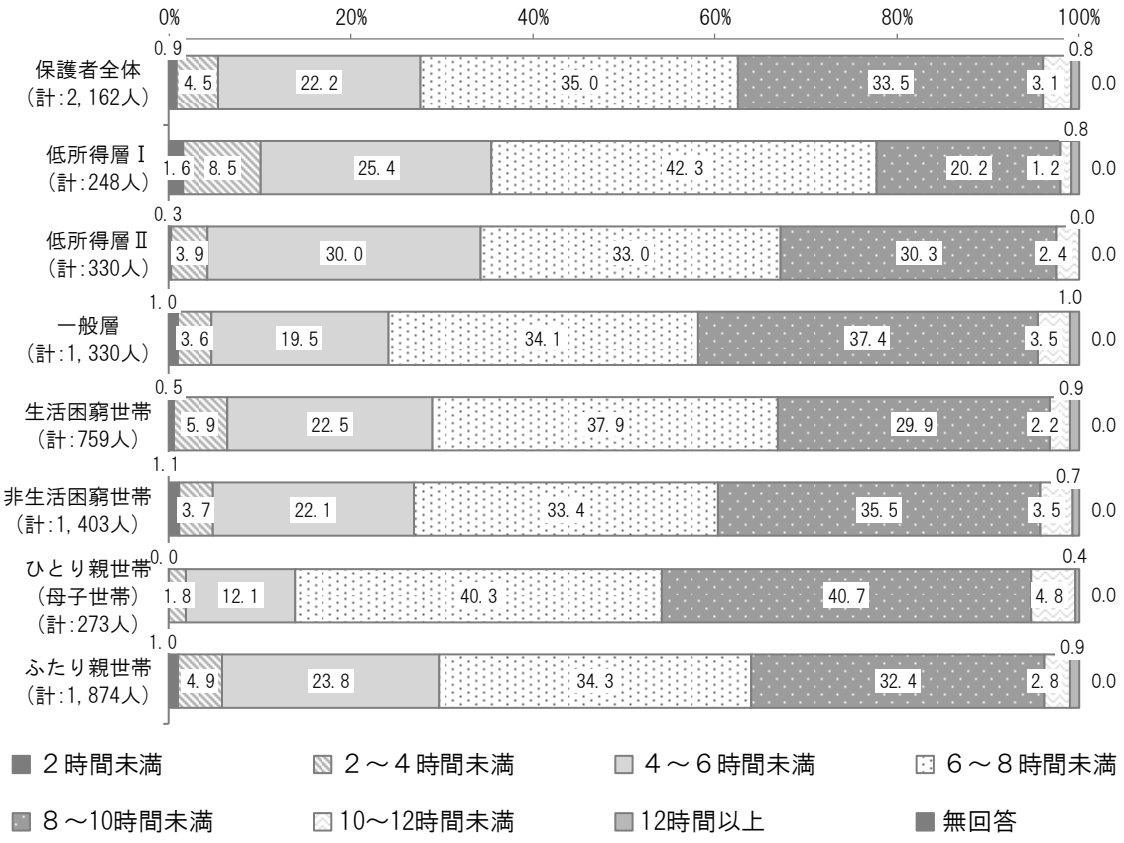
- ◆ 問９で「１～４」を選んだ（就労している）方に、１週間の平均的な労働日数をたずねたところ、保護者全体では「５日」と回答した保護者の割合が最も高く、70.2%となっています。次いで、「４日」（13.2%）、「６日」（8.6%）となっています。
- ◆ 一般層では、「５日」の割合が 74.1%に対し、低所得層Ⅰでは 57.7%、低所得層Ⅱでは 63.0%と、低所得層の方がその割合が低くなっています。
- ◆ 非生活困窮世帯では、「５日」の割合が 72.7%に対し、生活困窮世帯では 65.5%と、生活困窮世帯の方がその割合が低くなっています。
- ◆ ふたり親世帯では、「５日」の割合が 69.4%に対し、ひとり親世帯では 74.7%と、ひとり親世帯の方がその割合が高くなっています。



d）母親の労働時間

＜保護者票＞問９-３　《問９で「１～４」を選んだ方にお聞きします。》
働いている日の平均的な労働時間（残業時間を含む）を教えてください。複数のお仕事をしている場合はすべて合わせた時間をお答えください。（１つに○）

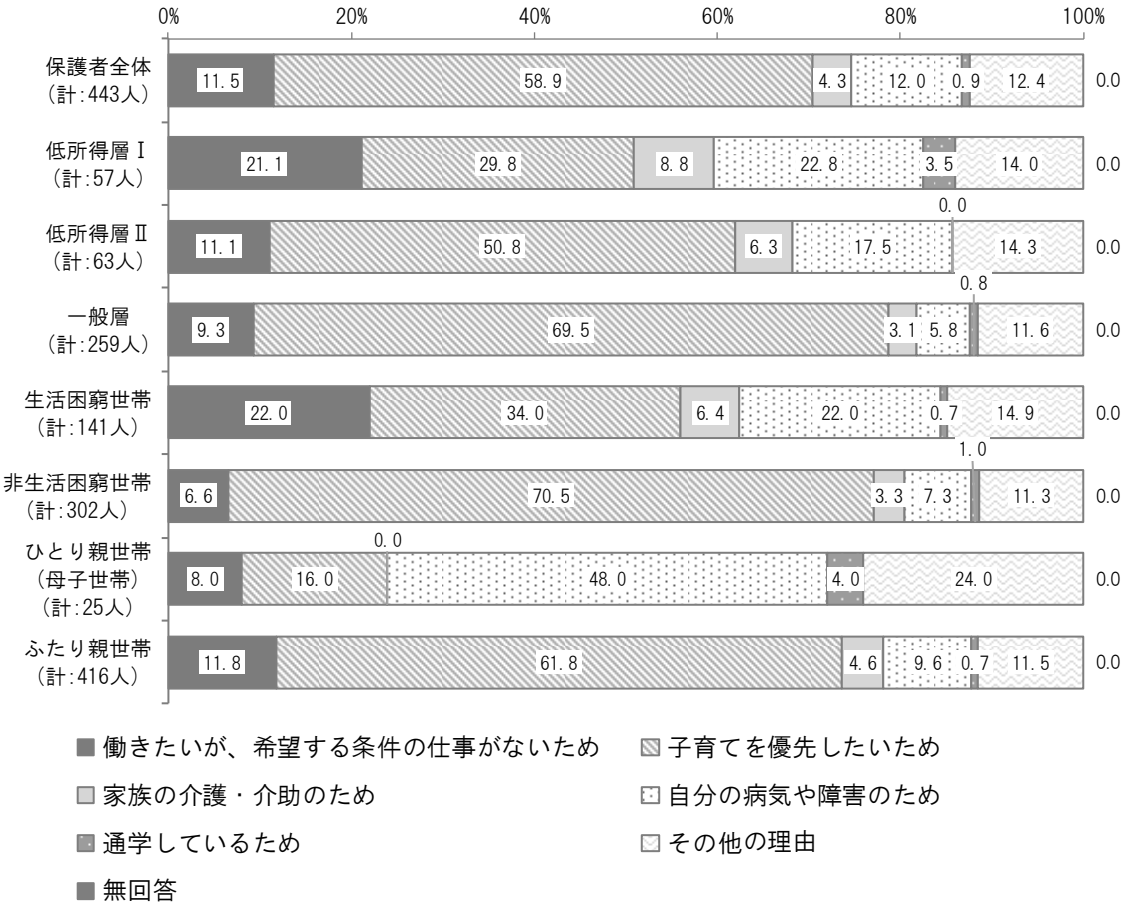
- ◆ 問９で「１～４」を選んだ（就労している方）方に、働いている日の平均的な労働時間(残業時間を含む)をたずねたところ、保護者全体では「６～８時間未満」と回答した保護者の割合が最も高く、35.0%となっています。次いで、「８～10 時間未満」（33.5%)、「４～６時間未満」（22.2%）となっています。
- ◆ 一般層では、「８～10 時間未満」の割合が 37.4%に対し、低所得層Ⅰでは 20.2%、低所得層Ⅱでは 30.3%と、低所得層の方がその割合が低くなっています。
- ◆ 非生活困窮世帯では、「８～10 時間未満」の割合が 35.5%に対し、生活困窮世帯では 29.9%と、生活困窮世帯の方がその割合が低くなっています。
- ◆ ふたり親世帯では、「８～10 時間未満」の割合が 32.4%に対し、ひとり親世帯では 40.7%と、ひとり親世帯の方がその割合が高くなっています。



ｅ）働いていない理由（母親）

＜保護者票＞問９-１　《問９で「６．働いていない」を選んだ方にお聞きします。》
働いていない最も主な理由を教えてください。（１つに○）

- ◆ 問９で「６．働いていない」を選んだ方に、働いていない最も主な理由をたずねたところ、保護者全体では「子育てを優先したいため」と回答した保護者の割合が最も高く、58.9%となっています。次いで、「自分の病気や障害のため」（12.0%）、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」（11.5%）となっています。
- ◆ 一般層では、「子育てを優先したいため」の割合が 69.5%に対し、低所得層Ⅰでは 29.8%、低所得層Ⅱでは 50.8%と、低所得層の方がその割合が低くなっています。
- ◆ 非生活困窮世帯では、「子育てを優先したいため」の割合が 70.5%に対し、生活困窮世帯では 34.0%と、生活困窮世帯の方がその割合が低くなっています。
- ◆ ふたり親世帯では、「子育てを優先したいため」の割合が 61.8%に対し、ひとり親世帯では 16.0%と、ひとり親世帯の方がその割合が低くなっています。

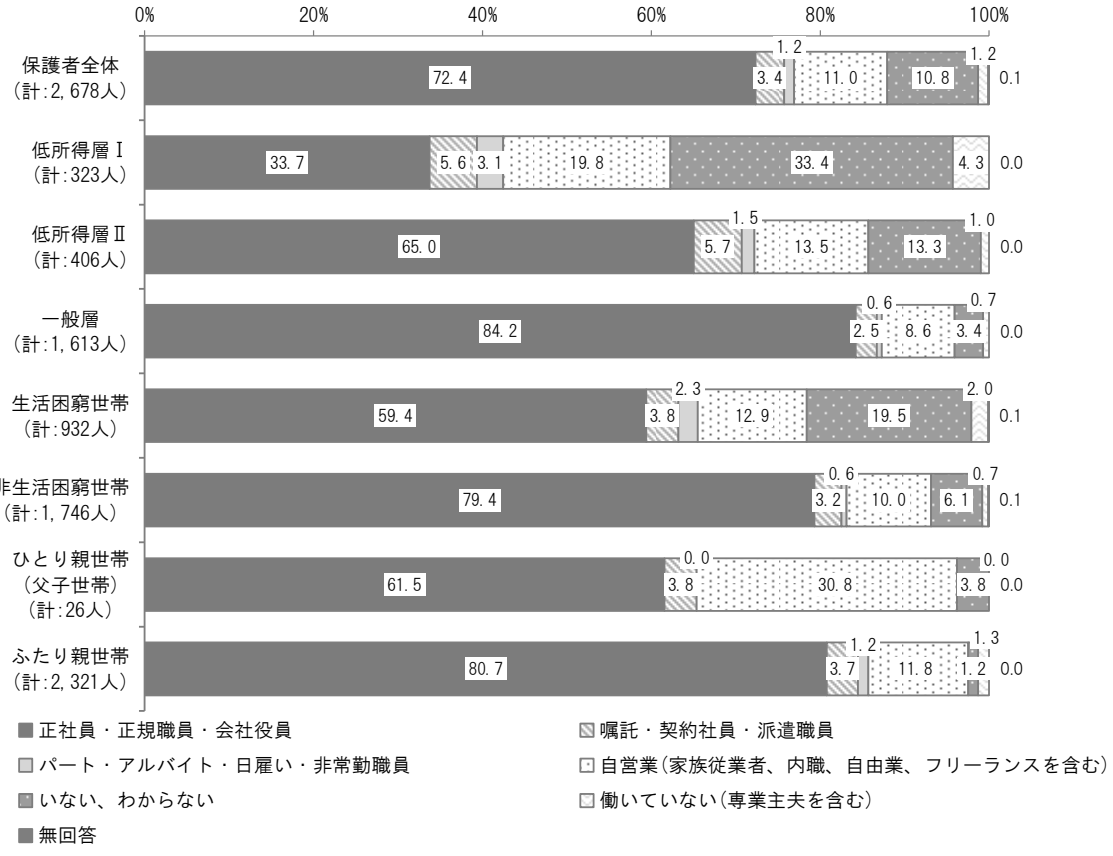


（２）父親の就労状況

ａ）父親の就労形態

＜保護者票＞問 10　お子さんの父親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。現在、産前・産後休業、育児・介護休業を取得している方は、就労時の状況をお答えください。（１つに○）

- ◆ 父親の就労状況について、保護者全体では「正社員・正規職員・会社役員」と回答した保護者の割合が最も高く、72.4%となっています。次いで、「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む)」(11.0%)、「嘱託・契約社員・派遣職員」(3.4%)となっています。
- ◆ 一般層では、「正社員・正規職員・会社役員」として働く割合が最も高いのに対し、低所得層ではその割合が低下し「嘱託・契約社員・派遣職員」、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」や「自営業」として働く割合が高くなっています。
- ◆ 非生活困窮世帯では、「正社員・正規職員・会社役員」として働く割合が最も高いのに対し、生活困窮世帯ではその割合が低下し「嘱託・契約社員・派遣職員」、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」や「自営業」として働く割合が高くなっています。
- ◆ ふたり親世帯では、「正社員・正規職員・会社役員」として働く割合が高いのに対し、ひとり親世帯ではその割合が低くなっています。

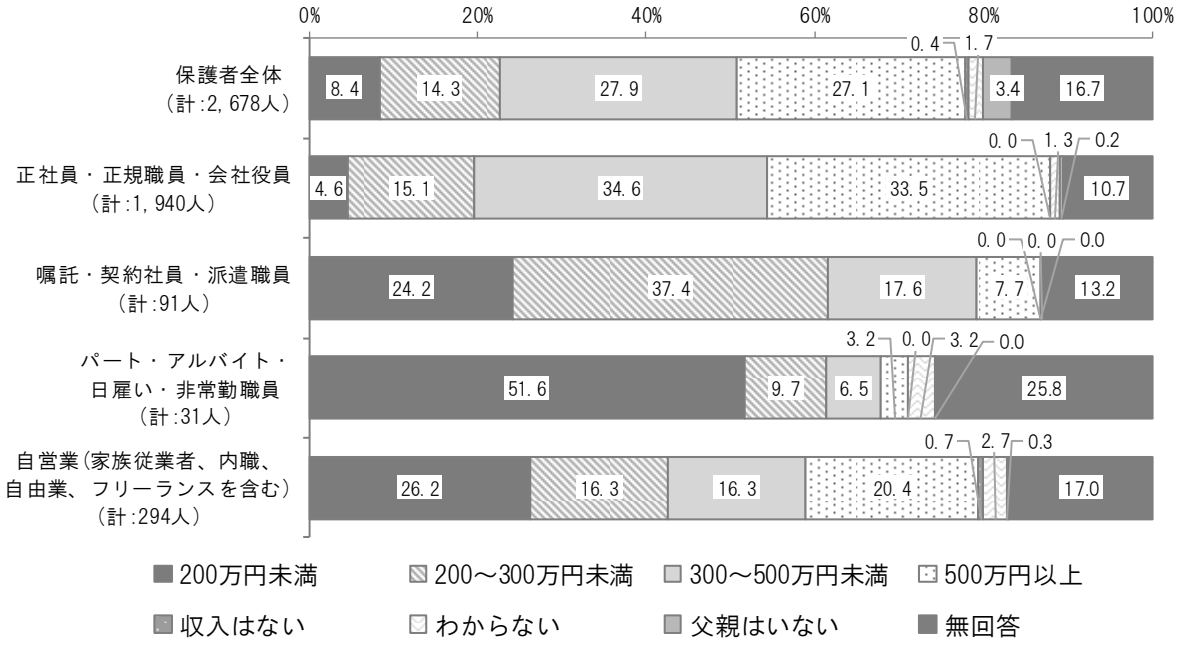


ｂ）父親の収入（就労形態別）

＜保護者票＞問 26　世帯の手取り収入のうち、お子さんの母親（または母親にかわる方）と父親（または父親にかわる方）のおおよその年間収入を教えてください。（１つに○）

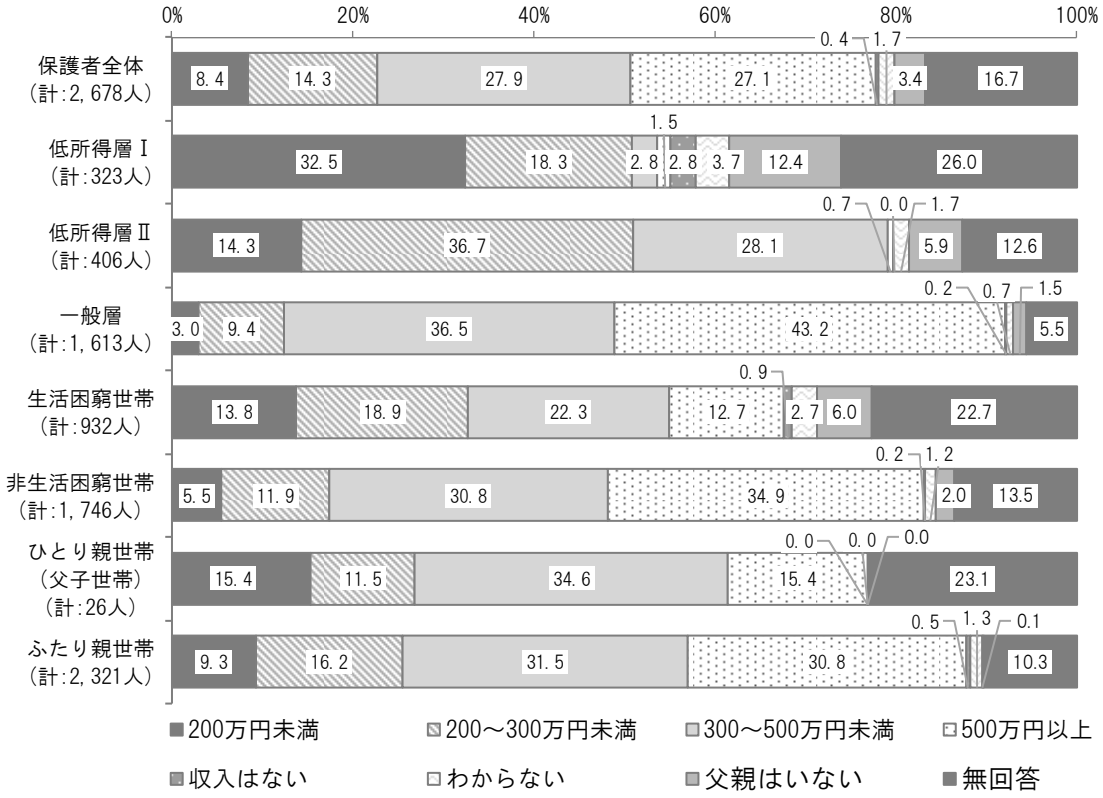
◆ 父親の収入について、保護者全体では「300～500 万円未満」と回答した保護者の割合が最も高く、27.9%となっています。次いで、「500 万円以上」（27.1%）、「200～300 万円未満」（14.3%）となっています。

◆ 就労形態別にみると、「正社員・正規職員・会社役員」以外の就労形態では「300～500 万円未満」が 20%以下と低くなっている一方、「正社員・正規職員・会社役員」では「300～500 万円未満」の割合が 30%を超え最も高くなっています。「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」や「自営業」では「200 万円未満」の割合が最も高くなっています。



ｂ）父親の収入（困窮分類別）

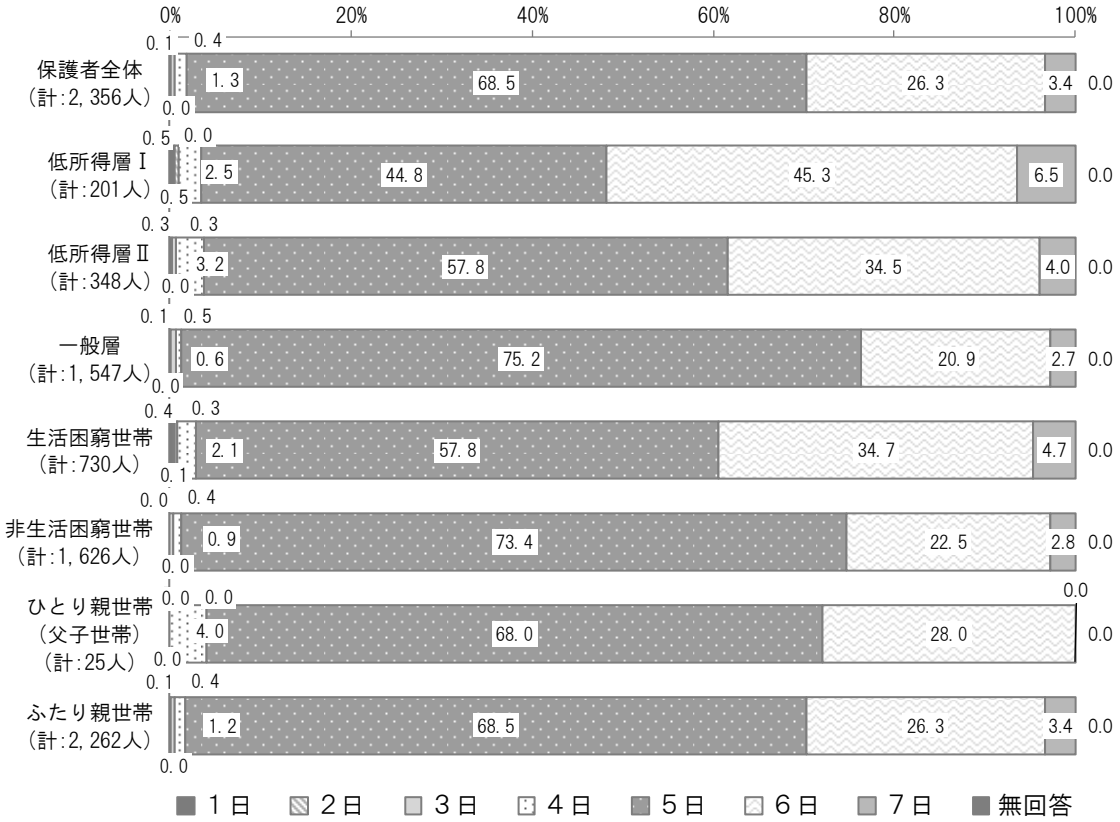
- ◆ 一般層では、「300～500 万円未満」が 36.5%に対し、低所得層Ⅰでは 2.8%、低所得層Ⅱでは 28.1%と、低所得層の方がその割合が低くなっています。
- ◆ 非生活困窮世帯では、「300～500 万円未満」が 30.8%に対し、生活困窮世帯では 22.3%と、生活困窮世帯の方がその割合が低くなる傾向となっています。
- ◆ ふたり親世帯では、「300～500 万円未満」が 31.5%に対し、ひとり親世帯では 34.6%と、ひとり親世帯の方がその割合が高くなっています。



c）父親の労働日数

＜保護者票＞問 10-２　《問 10 で「１～４」を選んだ方にお聞きします。》
１週間の平均的な労働日数を教えてください。複数のお仕事をしている場合はすべて合わせた日数をお答えください。（１つに○）

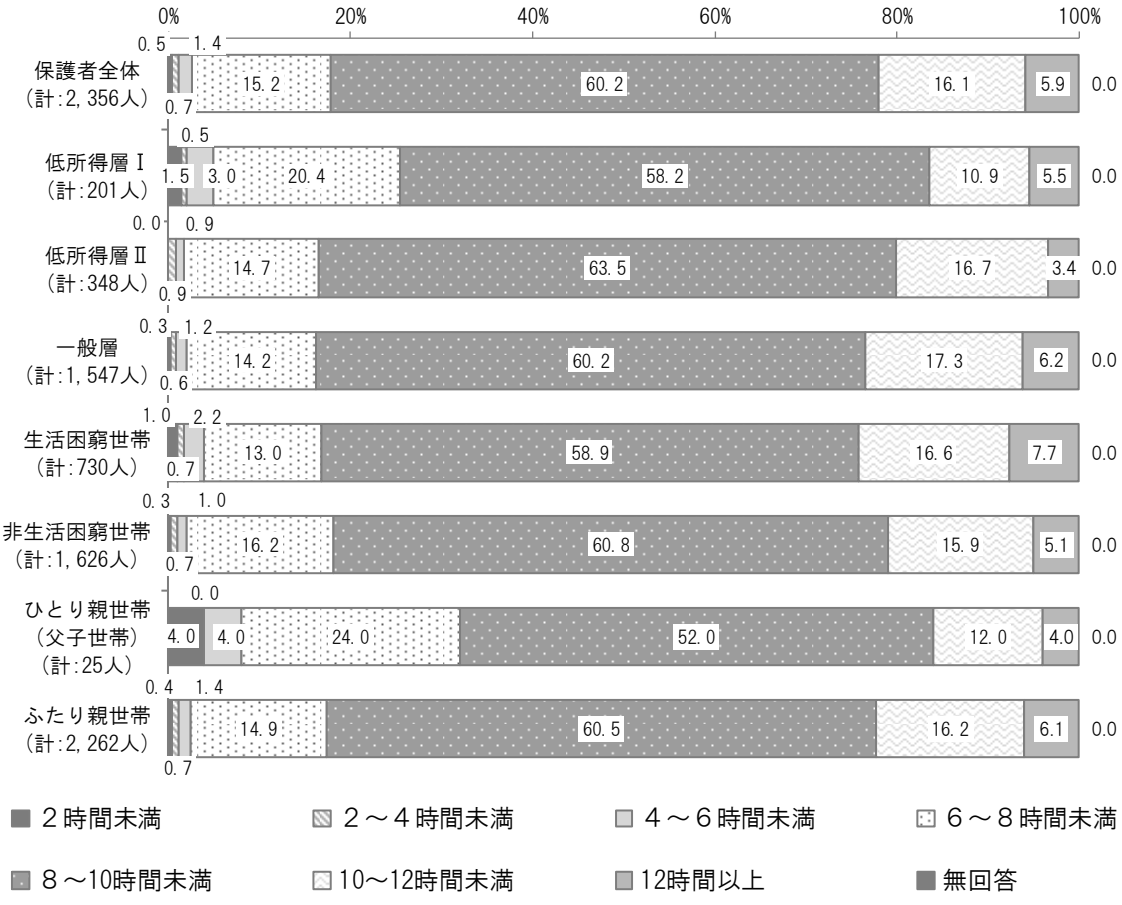
- ◆ 問 10 で「１～４」を選んだ（就労している）方に、１週間の平均的な労働日数をたずねたところ、保護者全体では「５日」と回答した保護者の割合が最も高く、68.5%となっています。次いで、「６日」（26.3%）、「７日」（3.4%）となっています。
- ◆ 一般層では、「５日」の割合が 75.2%に対し、低所得層Ⅰでは 44.8%、低所得層Ⅱでは 57.8%と、低所得層の方がその割合が低くなっています。
- ◆ 非生活困窮世帯では、「５日」の割合が 73.4%に対し、生活困窮世帯では 57.8%と、生活困窮世帯の方がその割合が低くなっています。
- ◆ ふたり親世帯とひとり親世帯の「５日」の割合はほぼ等しくなっています。



d）父親の労働時間

＜保護者票＞問 10-３　《問 10 で「１～４」を選んだ方にお聞きします。》
働いている日の平均的な労働時間（残業時間を含む）を教えてください。複数のお仕事をしている場合はすべて合わせた時間をお答えください。（１つに○）

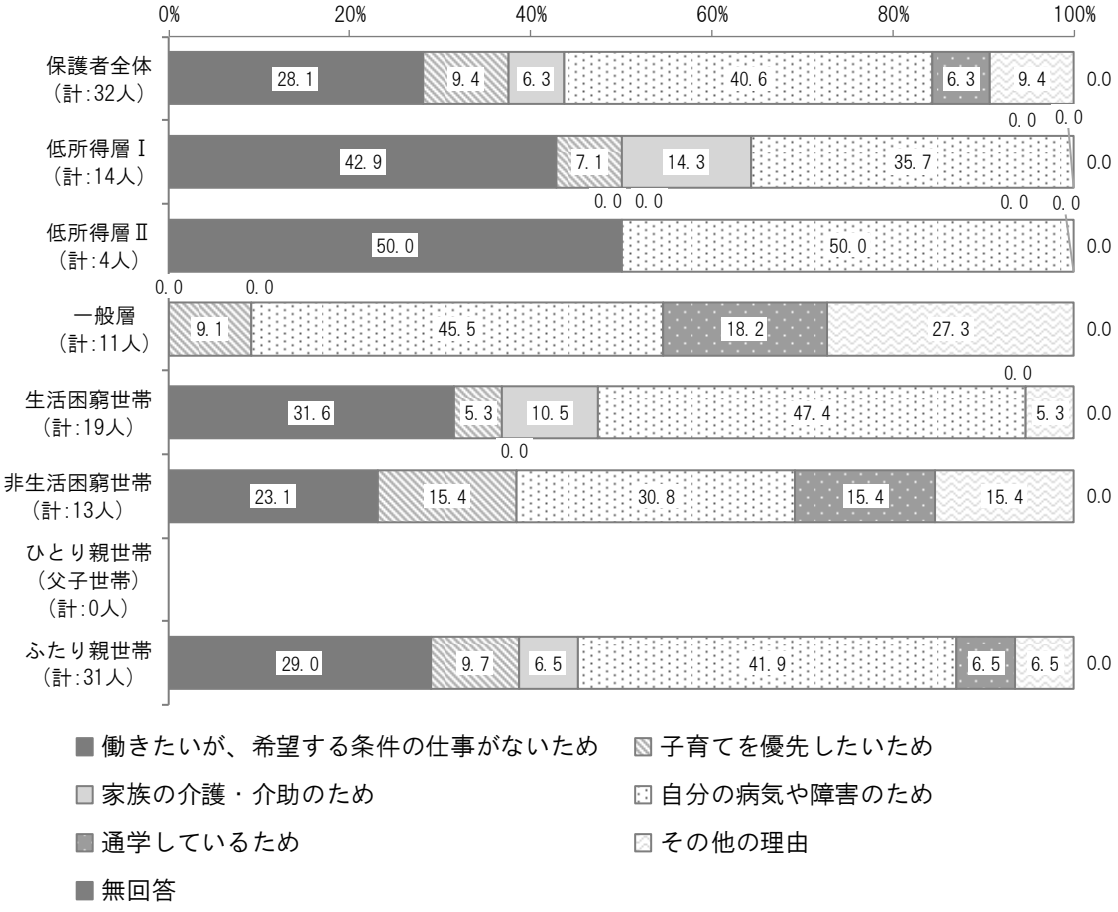
- ◆ 問 10 で「１～４」を選んだ（就労している）方に、働いている日の平均的な労働時間(残業時間を含む)をたずねたところ、保護者全体では「８～10 時間未満」と回答した保護者の割合が最も高く、60.2%となっています。次いで、「10～12 時間未満」（16.1%)、「６～８時間未満」(15.2%）となっています。
- ◆ 一般層では、「８～10 時間未満」の割合が 60.2%に対し、低所得層Ⅰでは 58.2%と、低所得層の方がその割合が低い傾向となっています。
- ◆ 非生活困窮世帯では、「８～10 時間未満」の割合が 60.8%に対し、生活困窮世帯では 58.9%と、生活困窮世帯の方がその割合が低くなっています。
- ◆ ふたり親世帯では、「８～10 時間未満」の割合が 60.5%に対し、ひとり親世帯では 52.0%と、ひとり親世帯の方がその割合が低くなっています。



ｅ）働いていない理由（父親）

＜保護者票＞問 10-1　《問 10 で「６．働いていない」を選んだ方にお聞きします。》
働いていない最も主な理由を教えてください。（１つに○）

- ◆ 問 10 で「６．働いていない」を選んだ方に、働いていない主な理由をたずねたところ、保護者全体では「自分の病気や障害のため」と回答した保護者の割合が最も高く、40.6%となっています。次いで、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」（28.1%）、「子育てを優先したいため」（9.4%）となっています。
- ◆ 一般層では、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」の割合が 0.0%に対し、低所得層Ⅰでは 42.9%、低所得層Ⅱでは 50.0%と、低所得層の方がその割合が高くなっています。
- ◆ 非生活困窮世帯では、「自分の病気や障害のため」の割合が 30.8%に対し、生活困窮世帯では 47.4%と、生活困窮世帯の方がその割合が高くなっています。
- ◆ ふたり親世帯では、全体同様の傾向となっています。

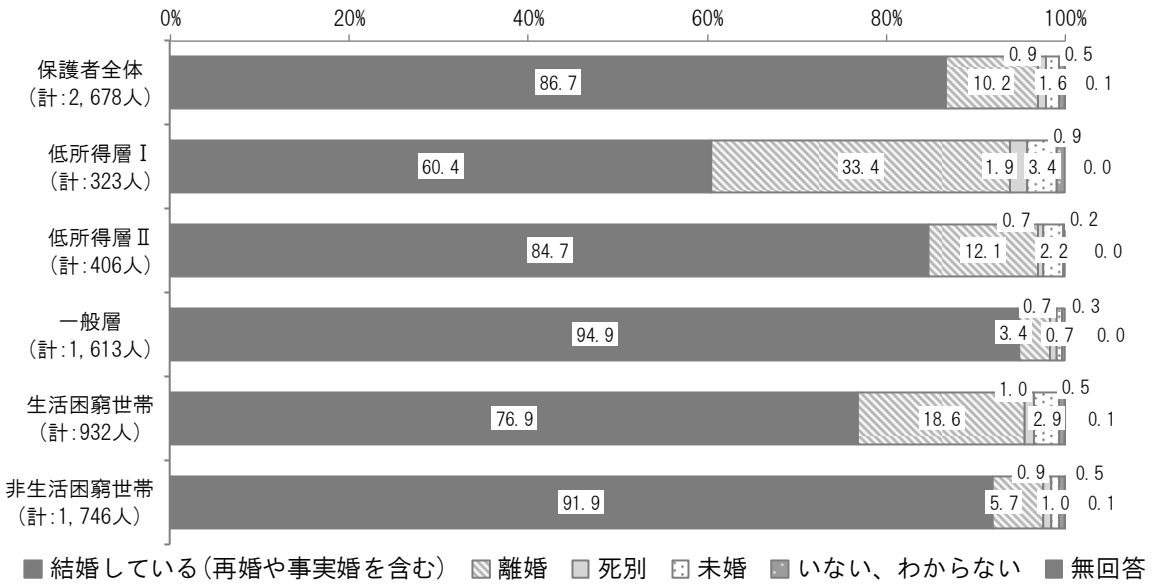


（３）婚姻状況・養育費の受け取り

ａ）婚姻状況

＜保護者票＞問７　お子さんと同居し、生計を同一にしているあなたの婚姻状況を教えてください。（１つに○）

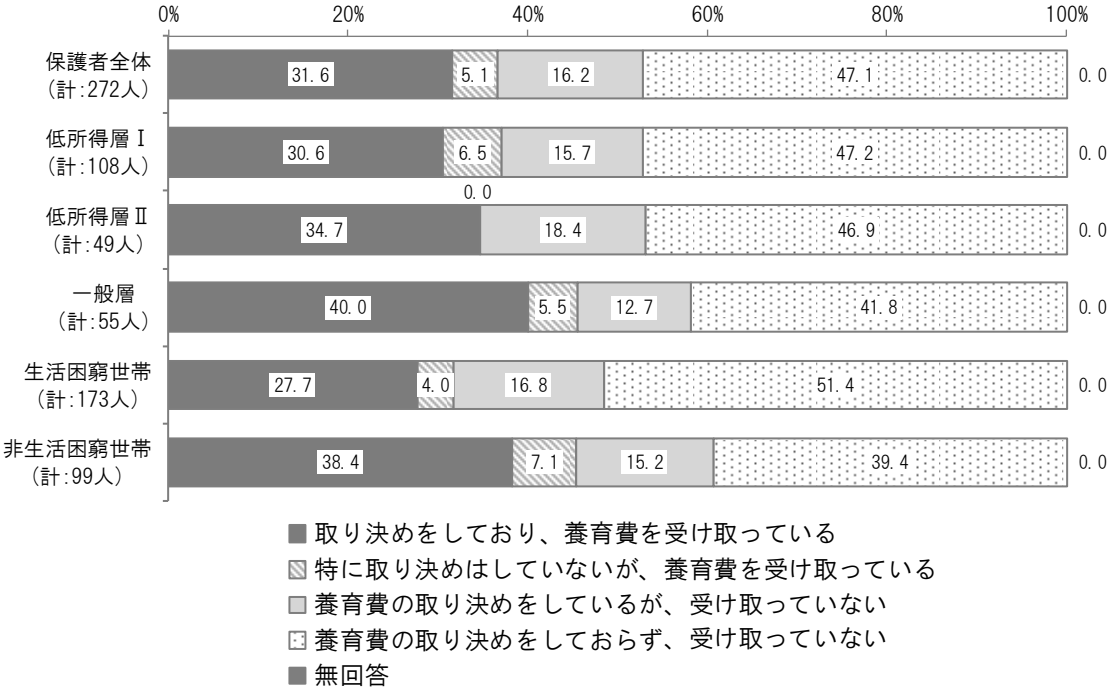
- ◆ 保護者の婚姻状況をたずねたところ、保護者全体では「結婚している（再婚や事実婚を含む）」と回答した保護者の割合が最も高く、86.7%となっています。次いで、「離婚」（10.2%）、「未婚」（1.6%）となっています。
- ◆ 一般層では、「結婚している（再婚や事実婚を含む）」の割合が 94.9%に対し、低所得層Ⅰでは 60.4%、低所得層Ⅱでは 84.7%と、低所得層の方がその割合が低くなっています。
- ◆ 非生活困窮世帯では、「結婚している（再婚や事実婚を含む）」の割合が 91.9%に対し、生活困窮世帯では 76.9%と、生活困窮世帯の方がその割合が低くなっています。



b）養育費の受け取り

＜保護者票＞問7-1　《問7で「2．離婚」を選んだ方にお聞きします。》
離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。（1つに○）

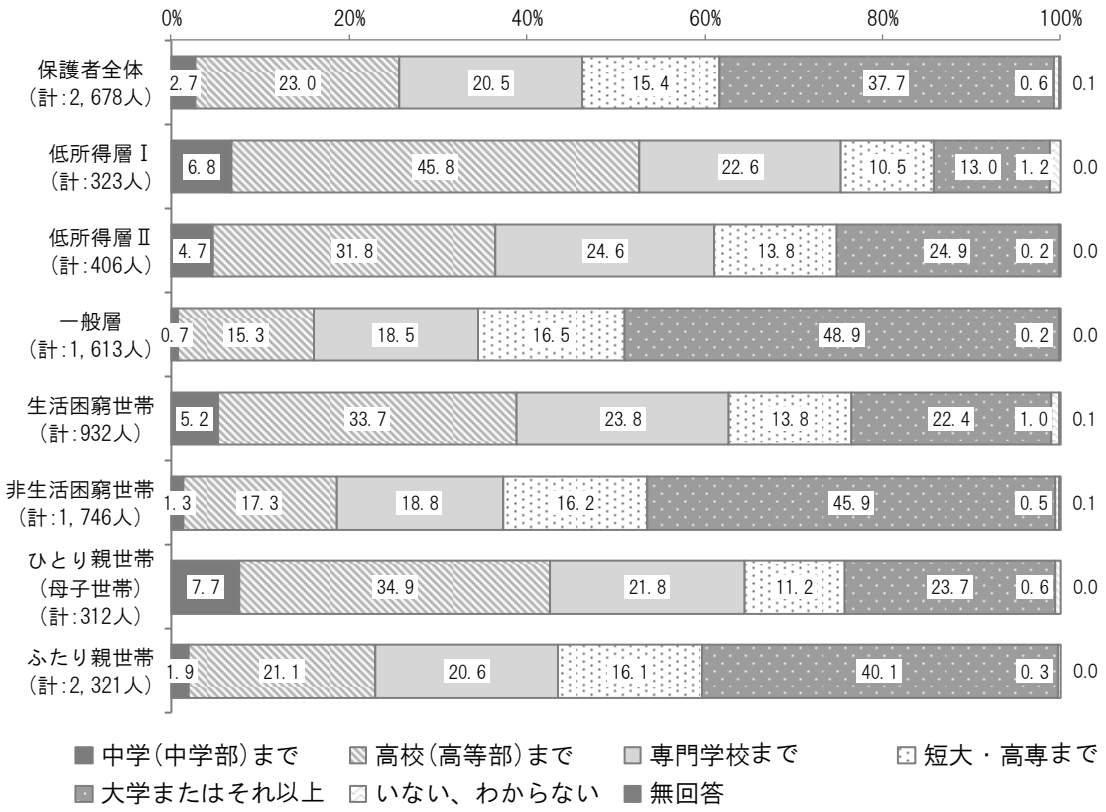
- ◆ 問7で「2．離婚」を選んだ方に、子どもの養育費の受け取り状況をとたずねたところ、保護者全体では「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」と回答した保護者の割合が最も高く、47.1%となっています。次いで、「取り決めをしており、養育費を受け取っている」(31.6%)、「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」（16.2%）となっています。
- ◆ 一般層では、「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」の割合が 41.8%に対し、低所得層Ⅰでは 47.2%、低所得層Ⅱでは 46.9%と、低所得層の方がその割合が高くなっています。
- ◆ 非生活困窮世帯では、「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」の割合が 39.4%に対し、生活困窮世帯では 51.4%と、生活困窮世帯の方がその割合が高くなっています。



（４）母親の学歴

＜保護者票＞問８　お子さんの親の最終学歴（卒業した学校）をお答えください。
（①と②について、あてはまるもの１つに○）

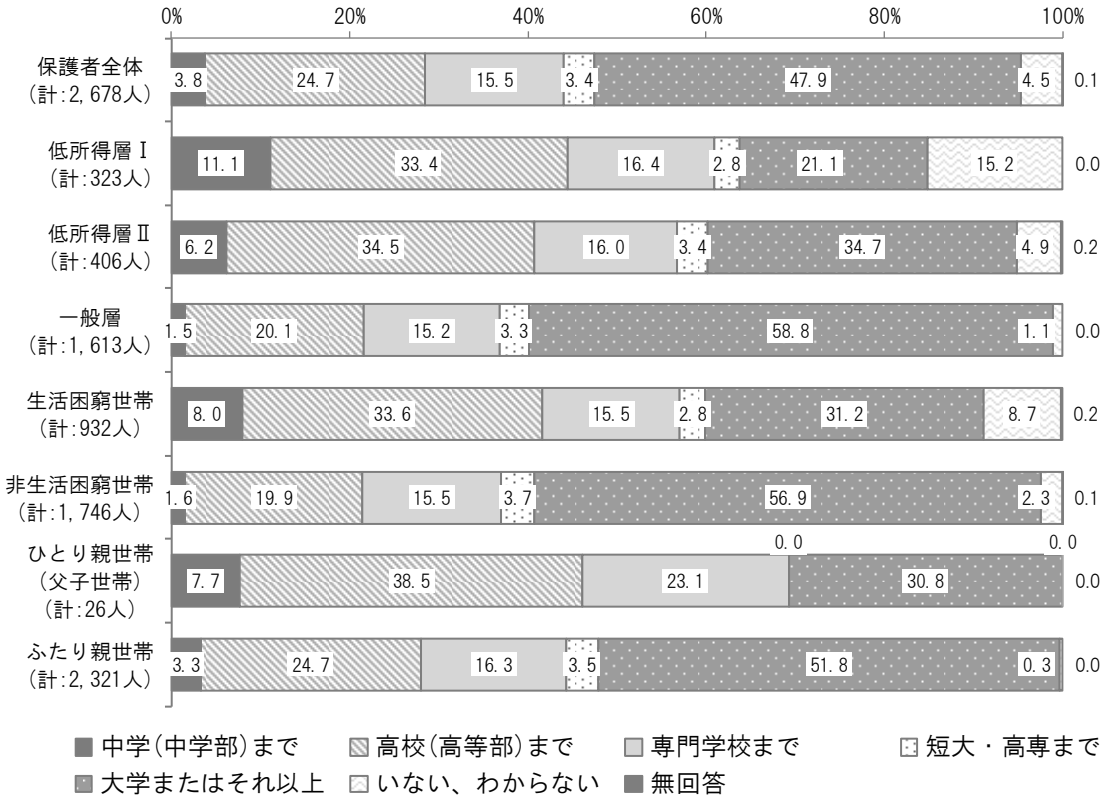
- ◆ 母親の最終学歴について、保護者全体では「大学またはそれ以上」と回答した保護者の割合が最も高く、37.7%となっています。次いで、「高校(高等部)まで」（23.0%）、「専門学校まで」（20.5%）となっています。
- ◆ 一般層では、「大学またはそれ以上」の割合が 48.9%に対し、低所得層Ⅰでは 13.0%、低所得層Ⅱでは 24.9%と、低所得層の方がその割合が低くなっています。
- ◆ 非生活困窮世帯では、「大学またはそれ以上」の割合が 45.9%に対し、生活困窮世帯では 22.4%と、生活困窮世帯の方がその割合が低くなっています。
- ◆ ふたり親世帯では、「大学またはそれ以上」の割合が 40.1%に対し、ひとり親世帯では 23.7%と、ひとり親世帯の方がその割合が低くなっています。



（５）父親の学歴

＜保護者票＞問８　お子さんの親の最終学歴（卒業した学校）をお答えください。
（①と②について、あてはまるもの１つに○）

- ◆ 父親の最終学歴について、保護者全体では「大学またはそれ以上」と回答した保護者の割合が最も高く、47.9%となっています。次いで、「高校(高等部)まで」（24.7%)、「専門学校まで」（15.5%）となっています。
- ◆ 一般層では、「大学またはそれ以上」の割合が 58.8%に対し、低所得層Ⅰでは 21.1%、低所得層Ⅱでは 34.7%と、低所得層の方がその割合が低くなっています。
- ◆ 非生活困窮世帯では、「大学またはそれ以上」の割合が 56.9%に対し、生活困窮世帯では 31.2%と、生活困窮世帯の方がその割合が低くなっています。
- ◆ ふたり親世帯では、「大学またはそれ以上」の割合が 51.8%に対し、ひとり親世帯では 30.8%と、ひとり親世帯の方がその割合が低くなっています。



3．学校・学習状況について

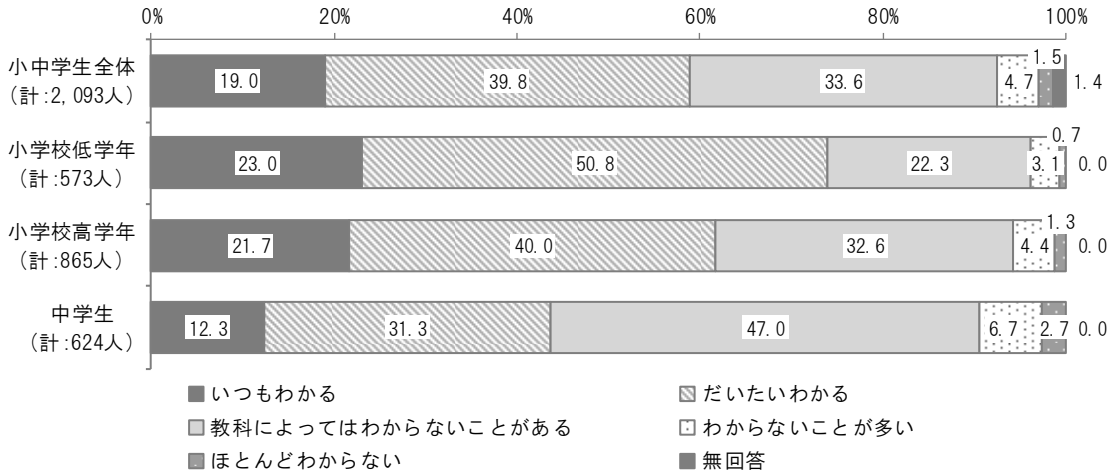
（1）学校での学習状況

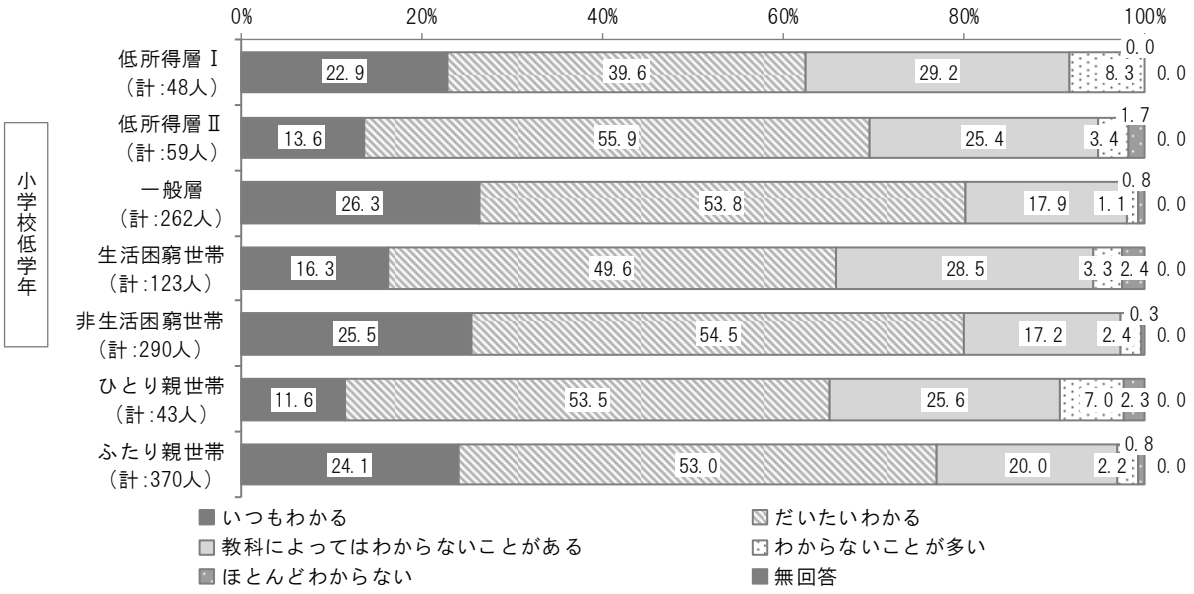
ａ）学習の習熟度

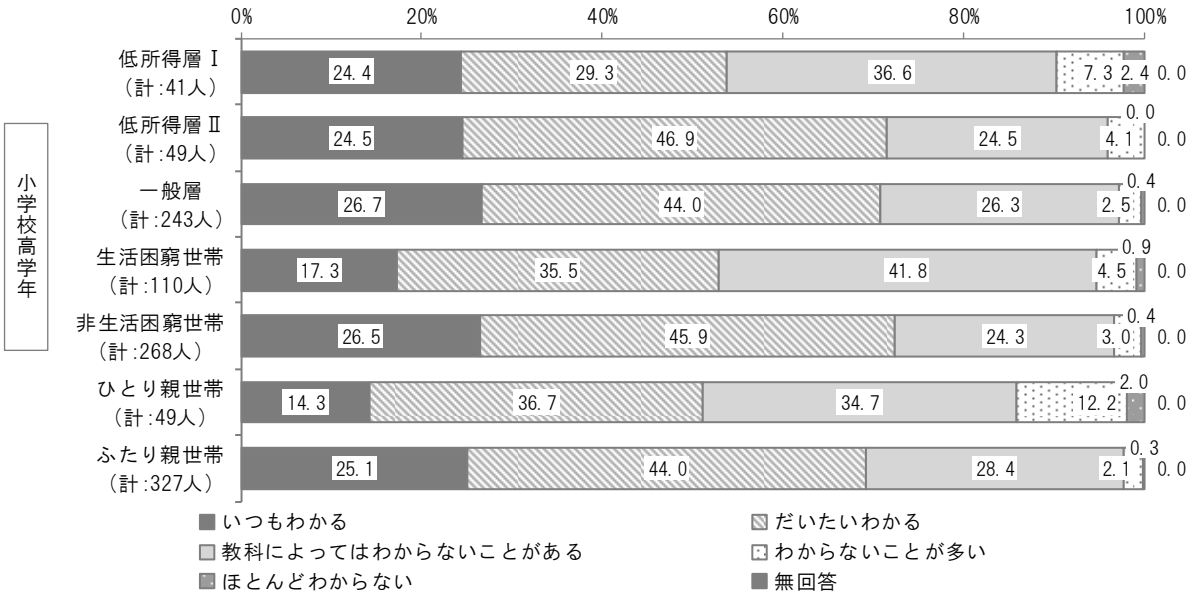
ア．学校の授業について

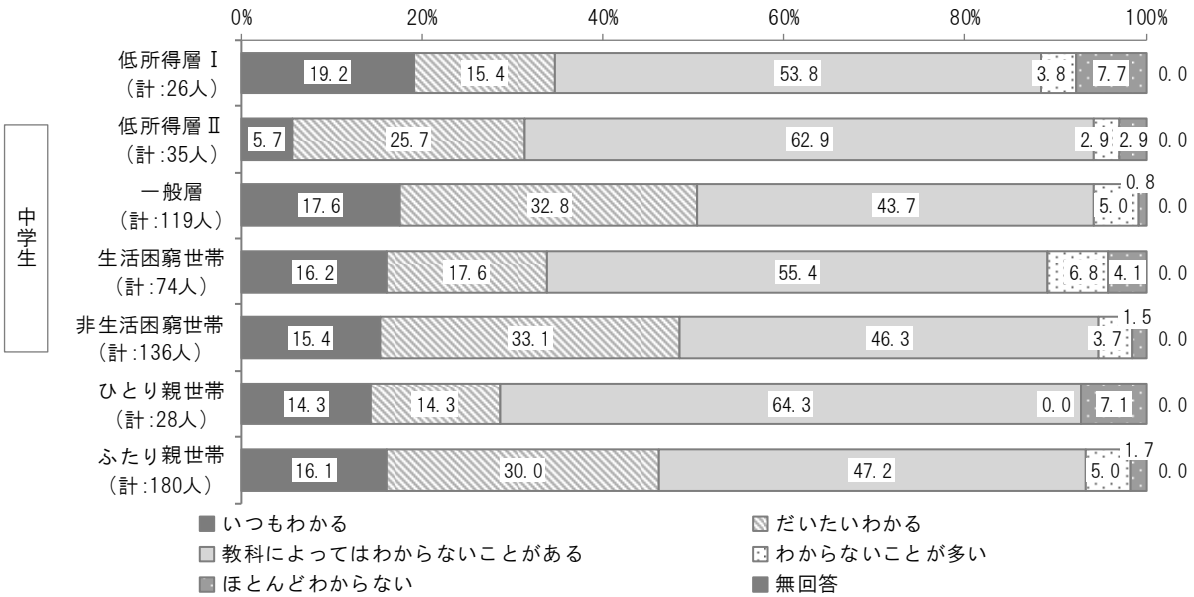
＜小学生・中学生票＞問６　あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。
（１つに○）

- ◆ 学校の授業がわからないことがありますかとたずねたところ、小中学生全体では「だいたいわかる」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、39.8%となっています。次いで、「教科によってはわからないことがある」（33.6%）、「いつもわかる」（19.0%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「だいたいわかる」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「わかる（「いつもわかる」＋「だいたいわかる」）」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、低所得層Ⅰと生活困窮世帯を除き全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「だいたいわかる」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「わかる（「いつもわかる」＋「だいたいわかる」）」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、全体の傾向と異なり、「教科によってはわからないことがある」と回答した生徒の割合が最も高くなっています。低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「わかる（「いつもわかる」＋「だいたいわかる」）」と回答した生徒の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。




小学校低学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:48人）
22.9
39.6
29.2
8.3
0.0
低所得層Ⅱ（計:59人）
13.6
55.9
25.4
3.4
1.7
0.0
一般層（計:262人）
26.3
53.8
17.9
1.1
0.8
0.0
生活困窮世帯（計:123人）
16.3
49.6
28.5
3.3
2.4
0.0
非生活困窮世帯（計:290人）
25.5
54.5
17.2
2.4
0.3
0.0
ひとり親世帯（計:43人）
11.6
53.5
25.6
7.0
2.3
0.0
ふたり親世帯（計:370人）
24.1
53.0
20.0
2.2
0.8
0.0
いつもわかる
だいたいわかる
教科によってはわからないことがある
わからないことが多い
ほとんどわからない
無回答


小学校高学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:41人）
24.4
29.3
36.6
7.3
2.4
0.0
低所得層Ⅱ（計:49人）
24.5
46.9
24.5
4.1
0.0
0.0
一般層（計:243人）
26.7
44.0
26.3
2.5
0.4
0.0
生活困窮世帯（計:110人）
17.3
35.5
41.8
4.5
0.9
0.0
非生活困窮世帯（計:268人）
26.5
45.9
24.3
3.0
0.4
0.0
ひとり親世帯（計:49人）
14.3
36.7
34.7
12.2
2.0
0.0
ふたり親世帯（計:327人）
25.1
44.0
28.4
2.1
0.3
0.0
いつもわかる
だいたいわかる
教科によってはわからないことがある
わからないことが多い
ほとんどわからない
無回答

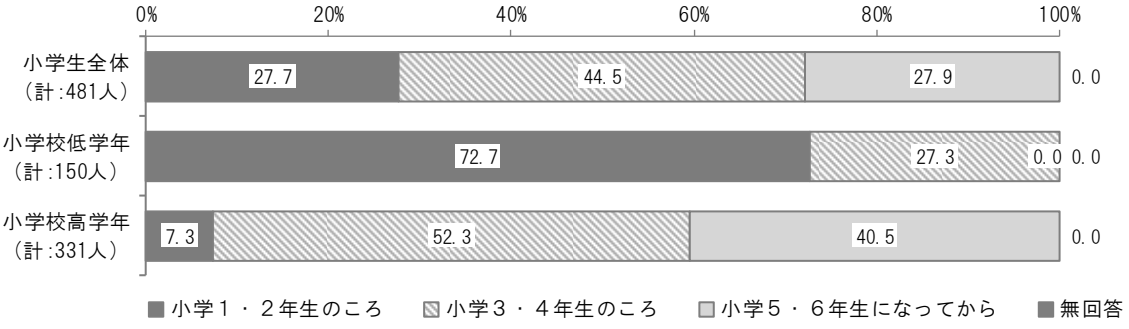

中学生
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
19.2
15.4
53.8
3.8
7.7
0.0
低所得層Ⅱ（計:35人）
5.7
25.7
62.9
2.9
2.9
0.0
一般層（計:119人）
17.6
32.8
43.7
5.0
0.8
0.0
生活困窮世帯（計:74人）
16.2
17.6
55.4
6.8
4.1
0.0
非生活困窮世帯（計:136人）
15.4
33.1
46.3
3.7
1.5
0.0
ひとり親世帯（計:28人）
14.3
14.3
64.3
0.0
7.1
0.0
ふたり親世帯（計:180人）
16.1
30.0
47.2
5.0
1.7
0.0
いつもわかる
だいたいわかる
教科によってはわからないことがある
わからないことが多い
ほとんどわからない
無回答

イ．授業がわからなくなった時期

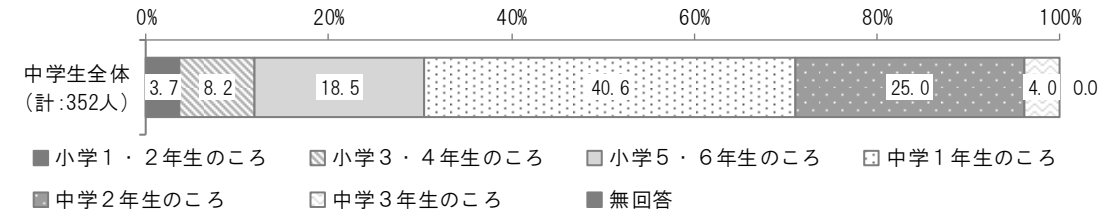
＜小学生・中学生票＞問６-１　《問６で３～５を選んだ人にお聞きします。》
いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。（１つに○）

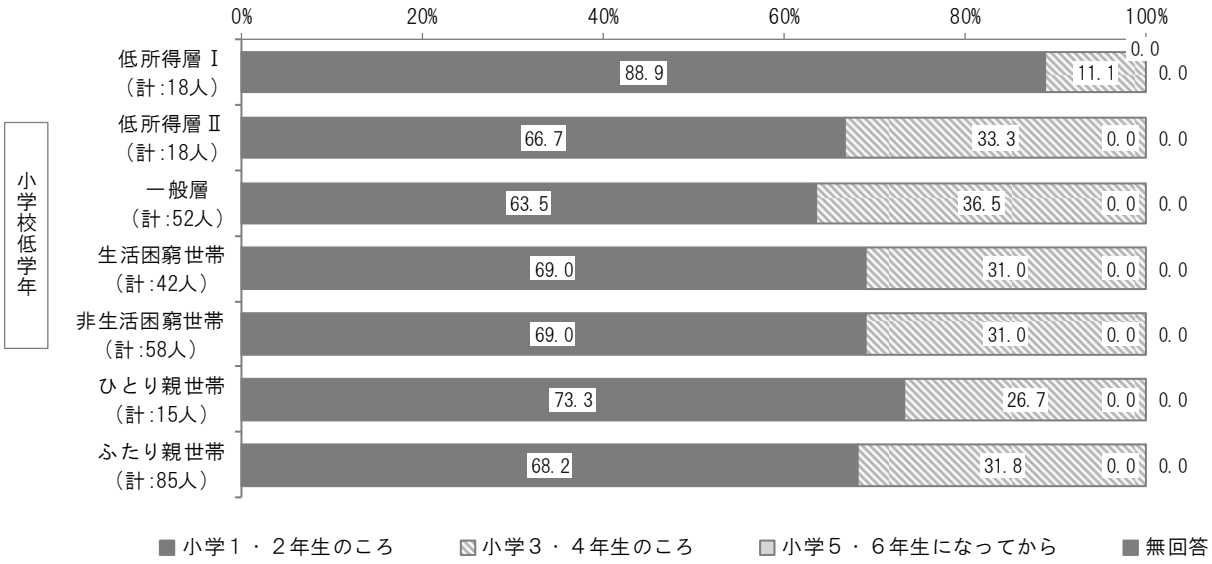
- ◆ 問６で「３．教科によってはわからないことがある」「４．わからないことが多い」「５．ほとんどわからない」のいずれかを選んだ人に、いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたかとたずねたところ、小学生全体では「小学３・４年生のころ」と回答した児童の割合が最も高く、44.5%となっています。次いで、「小学５・６年生になってから」（27.9%）、「小学１・２年生のころ」（27.7%）となっています。
- ◆ 中学生全体では、「中学１年生のころ」と回答した生徒の割合が最も高く、40.6%となっています。次いで、「中学２年生のころ」（25.0%）、「小学５・６年生のころ」（18.5%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、小学生全体の傾向と異なり、困窮分類に関わらず「小学１・２年生のころ」と回答した児童の割合が最も高くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、小学生全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「小学３・４年生のころ」と回答した児童の割合が最も高くなっています。
- ◆ 中学生では、中学生全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「中学１年生のころ」と回答した生徒の割合が最も高くなっています。

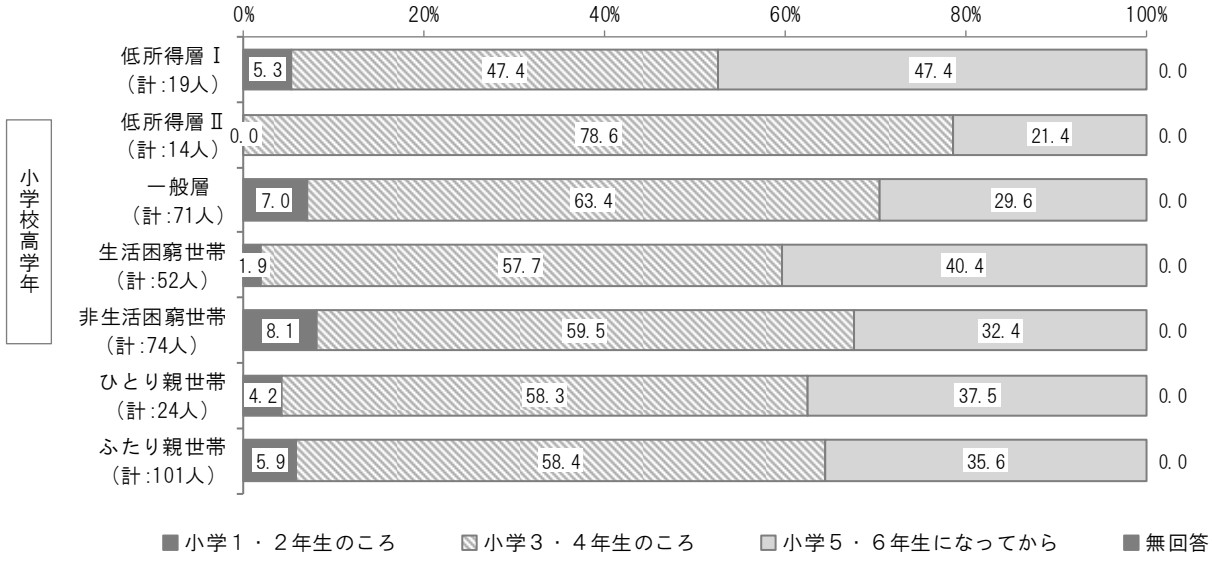
小学生

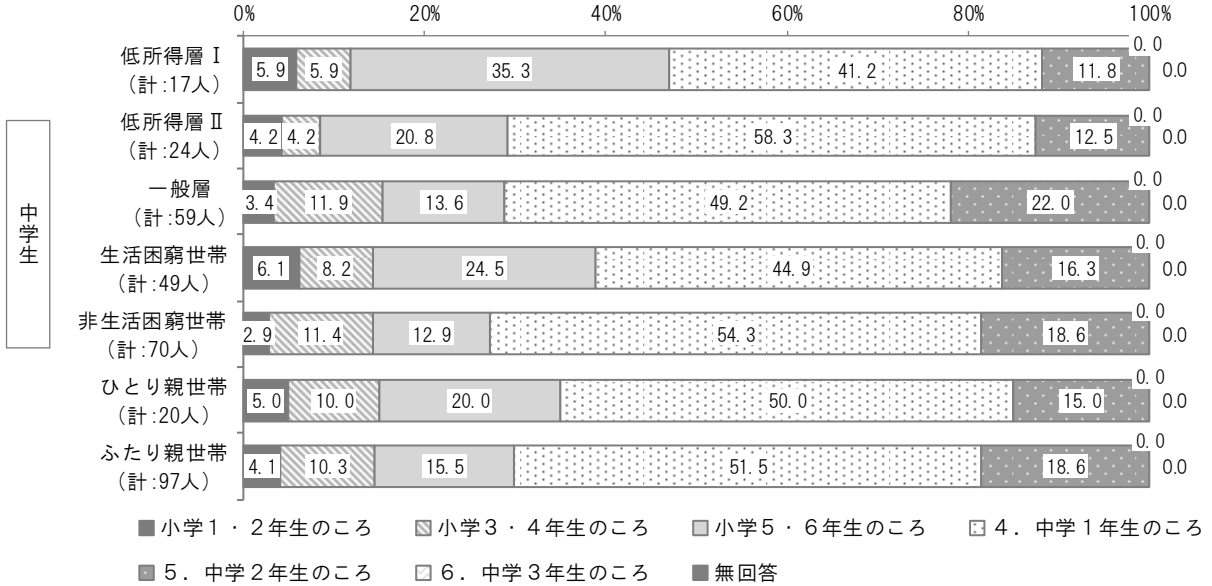


中学生




小学校低学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:18人）
88.9
11.1
0.0
低所得層Ⅱ（計:18人）
66.7
33.3
0.0
0.0
一般層（計:52人）
63.5
36.5
0.0
0.0
生活困窮世帯（計:42人）
69.0
31.0
0.0
0.0
非生活困窮世帯（計:58人）
69.0
31.0
0.0
0.0
ひとり親世帯（計:15人）
73.3
26.7
0.0
0.0
ふたり親世帯（計:85人）
68.2
31.8
0.0
0.0
小学１・２年生のころ
小学３・４年生のころ
小学５・６年生になってから
無回答

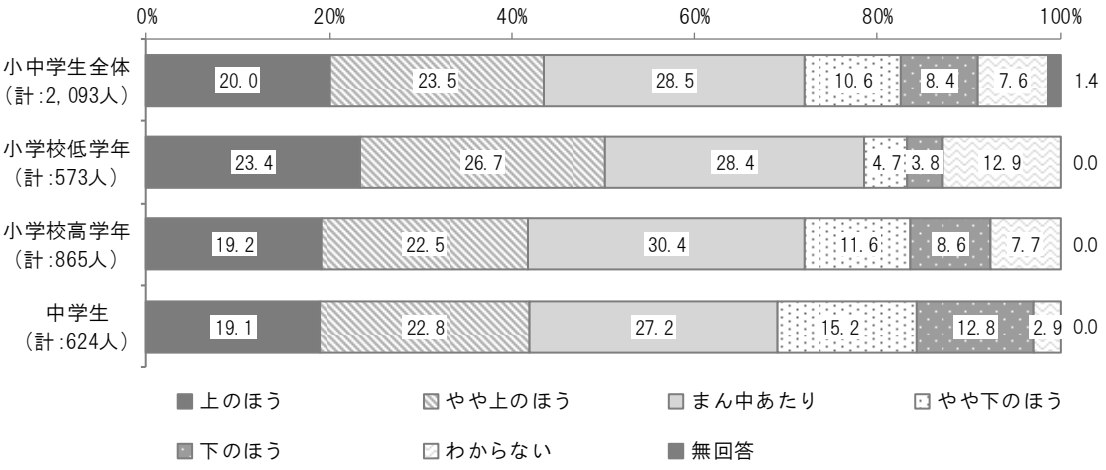

小学校高学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:19人）
5.3
47.4
47.4
0.0
低所得層Ⅱ（計:14人）
0.0
78.6
21.4
0.0
一般層（計:71人）
7.0
63.4
29.6
0.0
生活困窮世帯（計:52人）
1.9
57.7
40.4
0.0
非生活困窮世帯（計:74人）
8.1
59.5
32.4
0.0
ひとり親世帯（計:24人）
4.2
58.3
37.5
0.0
ふたり親世帯（計:101人）
5.9
58.4
35.6
0.0
小学１・２年生のころ
小学３・４年生のころ
小学５・６年生になってから
無回答

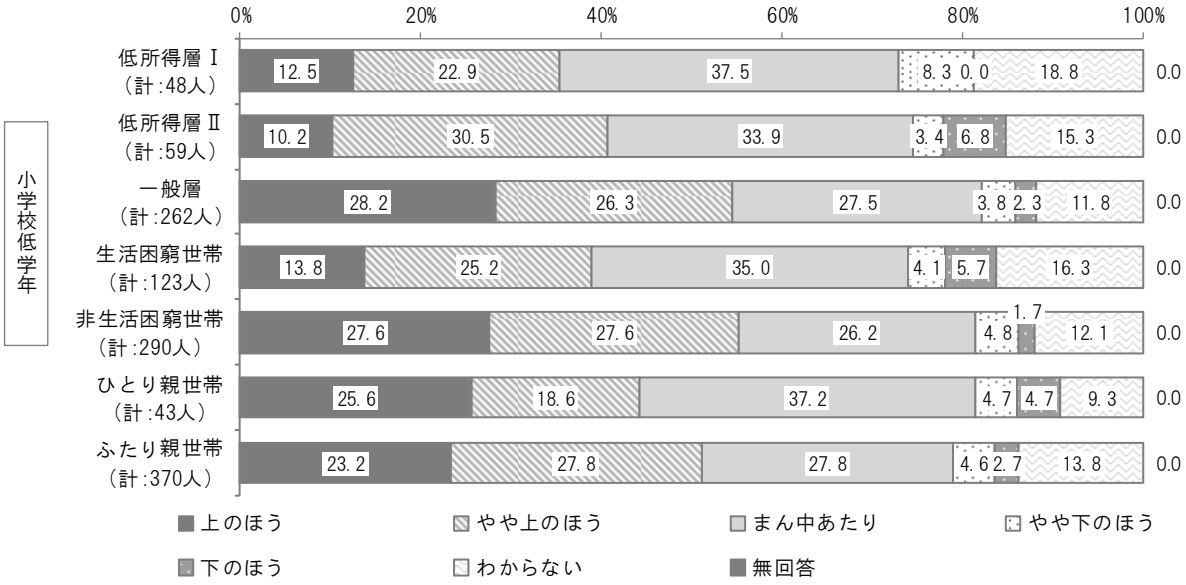

中学生
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:17人）
5.9
5.9
35.3
41.2
11.8
0.0
0.0
低所得層Ⅱ（計:24人）
4.2
4.2
20.8
58.3
12.5
0.0
0.0
一般層（計:59人）
3.4
11.9
13.6
49.2
22.0
0.0
0.0
生活困窮世帯（計:49人）
6.1
8.2
24.5
44.9
16.3
0.0
0.0
非生活困窮世帯（計:70人）
2.9
11.4
12.9
54.3
18.6
0.0
0.0
ひとり親世帯（計:20人）
5.0
10.0
20.0
50.0
15.0
0.0
0.0
ふたり親世帯（計:97人）
4.1
10.3
15.5
51.5
18.6
0.0
0.0
小学１・２年生のころ
小学３・４年生のころ
小学５・６年生のころ
４．中学１年生のころ
５．中学２年生のころ
６．中学３年生のころ
無回答

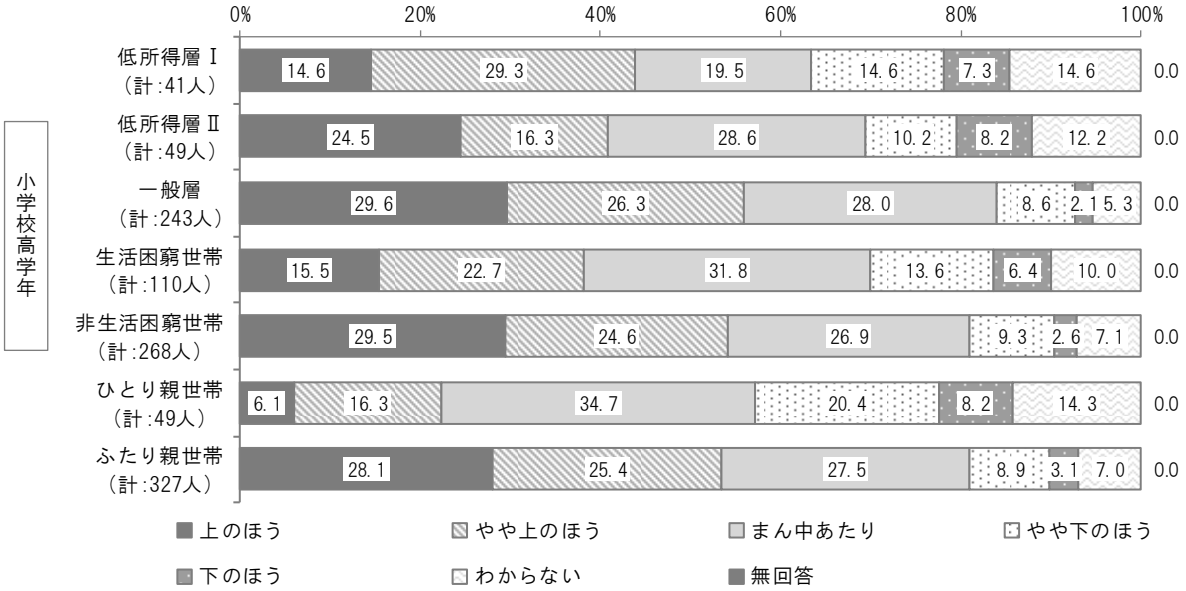
ウ．クラスの中での成績

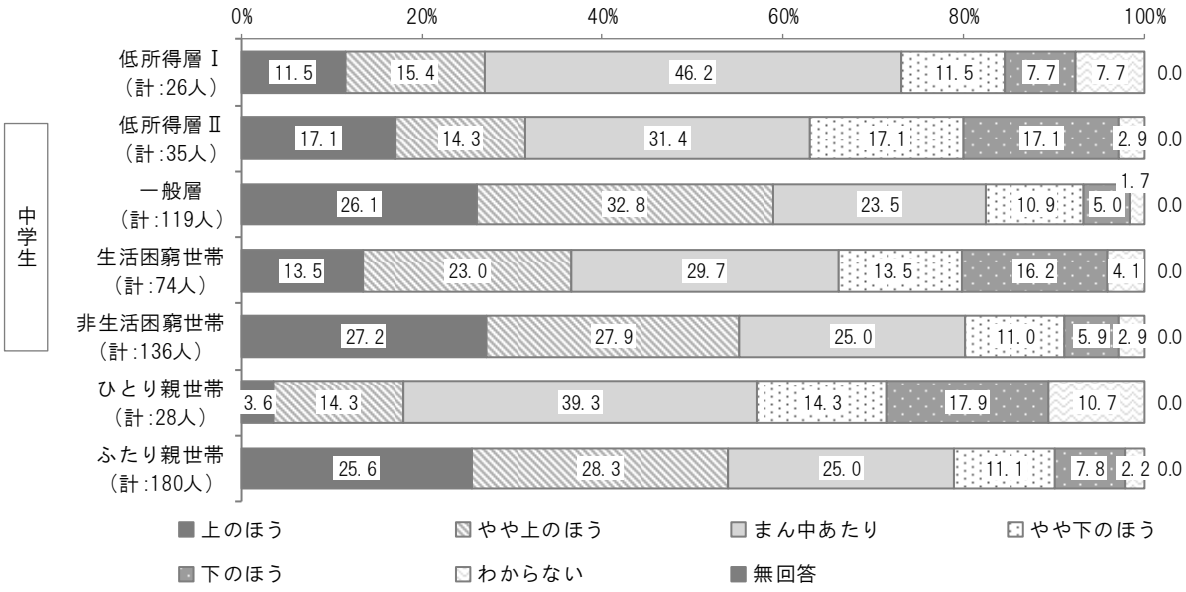
＜小学生・中学生票＞問５　あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。
（１つに○）

- ◆ あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますかとたずねたところ、小中学生全体では「まん中あたり」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、28.5%となっています。次いで、「やや上のほう」（23.5%）、「上のほう」（20.0%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、非生活困窮世帯を除き全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「まん中あたり」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯で「まん中以上（「上のほう」＋「やや上のほう」＋「まん中あたり」）」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「まん中以上（「上のほう」＋「やや上のほう」＋「まん中あたり」）」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「まん中以上（「上のほう」＋「やや上のほう」＋「まん中あたり」）」と回答した生徒の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。




小学校低学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:48人）
12.5 22.9 37.5 8.3 0.0 18.8 0.0
低所得層Ⅱ（計:59人）
10.2 30.5 33.9 3.4 6.8 15.3 0.0
一般層（計:262人）
28.2 26.3 27.5 3.8 2.3 11.8 0.0
生活困窮世帯（計:123人）
13.8 25.2 35.0 4.1 5.7 16.3 0.0
非生活困窮世帯（計:290人）
27.6 27.6 26.2 4.8 1.7 12.1 0.0
ひとり親世帯（計:43人）
25.6 18.6 37.2 4.7 4.7 9.3 0.0
ふたり親世帯（計:370人）
23.2 27.8 27.8 4.6 2.7 13.8 0.0
上のほう
やや上のほう
まん中あたり
やや下のほう
下のほう
わからない
無回答


小学校高学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:41人）
14.6 29.3 19.5 14.6 7.3 14.6 0.0
低所得層Ⅱ（計:49人）
24.5 16.3 28.6 10.2 8.2 12.2 0.0
一般層（計:243人）
29.6 26.3 28.0 8.6 2.1 5.3 0.0
生活困窮世帯（計:110人）
15.5 22.7 31.8 13.6 6.4 10.0 0.0
非生活困窮世帯（計:268人）
29.5 24.6 26.9 9.3 2.6 7.1 0.0
ひとり親世帯（計:49人）
6.1 16.3 34.7 20.4 8.2 14.3 0.0
ふたり親世帯（計:327人）
28.1 25.4 27.5 8.9 3.1 7.0 0.0
上のほう
やや上のほう
まん中あたり
やや下のほう
下のほう
わからない
無回答

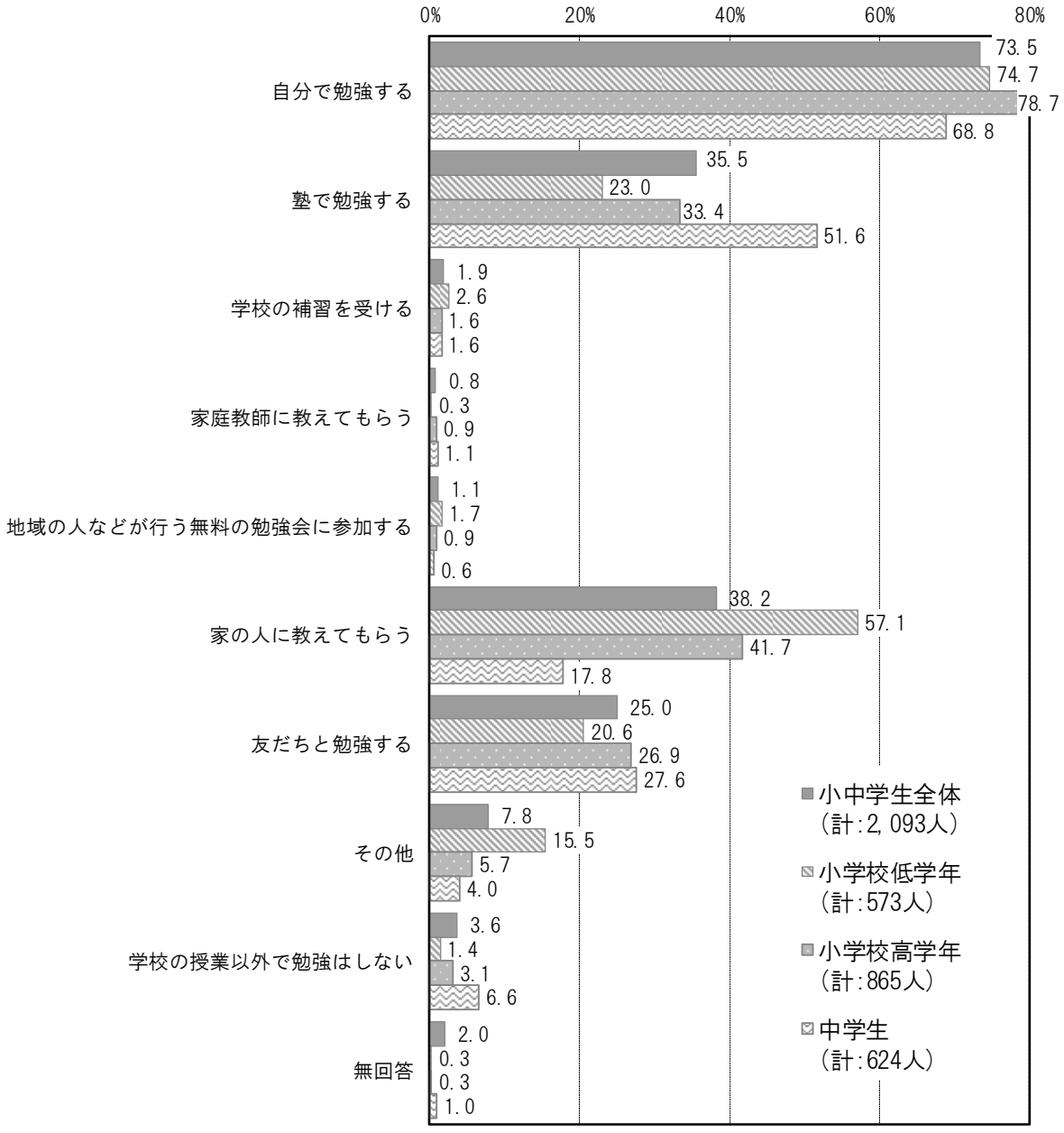

中学生
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
11.5 15.4 46.2 11.5 7.7 7.7 0.0
低所得層Ⅱ（計:35人）
17.1 14.3 31.4 17.1 17.1 2.9 0.0
一般層（計:119人）
26.1 32.8 23.5 10.9 5.0 1.7 0.0
生活困窮世帯（計:74人）
13.5 23.0 29.7 13.5 16.2 4.1 0.0
非生活困窮世帯（計:136人）
27.2 27.9 25.0 11.0 5.9 2.9 0.0
ひとり親世帯（計:28人）
3.6 14.3 39.3 14.3 17.9 10.7 0.0
ふたり親世帯（計:180人）
25.6 28.3 25.0 11.1 7.8 2.2 0.0
上のほう
やや上のほう
まん中あたり
やや下のほう
下のほう
わからない
無回答

b）学校以外での学習状況

ア．学校以外での勉強方法

＜小学生・中学生票＞問３　あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。勉強には学校の宿題もふくみます。（あてはまるものすべてに○）

- ◆ あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますかとたずねたところ、小中学生全体では「自分で勉強する」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、73.5%となっています。次いで、「家の人に教えてもらう」（38.2%）、「塾で勉強する」（35.5%）となっています。
- ◆ 小学校低学年・高学年では、困窮分類に関わらず概ね全体同様の傾向となっています。
- ◆ 中学生では、「友だちと勉強する」と回答した生徒の割合が高くなっています。



（%）		自分で勉強する	塾で勉強する	学校の補習を受ける	家庭教師に教えてもらう	地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	家の人に教えてもらう	友だちと勉強する	その他	学校の授業以外で勉強はしない	無回答
小学校低学年	低所得層Ⅰ（計:48人）	79.2	22.9	10.4	0.0	6.3	52.1	29.2	8.3	0.0	0.0
	低所得層Ⅱ（計:59人）	69.5	15.3	1.7	0.0	1.7	61.0	15.3	16.9	1.7	0.0
	一般層（計:262人）	76.7	23.7	1.5	0.4	1.1	56.5	23.7	17.9	1.1	0.8
	生活困窮世帯（計:123人）	69.9	18.7	4.1	0.0	2.4	58.5	22.8	12.2	1.6	0.0
	非生活困窮世帯（計:290人）	78.6	23.8	2.1	0.3	1.7	57.2	22.1	18.6	1.0	0.7
	ひとり親世帯（計:43人）	90.7	11.6	4.7	0.0	9.3	48.8	23.3	11.6	0.0	0.0
	ふたり親世帯（計:370人）	74.3	23.5	2.4	0.3	1.1	58.6	22.2	17.3	1.4	0.5

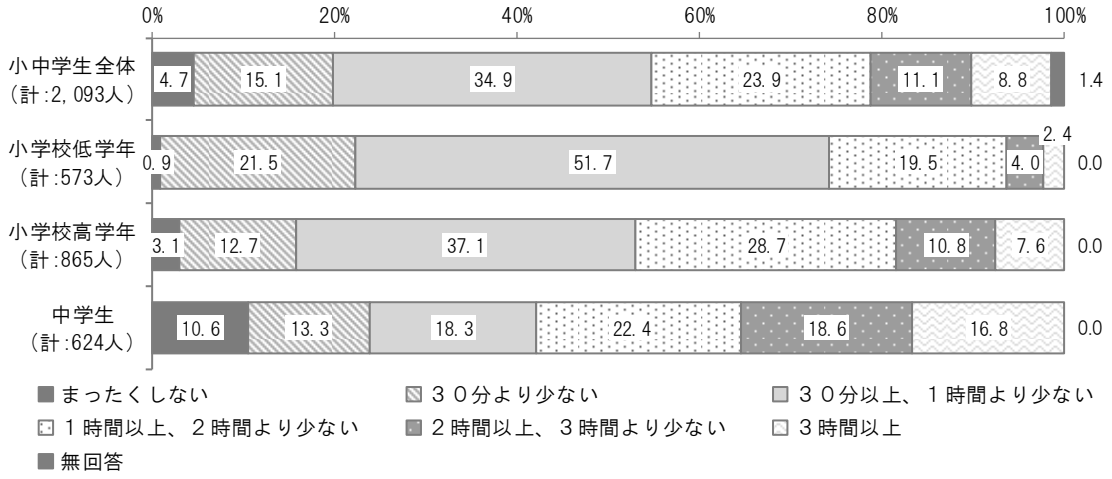
（%）		自分で勉強する	塾で勉強する	学校の補習を受ける	家庭教師に教えてもらう	地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	家の人に教えてもらう	友だちと勉強する	その他	学校の授業以外で勉強はしない	無回答
小学校高学年	低所得層Ⅰ（計:41人）	80.5	24.4	0.0	0.0	0.0	31.7	17.1	4.9	2.4	0.0
	低所得層Ⅱ（計:49人）	69.4	14.3	2.0	0.0	2.0	46.9	26.5	6.1	8.2	2.0
	一般層（計:243人）	80.7	44.0	1.2	0.4	0.0	46.9	22.2	4.9	1.2	0.0
	生活困窮世帯（計:110人）	80.9	24.5	1.8	0.9	0.0	44.5	28.2	7.3	3.6	0.9
	非生活困窮世帯（計:268人）	79.1	41.4	1.1	0.4	0.4	45.9	21.3	3.7	2.2	0.0
	ひとり親世帯（計:49人）	67.3	34.7	2.0	0.0	0.0	26.5	26.5	4.1	6.1	0.0
	ふたり親世帯（計:327人）	81.3	36.7	1.2	0.6	0.3	48.3	22.3	4.9	2.1	0.3

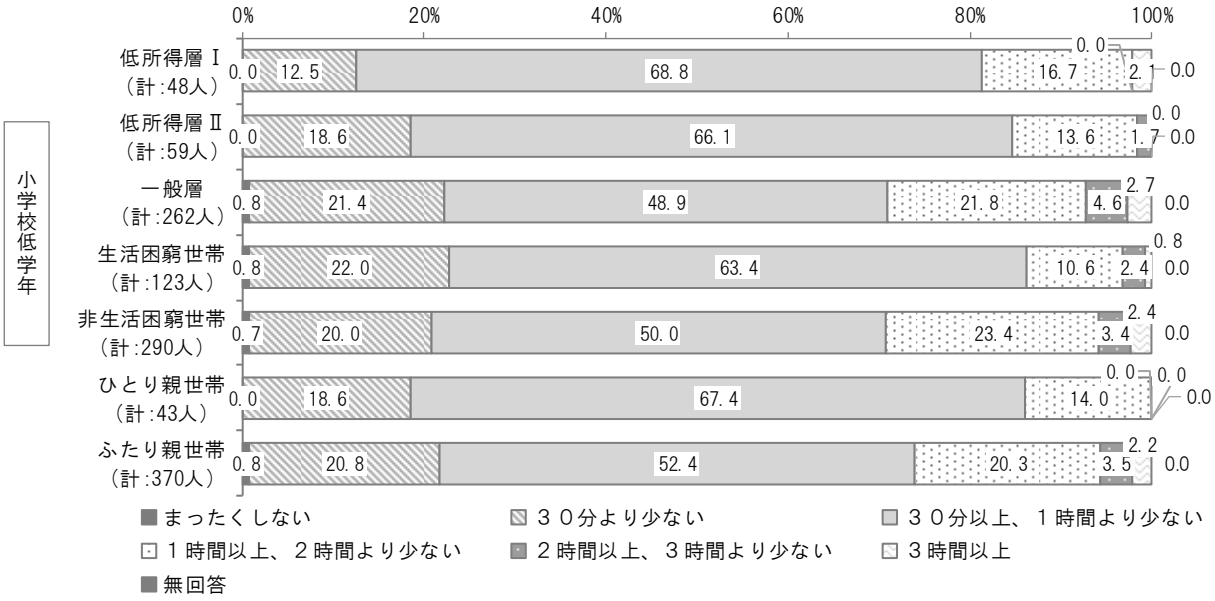
（%）		自分で勉強する	塾で勉強する	学校の補習を受ける	家庭教師に教えてもらう	地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	家の人に教えてもらう	友だちと勉強する	その他	学校の授業以外で勉強はしない	無回答
中学生	低所得層Ⅰ（計:26人）	84.6	23.1	0.0	0.0	0.0	19.2	38.5	7.7	0.0	0.0
	低所得層Ⅱ（計:35人）	74.3	40.0	5.7	0.0	0.0	20.0	31.4	5.7	5.7	0.0
	一般層（計:119人）	75.6	55.5	0.8	0.0	1.7	25.2	27.7	3.4	2.5	0.8
	生活困窮世帯（計:74人）	68.9	39.2	0.0	1.4	1.4	16.2	29.7	8.1	5.4	1.4
	非生活困窮世帯（計:136人）	80.1	51.5	2.2	0.0	0.7	24.3	30.1	1.5	2.2	0.0
	ひとり親世帯（計:28人）	78.6	32.1	0.0	0.0	0.0	21.4	35.7	10.7	3.6	0.0
	ふたり親世帯（計:180人）	75.6	49.4	1.7	0.6	1.1	21.7	28.9	2.8	3.3	0.6

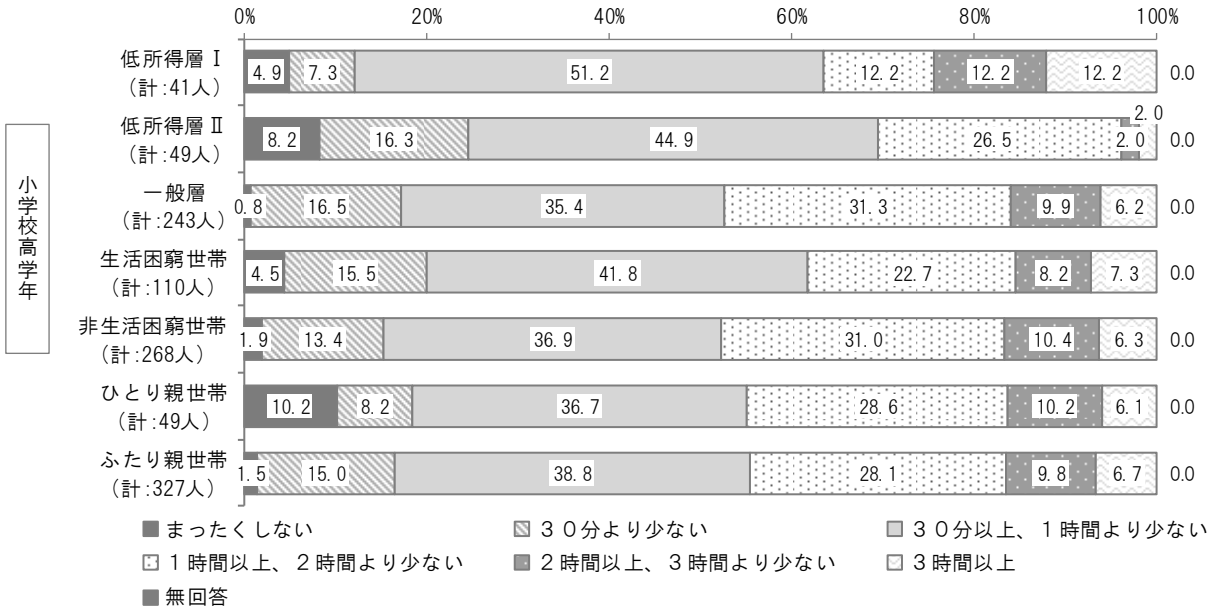
イ．学校の授業以外の勉強時間（①学校がある日（月～金曜日））

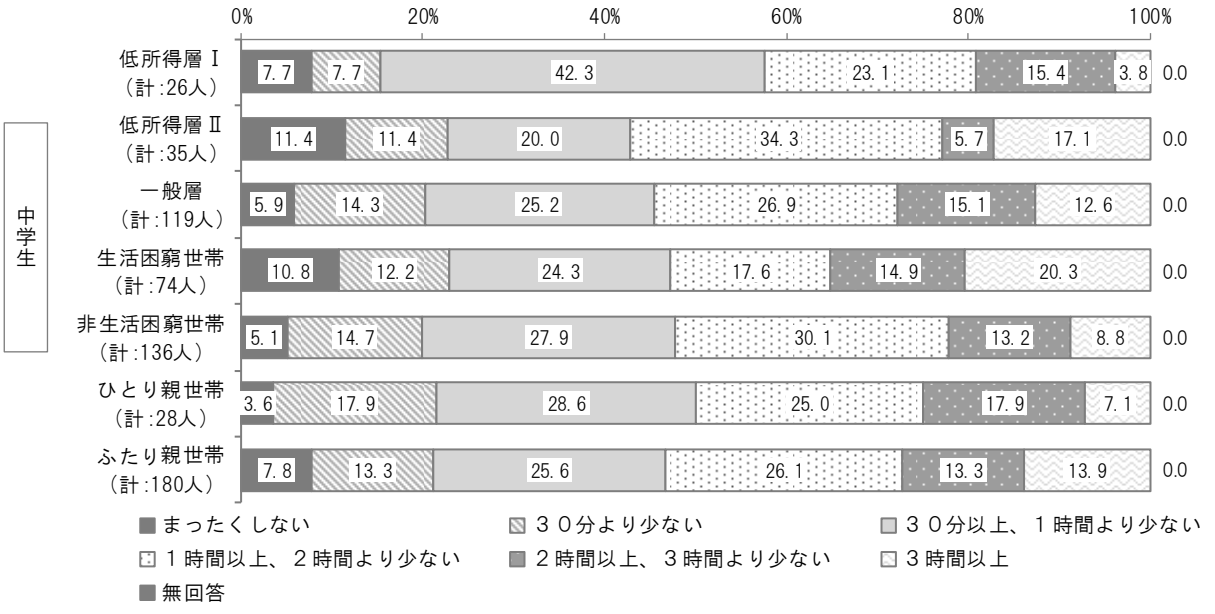
＜小学生・中学生票＞問４　あなたは、ふだん学校の授業以外に、１日どれくらいの時間勉強をしますか。学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。（①と②について、あてはまるもの１つに○）

- ◆ 学校がある日（月～金曜日）に、学校の授業以外に、１日どれくらいの時間勉強をしますかとたずねたところ、小中学生全体では「30 分以上、１時間より少ない」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、34.9%となっています。次いで、「１時間以上、２時間より少ない」（23.9%）、「30 分より少ない」（15.1%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「30 分以上、１時間より少ない」と回答した児童の割合が最も高くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「30 分以上、１時間より少ない」と回答した児童の割合が最も高くなっています。低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「まったくしない」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より高くなっています。
- ◆ 中学生では、困窮分類に関わらず「30 分以上、１時間より少ない」や「１時間以上、２時間より少ない」と回答した生徒の割合が高くなっています。低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ふたり親世帯で「まったくしない」と回答した生徒の割合が一般層、非生活困窮世帯より高くなっています。



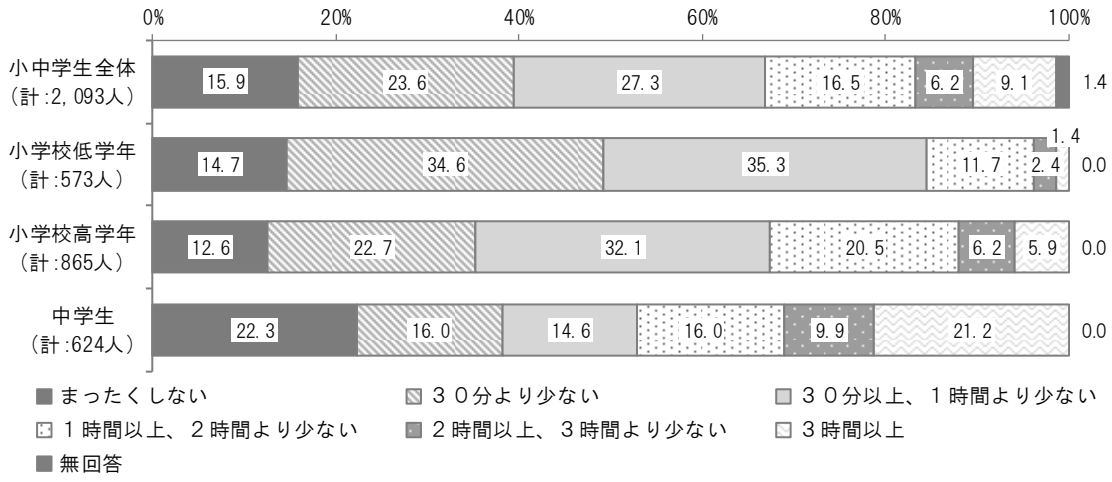

小学校低学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:48人）
0.0 12.5 68.8 16.7 2.1 0.0
低所得層Ⅱ（計:59人）
0.0 18.6 66.1 13.6 1.7 0.0
一般層（計:262人）
0.8 21.4 48.9 21.8 4.6 2.7 0.0
生活困窮世帯（計:123人）
0.8 22.0 63.4 10.6 2.4 0.8 0.0
非生活困窮世帯（計:290人）
0.7 20.0 50.0 23.4 3.4 2.4 0.0
ひとり親世帯（計:43人）
0.0 18.6 67.4 14.0 0.0 0.0
ふたり親世帯（計:370人）
0.8 20.8 52.4 20.3 3.5 2.2 0.0
まったくしない
３０分より少ない
３０分以上、１時間より少ない
１時間以上、２時間より少ない
２時間以上、３時間より少ない
３時間以上
無回答

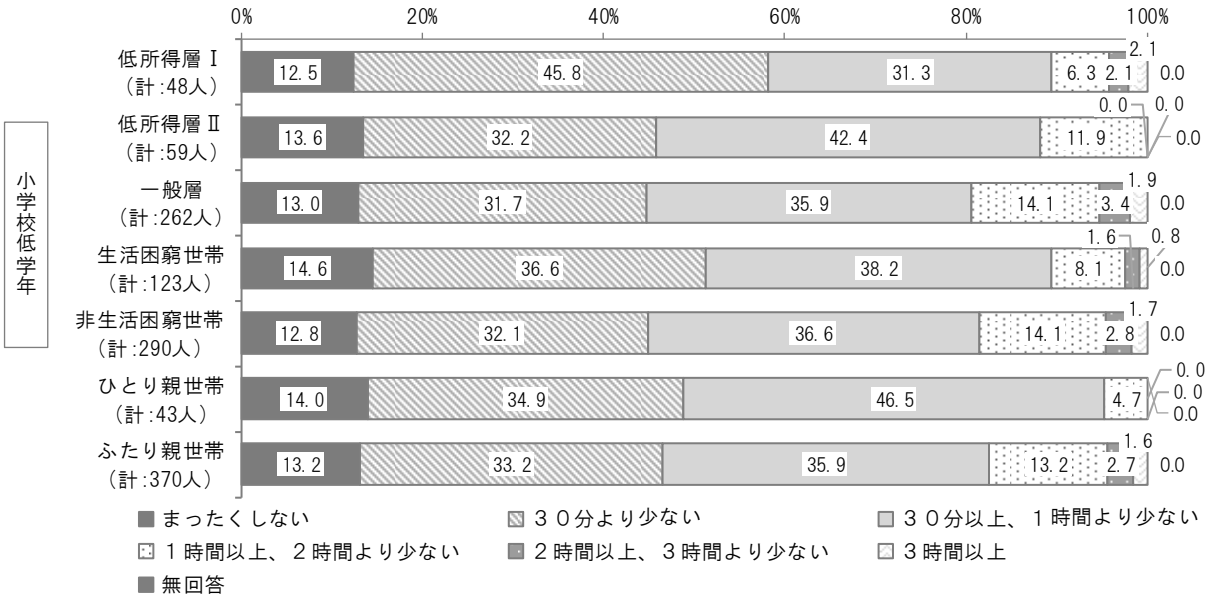

小学校高学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:41人）
4.9 7.3 51.2 12.2 12.2 12.2 0.0
低所得層Ⅱ（計:49人）
8.2 16.3 44.9 26.5 2.0 2.0 0.0
一般層（計:243人）
0.8 16.5 35.4 31.3 9.9 6.2 0.0
生活困窮世帯（計:110人）
4.5 15.5 41.8 22.7 8.2 7.3 0.0
非生活困窮世帯（計:268人）
1.9 13.4 36.9 31.0 10.4 6.3 0.0
ひとり親世帯（計:49人）
10.2 8.2 36.7 28.6 10.2 6.1 0.0
ふたり親世帯（計:327人）
1.5 15.0 38.8 28.1 9.8 6.7 0.0
まったくしない
３０分より少ない
３０分以上、１時間より少ない
１時間以上、２時間より少ない
２時間以上、３時間より少ない
３時間以上
無回答

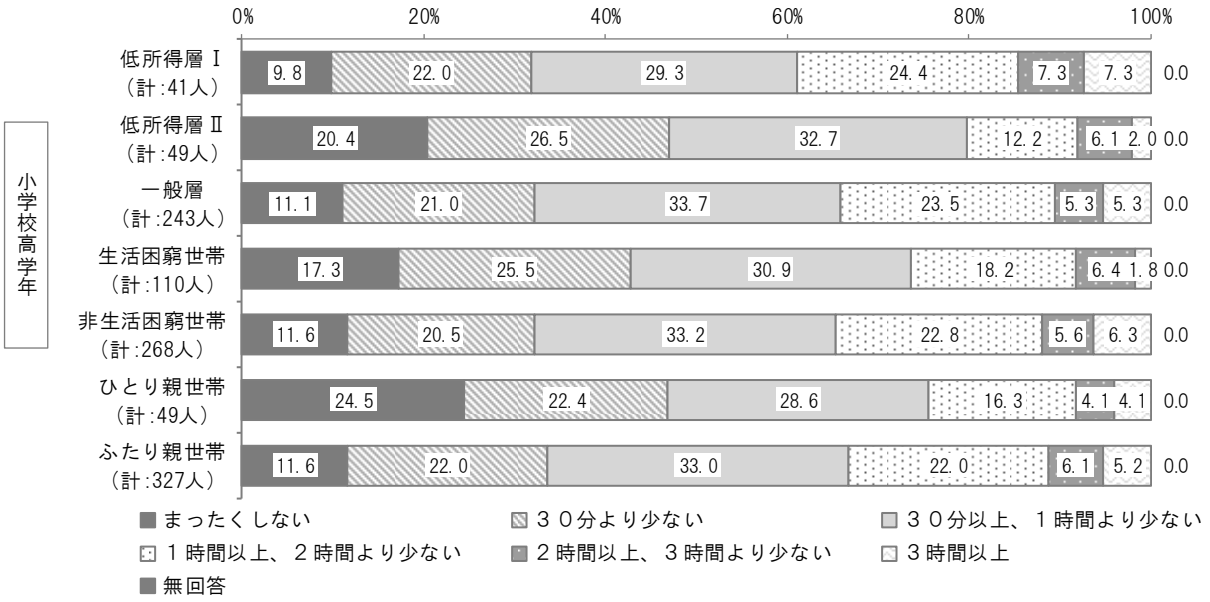

中学生
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
7.7 7.7 42.3 23.1 15.4 3.8 0.0
低所得層Ⅱ（計:35人）
11.4 11.4 20.0 34.3 5.7 17.1 0.0
一般層（計:119人）
5.9 14.3 25.2 26.9 15.1 12.6 0.0
生活困窮世帯（計:74人）
10.8 12.2 24.3 17.6 14.9 20.3 0.0
非生活困窮世帯（計:136人）
5.1 14.7 27.9 30.1 13.2 8.8 0.0
ひとり親世帯（計:28人）
3.6 17.9 28.6 25.0 17.9 7.1 0.0
ふたり親世帯（計:180人）
7.8 13.3 25.6 26.1 13.3 13.9 0.0
まったくしない
３０分より少ない
３０分以上、１時間より少ない
１時間以上、２時間より少ない
２時間以上、３時間より少ない
３時間以上
無回答

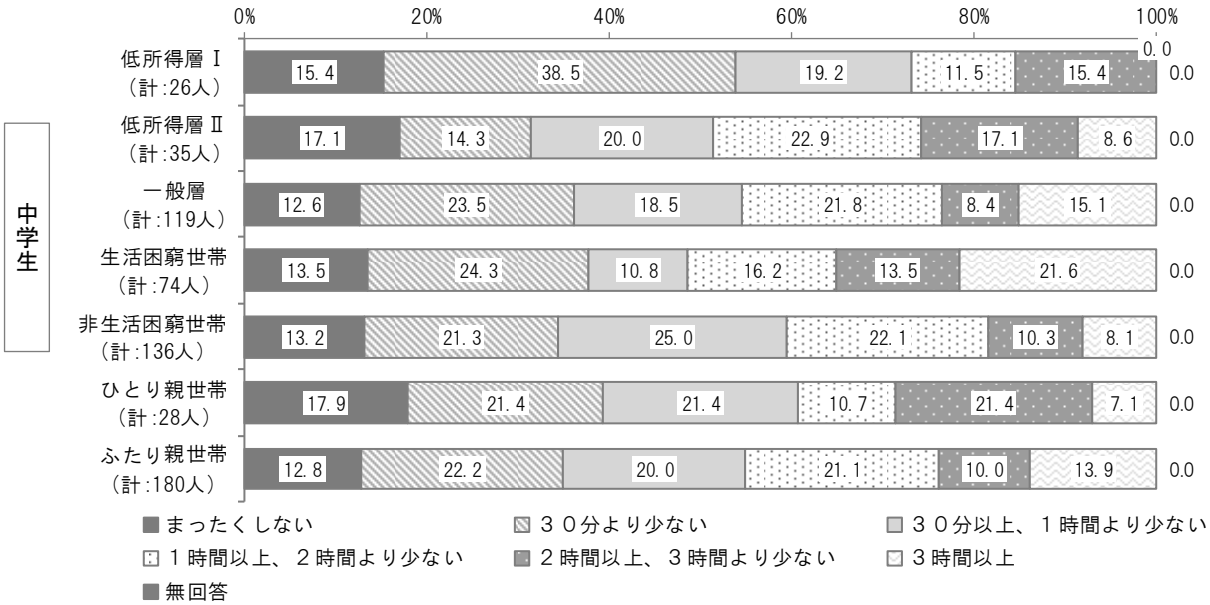
ウ．学校の授業以外の勉強時間（②学校がない日（土・日曜日・祝日））

- ◆ 学校がない日（土・日曜日・祝日）では、小中学生全体では「30 分以上、１時間より少ない」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、27.3%となっています。次いで、「30 分より少ない」（23.6%）、「１時間以上、２時間より少ない」（16.5%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、低所得層Ⅰを除き全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「30 分以上、１時間より少ない」と回答した児童の割合が最も高くなっています。低所得層Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「まったくしない」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯よりやや高くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「30 分以上、１時間より少ない」と回答した児童の割合が最も高くなっています。低所得層Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「まったくしない」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より高くなっています。
- ◆ 中学生では、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「まったくしない」と回答した生徒の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯よりやや高くなっています。




小学校低学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:48人）
12.5 45.8 31.3 6.3 2.1 2.1 0.0
低所得層Ⅱ（計:59人）
13.6 32.2 42.4 11.9 0.0 0.0 0.0
一般層（計:262人）
13.0 31.7 35.9 14.1 3.4 1.9 0.0
生活困窮世帯（計:123人）
14.6 36.6 38.2 8.1 1.6 0.8 0.0
非生活困窮世帯（計:290人）
12.8 32.1 36.6 14.1 2.8 1.7 0.0
ひとり親世帯（計:43人）
14.0 34.9 46.5 4.7 0.0 0.0 0.0
ふたり親世帯（計:370人）
13.2 33.2 35.9 13.2 2.7 1.6 0.0
まったくしない
３０分より少ない
３０分以上、１時間より少ない
１時間以上、２時間より少ない
２時間以上、３時間より少ない
３時間以上
無回答


小学校高学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:41人）
9.8 22.0 29.3 24.4 7.3 7.3 0.0
低所得層Ⅱ（計:49人）
20.4 26.5 32.7 12.2 6.1 2.0 0.0
一般層（計:243人）
11.1 21.0 33.7 23.5 5.3 5.3 0.0
生活困窮世帯（計:110人）
17.3 25.5 30.9 18.2 6.4 1.8 0.0
非生活困窮世帯（計:268人）
11.6 20.5 33.2 22.8 5.6 6.3 0.0
ひとり親世帯（計:49人）
24.5 22.4 28.6 16.3 4.1 4.1 0.0
ふたり親世帯（計:327人）
11.6 22.0 33.0 22.0 6.1 5.2 0.0
まったくしない
３０分より少ない
３０分以上、１時間より少ない
１時間以上、２時間より少ない
２時間以上、３時間より少ない
３時間以上
無回答


中学生
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
15.4 38.5 19.2 11.5 15.4 0.0 0.0
低所得層Ⅱ（計:35人）
17.1 14.3 20.0 22.9 17.1 8.6 0.0
一般層（計:119人）
12.6 23.5 18.5 21.8 8.4 15.1 0.0
生活困窮世帯（計:74人）
13.5 24.3 10.8 16.2 13.5 21.6 0.0
非生活困窮世帯（計:136人）
13.2 21.3 25.0 22.1 10.3 8.1 0.0
ひとり親世帯（計:28人）
17.9 21.4 21.4 10.7 21.4 7.1 0.0
ふたり親世帯（計:180人）
12.8 22.2 20.0 21.1 10.0 13.9 0.0
まったくしない
３０分より少ない
３０分以上、１時間より少ない
１時間以上、２時間より少ない
２時間以上、３時間より少ない
３時間以上
無回答

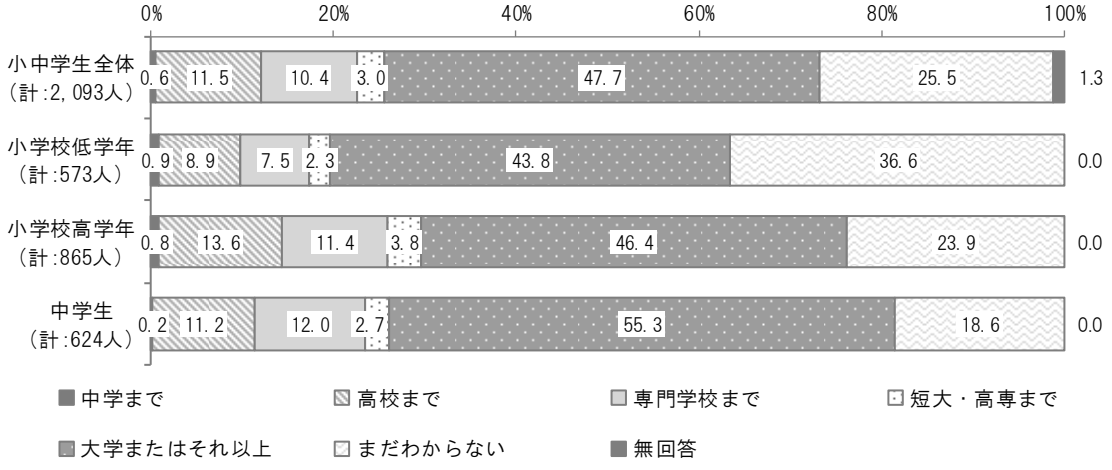
（２）進路について（児童・生徒、保護者）

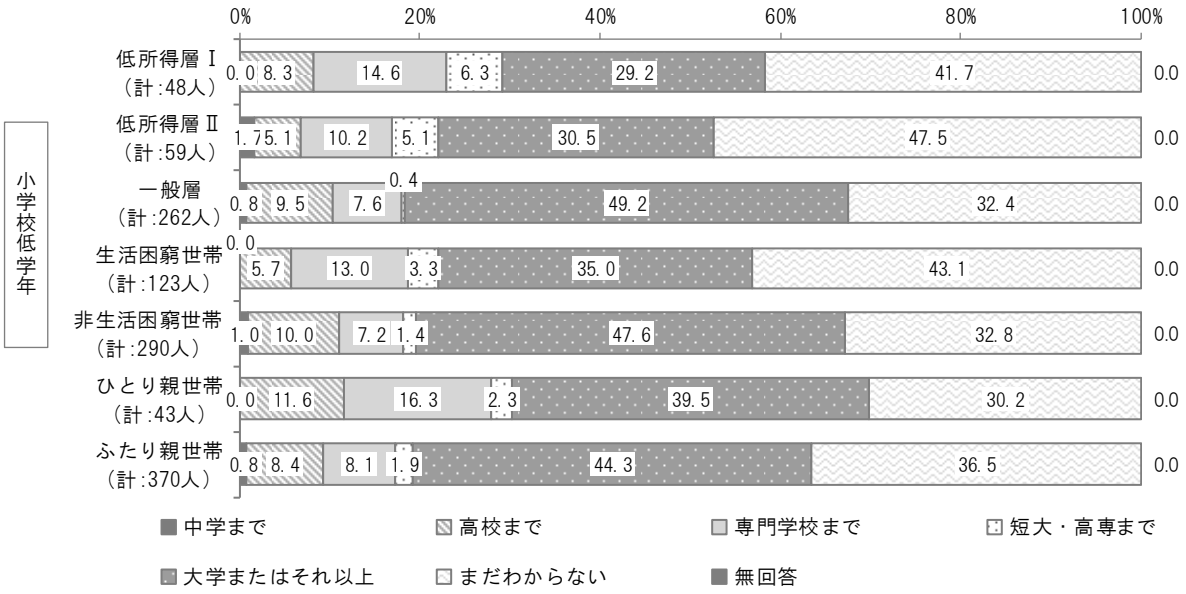
ａ）進路について（児童・生徒）

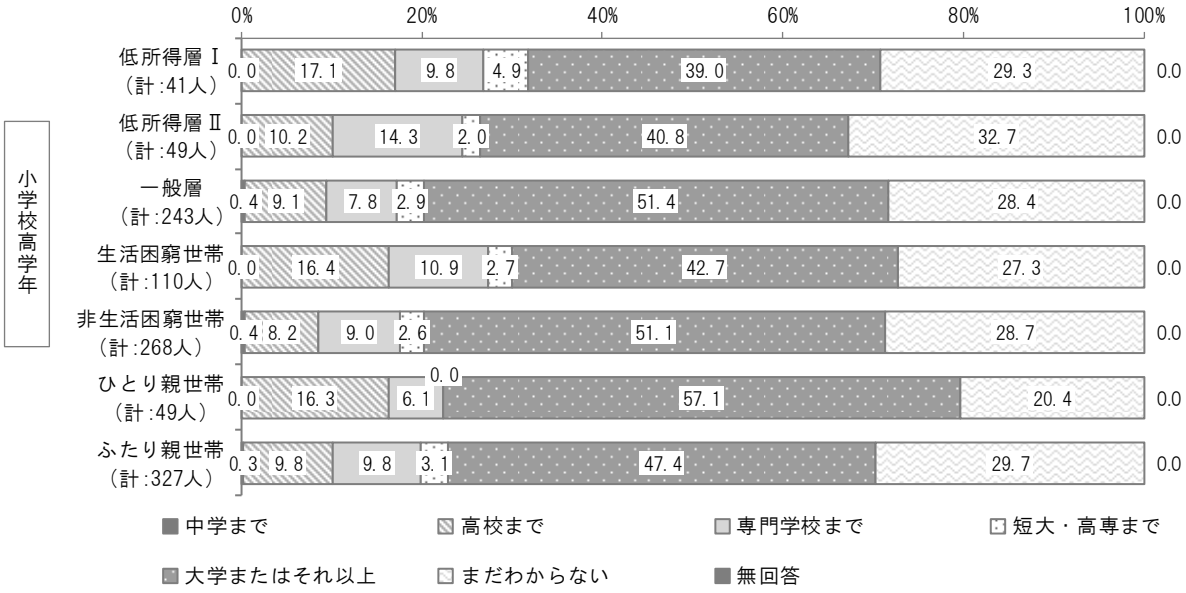
ア．将来の進路について

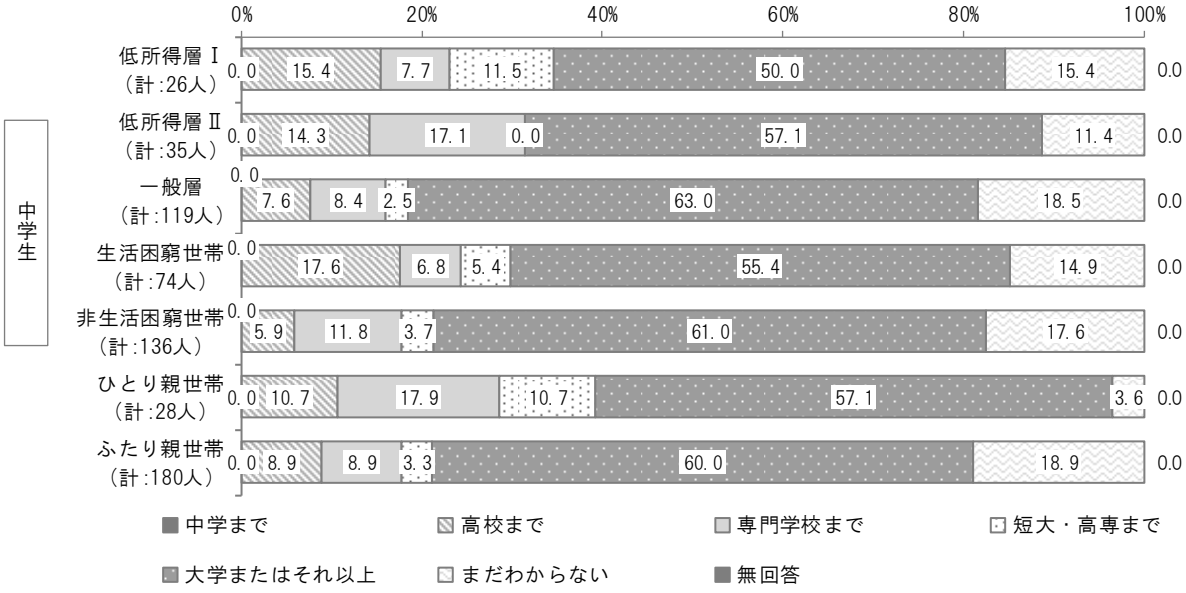
＜小学生・中学生票＞問７　あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。（１つに○）

- ◆ 将来、どの段階まで進学したいですかとたずねたところ、小中学生全体では「大学またはそれ以上」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、47.7%となっています。次いで、「まだわからない」（25.5%）、「高校まで」（11.5%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、低所得層Ⅰ・Ⅱと生活困窮世帯を除き全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「大学またはそれ以上」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「大学またはそれ以上」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「大学またはそれ以上」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯で「大学またはそれ以上」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「大学またはそれ以上」と回答した生徒の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「大学またはそれ以上」と回答した生徒の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。




小学校低学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:48人）
0.0 8.3 14.6 6.3 29.2 41.7 0.0
低所得層Ⅱ（計:59人）
1.7 5.1 10.2 5.1 30.5 47.5 0.0
一般層（計:262人）
0.8 9.5 7.6 0.4 49.2 32.4 0.0
生活困窮世帯（計:123人）
0.0 5.7 13.0 3.3 35.0 43.1 0.0
非生活困窮世帯（計:290人）
1.0 10.0 7.2 1.4 47.6 32.8 0.0
ひとり親世帯（計:43人）
0.0 11.6 16.3 2.3 39.5 30.2 0.0
ふたり親世帯（計:370人）
0.8 8.4 8.1 1.9 44.3 36.5 0.0
中学まで
高校まで
専門学校まで
短大・高専まで
大学またはそれ以上
まだわからない
無回答

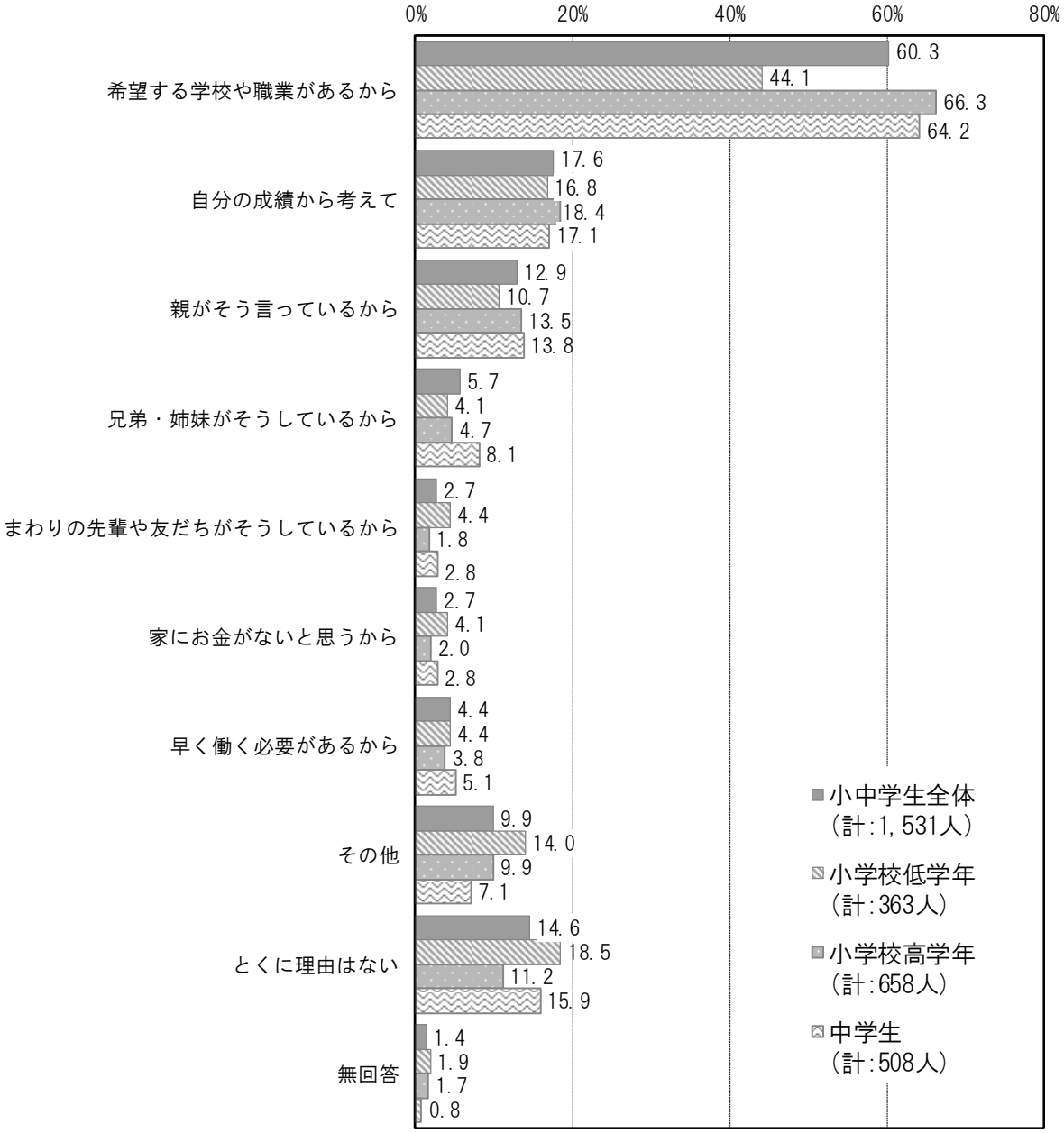

小学校高学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:41人）
0.0 17.1 9.8 4.9 39.0 29.3 0.0
低所得層Ⅱ（計:49人）
0.0 10.2 14.3 2.0 40.8 32.7 0.0
一般層（計:243人）
0.4 9.1 7.8 2.9 51.4 28.4 0.0
生活困窮世帯（計:110人）
0.0 16.4 10.9 2.7 42.7 27.3 0.0
非生活困窮世帯（計:268人）
0.4 8.2 9.0 2.6 51.1 28.7 0.0
ひとり親世帯（計:49人）
0.0 16.3 6.1 0.0 57.1 20.4 0.0
ふたり親世帯（計:327人）
0.3 9.8 9.8 3.1 47.4 29.7 0.0
中学まで
高校まで
専門学校まで
短大・高専まで
大学またはそれ以上
まだわからない
無回答


中学生
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
0.0 15.4 7.7 11.5 50.0 15.4 0.0
低所得層Ⅱ（計:35人）
0.0 14.3 17.1 0.0 57.1 11.4 0.0
一般層（計:119人）
0.0 7.6 8.4 2.5 63.0 18.5 0.0
生活困窮世帯（計:74人）
0.0 17.6 6.8 5.4 55.4 14.9 0.0
非生活困窮世帯（計:136人）
0.0 5.9 11.8 3.7 61.0 17.6 0.0
ひとり親世帯（計:28人）
0.0 10.7 17.9 10.7 57.1 3.6 0.0
ふたり親世帯（計:180人）
0.0 8.9 8.9 3.3 60.0 18.9 0.0
中学まで
高校まで
専門学校まで
短大・高専まで
大学またはそれ以上
まだわからない
無回答

イ．将来の進路を選択した理由

＜小学生・中学生票＞問７-１　《問７で１～５を選んだ人にお聞きします。》
その理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

- ◆ 問７で１～５を選んだ児童・生徒に、その理由をたずねたところ、小中学生全体では「希望する学校や職業があるから」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、60.3%となっています。次いで、「自分の成績から考えて」（17.6%）、「親がそう言っているから」（12.9%）となっています。
- ◆ 小学校低学年・高学年、中学生では、困窮分類に関わらず概ね全体同様の傾向となっています。



	（%）	希望する学校や職業があるから	自分の成績から考えて	親がそう言っているから	兄弟・姉妹がそうしているから	まわりの先輩や友だちがそうしているから	家にお金がないと思うから	早く働く必要があるから	その他	とくに理由はない	無回答
小学校低学年	低所得層Ⅰ（計:28人）	42.9	14.3	0.0	0.0	10.7	14.3	7.1	14.3	17.9	3.6
	低所得層Ⅱ（計:31人）	22.6	29.0	3.2	0.0	6.5	6.5	0.0	19.4	19.4	0.0
	一般層（計:177人）	48.6	14.7	9.6	5.1	2.3	2.3	2.8	15.3	19.8	2.3
	生活困窮世帯（計:70人）	40.0	15.7	5.7	4.3	7.1	5.7	4.3	17.1	15.7	1.4
	非生活困窮世帯（計:195人）	46.2	17.9	9.7	4.1	3.1	3.6	3.1	14.4	20.5	2.1
	ひとり親世帯（計:30人）	50.0	20.0	6.7	6.7	6.7	10.0	6.7	6.7	16.7	0.0
	ふたり親世帯（計:235人）	43.8	17.0	8.9	3.8	3.8	3.4	3.0	16.2	19.6	2.1

	（%）	希望する学校や職業があるから	自分の成績から考えて	親がそう言っているから	兄弟・姉妹がそうしているから	まわりの先輩や友だちがそうしているから	家にお金がないと思うから	早く働く必要があるから	その他	とくに理由はない	無回答
小学校高学年	低所得層Ⅰ（計:29人）	55.2	10.3	13.8	3.4	3.4	3.4	3.4	0.0	24.1	0.0
	低所得層Ⅱ（計:33人）	63.6	21.2	12.1	3.0	3.0	0.0	0.0	9.1	9.1	0.0
	一般層（計:174人）	64.9	18.4	12.1	3.4	1.1	1.1	4.0	11.5	11.5	2.3
	生活困窮世帯（計:80人）	57.5	13.8	12.5	2.5	2.5	3.8	6.3	8.8	12.5	2.5
	非生活困窮世帯（計:191人）	64.9	19.9	11.5	3.7	1.0	0.5	3.1	10.5	13.6	1.0
	ひとり親世帯（計:39人）	71.8	12.8	5.1	0.0	0.0	5.1	7.7	10.3	10.3	0.0
	ふたり親世帯（計:230人）	61.3	19.1	13.0	3.9	1.7	0.9	3.5	10.0	13.5	1.7

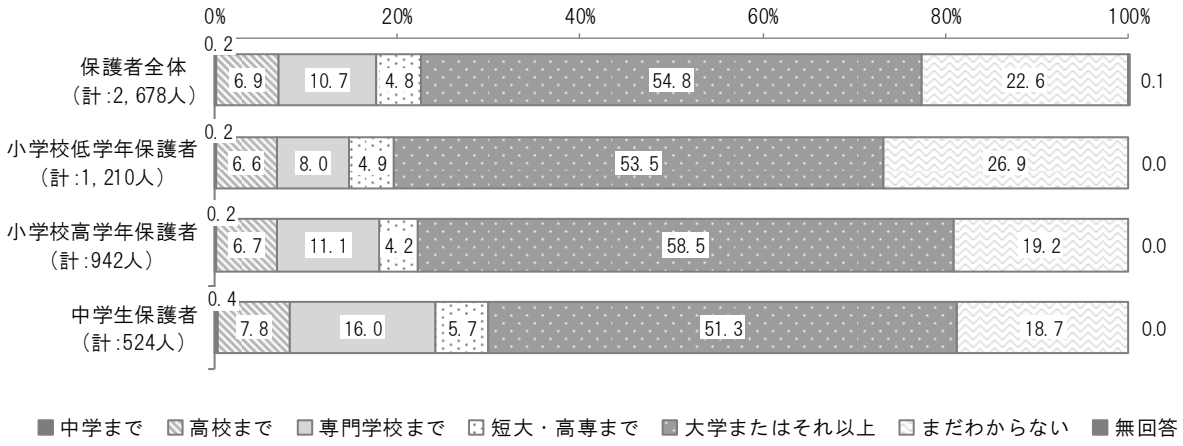
	（%）	希望する学校や職業があるから	自分の成績から考えて	親がそう言っているから	兄弟・姉妹がそうしているから	まわりの先輩や友だちがそうしているから	家にお金がないと思うから	早く働く必要があるから	その他	とくに理由はない	無回答
中学生	低所得層Ⅰ（計:22人）	68.2	31.8	4.5	0.0	0.0	4.5	9.1	4.5	9.1	4.5
	低所得層Ⅱ（計:31人）	58.1	19.4	16.1	12.9	0.0	3.2	3.2	9.7	19.4	0.0
	一般層（計:97人）	66.0	18.6	9.3	9.3	1.0	3.1	7.2	4.1	18.6	0.0
	生活困窮世帯（計:63人）	58.7	22.2	4.8	6.3	0.0	9.5	7.9	6.3	15.9	1.6
	非生活困窮世帯（計:112人）	69.6	20.5	13.4	8.0	0.9	1.8	5.4	6.3	15.2	0.0
	ひとり親世帯（計:27人）	70.4	29.6	11.1	0.0	0.0	11.1	11.1	3.7	11.1	0.0
	ふたり親世帯（計:146人）	65.1	19.9	9.6	8.9	0.7	2.7	4.8	6.8	16.4	0.7

ｂ）進路について（保護者）

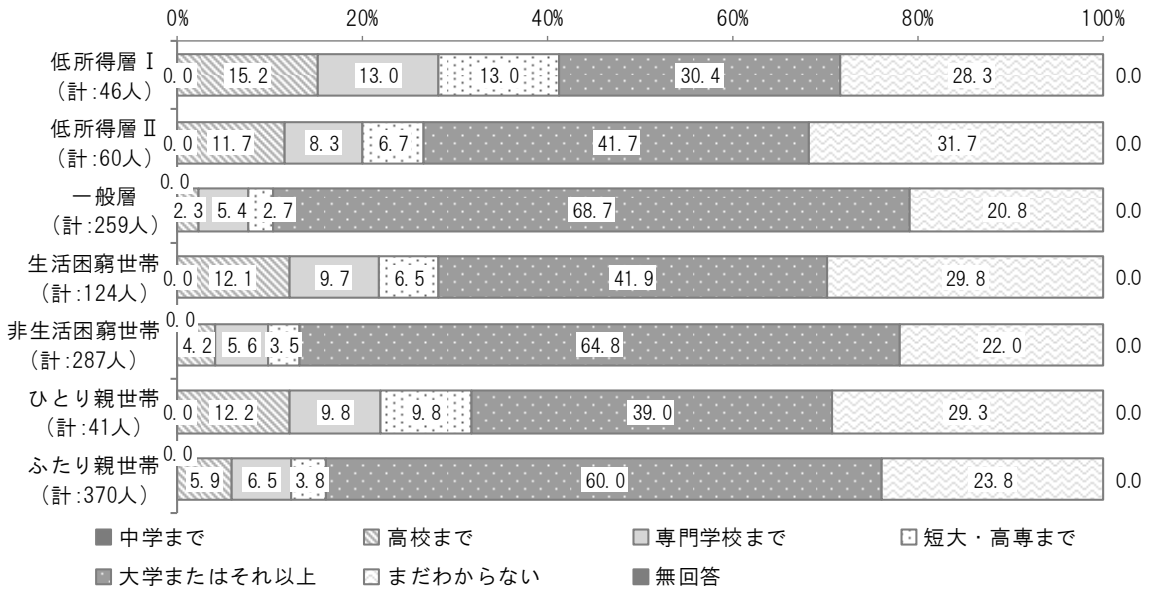
ア．将来の進路について

＜保護者票＞問 14　お子さんは将来、現実的に見てどの段階まで進学すると思いますか。
（１つに○）

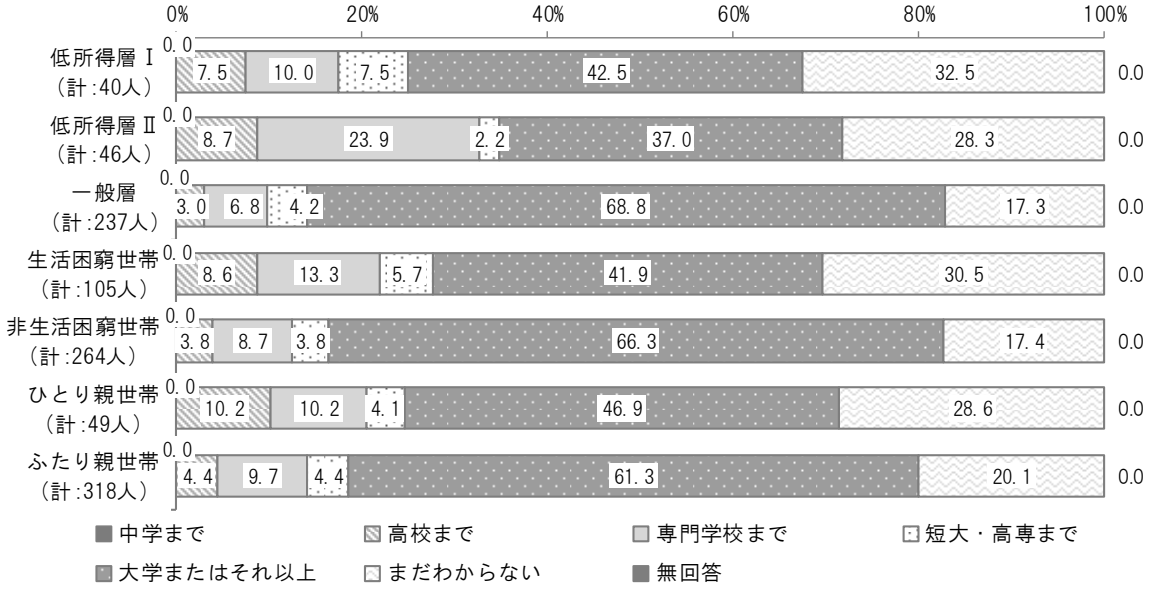
- ◆ お子さんは将来、現実的に見てどの段階まで進学すると思いますかとたずねたところ、保護者全体では「大学またはそれ以上」と回答した保護者の割合が最も高く、54.8%となっています。次いで、「まだわからない」(22.6%)、「専門学校まで」(10.7%)となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「大学またはそれ以上」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「大学またはそれ以上」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「大学またはそれ以上」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「大学またはそれ以上」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、低所得層Ⅰを除き全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「大学またはそれ以上」と回答した生徒の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「大学またはそれ以上」と回答した生徒の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



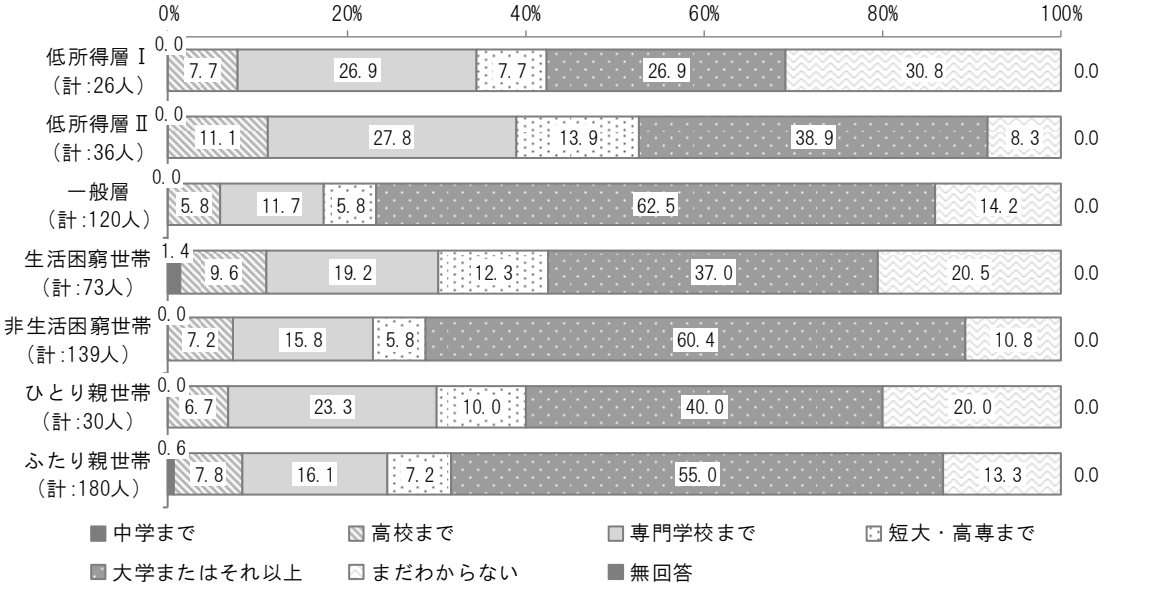
小学校低学年保護者



小学校高学年保護者



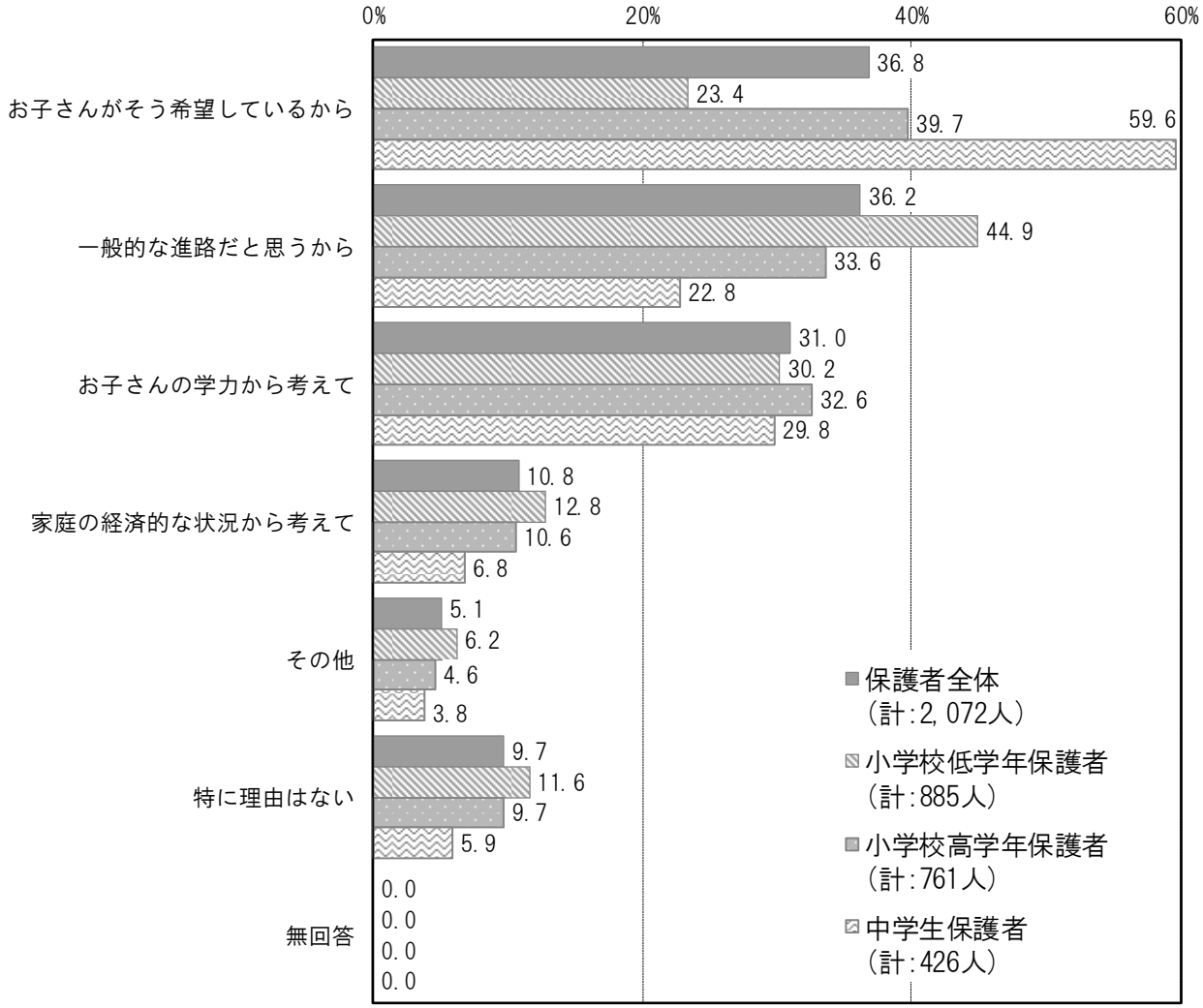
中学生保護者



イ．将来の進路を選択した理由

＜保護者票＞問 14-1　《問 14 で「１～５」を選んだ方にお聞きします。》
その理由はなんですか。（あてはまるものすべてに○）

- ◆ 問 14 で１～５を選んだ方に、その理由をたずねたところ、保護者全体では「お子さんがそう希望しているから」と回答した保護者の割合が最も高く、36.8%となっています。次いで、「一般的な進路だと思うから」（36.2%）、「お子さんの学力から考えて」（31.0%）となっています。
- ◆ 小学校低学年・高学年、中学生では、困窮分類に関わらず概ね全体同様の傾向となっています。



	（%）	お子さんがそう希望しているから	一般的な進路だと思うから	お子さんの学力から考えて	家庭の経済的な状況から考えて	その他	特に理由はない	無回答
小学校低学年保護者	低所得層Ⅰ（計:33人）	42.4	21.2	30.3	12.1	3.0	15.2	0.0
	低所得層Ⅱ（計:41人）	14.6	39.0	31.7	4.9	17.1	9.8	0.0
	一般層（計:205人）	31.7	49.3	30.2	10.7	4.4	9.3	0.0
	生活困窮世帯（計:87人）	27.6	33.3	27.6	13.8	11.5	8.0	0.0
	非生活困窮世帯（計:224人）	29.5	50.0	32.1	7.6	5.8	10.3	0.0
	ひとり親世帯（計:29人）	34.5	24.1	13.8	13.8	17.2	17.2	0.0
	ふたり親世帯（計:282人）	28.4	47.5	32.6	8.9	6.4	8.9	0.0

	（%）	お子さんがそう希望しているから	一般的な進路だと思うから	お子さんの学力から考えて	家庭の経済的な状況から考えて	その他	特に理由はない	無回答
小学校高学年保護者	低所得層Ⅰ（計:27人）	29.6	18.5	37.0	14.8	0.0	18.5	0.0
	低所得層Ⅱ（計:33人）	42.4	36.4	36.4	3.0	3.0	9.1	0.0
	一般層（計:196人）	41.3	35.2	32.1	10.7	3.6	7.7	0.0
	生活困窮世帯（計:73人）	38.4	28.8	24.7	8.2	8.2	11.0	0.0
	非生活困窮世帯（計:218人）	41.7	33.5	35.3	9.6	3.2	8.3	0.0
	ひとり親世帯（計:35人）	34.3	25.7	22.9	11.4	5.7	20.0	0.0
	ふたり親世帯（計:254人）	41.3	33.5	34.3	9.1	4.3	7.5	0.0

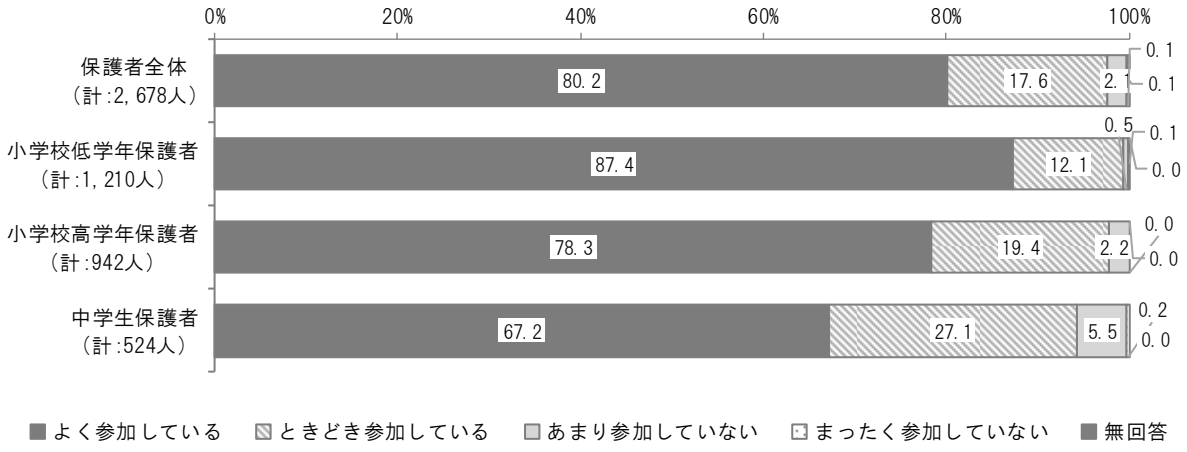
	（%）	お子さんがそう希望しているから	一般的な進路だと思うから	お子さんの学力から考えて	家庭の経済的な状況から考えて	その他	特に理由はない	無回答
中学生保護者	低所得層Ⅰ（計:18人）	66.7	16.7	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0
	低所得層Ⅱ（計:33人）	66.7	18.2	33.3	6.1	3.0	6.1	0.0
	一般層（計:103人）	57.3	31.1	37.9	4.9	2.9	4.9	0.0
	生活困窮世帯（計:58人）	63.8	10.3	29.3	10.3	1.7	1.7	0.0
	非生活困窮世帯（計:124人）	56.5	31.5	37.1	4.0	5.6	8.1	0.0
	ひとり親世帯（計:24人）	58.3	16.7	20.8	12.5	4.2	12.5	0.0
	ふたり親世帯（計:156人）	59.0	26.3	36.5	5.1	4.5	5.1	0.0

（3）学校行事への参加

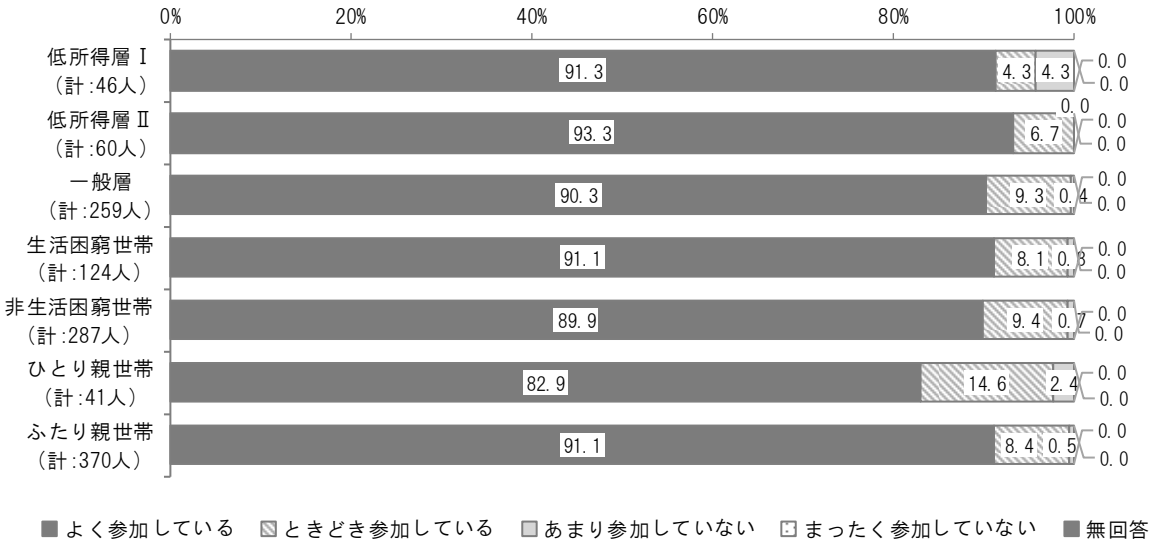
＜保護者票＞問 13　あなたは、次のようなことをどの程度していますか。
（①と②について、あてはまるもの１つに○）

①　授業参観や運動会などの学校行事への参加

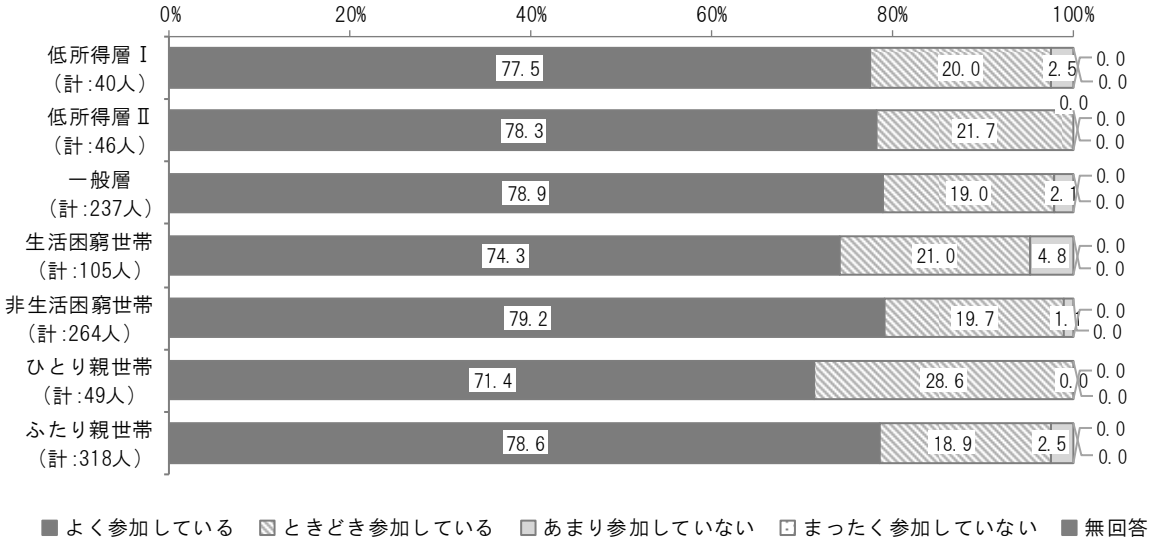
- ◆ 授業参観や運動会などの学校行事への参加について、保護者全体では「よく参加している」と回答した保護者の割合が最も高く、80.2%となっています。次いで、「ときどき参加している」（17.6%）、「あまり参加していない」（2.1%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「参加している」と回答した保護者の割合が最も高くなっています。低所得層Ⅰ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「参加している（「よく参加している」＋「ときどき参加している」）」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低い傾向があります。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「参加している」と回答した保護者の割合が最も高くなっています。低所得層Ⅰ、生活困窮世帯で「参加している（「よく参加している」＋「ときどき参加している」）」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯より低い傾向があります。
- ◆ 中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「参加している」と回答した保護者の割合が最も高くなっています。低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「参加している（「よく参加している」＋「ときどき参加している」）」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



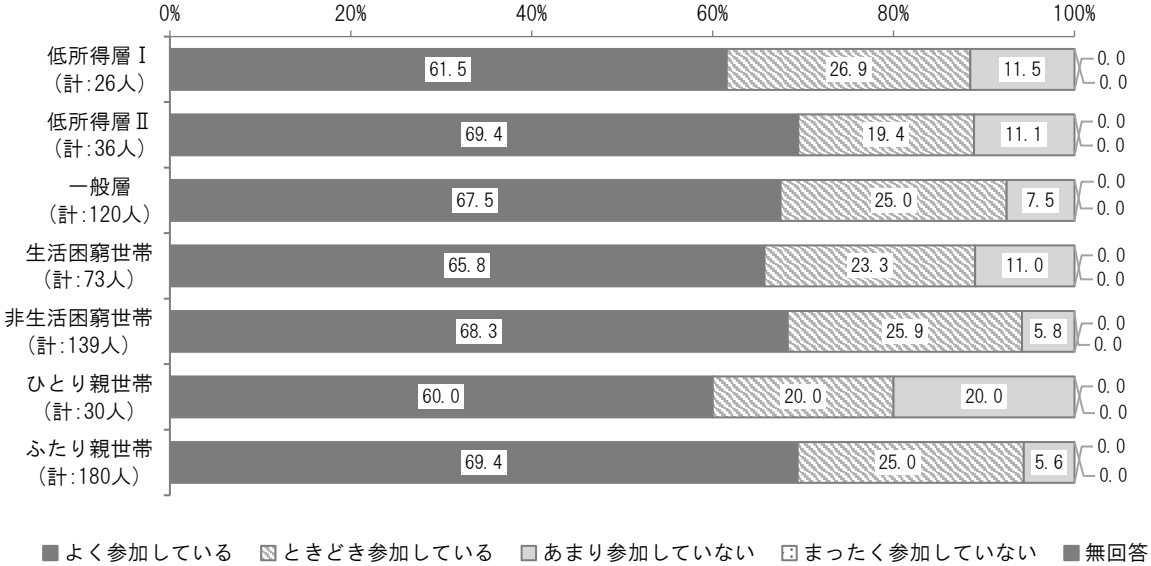
小学校低学年保護者



小学校高学年保護者

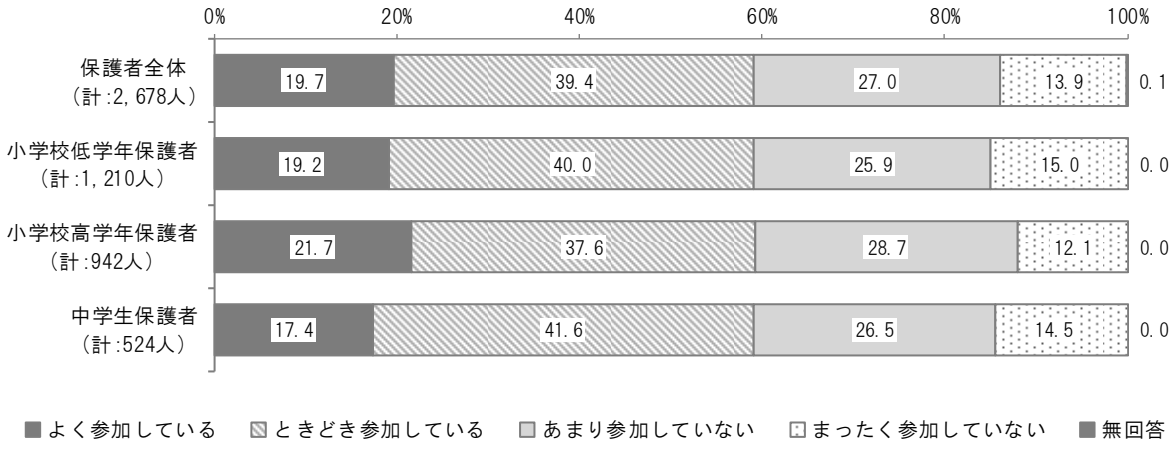


中学生保護者

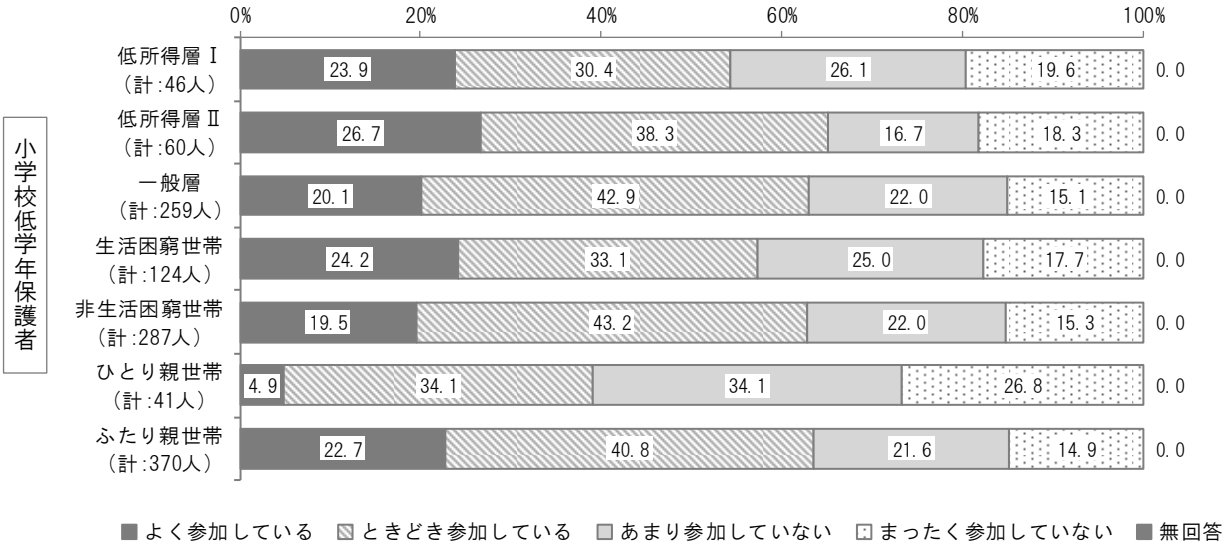


② ＰＴＡ活動等への参加

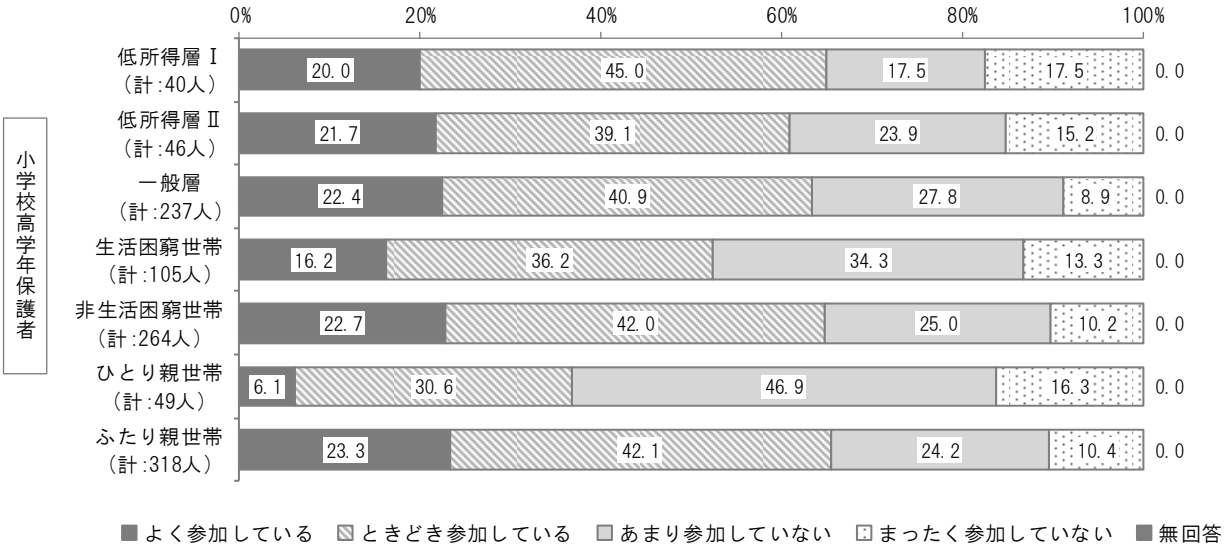
- ◆ PTA 活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加について、保護者全体では「ときどき参加している」と回答した保護者の割合が最も高く、39.4%となっています。次いで、「あまり参加していない」（27.0%）、「よく参加している」（19.7%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ときどき参加している」と回答した保護者の割合が最も高くなっています。低所得層Ⅰ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「参加している（「よく参加している」＋「ときどき参加している」）」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、ひとり親世帯を除き全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ときどき参加している」と回答した保護者の割合が最も高くなっています。低所得層Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「参加している（「よく参加している」＋「ときどき参加している」）」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、ひとり親世帯を除き全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ときどき参加している」と回答した保護者の割合が最も高くなっています。低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「参加している（「よく参加している」＋「ときどき参加している」）」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



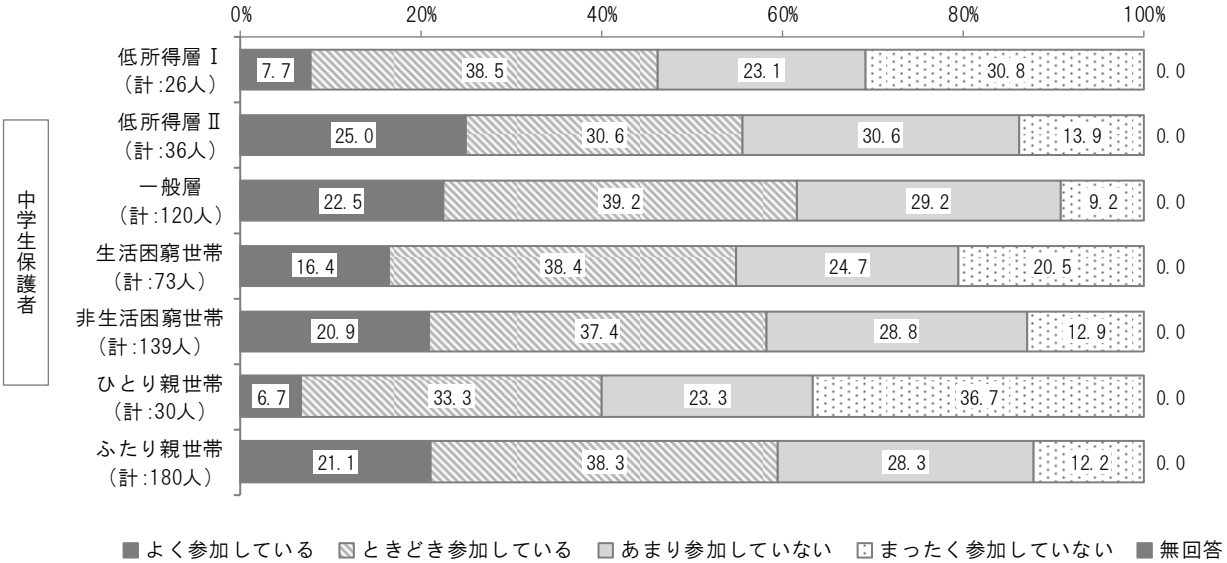
小学校低学年保護者



小学校高学年保護者



中学生保護者



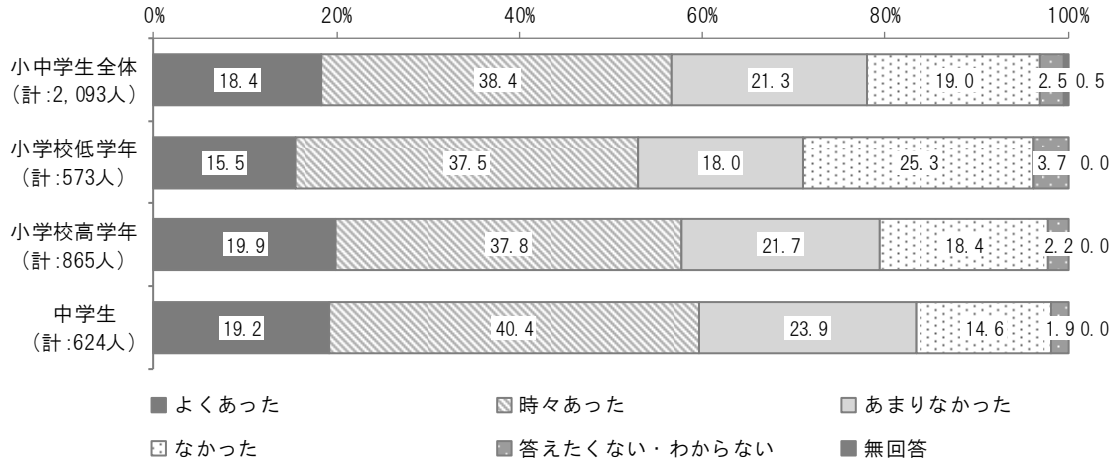
（4）学校での生活

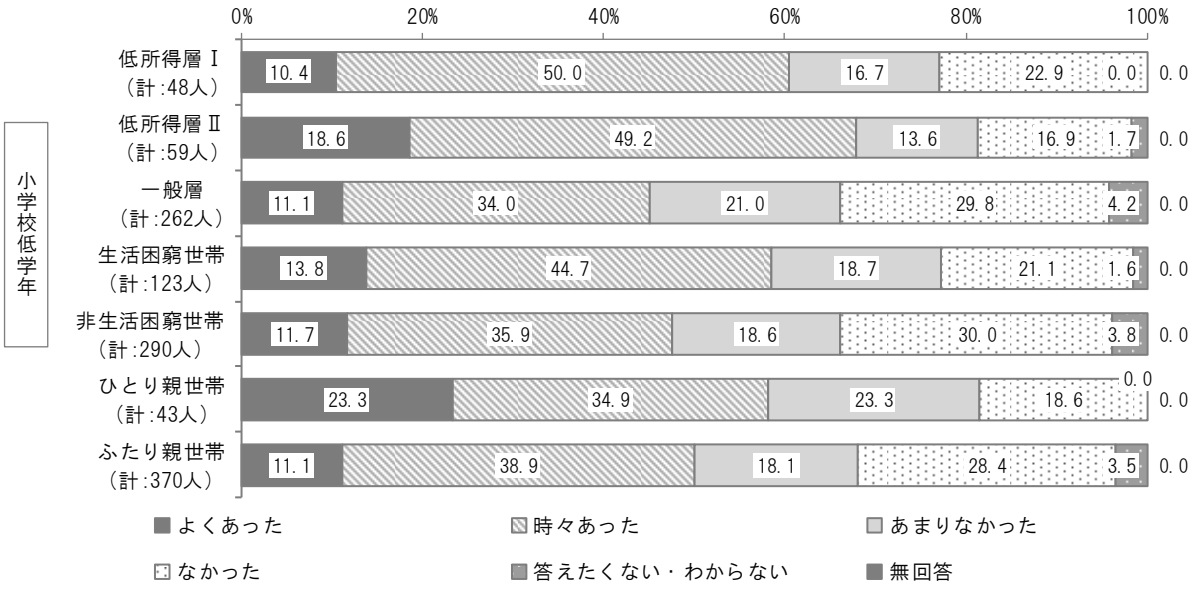
a）学校での生活

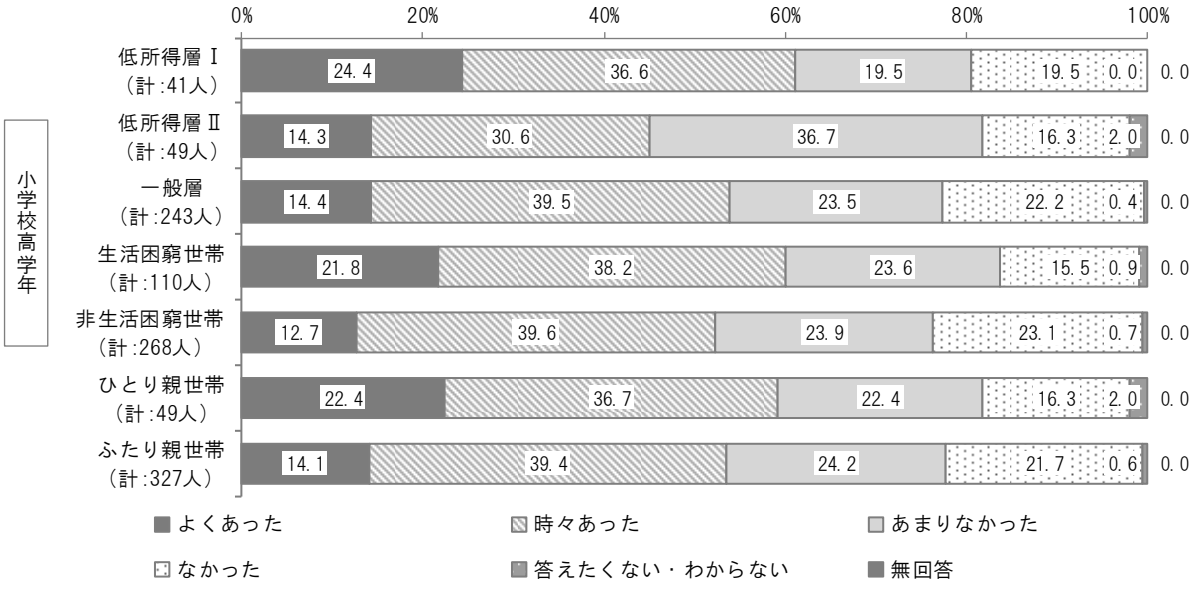
＜小学生・中学生票＞問 16　あなたは、これまでに①～⑥のようなことがありましたか。
（①～⑥それぞれについて、あてはまるもの１つに○）

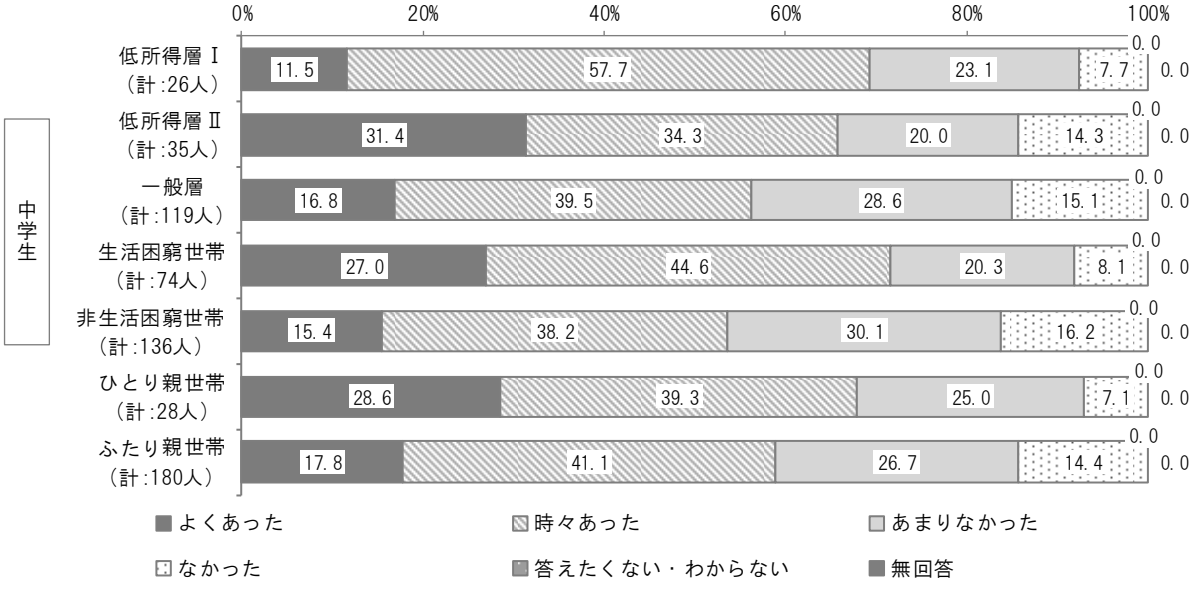
①　学校に行きたくないと思った

- ◆ 学校に行きたくないと思ったことがあるかとたずねたところ、小中学生全体では「時々あった」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、38.4%となっています。次いで、「あまりなかった」（21.3%）、「なかった」（19.0%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「時々あった」と回答した児童の割合が最も高くなっています。低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「あった（「よくあった」＋「時々あった」）」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より高くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、低所得層Ⅱを除き全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「時々あった」と回答した児童の割合が最も高くなっています。低所得層Ⅰ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「あった（「よくあった」＋「時々あった」）」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より高くなっています。
- ◆ 中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「時々あった」と回答した生徒の割合が最も高くなっています。低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「あった（「よくあった」＋「時々あった」）」と回答した生徒の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より高くなっています。



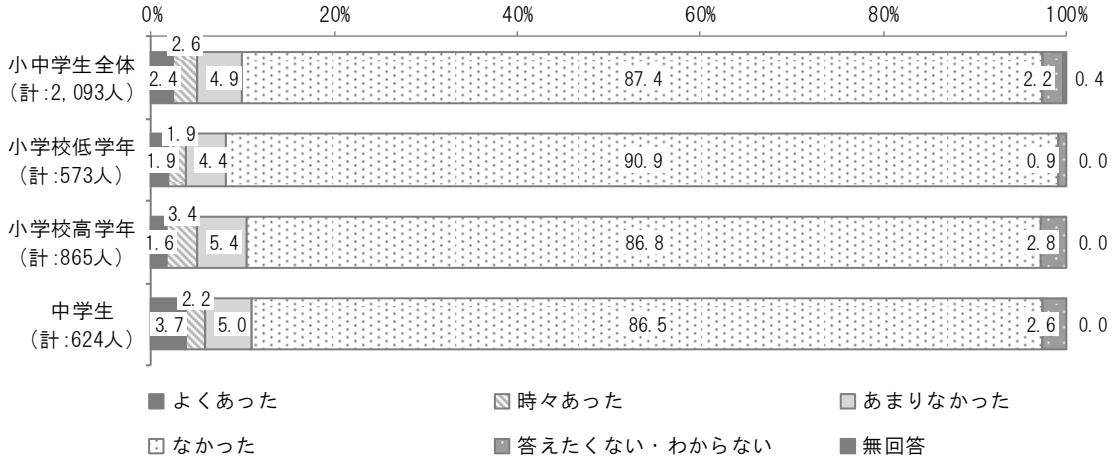

小学校低学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:48人）
10.4
50.0
16.7
22.9
0.0
0.0
低所得層Ⅱ（計:59人）
18.6
49.2
13.6
16.9
1.7
0.0
一般層（計:262人）
11.1
34.0
21.0
29.8
4.2
0.0
生活困窮世帯（計:123人）
13.8
44.7
18.7
21.1
1.6
0.0
非生活困窮世帯（計:290人）
11.7
35.9
18.6
30.0
3.8
0.0
ひとり親世帯（計:43人）
23.3
34.9
23.3
18.6
0.0
0.0
ふたり親世帯（計:370人）
11.1
38.9
18.1
28.4
3.5
0.0
よくあった
時々あった
あまりなかった
なかった
答えたくない・わからない
無回答

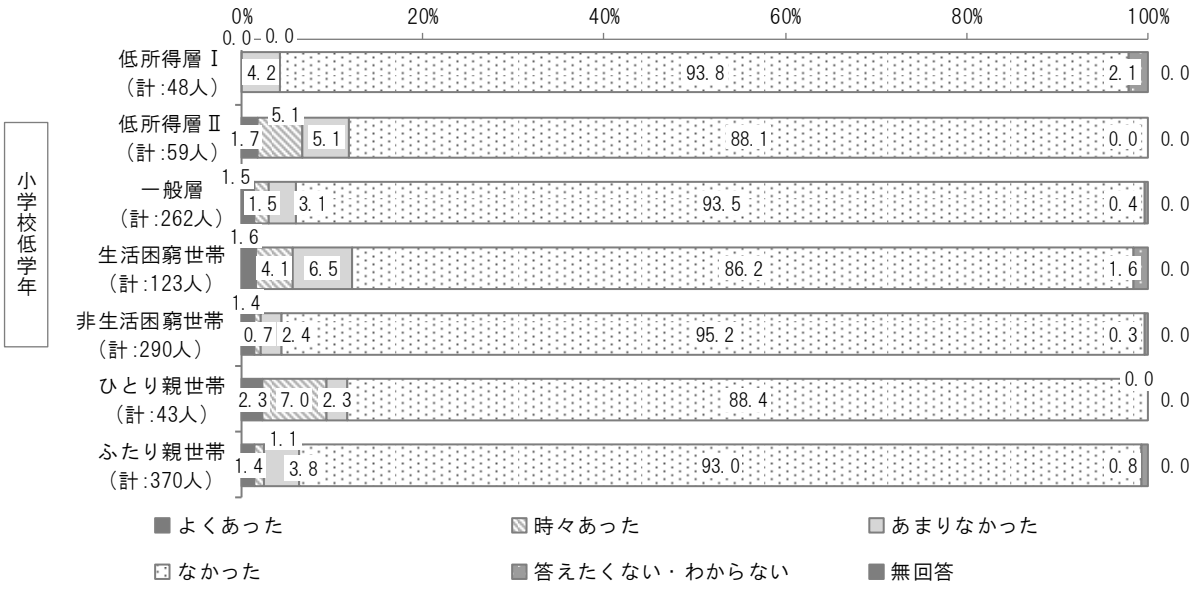

小学校高学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:41人）
24.4
36.6
19.5
19.5
0.0
0.0
低所得層Ⅱ（計:49人）
14.3
30.6
36.7
16.3
2.0
0.0
一般層（計:243人）
14.4
39.5
23.5
22.2
0.4
0.0
生活困窮世帯（計:110人）
21.8
38.2
23.6
15.5
0.9
0.0
非生活困窮世帯（計:268人）
12.7
39.6
23.9
23.1
0.7
0.0
ひとり親世帯（計:49人）
22.4
36.7
22.4
16.3
2.0
0.0
ふたり親世帯（計:327人）
14.1
39.4
24.2
21.7
0.6
0.0
よくあった
時々あった
あまりなかった
なかった
答えたくない・わからない
無回答

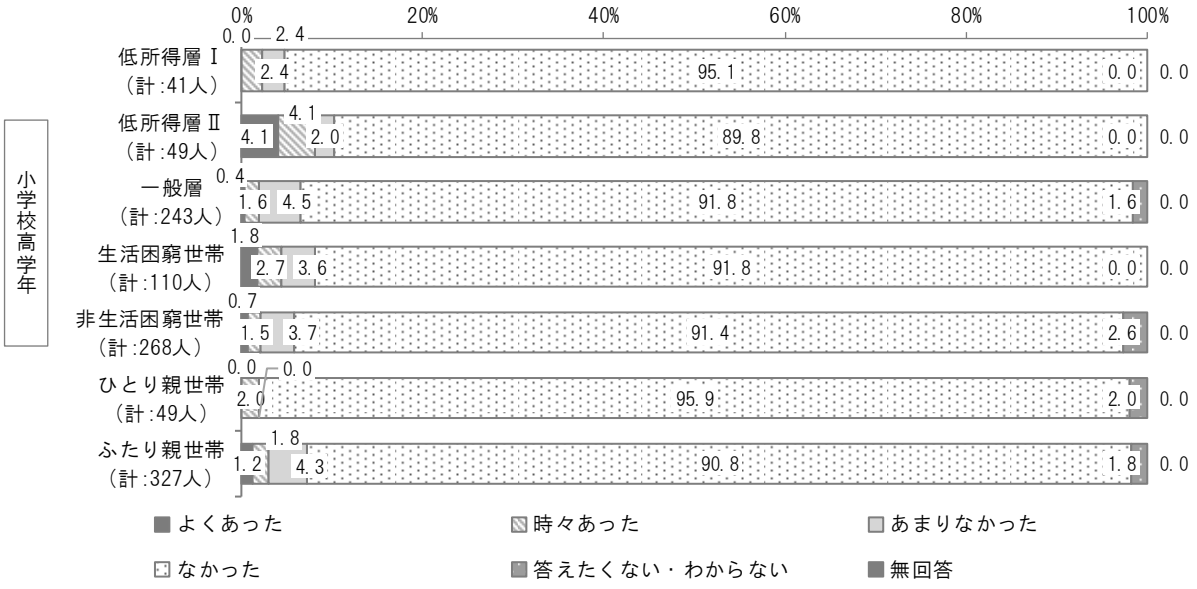

中学生
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
11.5
57.7
23.1
7.7
0.0
0.0
低所得層Ⅱ（計:35人）
31.4
34.3
20.0
14.3
0.0
0.0
一般層（計:119人）
16.8
39.5
28.6
15.1
0.0
0.0
生活困窮世帯（計:74人）
27.0
44.6
20.3
8.1
0.0
0.0
非生活困窮世帯（計:136人）
15.4
38.2
30.1
16.2
0.0
0.0
ひとり親世帯（計:28人）
28.6
39.3
25.0
7.1
0.0
0.0
ふたり親世帯（計:180人）
17.8
41.1
26.7
14.4
0.0
0.0
よくあった
時々あった
あまりなかった
なかった
答えたくない・わからない
無回答

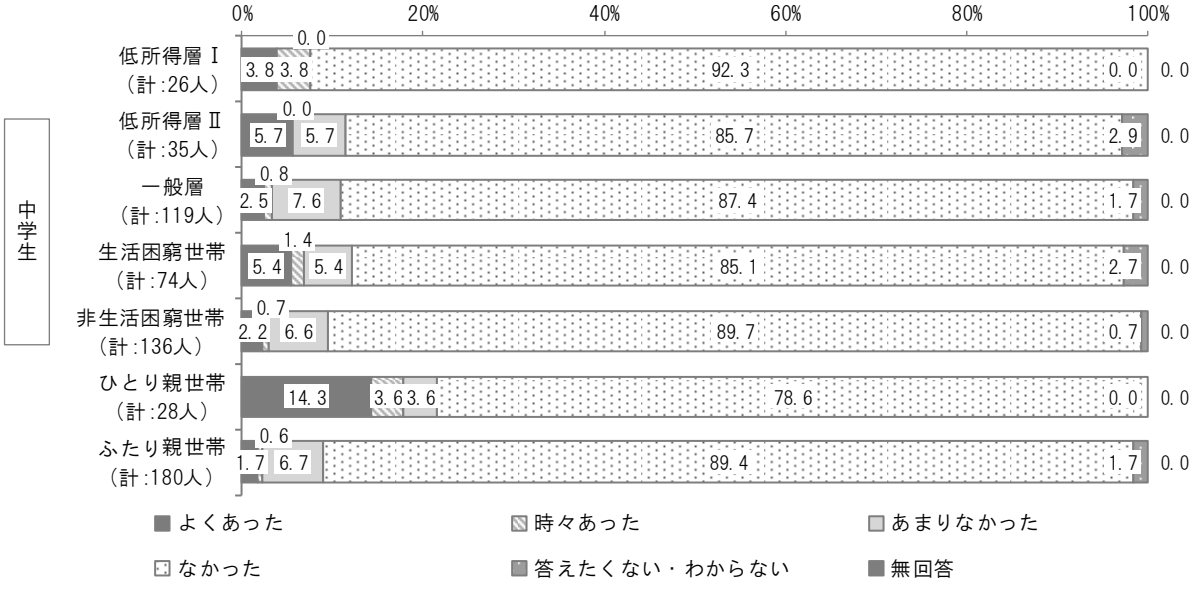
② １ヶ月以上学校を休んだ（病気の時を除く）

- ◆ １か月以上学校を休んだ(病気の時をのぞく)ことがあるかとたずねたところ、小中学生全体では「なかった」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、87.4%となっています。次いで、「あまりなかった」(4.9%)、「時々あった」(2.6%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「なかった」と回答した児童の割合が最も高くなっています。低所得層Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「あった（「よくあった」＋「時々あった」)」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より高くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「なかった」と回答した児童の割合が最も高くなっています。低所得層Ⅱ、生活困窮世帯で「あった（「よくあった」＋「時々あった」)」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯などより高くなっています。
- ◆ 中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「なかった」と回答した生徒の割合が最も高くなっています。低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「あった（「よくあった」＋「時々あった」)」と回答した生徒の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より高くなっています。



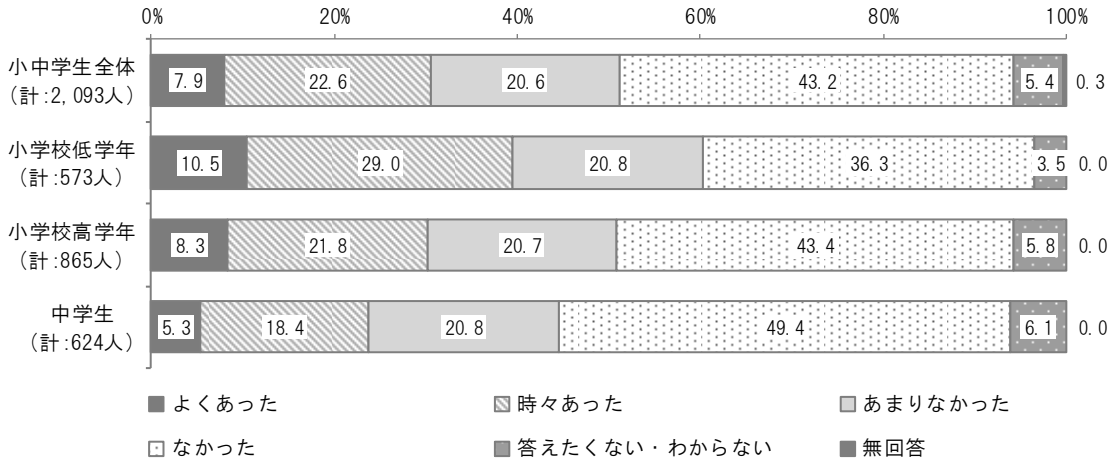

小学校低学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:48人）
0.0 0.0 4.2 93.8 2.1 0.0
低所得層Ⅱ（計:59人）
1.7 5.1 5.1 88.1 0.0 0.0
一般層（計:262人）
1.5 1.5 3.1 93.5 0.4 0.0
生活困窮世帯（計:123人）
1.6 4.1 6.5 86.2 1.6 0.0
非生活困窮世帯（計:290人）
1.4 0.7 2.4 95.2 0.3 0.0
ひとり親世帯（計:43人）
0.0 2.3 7.0 2.3 88.4 0.0
ふたり親世帯（計:370人）
1.1 1.4 3.8 93.0 0.8 0.0
よくあった
時々あった
あまりなかった
なかった
答えたくない・わからない
無回答

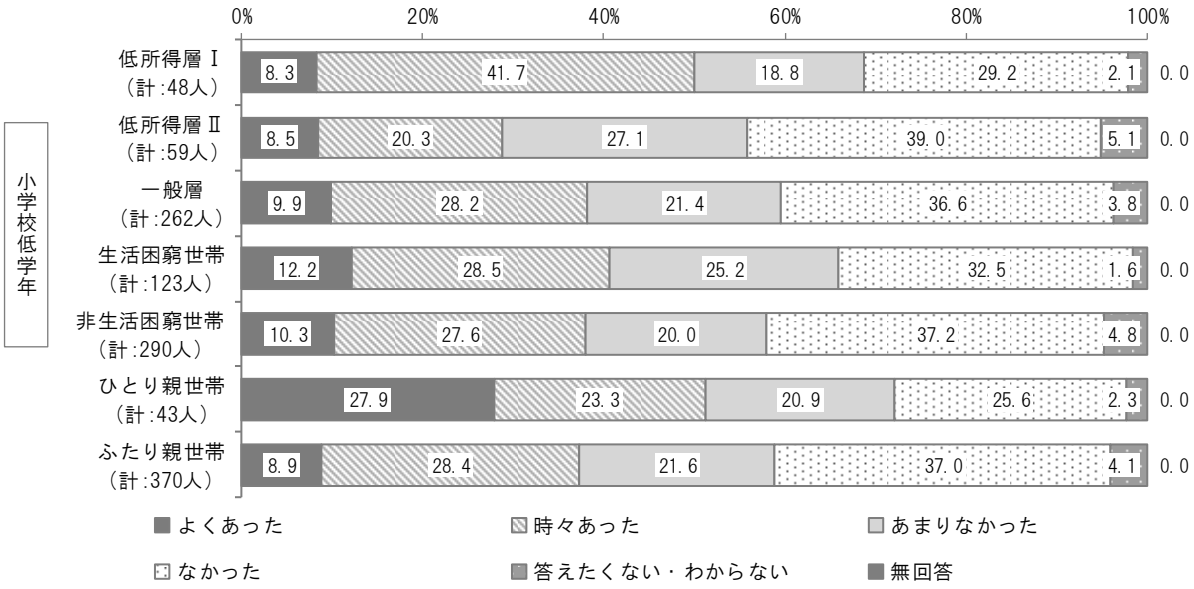

小学校高学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:41人）
0.0 2.4 2.4 95.1 0.0 0.0
低所得層Ⅱ（計:49人）
4.1 4.1 2.0 89.8 0.0 0.0
一般層（計:243人）
0.4 1.6 4.5 91.8 1.6 0.0
生活困窮世帯（計:110人）
1.8 2.7 3.6 91.8 0.0 0.0
非生活困窮世帯（計:268人）
0.7 1.5 3.7 91.4 2.6 0.0
ひとり親世帯（計:49人）
0.0 0.0 2.0 95.9 2.0 0.0
ふたり親世帯（計:327人）
1.8 1.2 4.3 90.8 1.8 0.0
よくあった
時々あった
あまりなかった
なかった
答えたくない・わからない
無回答

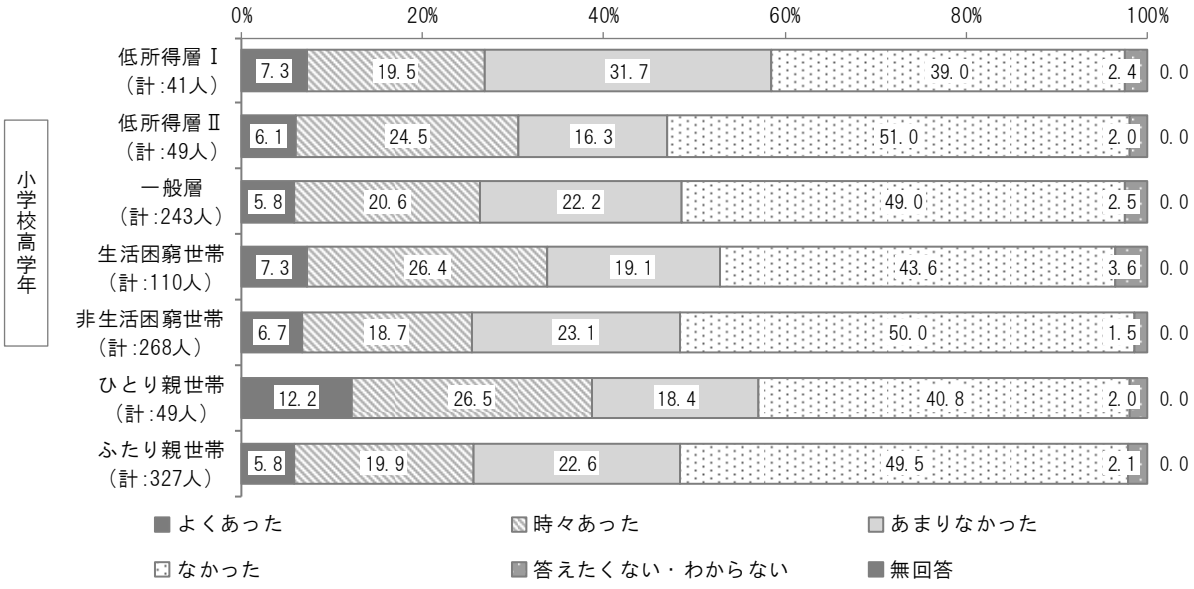

中学生
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
0.0 3.8 3.8 92.3 0.0 0.0
低所得層Ⅱ（計:35人）
0.0 5.7 5.7 85.7 2.9 0.0
一般層（計:119人）
0.8 2.5 7.6 87.4 1.7 0.0
生活困窮世帯（計:74人）
1.4 5.4 5.4 85.1 2.7 0.0
非生活困窮世帯（計:136人）
0.7 2.2 6.6 89.7 0.7 0.0
ひとり親世帯（計:28人）
14.3 3.6 3.6 78.6 0.0 0.0
ふたり親世帯（計:180人）
0.6 1.7 6.7 89.4 1.7 0.0
よくあった
時々あった
あまりなかった
なかった
答えたくない・わからない
無回答

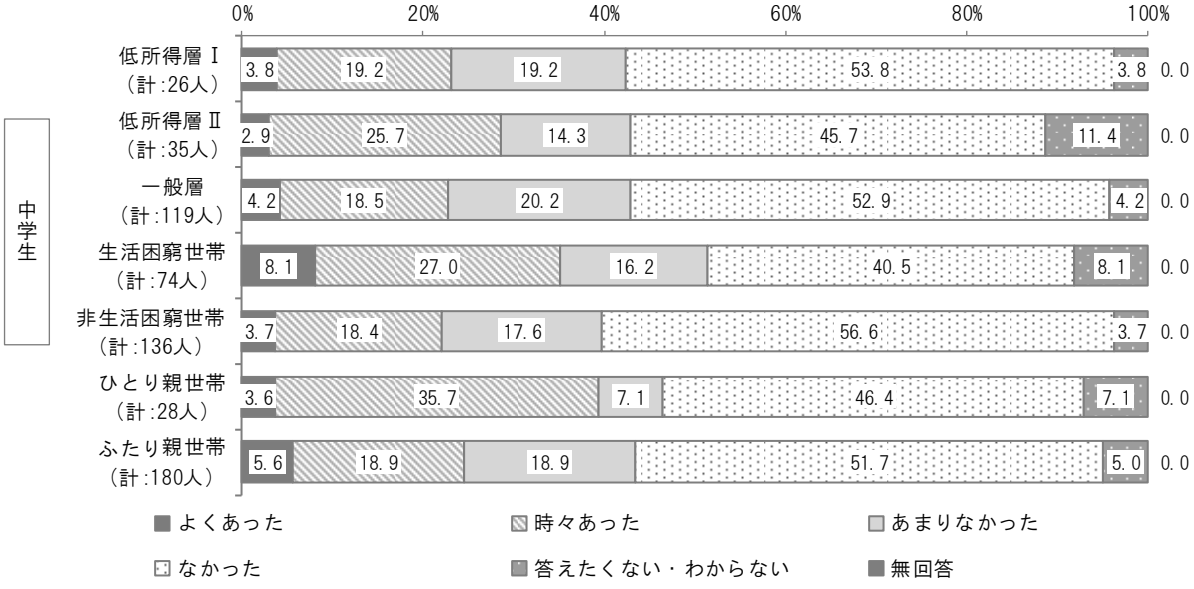
③　嫌がらせをうけたり、悪口を言われた

- ◆　嫌がらせをうけたり、悪口を言われたことがあるかとたずねたところ、小中学生全体では「なかった」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、43.2%となっています。次いで、「時々あった」（22.6%）、「あまりなかった」（20.6%）となっています。
- ◆　小学校低学年では、低所得層Ⅰとひとり親世帯を除き全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「なかった」と回答した児童の割合が最も高くなっています。低所得層Ⅰ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「あった（「よくあった」＋「時々あった」）」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より高くなっています。
- ◆　小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「なかった」と回答した児童の割合が最も高くなっています。低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「あった（「よくあった」＋「時々あった」）」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より高い傾向があります。
- ◆　中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「なかった」と回答した生徒の割合が最も高くなっています。低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「あった（「よくあった」＋「時々あった」）」と回答した生徒の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より高い傾向があります。



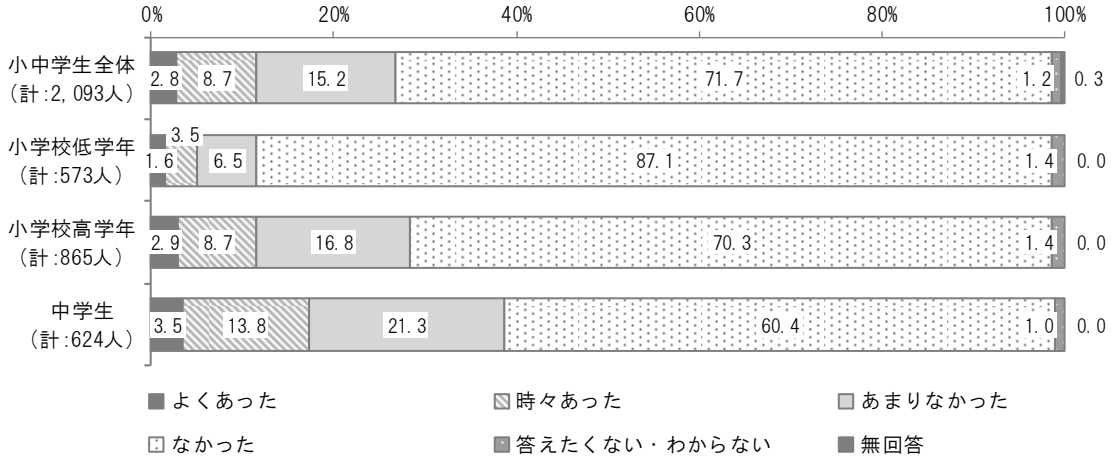

小学校低学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:48人）
8.3
41.7
18.8
29.2
2.1
0.0
低所得層Ⅱ（計:59人）
8.5
20.3
27.1
39.0
5.1
0.0
一般層（計:262人）
9.9
28.2
21.4
36.6
3.8
0.0
生活困窮世帯（計:123人）
12.2
28.5
25.2
32.5
1.6
0.0
非生活困窮世帯（計:290人）
10.3
27.6
20.0
37.2
4.8
0.0
ひとり親世帯（計:43人）
27.9
23.3
20.9
25.6
2.3
0.0
ふたり親世帯（計:370人）
8.9
28.4
21.6
37.0
4.1
0.0
よくあった
時々あった
あまりなかった
なかった
答えたくない・わからない
無回答

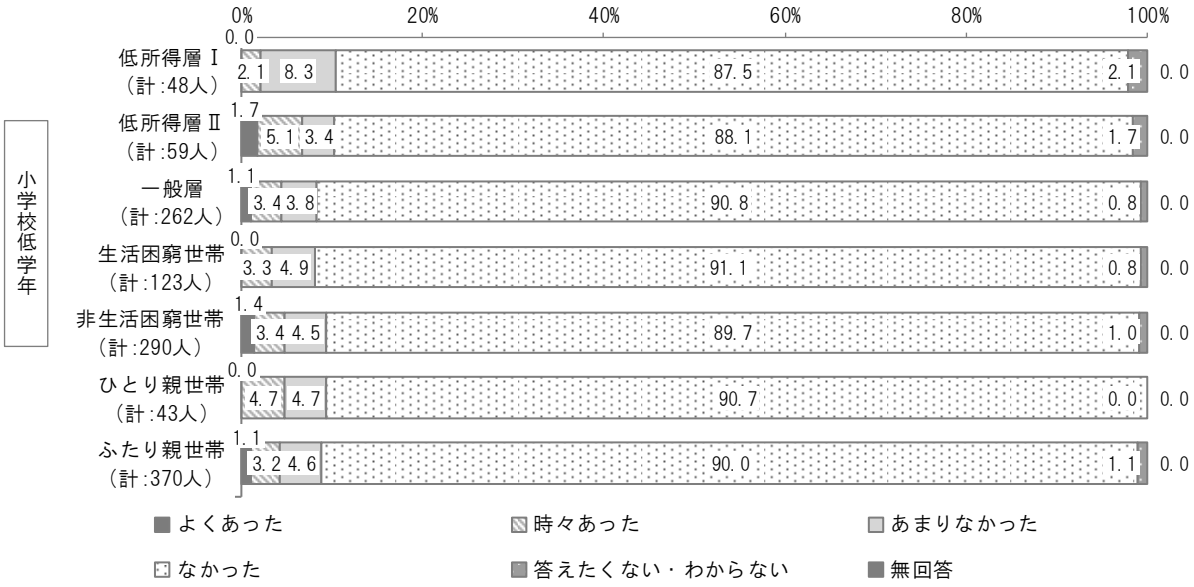

小学校高学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:41人）
7.3
19.5
31.7
39.0
2.4
0.0
低所得層Ⅱ（計:49人）
6.1
24.5
16.3
51.0
2.0
0.0
一般層（計:243人）
5.8
20.6
22.2
49.0
2.5
0.0
生活困窮世帯（計:110人）
7.3
26.4
19.1
43.6
3.6
0.0
非生活困窮世帯（計:268人）
6.7
18.7
23.1
50.0
1.5
0.0
ひとり親世帯（計:49人）
12.2
26.5
18.4
40.8
2.0
0.0
ふたり親世帯（計:327人）
5.8
19.9
22.6
49.5
2.1
0.0
よくあった
時々あった
あまりなかった
なかった
答えたくない・わからない
無回答

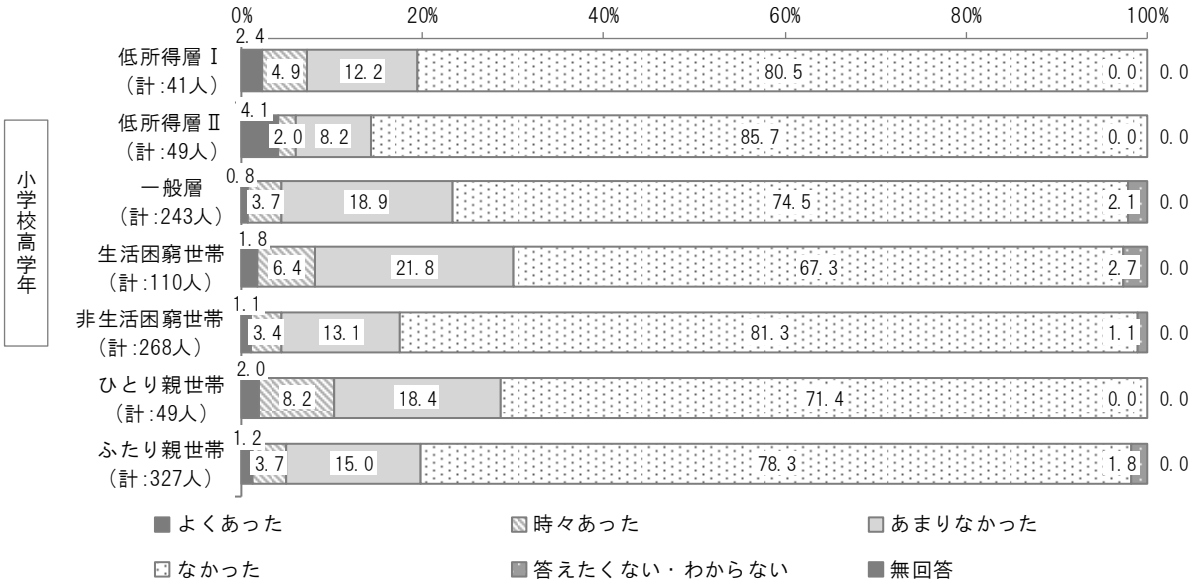

中学生
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
3.8
19.2
19.2
53.8
3.8
0.0
低所得層Ⅱ（計:35人）
2.9
25.7
14.3
45.7
11.4
0.0
一般層（計:119人）
4.2
18.5
20.2
52.9
4.2
0.0
生活困窮世帯（計:74人）
8.1
27.0
16.2
40.5
8.1
0.0
非生活困窮世帯（計:136人）
3.7
18.4
17.6
56.6
3.7
0.0
ひとり親世帯（計:28人）
3.6
35.7
7.1
46.4
7.1
0.0
ふたり親世帯（計:180人）
5.6
18.9
18.9
51.7
5.0
0.0
よくあった
時々あった
あまりなかった
なかった
答えたくない・わからない
無回答

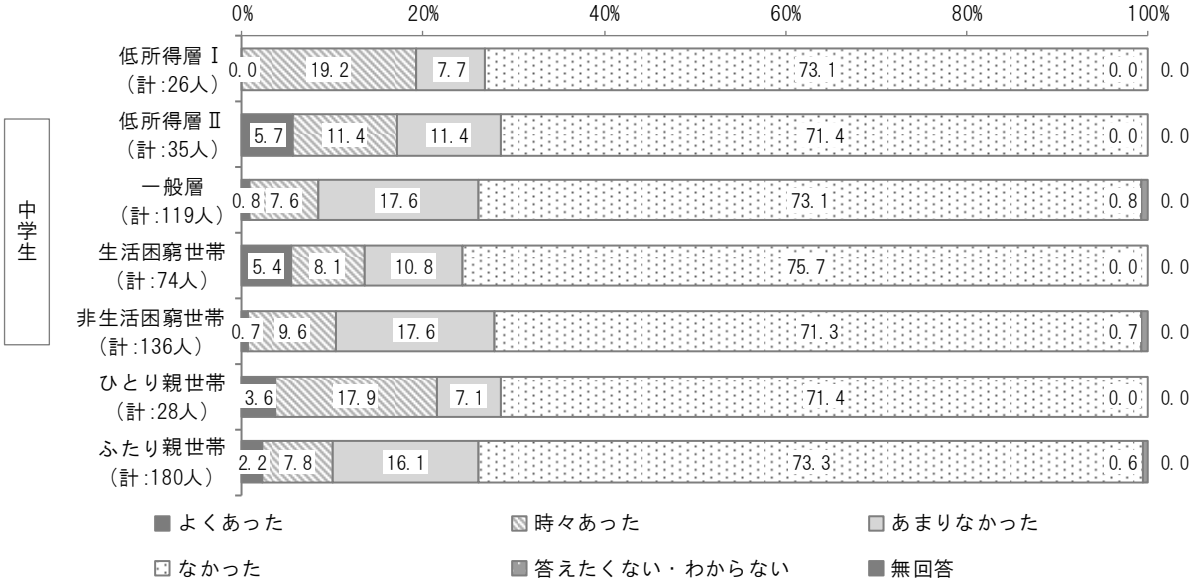
④　遅くまで子どもだけで少し過ごした

- ◆ 夜遅くまで子どもだけで過ごしたことがあるかとたずねたところ、小中学生全体では「なかった」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、71.7%となっています。次いで、「あまりなかった」（15.2%）、「時々あった」（8.7%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「なかった」と回答した児童の割合が最も高くなっています。低所得層Ⅱ、ひとり親世帯で「あった（「よくあった」＋「時々あった」）」と回答した児童の割合が一般層、ふたり親世帯より高い傾向があります。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「なかった」と回答した児童の割合が最も高くなっています。低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「あった（「よくあった」＋「時々あった」）」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より高くなっています。
- ◆ 中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「なかった」と回答した生徒の割合が最も高くなっています。低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「あった（「よくあった」＋「時々あった」）」と回答した生徒の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より高くなっています。



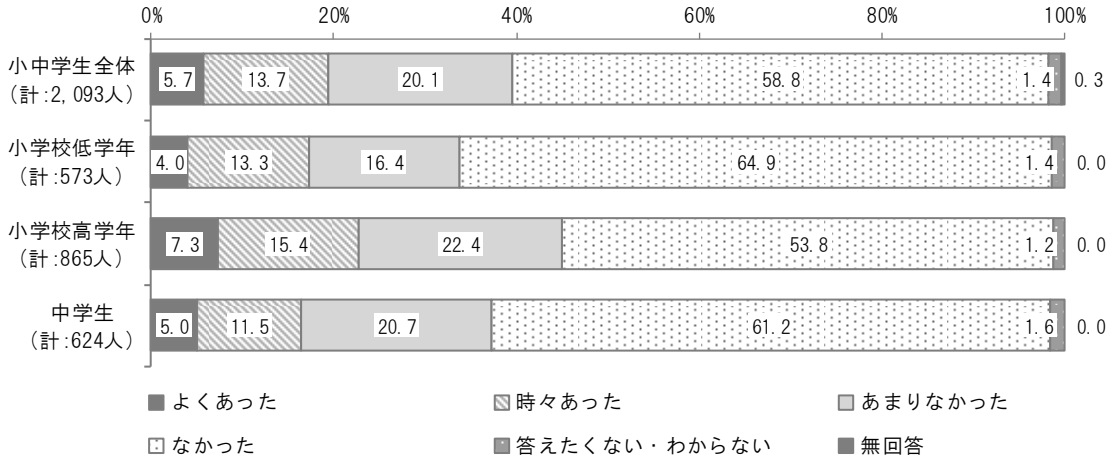

小学校低学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:48人）
0.0 2.1 8.3 87.5 2.1 0.0
低所得層Ⅱ（計:59人）
1.7 5.1 3.4 88.1 1.7 0.0
一般層（計:262人）
1.1 3.4 3.8 90.8 0.8 0.0
生活困窮世帯（計:123人）
0.0 3.3 4.9 91.1 0.8 0.0
非生活困窮世帯（計:290人）
1.4 3.4 4.5 89.7 1.0 0.0
ひとり親世帯（計:43人）
0.0 4.7 4.7 90.7 0.0 0.0
ふたり親世帯（計:370人）
1.1 3.2 4.6 90.0 1.1 0.0
よくあった
時々あった
あまりなかった
なかった
答えたくない・わからない
無回答

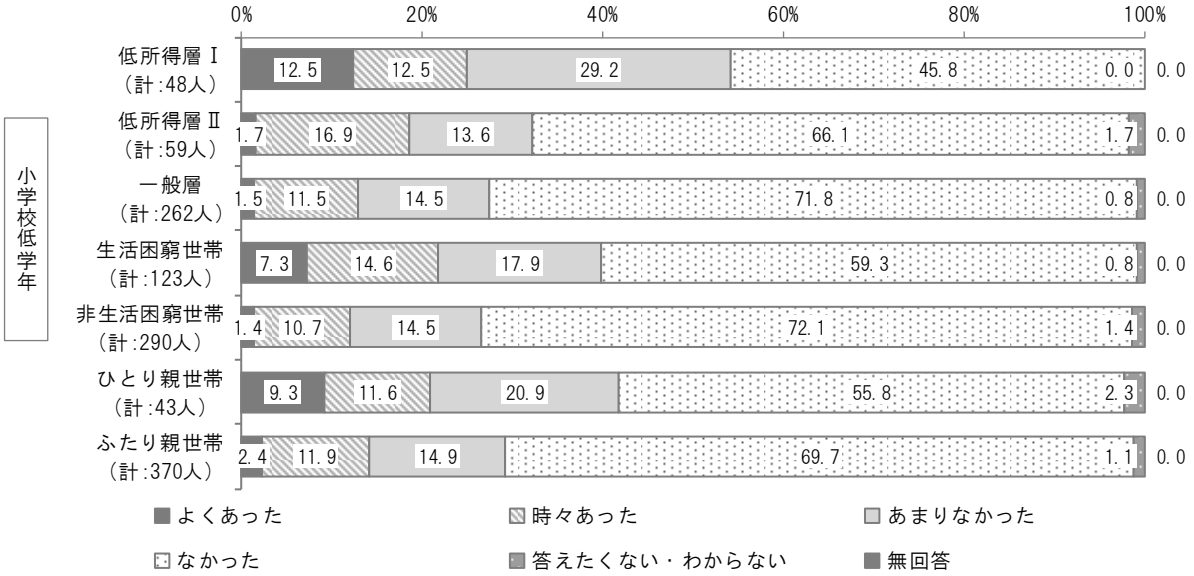

小学校高学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:41人）
2.4 4.9 12.2 80.5 0.0 0.0
低所得層Ⅱ（計:49人）
4.1 2.0 8.2 85.7 0.0 0.0
一般層（計:243人）
0.8 3.7 18.9 74.5 2.1 0.0
生活困窮世帯（計:110人）
1.8 6.4 21.8 67.3 2.7 0.0
非生活困窮世帯（計:268人）
1.1 3.4 13.1 81.3 1.1 0.0
ひとり親世帯（計:49人）
2.0 8.2 18.4 71.4 0.0 0.0
ふたり親世帯（計:327人）
1.2 3.7 15.0 78.3 1.8 0.0
よくあった
時々あった
あまりなかった
なかった
答えたくない・わからない
無回答

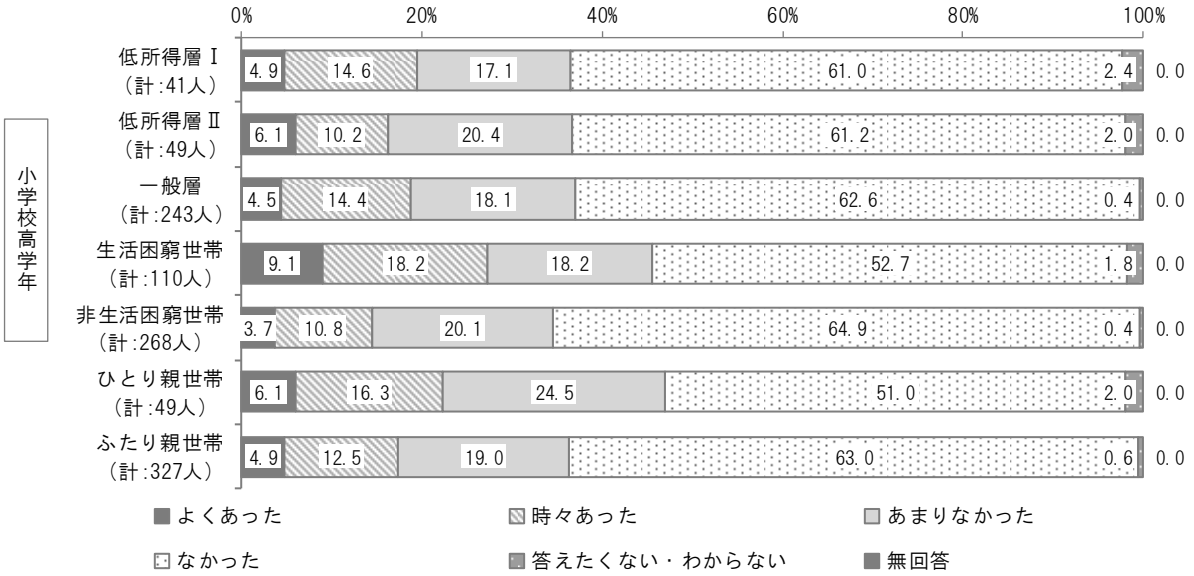

中学生
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
0.0 19.2 7.7 73.1 0.0 0.0
低所得層Ⅱ（計:35人）
5.7 11.4 11.4 71.4 0.0 0.0
一般層（計:119人）
0.8 7.6 17.6 73.1 0.8 0.0
生活困窮世帯（計:74人）
5.4 8.1 10.8 75.7 0.0 0.0
非生活困窮世帯（計:136人）
0.7 9.6 17.6 71.3 0.7 0.0
ひとり親世帯（計:28人）
3.6 17.9 7.1 71.4 0.0 0.0
ふたり親世帯（計:180人）
2.2 7.8 16.1 73.3 0.6 0.0
よくあった
時々あった
あまりなかった
なかった
答えたくない・わからない
無回答

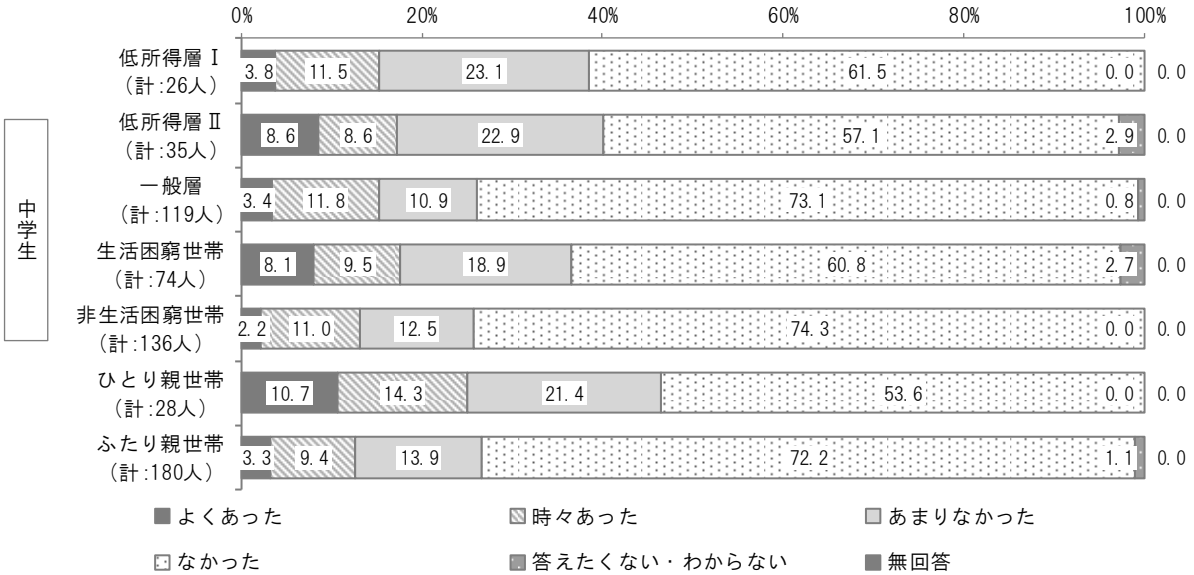
⑤　学校に遅刻した

- ◆　学校に遅刻したことがあるかとたずねたところ、小中学生全体では「なかった」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、58.8%となっています。次いで、「あまりなかった」（20.1%）、「時々あった」（13.7%）となっています。
- ◆　小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「なかった」と回答した児童の割合が最も高くなっています。低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「あった（「よくあった」＋「時々あった」）」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より高くなっています。
- ◆　小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「なかった」と回答した児童の割合が最も高くなっています。低所得層Ⅰ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「あった（「よくあった」＋「時々あった」）」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より高い傾向があります。
- ◆　中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「なかった」と回答した生徒の割合が最も高くなっています。低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「あった（「よくあった」＋「時々あった」）」と回答した生徒の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より高い傾向があります。



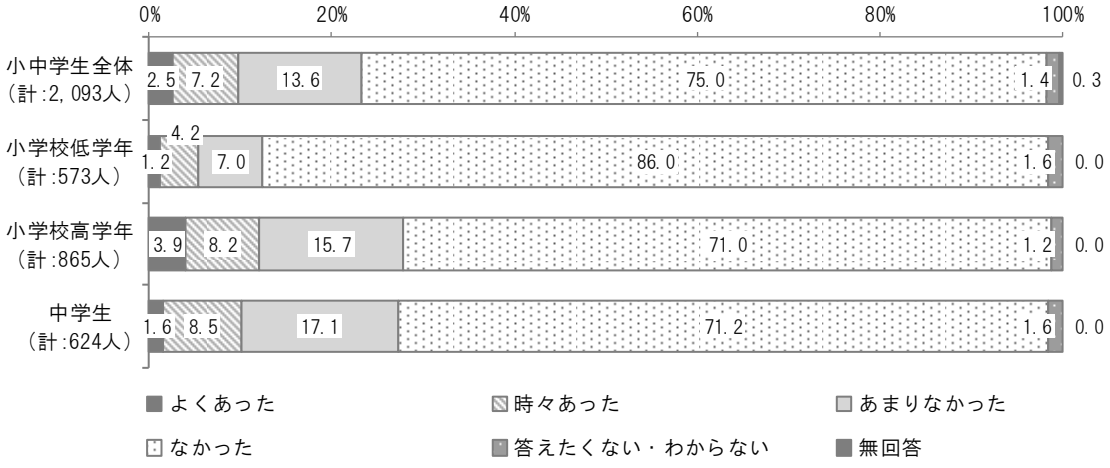

小学校低学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:48人）
12.5 12.5 29.2 45.8 0.0 0.0
低所得層Ⅱ（計:59人）
1.7 16.9 13.6 66.1 1.7 0.0
一般層（計:262人）
1.5 11.5 14.5 71.8 0.8 0.0
生活困窮世帯（計:123人）
7.3 14.6 17.9 59.3 0.8 0.0
非生活困窮世帯（計:290人）
1.4 10.7 14.5 72.1 1.4 0.0
ひとり親世帯（計:43人）
9.3 11.6 20.9 55.8 2.3 0.0
ふたり親世帯（計:370人）
2.4 11.9 14.9 69.7 1.1 0.0
よくあった
時々あった
あまりなかった
なかった
答えたくない・わからない
無回答

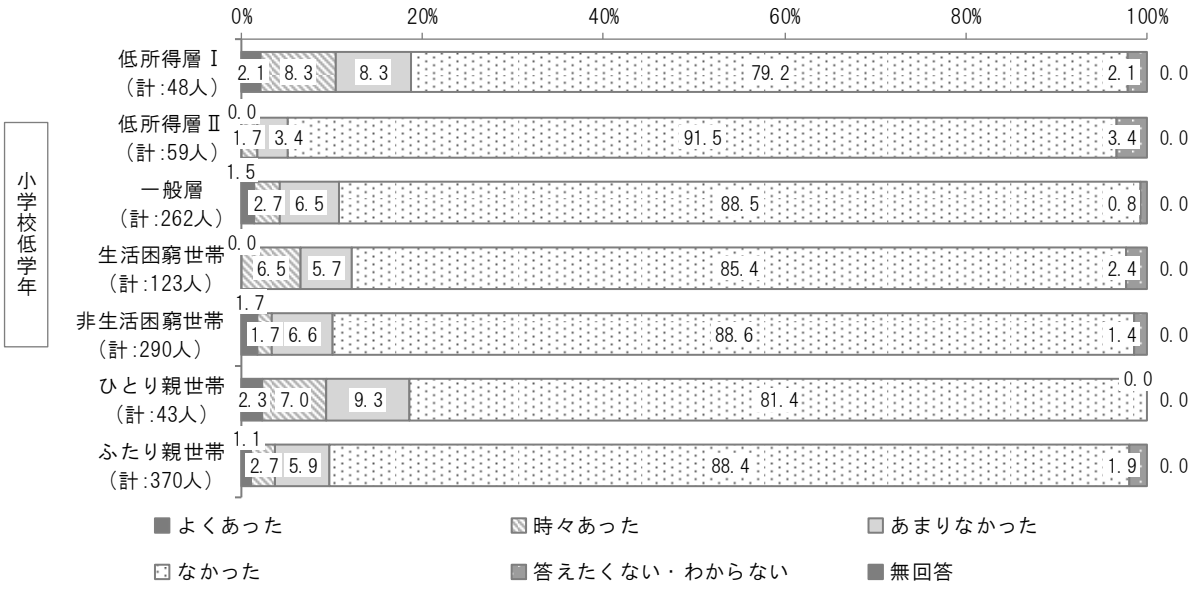

小学校高学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:41人）
4.9 14.6 17.1 61.0 2.4 0.0
低所得層Ⅱ（計:49人）
6.1 10.2 20.4 61.2 2.0 0.0
一般層（計:243人）
4.5 14.4 18.1 62.6 0.4 0.0
生活困窮世帯（計:110人）
9.1 18.2 18.2 52.7 1.8 0.0
非生活困窮世帯（計:268人）
3.7 10.8 20.1 64.9 0.4 0.0
ひとり親世帯（計:49人）
6.1 16.3 24.5 51.0 2.0 0.0
ふたり親世帯（計:327人）
4.9 12.5 19.0 63.0 0.6 0.0
よくあった
時々あった
あまりなかった
なかった
答えたくない・わからない
無回答

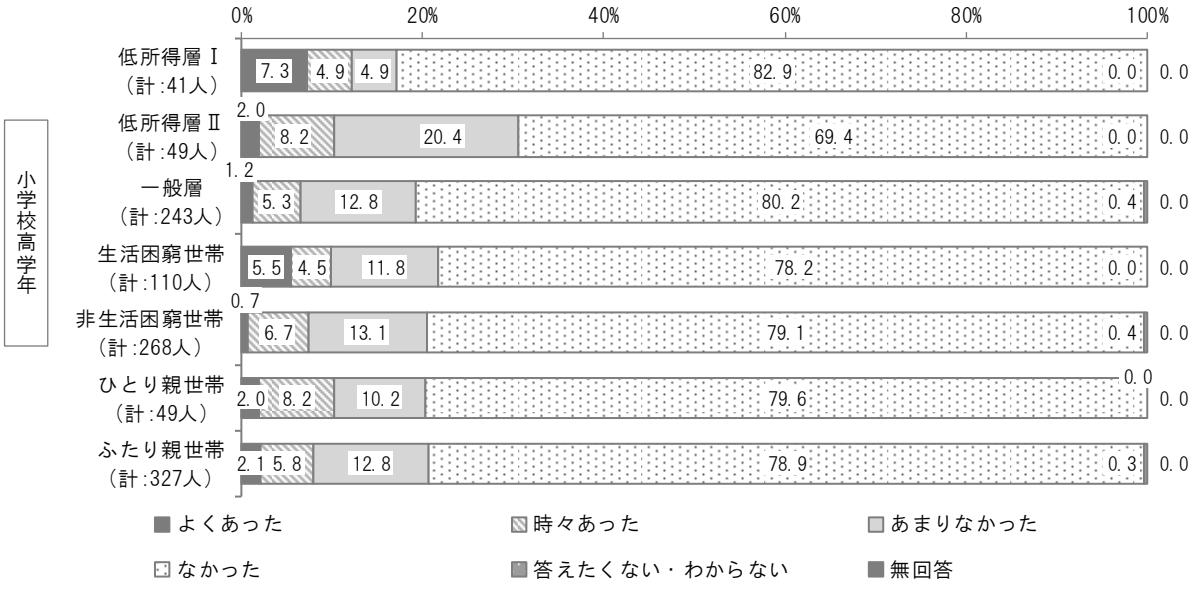

中学生
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
3.8 11.5 23.1 61.5 0.0 0.0
低所得層Ⅱ（計:35人）
8.6 8.6 22.9 57.1 2.9 0.0
一般層（計:119人）
3.4 11.8 10.9 73.1 0.8 0.0
生活困窮世帯（計:74人）
8.1 9.5 18.9 60.8 2.7 0.0
非生活困窮世帯（計:136人）
2.2 11.0 12.5 74.3 0.0 0.0
ひとり親世帯（計:28人）
10.7 14.3 21.4 53.6 0.0 0.0
ふたり親世帯（計:180人）
3.3 9.4 13.9 72.2 1.1 0.0
よくあった
時々あった
あまりなかった
なかった
答えたくない・わからない
無回答

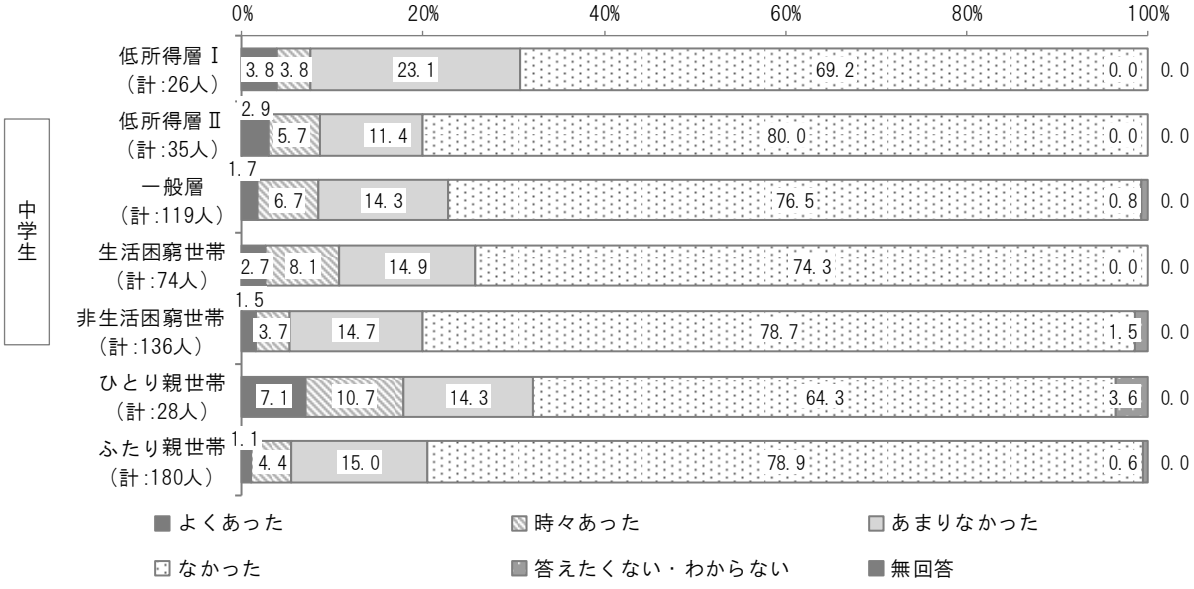
⑥　家事や家族の世話で勉強する時間がとれなかった

- ◆ 家事や家族の世話で勉強する時間がとれなかったことがあるかとたずねたところ、小中学生全体では「なかった」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、75.0%となっています。次いで、「あまりなかった」（13.6%）、「時々あった」（7.2%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「なかった」と回答した児童の割合が最も高くなっています。低所得層Ⅰ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「あった（「よくあった」＋「時々あった」）」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より高くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「なかった」と回答した児童の割合が最も高くなっています。低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「あった（「よくあった」＋「時々あった」）」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より高くなっています。
- ◆ 中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「なかった」と回答した生徒の割合が最も高くなっています。生活困窮世帯、ひとり親世帯で「あった（「よくあった」＋「時々あった」）」と回答した生徒の割合が非生活困窮世帯、ふたり親世帯より高くなっています。




小学校低学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:48人）
2.1 8.3 8.3 79.2 2.1 0.0
低所得層Ⅱ（計:59人）
0.0 1.7 3.4 91.5 3.4 0.0
一般層（計:262人）
1.5 2.7 6.5 88.5 0.8 0.0
生活困窮世帯（計:123人）
0.0 6.5 5.7 85.4 2.4 0.0
非生活困窮世帯（計:290人）
1.7 1.7 6.6 88.6 1.4 0.0
ひとり親世帯（計:43人）
2.3 7.0 9.3 81.4 0.0 0.0
ふたり親世帯（計:370人）
1.1 2.7 5.9 88.4 1.9 0.0
よくあった
時々あった
あまりなかった
なかった
答えたくない・わからない
無回答


小学校高学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:41人）
7.3 4.9 4.9 82.9 0.0 0.0
低所得層Ⅱ（計:49人）
2.0 8.2 20.4 69.4 0.0 0.0
一般層（計:243人）
1.2 5.3 12.8 80.2 0.4 0.0
生活困窮世帯（計:110人）
5.5 4.5 11.8 78.2 0.0 0.0
非生活困窮世帯（計:268人）
0.7 6.7 13.1 79.1 0.4 0.0
ひとり親世帯（計:49人）
2.0 8.2 10.2 79.6 0.0 0.0
ふたり親世帯（計:327人）
2.1 5.8 12.8 78.9 0.3 0.0
よくあった
時々あった
あまりなかった
なかった
答えたくない・わからない
無回答


中学生
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
3.8 3.8 23.1 69.2 0.0 0.0
低所得層Ⅱ（計:35人）
2.9 5.7 11.4 80.0 0.0 0.0
一般層（計:119人）
1.7 6.7 14.3 76.5 0.8 0.0
生活困窮世帯（計:74人）
2.7 8.1 14.9 74.3 0.0 0.0
非生活困窮世帯（計:136人）
1.5 3.7 14.7 78.7 1.5 0.0
ひとり親世帯（計:28人）
7.1 10.7 14.3 64.3 3.6 0.0
ふたり親世帯（計:180人）
1.1 4.4 15.0 78.9 0.6 0.0
よくあった
時々あった
あまりなかった
なかった
答えたくない・わからない
無回答

4．ふだんの暮らし（小学生児童・中学生生徒）

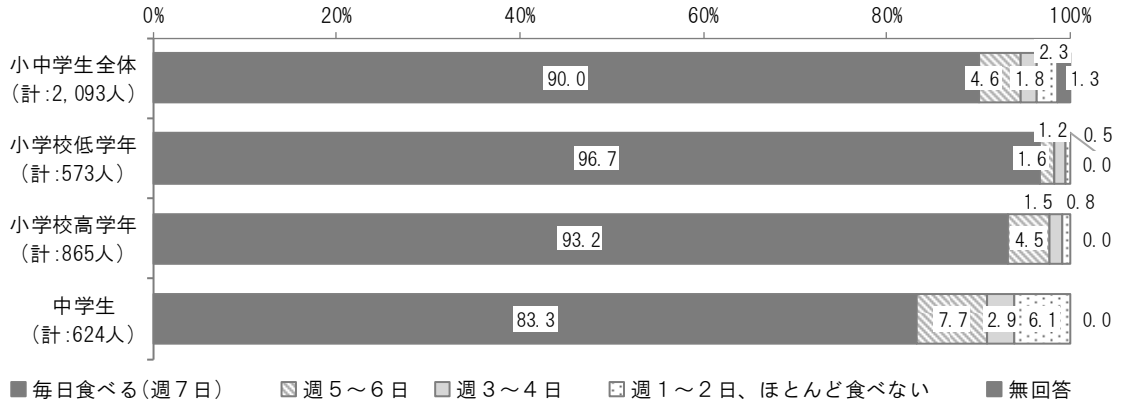
（1）食事・就寝時間

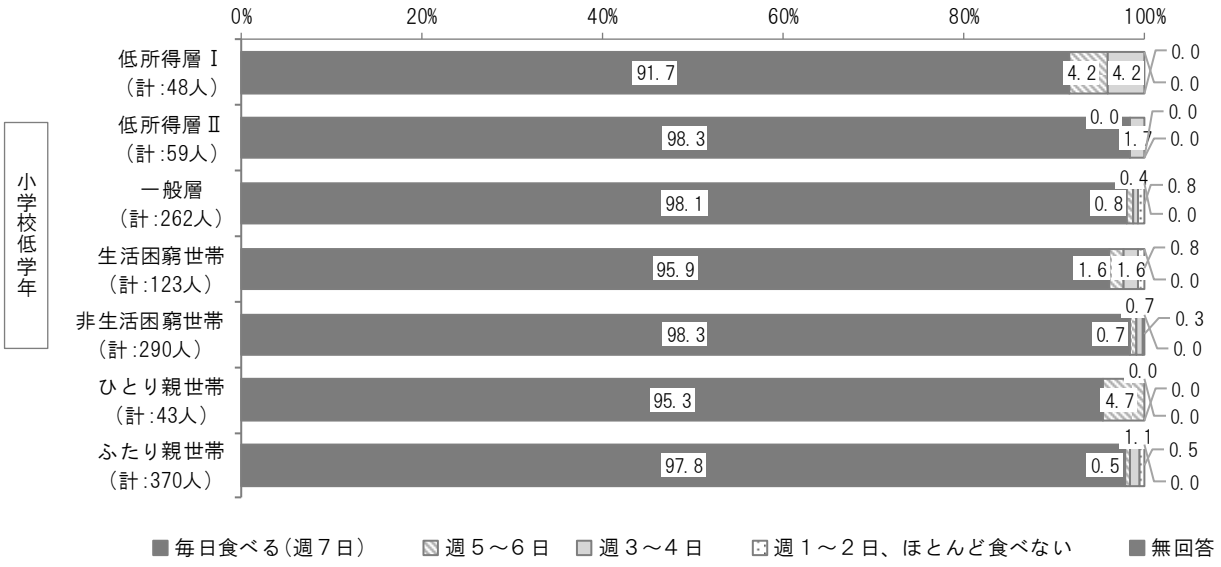
a）食事

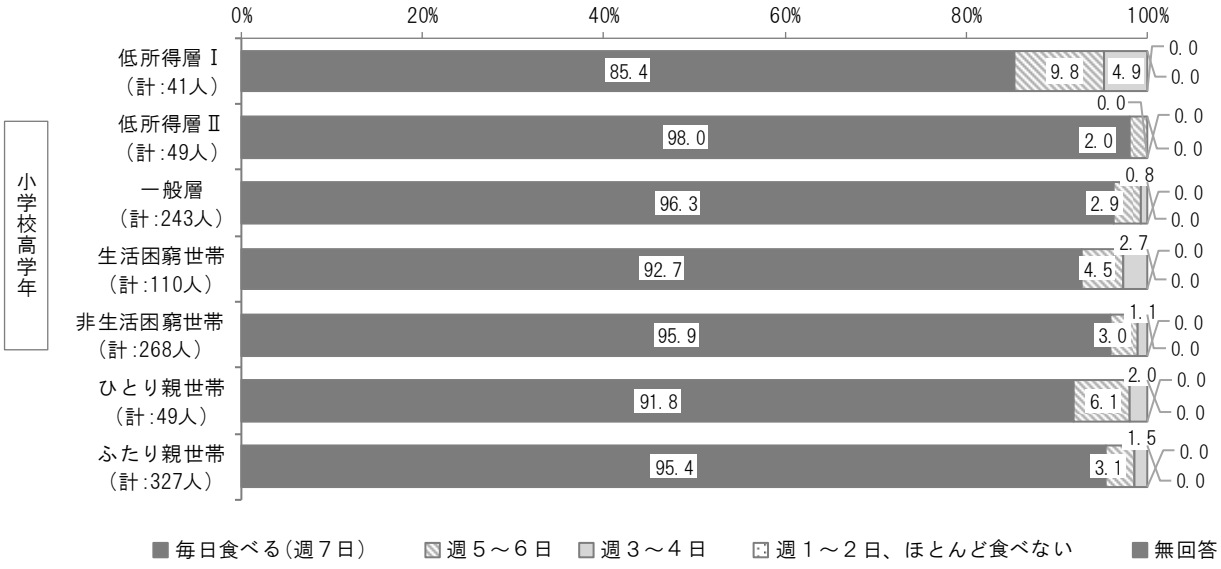
＜小学生・中学生票＞問９　あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。
（①～③それぞれについて、あてはまるもの１つに○）

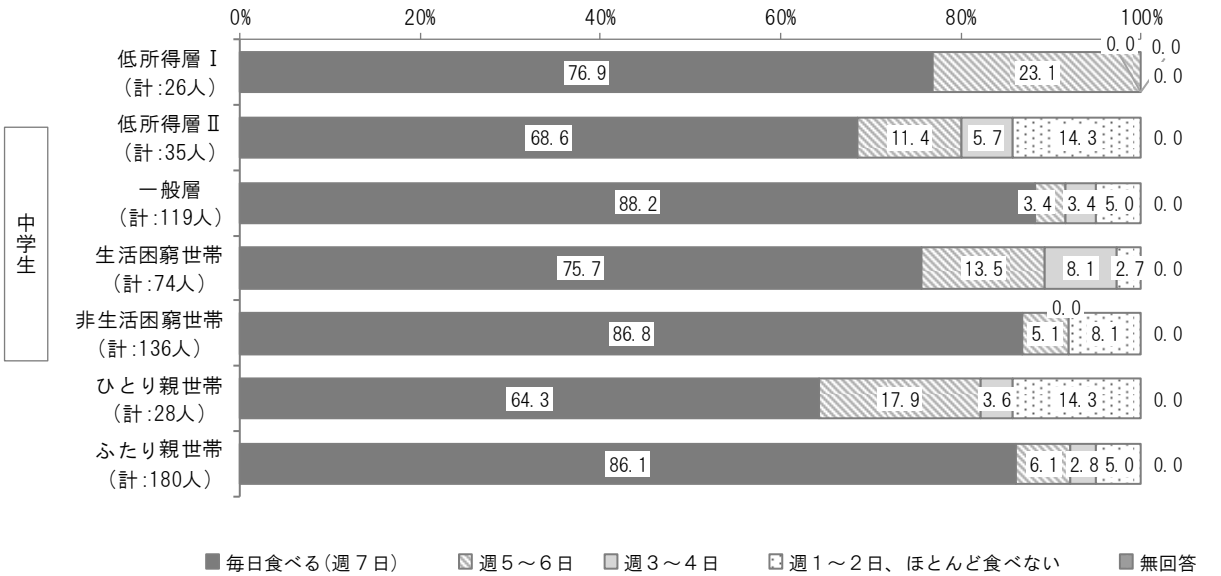
①　朝食について

- ◆ 朝食を食べる頻度について、小中学生全体では「毎日食べる(週７日)」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、90.0%となっています。次いで、「週５～６日」(4.6%)、「週１～２日、ほとんど食べない」(2.3%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「毎日食べる(週７日)」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「毎日食べる(週７日)」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「毎日食べる(週７日)」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「毎日食べる(週７日)」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「毎日食べる(週７日)」と回答した生徒の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「毎日食べる(週７日)」と回答した生徒の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



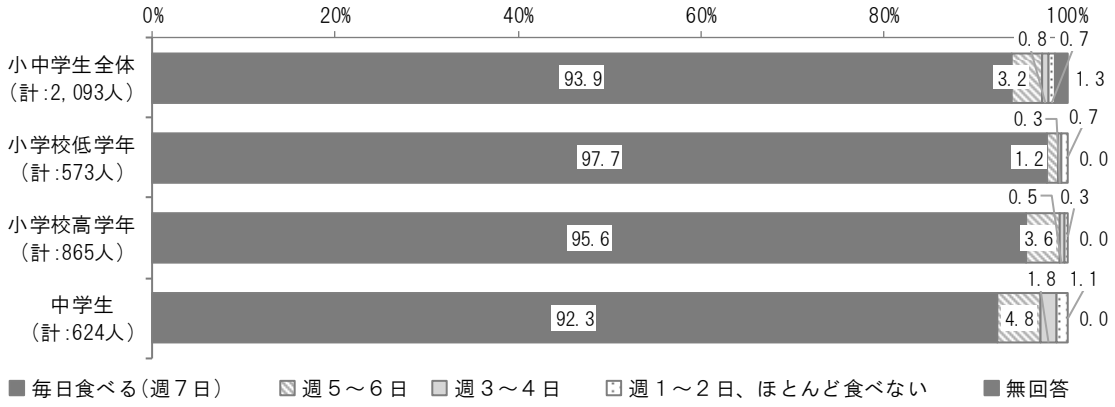

小学校低学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:48人）
91.7
4.2
4.2
0.0
0.0
低所得層Ⅱ（計:59人）
0.0
98.3
1.7
0.0
0.0
一般層（計:262人）
0.4
98.1
0.8
0.8
0.0
生活困窮世帯（計:123人）
95.9
1.6
1.6
0.8
0.0
非生活困窮世帯（計:290人）
0.7
98.3
0.7
0.3
0.0
ひとり親世帯（計:43人）
0.0
95.3
4.7
0.0
0.0
ふたり親世帯（計:370人）
1.1
97.8
0.5
0.5
0.0
■毎日食べる（週７日）
▨週５～６日
□週３～４日
⁘週１～２日、ほとんど食べない
■無回答

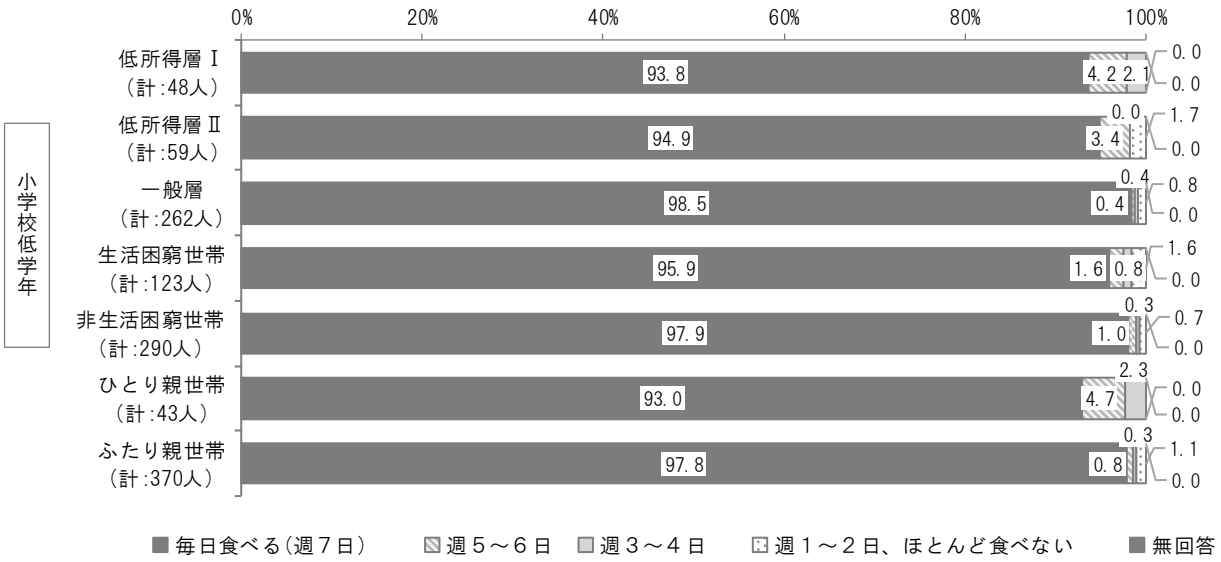

小学校高学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:41人）
85.4
9.8
4.9
0.0
0.0
低所得層Ⅱ（計:49人）
0.0
98.0
2.0
0.0
0.0
一般層（計:243人）
0.8
96.3
2.9
0.0
0.0
生活困窮世帯（計:110人）
2.7
92.7
4.5
0.0
0.0
非生活困窮世帯（計:268人）
1.1
95.9
3.0
0.0
0.0
ひとり親世帯（計:49人）
2.0
91.8
6.1
0.0
0.0
ふたり親世帯（計:327人）
1.5
95.4
3.1
0.0
0.0
■毎日食べる（週７日）
▨週５～６日
□週３～４日
⁘週１～２日、ほとんど食べない
■無回答

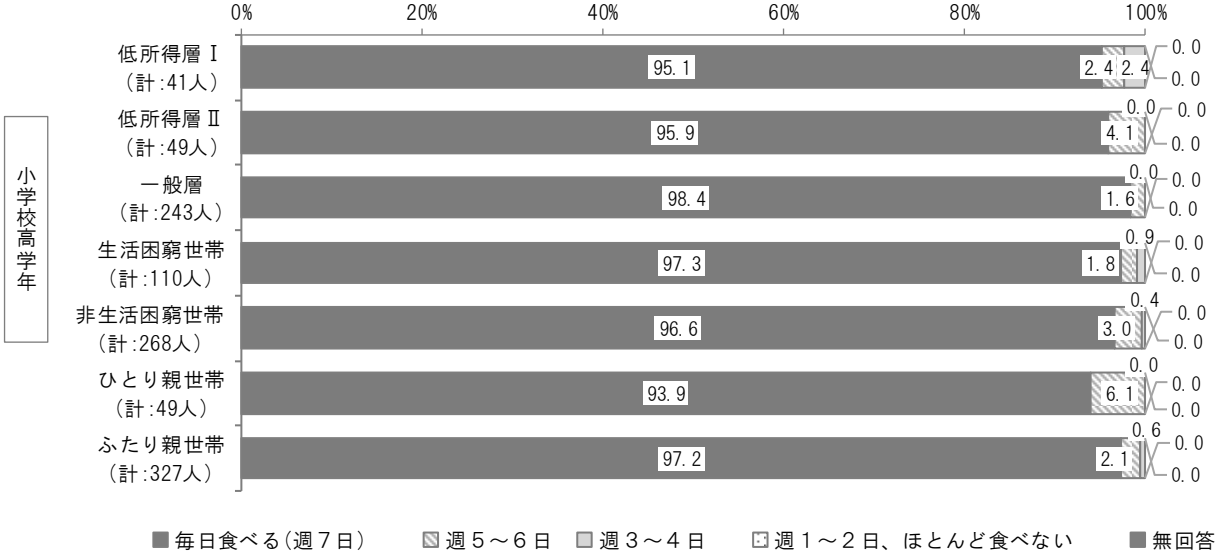

中学生
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
0.0
76.9
23.1
0.0
0.0
低所得層Ⅱ（計:35人）
68.6
11.4
5.7
14.3
0.0
一般層（計:119人）
88.2
3.4
3.4
5.0
0.0
生活困窮世帯（計:74人）
75.7
13.5
8.1
2.7
0.0
非生活困窮世帯（計:136人）
0.0
86.8
5.1
8.1
0.0
ひとり親世帯（計:28人）
64.3
17.9
3.6
14.3
0.0
ふたり親世帯（計:180人）
86.1
6.1
2.8
5.0
0.0
■毎日食べる（週７日）
▨週５～６日
□週３～４日
⁘週１～２日、ほとんど食べない
■無回答

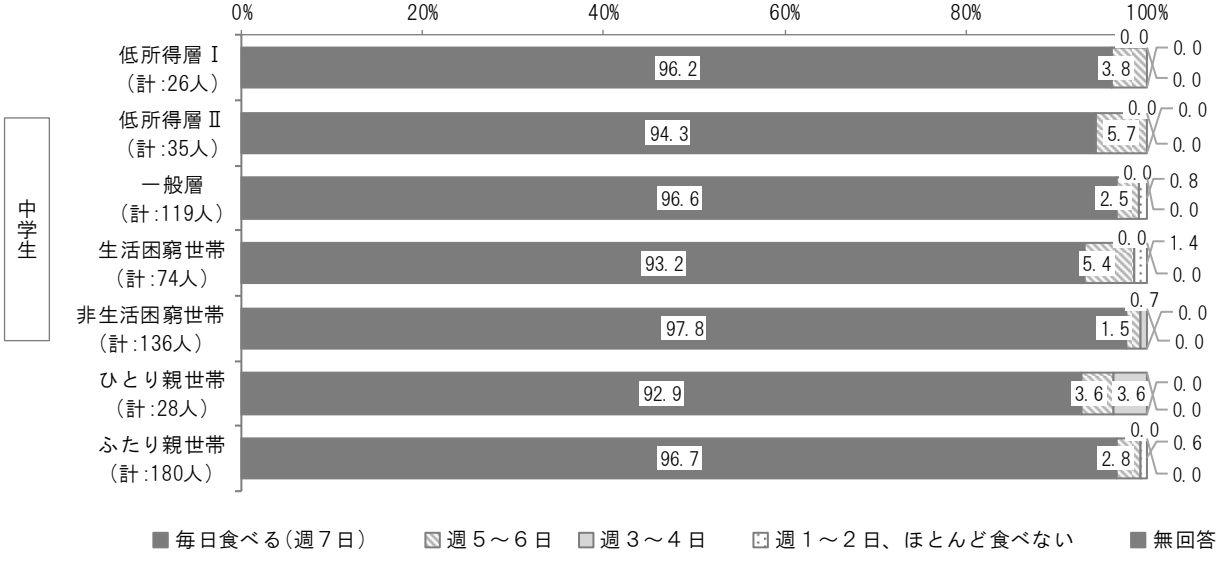
② 夕食について

- ◆ 夕食を食べる頻度について、小中学生全体では「毎日食べる(週７日)」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、93.9%となっています。次いで、「週５～６日」(3.2%)、「週３～４日」(0.8%) となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「毎日食べる(週７日)」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「毎日食べる(週７日)」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「毎日食べる(週７日)」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、ひとり親世帯で「毎日食べる(週７日)」と回答した児童の割合が一般層、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「毎日食べる(週７日)」と回答した生徒の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「毎日食べる(週７日)」と回答した生徒の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低い傾向があります。



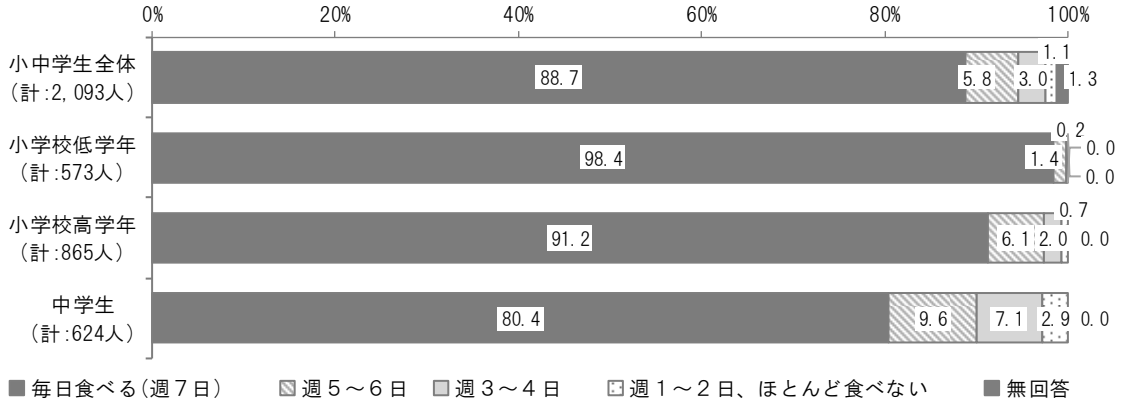

小学校低学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:48人）
93.8
4.2
2.1
0.0
0.0
低所得層Ⅱ（計:59人）
94.9
0.0
3.4
1.7
0.0
一般層（計:262人）
98.5
0.4
0.4
0.8
0.0
生活困窮世帯（計:123人）
95.9
1.6
0.8
1.6
0.0
非生活困窮世帯（計:290人）
97.9
0.3
1.0
0.7
0.0
ひとり親世帯（計:43人）
93.0
2.3
4.7
0.0
0.0
ふたり親世帯（計:370人）
97.8
0.3
0.8
1.1
0.0
毎日食べる(週７日)
週５～６日
週３～４日
週１～２日、ほとんど食べない
無回答

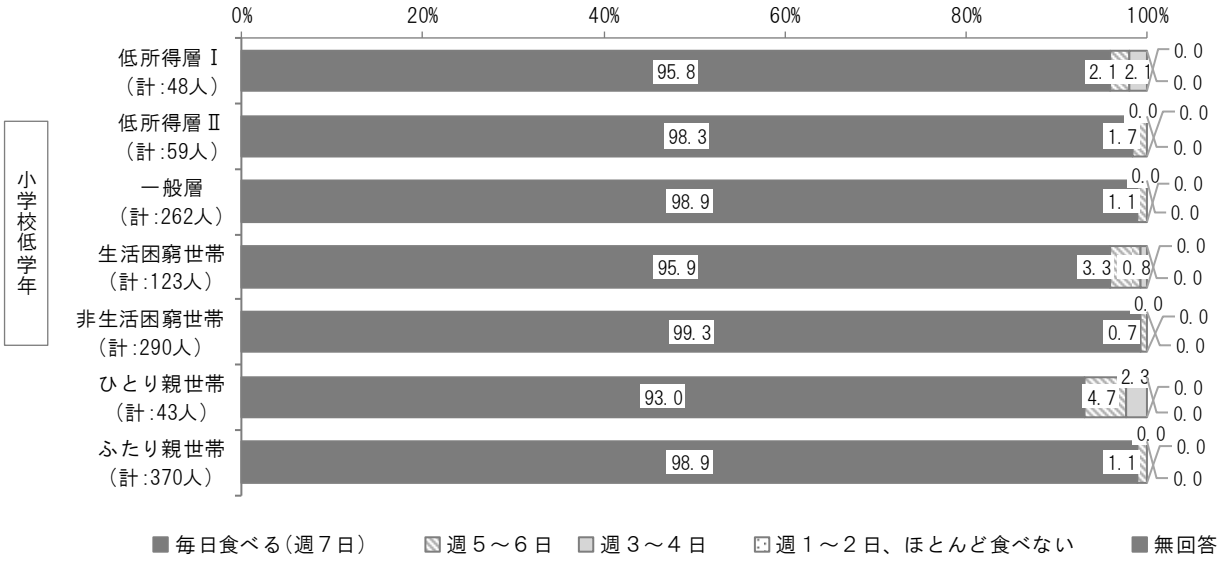

小学校高学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:41人）
95.1
2.4
2.4
0.0
0.0
低所得層Ⅱ（計:49人）
95.9
0.0
4.1
0.0
0.0
一般層（計:243人）
98.4
0.0
1.6
0.0
0.0
生活困窮世帯（計:110人）
97.3
0.9
1.8
0.0
0.0
非生活困窮世帯（計:268人）
96.6
0.4
3.0
0.0
0.0
ひとり親世帯（計:49人）
93.9
0.0
6.1
0.0
0.0
ふたり親世帯（計:327人）
97.2
0.6
2.1
0.0
0.0
毎日食べる(週７日)
週５～６日
週３～４日
週１～２日、ほとんど食べない
無回答

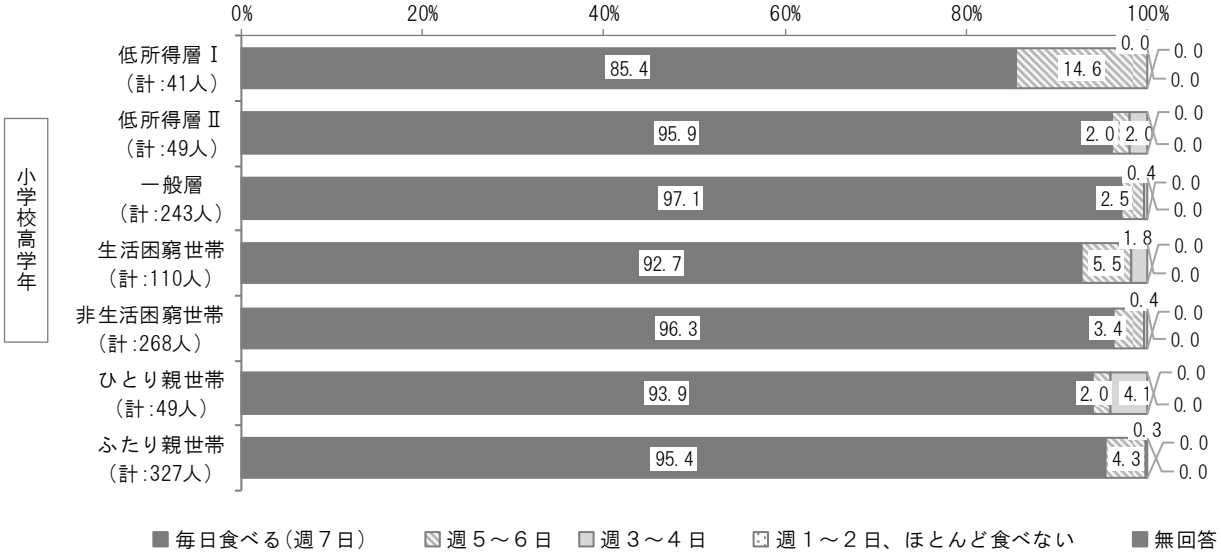

中学生
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
96.2
0.0
3.8
0.0
0.0
低所得層Ⅱ（計:35人）
94.3
0.0
5.7
0.0
0.0
一般層（計:119人）
96.6
0.0
2.5
0.8
0.0
生活困窮世帯（計:74人）
93.2
0.0
5.4
1.4
0.0
非生活困窮世帯（計:136人）
97.8
0.7
1.5
0.0
0.0
ひとり親世帯（計:28人）
92.9
3.6
3.6
0.0
0.0
ふたり親世帯（計:180人）
96.7
0.0
2.8
0.6
0.0
毎日食べる(週７日)
週５～６日
週３～４日
週１～２日、ほとんど食べない
無回答

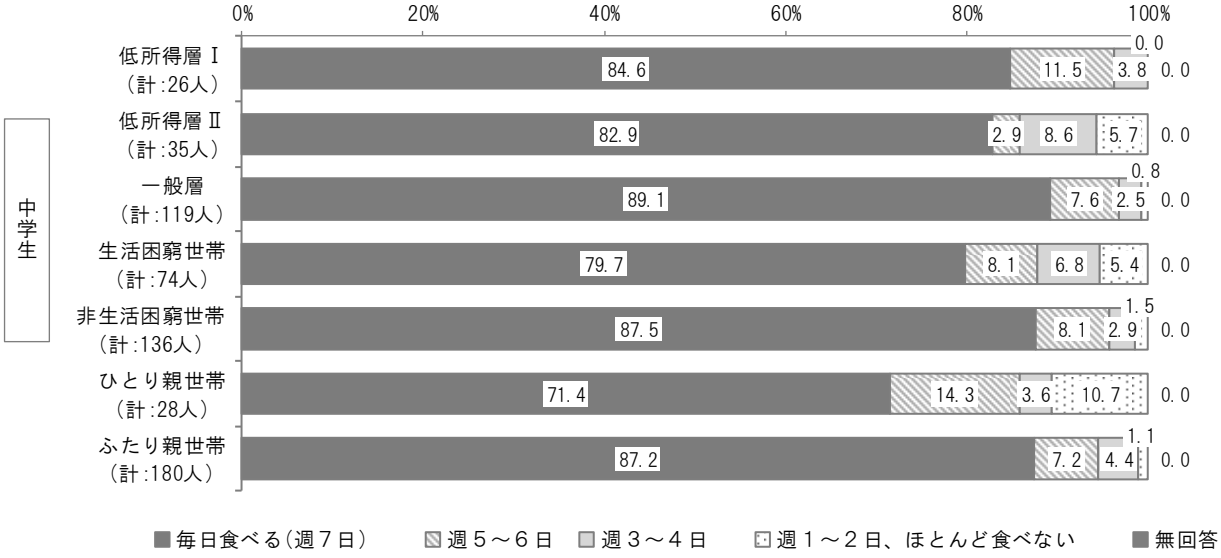
③　夏休みや冬休みなどの期間の昼食について

- ◆　夏休みや冬休みなどの期間の昼食の頻度について、小中学生全体では「毎日食べる（週７日）」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、88.7%となっています。次いで、「週５～６日」（5.8%）、「週３～４日」（3.0%）となっています。
- ◆　小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「毎日食べる（週７日）」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「毎日食べる（週７日）」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆　小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「毎日食べる（週７日）」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「毎日食べる（週７日）」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆　中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「毎日食べる（週７日）」と回答した生徒の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「毎日食べる（週７日）」と回答した生徒の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。




小学校低学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:48人）
95.8
2.1
2.1
0.0
0.0
低所得層Ⅱ（計:59人）
98.3
1.7
0.0
0.0
0.0
一般層（計:262人）
98.9
1.1
0.0
0.0
0.0
生活困窮世帯（計:123人）
95.9
3.3
0.8
0.0
0.0
非生活困窮世帯（計:290人）
99.3
0.7
0.0
0.0
0.0
ひとり親世帯（計:43人）
93.0
4.7
2.3
0.0
0.0
ふたり親世帯（計:370人）
98.9
1.1
0.0
0.0
0.0
■毎日食べる（週７日）
▨週５～６日
□週３～４日
⁘週１～２日、ほとんど食べない
■無回答

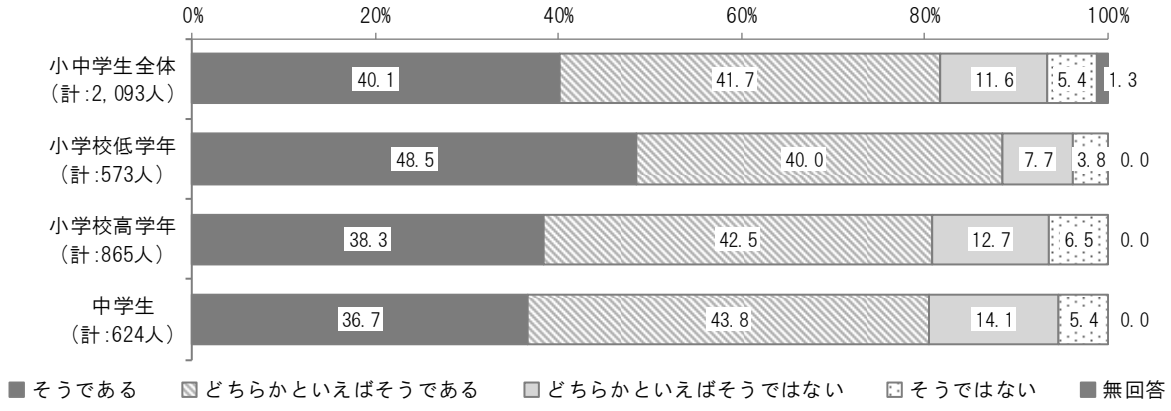

小学校高学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:41人）
85.4
14.6
0.0
0.0
0.0
低所得層Ⅱ（計:49人）
95.9
2.0
2.0
0.0
0.0
一般層（計:243人）
97.1
2.5
0.4
0.0
0.0
生活困窮世帯（計:110人）
92.7
5.5
1.8
0.0
0.0
非生活困窮世帯（計:268人）
96.3
3.4
0.4
0.0
0.0
ひとり親世帯（計:49人）
93.9
2.0
4.1
0.0
0.0
ふたり親世帯（計:327人）
95.4
4.3
0.3
0.0
0.0
■毎日食べる（週７日）
▨週５～６日
□週３～４日
⁘週１～２日、ほとんど食べない
■無回答

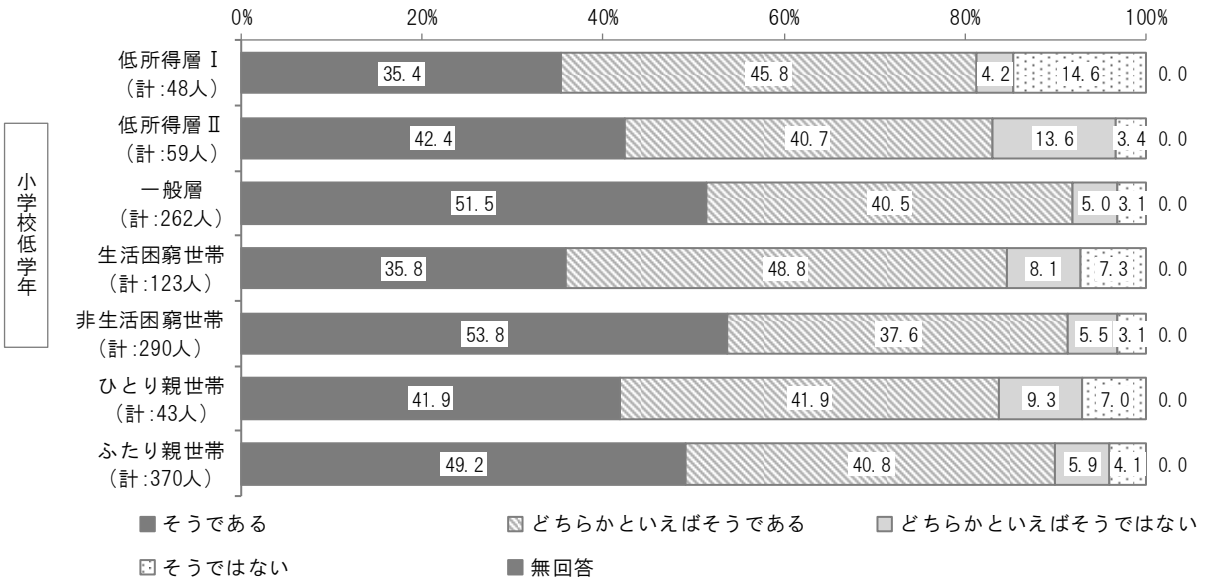

中学生
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
84.6
11.5
3.8
0.0
低所得層Ⅱ（計:35人）
82.9
2.9
8.6
5.7
0.0
一般層（計:119人）
89.1
7.6
2.5
0.8
0.0
生活困窮世帯（計:74人）
79.7
8.1
6.8
5.4
0.0
非生活困窮世帯（計:136人）
87.5
8.1
2.9
1.5
0.0
ひとり親世帯（計:28人）
71.4
14.3
3.6
10.7
0.0
ふたり親世帯（計:180人）
87.2
7.2
4.4
1.1
0.0
■毎日食べる（週７日）
▨週５～６日
□週３～４日
⁘週１～２日、ほとんど食べない
■無回答

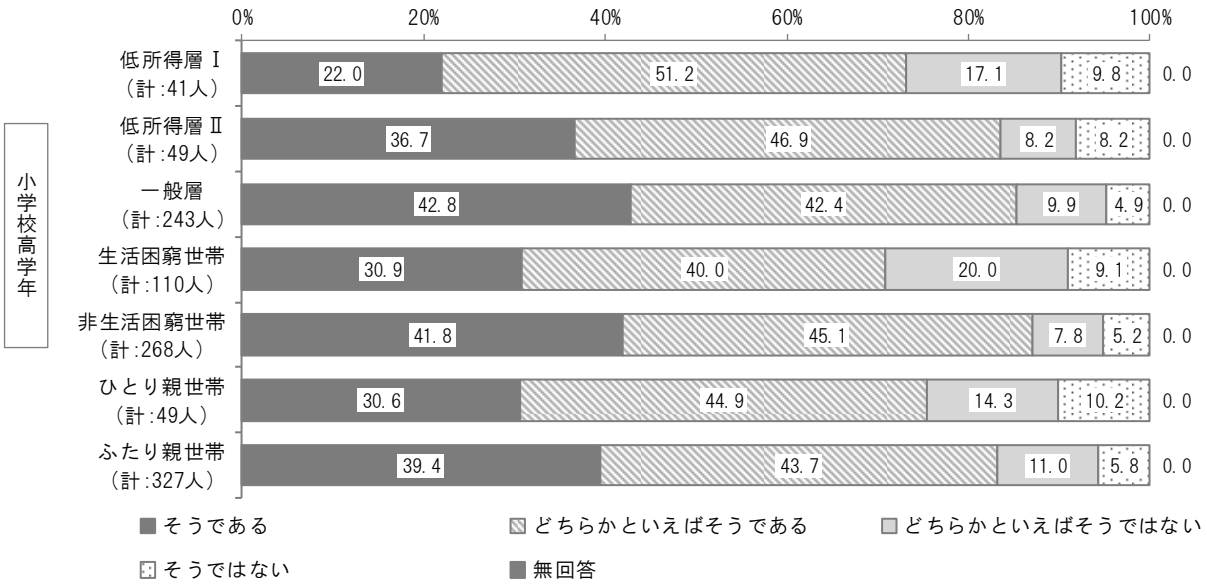
ｂ）就寝時間

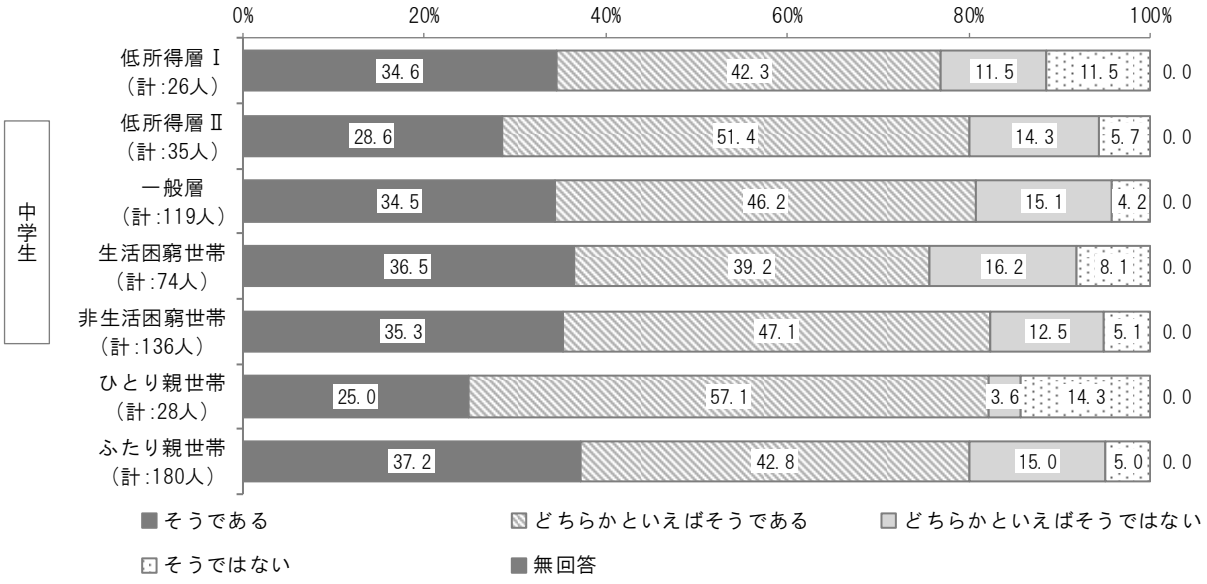
＜小学生・中学生票＞問 10　あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時間に寝ていますか。（１つに○）

- ◆ ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますかとたずねたところ、小中学生全体では「どちらかといえばそうである」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、41.7%となっています。次いで、「そうである」（40.1%）、「どちらかといえばそうではない」（11.6%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、「そうである」と回答した児童の割合が高くなっています。低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「そうである（「そうである」＋「どちらかといえばそうである」）」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「どちらかといえばそうである」と回答した児童の割合が最も高くなっています。低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「そうである（「そうである」＋「どちらかといえばそうである」）」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「どちらかといえばそうである」と回答した生徒の割合が最も高くなっています。低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯で「そうである（「そうである」＋「どちらかといえばそうである」）」と回答した生徒の割合が一般層、非生活困窮世帯より低い傾向があります。




小学校低学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:48人）
35.4
45.8
4.2
14.6
0.0
低所得層Ⅱ（計:59人）
42.4
40.7
13.6
3.4
0.0
一般層（計:262人）
51.5
40.5
5.0
3.1
0.0
生活困窮世帯（計:123人）
35.8
48.8
8.1
7.3
0.0
非生活困窮世帯（計:290人）
53.8
37.6
5.5
3.1
0.0
ひとり親世帯（計:43人）
41.9
41.9
9.3
7.0
0.0
ふたり親世帯（計:370人）
49.2
40.8
5.9
4.1
0.0
そうである
どちらかといえばそうである
どちらかといえばそうではない
そうではない
無回答


小学校高学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:41人）
22.0
51.2
17.1
9.8
0.0
低所得層Ⅱ（計:49人）
36.7
46.9
8.2
8.2
0.0
一般層（計:243人）
42.8
42.4
9.9
4.9
0.0
生活困窮世帯（計:110人）
30.9
40.0
20.0
9.1
0.0
非生活困窮世帯（計:268人）
41.8
45.1
7.8
5.2
0.0
ひとり親世帯（計:49人）
30.6
44.9
14.3
10.2
0.0
ふたり親世帯（計:327人）
39.4
43.7
11.0
5.8
0.0
そうである
どちらかといえばそうである
どちらかといえばそうではない
そうではない
無回答


中学生
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
34.6
42.3
11.5
11.5
0.0
低所得層Ⅱ（計:35人）
28.6
51.4
14.3
5.7
0.0
一般層（計:119人）
34.5
46.2
15.1
4.2
0.0
生活困窮世帯（計:74人）
36.5
39.2
16.2
8.1
0.0
非生活困窮世帯（計:136人）
35.3
47.1
12.5
5.1
0.0
ひとり親世帯（計:28人）
25.0
57.1
3.6
14.3
0.0
ふたり親世帯（計:180人）
37.2
42.8
15.0
5.0
0.0
そうである
どちらかといえばそうである
どちらかといえばそうではない
そうではない
無回答

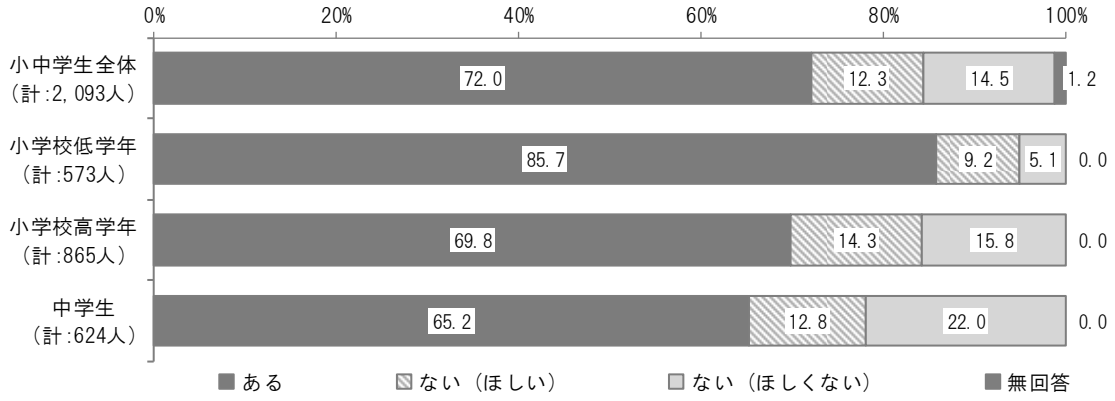
（２）所有物の欠如

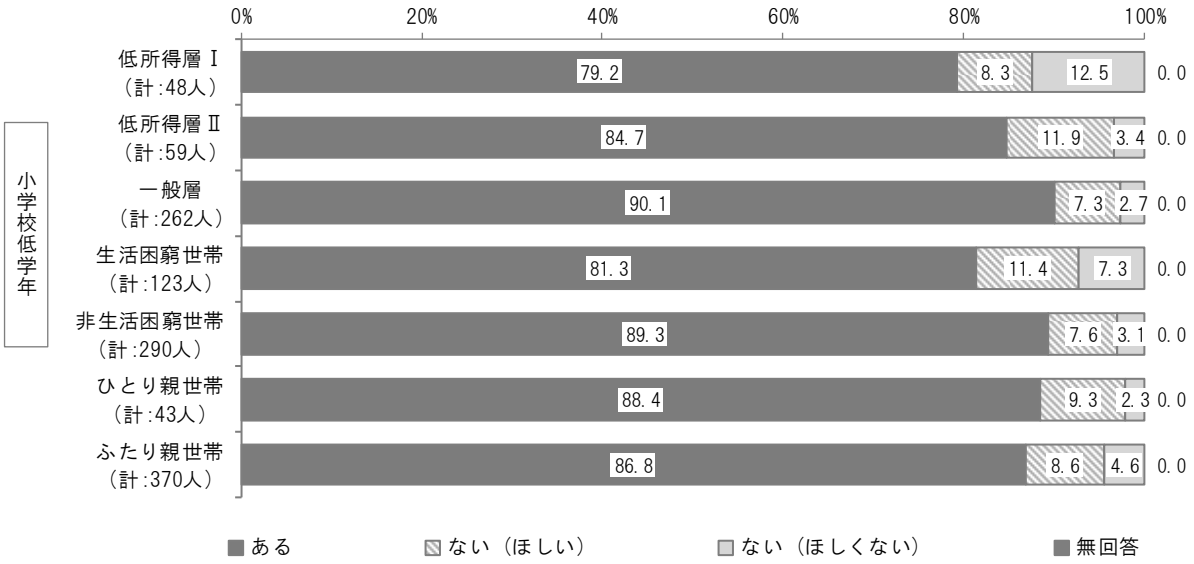
ａ）所有物について

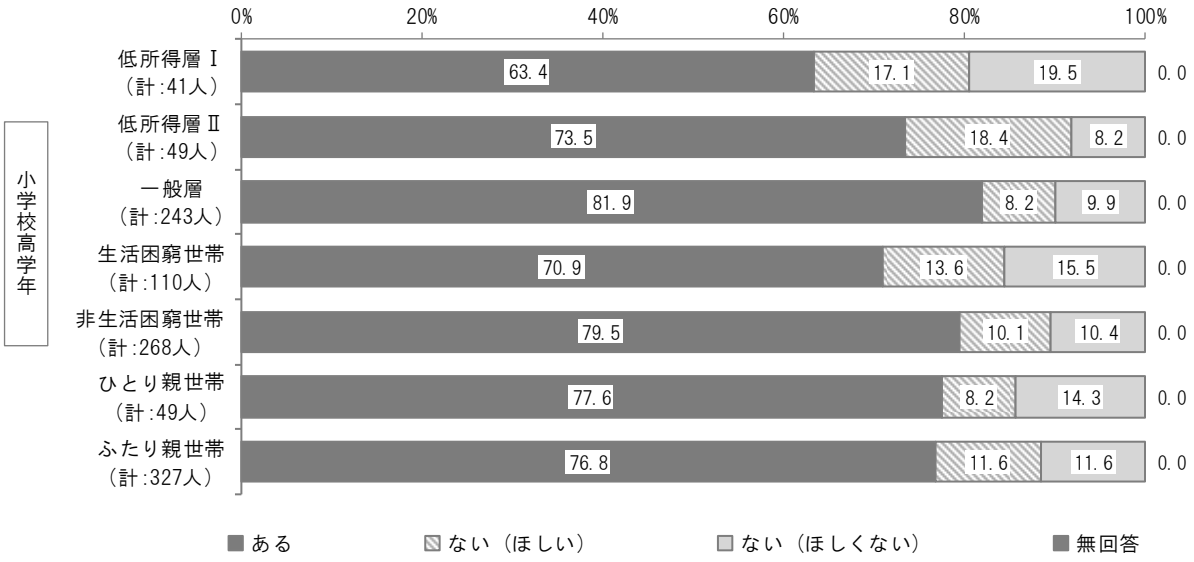
＜小学生・中学生票＞問 14　あなたは、自分が使うことができる、以下のものがありますか。ある場合は「１」に○をつけてください。ない場合で、それがほしいものであれば「２」、ほしくないと思うものであれば「３」に○をつけてください。
（①～⑮それぞれについて、あてはまるもの１つに○）

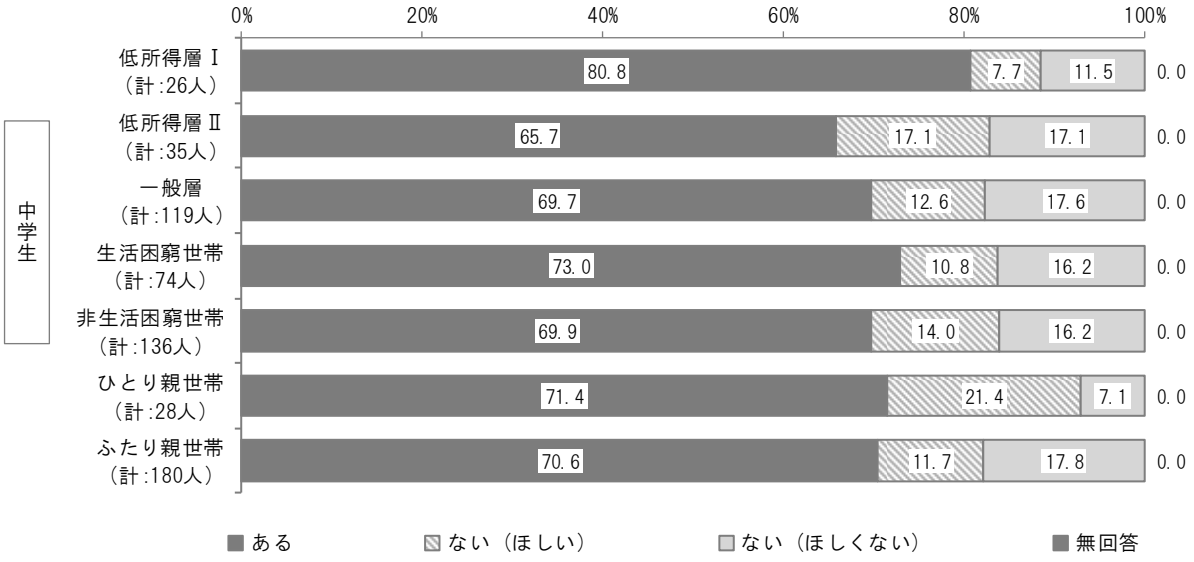
①　自分だけの本（学校の教科書やマンガはのぞく）

- ◆ 自分だけの本があるかとたずねたところ、小中学生全体では「ある」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、72.0%となっています。次いで、「ない （ほしくない)」（14.5%)、「ない（ほしい)」（12.3%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯で「ある」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯で「ある」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した生徒の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した生徒の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より高い傾向があります。



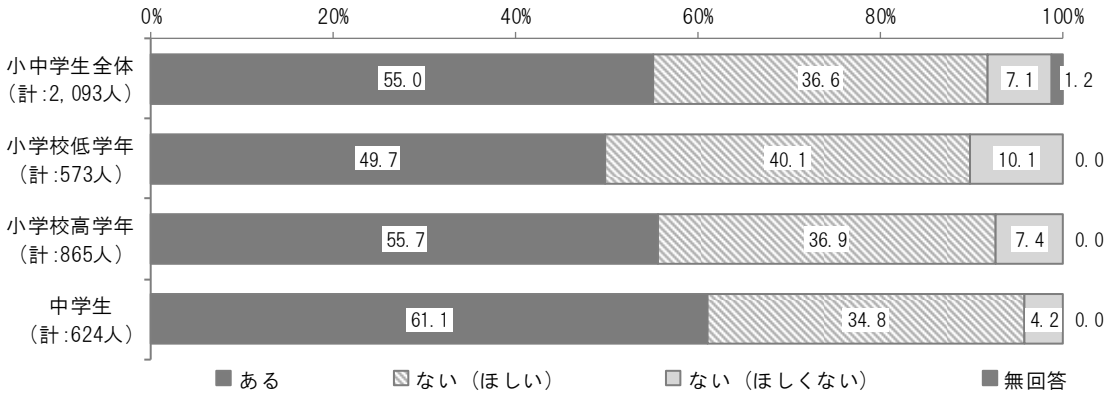

小学校低学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:48人）
79.2
8.3
12.5
0.0
低所得層Ⅱ（計:59人）
84.7
11.9
3.4
0.0
一般層（計:262人）
90.1
7.3
2.7
0.0
生活困窮世帯（計:123人）
81.3
11.4
7.3
0.0
非生活困窮世帯（計:290人）
89.3
7.6
3.1
0.0
ひとり親世帯（計:43人）
88.4
9.3
2.3
0.0
ふたり親世帯（計:370人）
86.8
8.6
4.6
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答

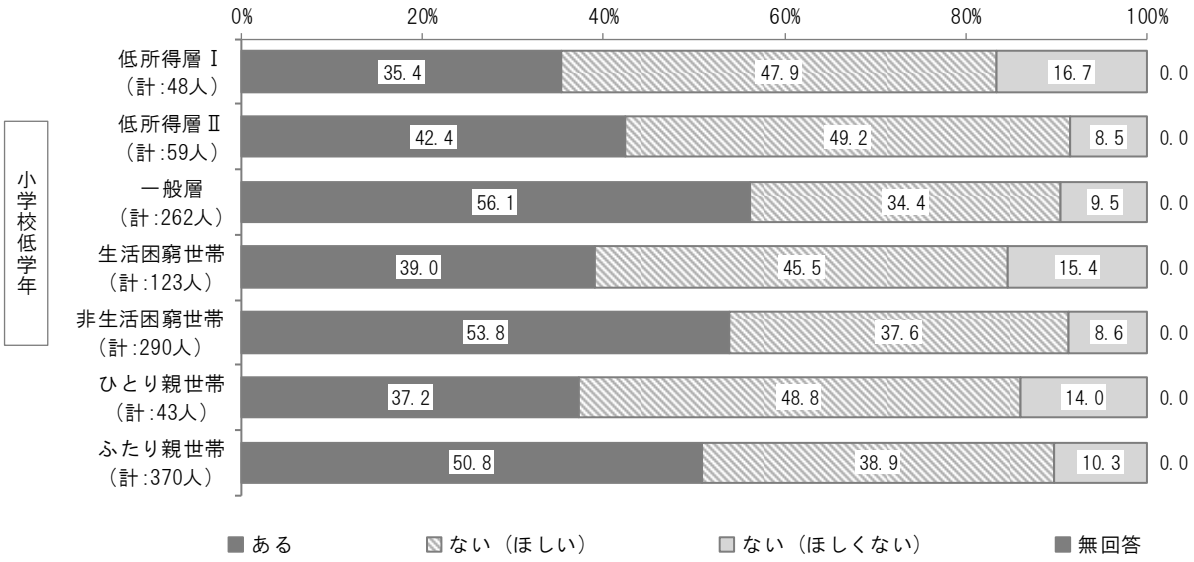

小学校高学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:41人）
63.4
17.1
19.5
0.0
低所得層Ⅱ（計:49人）
73.5
18.4
8.2
0.0
一般層（計:243人）
81.9
8.2
9.9
0.0
生活困窮世帯（計:110人）
70.9
13.6
15.5
0.0
非生活困窮世帯（計:268人）
79.5
10.1
10.4
0.0
ひとり親世帯（計:49人）
77.6
8.2
14.3
0.0
ふたり親世帯（計:327人）
76.8
11.6
11.6
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答

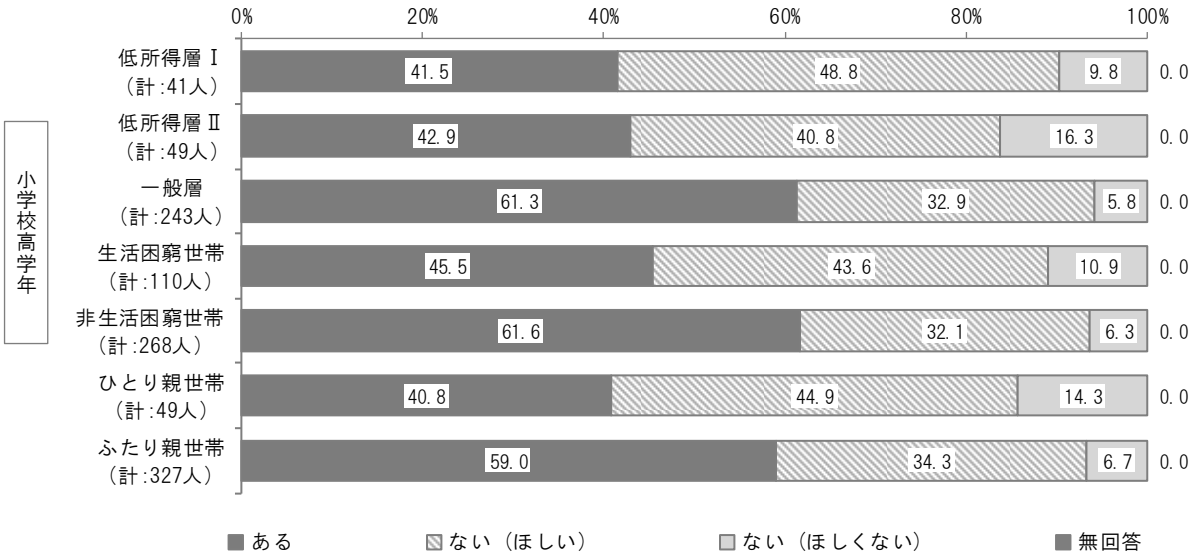

中学生
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
80.8
7.7
11.5
0.0
低所得層Ⅱ（計:35人）
65.7
17.1
17.1
0.0
一般層（計:119人）
69.7
12.6
17.6
0.0
生活困窮世帯（計:74人）
73.0
10.8
16.2
0.0
非生活困窮世帯（計:136人）
69.9
14.0
16.2
0.0
ひとり親世帯（計:28人）
71.4
21.4
7.1
0.0
ふたり親世帯（計:180人）
70.6
11.7
17.8
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答

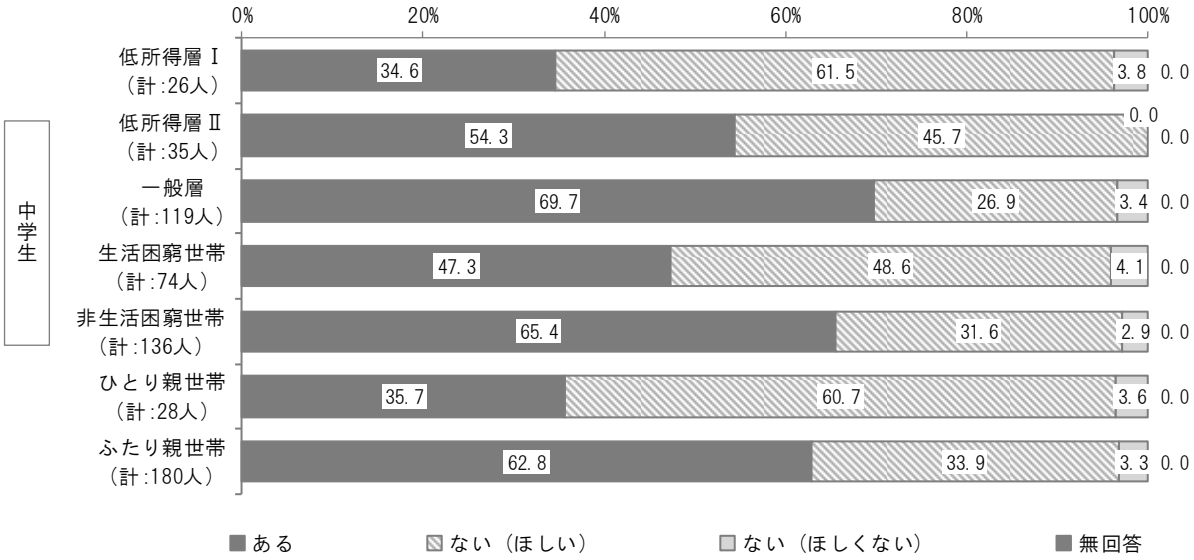
② 自分の部屋（兄弟・姉妹と使っている場合もふくみます）

- ◆ 自分の部屋があるかとたずねたところ、小中学生全体では「ある」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、55.0%となっています。次いで、「ない（ほしい）」(36.6%)、「ない（ほしくない）」(7.1%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、「ない（ほしい）」と回答した児童の割合が高くなっています。低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、低所得層Ⅰとひとり親世帯を除き全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、「ない（ほしい）」と回答した生徒の割合が高くなっています。低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した生徒の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



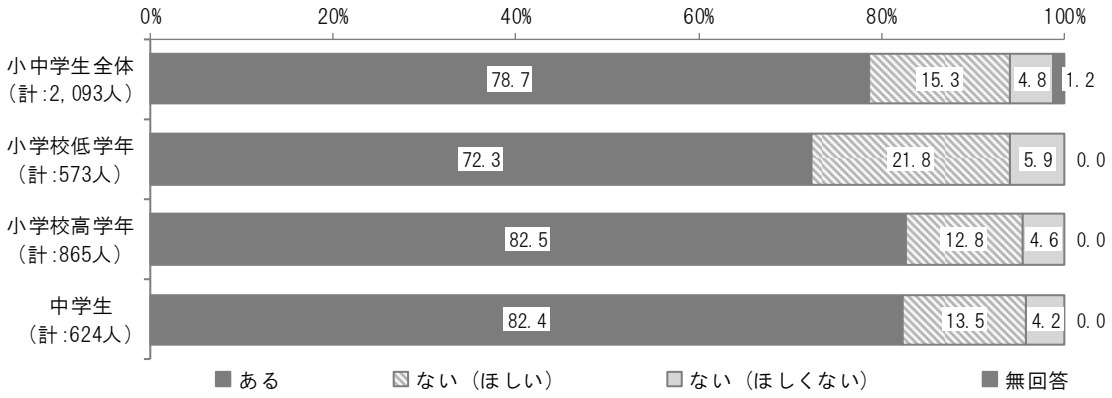

小学校低学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:48人）
35.4
47.9
16.7
0.0
低所得層Ⅱ（計:59人）
42.4
49.2
8.5
0.0
一般層（計:262人）
56.1
34.4
9.5
0.0
生活困窮世帯（計:123人）
39.0
45.5
15.4
0.0
非生活困窮世帯（計:290人）
53.8
37.6
8.6
0.0
ひとり親世帯（計:43人）
37.2
48.8
14.0
0.0
ふたり親世帯（計:370人）
50.8
38.9
10.3
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答

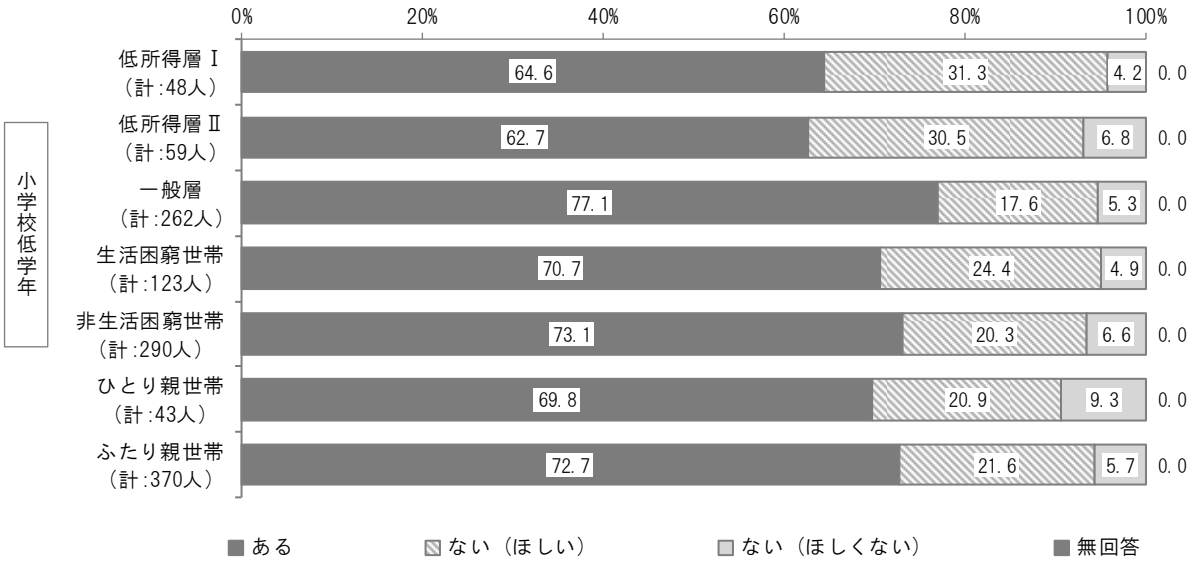

小学校高学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:41人）
41.5
48.8
9.8
0.0
低所得層Ⅱ（計:49人）
42.9
40.8
16.3
0.0
一般層（計:243人）
61.3
32.9
5.8
0.0
生活困窮世帯（計:110人）
45.5
43.6
10.9
0.0
非生活困窮世帯（計:268人）
61.6
32.1
6.3
0.0
ひとり親世帯（計:49人）
40.8
44.9
14.3
0.0
ふたり親世帯（計:327人）
59.0
34.3
6.7
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答

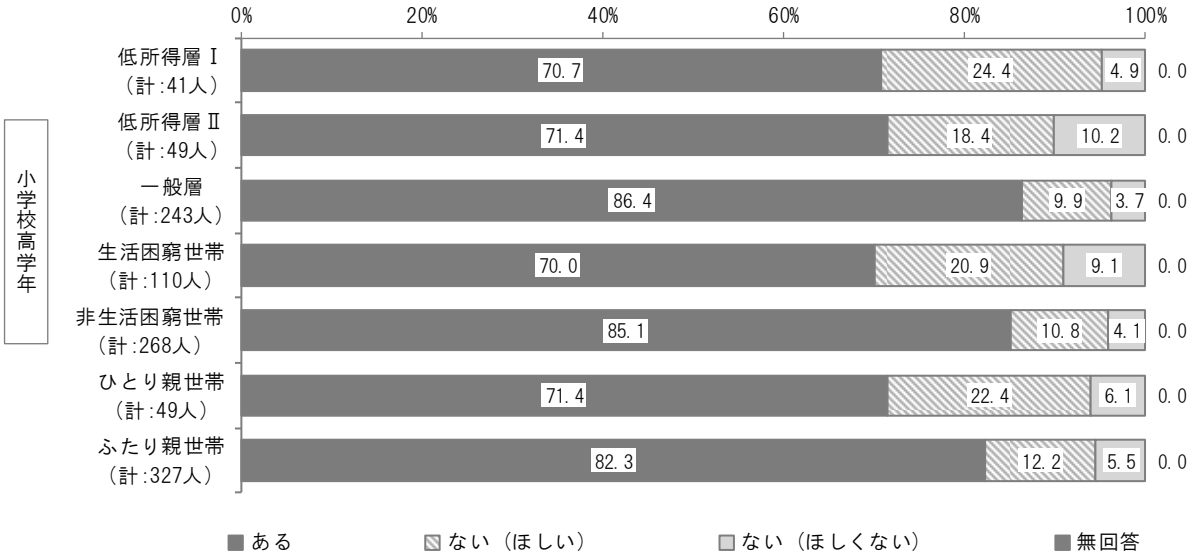

中学生
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
34.6
61.5
3.8
0.0
低所得層Ⅱ（計:35人）
54.3
45.7
0.0
0.0
一般層（計:119人）
69.7
26.9
3.4
0.0
生活困窮世帯（計:74人）
47.3
48.6
4.1
0.0
非生活困窮世帯（計:136人）
65.4
31.6
2.9
0.0
ひとり親世帯（計:28人）
35.7
60.7
3.6
0.0
ふたり親世帯（計:180人）
62.8
33.9
3.3
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答

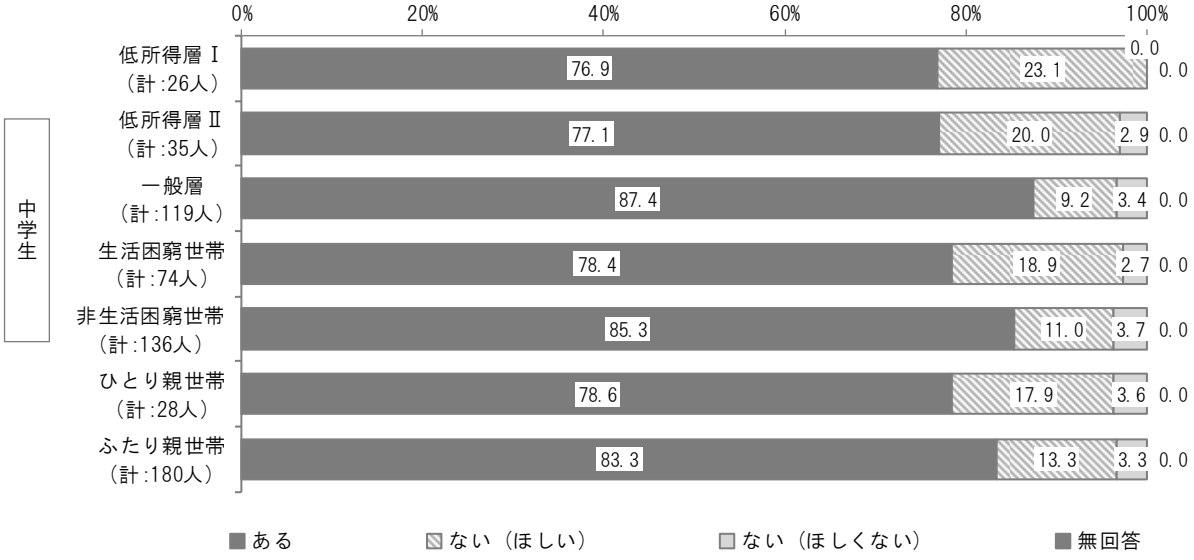
③（自宅で）インターネットにつながるパソコン、タブレット

- ◆ 自宅で、インターネットにつながるパソコン、タブレットがあるかとたずねたところ、小中学生全体では「ある」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、78.7%となっています。次いで、「ない（ほしい）」（15.3%）、「ない（ほしくない）」（4.8%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した生徒の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した生徒の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



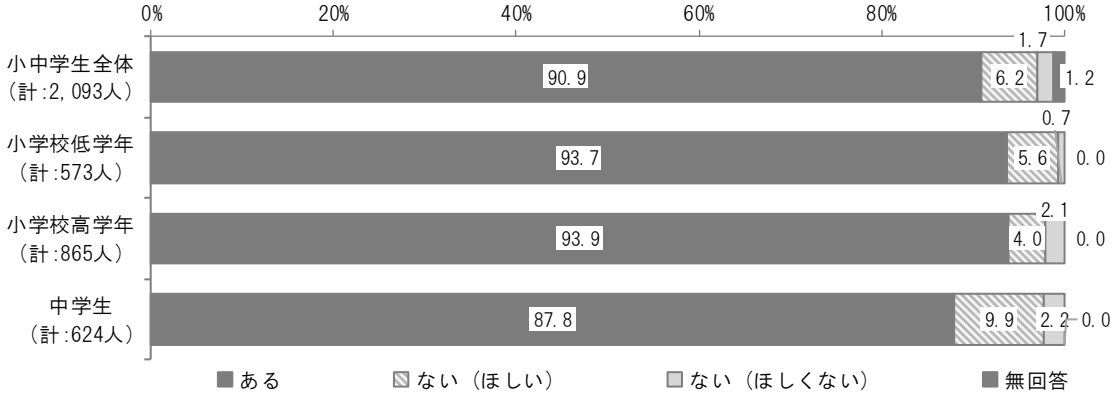

小学校低学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:48人）
64.6
31.3
4.2
0.0
低所得層Ⅱ（計:59人）
62.7
30.5
6.8
0.0
一般層（計:262人）
77.1
17.6
5.3
0.0
生活困窮世帯（計:123人）
70.7
24.4
4.9
0.0
非生活困窮世帯（計:290人）
73.1
20.3
6.6
0.0
ひとり親世帯（計:43人）
69.8
20.9
9.3
0.0
ふたり親世帯（計:370人）
72.7
21.6
5.7
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答

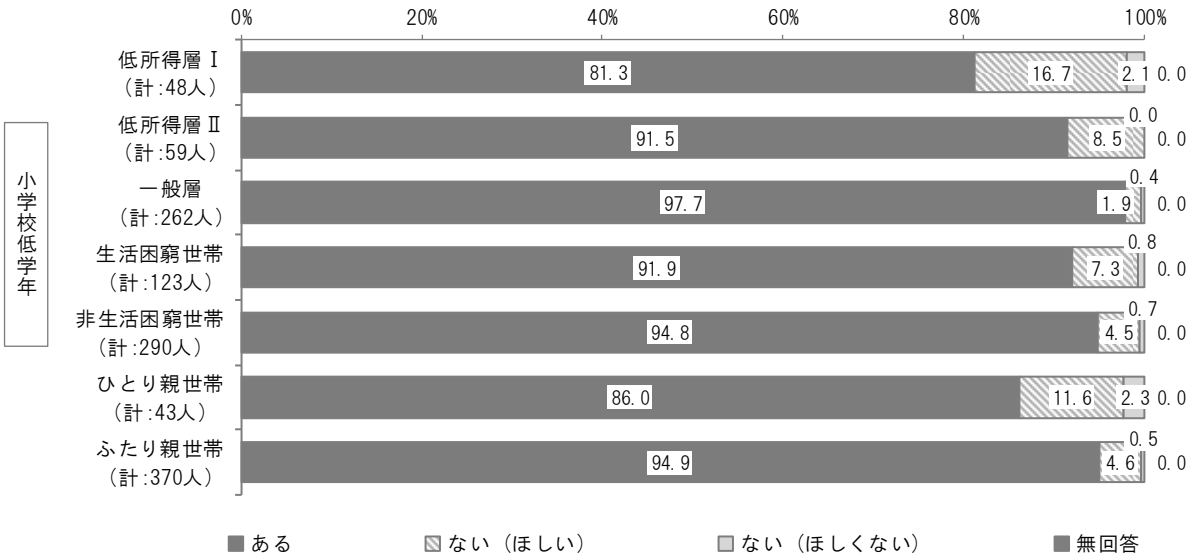

小学校高学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:41人）
70.7
24.4
4.9
0.0
低所得層Ⅱ（計:49人）
71.4
18.4
10.2
0.0
一般層（計:243人）
86.4
9.9
3.7
0.0
生活困窮世帯（計:110人）
70.0
20.9
9.1
0.0
非生活困窮世帯（計:268人）
85.1
10.8
4.1
0.0
ひとり親世帯（計:49人）
71.4
22.4
6.1
0.0
ふたり親世帯（計:327人）
82.3
12.2
5.5
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答

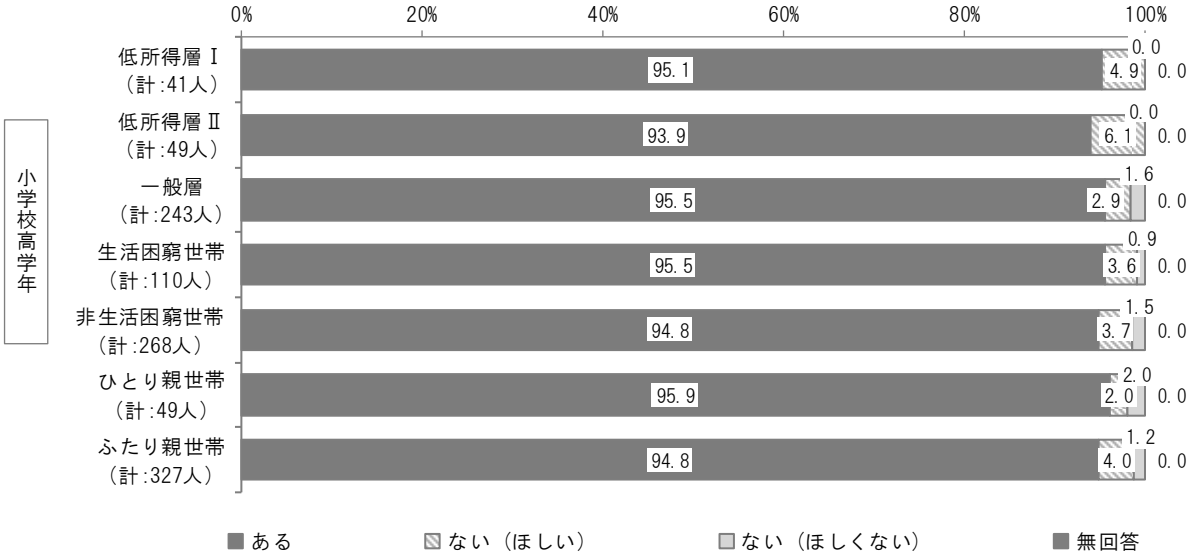

中学生
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
76.9
23.1
0.0
0.0
低所得層Ⅱ（計:35人）
77.1
20.0
2.9
0.0
一般層（計:119人）
87.4
9.2
3.4
0.0
生活困窮世帯（計:74人）
78.4
18.9
2.7
0.0
非生活困窮世帯（計:136人）
85.3
11.0
3.7
0.0
ひとり親世帯（計:28人）
78.6
17.9
3.6
0.0
ふたり親世帯（計:180人）
83.3
13.3
3.3
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答

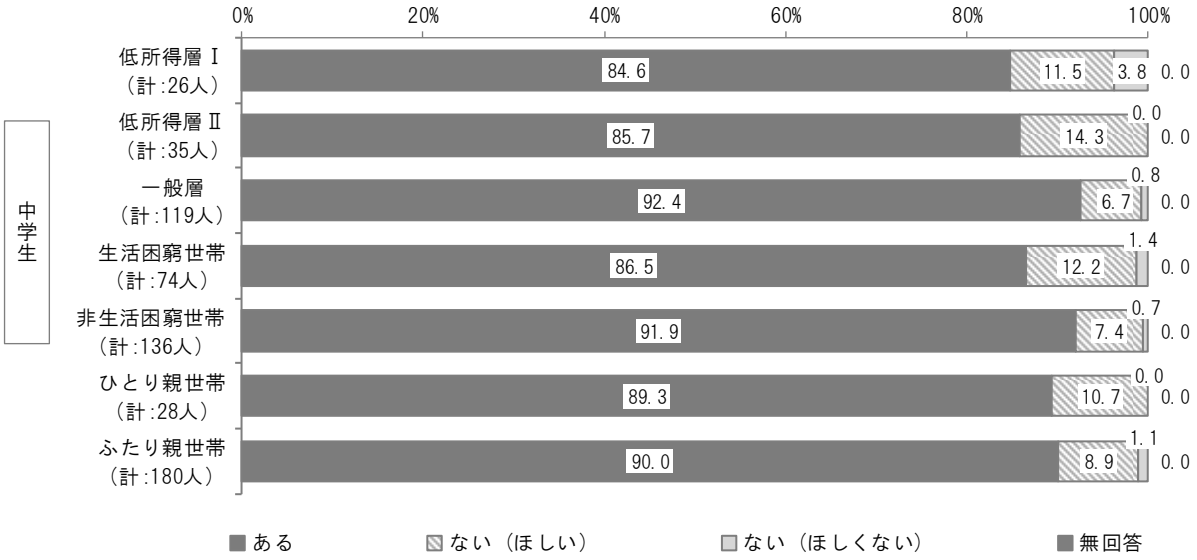
④　自宅で宿題をすることができる場所

- ◆　自宅で宿題をすることができる場所があるかとたずねたところ、小中学生全体では「ある」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、90.9%となっています。次いで、「ない（ほしい)」(6.2%)、「ない（ほしくない)」(1.7%）となっています。
- ◆　小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆　小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱで「ある」と回答した児童の割合が一般層より低い傾向があります。
- ◆　中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した生徒の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した生徒の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低い傾向があります。



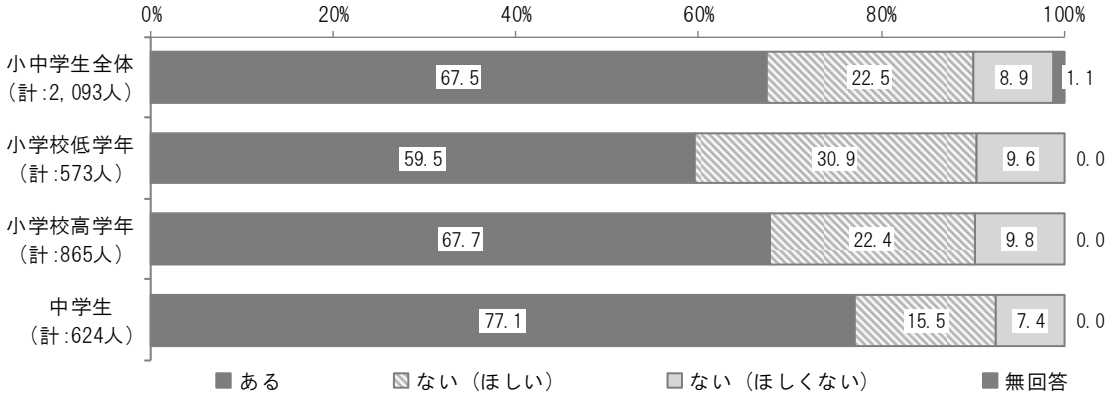

小学校低学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:48人）
81.3
16.7
2.1
0.0
低所得層Ⅱ（計:59人）
91.5
8.5
0.0
0.0
一般層（計:262人）
97.7
1.9
0.4
0.0
生活困窮世帯（計:123人）
91.9
7.3
0.8
0.0
非生活困窮世帯（計:290人）
94.8
4.5
0.7
0.0
ひとり親世帯（計:43人）
86.0
11.6
2.3
0.0
ふたり親世帯（計:370人）
94.9
4.6
0.5
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答

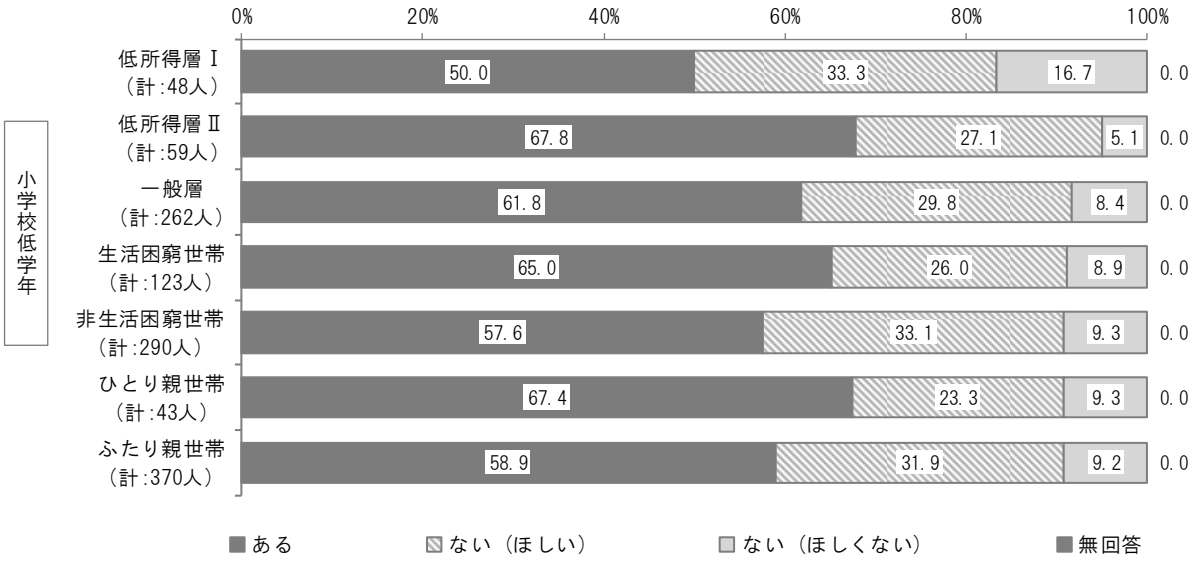

小学校高学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:41人）
95.1
4.9
0.0
0.0
低所得層Ⅱ（計:49人）
93.9
6.1
0.0
0.0
一般層（計:243人）
95.5
2.9
1.6
0.0
生活困窮世帯（計:110人）
95.5
3.6
0.9
0.0
非生活困窮世帯（計:268人）
94.8
3.7
1.5
0.0
ひとり親世帯（計:49人）
95.9
2.0
2.0
0.0
ふたり親世帯（計:327人）
94.8
4.0
1.2
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答

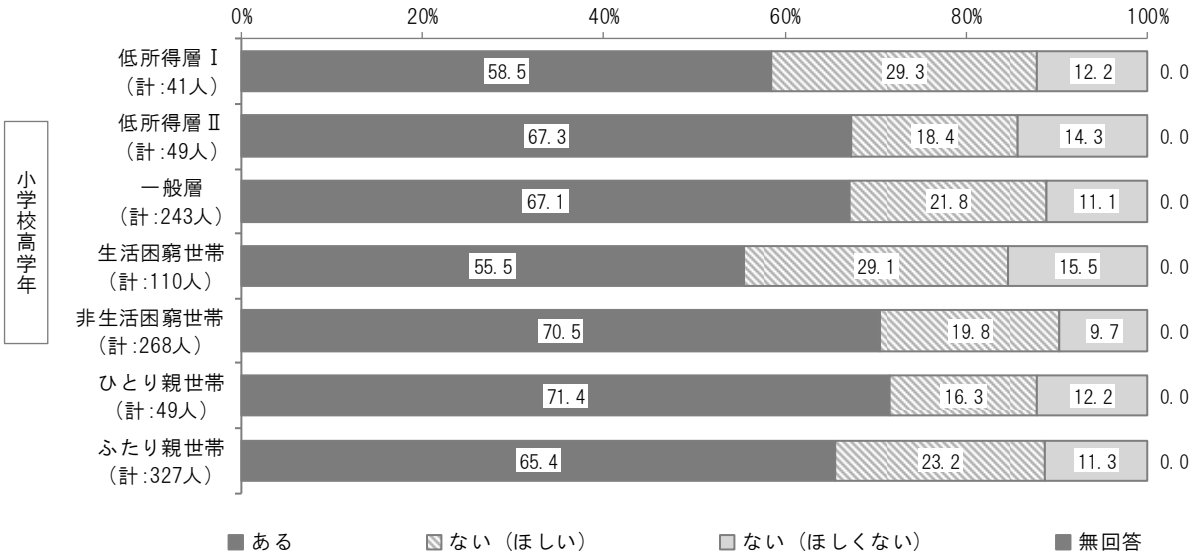

中学生
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
84.6
11.5
3.8
0.0
低所得層Ⅱ（計:35人）
85.7
14.3
0.0
0.0
一般層（計:119人）
92.4
6.7
0.8
0.0
生活困窮世帯（計:74人）
86.5
12.2
1.4
0.0
非生活困窮世帯（計:136人）
91.9
7.4
0.7
0.0
ひとり親世帯（計:28人）
89.3
10.7
0.0
0.0
ふたり親世帯（計:180人）
90.0
8.9
1.1
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答

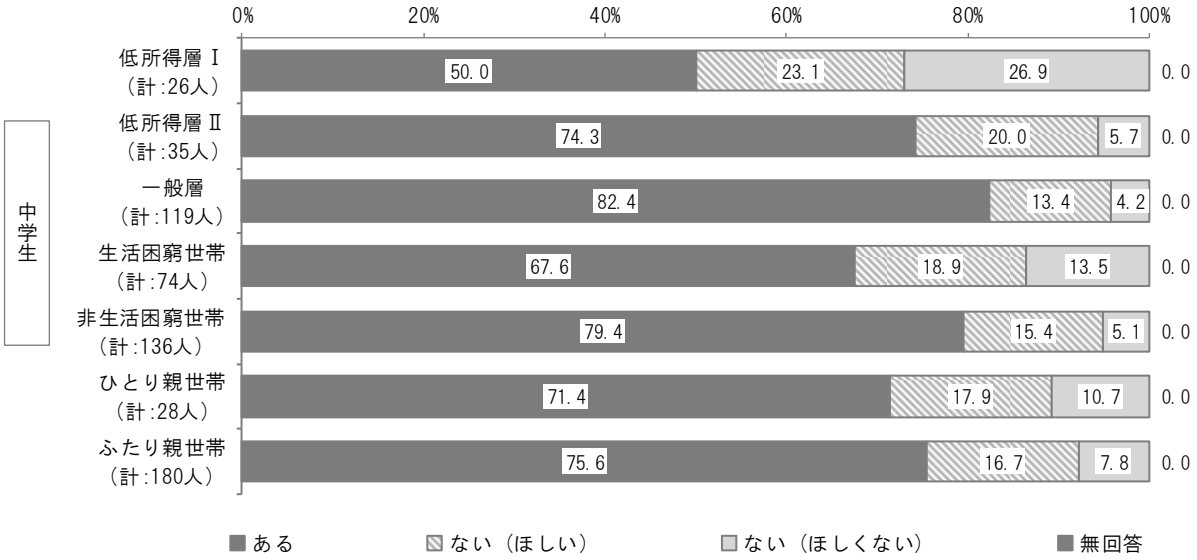
⑤　自分専用の勉強机

- ◆　自分専用の勉強机があるかとたずねたところ、小中学生全体では「ある」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、67.5%となっています。次いで、「ない（ほしい）」（22.5%）、「ない（ほしくない）」（8.9%）となっています。
- ◆　小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より高くなっています。
- ◆　小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ、非生活困窮世帯で「ある」と回答した児童の割合が一般層、生活困窮世帯より低くなっています。
- ◆　中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した生徒の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した生徒の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



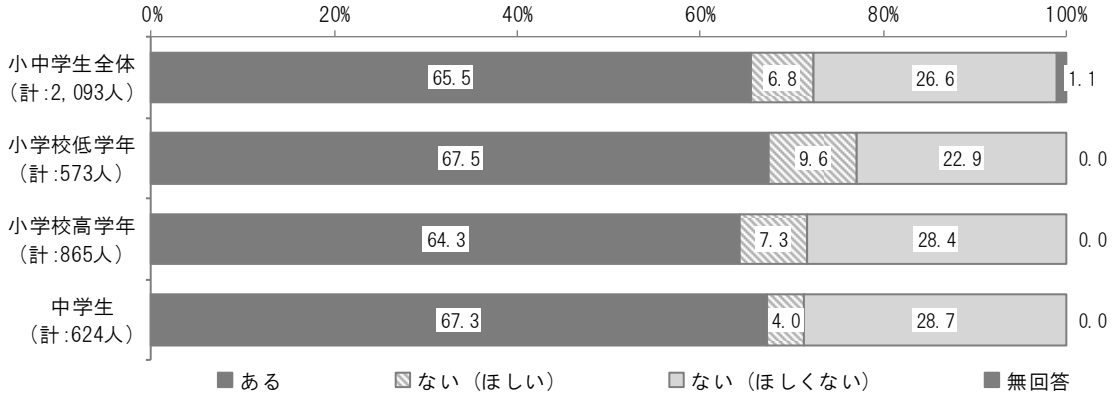

小学校低学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:48人）
50.0
33.3
16.7
0.0
低所得層Ⅱ（計:59人）
67.8
27.1
5.1
0.0
一般層（計:262人）
61.8
29.8
8.4
0.0
生活困窮世帯（計:123人）
65.0
26.0
8.9
0.0
非生活困窮世帯（計:290人）
57.6
33.1
9.3
0.0
ひとり親世帯（計:43人）
67.4
23.3
9.3
0.0
ふたり親世帯（計:370人）
58.9
31.9
9.2
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答

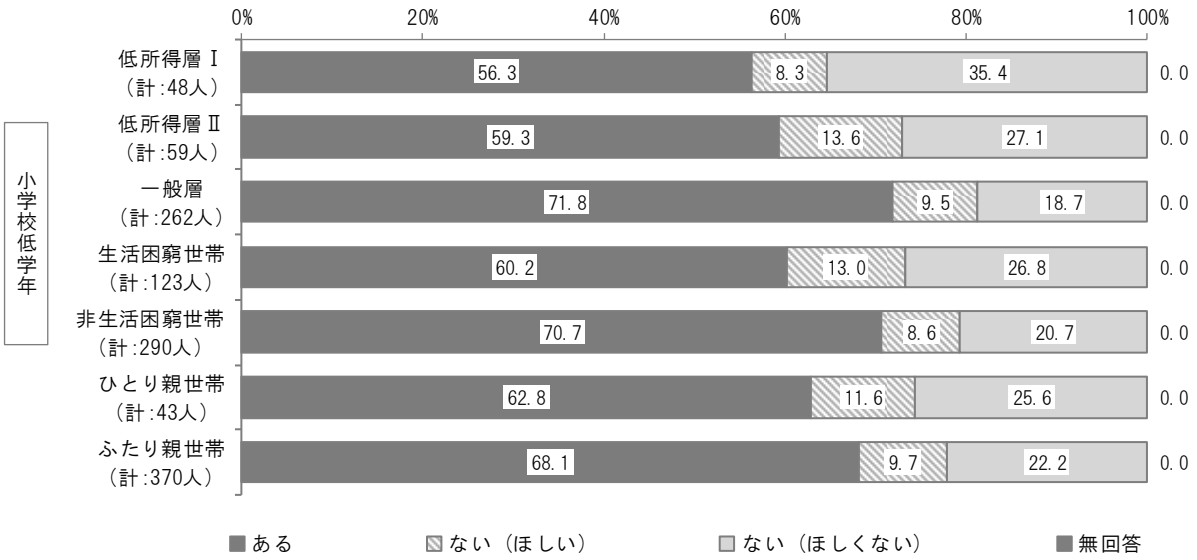

小学校高学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:41人）
58.5
29.3
12.2
0.0
低所得層Ⅱ（計:49人）
67.3
18.4
14.3
0.0
一般層（計:243人）
67.1
21.8
11.1
0.0
生活困窮世帯（計:110人）
55.5
29.1
15.5
0.0
非生活困窮世帯（計:268人）
70.5
19.8
9.7
0.0
ひとり親世帯（計:49人）
71.4
16.3
12.2
0.0
ふたり親世帯（計:327人）
65.4
23.2
11.3
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答

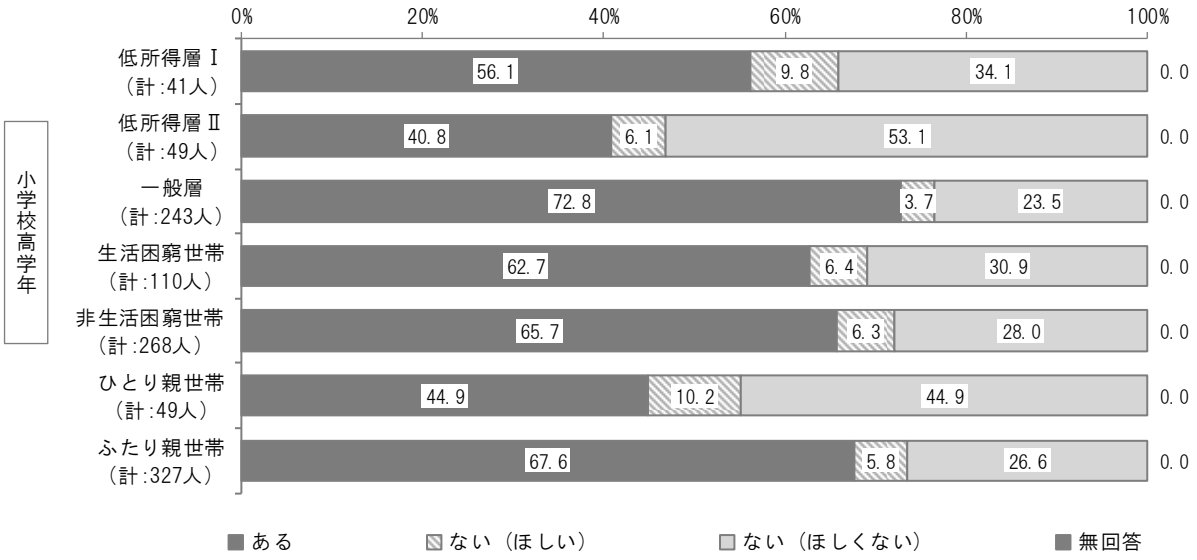

中学生
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
50.0
23.1
26.9
0.0
低所得層Ⅱ（計:35人）
74.3
20.0
5.7
0.0
一般層（計:119人）
82.4
13.4
4.2
0.0
生活困窮世帯（計:74人）
67.6
18.9
13.5
0.0
非生活困窮世帯（計:136人）
79.4
15.4
5.1
0.0
ひとり親世帯（計:28人）
71.4
17.9
10.7
0.0
ふたり親世帯（計:180人）
75.6
16.7
7.8
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答

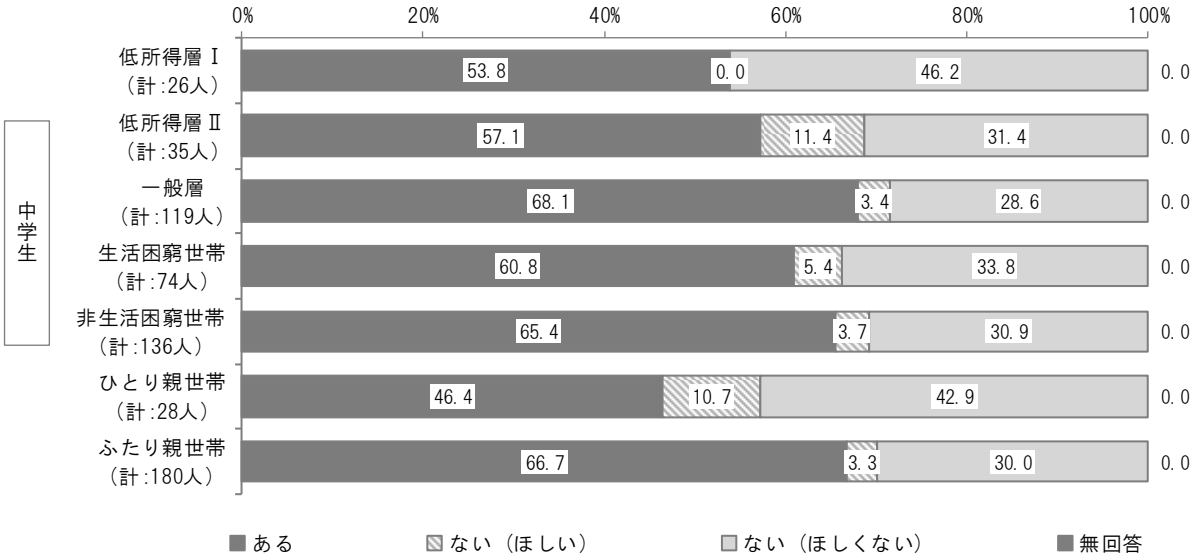
⑥　スポーツ用品（野球のグローブやサッカーボールなど）

- ◆　スポーツ用品があるかとたずねたところ、小中学生全体では「ある」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、65.5%となっています。次いで、「ない （ほしくない)」（26.6%)、「ない（ほしい)」(6.8%）となっています。
- ◆　小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆　小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆　中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した生徒の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した生徒の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



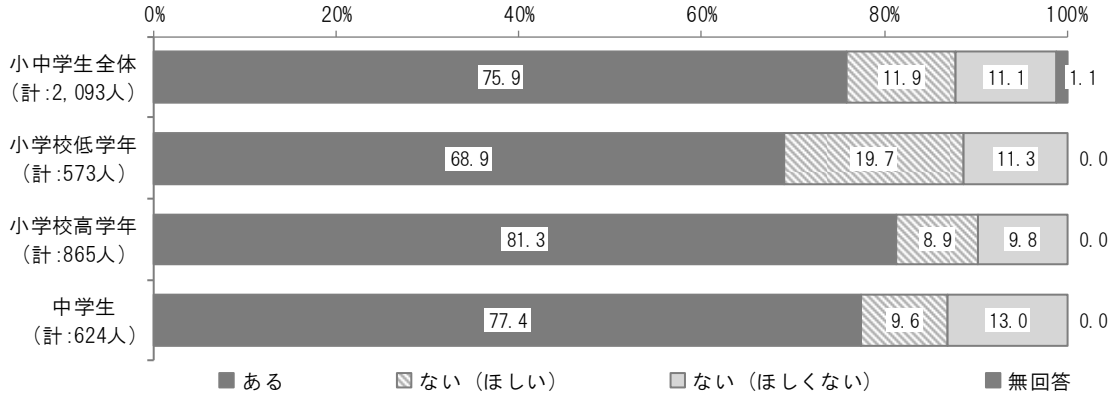

小学校低学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:48人）
56.3
8.3
35.4
0.0
低所得層Ⅱ（計:59人）
59.3
13.6
27.1
0.0
一般層（計:262人）
71.8
9.5
18.7
0.0
生活困窮世帯（計:123人）
60.2
13.0
26.8
0.0
非生活困窮世帯（計:290人）
70.7
8.6
20.7
0.0
ひとり親世帯（計:43人）
62.8
11.6
25.6
0.0
ふたり親世帯（計:370人）
68.1
9.7
22.2
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答

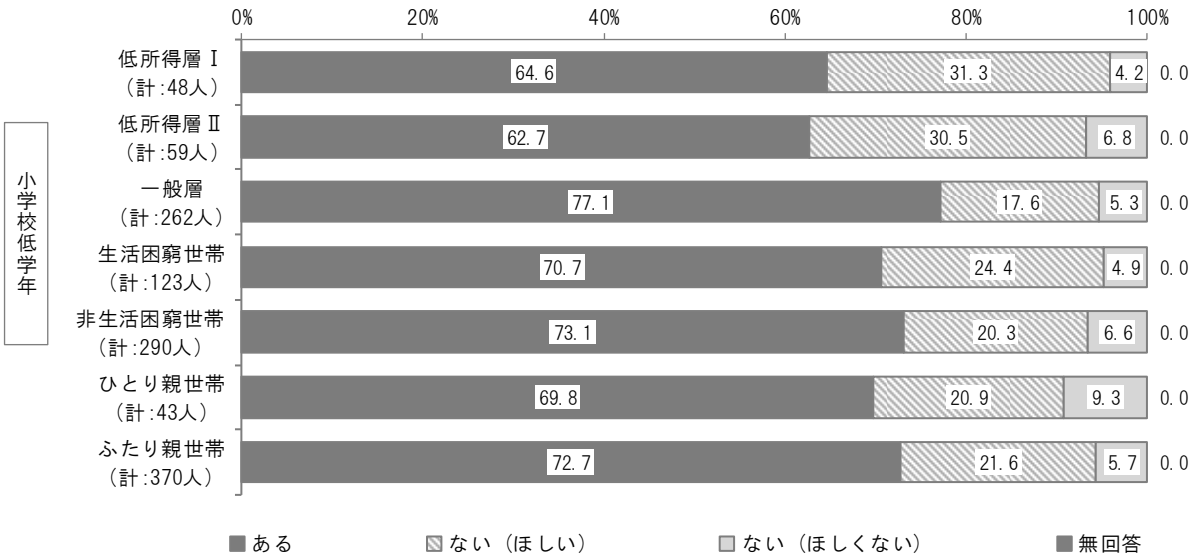

小学校高学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:41人）
56.1
9.8
34.1
0.0
低所得層Ⅱ（計:49人）
40.8
6.1
53.1
0.0
一般層（計:243人）
72.8
3.7
23.5
0.0
生活困窮世帯（計:110人）
62.7
6.4
30.9
0.0
非生活困窮世帯（計:268人）
65.7
6.3
28.0
0.0
ひとり親世帯（計:49人）
44.9
10.2
44.9
0.0
ふたり親世帯（計:327人）
67.6
5.8
26.6
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答

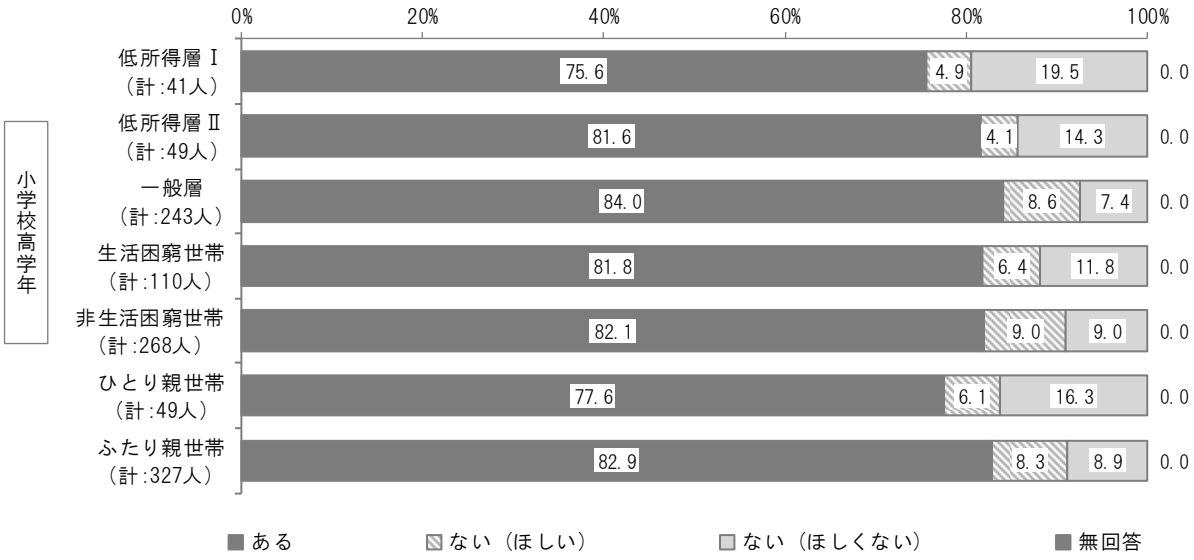

中学生
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
53.8
0.0
46.2
0.0
低所得層Ⅱ（計:35人）
57.1
11.4
31.4
0.0
一般層（計:119人）
68.1
3.4
28.6
0.0
生活困窮世帯（計:74人）
60.8
5.4
33.8
0.0
非生活困窮世帯（計:136人）
65.4
3.7
30.9
0.0
ひとり親世帯（計:28人）
46.4
10.7
42.9
0.0
ふたり親世帯（計:180人）
66.7
3.3
30.0
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答

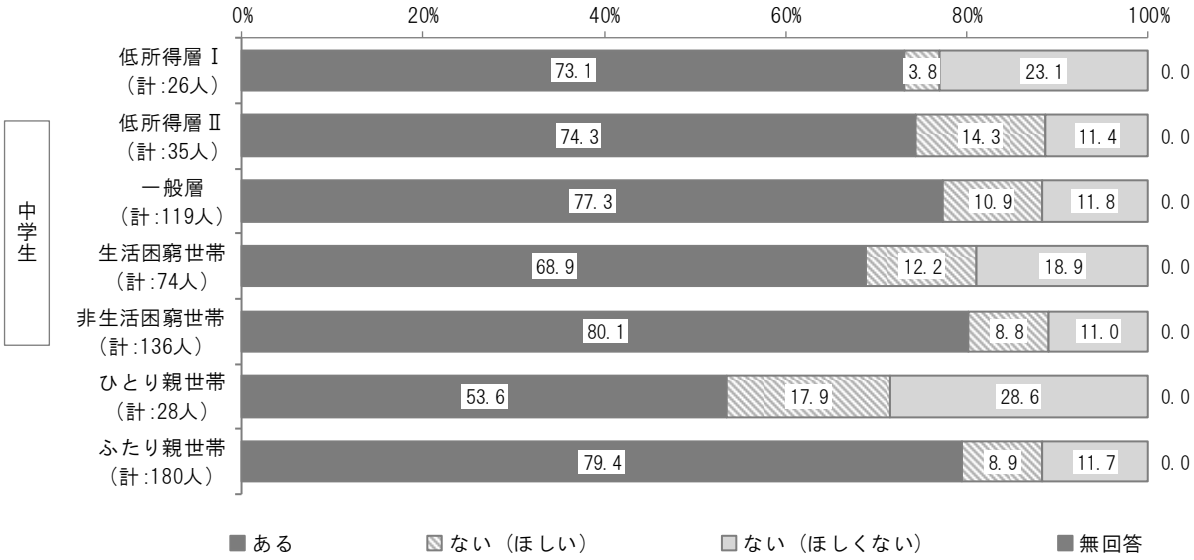
⑦　ゲーム機（ニンテンドースイッチ、ＤＳ、プレステなど）

- ◆　ゲーム機があるかとたずねたところ、小中学生全体では「ある」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、75.9%となっています。次いで、「ない（ほしい）」（11.9%）、「ない（ほしくない）」（11.1%）となっています。
- ◆　小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆　小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低い傾向があります。
- ◆　中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した生徒の割合が最も高くなっていますが、ひとり親世帯で「ある」と回答した生徒の割合がやや低くなっています。また、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した生徒の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



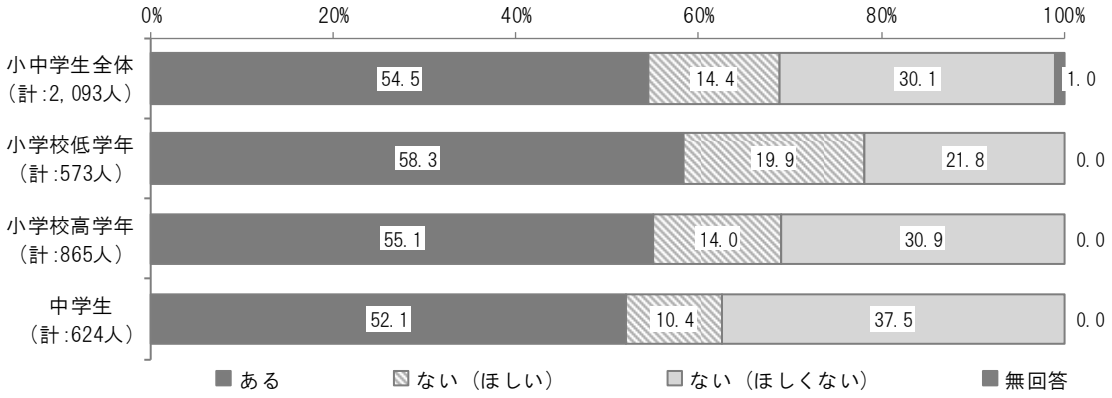

小学校低学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:48人）
64.6
31.3
4.2
0.0
低所得層Ⅱ（計:59人）
62.7
30.5
6.8
0.0
一般層（計:262人）
77.1
17.6
5.3
0.0
生活困窮世帯（計:123人）
70.7
24.4
4.9
0.0
非生活困窮世帯（計:290人）
73.1
20.3
6.6
0.0
ひとり親世帯（計:43人）
69.8
20.9
9.3
0.0
ふたり親世帯（計:370人）
72.7
21.6
5.7
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答

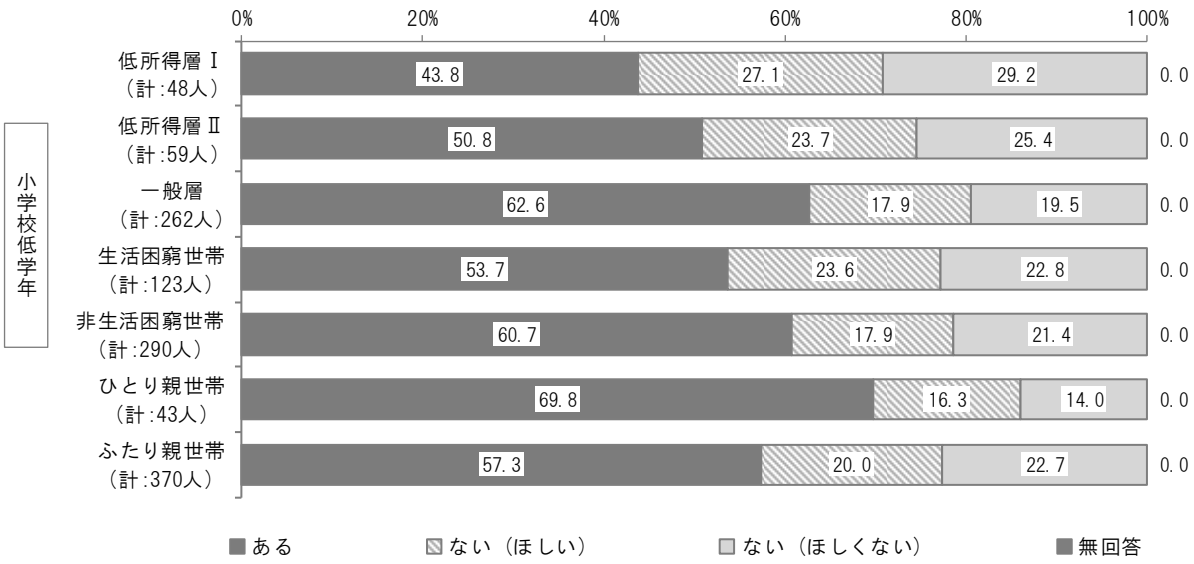

小学校高学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:41人）
75.6
4.9
19.5
0.0
低所得層Ⅱ（計:49人）
81.6
4.1
14.3
0.0
一般層（計:243人）
84.0
8.6
7.4
0.0
生活困窮世帯（計:110人）
81.8
6.4
11.8
0.0
非生活困窮世帯（計:268人）
82.1
9.0
9.0
0.0
ひとり親世帯（計:49人）
77.6
6.1
16.3
0.0
ふたり親世帯（計:327人）
82.9
8.3
8.9
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答

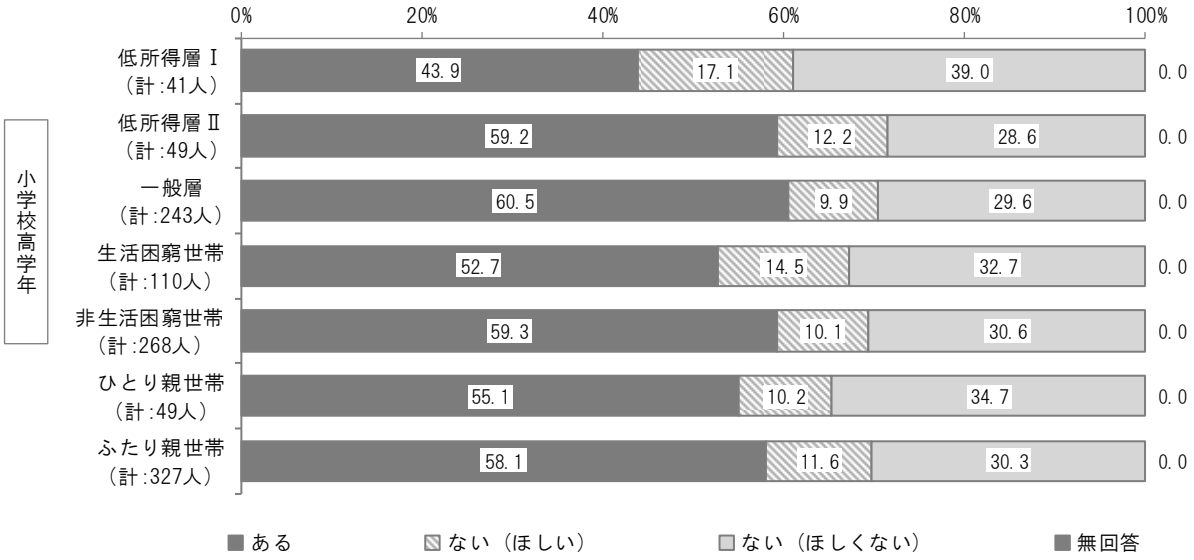

中学生
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
73.1
3.8
23.1
0.0
低所得層Ⅱ（計:35人）
74.3
14.3
11.4
0.0
一般層（計:119人）
77.3
10.9
11.8
0.0
生活困窮世帯（計:74人）
68.9
12.2
18.9
0.0
非生活困窮世帯（計:136人）
80.1
8.8
11.0
0.0
ひとり親世帯（計:28人）
53.6
17.9
28.6
0.0
ふたり親世帯（計:180人）
79.4
8.9
11.7
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答

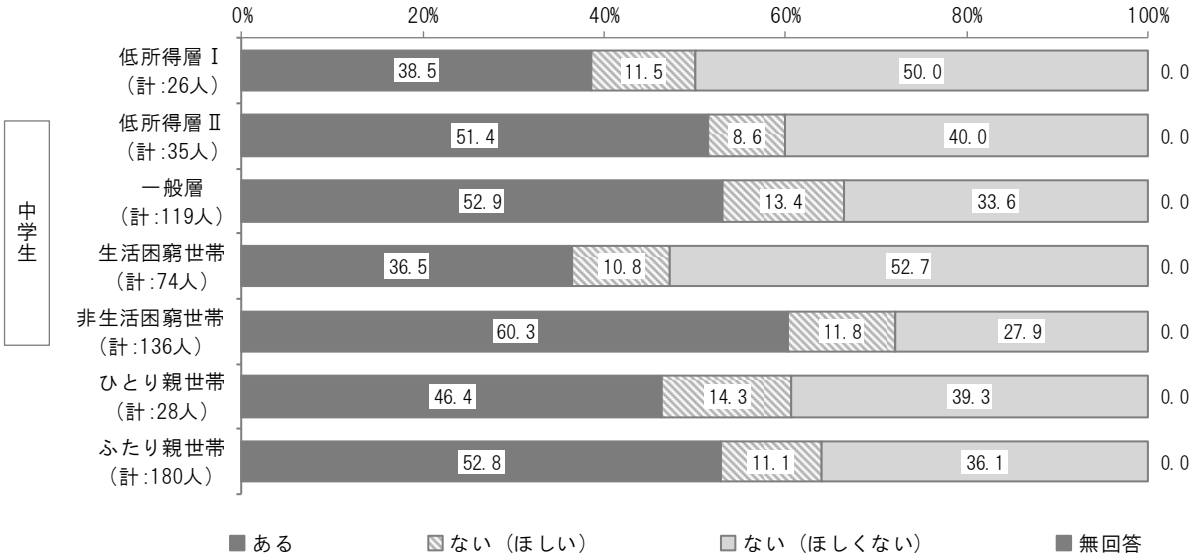
⑧　多くの友だちが持っているおもちゃ

- ◆　多くの友だちが持っているおもちゃがあるかとたずねたところ、小中学生全体では「ある」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、54.5%となっています。次いで、「ない（ほしくない)」(30.1%)、「ない（ほしい)」(14.4%）となっています。
- ◆　小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯では「ある」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯より低くなっています。また、ひとり親世帯はふたり親世帯よりも、「ある」と回答した児童の割合が高くなっています。
- ◆　小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆　中学生では、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した生徒の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



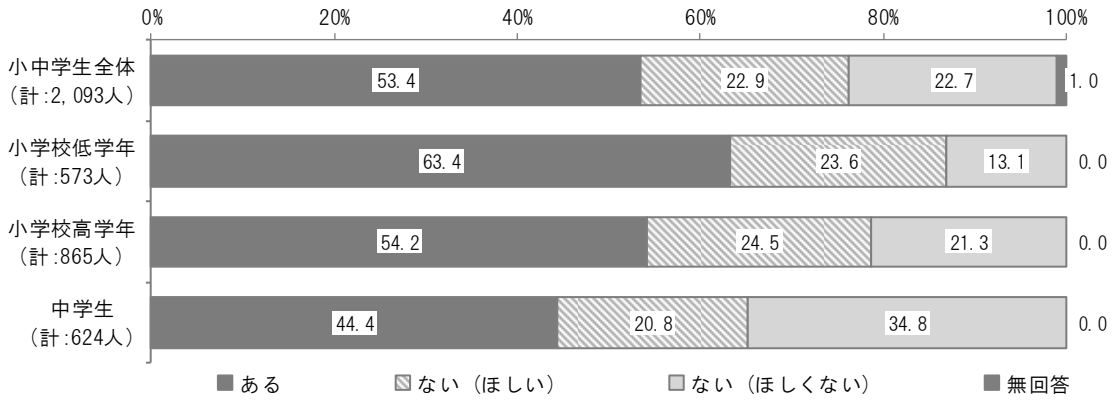

小学校低学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:48人）
43.8
27.1
29.2
0.0
低所得層Ⅱ（計:59人）
50.8
23.7
25.4
0.0
一般層（計:262人）
62.6
17.9
19.5
0.0
生活困窮世帯（計:123人）
53.7
23.6
22.8
0.0
非生活困窮世帯（計:290人）
60.7
17.9
21.4
0.0
ひとり親世帯（計:43人）
69.8
16.3
14.0
0.0
ふたり親世帯（計:370人）
57.3
20.0
22.7
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答

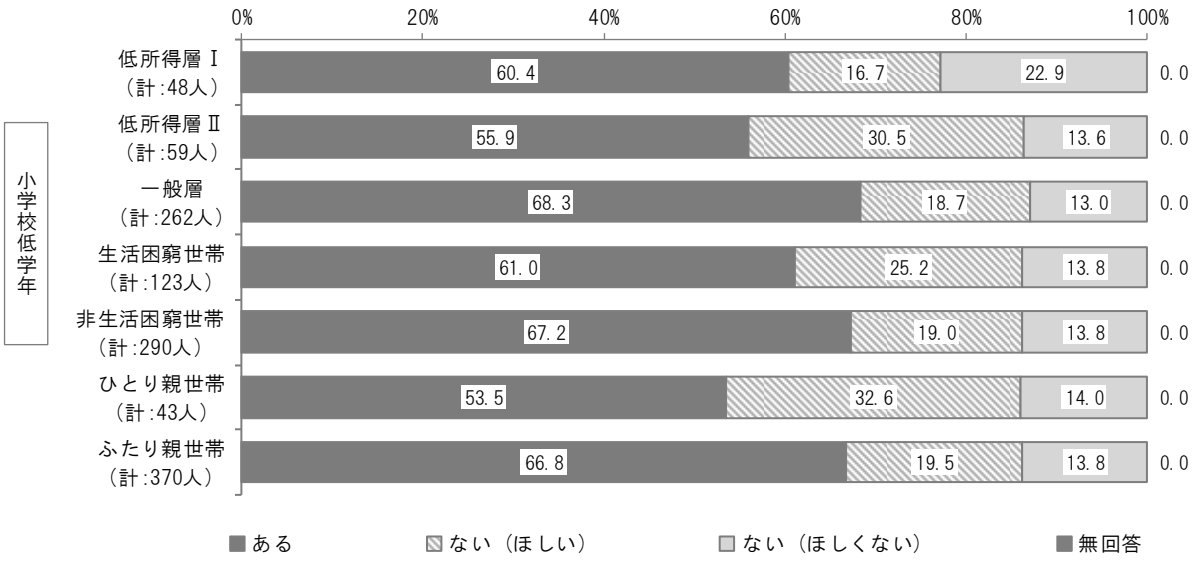

小学校高学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:41人）
43.9
17.1
39.0
0.0
低所得層Ⅱ（計:49人）
59.2
12.2
28.6
0.0
一般層（計:243人）
60.5
9.9
29.6
0.0
生活困窮世帯（計:110人）
52.7
14.5
32.7
0.0
非生活困窮世帯（計:268人）
59.3
10.1
30.6
0.0
ひとり親世帯（計:49人）
55.1
10.2
34.7
0.0
ふたり親世帯（計:327人）
58.1
11.6
30.3
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答

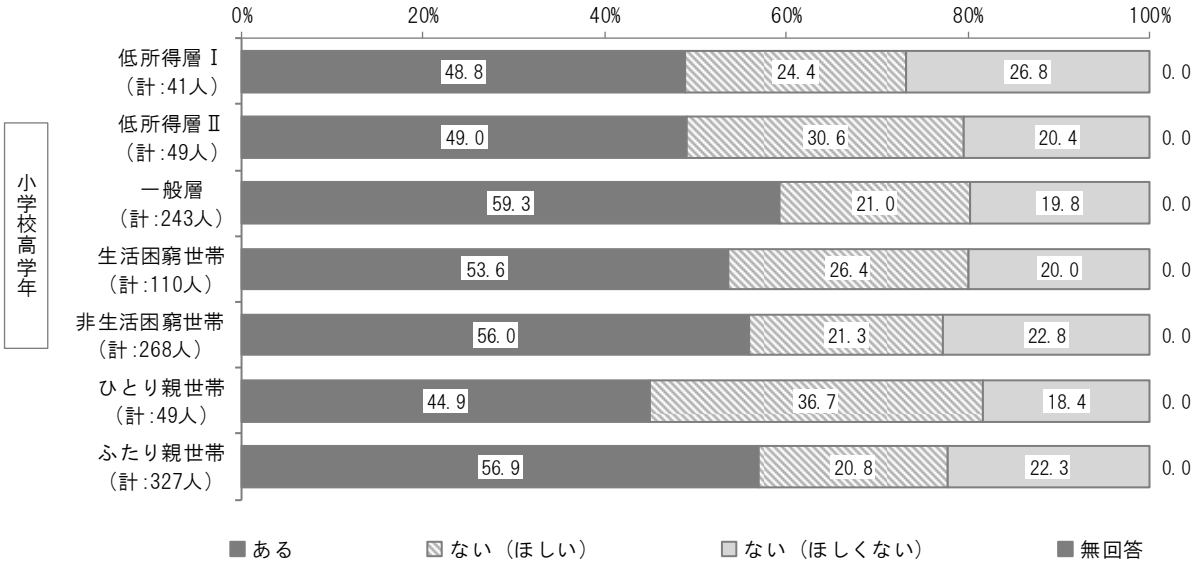

中学生
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
38.5
11.5
50.0
0.0
低所得層Ⅱ（計:35人）
51.4
8.6
40.0
0.0
一般層（計:119人）
52.9
13.4
33.6
0.0
生活困窮世帯（計:74人）
36.5
10.8
52.7
0.0
非生活困窮世帯（計:136人）
60.3
11.8
27.9
0.0
ひとり親世帯（計:28人）
46.4
14.3
39.3
0.0
ふたり親世帯（計:180人）
52.8
11.1
36.1
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答

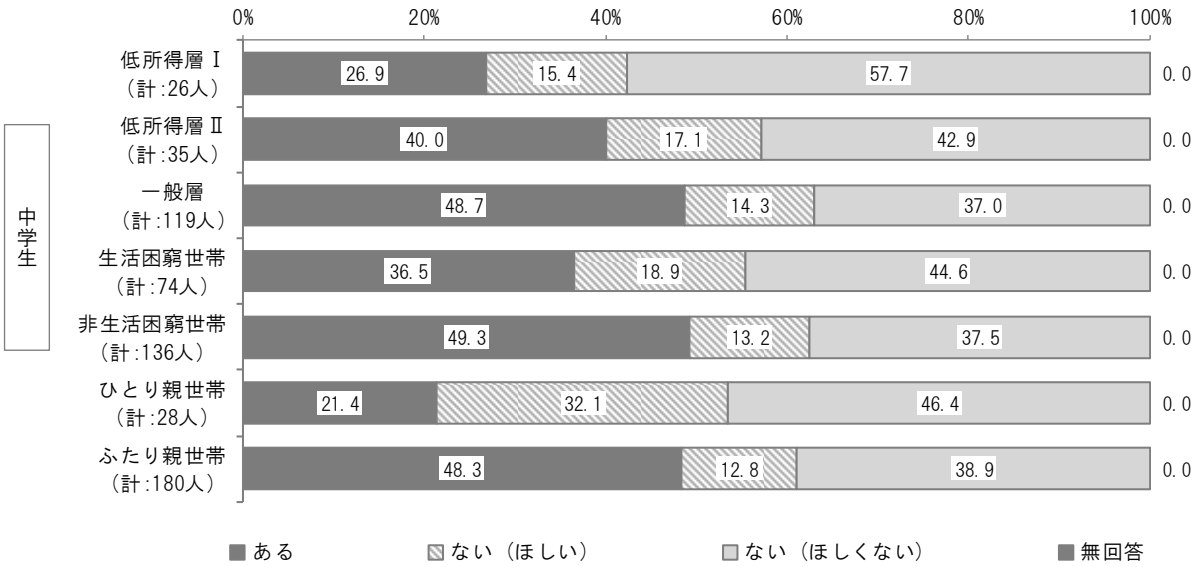
⑨　自転車

- ◆　自転車があるかとたずねたところ、小中学生全体では「ある」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、53.4%となっています。次いで、「ない（ほしい）」(22.9%)、「ない（ほしくない）」(22.7%）となっています。
- ◆　小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆　小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆　中学生では、「ない（ほしくない）」と回答した生徒の割合が高くなっています。また、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した生徒の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



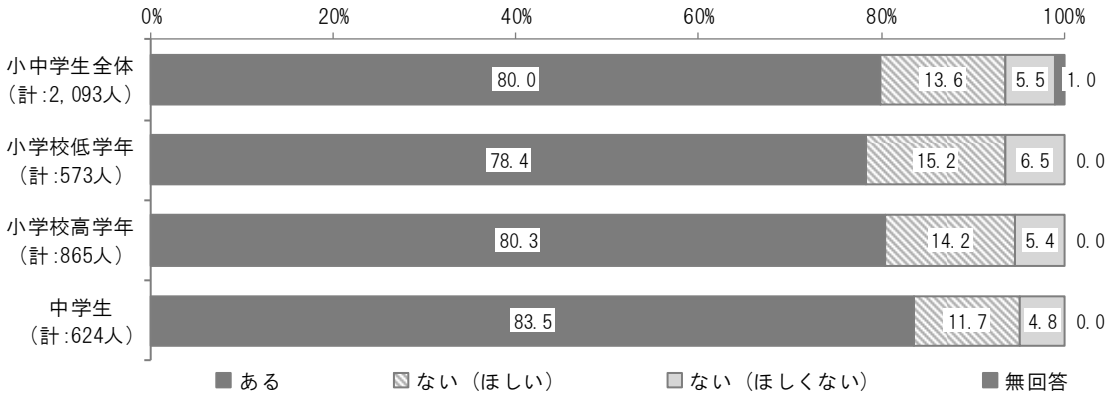

小学校低学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:48人）
60.4
16.7
22.9
0.0
低所得層Ⅱ（計:59人）
55.9
30.5
13.6
0.0
一般層（計:262人）
68.3
18.7
13.0
0.0
生活困窮世帯（計:123人）
61.0
25.2
13.8
0.0
非生活困窮世帯（計:290人）
67.2
19.0
13.8
0.0
ひとり親世帯（計:43人）
53.5
32.6
14.0
0.0
ふたり親世帯（計:370人）
66.8
19.5
13.8
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答

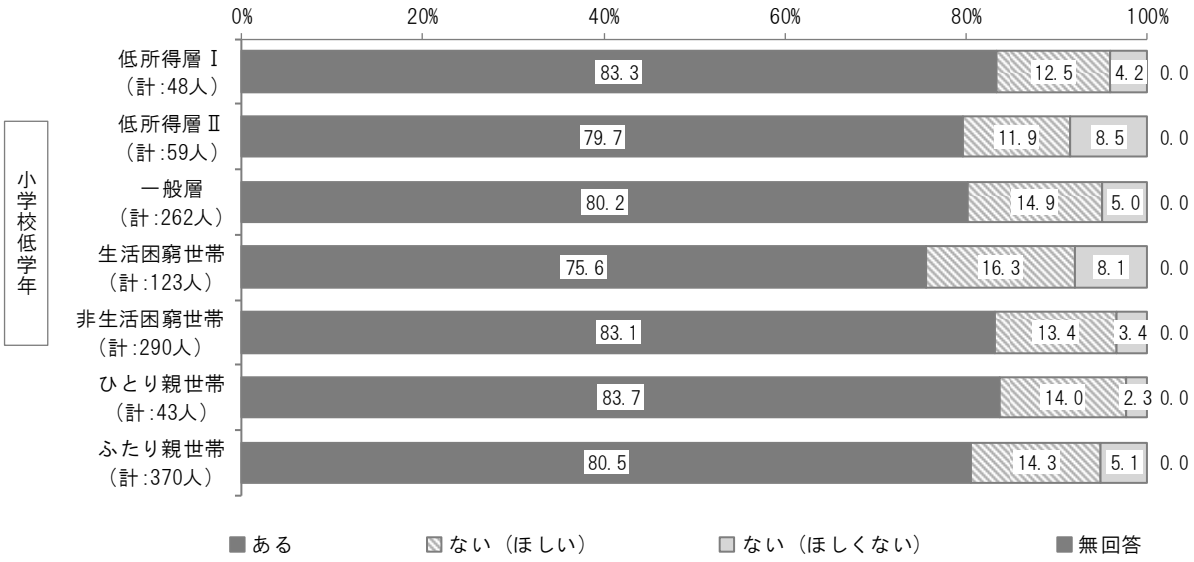

小学校高学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:41人）
48.8
24.4
26.8
0.0
低所得層Ⅱ（計:49人）
49.0
30.6
20.4
0.0
一般層（計:243人）
59.3
21.0
19.8
0.0
生活困窮世帯（計:110人）
53.6
26.4
20.0
0.0
非生活困窮世帯（計:268人）
56.0
21.3
22.8
0.0
ひとり親世帯（計:49人）
44.9
36.7
18.4
0.0
ふたり親世帯（計:327人）
56.9
20.8
22.3
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答

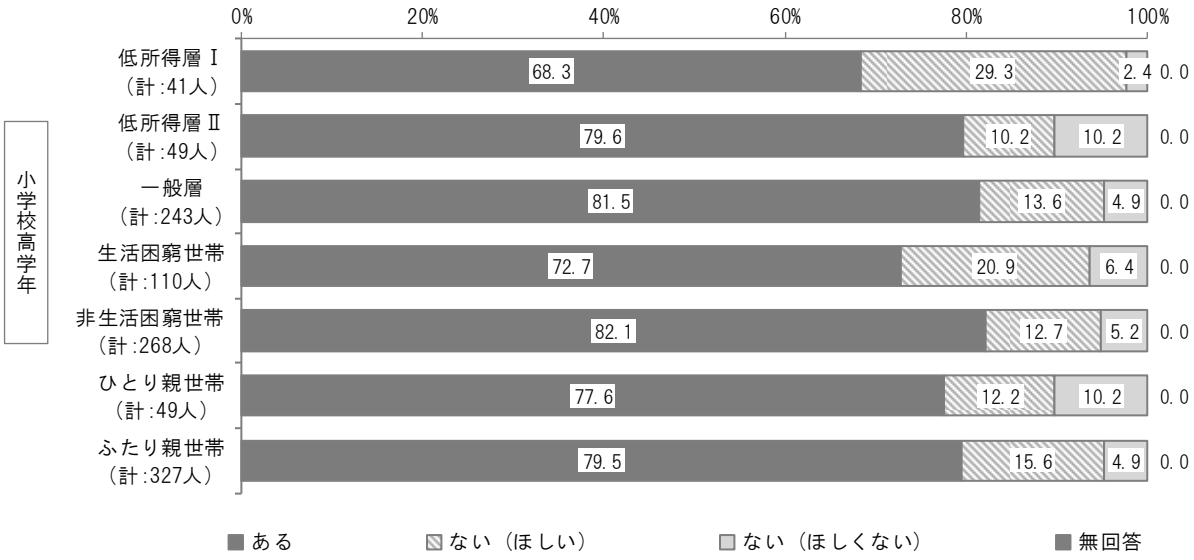

中学生
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
26.9
15.4
57.7
0.0
低所得層Ⅱ（計:35人）
40.0
17.1
42.9
0.0
一般層（計:119人）
48.7
14.3
37.0
0.0
生活困窮世帯（計:74人）
36.5
18.9
44.6
0.0
非生活困窮世帯（計:136人）
49.3
13.2
37.5
0.0
ひとり親世帯（計:28人）
21.4
32.1
46.4
0.0
ふたり親世帯（計:180人）
48.3
12.8
38.9
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答

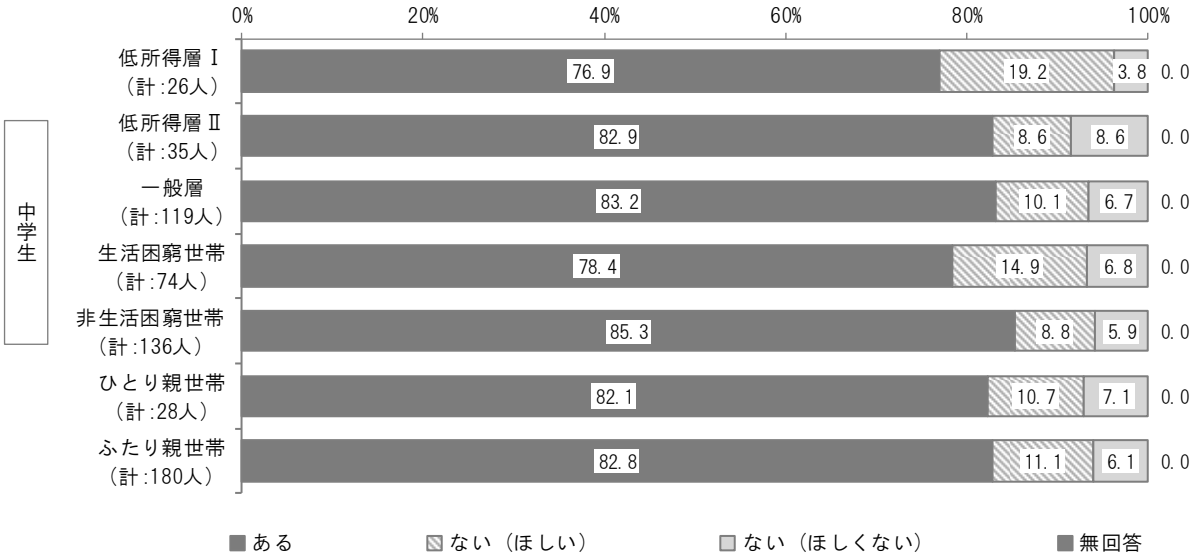
⑩　おやつや、ちょっとしたおもちゃを買うおこづかい

- ◆　おやつや、ちょっとしたおもちゃを買うおこづかいはあるかとたずねたところ、小中学生全体では「ある」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、80.0%となっています。次いで、「ない（ほしい）（13.6%)、「ない（ほしくない)」(5.5%）となっています。
- ◆　小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した児童の割合が最も高くなっています。
- ◆　小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆　中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した生徒の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した生徒の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低い傾向があります。



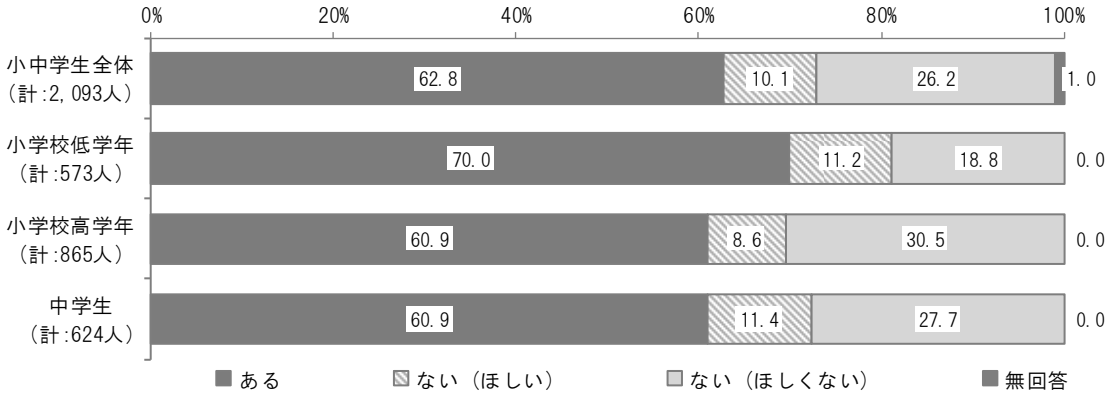

小学校低学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:48人）
83.3
12.5
4.2
0.0
低所得層Ⅱ（計:59人）
79.7
11.9
8.5
0.0
一般層（計:262人）
80.2
14.9
5.0
0.0
生活困窮世帯（計:123人）
75.6
16.3
8.1
0.0
非生活困窮世帯（計:290人）
83.1
13.4
3.4
0.0
ひとり親世帯（計:43人）
83.7
14.0
2.3
0.0
ふたり親世帯（計:370人）
80.5
14.3
5.1
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答

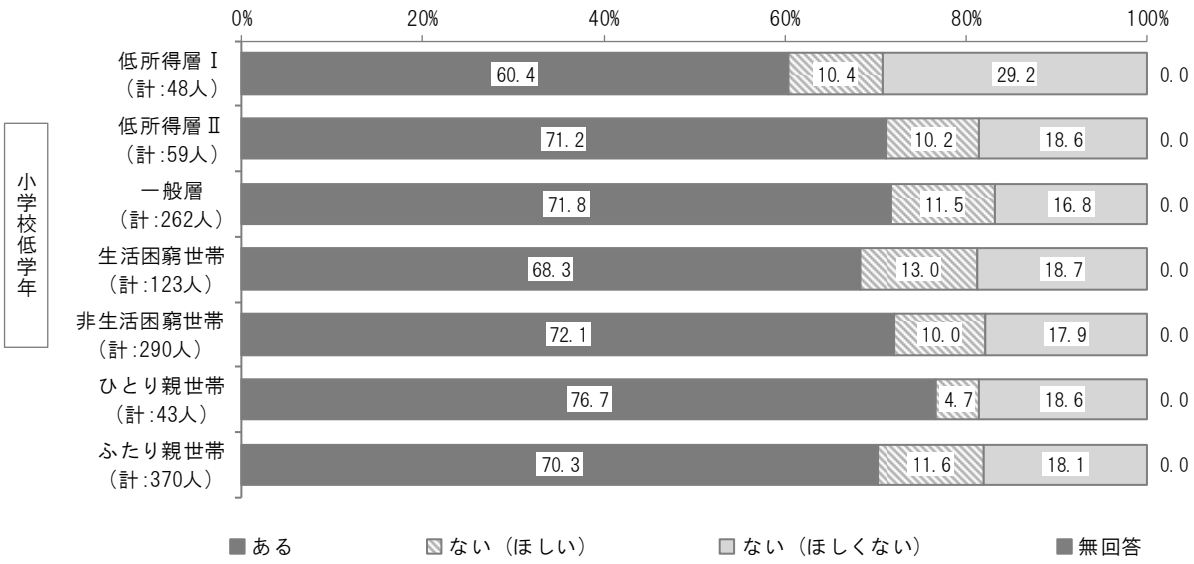

小学校高学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:41人）
68.3
29.3
2.4
0.0
低所得層Ⅱ（計:49人）
79.6
10.2
10.2
0.0
一般層（計:243人）
81.5
13.6
4.9
0.0
生活困窮世帯（計:110人）
72.7
20.9
6.4
0.0
非生活困窮世帯（計:268人）
82.1
12.7
5.2
0.0
ひとり親世帯（計:49人）
77.6
12.2
10.2
0.0
ふたり親世帯（計:327人）
79.5
15.6
4.9
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答

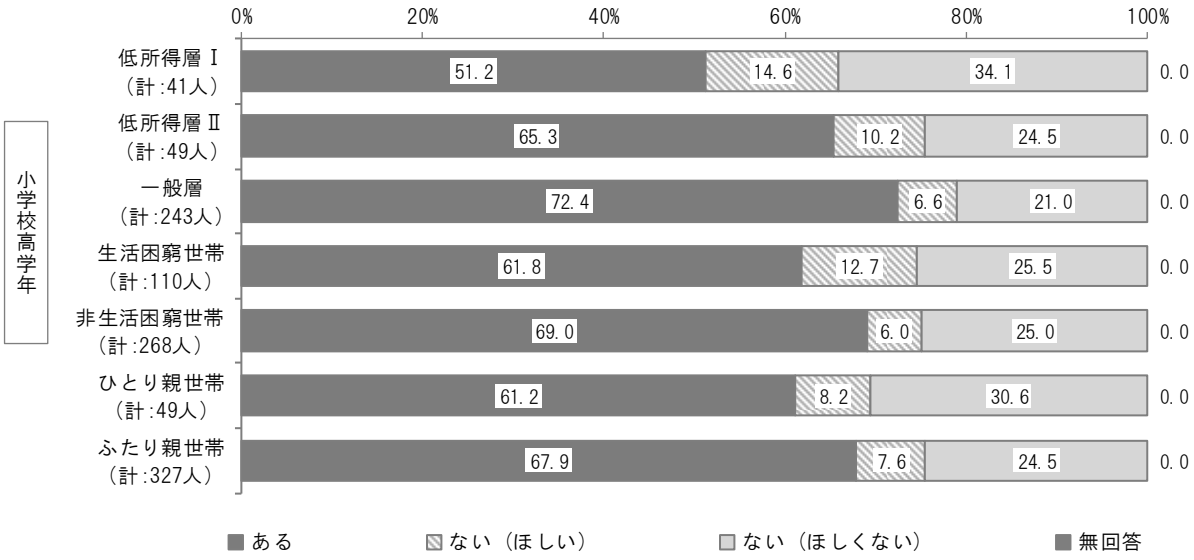

中学生
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
76.9
19.2
3.8
0.0
低所得層Ⅱ（計:35人）
82.9
8.6
8.6
0.0
一般層（計:119人）
83.2
10.1
6.7
0.0
生活困窮世帯（計:74人）
78.4
14.9
6.8
0.0
非生活困窮世帯（計:136人）
85.3
8.8
5.9
0.0
ひとり親世帯（計:28人）
82.1
10.7
7.1
0.0
ふたり親世帯（計:180人）
82.8
11.1
6.1
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答

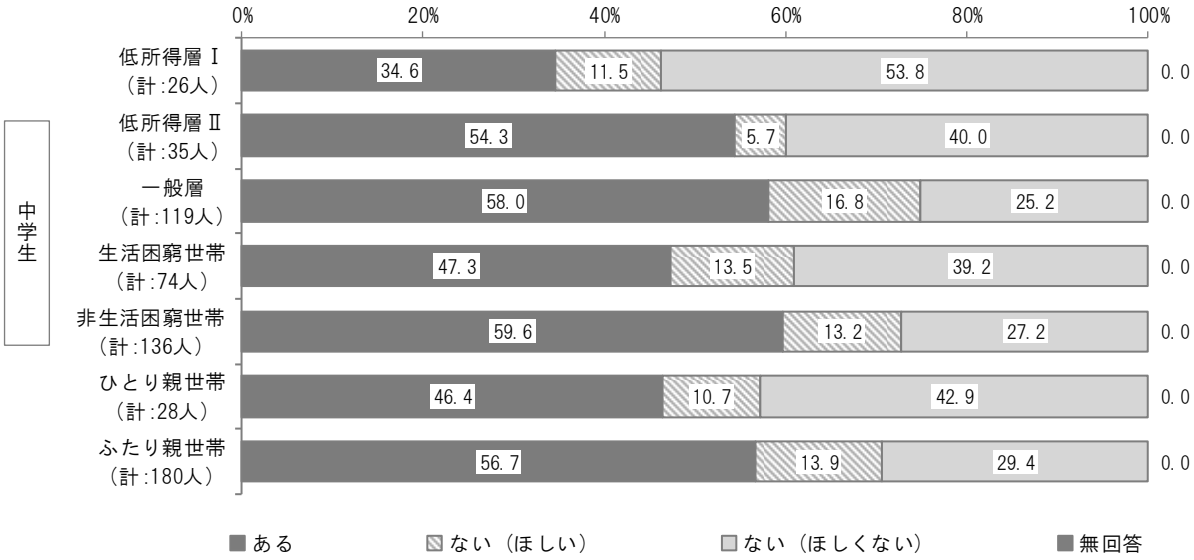
⑪　友だちが着ているのと同じような服

- ◆ 友だちが着ているのと同じような服はあるかとたずねたところ、小中学生全体では「ある」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、62.8%となっています。次いで、「ない（ほしくない）」(26.2%)、「ない（ほしい）」(10.1%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯で「ある」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、低所得層Ⅰを除いて、「ある」と回答した生徒の割合が高くなっており、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した生徒の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。また、「ない（ほしくない)」と回答した生徒の割合も高くなっています。



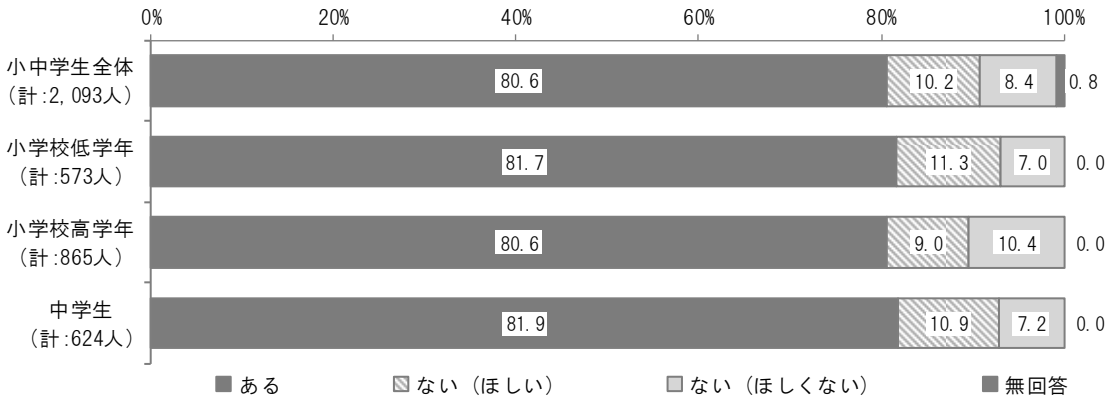

小学校低学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:48人）
60.4
10.4
29.2
0.0
低所得層Ⅱ（計:59人）
71.2
10.2
18.6
0.0
一般層（計:262人）
71.8
11.5
16.8
0.0
生活困窮世帯（計:123人）
68.3
13.0
18.7
0.0
非生活困窮世帯（計:290人）
72.1
10.0
17.9
0.0
ひとり親世帯（計:43人）
76.7
4.7
18.6
0.0
ふたり親世帯（計:370人）
70.3
11.6
18.1
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答

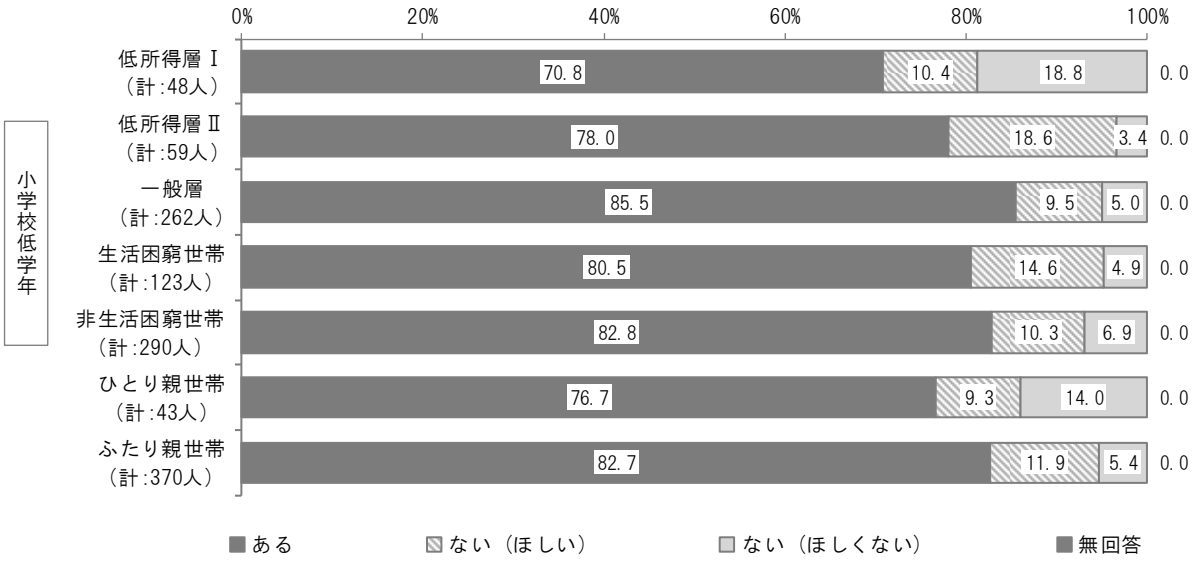

小学校高学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:41人）
51.2
14.6
34.1
0.0
低所得層Ⅱ（計:49人）
65.3
10.2
24.5
0.0
一般層（計:243人）
72.4
6.6
21.0
0.0
生活困窮世帯（計:110人）
61.8
12.7
25.5
0.0
非生活困窮世帯（計:268人）
69.0
6.0
25.0
0.0
ひとり親世帯（計:49人）
61.2
8.2
30.6
0.0
ふたり親世帯（計:327人）
67.9
7.6
24.5
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答

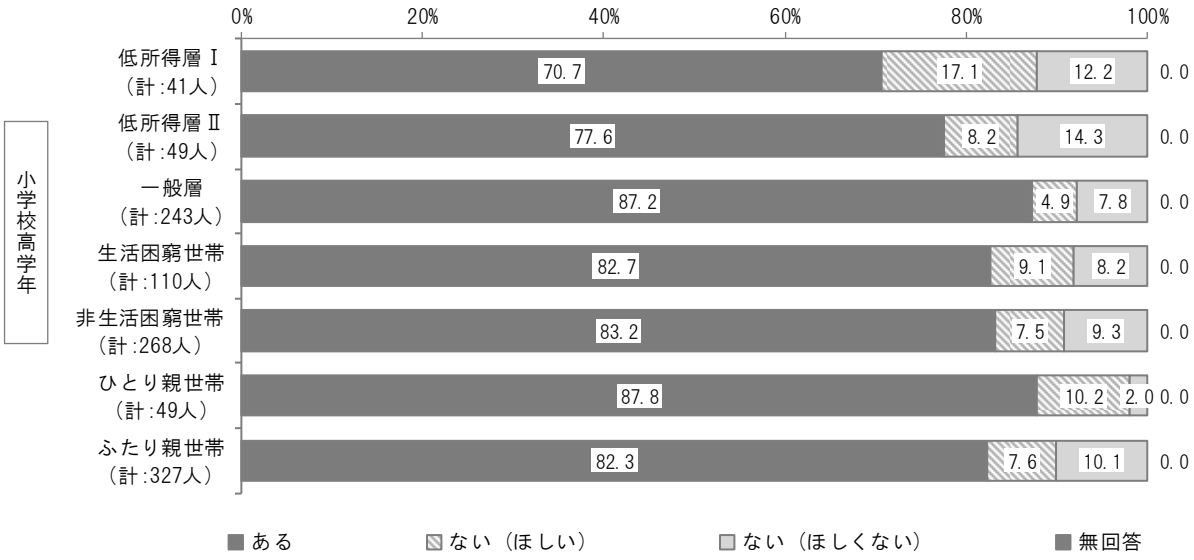

中学生
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
34.6
11.5
53.8
0.0
低所得層Ⅱ（計:35人）
54.3
5.7
40.0
0.0
一般層（計:119人）
58.0
16.8
25.2
0.0
生活困窮世帯（計:74人）
47.3
13.5
39.2
0.0
非生活困窮世帯（計:136人）
59.6
13.2
27.2
0.0
ひとり親世帯（計:28人）
46.4
10.7
42.9
0.0
ふたり親世帯（計:180人）
56.7
13.9
29.4
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答

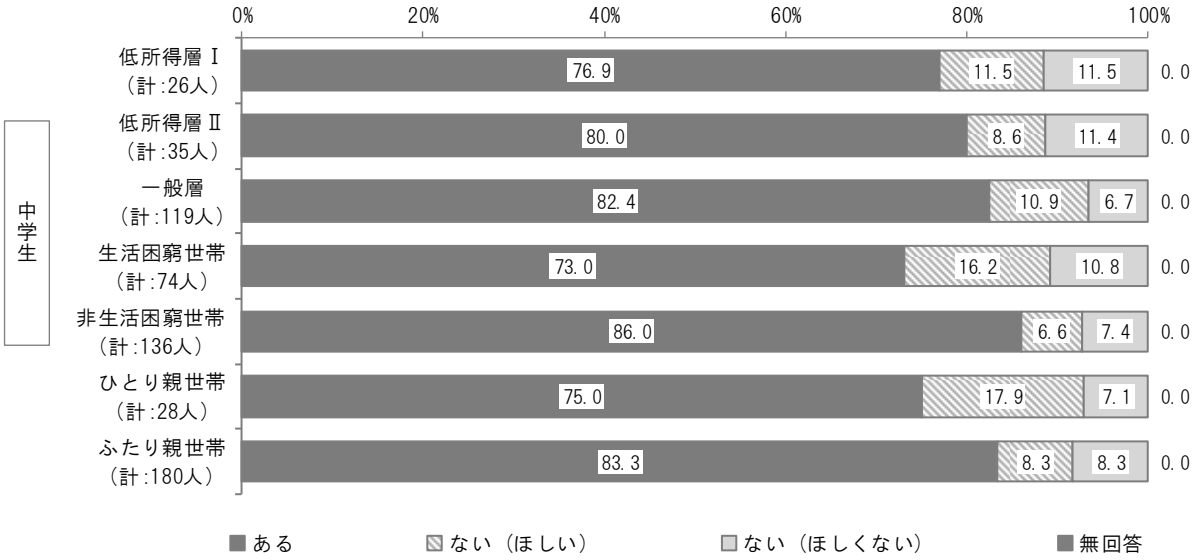
⑫　２足以上のサイズのあった靴

- ◆　２足以上のサイズのあった靴があるかとたずねたところ、小中学生全体では「ある」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、80.6%となっています。次いで、「ない（ほしい）」（10.2%）、「ない（ほしくない）」（8.4%）となっています。
- ◆　小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆　小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯で「ある」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯より低い傾向があります。
- ◆　中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した生徒の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した生徒の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



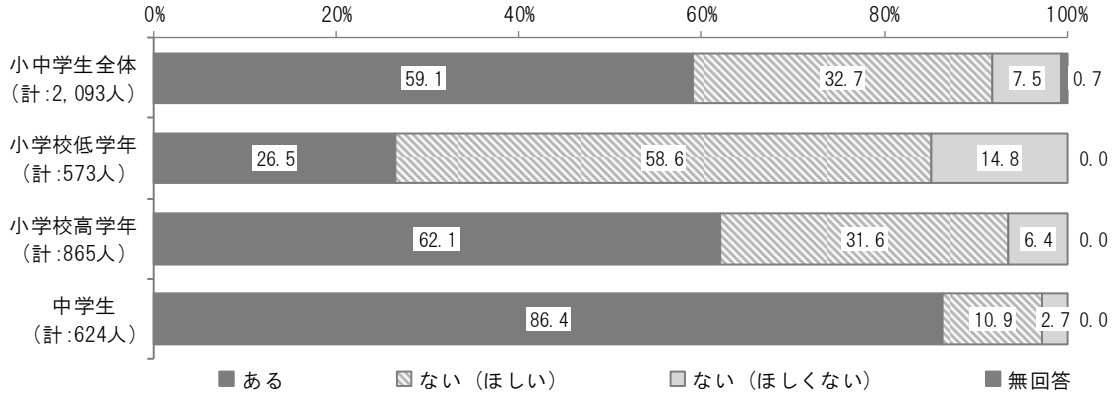

小学校低学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:48人）
70.8
10.4
18.8
0.0
低所得層Ⅱ（計:59人）
78.0
18.6
3.4
0.0
一般層（計:262人）
85.5
9.5
5.0
0.0
生活困窮世帯（計:123人）
80.5
14.6
4.9
0.0
非生活困窮世帯（計:290人）
82.8
10.3
6.9
0.0
ひとり親世帯（計:43人）
76.7
9.3
14.0
0.0
ふたり親世帯（計:370人）
82.7
11.9
5.4
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答

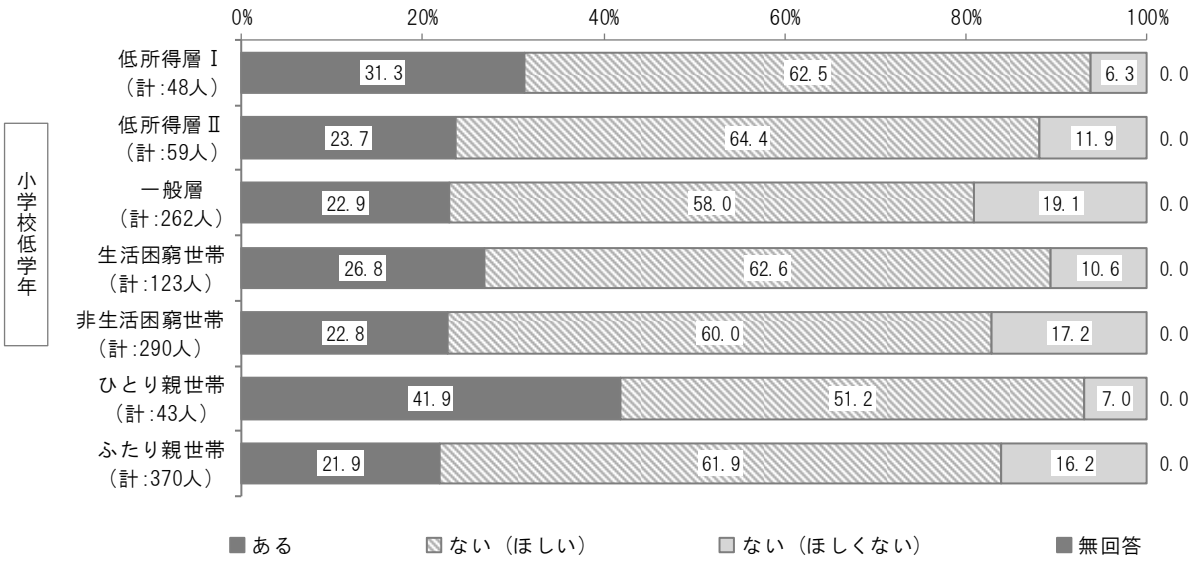

小学校高学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:41人）
70.7
17.1
12.2
0.0
低所得層Ⅱ（計:49人）
77.6
8.2
14.3
0.0
一般層（計:243人）
87.2
4.9
7.8
0.0
生活困窮世帯（計:110人）
82.7
9.1
8.2
0.0
非生活困窮世帯（計:268人）
83.2
7.5
9.3
0.0
ひとり親世帯（計:49人）
87.8
10.2
2.0
0.0
ふたり親世帯（計:327人）
82.3
7.6
10.1
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答

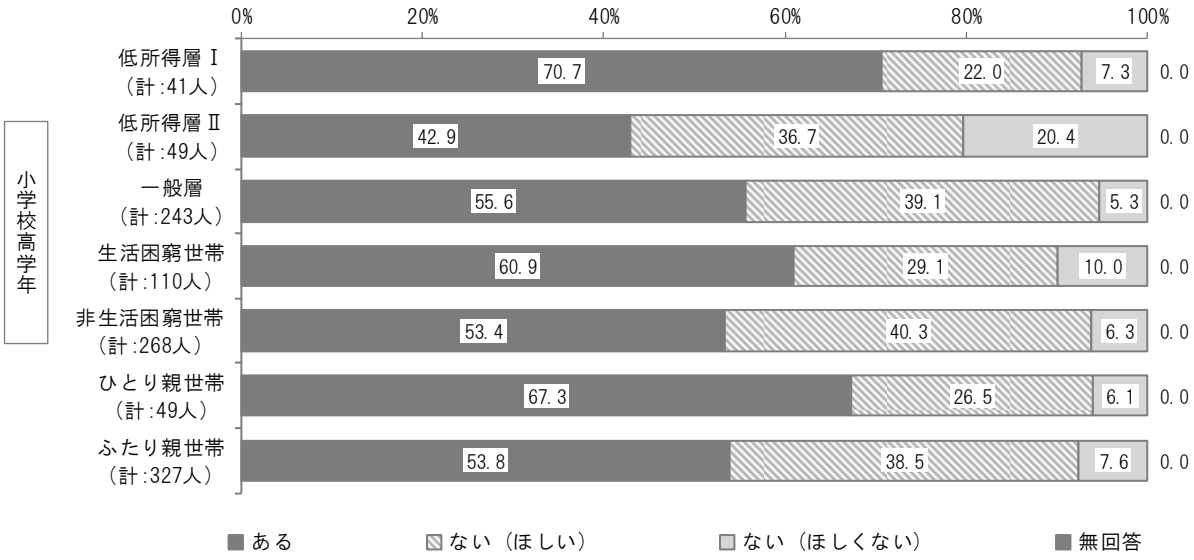

中学生
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
76.9
11.5
11.5
0.0
低所得層Ⅱ（計:35人）
80.0
8.6
11.4
0.0
一般層（計:119人）
82.4
10.9
6.7
0.0
生活困窮世帯（計:74人）
73.0
16.2
10.8
0.0
非生活困窮世帯（計:136人）
86.0
6.6
7.4
0.0
ひとり親世帯（計:28人）
75.0
17.9
7.1
0.0
ふたり親世帯（計:180人）
83.3
8.3
8.3
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答

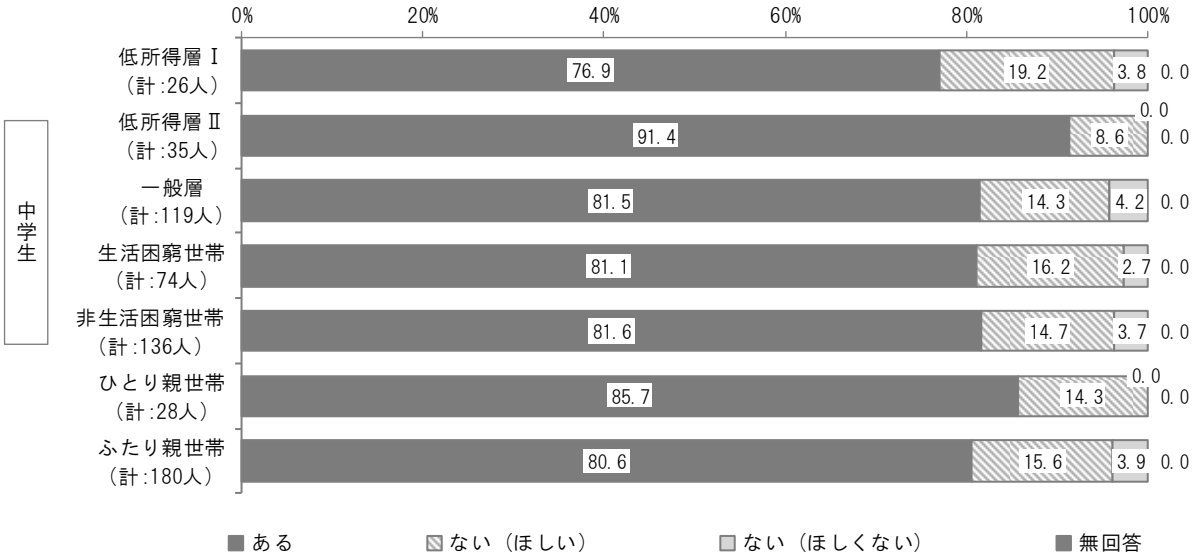
⑬　けいたい電話、スマートフォン

- ◆　けいたい電話、スマートフォンがあるかとたずねたところ、小中学生全体では「ある」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、59.1%となっています。次いで、「ない（ほしい）」（32.7%）、「ない（ほしくない）」（7.5%）となっています。
- ◆　小学校低学年では、全体の傾向と異なり「ない（ほしい）」と回答した児童の割合が最も高くなっています。
- ◆　小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より高くなっています。
- ◆　中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した生徒の割合が最も高くなっています。



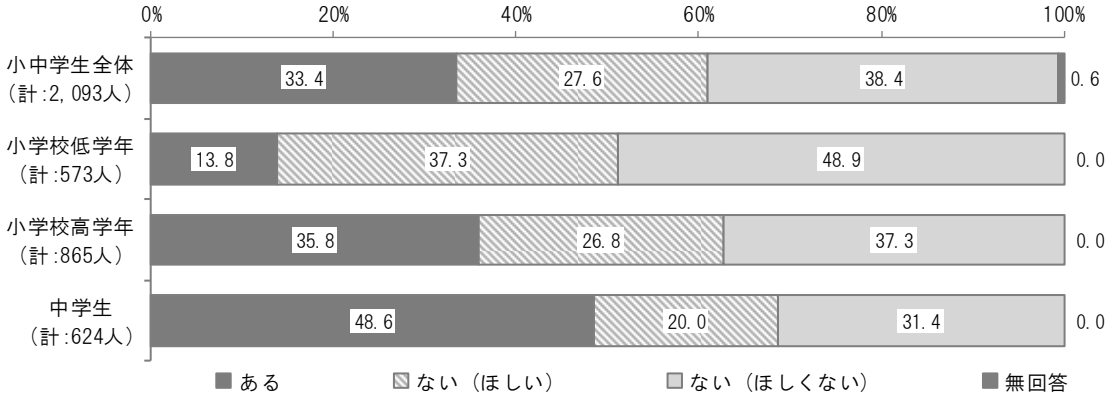

小学校低学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:48人）
31.3
62.5
6.3
0.0
低所得層Ⅱ（計:59人）
23.7
64.4
11.9
0.0
一般層（計:262人）
22.9
58.0
19.1
0.0
生活困窮世帯（計:123人）
26.8
62.6
10.6
0.0
非生活困窮世帯（計:290人）
22.8
60.0
17.2
0.0
ひとり親世帯（計:43人）
41.9
51.2
7.0
0.0
ふたり親世帯（計:370人）
21.9
61.9
16.2
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答

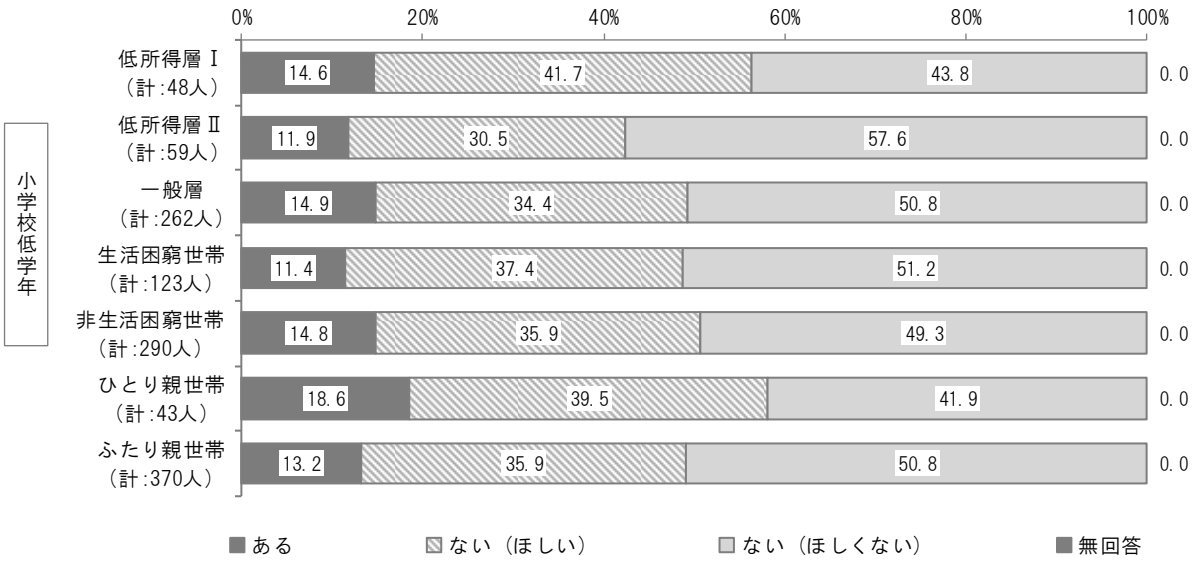

小学校高学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:41人）
70.7
22.0
7.3
0.0
低所得層Ⅱ（計:49人）
42.9
36.7
20.4
0.0
一般層（計:243人）
55.6
39.1
5.3
0.0
生活困窮世帯（計:110人）
60.9
29.1
10.0
0.0
非生活困窮世帯（計:268人）
53.4
40.3
6.3
0.0
ひとり親世帯（計:49人）
67.3
26.5
6.1
0.0
ふたり親世帯（計:327人）
53.8
38.5
7.6
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答

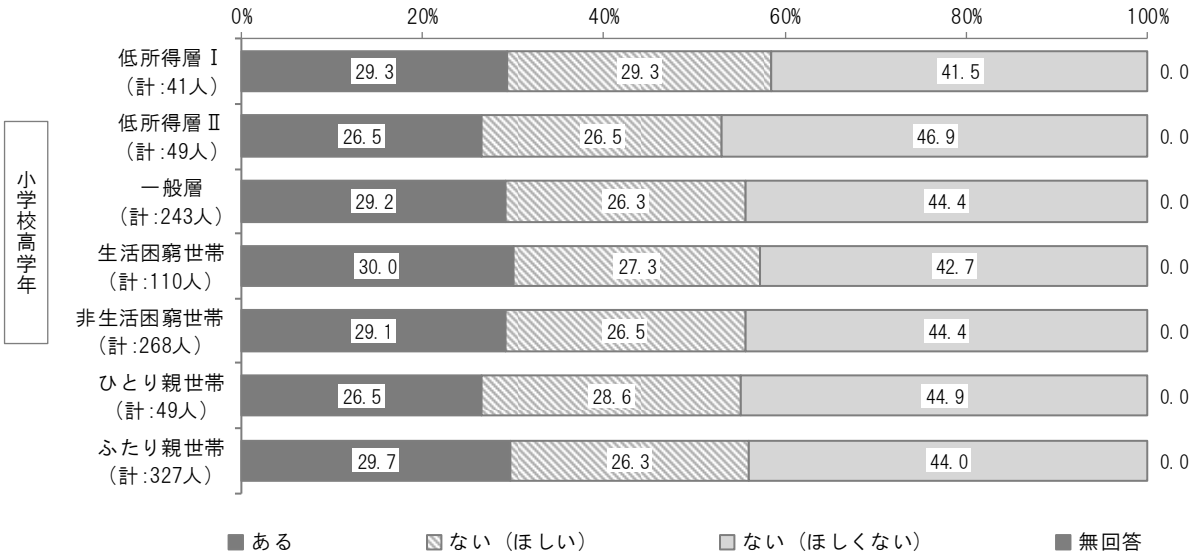

中学生
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
76.9
19.2
3.8
0.0
低所得層Ⅱ（計:35人）
91.4
8.6
0.0
0.0
一般層（計:119人）
81.5
14.3
4.2
0.0
生活困窮世帯（計:74人）
81.1
16.2
2.7
0.0
非生活困窮世帯（計:136人）
81.6
14.7
3.7
0.0
ひとり親世帯（計:28人）
85.7
14.3
0.0
0.0
ふたり親世帯（計:180人）
80.6
15.6
3.9
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答

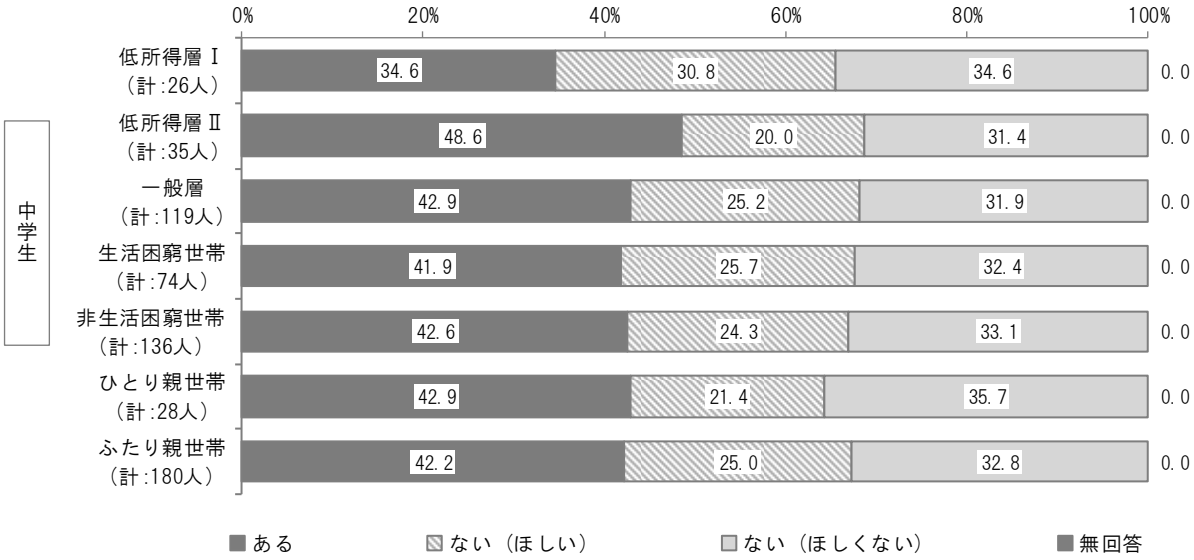
⑭　けいたい音楽プレーヤーなど

- ◆　けいたい音楽プレーヤーなどがあるかとたずねたところ、小中学生全体では「ない（ほしくない）」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、38.4%となっています。次いで、「ある 」（33.4%）、「ない（ほしい）」（27.6%）となっています。
- ◆　小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ない（ほしくない）」と回答した児童の割合が最も高くなっています。
- ◆　小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ない（ほしくない）」と回答した児童の割合が最も高くなっています。
- ◆　中学生では、全体の傾向と異なり「ある」と回答した生徒の割合が最も高くなっています。



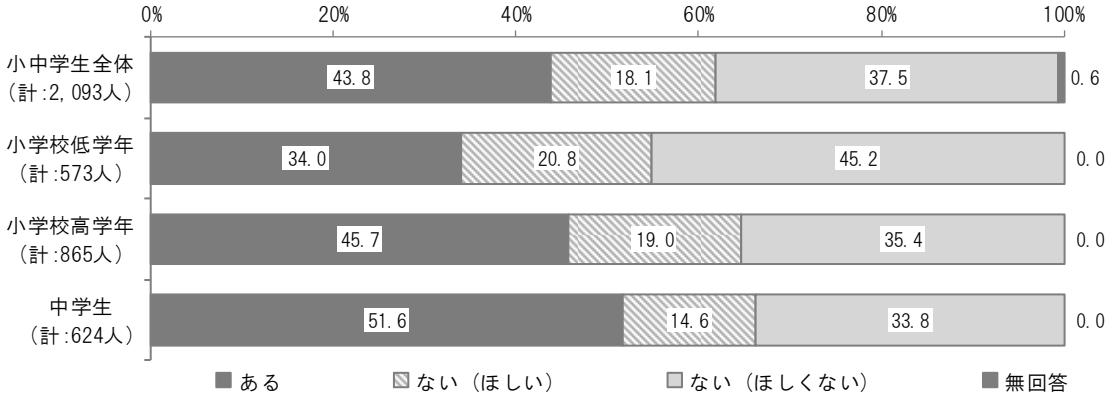

小学校低学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:48人）
14.6
41.7
43.8
0.0
低所得層Ⅱ（計:59人）
11.9
30.5
57.6
0.0
一般層（計:262人）
14.9
34.4
50.8
0.0
生活困窮世帯（計:123人）
11.4
37.4
51.2
0.0
非生活困窮世帯（計:290人）
14.8
35.9
49.3
0.0
ひとり親世帯（計:43人）
18.6
39.5
41.9
0.0
ふたり親世帯（計:370人）
13.2
35.9
50.8
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答

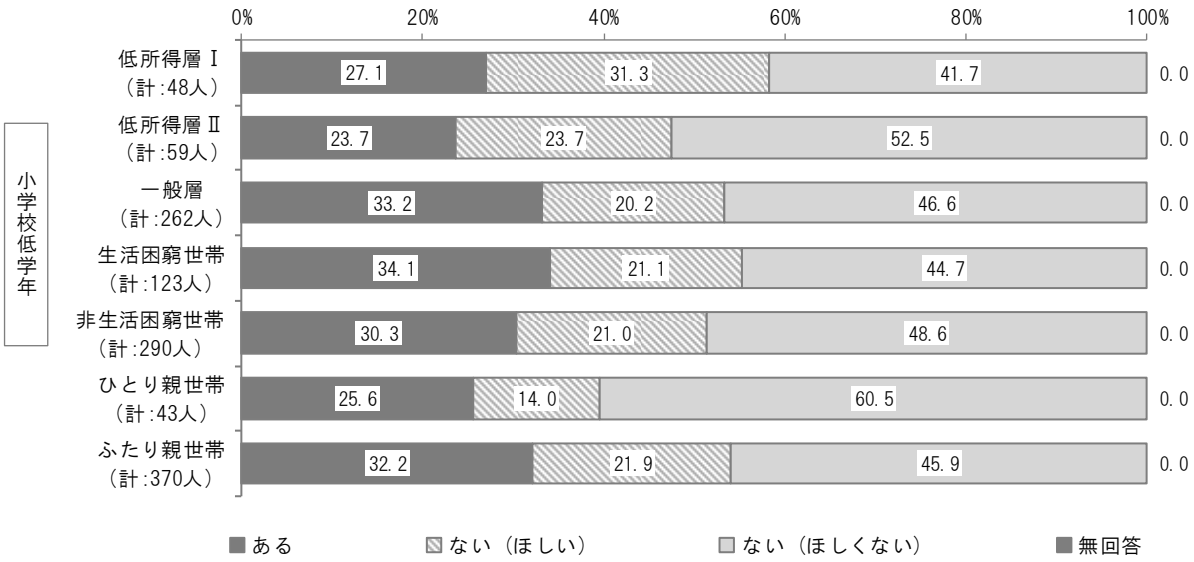

小学校高学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:41人）
29.3
29.3
41.5
0.0
低所得層Ⅱ（計:49人）
26.5
26.5
46.9
0.0
一般層（計:243人）
29.2
26.3
44.4
0.0
生活困窮世帯（計:110人）
30.0
27.3
42.7
0.0
非生活困窮世帯（計:268人）
29.1
26.5
44.4
0.0
ひとり親世帯（計:49人）
26.5
28.6
44.9
0.0
ふたり親世帯（計:327人）
29.7
26.3
44.0
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答

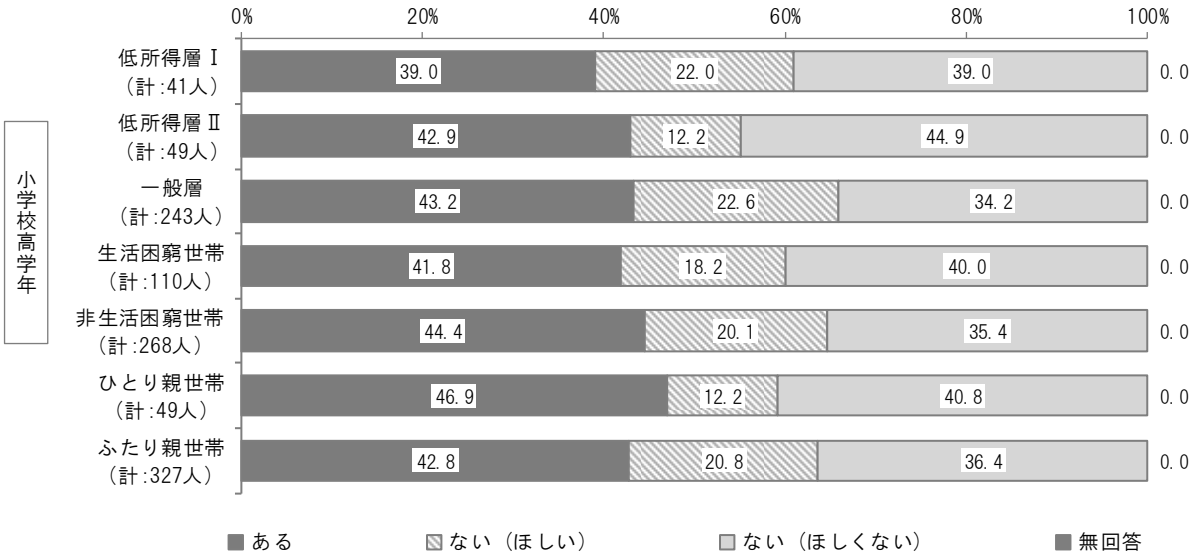

中学生
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
34.6
30.8
34.6
0.0
低所得層Ⅱ（計:35人）
48.6
20.0
31.4
0.0
一般層（計:119人）
42.9
25.2
31.9
0.0
生活困窮世帯（計:74人）
41.9
25.7
32.4
0.0
非生活困窮世帯（計:136人）
42.6
24.3
33.1
0.0
ひとり親世帯（計:28人）
42.9
21.4
35.7
0.0
ふたり親世帯（計:180人）
42.2
25.0
32.8
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答

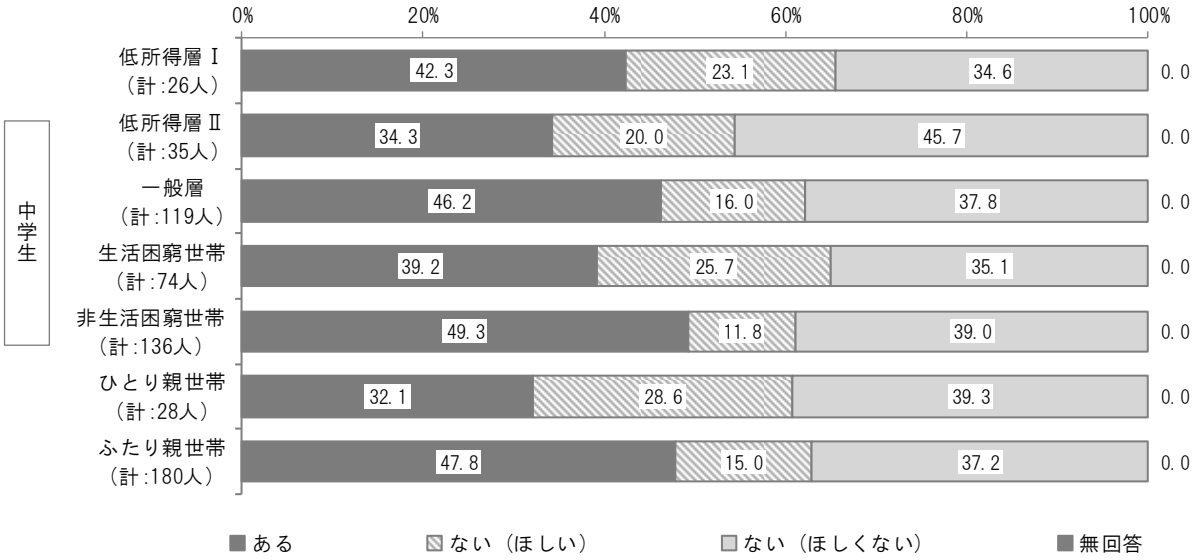
⑮　上記以外（①～⑭）のその他のもの

- ◆　上記以外(①～⑭)のその他のものについてたずねたところ、小中学生全体では「ある」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、43.8%となっています。次いで、「ない（ほしくない）」(37.5%)、「ない（ほしい）」(18.1%）となっています。
- ◆　小学校低学年では、全体の傾向と異なり「ない（ほしくない)」と回答した児童の割合が最も高くなっています。
- ◆　小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した児童の割合が高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯で「ある」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯より低くなっています。
- ◆　中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した生徒の割合が高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した生徒の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。




小学校低学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:48人）
27.1
31.3
41.7
0.0
低所得層Ⅱ（計:59人）
23.7
23.7
52.5
0.0
一般層（計:262人）
33.2
20.2
46.6
0.0
生活困窮世帯（計:123人）
34.1
21.1
44.7
0.0
非生活困窮世帯（計:290人）
30.3
21.0
48.6
0.0
ひとり親世帯（計:43人）
25.6
14.0
60.5
0.0
ふたり親世帯（計:370人）
32.2
21.9
45.9
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答


小学校高学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:41人）
39.0
22.0
39.0
0.0
低所得層Ⅱ（計:49人）
42.9
12.2
44.9
0.0
一般層（計:243人）
43.2
22.6
34.2
0.0
生活困窮世帯（計:110人）
41.8
18.2
40.0
0.0
非生活困窮世帯（計:268人）
44.4
20.1
35.4
0.0
ひとり親世帯（計:49人）
46.9
12.2
40.8
0.0
ふたり親世帯（計:327人）
42.8
20.8
36.4
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答

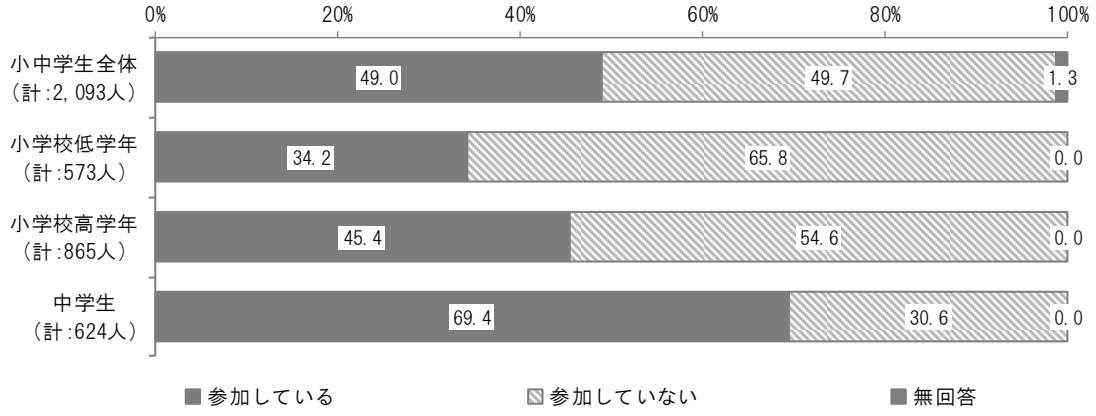

中学生
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
42.3
23.1
34.6
0.0
低所得層Ⅱ（計:35人）
34.3
20.0
45.7
0.0
一般層（計:119人）
46.2
16.0
37.8
0.0
生活困窮世帯（計:74人）
39.2
25.7
35.1
0.0
非生活困窮世帯（計:136人）
49.3
11.8
39.0
0.0
ひとり親世帯（計:28人）
32.1
28.6
39.3
0.0
ふたり親世帯（計:180人）
47.8
15.0
37.2
0.0
ある
ない（ほしい）
ない（ほしくない）
無回答

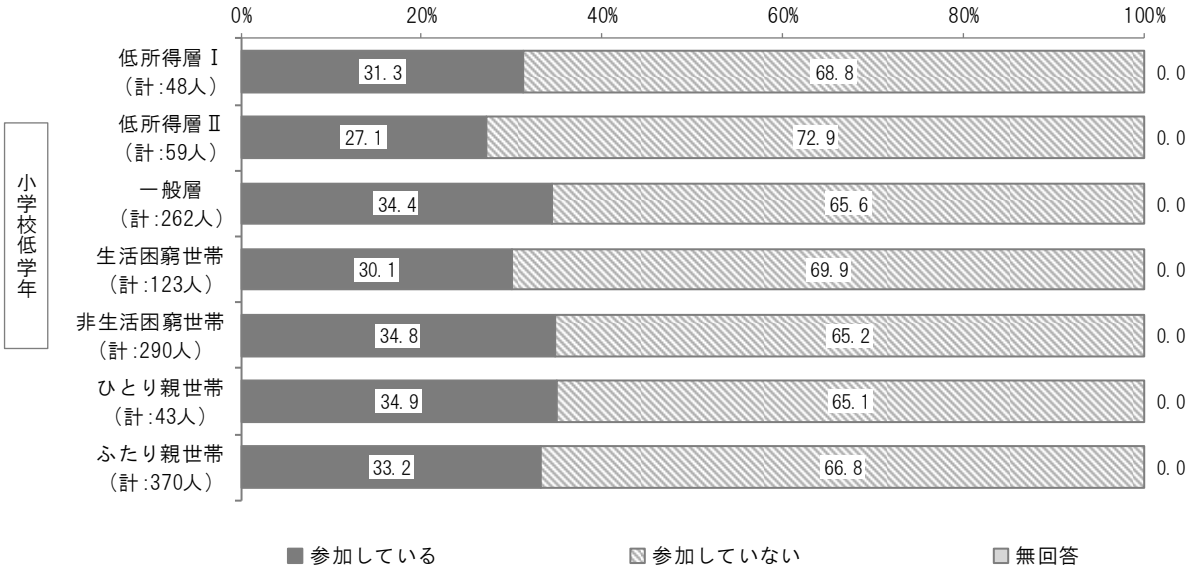
（3）部活動などへの参加

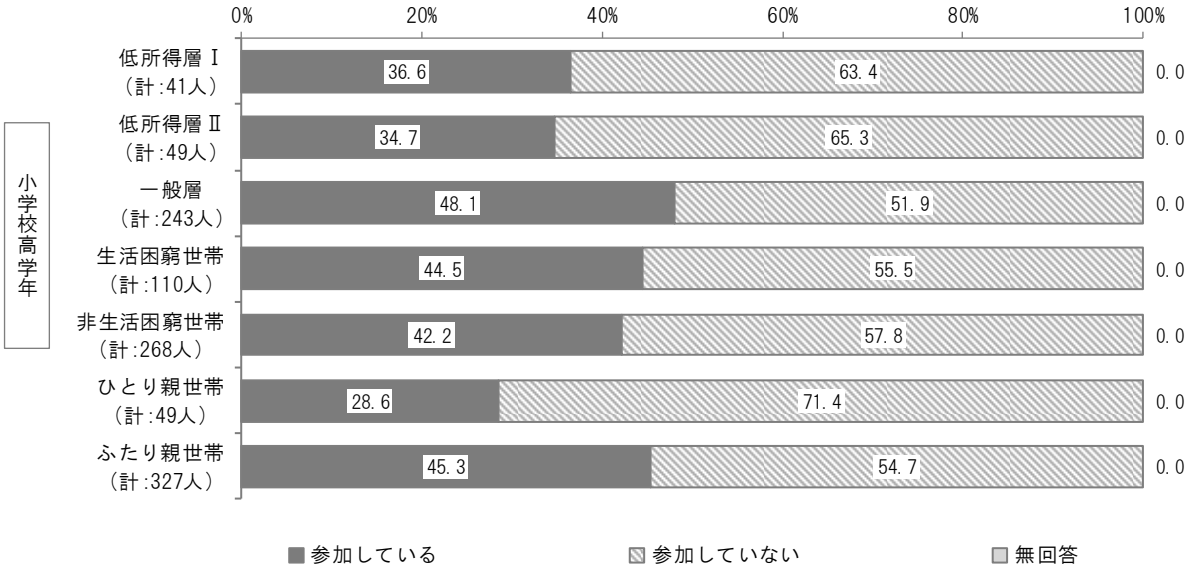
a）地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動の参加について

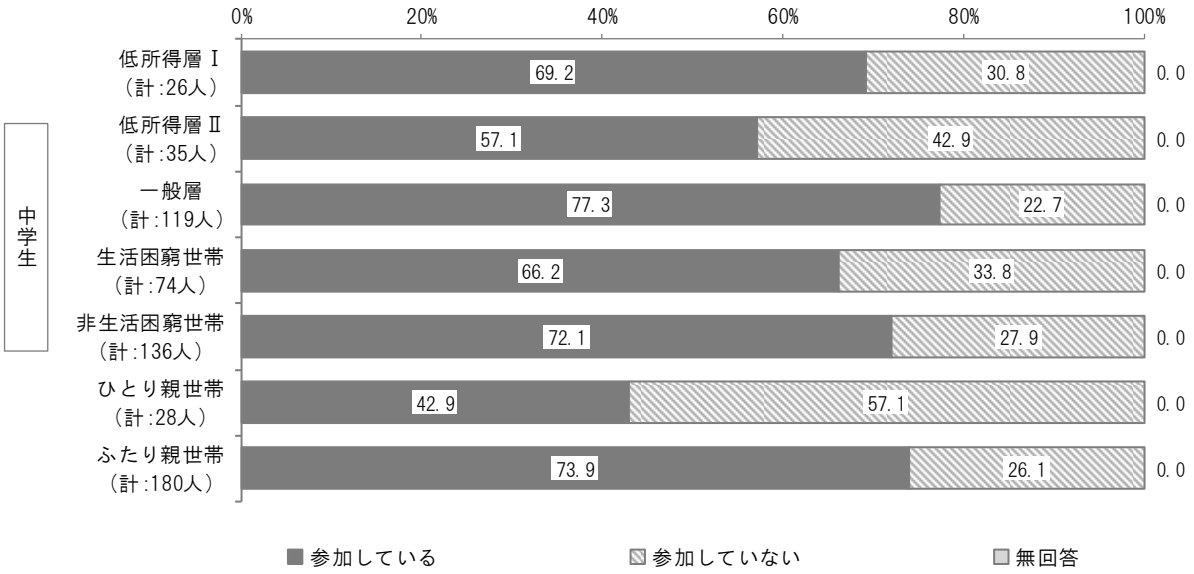
＜小学生・中学生票＞問８　あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。（１つに○）

- ◆ 地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますかとたずねたところ、小中学生全体では「参加している」と回答した児童・生徒の割合は 49.0%となっています。一方、「参加していない」と回答した児童・生徒の割合は 49.7%となっています。
- ◆ 小学校低学年では、困窮分類に関わらず「参加していない」と回答した児童の割合が高くなっています。また、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯で「参加している」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、困窮分類に関わらず「参加していない」と回答した児童の割合が高くなっています。また、低所得層Ⅰ・Ⅱ、ひとり親世帯で「参加している」と回答した児童の割合が一般層、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、ひとり親世帯を除き、「参加している」と回答した生徒の割合が高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「参加している」と回答した生徒の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。




小学校低学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:48人）
31.3
68.8
0.0
低所得層Ⅱ（計:59人）
27.1
72.9
0.0
一般層（計:262人）
34.4
65.6
0.0
生活困窮世帯（計:123人）
30.1
69.9
0.0
非生活困窮世帯（計:290人）
34.8
65.2
0.0
ひとり親世帯（計:43人）
34.9
65.1
0.0
ふたり親世帯（計:370人）
33.2
66.8
0.0
参加している
参加していない
無回答


小学校高学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:41人）
36.6
63.4
0.0
低所得層Ⅱ（計:49人）
34.7
65.3
0.0
一般層（計:243人）
48.1
51.9
0.0
生活困窮世帯（計:110人）
44.5
55.5
0.0
非生活困窮世帯（計:268人）
42.2
57.8
0.0
ひとり親世帯（計:49人）
28.6
71.4
0.0
ふたり親世帯（計:327人）
45.3
54.7
0.0
参加している
参加していない
無回答


中学生
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
69.2
30.8
0.0
低所得層Ⅱ（計:35人）
57.1
42.9
0.0
一般層（計:119人）
77.3
22.7
0.0
生活困窮世帯（計:74人）
66.2
33.8
0.0
非生活困窮世帯（計:136人）
72.1
27.9
0.0
ひとり親世帯（計:28人）
42.9
57.1
0.0
ふたり親世帯（計:180人）
73.9
26.1
0.0
参加している
参加していない
無回答

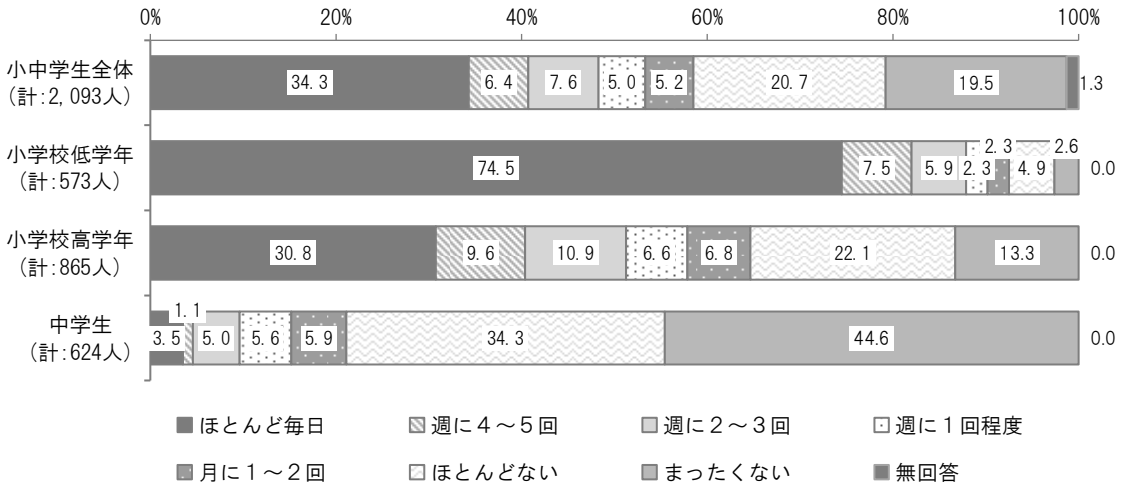
（4）ふだんの暮らし

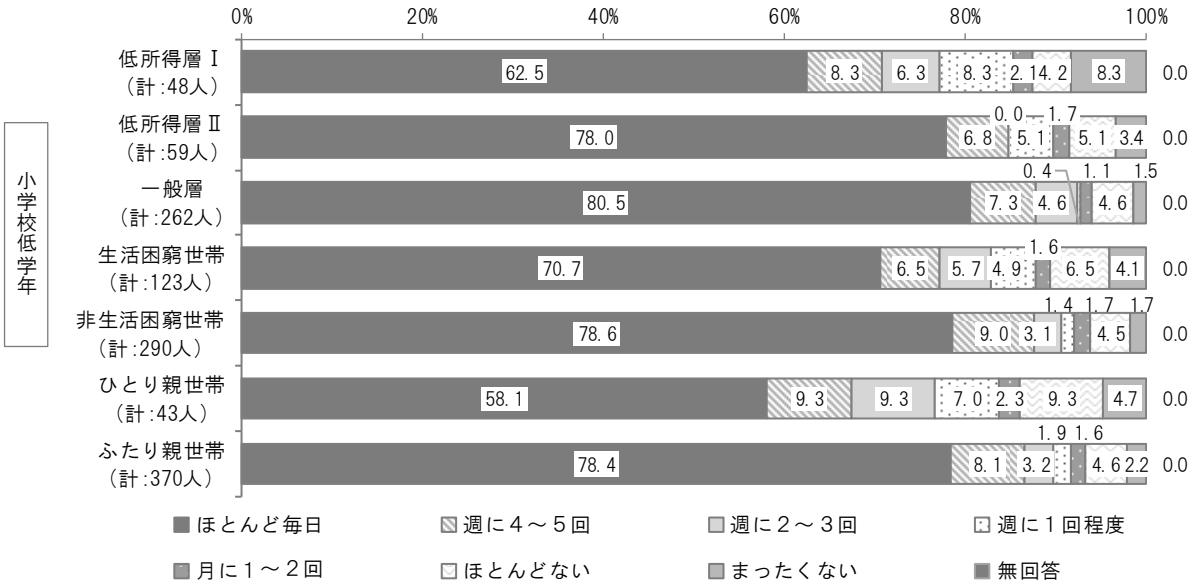
a）保護者との関わりについて

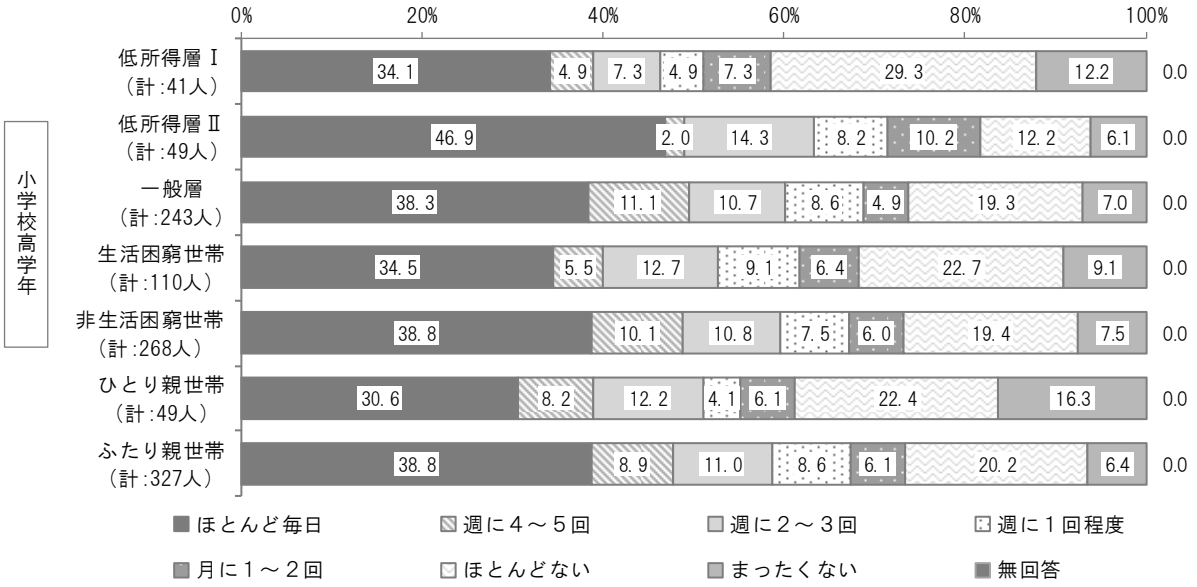
＜小学生・中学生票＞問 11　あなたは、次のようなことをどれくらいしていますか。
①～④について教えてください。（①～④それぞれについて、あてはまるもの１つに○）

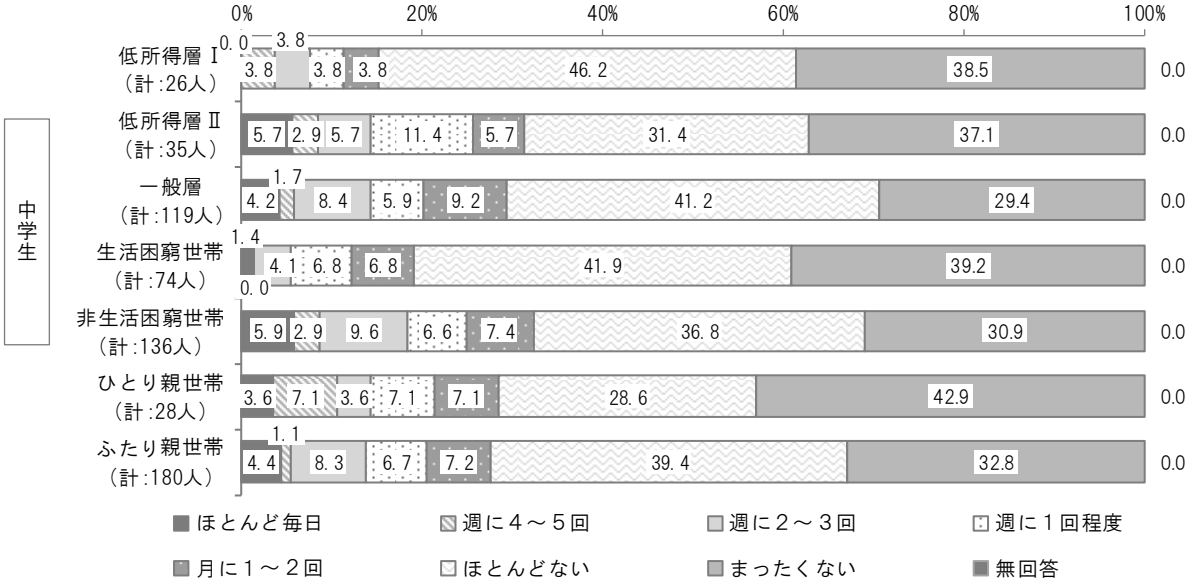
①　おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらっているか

- ◆ おうちの大人の人に宿題(勉強)をみてもらいますかとたずねたところ、小中学生全体では「ほとんど毎日」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、34.3%となっています。次いで、「ほとんどない」（20.7%)、「まったくない」（19.5%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ほとんど毎日」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ほとんど毎日」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ほとんど毎日」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ほとんど毎日」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、全体の傾向と異なり「ほとんどない」と回答した生徒の割合が最も高くなっています。



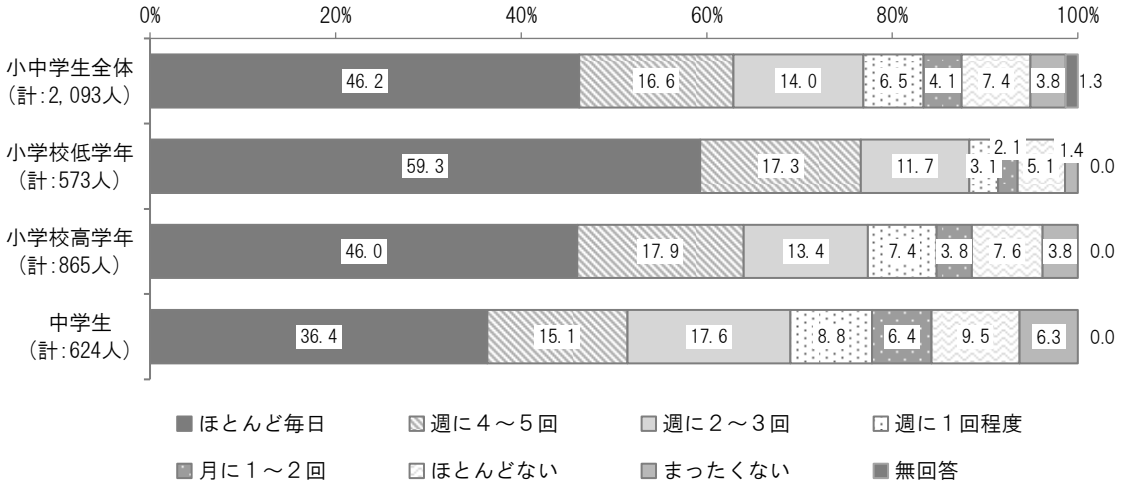

小学校低学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:48人）
62.5 8.3 6.3 8.3 2.1 4.2 8.3 0.0
低所得層Ⅱ（計:59人）
78.0 6.8 5.1 0.0 1.7 5.1 3.4 0.0
一般層（計:262人）
80.5 7.3 4.6 0.4 1.1 4.6 1.5 0.0
生活困窮世帯（計:123人）
70.7 6.5 5.7 4.9 1.6 6.5 4.1 0.0
非生活困窮世帯（計:290人）
78.6 9.0 3.1 1.4 1.7 4.5 1.7 0.0
ひとり親世帯（計:43人）
58.1 9.3 9.3 7.0 2.3 9.3 4.7 0.0
ふたり親世帯（計:370人）
78.4 8.1 3.2 1.9 1.6 4.6 2.2 0.0
ほとんど毎日
週に４～５回
週に２～３回
週に１回程度
月に１～２回
ほとんどない
まったくない
無回答

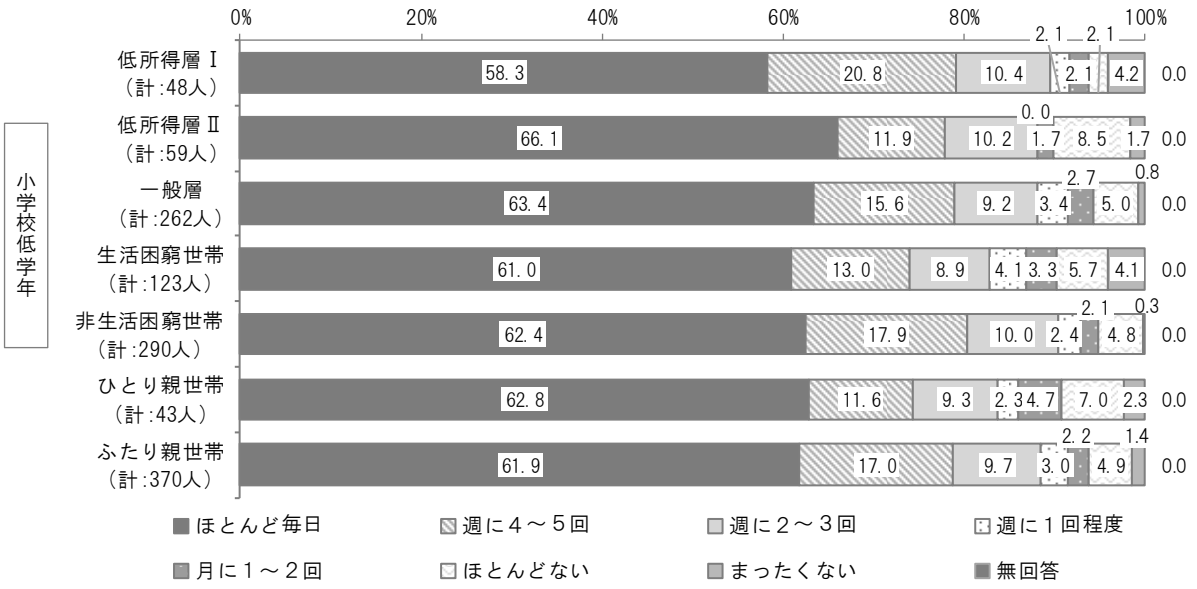

小学校高学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:41人）
34.1 4.9 7.3 4.9 7.3 29.3 12.2 0.0
低所得層Ⅱ（計:49人）
46.9 2.0 14.3 8.2 10.2 12.2 6.1 0.0
一般層（計:243人）
38.3 11.1 10.7 8.6 4.9 19.3 7.0 0.0
生活困窮世帯（計:110人）
34.5 5.5 12.7 9.1 6.4 22.7 9.1 0.0
非生活困窮世帯（計:268人）
38.8 10.1 10.8 7.5 6.0 19.4 7.5 0.0
ひとり親世帯（計:49人）
30.6 8.2 12.2 4.1 6.1 22.4 16.3 0.0
ふたり親世帯（計:327人）
38.8 8.9 11.0 8.6 6.1 20.2 6.4 0.0
ほとんど毎日
週に４～５回
週に２～３回
週に１回程度
月に１～２回
ほとんどない
まったくない
無回答

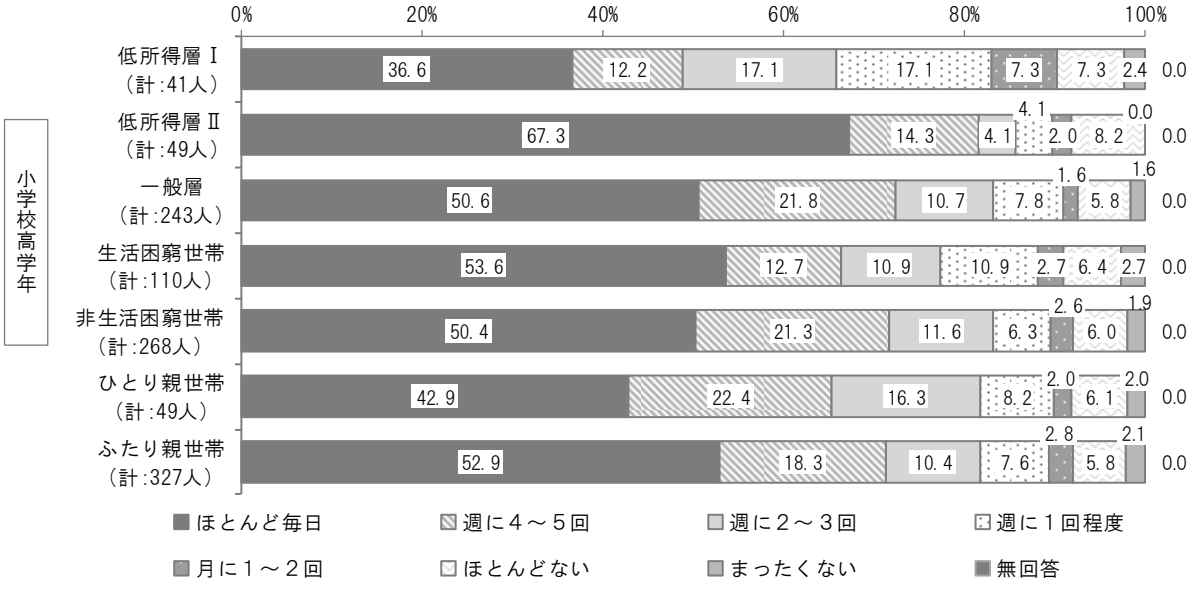

中学生
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
0.0 3.8 3.8 3.8 3.8 46.2 38.5 0.0
低所得層Ⅱ（計:35人）
5.7 2.9 5.7 11.4 5.7 31.4 37.1 0.0
一般層（計:119人）
4.2 1.7 8.4 5.9 9.2 41.2 29.4 0.0
生活困窮世帯（計:74人）
1.4 4.1 6.8 6.8 41.9 39.2 0.0
非生活困窮世帯（計:136人）
0.0 5.9 2.9 9.6 6.6 7.4 36.8 30.9 0.0
ひとり親世帯（計:28人）
3.6 7.1 3.6 7.1 7.1 28.6 42.9 0.0
ふたり親世帯（計:180人）
1.1 4.4 8.3 6.7 7.2 39.4 32.8 0.0
ほとんど毎日
週に４～５回
週に２～３回
週に１回程度
月に１～２回
ほとんどない
まったくない
無回答

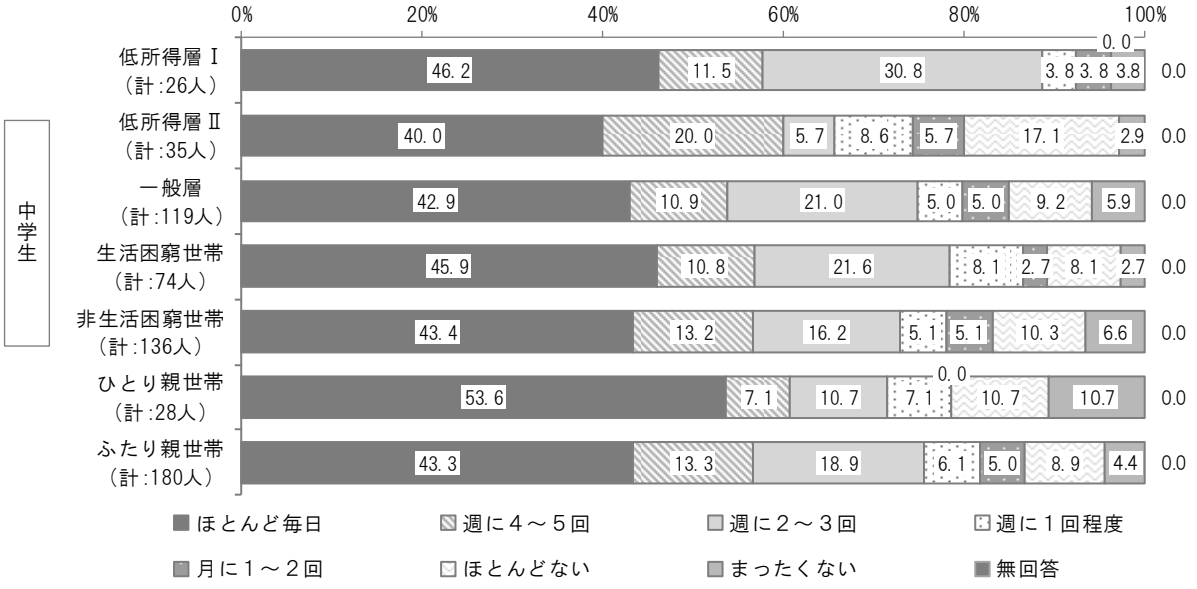
② おうちの大人の人に学校でのできごとを話しているか

- ◆ おうちの大人の人と学校でのできごとについて話しますかとたずねたところ、小中学生全体では「ほとんど毎日」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、46.2%となっています。次いで、「週に４～５回」（16.6%）、「週に２～３回」（14.0%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ほとんど毎日」と回答した児童の割合が最も高くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ほとんど毎日」と回答した児童の割合が最も高くなっています。
- ◆ 中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ほとんど毎日」と回答した生徒の割合が最も高くなっています。



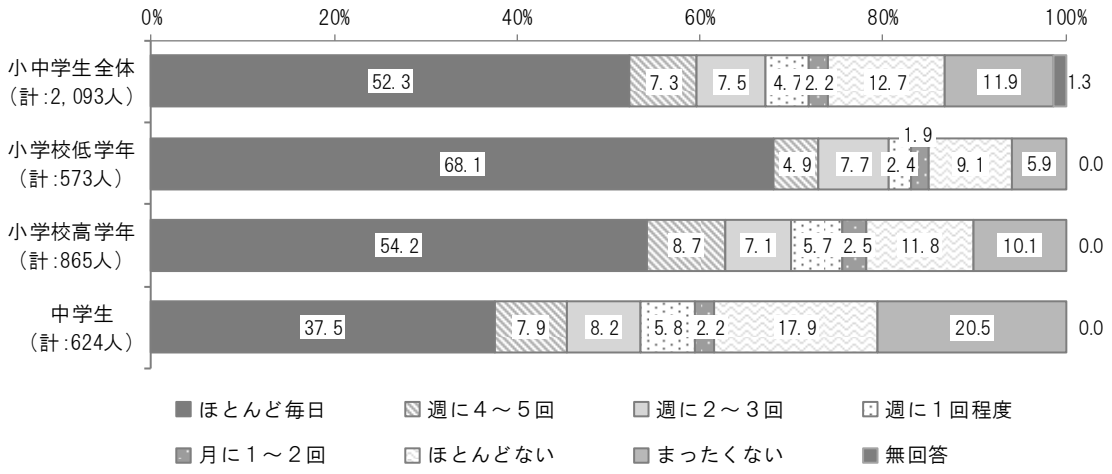

小学校低学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:48人）
58.3
20.8
10.4
2.1
2.1
4.2
0.0
低所得層Ⅱ（計:59人）
66.1
11.9
10.2
0.0
1.7
8.5
1.7
0.0
一般層（計:262人）
63.4
15.6
9.2
2.7
3.4
5.0
0.8
0.0
生活困窮世帯（計:123人）
61.0
13.0
8.9
4.1
3.3
5.7
4.1
0.0
非生活困窮世帯（計:290人）
62.4
17.9
10.0
2.1
2.4
4.8
0.3
0.0
ひとり親世帯（計:43人）
62.8
11.6
9.3
2.3
4.7
7.0
2.3
0.0
ふたり親世帯（計:370人）
61.9
17.0
9.7
2.2
3.0
4.9
1.4
0.0
ほとんど毎日
週に４～５回
週に２～３回
週に１回程度
月に１～２回
ほとんどない
まったくない
無回答

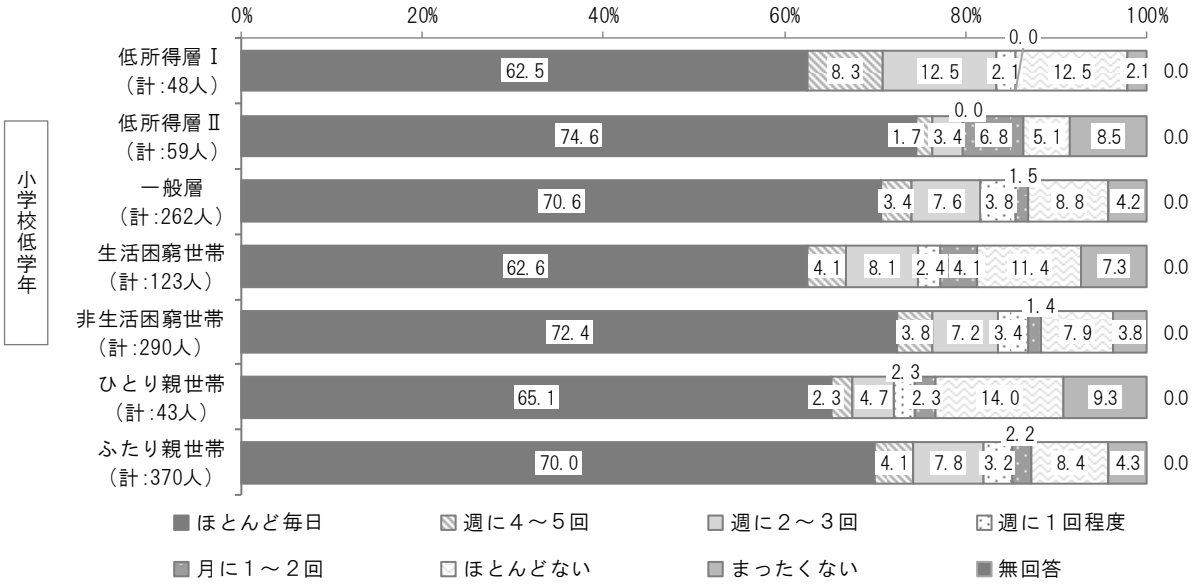

小学校高学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:41人）
36.6
12.2
17.1
17.1
7.3
7.3
2.4
0.0
低所得層Ⅱ（計:49人）
67.3
14.3
4.1
4.1
0.0
2.0
8.2
0.0
一般層（計:243人）
50.6
21.8
10.7
1.6
7.8
1.6
5.8
0.0
生活困窮世帯（計:110人）
53.6
12.7
10.9
10.9
2.7
6.4
2.7
0.0
非生活困窮世帯（計:268人）
50.4
21.3
11.6
6.3
2.6
6.0
1.9
0.0
ひとり親世帯（計:49人）
42.9
22.4
16.3
8.2
2.0
6.1
2.0
0.0
ふたり親世帯（計:327人）
52.9
18.3
10.4
7.6
2.8
5.8
2.1
0.0
ほとんど毎日
週に４～５回
週に２～３回
週に１回程度
月に１～２回
ほとんどない
まったくない
無回答

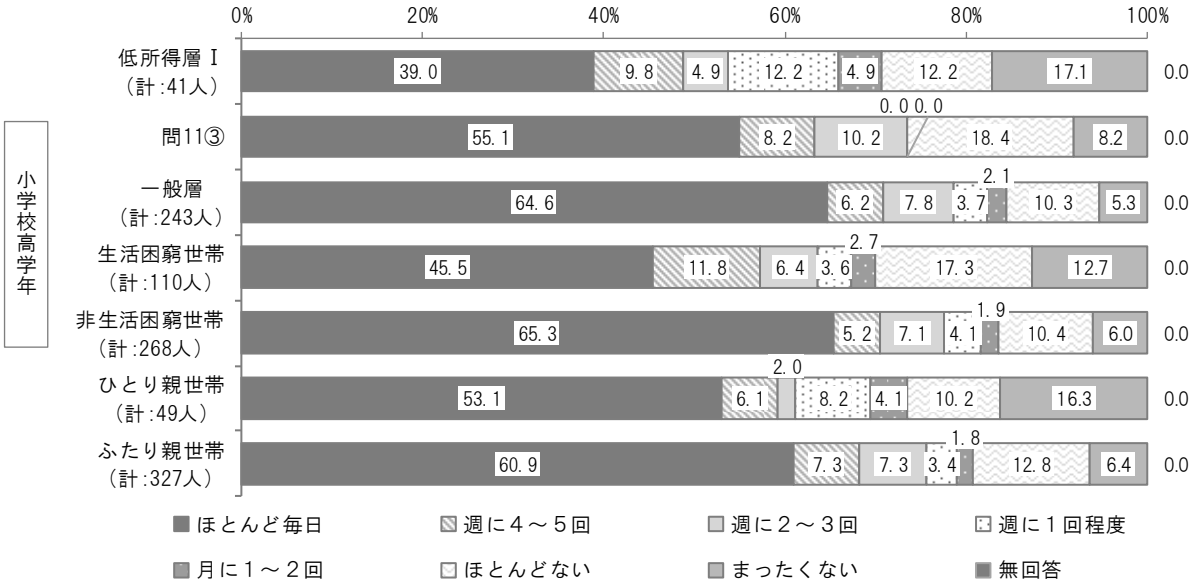

中学生
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
46.2
11.5
30.8
0.0
3.8
3.8
3.8
0.0
低所得層Ⅱ（計:35人）
40.0
20.0
5.7
8.6
5.7
17.1
2.9
0.0
一般層（計:119人）
42.9
10.9
21.0
5.0
5.0
9.2
5.9
0.0
生活困窮世帯（計:74人）
45.9
10.8
21.6
8.1
2.7
8.1
2.7
0.0
非生活困窮世帯（計:136人）
43.4
13.2
16.2
5.1
5.1
10.3
6.6
0.0
ひとり親世帯（計:28人）
53.6
7.1
10.7
0.0
7.1
10.7
10.7
0.0
ふたり親世帯（計:180人）
43.3
13.3
18.9
6.1
5.0
8.9
4.4
0.0
ほとんど毎日
週に４～５回
週に２～３回
週に１回程度
月に１～２回
ほとんどない
まったくない
無回答

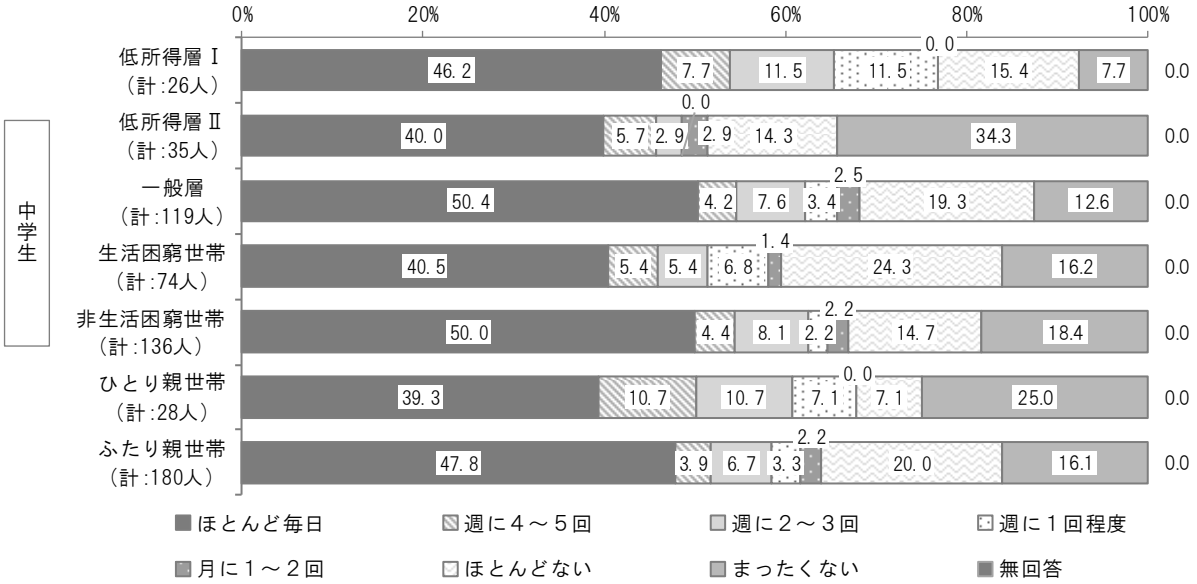
③　朝ごはんをおうちの大人の人と一緒に食べますか

- ◆ 朝ごはんをおうちの大人の人と一緒に食べますかとたずねたところ、小中学生全体では「ほとんど毎日」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、52.3%となっています。次いで、「ほとんどない」（12.7%）、「まったくない」（11.9%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ほとんど毎日」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ほとんど毎日」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ほとんど毎日」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ほとんど毎日」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ほとんど毎日」と回答した生徒の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ほとんど毎日」と回答した生徒の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



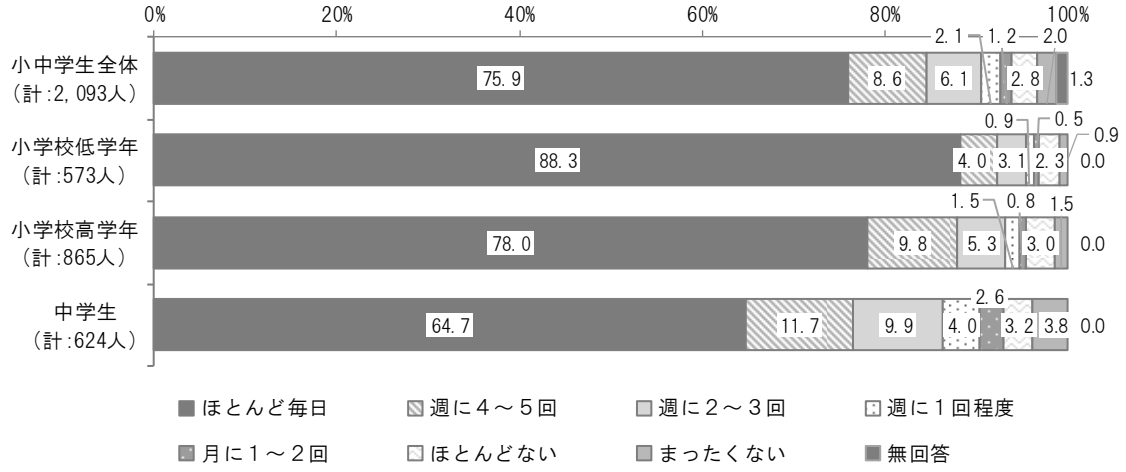

小学校低学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:48人）
62.5 8.3 12.5 2.1 12.5 2.1 0.0
低所得層Ⅱ（計:59人）
74.6 1.7 3.4 6.8 5.1 8.5 0.0
一般層（計:262人）
70.6 3.4 7.6 3.8 8.8 4.2 0.0
生活困窮世帯（計:123人）
62.6 4.1 8.1 2.4 4.1 11.4 7.3 0.0
非生活困窮世帯（計:290人）
72.4 3.8 7.2 3.4 7.9 3.8 0.0
ひとり親世帯（計:43人）
65.1 2.3 4.7 2.3 14.0 9.3 0.0
ふたり親世帯（計:370人）
70.0 4.1 7.8 3.2 8.4 4.3 0.0
ほとんど毎日
週に４～５回
週に２～３回
週に１回程度
月に１～２回
ほとんどない
まったくない
無回答

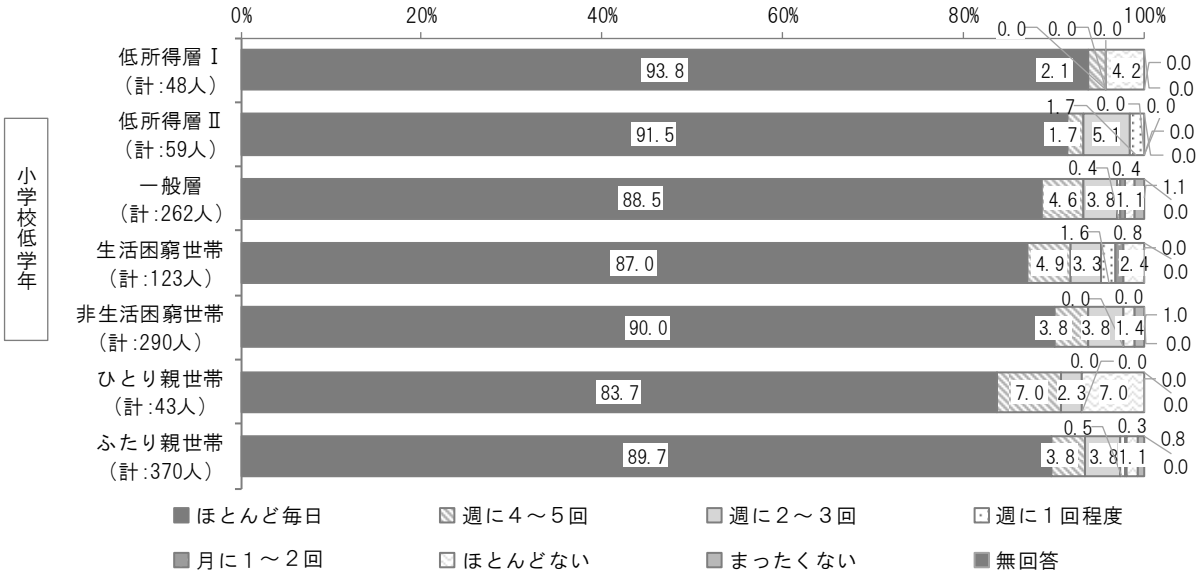

小学校高学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:41人）
39.0 9.8 4.9 12.2 4.9 12.2 17.1 0.0
問11③
55.1 8.2 10.2 18.4 8.2 0.0
一般層（計:243人）
64.6 6.2 7.8 3.7 10.3 5.3 0.0
生活困窮世帯（計:110人）
45.5 11.8 6.4 3.6 17.3 12.7 0.0
非生活困窮世帯（計:268人）
65.3 5.2 7.1 4.1 10.4 6.0 0.0
ひとり親世帯（計:49人）
53.1 6.1 8.2 4.1 10.2 16.3 0.0
ふたり親世帯（計:327人）
60.9 7.3 7.3 3.4 12.8 6.4 0.0
ほとんど毎日
週に４～５回
週に２～３回
週に１回程度
月に１～２回
ほとんどない
まったくない
無回答

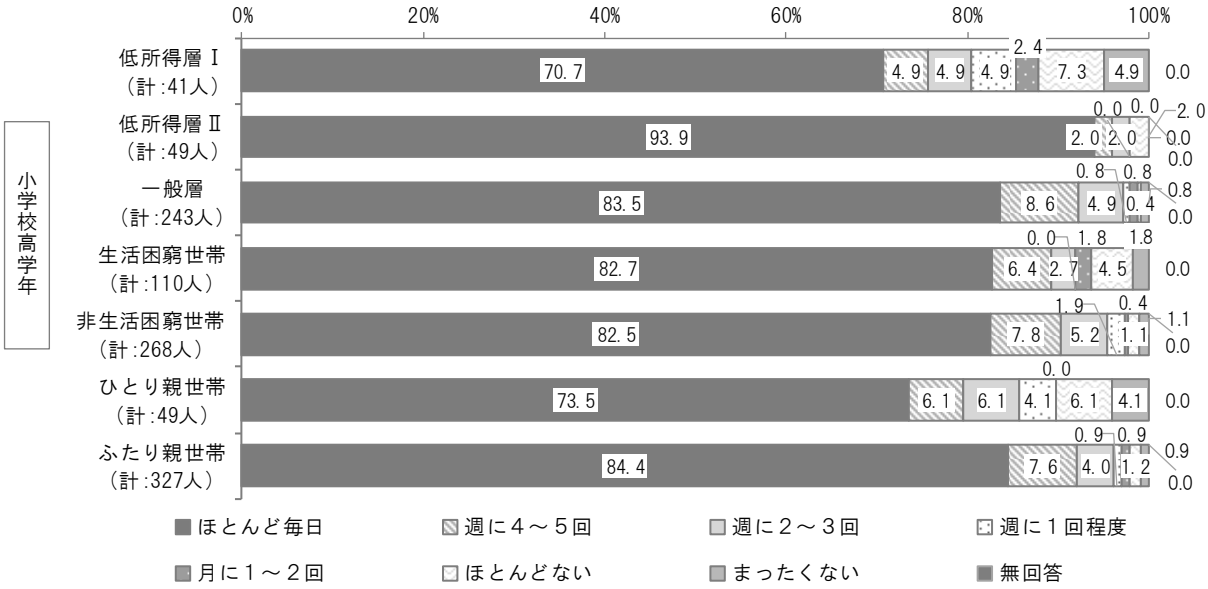

中学生
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
46.2 7.7 11.5 11.5 15.4 7.7 0.0
低所得層Ⅱ（計:35人）
40.0 5.7 2.9 2.9 14.3 34.3 0.0
一般層（計:119人）
50.4 4.2 7.6 3.4 19.3 12.6 0.0
生活困窮世帯（計:74人）
40.5 5.4 5.4 6.8 24.3 16.2 0.0
非生活困窮世帯（計:136人）
50.0 4.4 8.1 2.2 14.7 18.4 0.0
ひとり親世帯（計:28人）
39.3 10.7 10.7 7.1 7.1 25.0 0.0
ふたり親世帯（計:180人）
47.8 3.9 6.7 3.3 20.0 16.1 0.0
ほとんど毎日
週に４～５回
週に２～３回
週に１回程度
月に１～２回
ほとんどない
まったくない
無回答

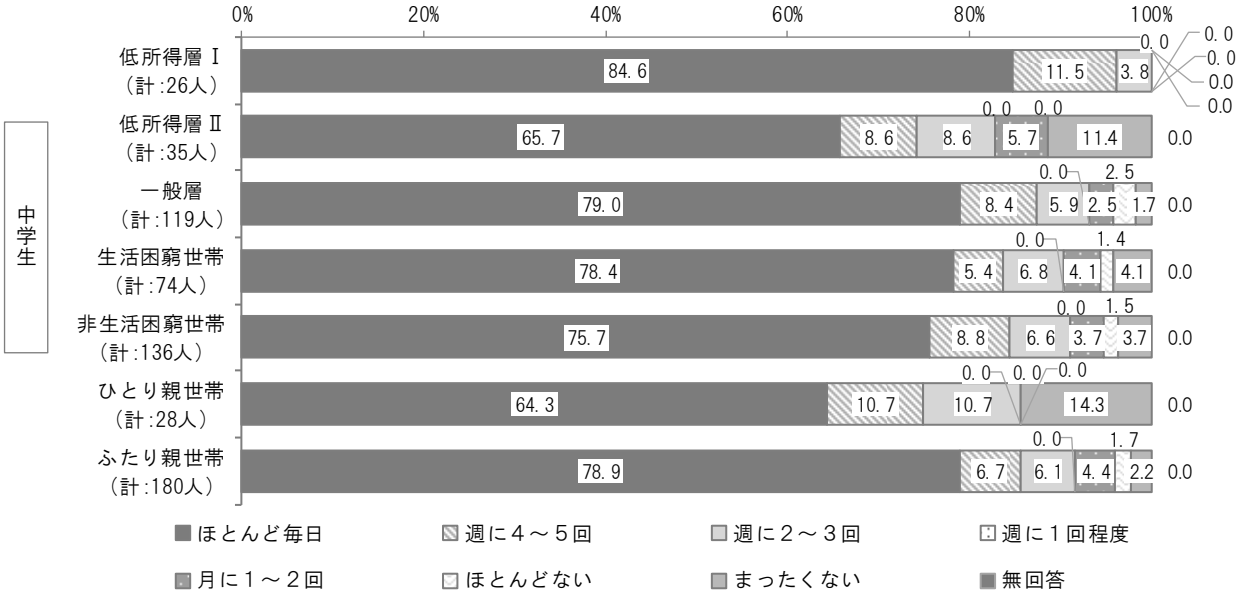
④　夕ごはんをおうちの大人の人と一緒に食べますか

- ◆　夕ごはんをおうちの大人の人と一緒に食べますかとたずねたところ、小中学生全体では「ほとんど毎日」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、75.9%となっています。次いで、「週に４～５回」（8.6%）、「週に２～３回」（6.1%）となっています。
- ◆　小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ほとんど毎日」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ほとんど毎日」と回答した児童の割合が非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆　小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ほとんど毎日」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ、ひとり親世帯で「ほとんど毎日」と回答した児童の割合が一般層、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆　中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ほとんど毎日」と回答した生徒の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅱ、ひとり親世帯で「ほとんど毎日」と回答した生徒の割合が一般層、ふたり親世帯より低くなっています。




小学校低学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:48人）
93.8
0.0
0.0
0.0
2.1
4.2
0.0
0.0
低所得層Ⅱ（計:59人）
91.5
1.7
0.0
0.0
1.7
5.1
0.0
0.0
0.0
一般層（計:262人）
88.5
0.4
0.4
4.6
3.8
1.1
1.1
0.0
生活困窮世帯（計:123人）
87.0
1.6
0.8
4.9
3.3
2.4
0.0
0.0
非生活困窮世帯（計:290人）
90.0
0.0
0.0
3.8
3.8
1.4
1.0
0.0
ひとり親世帯（計:43人）
83.7
0.0
0.0
7.0
2.3
7.0
0.0
0.0
ふたり親世帯（計:370人）
89.7
0.5
0.3
3.8
3.8
1.1
0.8
0.0
ほとんど毎日
週に４～５回
週に２～３回
週に１回程度
月に１～２回
ほとんどない
まったくない
無回答


小学校高学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:41人）
70.7
2.4
4.9
4.9
4.9
7.3
4.9
0.0
低所得層Ⅱ（計:49人）
93.9
0.0
0.0
2.0
2.0
2.0
0.0
0.0
一般層（計:243人）
83.5
0.8
0.8
8.6
4.9
0.4
0.8
0.0
生活困窮世帯（計:110人）
82.7
0.0
1.8
1.8
6.4
2.7
4.5
0.0
非生活困窮世帯（計:268人）
82.5
1.9
0.4
7.8
5.2
1.1
1.1
0.0
ひとり親世帯（計:49人）
73.5
0.0
6.1
6.1
4.1
6.1
4.1
0.0
ふたり親世帯（計:327人）
84.4
0.9
0.9
7.6
4.0
1.2
0.9
0.0
ほとんど毎日
週に４～５回
週に２～３回
週に１回程度
月に１～２回
ほとんどない
まったくない
無回答

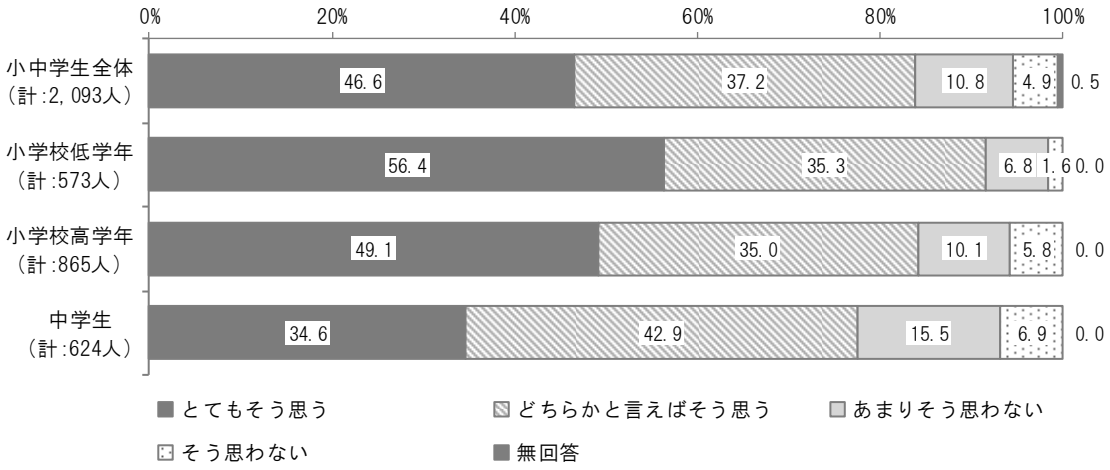

中学生
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
84.6
0.0
0.0
0.0
0.0
11.5
3.8
低所得層Ⅱ（計:35人）
65.7
0.0
0.0
8.6
8.6
5.7
11.4
0.0
一般層（計:119人）
79.0
0.0
2.5
8.4
5.9
2.5
1.7
0.0
生活困窮世帯（計:74人）
78.4
0.0
1.4
5.4
6.8
4.1
4.1
0.0
非生活困窮世帯（計:136人）
75.7
0.0
1.5
8.8
6.6
3.7
3.7
0.0
ひとり親世帯（計:28人）
64.3
0.0
0.0
0.0
10.7
10.7
14.3
0.0
ふたり親世帯（計:180人）
78.9
0.0
1.7
6.7
6.1
4.4
2.2
0.0
ほとんど毎日
週に４～５回
週に２～３回
週に１回程度
月に１～２回
ほとんどない
まったくない
無回答

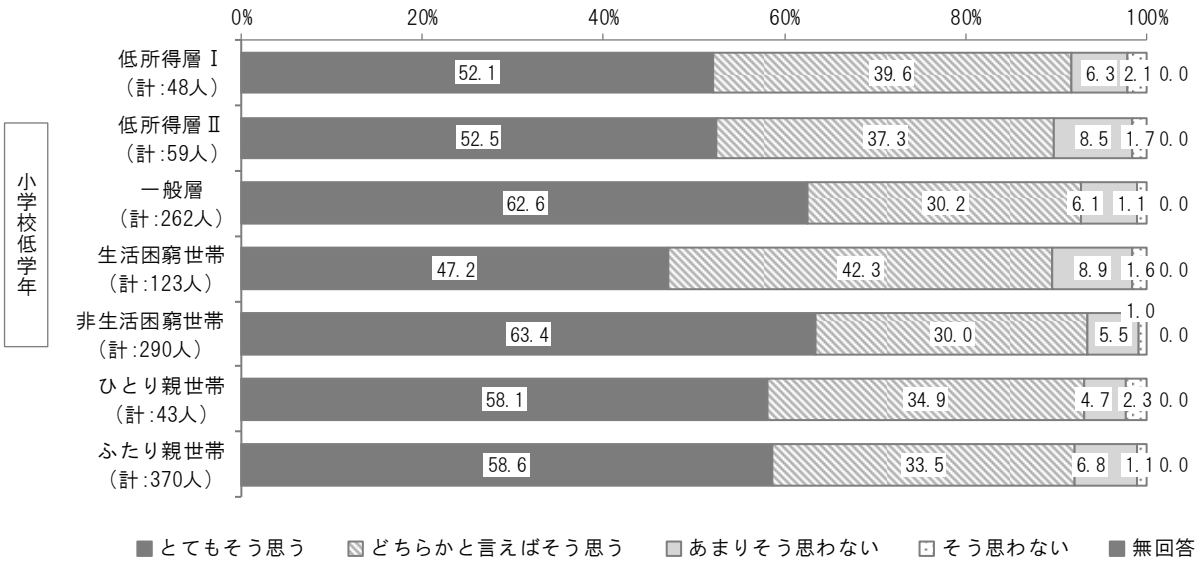
b）こどもの心理的なものについて

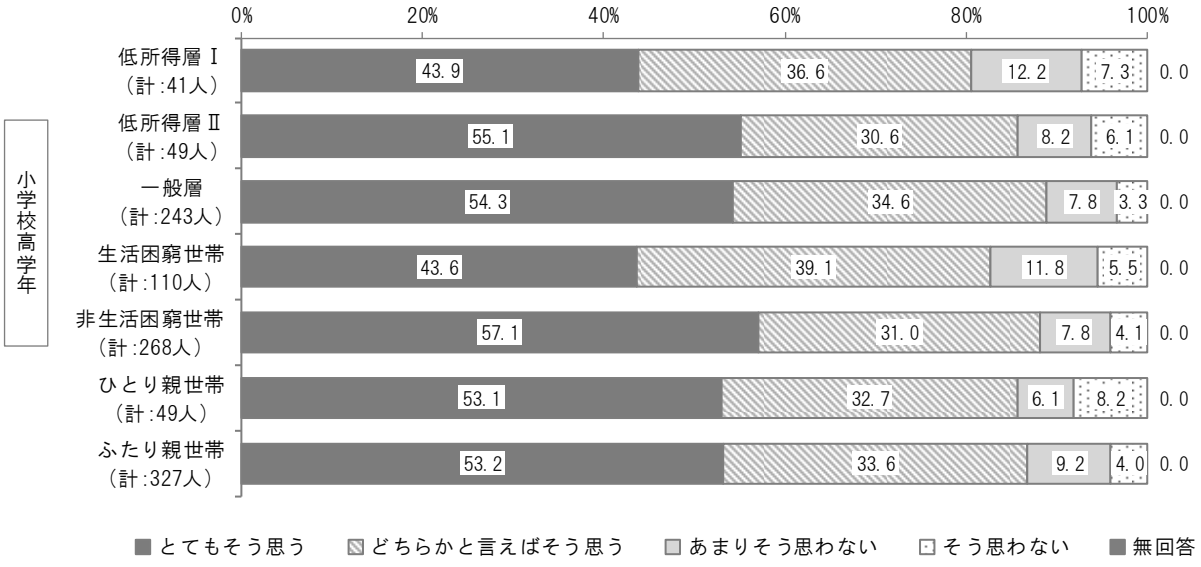
＜小学生・中学生票＞問 15　あなたの思いや気持ちを聞かせてください。
（①～④それぞれについて、あてはまるもの１つに○）

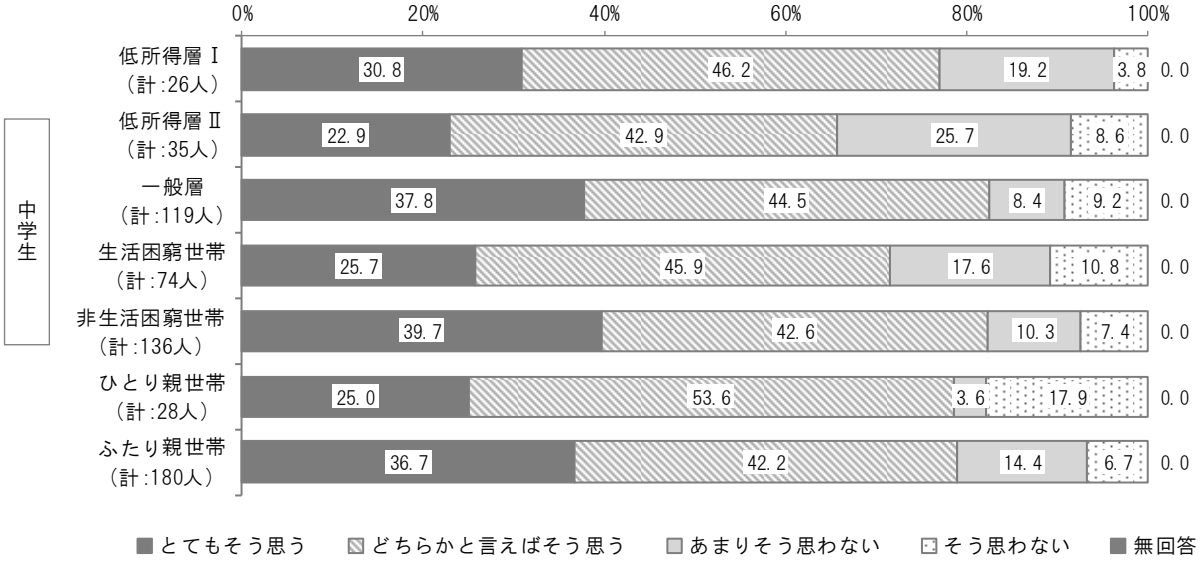
①　がんばれば、むくわれる

- ◆　「がんばれば、むくわれる」について、小中学生全体では「とてもそう思う」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、46.6%となっています。次いで、「どちらかと言えばそう思う」（37.2%）、「あまりそう思わない」（10.8%）となっています。
- ◆　小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「とてもそう思う」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯で「そう思う（「とてもそう思う」＋「どちらかと言えばそう思う」）」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯より低くなっています。
- ◆　小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「とてもそう思う」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「そう思う（「とてもそう思う」＋「どちらかと言えばそう思う」）」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低い傾向があります。
- ◆　中学生では、「どちらかと言えばそう思う」と回答した生徒の割合が最も高くなっています。また、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「そう思う（「とてもそう思う」＋「どちらかと言えばそう思う」）」と回答した生徒の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低い傾向があります。



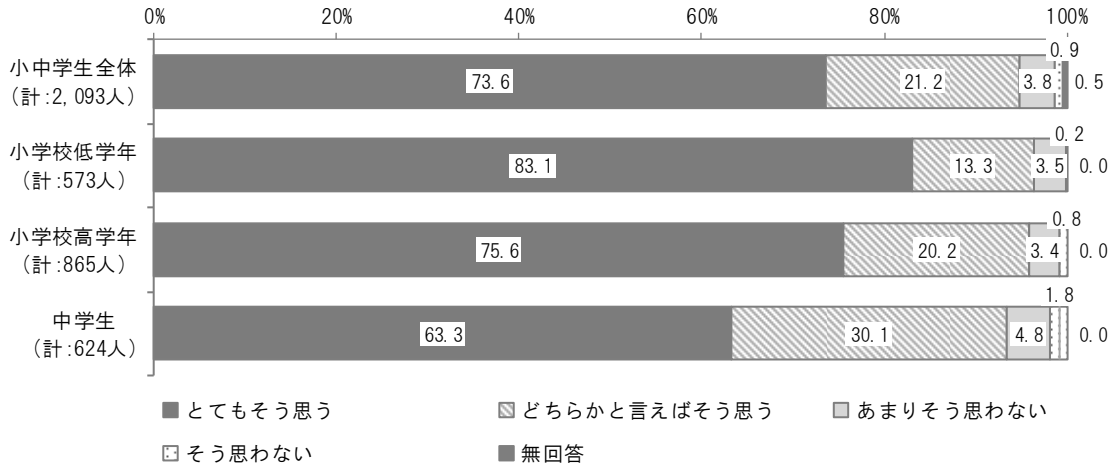

小学校低学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:48人）
52.1
39.6
6.3
2.1
0.0
低所得層Ⅱ（計:59人）
52.5
37.3
8.5
1.7
0.0
一般層（計:262人）
62.6
30.2
6.1
1.1
0.0
生活困窮世帯（計:123人）
47.2
42.3
8.9
1.6
0.0
非生活困窮世帯（計:290人）
63.4
30.0
5.5
1.0
0.0
ひとり親世帯（計:43人）
58.1
34.9
4.7
2.3
0.0
ふたり親世帯（計:370人）
58.6
33.5
6.8
1.1
0.0
とてもそう思う
どちらかと言えばそう思う
あまりそう思わない
そう思わない
無回答

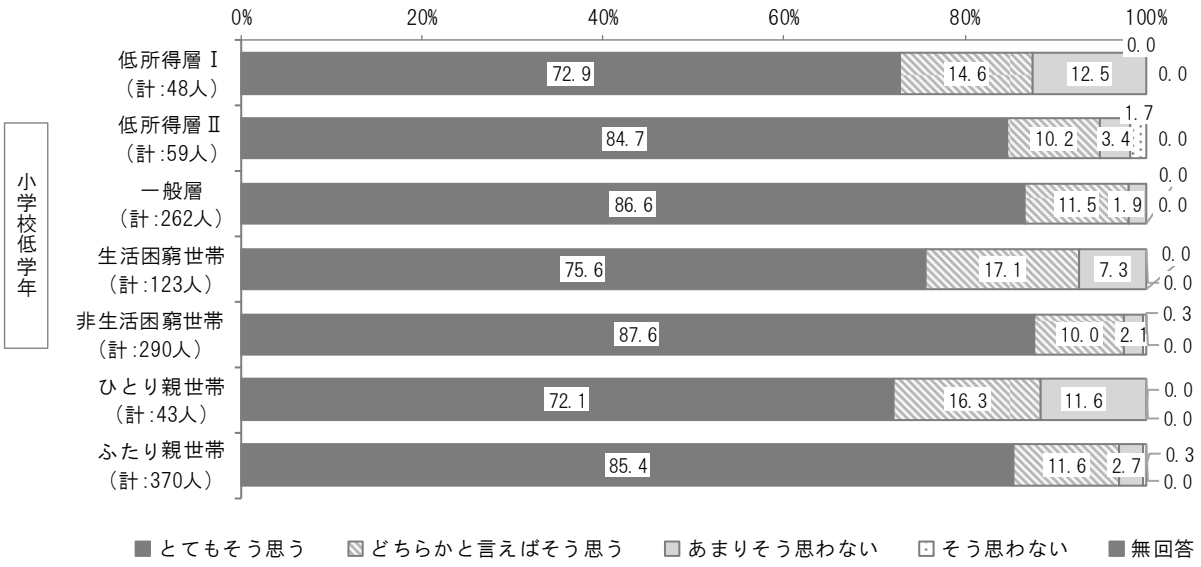

小学校高学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:41人）
43.9
36.6
12.2
7.3
0.0
低所得層Ⅱ（計:49人）
55.1
30.6
8.2
6.1
0.0
一般層（計:243人）
54.3
34.6
7.8
3.3
0.0
生活困窮世帯（計:110人）
43.6
39.1
11.8
5.5
0.0
非生活困窮世帯（計:268人）
57.1
31.0
7.8
4.1
0.0
ひとり親世帯（計:49人）
53.1
32.7
6.1
8.2
0.0
ふたり親世帯（計:327人）
53.2
33.6
9.2
4.0
0.0
とてもそう思う
どちらかと言えばそう思う
あまりそう思わない
そう思わない
無回答

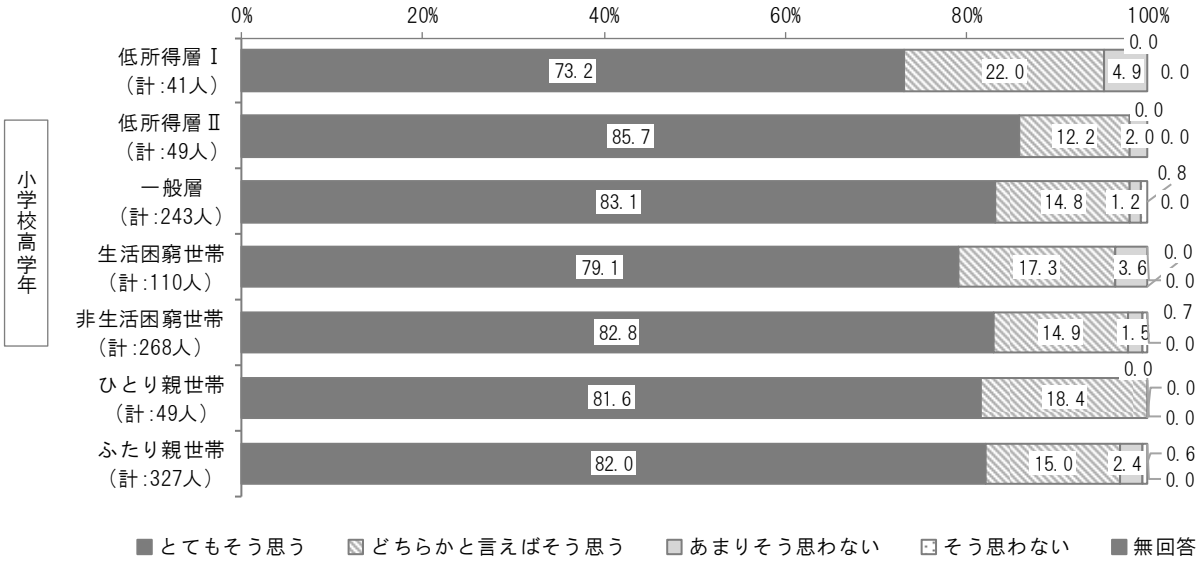

中学生
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
30.8
46.2
19.2
3.8
0.0
低所得層Ⅱ（計:35人）
22.9
42.9
25.7
8.6
0.0
一般層（計:119人）
37.8
44.5
8.4
9.2
0.0
生活困窮世帯（計:74人）
25.7
45.9
17.6
10.8
0.0
非生活困窮世帯（計:136人）
39.7
42.6
10.3
7.4
0.0
ひとり親世帯（計:28人）
25.0
53.6
3.6
17.9
0.0
ふたり親世帯（計:180人）
36.7
42.2
14.4
6.7
0.0
とてもそう思う
どちらかと言えばそう思う
あまりそう思わない
そう思わない
無回答

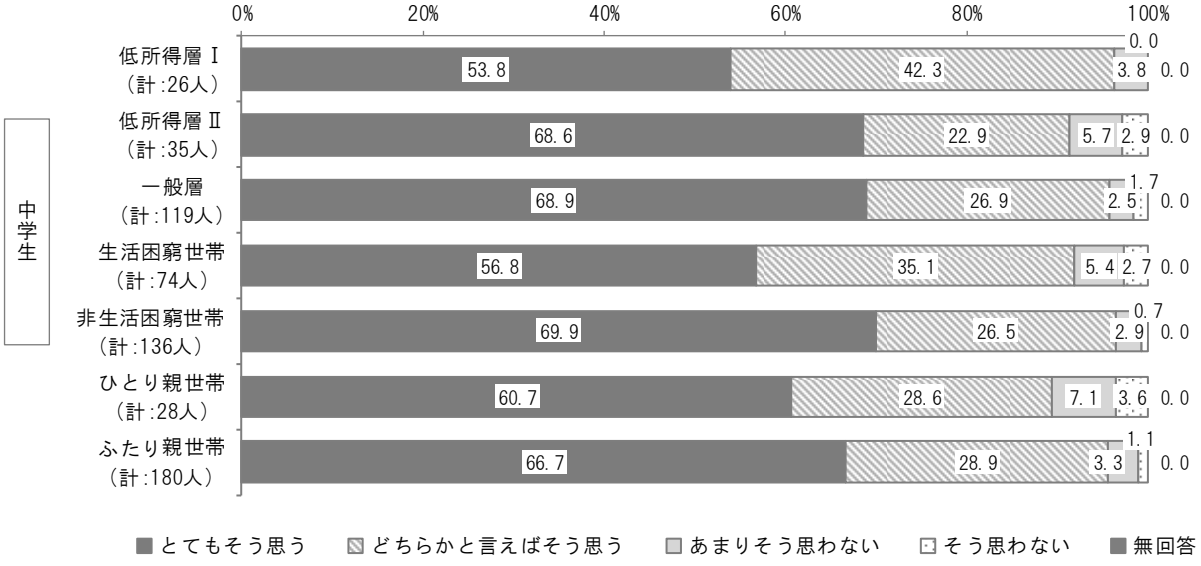
② 自分は家族に大事にされている

- ◆ 「自分は家族に大事にされている」について、小中学生全体では「とてもそう思う」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、73.6%となっています。次いで、「どちらかと言えばそう思う」（21.2%）、「あまりそう思わない」（3.8%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「とてもそう思う」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「そう思う（「とてもそう思う」＋「どちらかと言えばそう思う」）」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「とてもそう思う」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯で「そう思う（「とてもそう思う」＋「どちらかと言えばそう思う」）」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「とてもそう思う」と回答した生徒の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「そう思う（「とてもそう思う」＋「どちらかと言えばそう思う」）」と回答した生徒の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



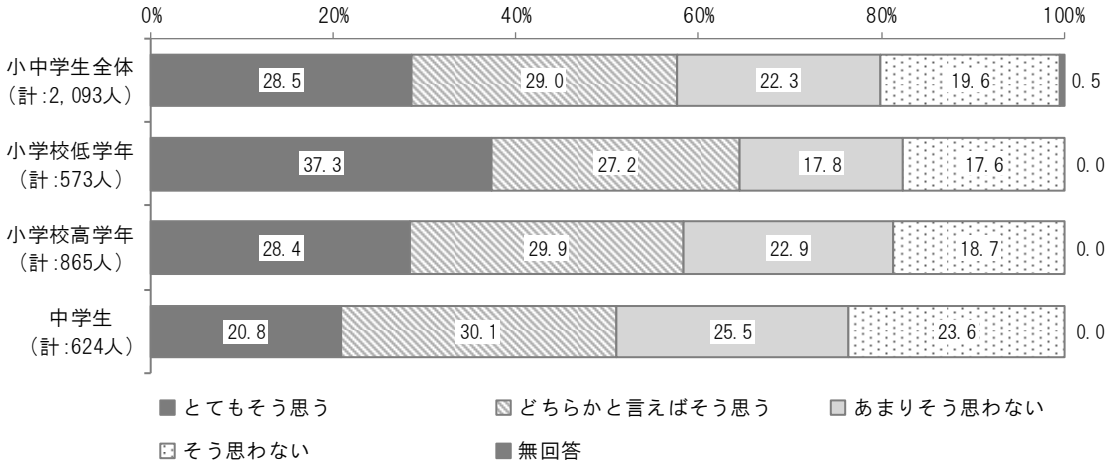

小学校低学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:48人）
72.9
14.6
12.5
0.0
0.0
低所得層Ⅱ（計:59人）
84.7
10.2
3.4
1.7
0.0
一般層（計:262人）
86.6
11.5
1.9
0.0
0.0
生活困窮世帯（計:123人）
75.6
17.1
7.3
0.0
0.0
非生活困窮世帯（計:290人）
87.6
10.0
2.1
0.3
0.0
ひとり親世帯（計:43人）
72.1
16.3
11.6
0.0
0.0
ふたり親世帯（計:370人）
85.4
11.6
2.7
0.3
0.0
とてもそう思う
どちらかと言えばそう思う
あまりそう思わない
そう思わない
無回答

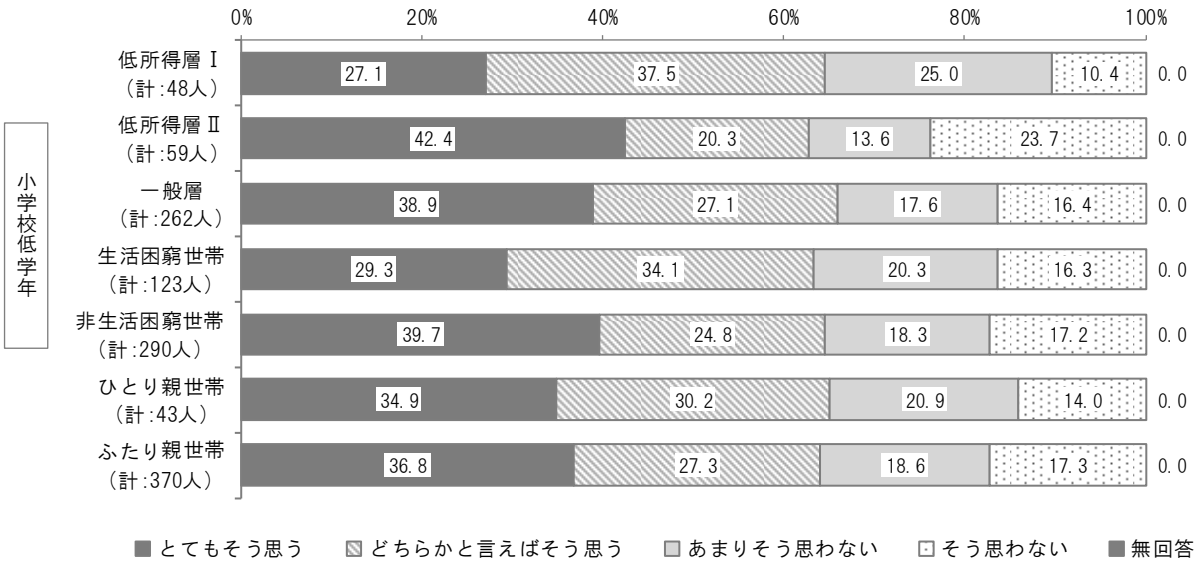

小学校高学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:41人）
73.2
22.0
4.9
0.0
0.0
低所得層Ⅱ（計:49人）
85.7
12.2
2.0
0.0
0.0
一般層（計:243人）
83.1
14.8
1.2
0.8
0.0
生活困窮世帯（計:110人）
79.1
17.3
3.6
0.0
0.0
非生活困窮世帯（計:268人）
82.8
14.9
1.5
0.7
0.0
ひとり親世帯（計:49人）
81.6
18.4
0.0
0.0
0.0
ふたり親世帯（計:327人）
82.0
15.0
2.4
0.6
0.0
とてもそう思う
どちらかと言えばそう思う
あまりそう思わない
そう思わない
無回答

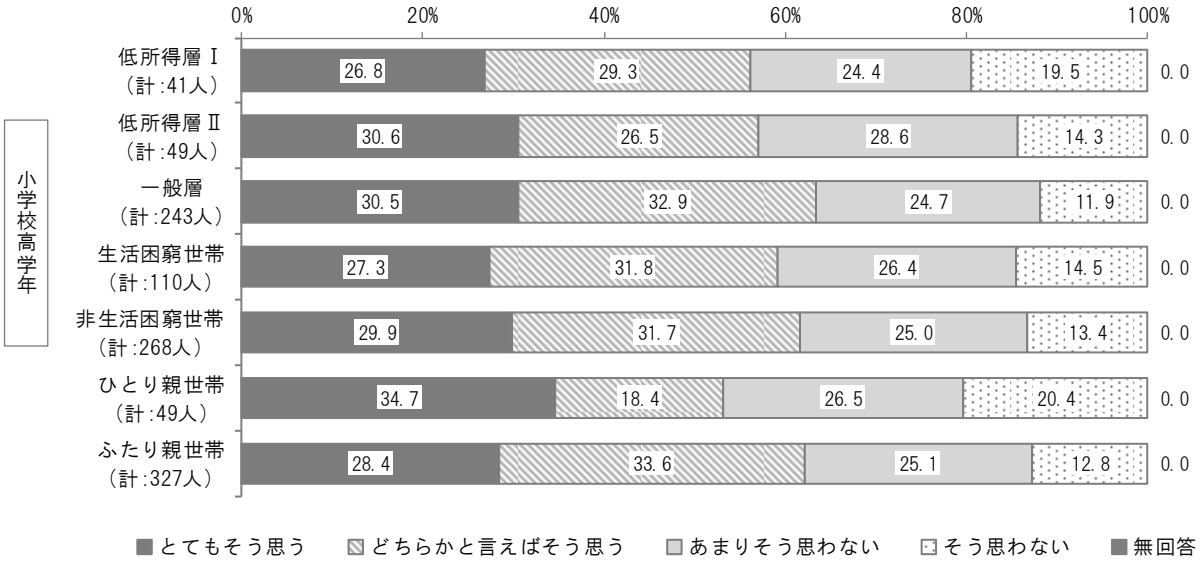

中学生
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
53.8
42.3
3.8
0.0
0.0
低所得層Ⅱ（計:35人）
68.6
22.9
5.7
2.9
0.0
一般層（計:119人）
68.9
26.9
2.5
1.7
0.0
生活困窮世帯（計:74人）
56.8
35.1
5.4
2.7
0.0
非生活困窮世帯（計:136人）
69.9
26.5
2.9
0.7
0.0
ひとり親世帯（計:28人）
60.7
28.6
7.1
3.6
0.0
ふたり親世帯（計:180人）
66.7
28.9
3.3
1.1
0.0
とてもそう思う
どちらかと言えばそう思う
あまりそう思わない
そう思わない
無回答

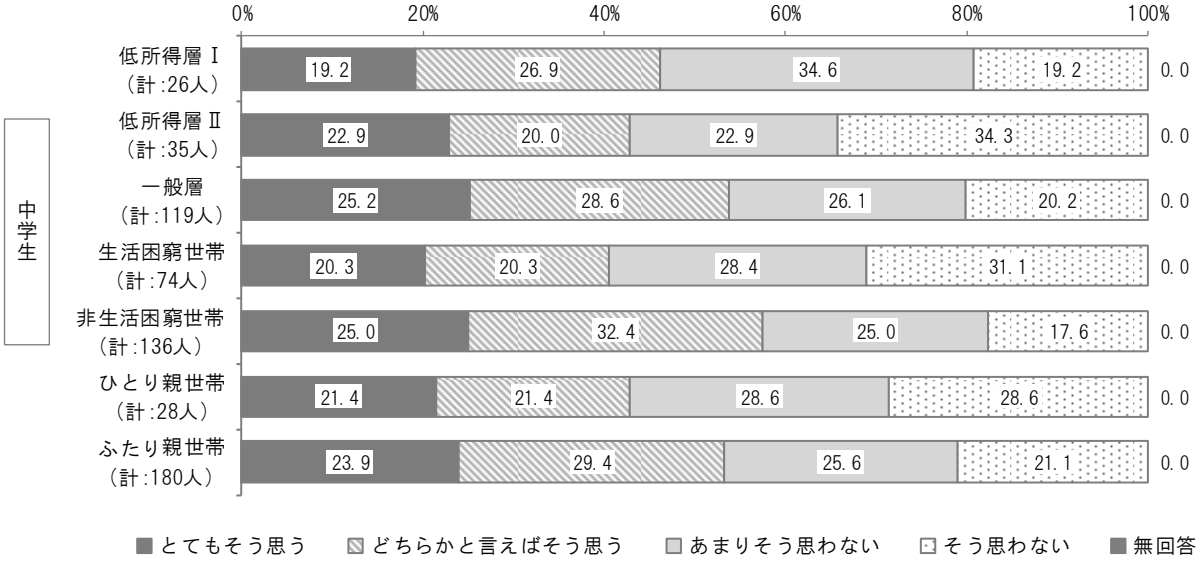
③不安（心配）に感じることはない

- ◆ 「不安(心配)に感じることはない」について、小中学生全体では「どちらかと言えばそう思う」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、29.0%となっています。次いで、「とてもそう思う」（28.5%）、「あまりそう思わない」（22.3%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「とてもそう思う」と回答した児童の割合が高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯で「そう思う（「とてもそう思う」＋「どちらかと言えばそう思う」）」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、「どちらかと言えばそう思う」（29.9%）と回答した児童の割合が最も高く、次いで「とてもそう思う」（28.4%）となっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「そう思う（「とてもそう思う」＋「どちらかと言えばそう思う」）」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、「どちらかと言えばそう思う」（30.1%）と回答した生徒の割合が最も高く、次いで「あまりそう思わない」（25.5%）となっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「そう思う（「とてもそう思う」＋「どちらかと言えばそう思う」）」と回答した生徒の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



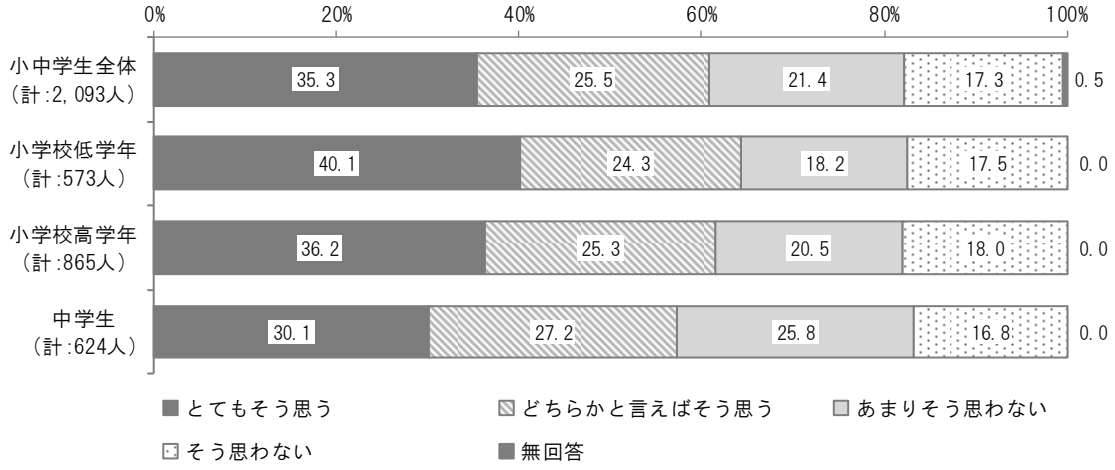

小学校低学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:48人）
27.1
37.5
25.0
10.4
0.0
低所得層Ⅱ（計:59人）
42.4
20.3
13.6
23.7
0.0
一般層（計:262人）
38.9
27.1
17.6
16.4
0.0
生活困窮世帯（計:123人）
29.3
34.1
20.3
16.3
0.0
非生活困窮世帯（計:290人）
39.7
24.8
18.3
17.2
0.0
ひとり親世帯（計:43人）
34.9
30.2
20.9
14.0
0.0
ふたり親世帯（計:370人）
36.8
27.3
18.6
17.3
0.0
とてもそう思う
どちらかと言えばそう思う
あまりそう思わない
そう思わない
無回答

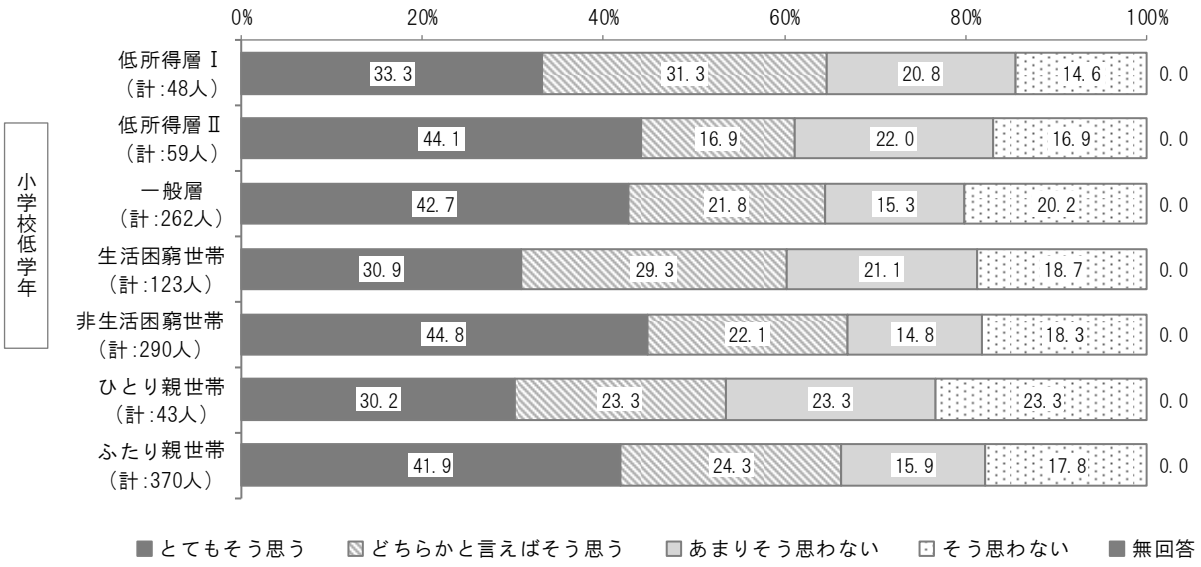

小学校高学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:41人）
26.8
29.3
24.4
19.5
0.0
低所得層Ⅱ（計:49人）
30.6
26.5
28.6
14.3
0.0
一般層（計:243人）
30.5
32.9
24.7
11.9
0.0
生活困窮世帯（計:110人）
27.3
31.8
26.4
14.5
0.0
非生活困窮世帯（計:268人）
29.9
31.7
25.0
13.4
0.0
ひとり親世帯（計:49人）
34.7
18.4
26.5
20.4
0.0
ふたり親世帯（計:327人）
28.4
33.6
25.1
12.8
0.0
とてもそう思う
どちらかと言えばそう思う
あまりそう思わない
そう思わない
無回答

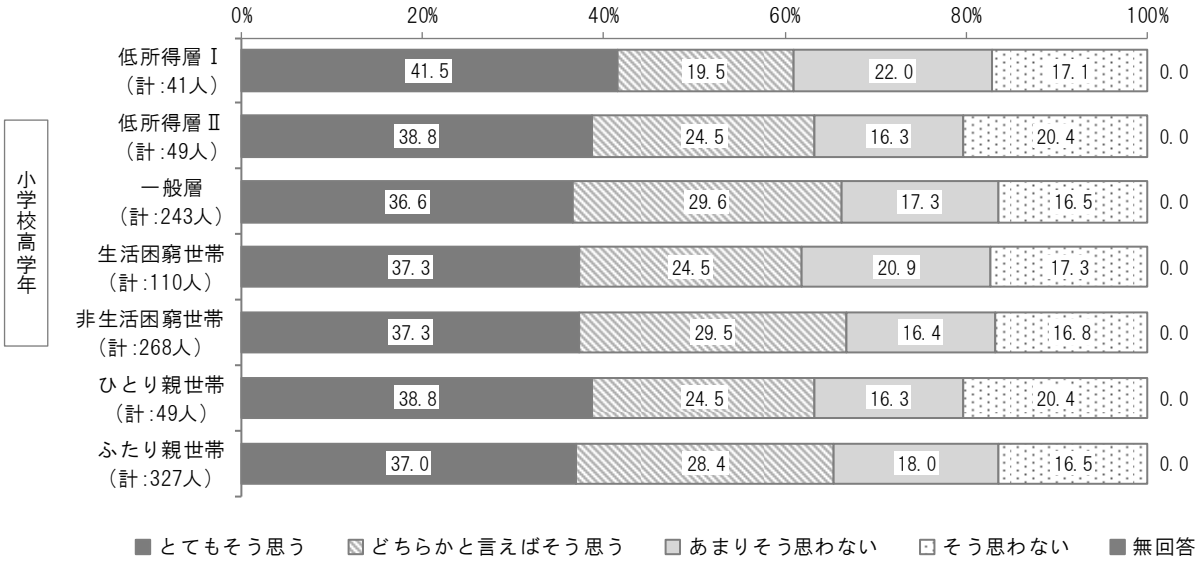

中学生
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
19.2
26.9
34.6
19.2
0.0
低所得層Ⅱ（計:35人）
22.9
20.0
22.9
34.3
0.0
一般層（計:119人）
25.2
28.6
26.1
20.2
0.0
生活困窮世帯（計:74人）
20.3
20.3
28.4
31.1
0.0
非生活困窮世帯（計:136人）
25.0
32.4
25.0
17.6
0.0
ひとり親世帯（計:28人）
21.4
21.4
28.6
28.6
0.0
ふたり親世帯（計:180人）
23.9
29.4
25.6
21.1
0.0
とてもそう思う
どちらかと言えばそう思う
あまりそう思わない
そう思わない
無回答

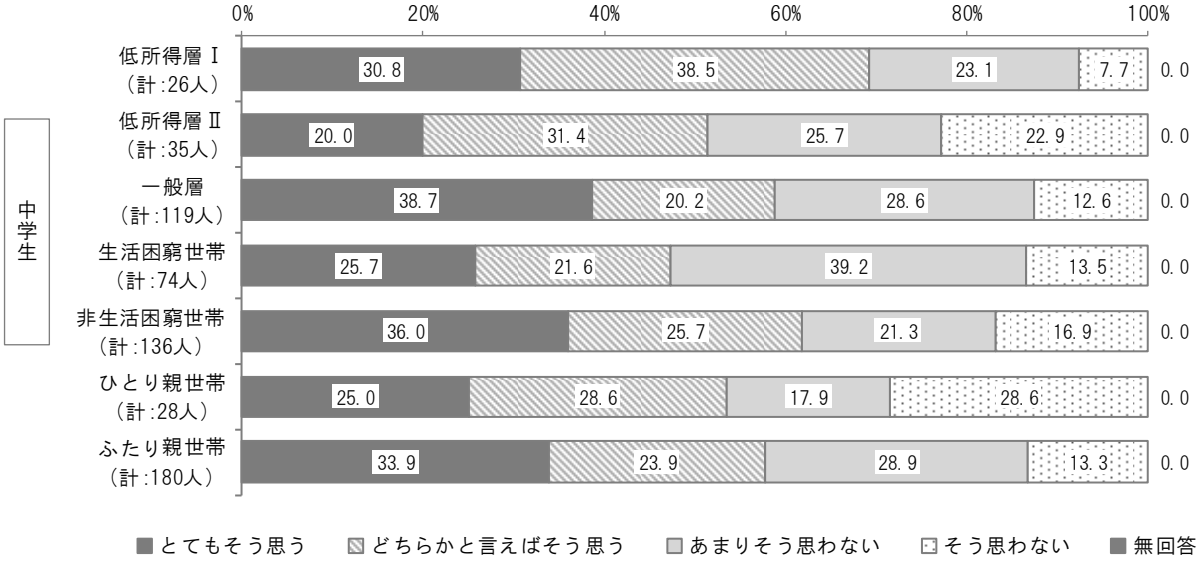
④孤独を（さみしいと）感じることはない

- ◆ 「孤独を(さみしいと)感じることはない」について、小中学生全体では「とてもそう思う」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、35.3%となっています。次いで、「どちらかと言えばそう思う」(25.5%)、「あまりそう思わない」(21.4%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「とてもそう思う」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「そう思う（「とてもそう思う」＋「どちらかと言えばそう思う」)」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「とてもそう思う」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「そう思う（「とてもそう思う」＋「どちらかと言えばそう思う」)」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、低所得層Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「そう思う（「とてもそう思う」＋「どちらかと言えばそう思う」)」と回答した生徒の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。




小学校低学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:48人）
33.3
31.3
20.8
14.6
0.0
低所得層Ⅱ（計:59人）
44.1
16.9
22.0
16.9
0.0
一般層（計:262人）
42.7
21.8
15.3
20.2
0.0
生活困窮世帯（計:123人）
30.9
29.3
21.1
18.7
0.0
非生活困窮世帯（計:290人）
44.8
22.1
14.8
18.3
0.0
ひとり親世帯（計:43人）
30.2
23.3
23.3
23.3
0.0
ふたり親世帯（計:370人）
41.9
24.3
15.9
17.8
0.0
とてもそう思う
どちらかと言えばそう思う
あまりそう思わない
そう思わない
無回答

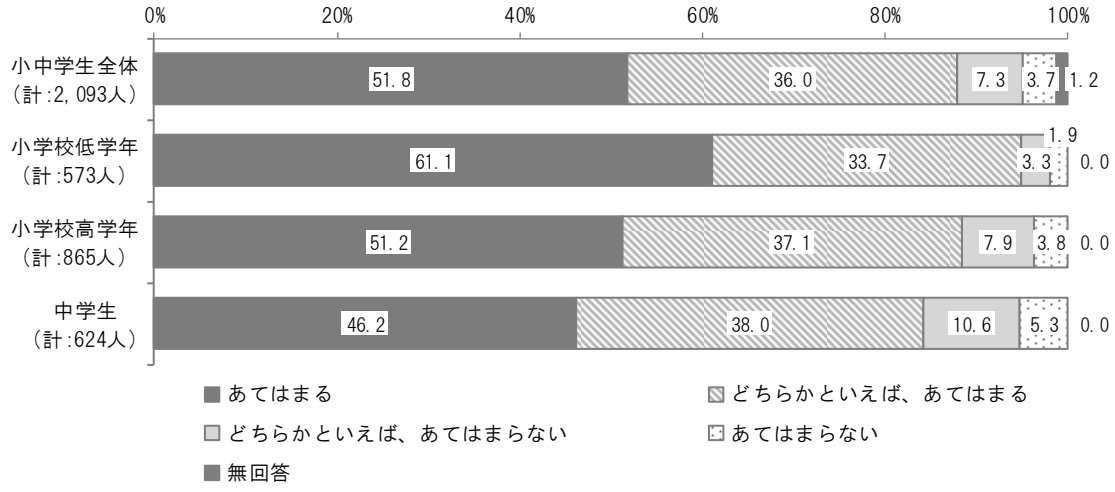

小学校高学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:41人）
41.5
19.5
22.0
17.1
0.0
低所得層Ⅱ（計:49人）
38.8
24.5
16.3
20.4
0.0
一般層（計:243人）
36.6
29.6
17.3
16.5
0.0
生活困窮世帯（計:110人）
37.3
24.5
20.9
17.3
0.0
非生活困窮世帯（計:268人）
37.3
29.5
16.4
16.8
0.0
ひとり親世帯（計:49人）
38.8
24.5
16.3
20.4
0.0
ふたり親世帯（計:327人）
37.0
28.4
18.0
16.5
0.0
とてもそう思う
どちらかと言えばそう思う
あまりそう思わない
そう思わない
無回答

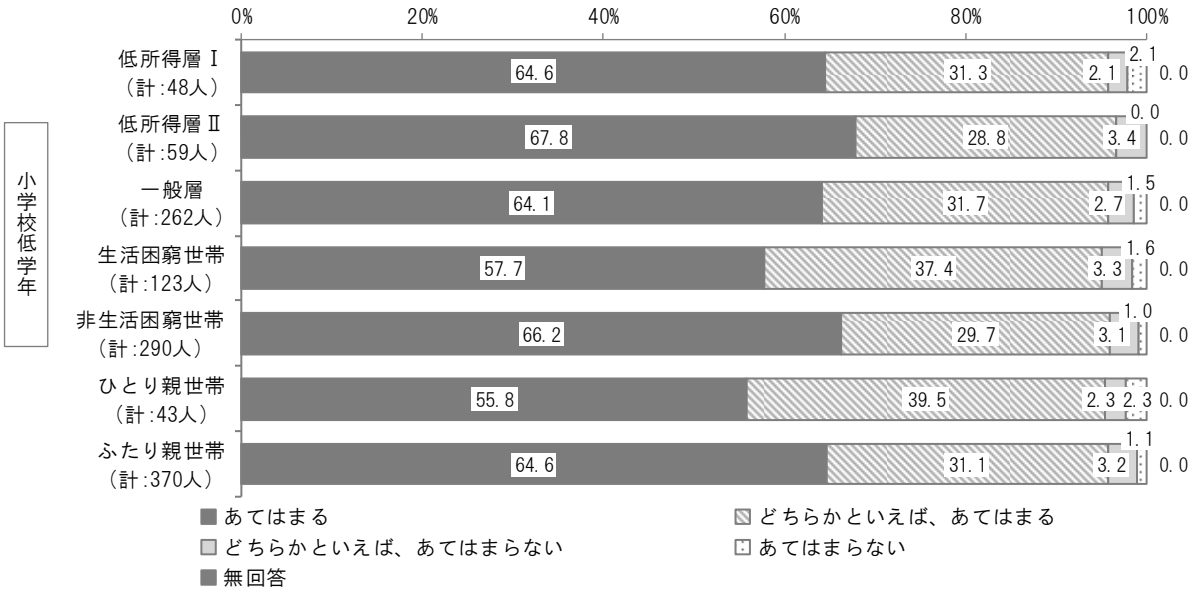

中学生
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
30.8
38.5
23.1
7.7
0.0
低所得層Ⅱ（計:35人）
20.0
31.4
25.7
22.9
0.0
一般層（計:119人）
38.7
20.2
28.6
12.6
0.0
生活困窮世帯（計:74人）
25.7
21.6
39.2
13.5
0.0
非生活困窮世帯（計:136人）
36.0
25.7
21.3
16.9
0.0
ひとり親世帯（計:28人）
25.0
28.6
17.9
28.6
0.0
ふたり親世帯（計:180人）
33.9
23.9
28.9
13.3
0.0
とてもそう思う
どちらかと言えばそう思う
あまりそう思わない
そう思わない
無回答

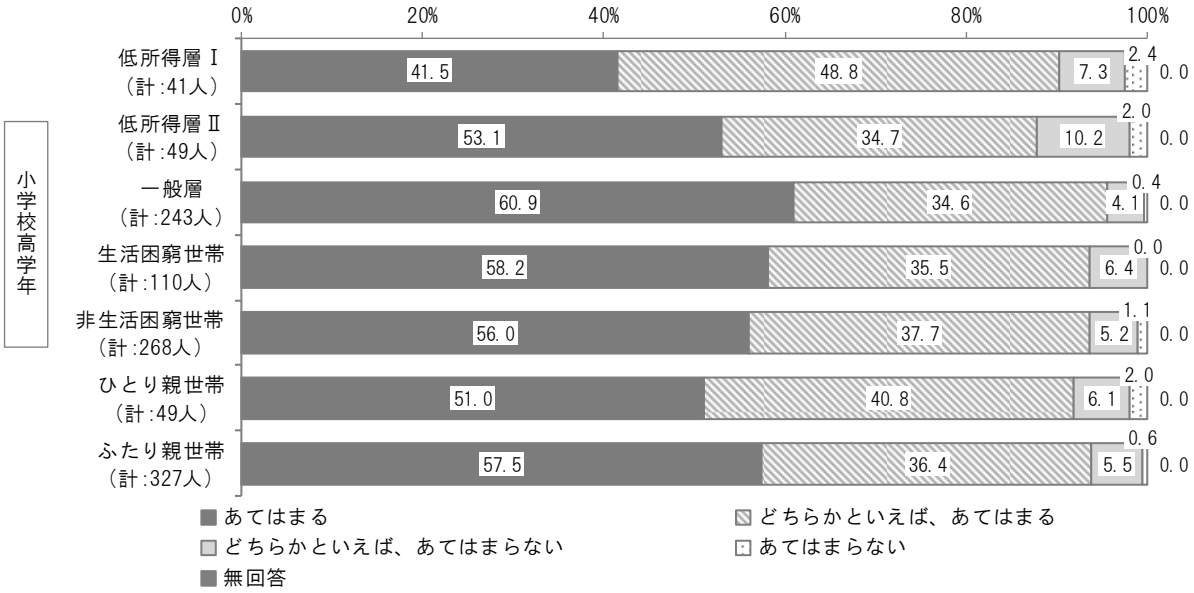
＜小学生・中学生票＞問 12　あなたは、次のことにどれくらいあてはまりますか。
（①と②について、あてはまるもの１つに○）

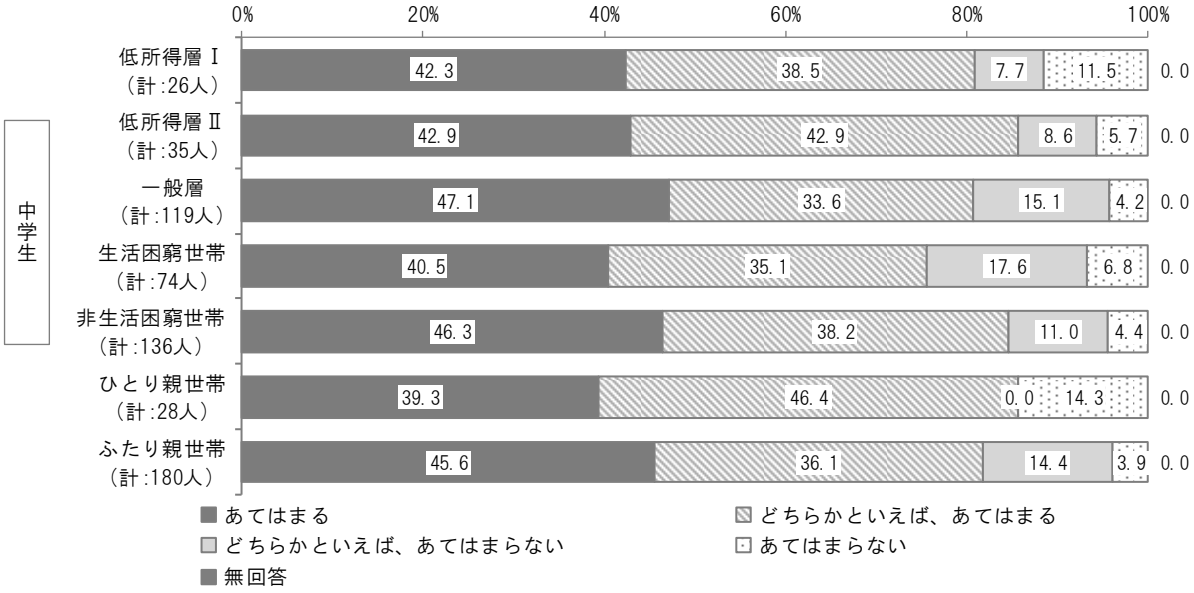
①自分には、よいところがあると思う

- ◆ あなたは、『自分には、よいところがあると思う』について、どれくらいあてはまりますかとたずねたところ、小中学生全体では「あてはまる」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、51.8%となっています。次いで、「どちらかといえば、あてはまる」（36.0%）、「どちらかといえば、あてはまらない」（7.3%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「あてはまる」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「あてはまる（「あてはまる」＋「どちらかといえば、あてはまる」）」と回答した児童の割合が非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、低所得層Ⅰを除き全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「あてはまる」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、ひとり親世帯で「あてはまる（「あてはまる」＋「どちらかといえば、あてはまる」）」と回答した児童の割合が一般層、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、ひとり親世帯を除き全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「あてはまる」と回答した生徒の割合が最も高くなっていますが、生活困窮世帯で「あてはまる（「あてはまる」＋「どちらかといえば、あてはまる」）」と回答した生徒の割合が非生活困窮世帯より低くなっています。



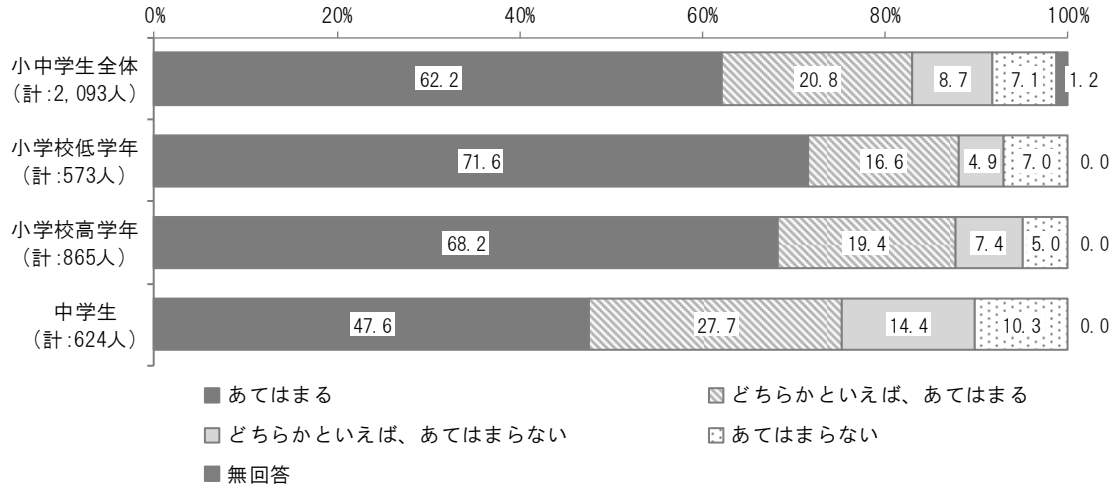

小学校低学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:48人）
64.6
31.3
2.1
2.1
0.0
低所得層Ⅱ（計:59人）
67.8
28.8
3.4
0.0
0.0
一般層（計:262人）
64.1
31.7
2.7
1.5
0.0
生活困窮世帯（計:123人）
57.7
37.4
3.3
1.6
0.0
非生活困窮世帯（計:290人）
66.2
29.7
3.1
1.0
0.0
ひとり親世帯（計:43人）
55.8
39.5
2.3
2.3
0.0
ふたり親世帯（計:370人）
64.6
31.1
3.2
1.1
0.0
あてはまる
どちらかといえば、あてはまる
どちらかといえば、あてはまらない
あてはまらない
無回答

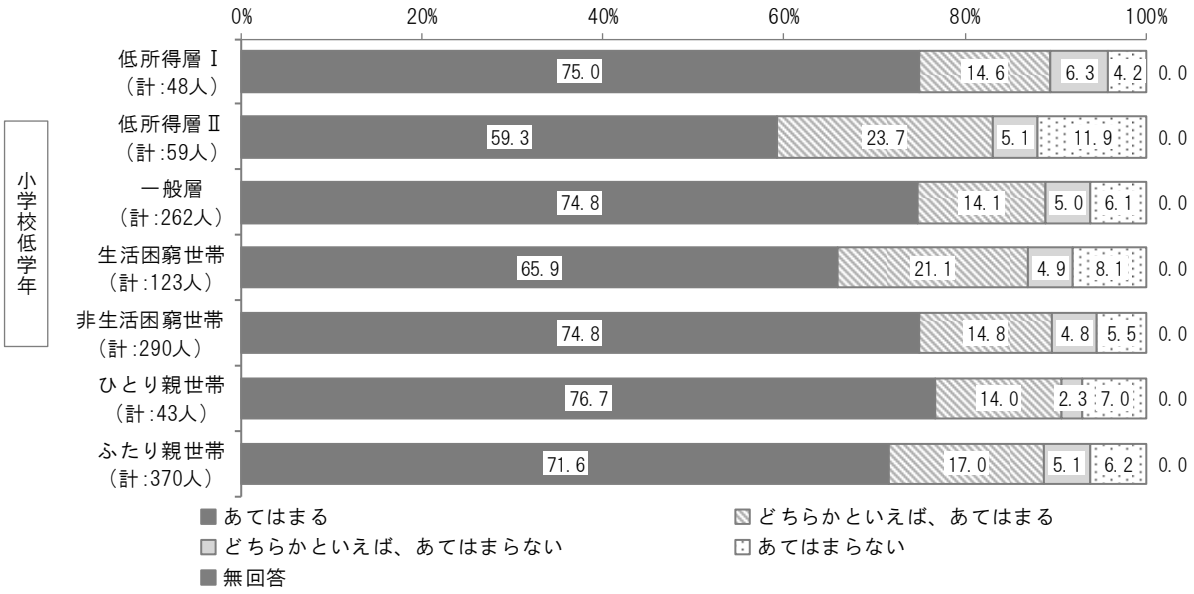

小学校高学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:41人）
41.5
48.8
7.3
2.4
0.0
低所得層Ⅱ（計:49人）
53.1
34.7
10.2
2.0
0.0
一般層（計:243人）
60.9
34.6
4.1
0.4
0.0
生活困窮世帯（計:110人）
58.2
35.5
6.4
0.0
0.0
非生活困窮世帯（計:268人）
56.0
37.7
5.2
1.1
0.0
ひとり親世帯（計:49人）
51.0
40.8
6.1
2.0
0.0
ふたり親世帯（計:327人）
57.5
36.4
5.5
0.6
0.0
あてはまる
どちらかといえば、あてはまる
どちらかといえば、あてはまらない
あてはまらない
無回答

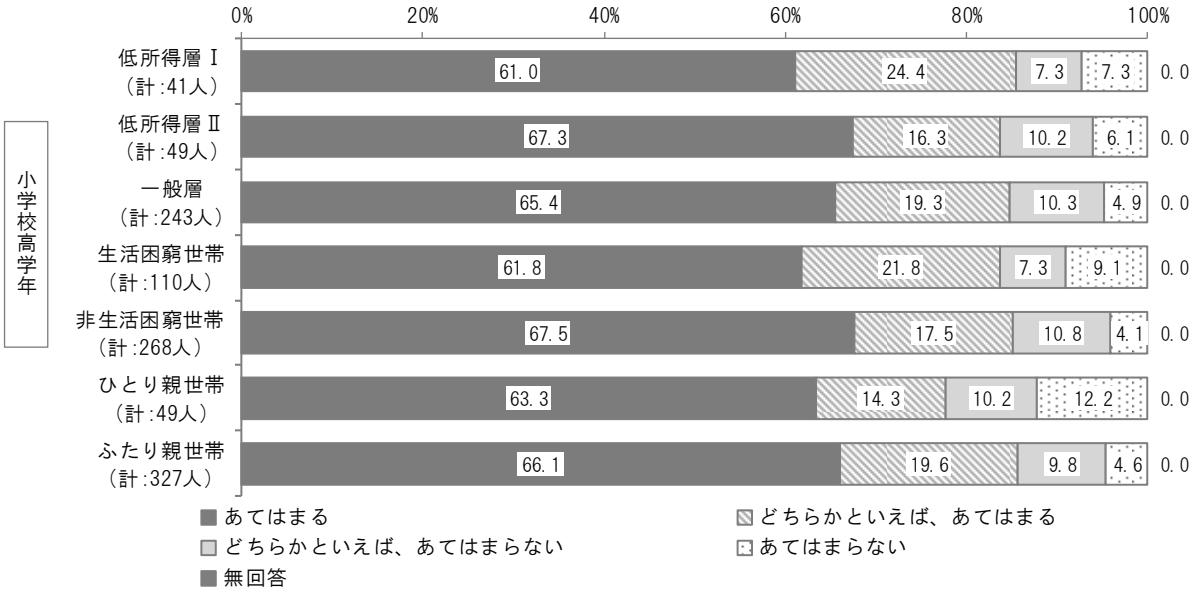

中学生
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
42.3
38.5
7.7
11.5
0.0
低所得層Ⅱ（計:35人）
42.9
42.9
8.6
5.7
0.0
一般層（計:119人）
47.1
33.6
15.1
4.2
0.0
生活困窮世帯（計:74人）
40.5
35.1
17.6
6.8
0.0
非生活困窮世帯（計:136人）
46.3
38.2
11.0
4.4
0.0
ひとり親世帯（計:28人）
39.3
46.4
0.0
14.3
0.0
ふたり親世帯（計:180人）
45.6
36.1
14.4
3.9
0.0
あてはまる
どちらかといえば、あてはまる
どちらかといえば、あてはまらない
あてはまらない
無回答

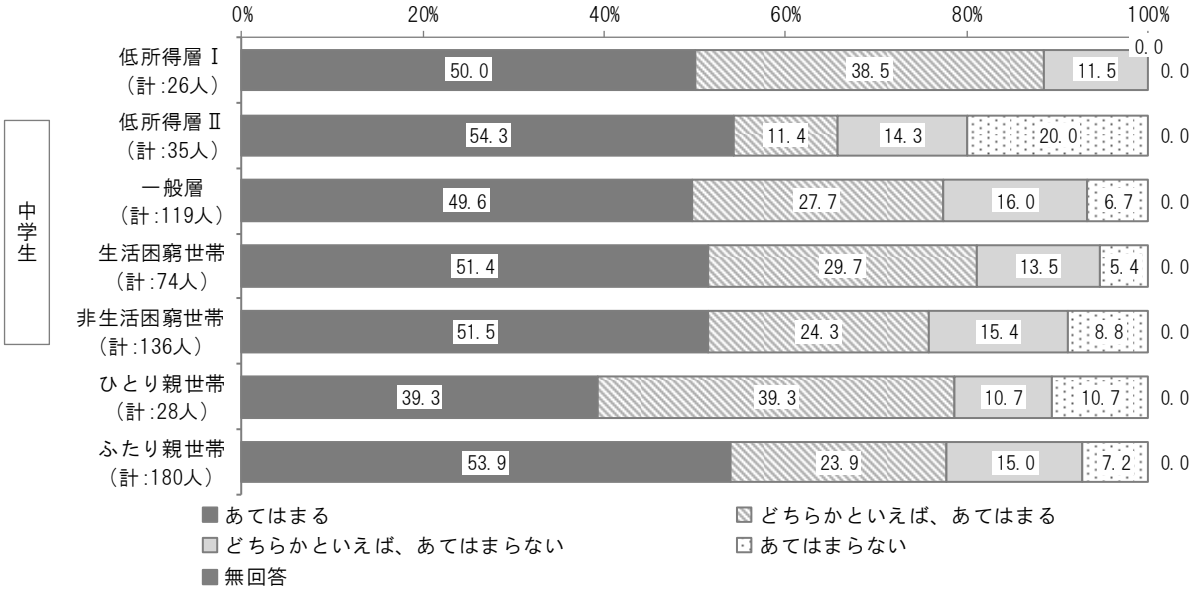
②将来の夢や目標を持っている

- ◆ 『将来の夢や目標を持っている』について、どれくらいあてはまりますかとたずねたところ、小中学生全体では「あてはまる」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、62.2%となっています。次いで、「どちらかといえば、あてはまる」(20.8%)、「どちらかといえば、あてはまらない」(8.7%)となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「あてはまる」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅱ、生活困窮世帯で「あてはまる(「あてはまる」+「どちらかといえば、あてはまる」)」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「あてはまる」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「あてはまる(「あてはまる」+「どちらかといえば、あてはまる」)」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「あてはまる」と回答した生徒の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「あてはまる(「あてはまる」+「どちらかといえば、あてはまる」)」と回答した生徒の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より高い傾向があります。




小学校低学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:48人）
75.0
14.6
6.3
4.2
0.0
低所得層Ⅱ（計:59人）
59.3
23.7
5.1
11.9
0.0
一般層（計:262人）
74.8
14.1
5.0
6.1
0.0
生活困窮世帯（計:123人）
65.9
21.1
4.9
8.1
0.0
非生活困窮世帯（計:290人）
74.8
14.8
4.8
5.5
0.0
ひとり親世帯（計:43人）
76.7
14.0
2.3
7.0
0.0
ふたり親世帯（計:370人）
71.6
17.0
5.1
6.2
0.0
あてはまる
どちらかといえば、あてはまる
どちらかといえば、あてはまらない
あてはまらない
無回答


小学校高学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:41人）
61.0
24.4
7.3
7.3
0.0
低所得層Ⅱ（計:49人）
67.3
16.3
10.2
6.1
0.0
一般層（計:243人）
65.4
19.3
10.3
4.9
0.0
生活困窮世帯（計:110人）
61.8
21.8
7.3
9.1
0.0
非生活困窮世帯（計:268人）
67.5
17.5
10.8
4.1
0.0
ひとり親世帯（計:49人）
63.3
14.3
10.2
12.2
0.0
ふたり親世帯（計:327人）
66.1
19.6
9.8
4.6
0.0
あてはまる
どちらかといえば、あてはまる
どちらかといえば、あてはまらない
あてはまらない
無回答

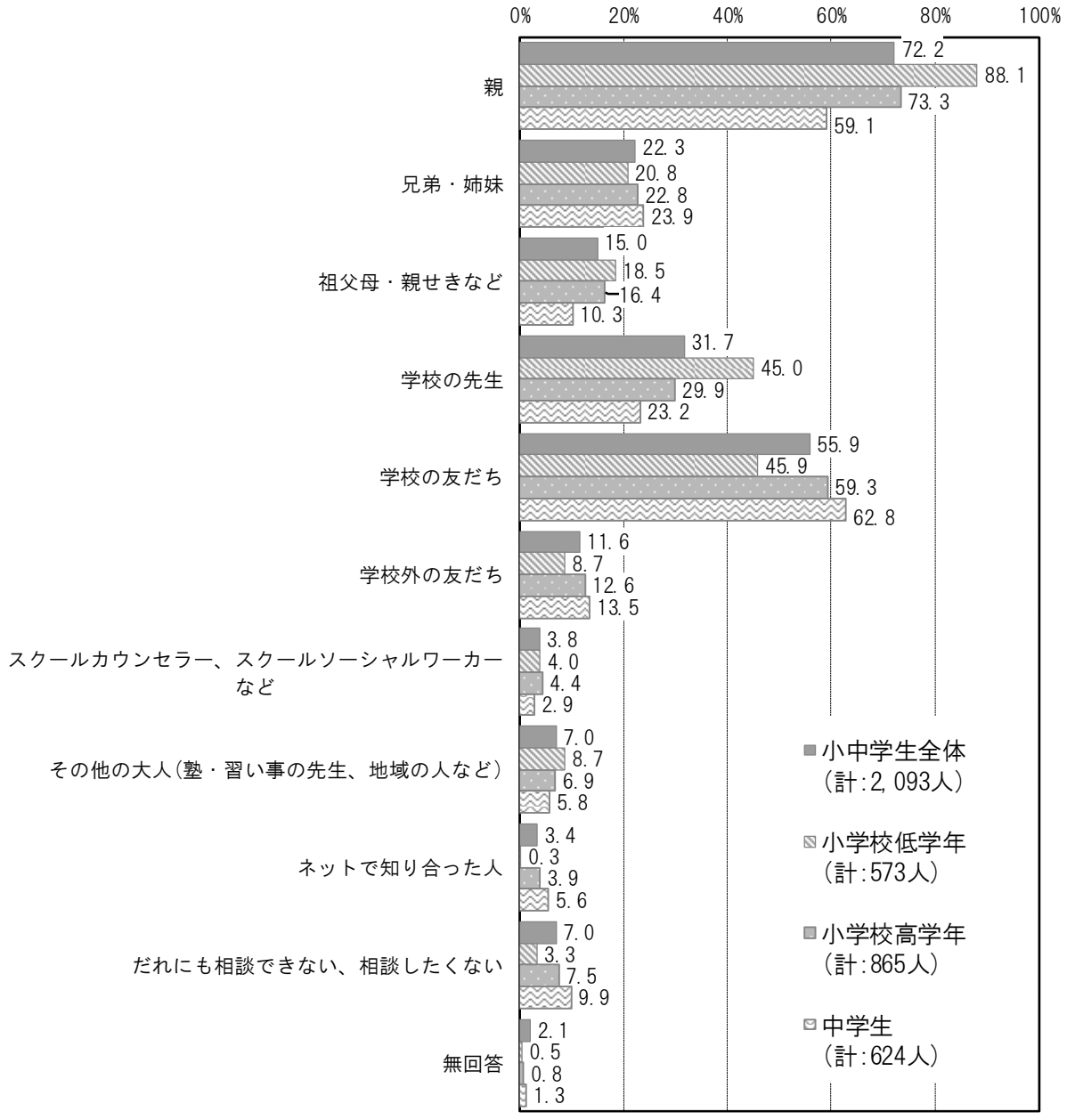

中学生
0%
20%
40%
60%
80%
100%
0.0
低所得層Ⅰ（計:26人）
50.0
38.5
11.5
0.0
低所得層Ⅱ（計:35人）
54.3
11.4
14.3
20.0
0.0
一般層（計:119人）
49.6
27.7
16.0
6.7
0.0
生活困窮世帯（計:74人）
51.4
29.7
13.5
5.4
0.0
非生活困窮世帯（計:136人）
51.5
24.3
15.4
8.8
0.0
ひとり親世帯（計:28人）
39.3
39.3
10.7
10.7
0.0
ふたり親世帯（計:180人）
53.9
23.9
15.0
7.2
0.0
あてはまる
どちらかといえば、あてはまる
どちらかといえば、あてはまらない
あてはまらない
無回答

（5）相談相手

a）困っていることや悩みごとがあるとき、相談できると思う人

＜小学生・中学生票＞問 13　あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。（あてはまるものすべてに○）

- ◆ 困っていることや悩みごとがあるとき、相談できると思う人はだれですかとたずねたところ、小中学生全体では「親」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、72.2%となっています。次いで、「学校の友だち」（55.9%）、「学校の先生」（31.7%）となっています。
- ◆ 小学校低学年・高学年、中学生では、困窮分類に関わらず全体同様の傾向となっています。



	(%)	親	兄弟・姉妹	祖父母・親せきなど	学校の先生	学校の友だち	学校外の友だち	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど	その他の大人(塾・習い事の先生、地域の人など)	ネットで知り合った人	だれにも相談できない、相談したくない	無回答
小学校低学年	低所得層Ⅰ(計:48人)	85.4	22.9	22.9	39.6	54.2	4.2	2.1	4.2	0.0	4.2	2.1
	低所得層Ⅱ(計:59人)	91.5	16.9	23.7	37.3	37.3	5.1	6.8	3.4	0.0	0.0	0.0
	一般層(計:262人)	89.7	22.1	18.7	46.6	46.6	10.3	3.8	11.5	0.0	3.1	0.8
	生活困窮世帯(計:123人)	86.2	18.7	19.5	41.5	40.7	5.7	5.7	4.1	0.0	4.1	1.6
	非生活困窮世帯(計:290人)	90.7	22.8	20.7	47.6	49.3	10.3	3.8	10.7	0.0	2.4	0.3
	ひとり親世帯(計:43人)	90.7	14.0	25.6	48.8	51.2	2.3	11.6	9.3	0.0	0.0	2.3
	ふたり親世帯(計:370人)	89.2	22.4	19.7	45.4	46.2	9.7	3.5	8.6	0.0	3.2	0.5

	(%)	親	兄弟・姉妹	祖父母・親せきなど	学校の先生	学校の友だち	学校外の友だち	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど	その他の大人(塾・習い事の先生、地域の人など)	ネットで知り合った人	だれにも相談できない、相談したくない	無回答
小学校高学年	低所得層Ⅰ(計:41人)	73.2	24.4	7.3	17.1	43.9	12.2	4.9	4.9	4.9	9.8	2.4
	低所得層Ⅱ(計:49人)	79.6	30.6	22.4	40.8	65.3	14.3	2.0	4.1	2.0	6.1	0.0
	一般層(計:243人)	81.1	20.2	16.5	33.7	58.4	10.7	4.1	5.3	2.9	4.5	0.0
	生活困窮世帯(計:110人)	73.6	20.9	11.8	22.7	58.2	9.1	2.7	4.5	2.7	6.4	1.8
	非生活困窮世帯(計:268人)	82.1	23.5	17.9	36.9	58.6	11.6	4.5	6.7	3.0	4.5	0.4
	ひとり親世帯(計:49人)	77.6	22.4	16.3	22.4	59.2	16.3	8.2	6.1	4.1	4.1	0.0
	ふたり親世帯(計:327人)	80.1	22.6	16.2	34.6	58.4	9.8	3.4	6.1	2.8	5.2	0.9

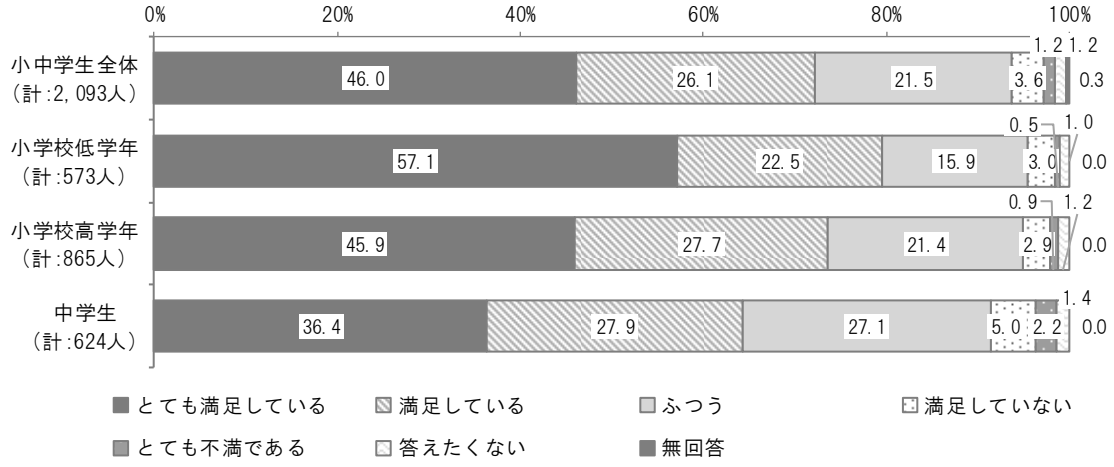
	(%)	親	兄弟・姉妹	祖父母・親せきなど	学校の先生	学校の友だち	学校外の友だち	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど	その他の大人(塾・習い事の先生、地域の人など)	ネットで知り合った人	だれにも相談できない、相談したくない	無回答
中学生	低所得層Ⅰ(計:26人)	69.2	23.1	23.1	30.8	57.7	0.0	0.0	3.8	0.0	11.5	0.0
	低所得層Ⅱ(計:35人)	40.0	25.7	8.6	22.9	48.6	14.3	2.9	2.9	2.9	20.0	2.9
	一般層(計:119人)	65.5	22.7	10.1	26.9	68.1	14.3	5.0	6.7	6.7	6.7	0.8
	生活困窮世帯(計:74人)	58.1	31.1	12.2	28.4	55.4	10.8	8.1	4.1	6.8	13.5	2.7
	非生活困窮世帯(計:136人)	62.5	19.1	11.0	26.5	65.4	11.8	2.2	5.9	3.7	8.8	0.7
	ひとり親世帯(計:28人)	60.7	21.4	17.9	25.0	46.4	10.7	7.1	3.6	3.6	17.9	0.0
	ふたり親世帯(計:180人)	61.7	23.9	10.6	27.8	64.4	11.7	3.9	5.6	5.0	8.9	1.7

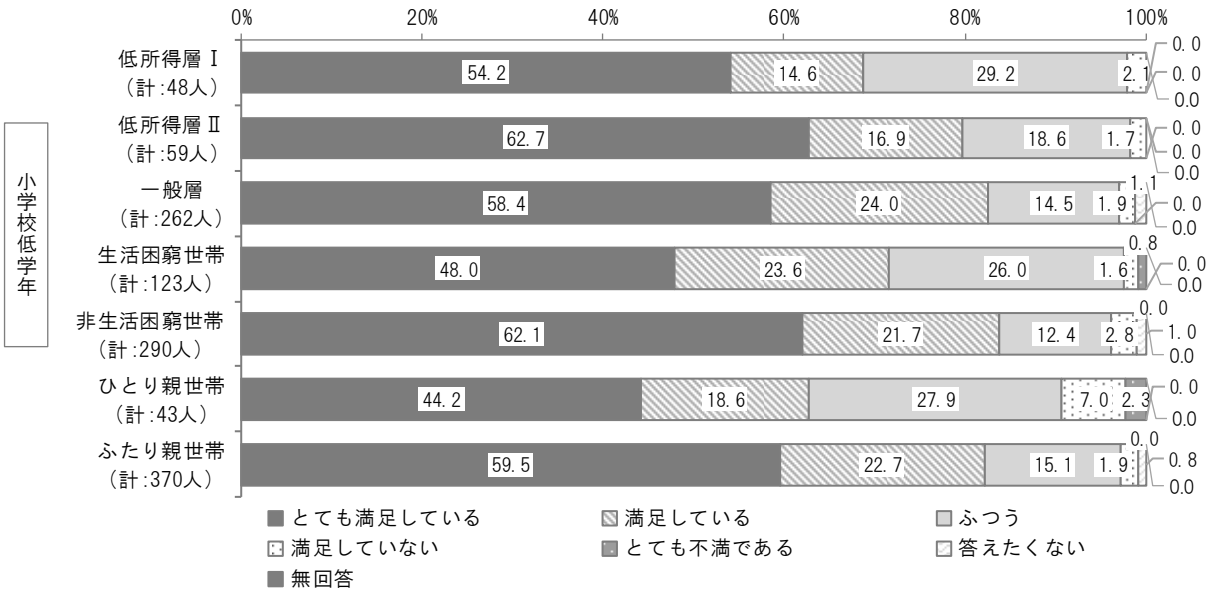
（6）暮らしの満足度

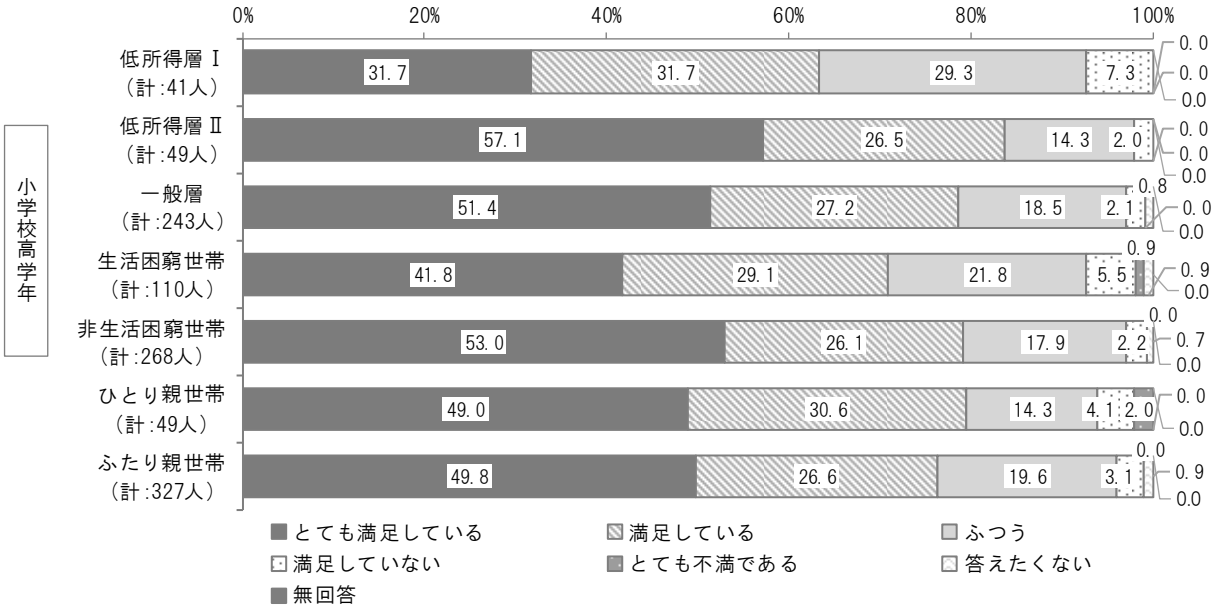
a）現在の生活の満足度

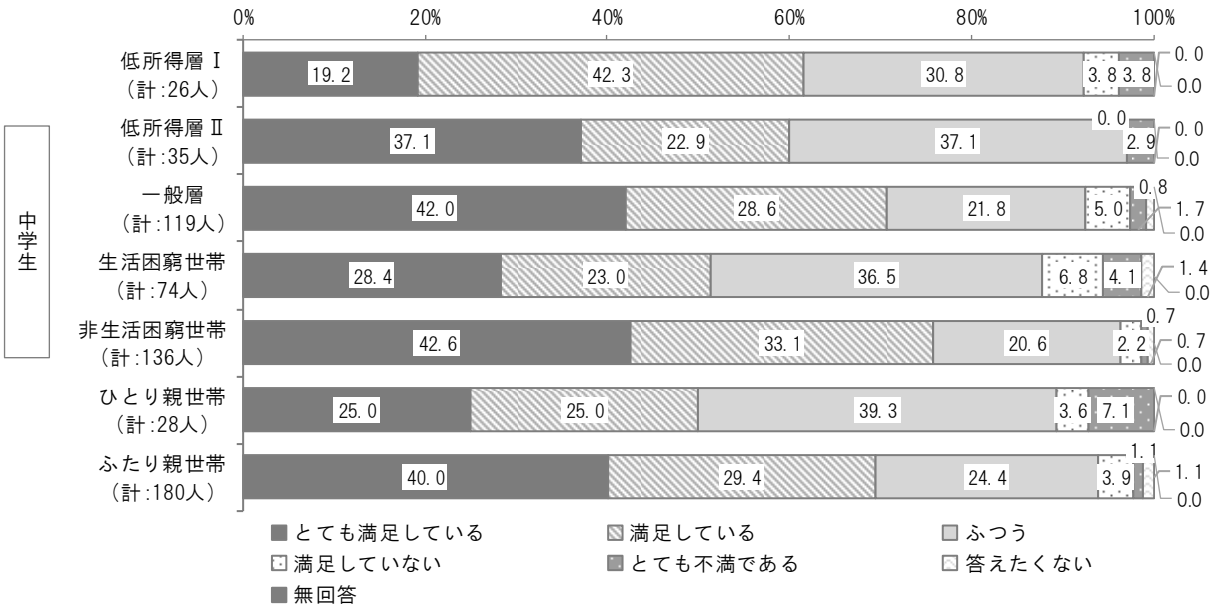
＜小学生・中学生票＞問 18　あなたは現在の生活に満足していますか。（1 つに○）

- ◆ 現在の生活に満足していますかとたずねたところ、小中学生全体では「とても満足している」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、46.0%となっています。次いで、「満足している」（26.1%）、「ふつう」（21.5%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「とても満足している」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「満足している（「とても満足している」＋「満足している」）」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「とても満足している」と回答した児童の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ、生活困窮世帯で「満足している（「とても満足している」＋「満足している」）」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「満足している（「とても満足している」＋「満足している」）」と回答した生徒の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。




小学校低学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:48人）
54.2
14.6
29.2
2.1
0.0
0.0
0.0
低所得層Ⅱ（計:59人）
62.7
16.9
18.6
1.7
0.0
0.0
0.0
一般層（計:262人）
58.4
24.0
14.5
1.9
1.1
0.0
0.0
生活困窮世帯（計:123人）
48.0
23.6
26.0
1.6
0.8
0.0
0.0
非生活困窮世帯（計:290人）
62.1
21.7
12.4
2.8
0.0
1.0
0.0
ひとり親世帯（計:43人）
44.2
18.6
27.9
7.0
2.3
0.0
0.0
ふたり親世帯（計:370人）
59.5
22.7
15.1
1.9
0.0
0.8
0.0
とても満足している
満足している
ふつう
満足していない
とても不満である
答えたくない
無回答


小学校高学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:41人）
31.7
31.7
29.3
7.3
0.0
0.0
0.0
低所得層Ⅱ（計:49人）
57.1
26.5
14.3
2.0
0.0
0.0
0.0
一般層（計:243人）
51.4
27.2
18.5
2.1
0.8
0.0
0.0
生活困窮世帯（計:110人）
41.8
29.1
21.8
5.5
0.9
0.9
0.0
非生活困窮世帯（計:268人）
53.0
26.1
17.9
2.2
0.0
0.7
0.0
ひとり親世帯（計:49人）
49.0
30.6
14.3
4.1
2.0
0.0
0.0
ふたり親世帯（計:327人）
49.8
26.6
19.6
3.1
0.0
0.9
0.0
とても満足している
満足している
ふつう
満足していない
とても不満である
答えたくない
無回答


中学生
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
19.2
42.3
30.8
3.8
3.8
0.0
0.0
低所得層Ⅱ（計:35人）
37.1
22.9
37.1
0.0
2.9
0.0
0.0
一般層（計:119人）
42.0
28.6
21.8
5.0
0.8
1.7
0.0
生活困窮世帯（計:74人）
28.4
23.0
36.5
6.8
4.1
1.4
0.0
非生活困窮世帯（計:136人）
42.6
33.1
20.6
2.2
0.7
0.7
0.0
ひとり親世帯（計:28人）
25.0
25.0
39.3
3.6
7.1
0.0
0.0
ふたり親世帯（計:180人）
40.0
29.4
24.4
3.9
1.1
1.1
0.0
とても満足している
満足している
ふつう
満足していない
とても不満である
答えたくない
無回答

5．ふだんの暮らし（保護者）

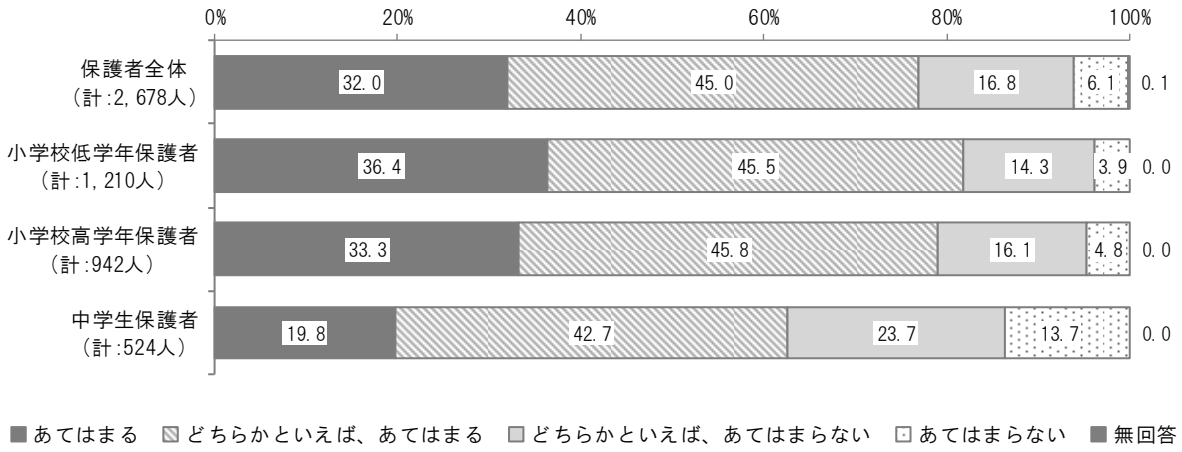
（1）子どもとの関わり

ａ）子どもとの関わりについて

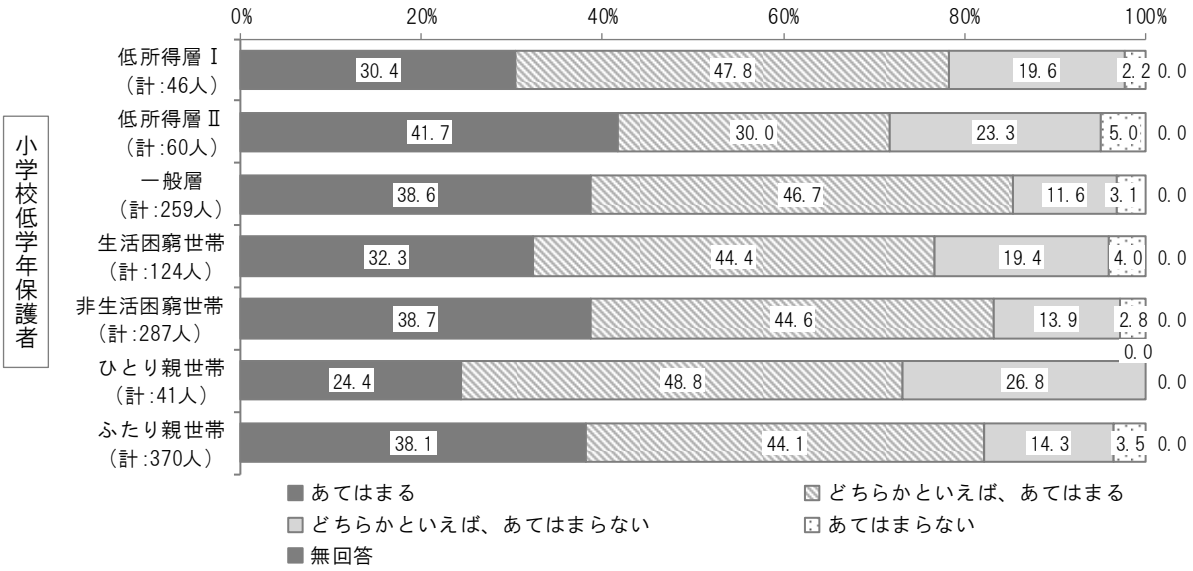
＜保護者票＞問 12　あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。（①～④それぞれについて、あてはまるもの１つに○）

①　テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている

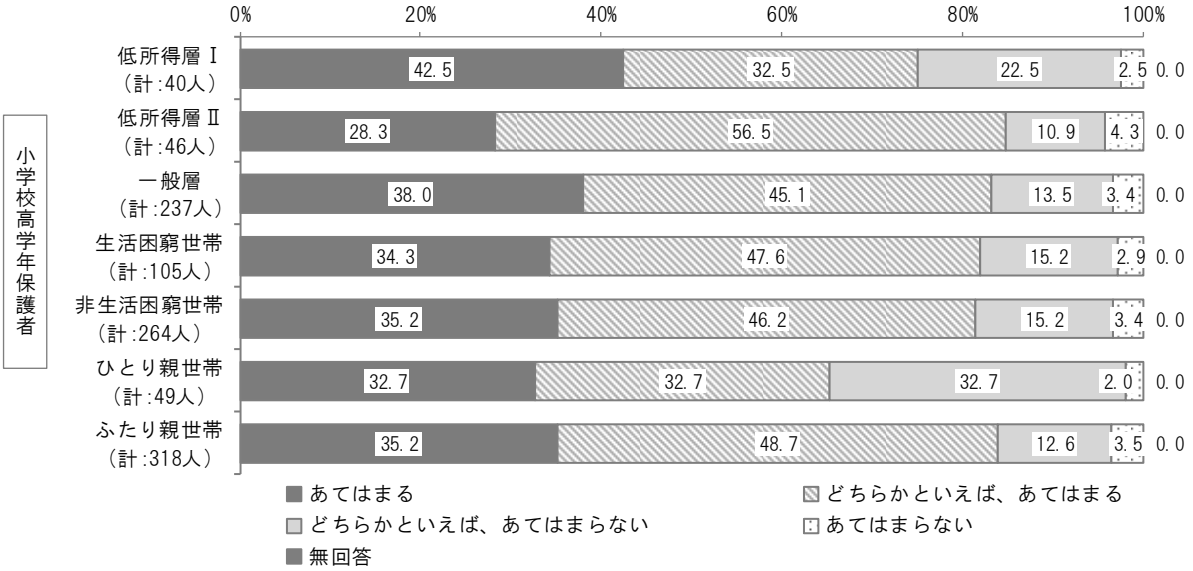
- ◆ お子さんの関わり方について、保護者全体ではテレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めているかとたずねたところ、「どちらかといえば、あてはまる」と回答した保護者の割合が最も高く、45.0%となっています。次いで、「あてはまる」（32.0%）、「どちらかといえば、あてはまらない」（16.8%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、低所得層Ⅱを除き全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「どちらかといえば、あてはまる」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「あてはまる（「あてはまる」＋「どちらかといえば、あてはまる」）」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、低所得層Ⅱを除き全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「どちらかといえば、あてはまる」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ、ひとり親世帯で「あてはまる（「あてはまる」＋「どちらかといえば、あてはまる」）」と回答した保護者の割合が一般層、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「どちらかといえば、あてはまる」と回答した生徒の保護者が高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「あてはまる（「あてはまる」＋「どちらかといえば、あてはまる」）」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



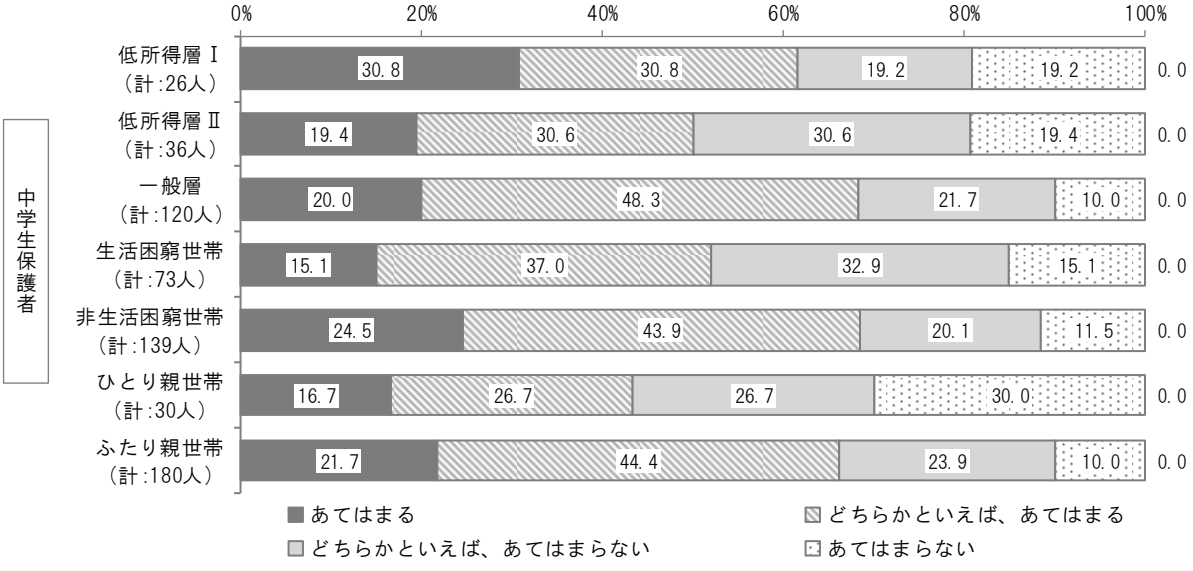
小学校低学年保護者



小学校高学年保護者

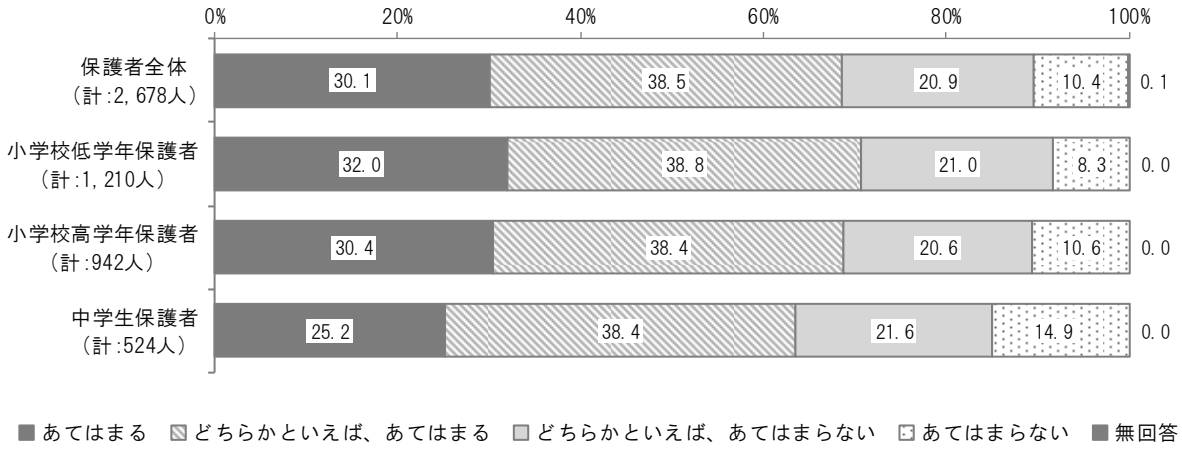


中学生保護者

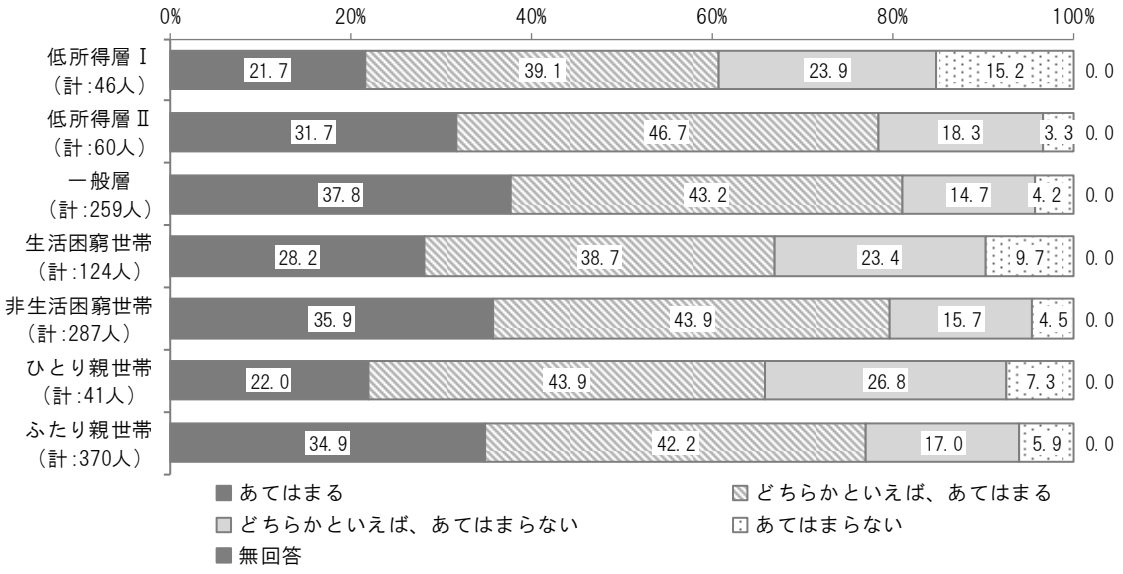


② お子さんに本や新聞を読むように勧めている

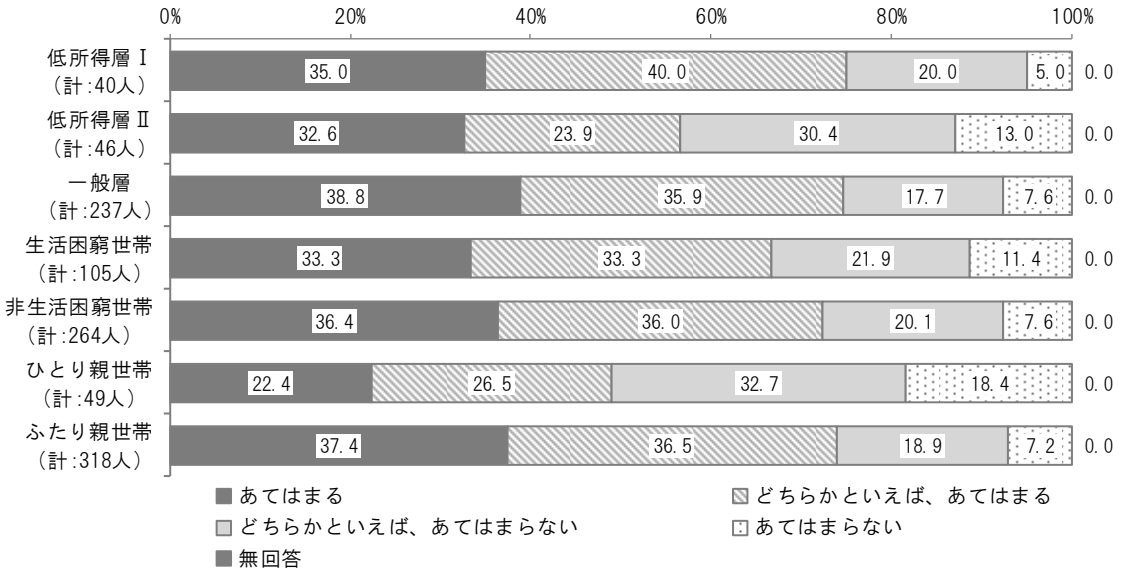
- ◆ お子さんに本や新聞を読むように勧めているかとたずねたところ、保護者全体では「どちらかといえば、あてはまる」と回答した保護者の割合が最も高く、38.5%となっています。次いで、「あてはまる」(30.1%)、「どちらかといえば、あてはまらない」(20.9%)となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「どちらかといえば、あてはまる」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「あてはまる(「あてはまる」+「どちらかといえば、あてはまる」)」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、低所得層Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「あてはまる(「あてはまる」+「どちらかといえば、あてはまる」)」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「どちらかといえば、あてはまる」と回答した保護者の割合が高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯で「あてはまる(「あてはまる」+「どちらかといえば、あてはまる」)」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯より低くなっています。



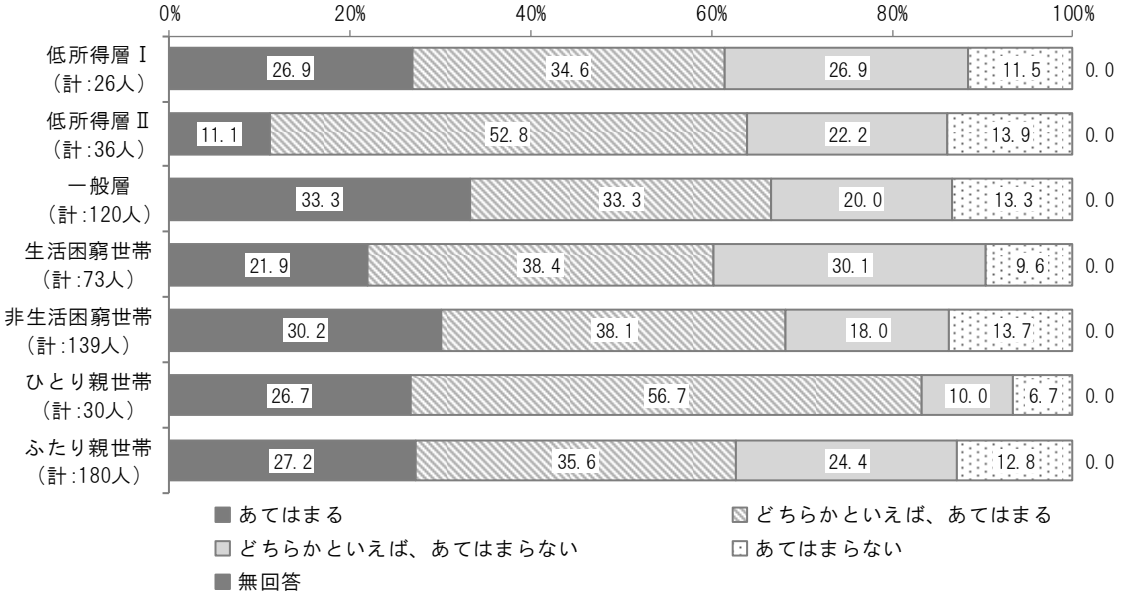
小学校低学年保護者



小学校高学年保護者

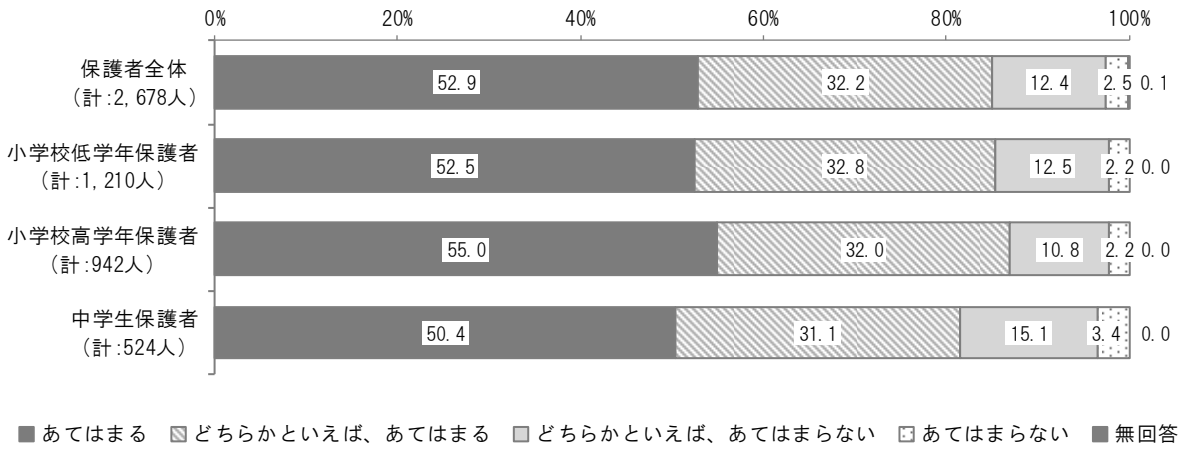


中学生保護者

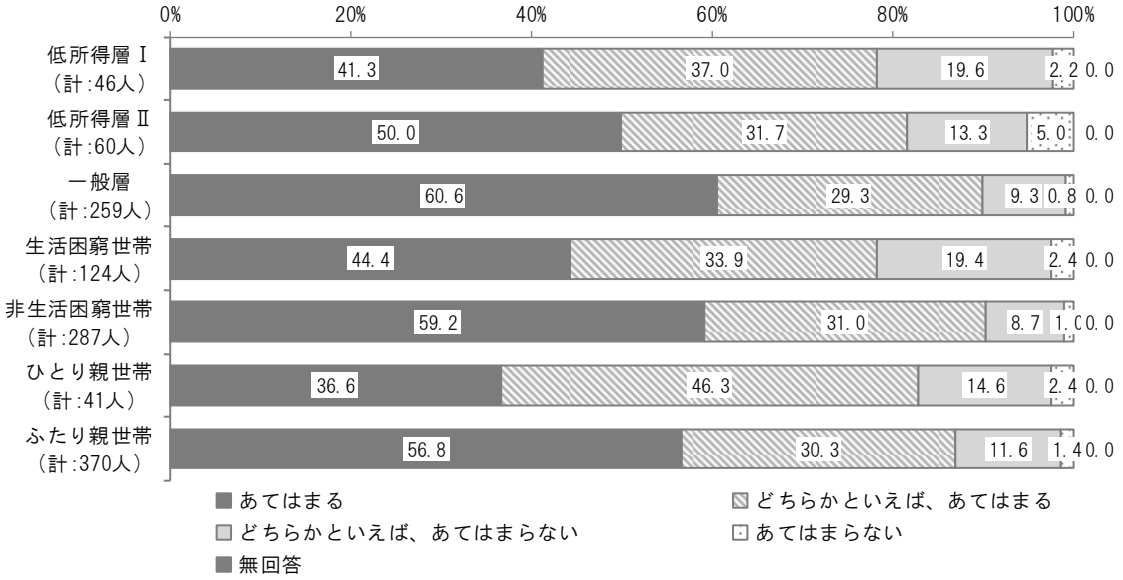


③お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた

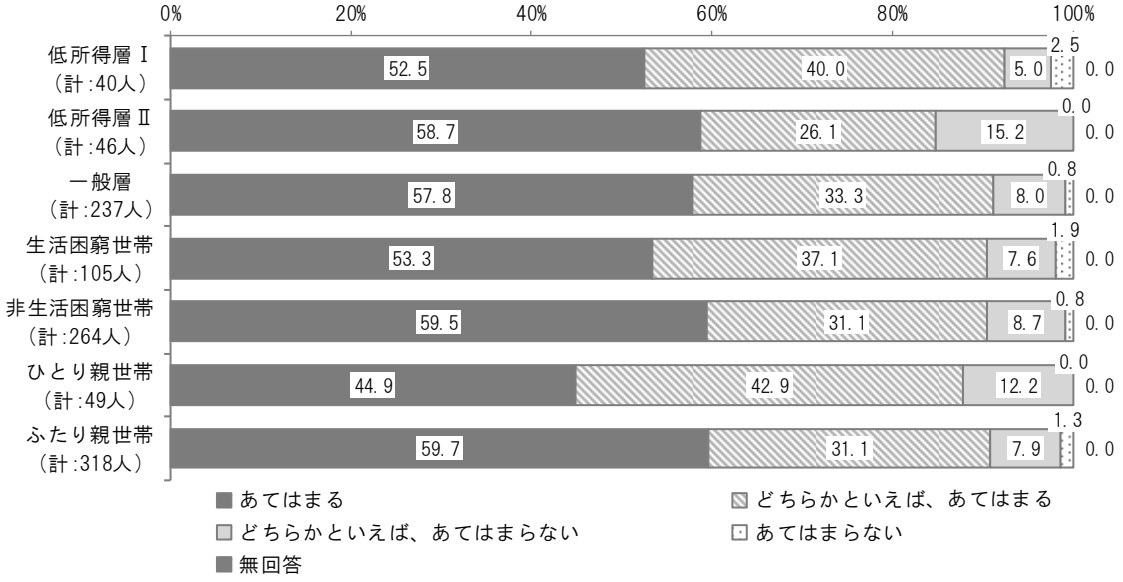
- ◆ お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていたかとたずねたところ、保護者全体では「あてはまる」と回答した保護者の割合が最も高く、52.9%となっています。次いで、「どちらかといえば、あてはまる」（32.2%）、「どちらかといえば、あてはまらない」（12.4%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、ひとり親世帯を除き全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「あてはまる」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「あてはまる（「あてはまる」＋「どちらかといえば、あてはまる」）」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「あてはまる」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「あてはまる（「あてはまる」＋「どちらかといえば、あてはまる」）」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低い傾向があります。
- ◆ 中学生では、低所得層Ⅰを除き全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「あてはまる」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、ひとり親世帯で「あてはまる（「あてはまる」＋「どちらかといえば、あてはまる」）」と回答した保護者の割合が一般層、ふたり親世帯より低い傾向があります。



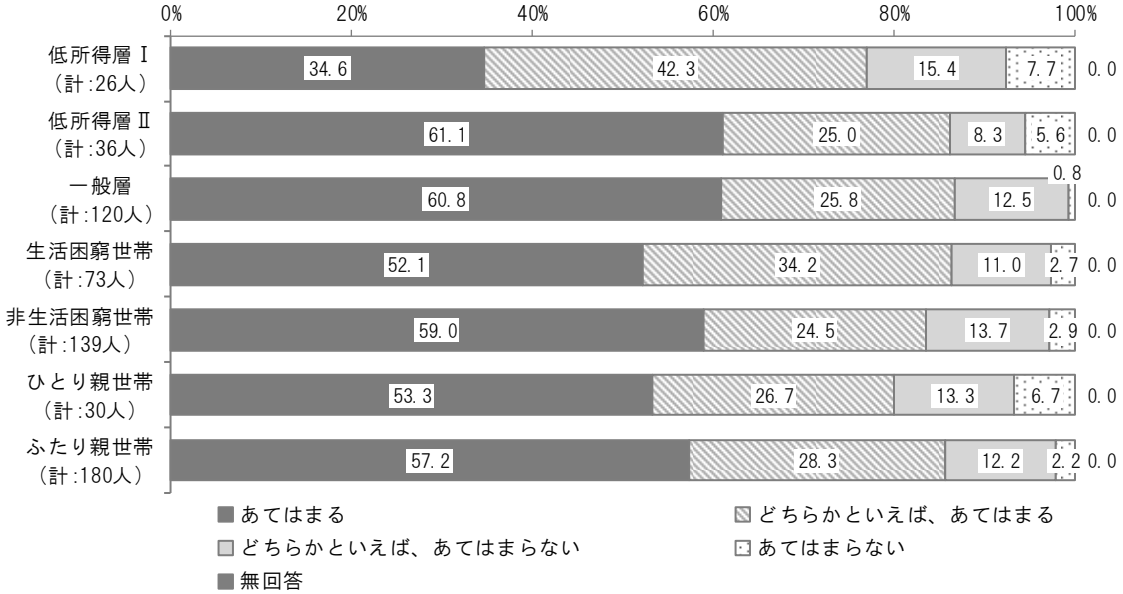
小学校低学年保護者



小学校高学年保護者

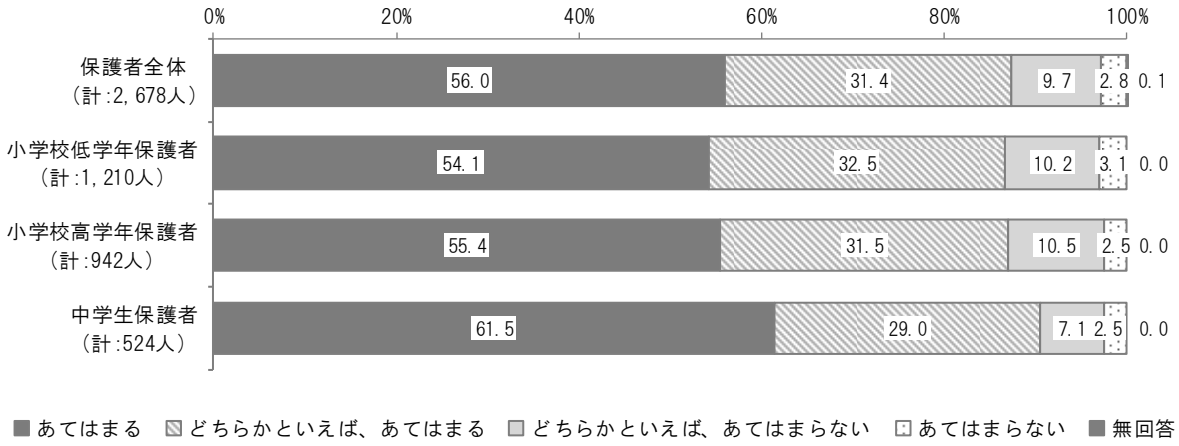


中学生保護者

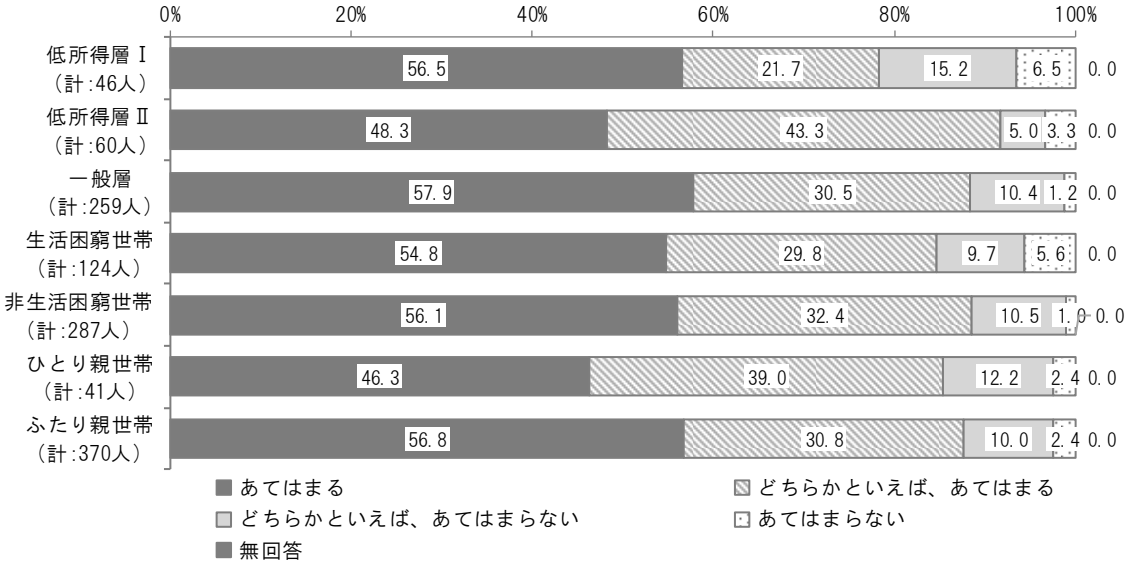


④お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる

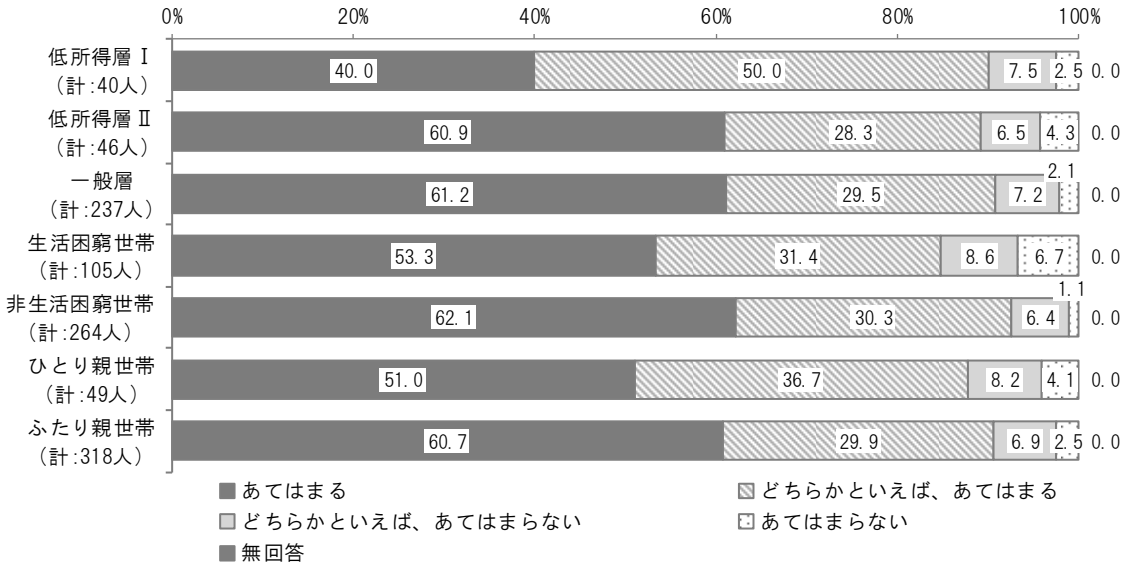
- ◆ お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれるかとたずねたところ、保護者全体では「あてはまる」と回答した保護者の割合が最も高く、56.0%となっています。次いで、「どちらかといえば、あてはまる」（31.4%）、「どちらかといえば、あてはまらない」（9.7%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「あてはまる」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「あてはまる（「あてはまる」＋「どちらかといえば、あてはまる」）」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、低所得層Ⅰを除き全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「あてはまる」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「あてはまる（「あてはまる」＋「どちらかといえば、あてはまる」）」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低い傾向があります。
- ◆ 中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「あてはまる」と回答した保護者の割合が高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、ひとり親世帯で「あてはまる（「あてはまる」＋「どちらかといえば、あてはまる」）」と回答した保護者の割合が一般層、ふたり親世帯より低い傾向があります。



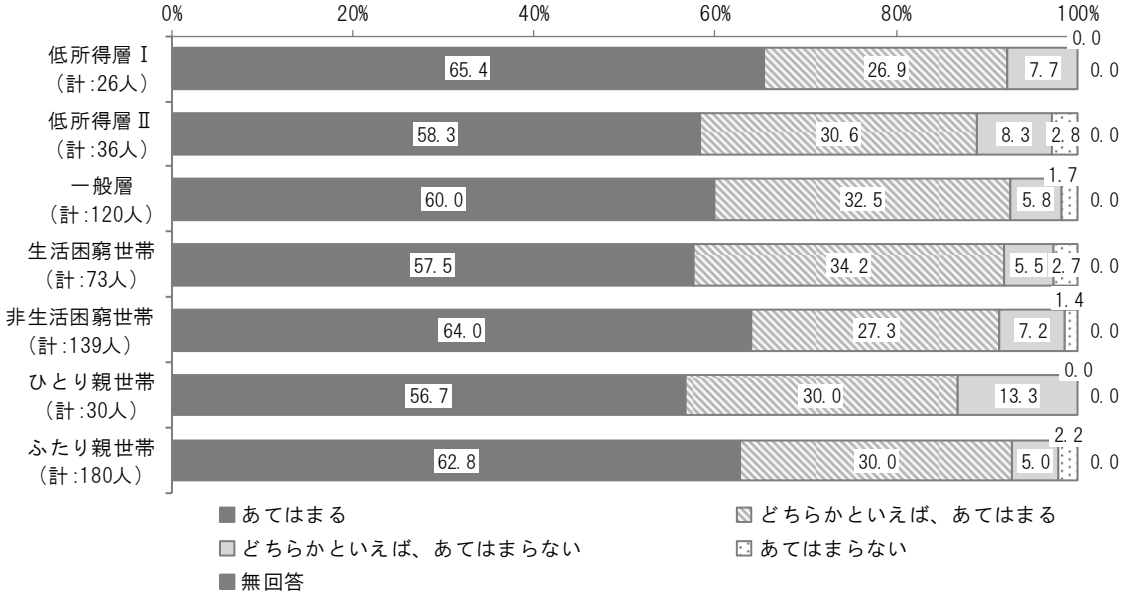
小学校低学年保護者



小学校高学年保護者



中学生保護者

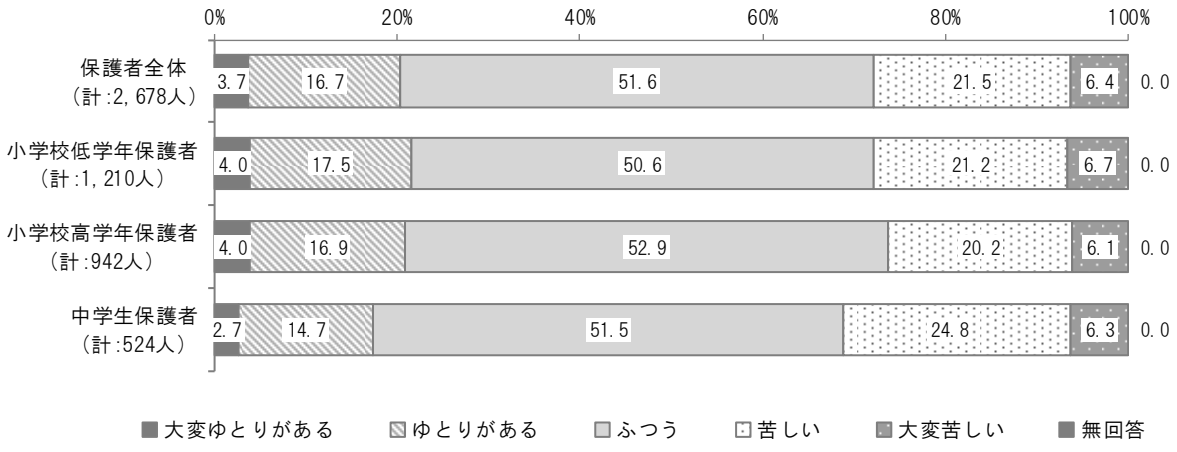


（2）暮らしの満足度

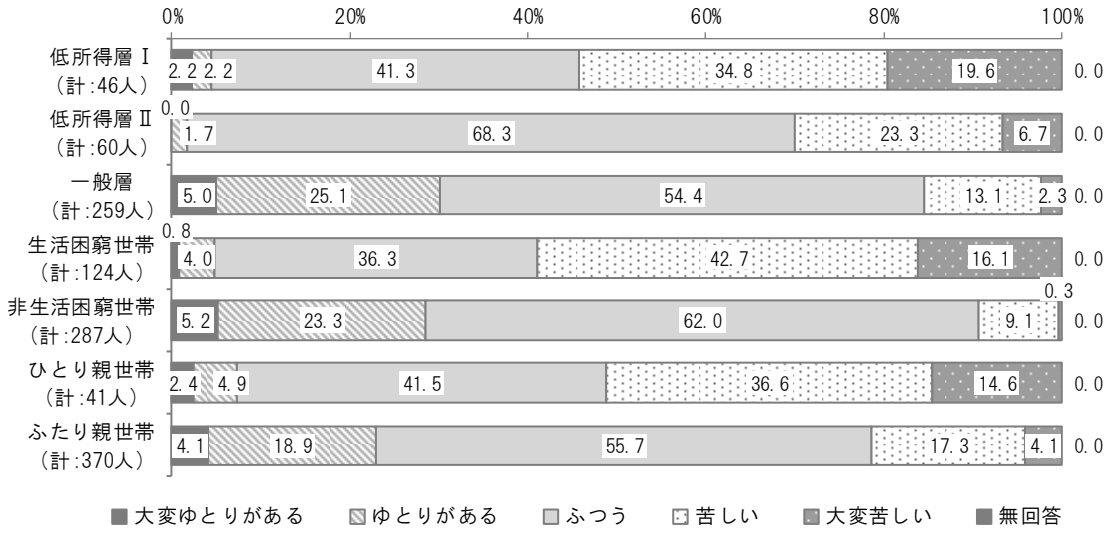
a）現在の生活の満足度

＜保護者票＞問 19　あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。（１つに○）

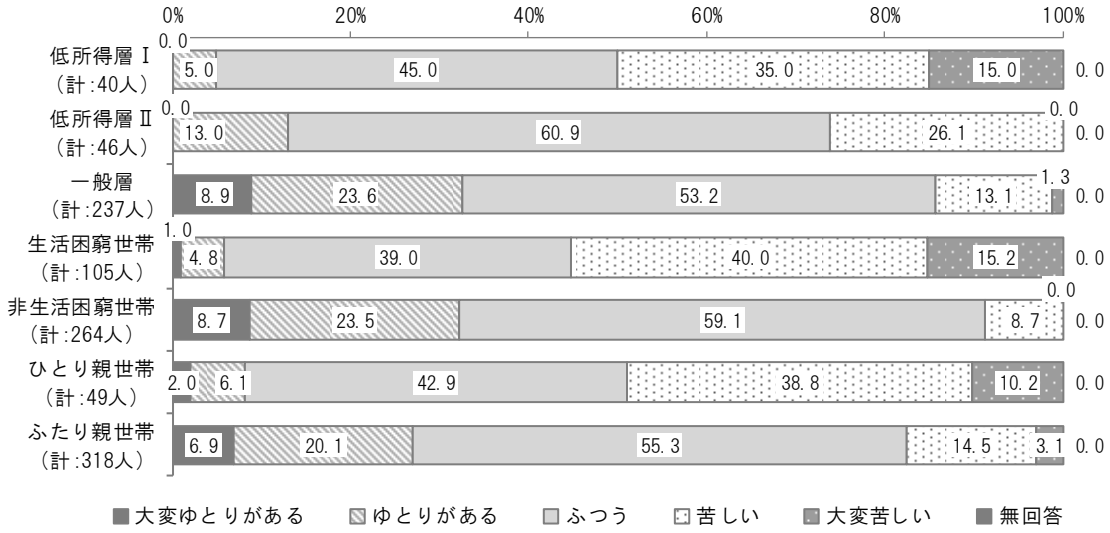
- ◆ 現在の暮らしの状況をどのように感じていますかとたずねたところ、保護者全体では「ふつう」と回答した保護者の割合が最も高く、51.6%となっています。次いで、「苦しい」（21.5%）、「ゆとりがある」（16.7%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ふつう」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ふつう以上（「大変ゆとりがある」＋「ゆとりがある」＋「ふつう」）」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、生活困窮世帯を除き全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ふつう」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ふつう以上（「大変ゆとりがある」＋「ゆとりがある」＋「ふつう」）」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、全体の傾向と異なり、「苦しい」と回答した保護者の割合が高くなっています。低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ふつう以上（「大変ゆとりがある」＋「ゆとりがある」＋「ふつう」）」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



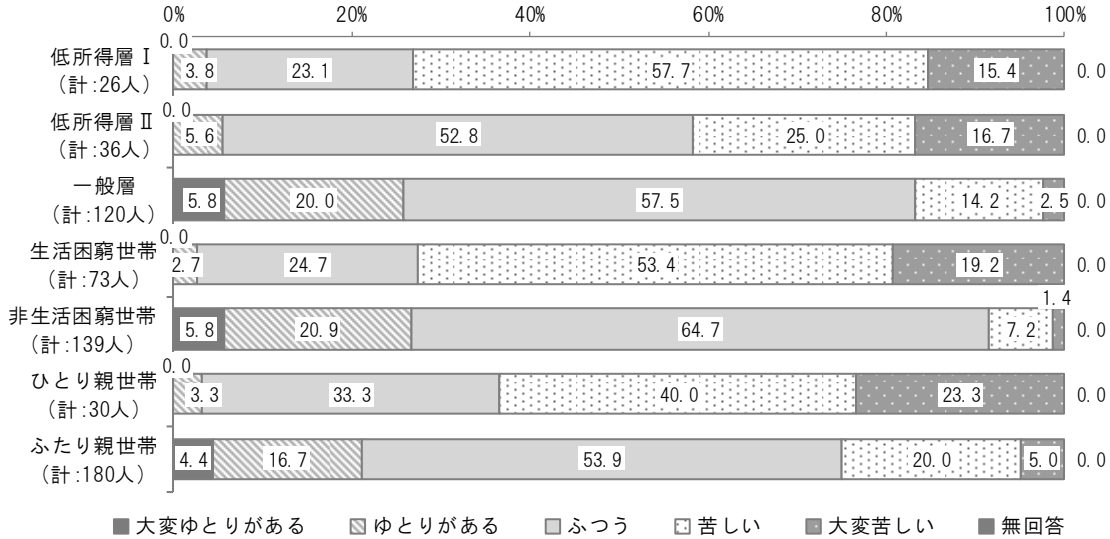
小学校低学年保護者



小学校高学年保護者



中学生保護者

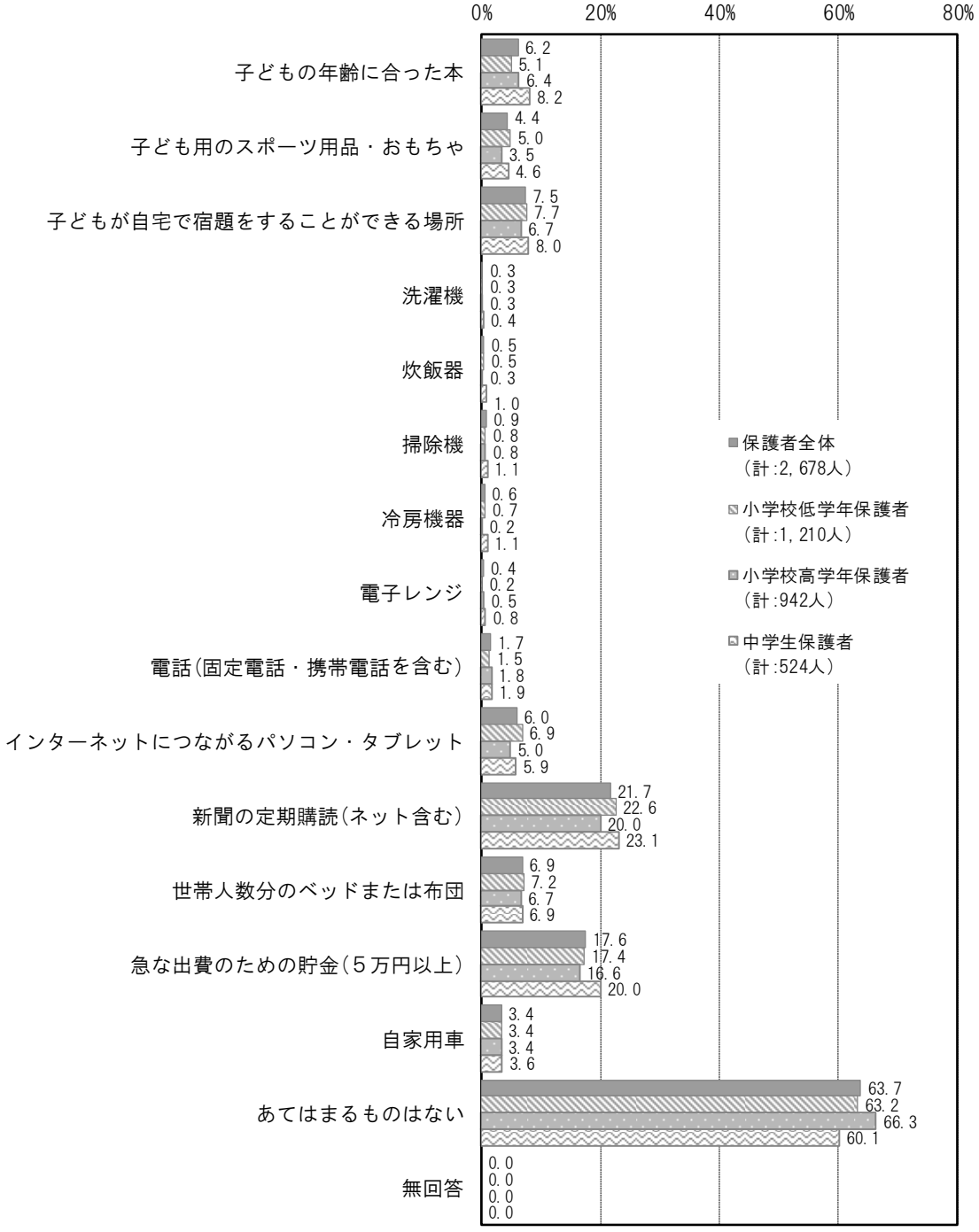


（3）所有物の欠如

a）経済的な理由で世帯にないもの

＜保護者票＞問 22　次のもののうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものはありますか。（あてはまるものすべてに○）

◆ 経済的理由のために、世帯にないものをたずねたところ、保護者全体では「新聞の定期購読(ネット含む)」と回答した保護者の割合が最も高く、21.7%となっています。次いで、「急な出費のための貯金(５万円以上)」(17.6%)、「子どもが自宅で宿題をすることができる場所」(7.5%）となっています。



（%）		子どもの年齢に合った本	子ども用のスポーツ用品・おもちゃ	子どもが自宅で宿題をすることができる場所	洗濯機	炊飯器	掃除機	冷房機器	電子レンジ
小学校低学年保護者	低所得層Ⅰ（計:46人）	17.4	21.7	10.9	2.2	0.0	2.2	6.5	0.0
	低所得層Ⅱ（計:60人）	10.0	6.7	11.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	一般層（計:259人）	0.8	1.5	3.5	0.0	0.4	0.0	0.0	0.4
	生活困窮世帯（計:124人）	13.7	14.5	16.9	0.8	0.0	0.8	2.4	0.8
	非生活困窮世帯（計:287人）	0.3	0.7	1.7	0.0	0.3	0.0	0.0	0.3
	ひとり親世帯（計:41人）	9.8	19.5	7.3	2.4	0.0	2.4	2.4	2.4
	ふたり親世帯（計:370人）	3.8	3.2	6.2	0.0	0.3	0.0	0.5	0.3
		電話（固定電話・携帯電話を含む）	インターネットにつながるパソコン・タブレット	新聞の定期購読（ネット含む）	世帯人数分のベッドまたは布団	急な出費のための貯金（5万円以上）	自家用車	あてはまるものはない	無回答
	低所得層Ⅰ（計:46人）	6.5	19.6	54.3	15.2	41.3	6.5	28.3	0.0
	低所得層Ⅱ（計:60人）	0.0	8.3	21.7	11.7	23.3	3.3	50.0	0.0
	一般層（計:259人）	1.2	2.3	15.4	3.1	6.6	0.4	76.8	0.0
	生活困窮世帯（計:124人）	4.8	18.5	38.7	14.5	38.7	4.8	29.0	0.0
	非生活困窮世帯（計:287人）	0.7	1.0	15.3	2.1	2.8	0.3	79.8	0.0
	ひとり親世帯（計:41人）	4.9	19.5	36.6	4.9	29.3	7.3	39.0	0.0
	ふたり親世帯（計:370人）	1.6	4.9	20.8	5.9	11.9	1.1	67.3	0.0

（%）		子どもの年齢に合った本	子ども用のスポーツ用品・おもちゃ	子どもが自宅で宿題をすることができる場所	洗濯機	炊飯器	掃除機	冷房機器	電子レンジ
小学校高学年保護者	低所得層Ⅰ（計:40人）	7.5	15.0	17.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	低所得層Ⅱ（計:46人）	4.3	0.0	6.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	一般層（計:237人）	1.7	0.8	2.1	0.0	0.4	0.4	0.0	0.8
	生活困窮世帯（計:105人）	11.4	7.6	16.2	0.0	1.0	1.0	0.0	0.0
	非生活困窮世帯（計:264人）	0.8	1.1	1.5	0.0	0.0	0.4	0.0	0.8
	ひとり親世帯（計:49人）	10.2	8.2	14.3	0.0	2.0	2.0	0.0	0.0
	ふたり親世帯（計:318人）	2.8	2.2	4.4	0.0	0.0	0.3	0.0	0.6
		電話（固定電話・携帯電話を含む）	インターネットにつながるパソコン・タブレット	新聞の定期購読（ネット含む）	世帯人数分のベッドまたは布団	急な出費のための貯金（5万円以上）	自家用車	あてはまるものはない	無回答
	低所得層Ⅰ（計:40人）	2.5	12.5	27.5	22.5	35.0	15.0	30.0	0.0
	低所得層Ⅱ（計:46人）	2.2	8.7	34.8	6.5	15.2	0.0	56.5	0.0
	一般層（計:237人）	1.3	0.8	9.7	2.1	6.8	0.4	84.8	0.0
	生活困窮世帯（計:105人）	4.8	13.3	35.2	15.2	42.9	4.8	32.4	0.0
	非生活困窮世帯（計:264人）	0.4	1.5	9.5	2.3	1.9	2.3	85.6	0.0
	ひとり親世帯（計:49人）	2.0	16.3	34.7	12.2	34.7	18.4	38.8	0.0
	ふたり親世帯（計:318人）	1.6	3.1	14.2	5.0	10.4	0.6	75.2	0.0

（%）		子どもの年齢に合った本	子ども用のスポーツ用品・おもちゃ	子どもが自宅で宿題をすることができる場所	洗濯機	炊飯器	掃除機	冷房機器	電子レンジ
中学生保護者	低所得層Ⅰ（計:26人）	19.2	15.4	19.2	0.0	0.0	0.0	3.8	3.8
	低所得層Ⅱ（計:36人）	11.1	11.1	22.2	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0
	一般層（計:120人）	1.7	1.7	1.7	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0
	生活困窮世帯（計:73人）	20.5	19.2	21.9	1.4	2.7	4.1	5.5	4.1
	非生活困窮世帯（計:139人）	0.7	0.7	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ひとり親世帯（計:30人）	23.3	13.3	23.3	0.0	0.0	0.0	6.7	3.3
	ふたり親世帯（計:180人）	5.0	5.6	7.2	0.6	1.1	1.7	1.1	1.1
		電話（固定電話・携帯電話を含む）	インターネットにつながるパソコン・タブレット	新聞の定期購読（ネット含む）	世帯人数分のベッドまたは布団	急な出費のための貯金（5万円以上）	自家用車	あてはまるものはない	無回答
	低所得層Ⅰ（計:26人）	3.8	19.2	50.0	26.9	61.5	15.4	23.1	0.0
	低所得層Ⅱ（計:36人）	2.8	8.3	30.6	13.9	27.8	2.8	50.0	0.0
	一般層（計:120人）	0.0	0.8	11.7	0.8	6.7	0.0	85.0	0.0
	生活困窮世帯（計:73人）	6.8	16.4	45.2	20.5	47.9	8.2	23.3	0.0
	非生活困窮世帯（計:139人）	0.0	2.2	8.6	1.4	2.9	0.0	86.3	0.0
	ひとり親世帯（計:30人）	6.7	16.7	56.7	20.0	53.3	13.3	16.7	0.0
	ふたり親世帯（計:180人）	1.7	5.6	15.6	5.6	12.8	1.1	72.8	0.0

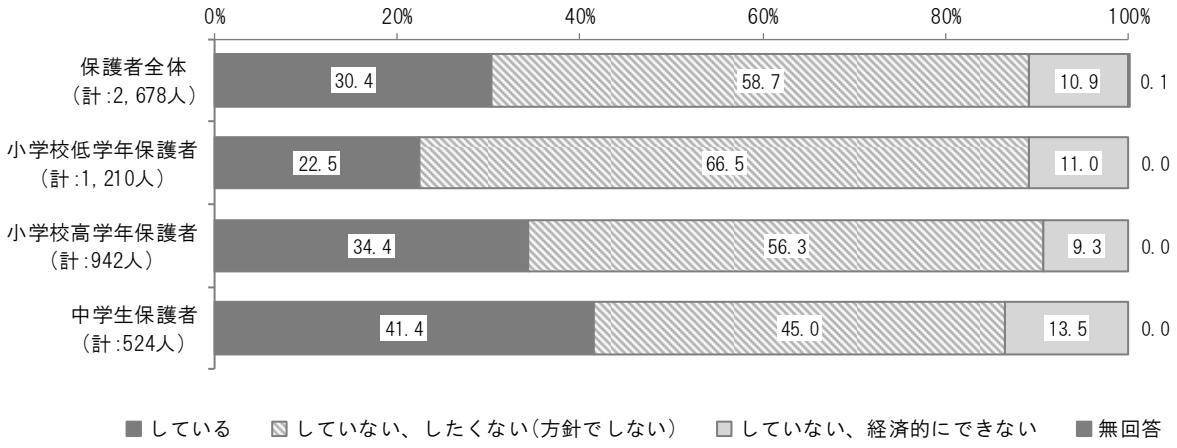
（4）子どものための支出

a）子どものための支出について

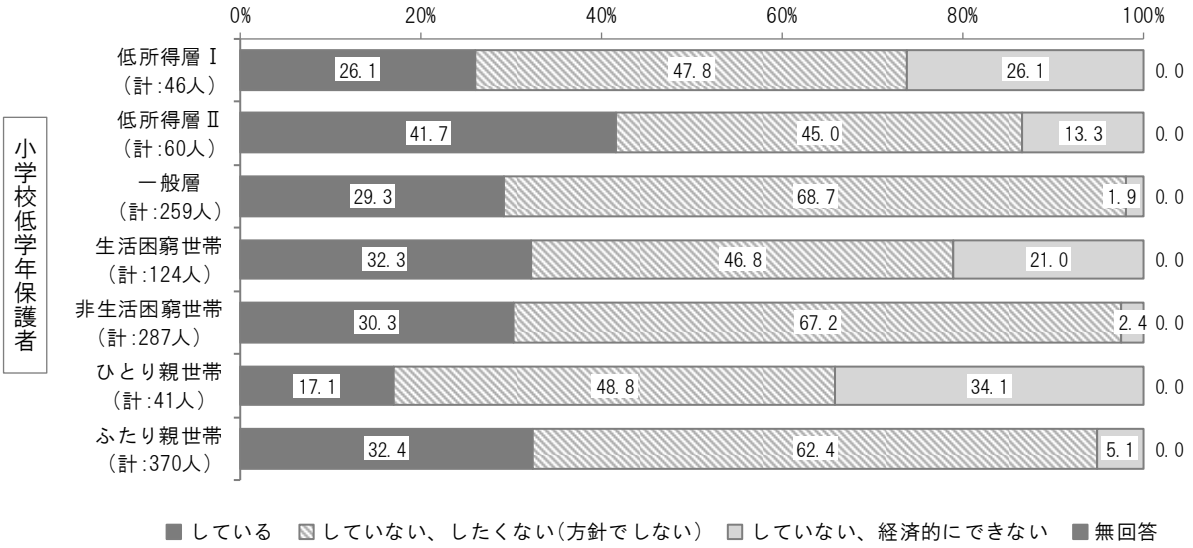
＜保護者票＞問 15　あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。
（①～⑧それぞれについて、あてはまるもの１つに○）

①　毎月お小遣いを渡す

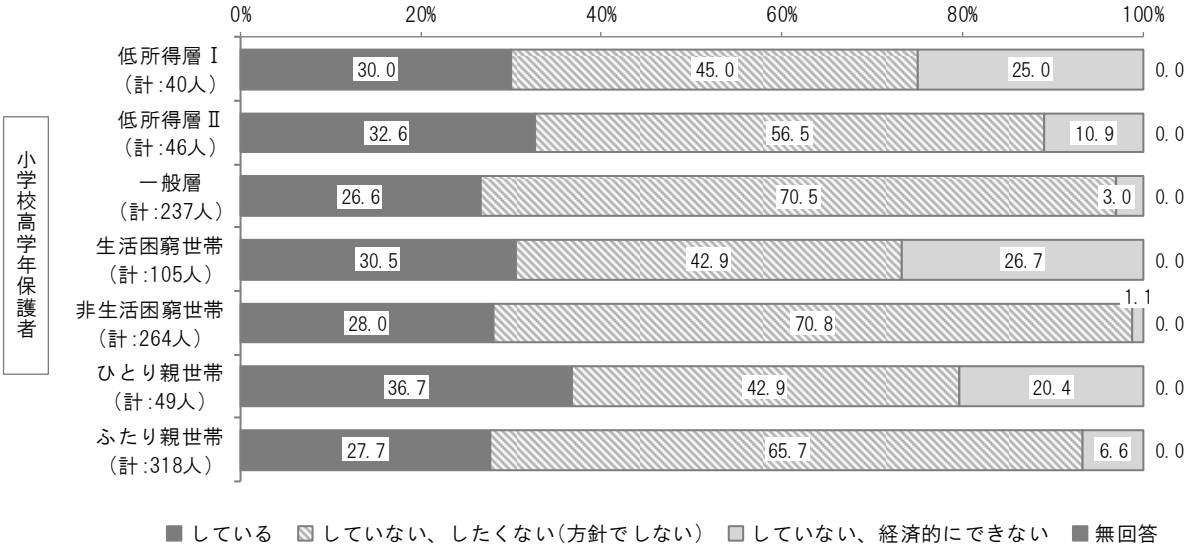
- ◆ お子さんに毎月お小遣いを渡しているかとたずねたところ、保護者全体では「していない、したくない(方針でしない)」と回答した保護者の割合が最も高く、58.7%となっています。次いで、「している」(30.4%)、「していない、経済的にできない」(10.9%)となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「していない、したくない(方針でしない)」と回答した保護者の割合が最も高くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「していない、したくない(方針でしない)」と回答した保護者の割合が最も高くなっています。
- ◆ 中学生では、全体の傾向と異なり、「していない、経済的にできない」と回答した保護者の割合も高くなっています。



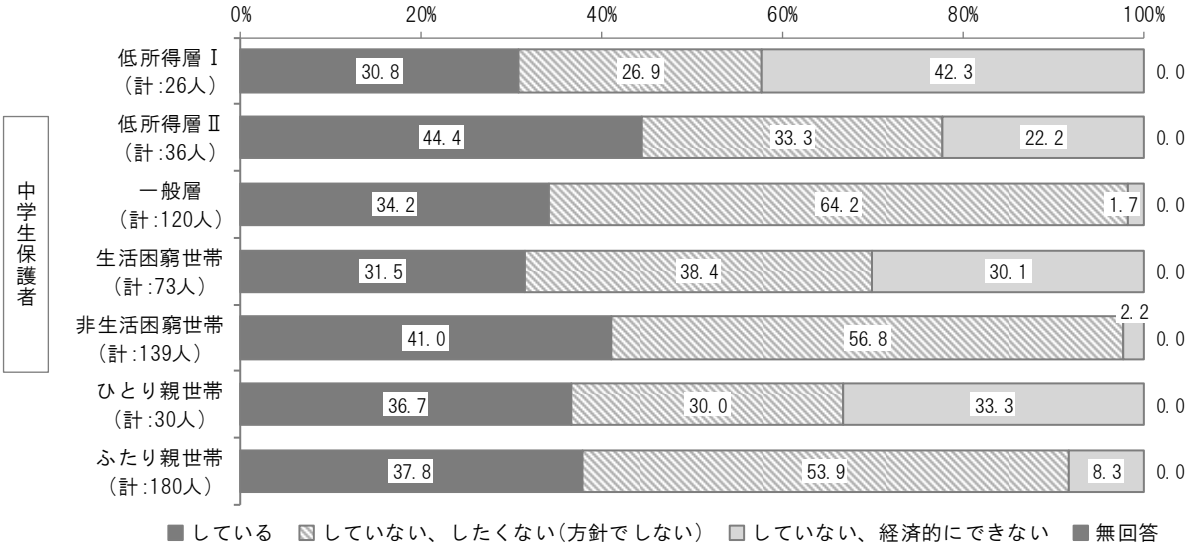
小学校低学年保護者



小学校高学年保護者

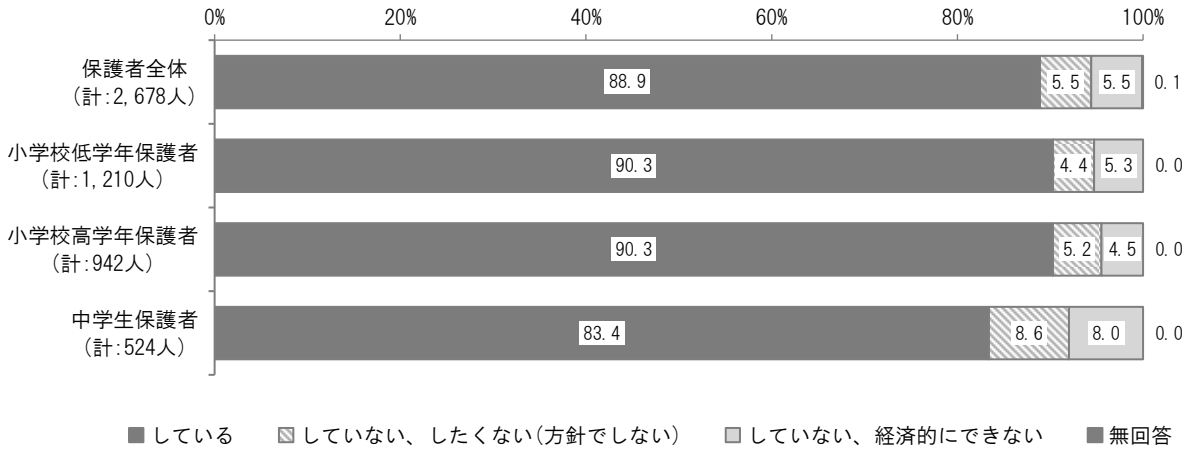


中学生保護者

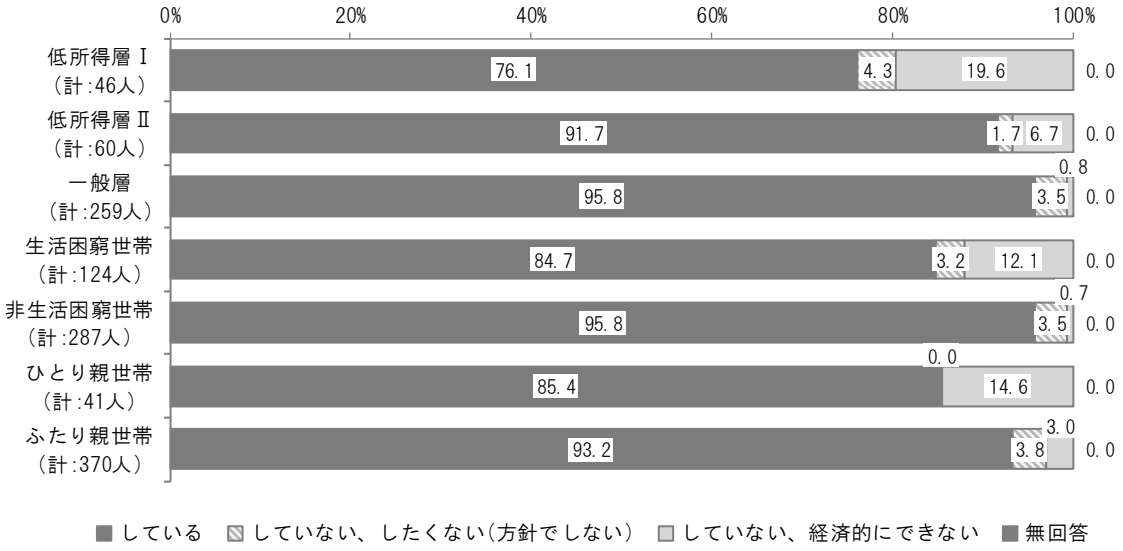


② 毎年新しい洋服・靴を買う

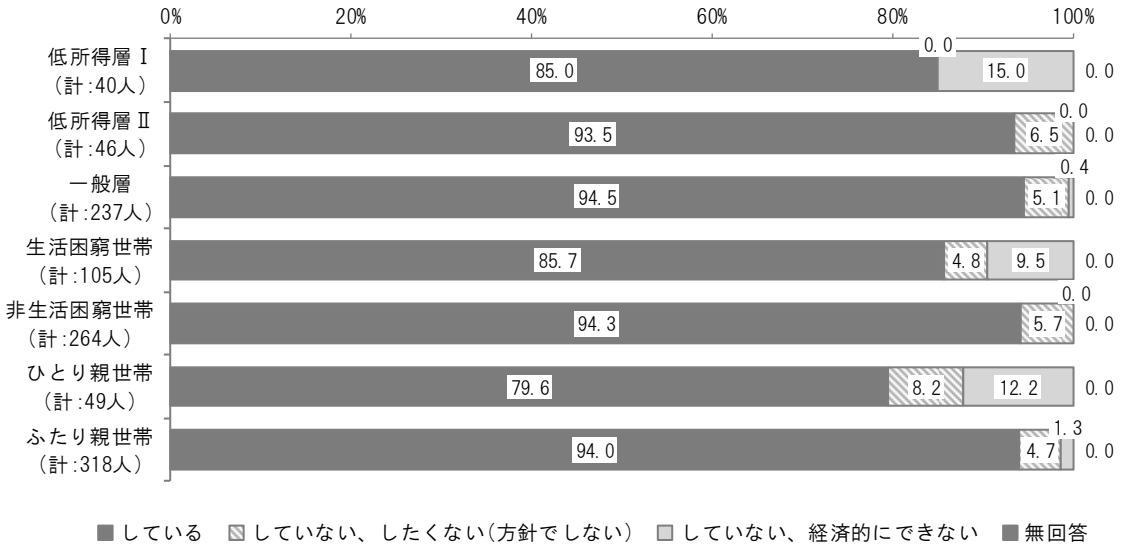
- ◆ 毎年新しい洋服・靴を買っているかとたずねたところ、保護者全体では「している」と回答した保護者の割合が最も高く、88.9%となっています。次いで、「していない、経済的にできない」、「していない、したくない(方針でしない)」(ともに 5.5%) となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「している」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「している」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「している」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「している」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「している」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「している」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



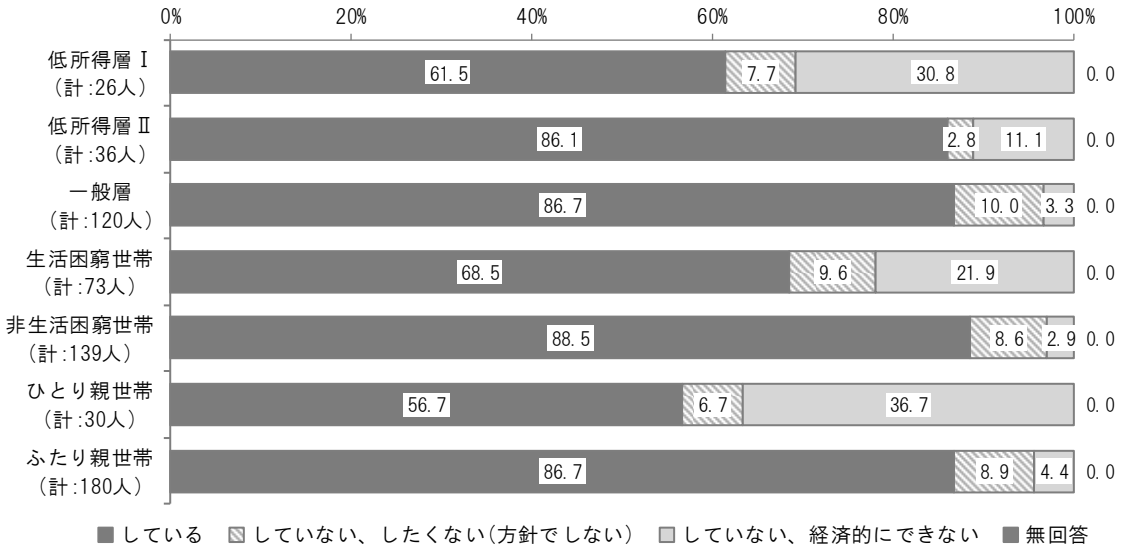
小学校低学年保護者



小学校高学年保護者

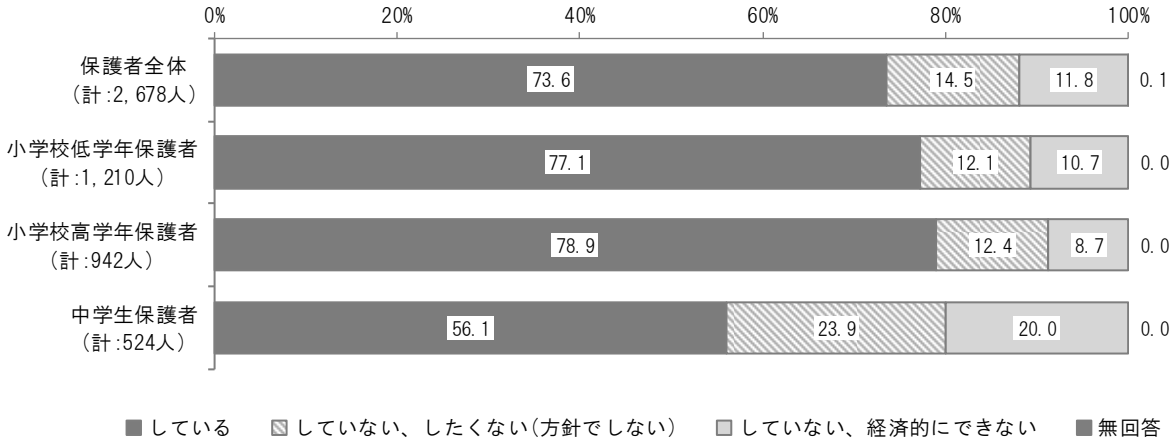


中学生保護者

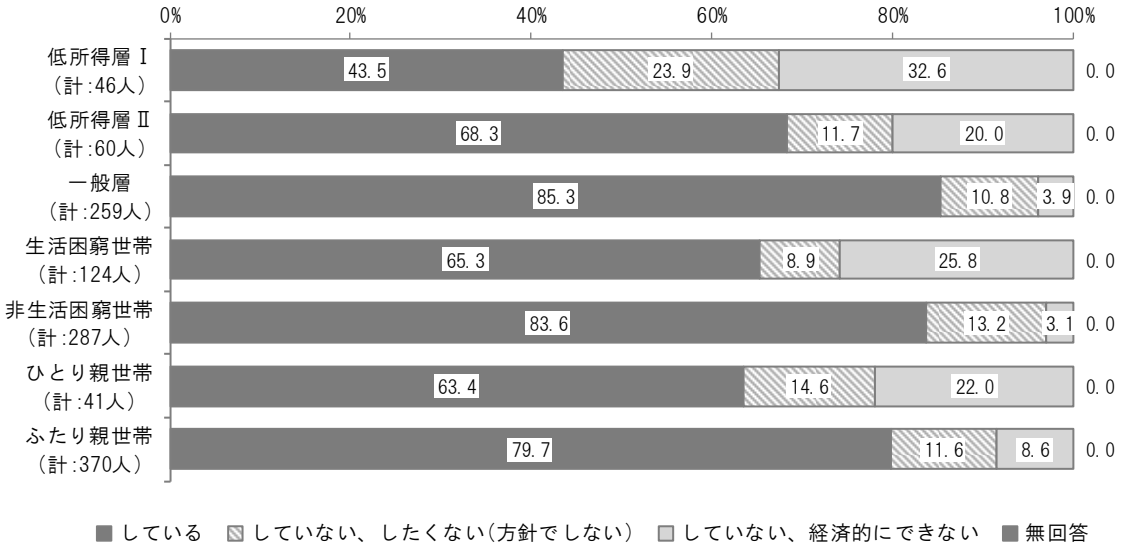


③習い事（音楽・スポーツ・習字等）に通わせる

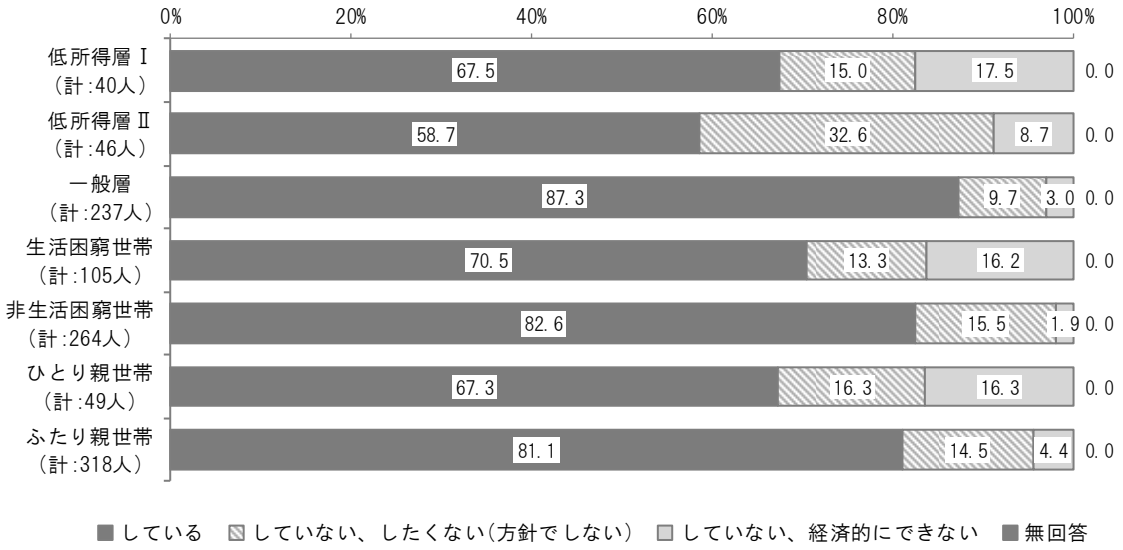
- ◆ 習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせているかとたずねたところ、保護者全体では「している」と回答した保護者の割合が最も高く、73.6%となっています。次いで、「していない、したくない(方針でしない)」(14.5%)、「していない、経済的にできない」（11.8%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「している」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「している」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「している」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「している」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、全体の傾向と異なり、「していない、経済的にできない」と回答した保護者の割合も高くなっています。



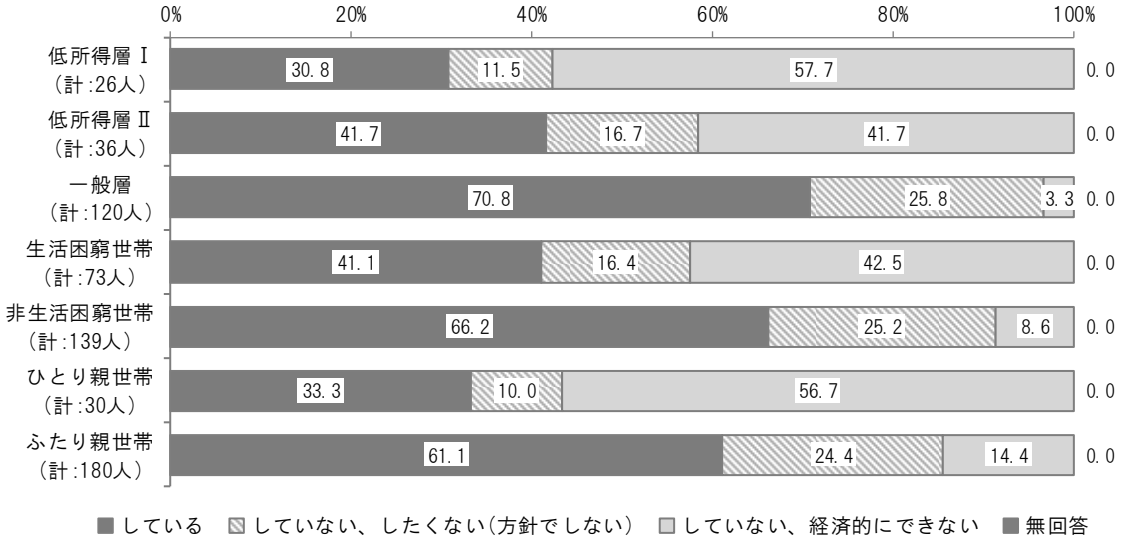
小学校低学年保護者



小学校高学年保護者

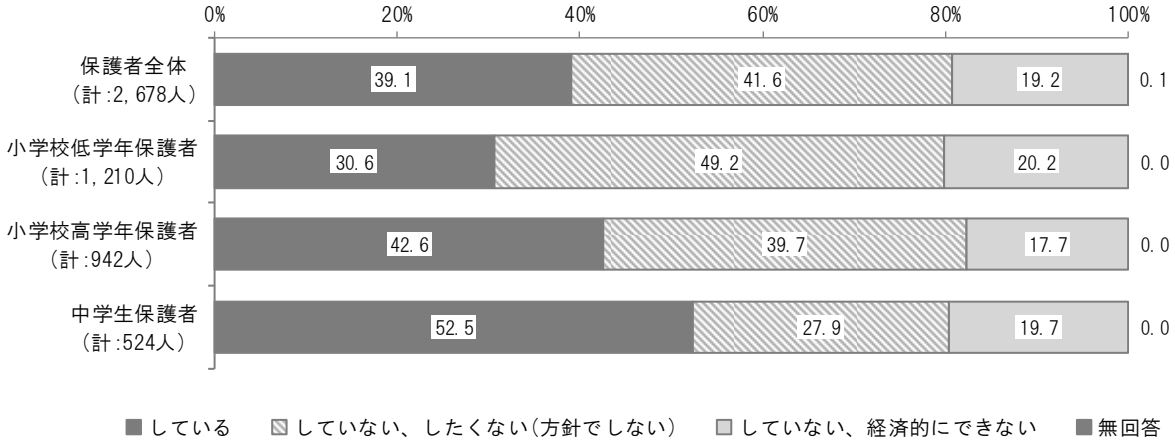


中学生保護者

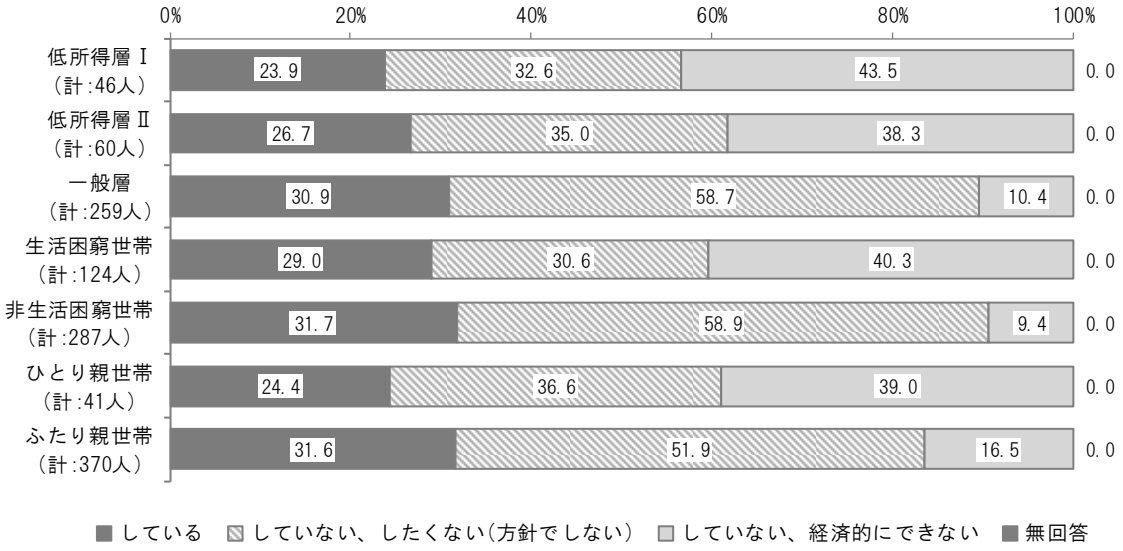


④学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）

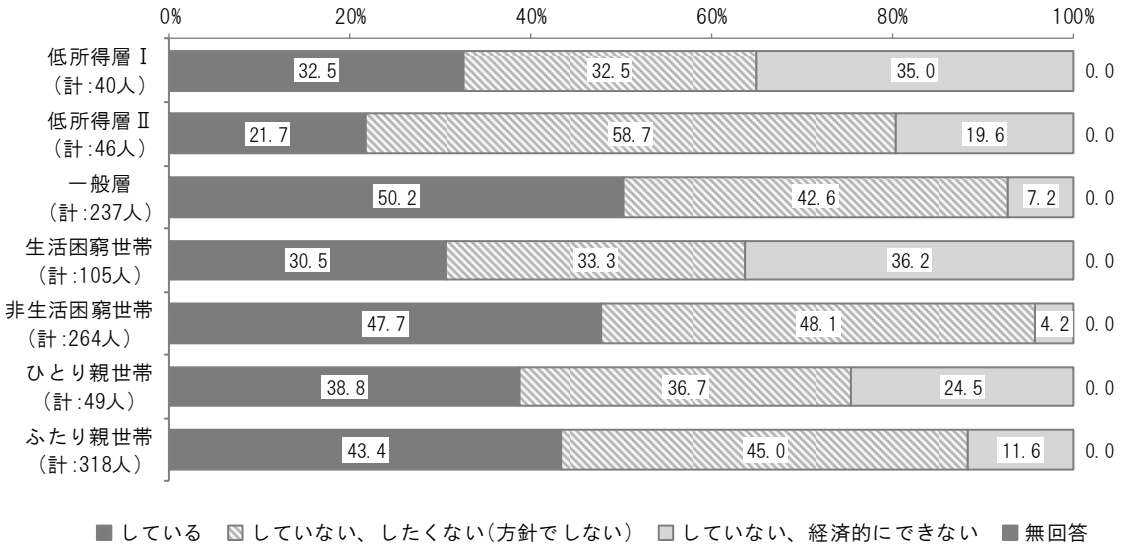
- ◆ 学習塾に通わせているか(または家庭教師に来てもらっているか)とたずねたところ、保護者全体では「していない、したくない(方針でしない)」と回答した保護者の割合が最も高く、41.6%となっています。次いで、「している」(39.1%)、「していない、経済的にできない」(19.2%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、「していない、したくない(方針でしない)」と回答した保護者の割合が高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「している」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体の傾向と異なり、「している」と回答した保護者の割合が高くなっており、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「している」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、全体の傾向と異なり、「している」と回答した保護者の割合が高くなっており、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「している」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



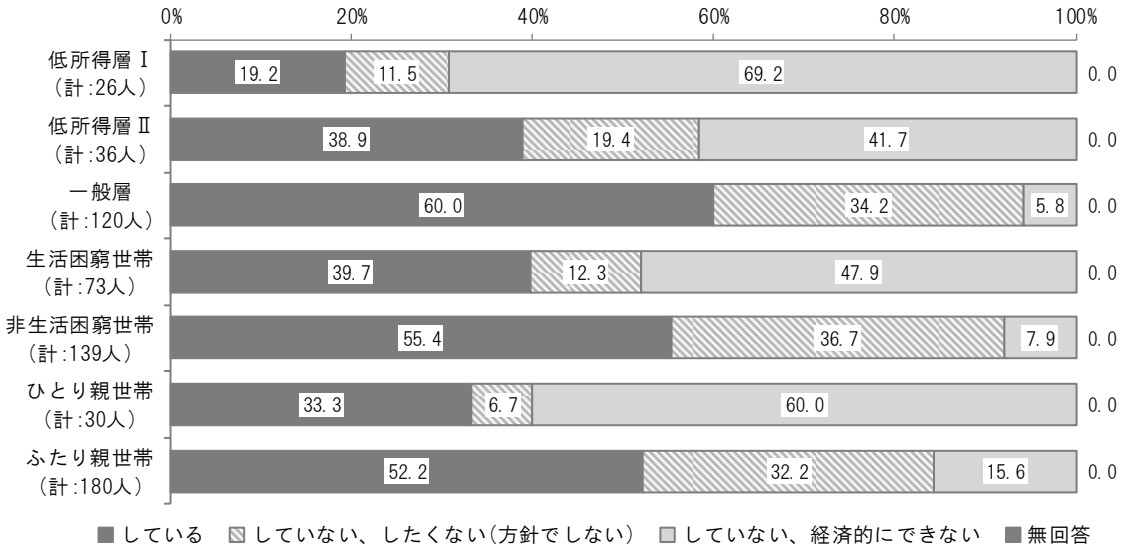
小学校低学年保護者



小学校高学年保護者

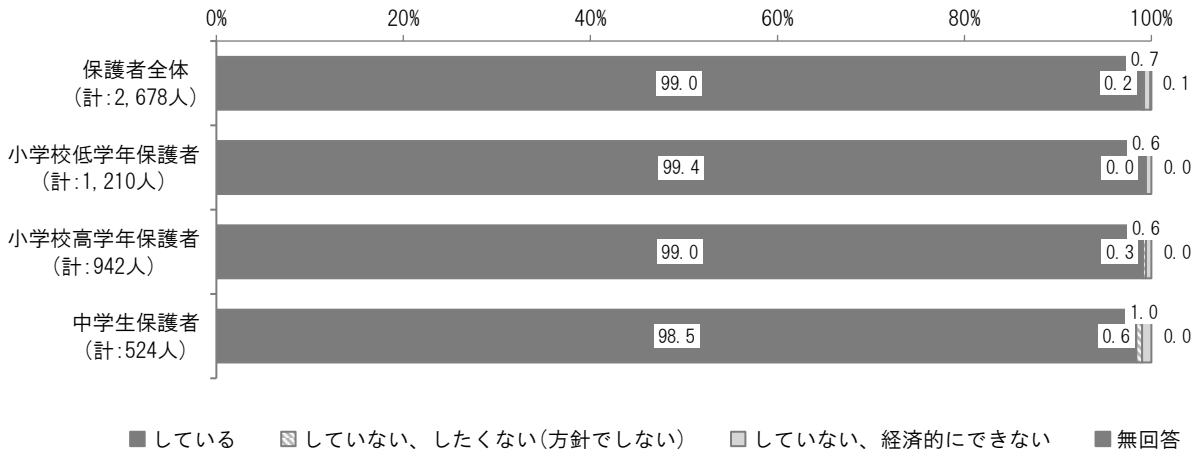


中学生保護者

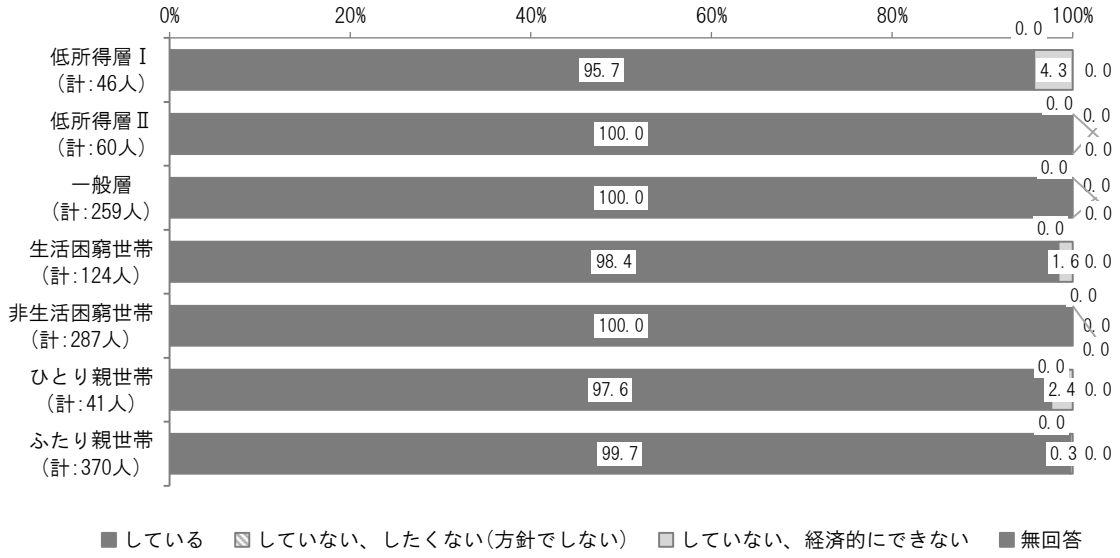


⑤お誕生日のお祝いをする

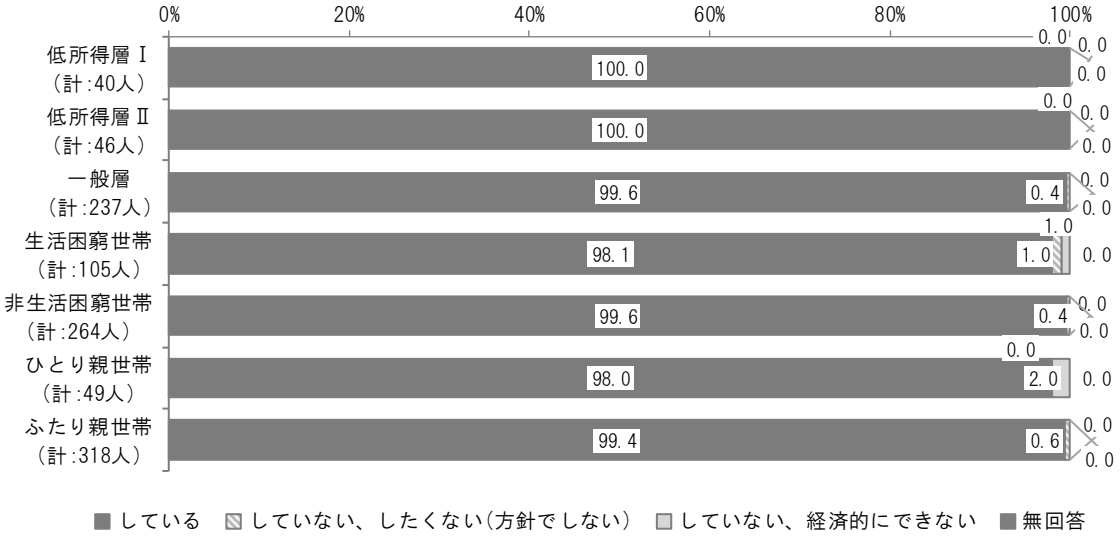
- ◆ お誕生日のお祝いをしているかとたずねたところ、保護者全体では「している」と回答した保護者の割合が最も高く、99.0%となっています。次いで、「していない、経済的にできない」（0.7%）、「していない、したくない(方針でしない)」（0.2%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「している」と回答した保護者の割合が最も高くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「している」と回答した保護者の割合が最も高くなっています。
- ◆ 中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「している」と回答した保護者の割合が最も高くなっています。



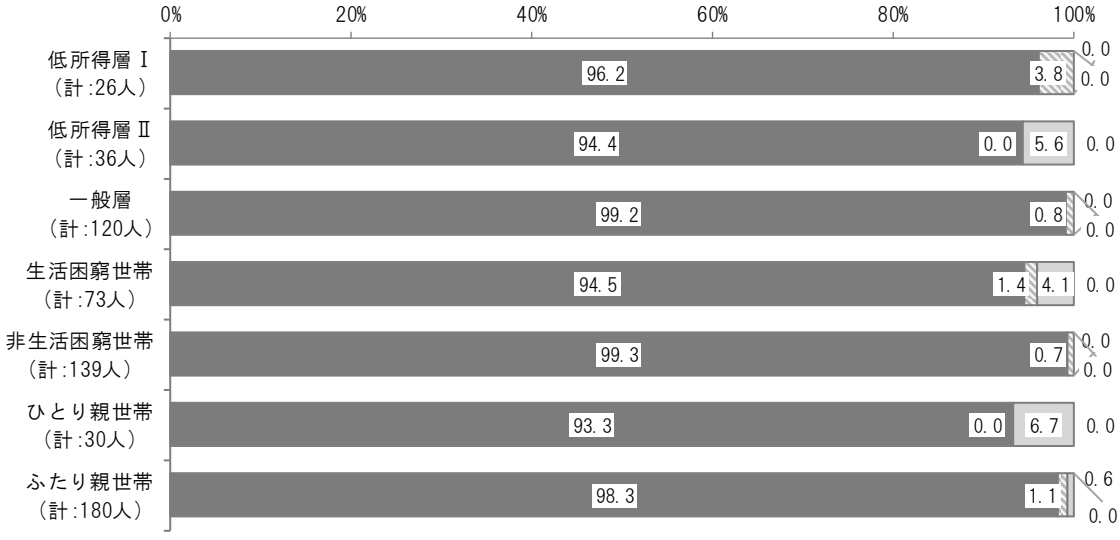
小学校低学年保護者



小学校高学年保護者

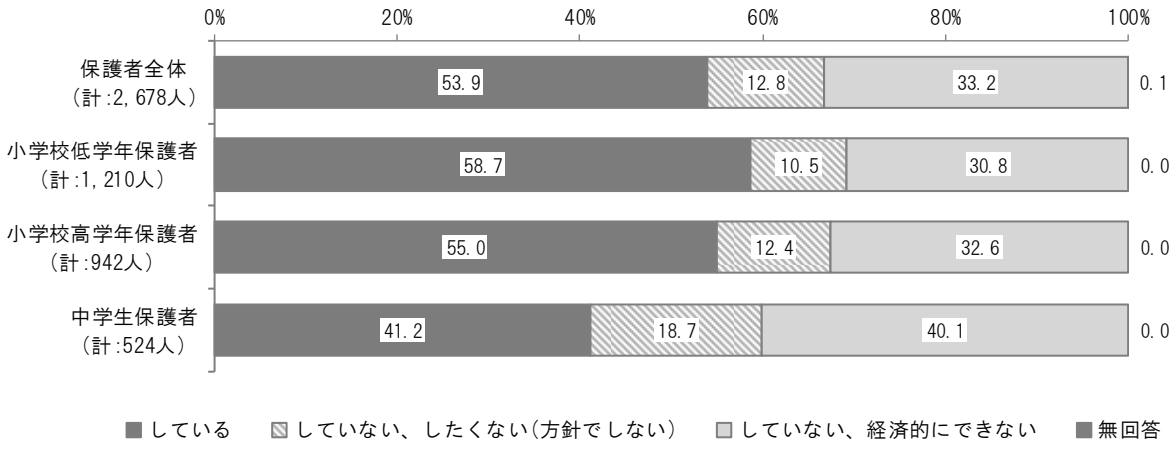


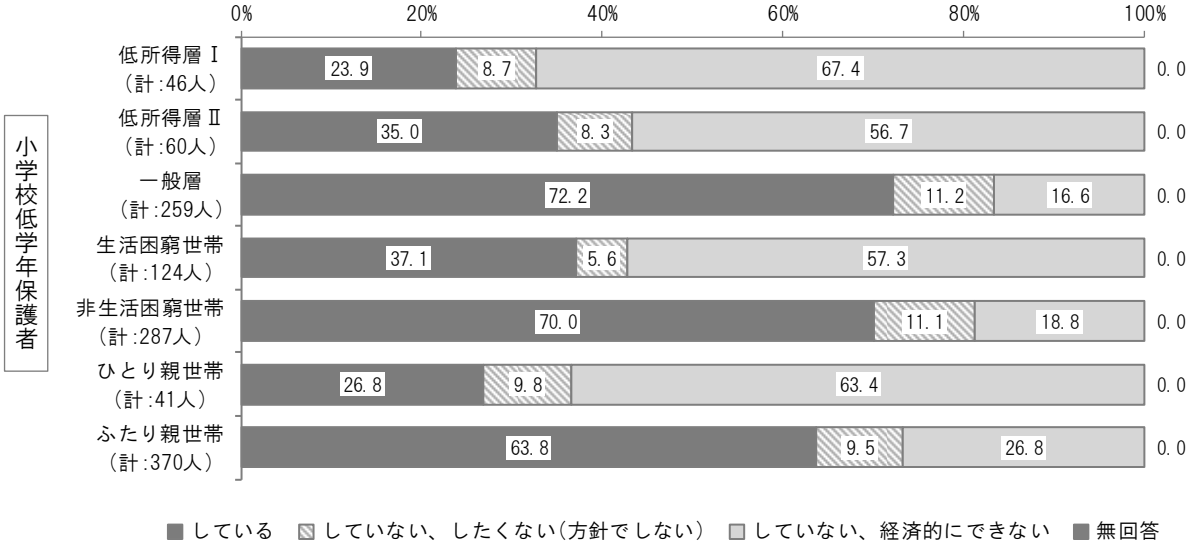
中学生保護者

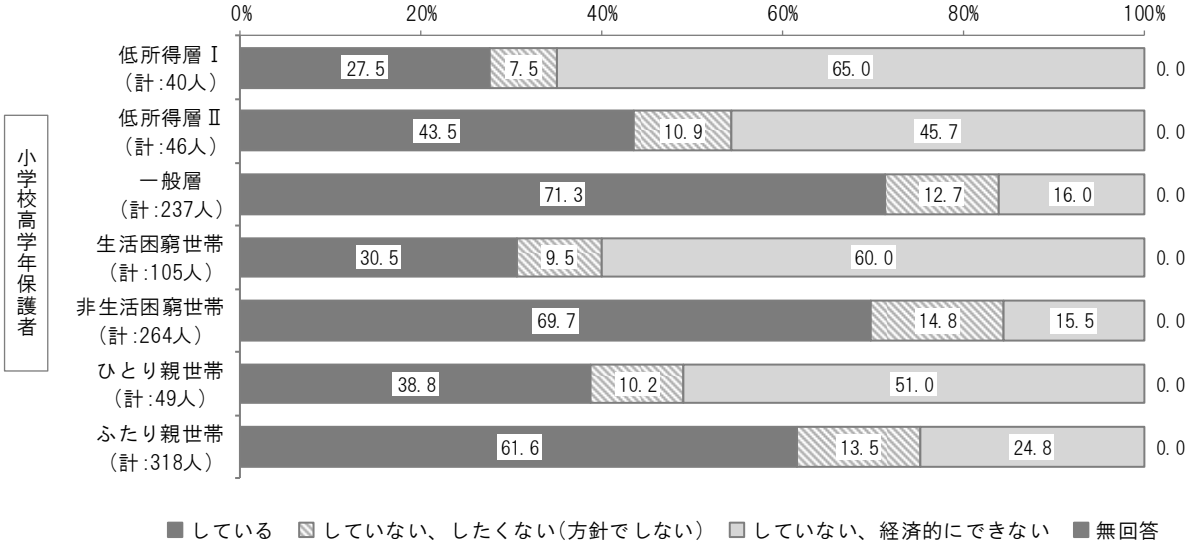


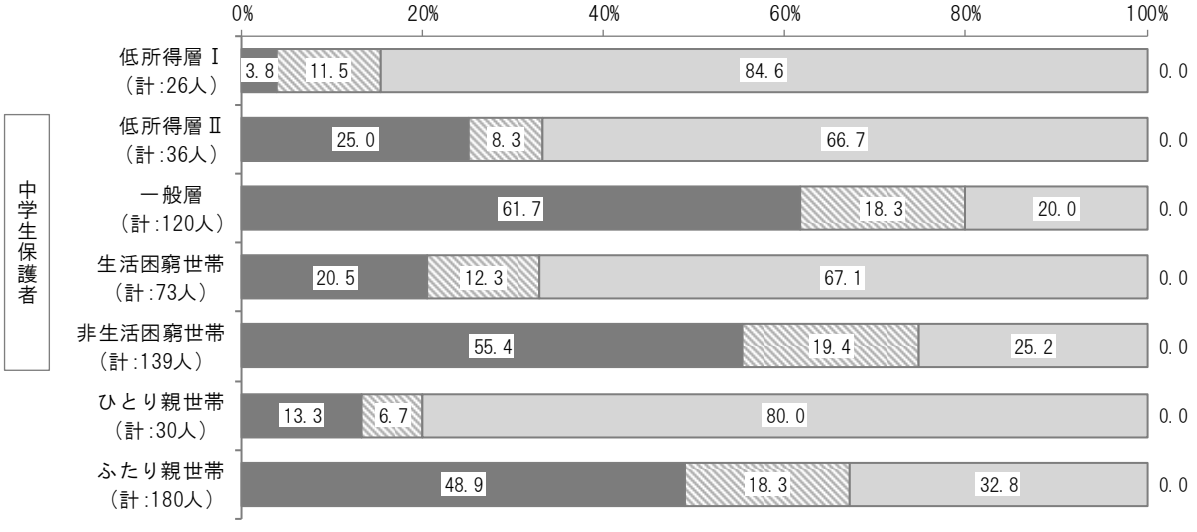
⑥１年に１回くらいは家族旅行に行く

- ◆ １年に１回くらいは家族旅行に行っているかとたずねたところ、保護者全体では「している」と回答した保護者の割合が最も高く、53.9%となっています。次いで、「していない、経済的にできない」（33.2%）、「していない、したくない(方針でしない)」（12.8%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、「している」と回答した保護者の割合が高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「している」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、「している」と回答した保護者の割合が高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「している」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、全体の傾向と異なり、「していない、経済的にできない」と回答した保護者の割合が高くなっています。また、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「している」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



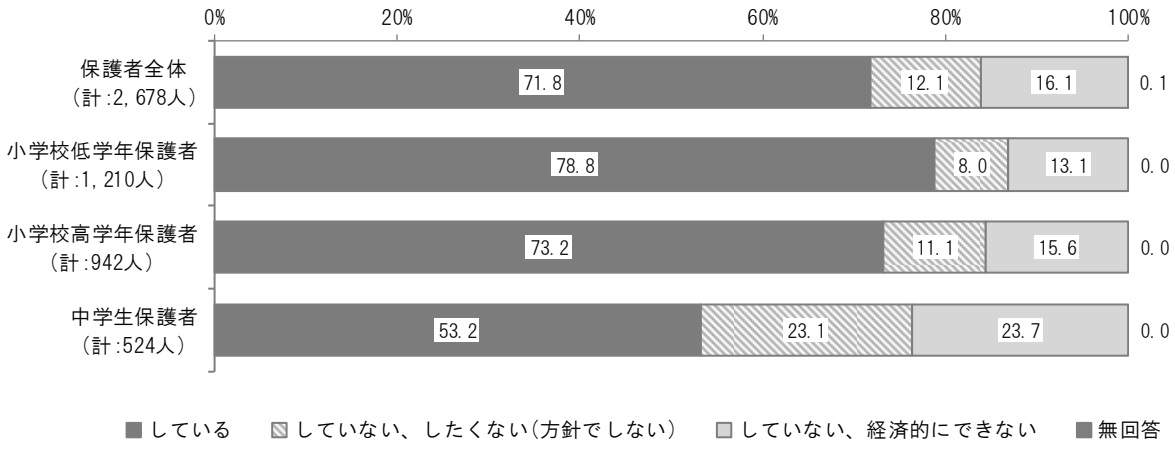

小学校低学年保護者
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:46人）
23.9
8.7
67.4
0.0
低所得層Ⅱ（計:60人）
35.0
8.3
56.7
0.0
一般層（計:259人）
72.2
11.2
16.6
0.0
生活困窮世帯（計:124人）
37.1
5.6
57.3
0.0
非生活困窮世帯（計:287人）
70.0
11.1
18.8
0.0
ひとり親世帯（計:41人）
26.8
9.8
63.4
0.0
ふたり親世帯（計:370人）
63.8
9.5
26.8
0.0
している
していない、したくない(方針でしない)
していない、経済的にできない
無回答


小学校高学年保護者
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:40人）
27.5
7.5
65.0
0.0
低所得層Ⅱ（計:46人）
43.5
10.9
45.7
0.0
一般層（計:237人）
71.3
12.7
16.0
0.0
生活困窮世帯（計:105人）
30.5
9.5
60.0
0.0
非生活困窮世帯（計:264人）
69.7
14.8
15.5
0.0
ひとり親世帯（計:49人）
38.8
10.2
51.0
0.0
ふたり親世帯（計:318人）
61.6
13.5
24.8
0.0
している
していない、したくない(方針でしない)
していない、経済的にできない
無回答

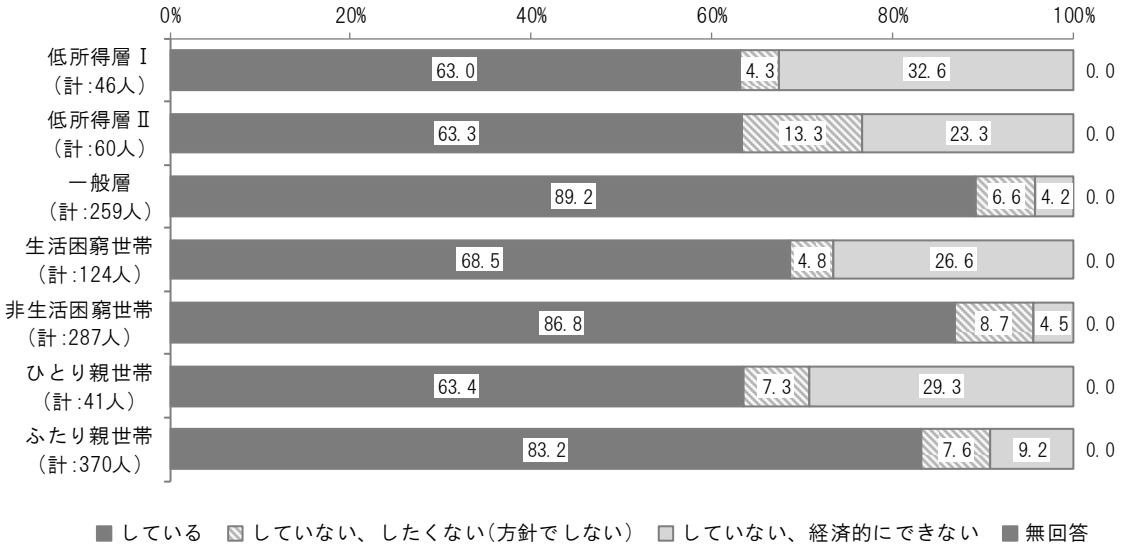

中学生保護者
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
3.8
11.5
84.6
0.0
低所得層Ⅱ（計:36人）
25.0
8.3
66.7
0.0
一般層（計:120人）
61.7
18.3
20.0
0.0
生活困窮世帯（計:73人）
20.5
12.3
67.1
0.0
非生活困窮世帯（計:139人）
55.4
19.4
25.2
0.0
ひとり親世帯（計:30人）
13.3
6.7
80.0
0.0
ふたり親世帯（計:180人）
48.9
18.3
32.8
0.0
している
していない、したくない(方針でしない)
していない、経済的にできない
無回答

⑦体験活動やレジャーなど年数回行う

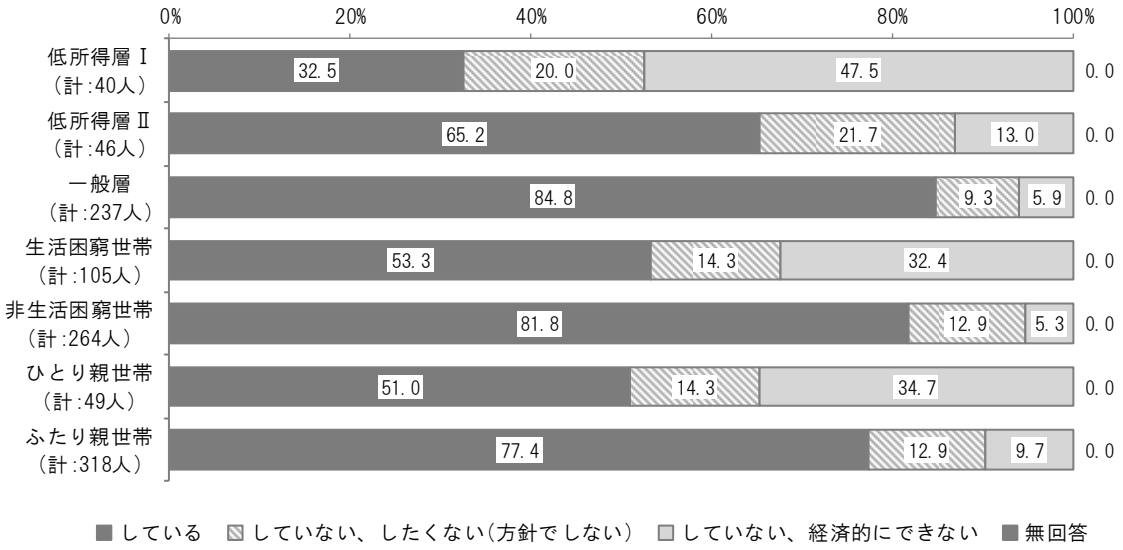
- ◆ 体験活動やレジャーなど年数回行っているかとたずねたところ、保護者全体では「している」と回答した保護者の割合が最も高く、71.8%となっています。次いで、「していない、経済的にできない」（16.1%）、「していない、したくない（方針でしない）」（12.1%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「している」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「している」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、低所得層Ⅰを除き全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「している」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「している」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、全体の傾向と異なり「していない、経済的にできない」、「していない、したくない（方針でしない）」と回答した保護者の割合が高くなっています。また、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「している」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



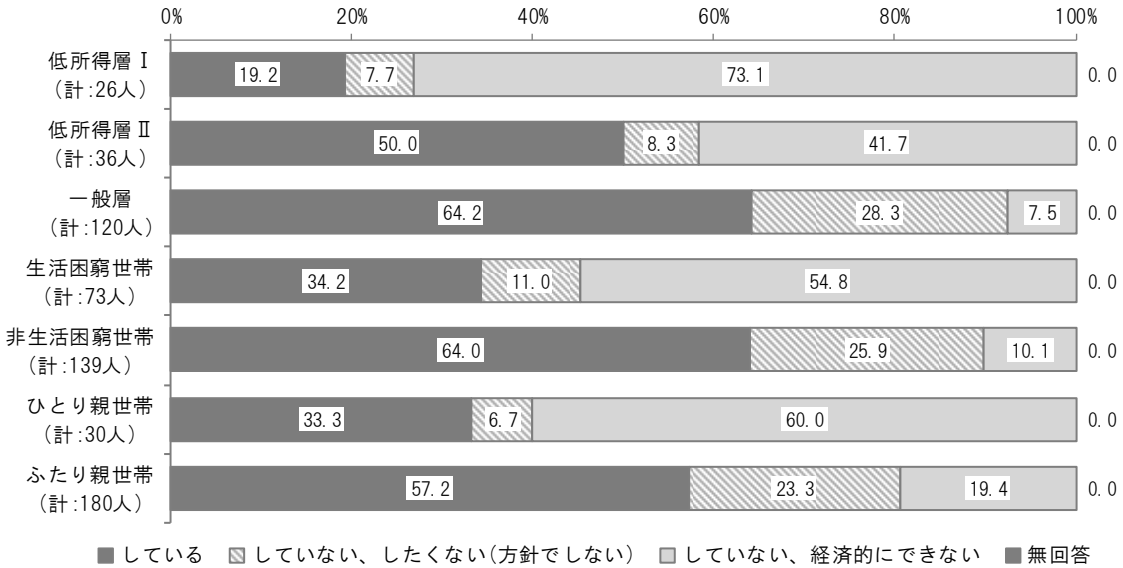
小学校低学年保護者



小学校高学年保護者

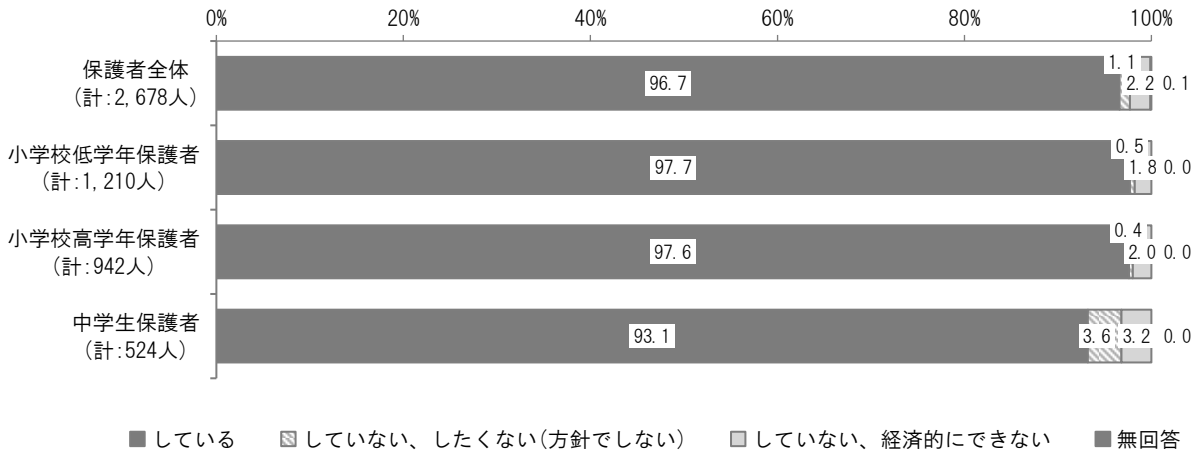


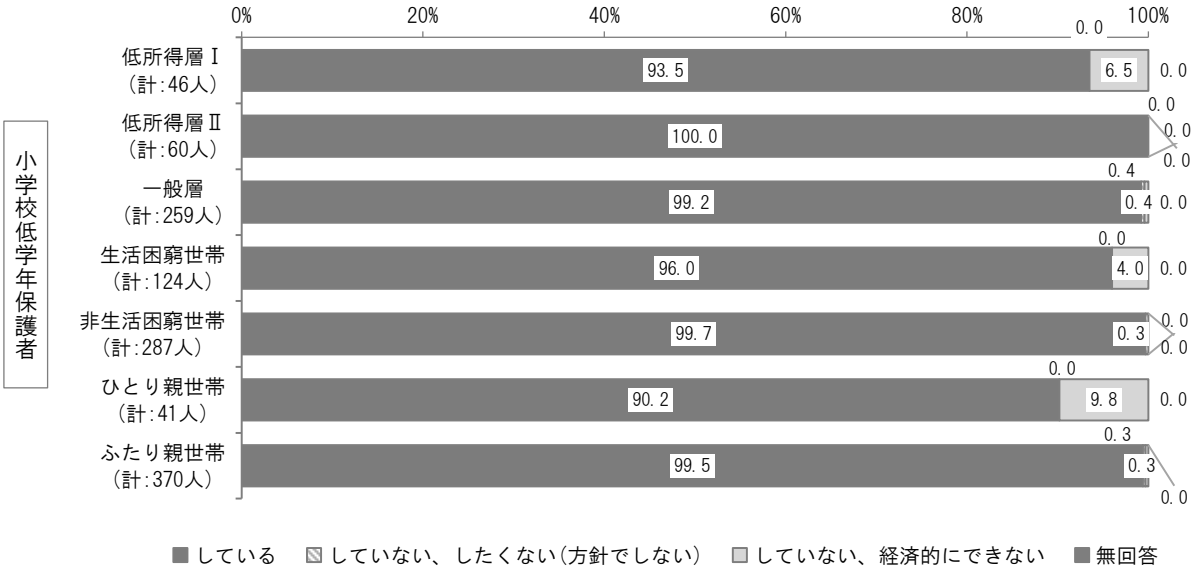
中学生保護者

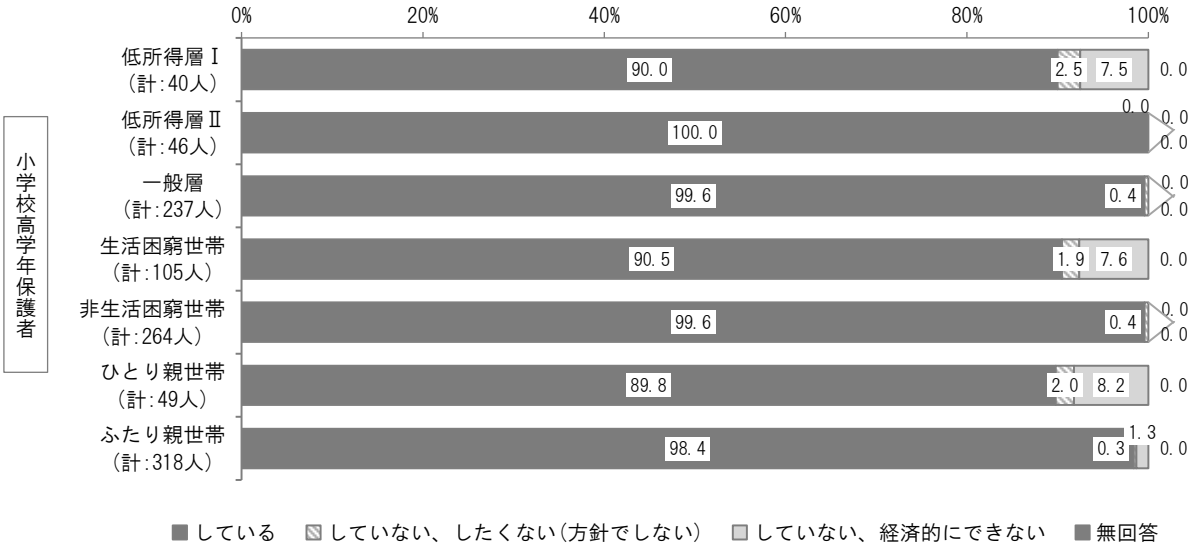


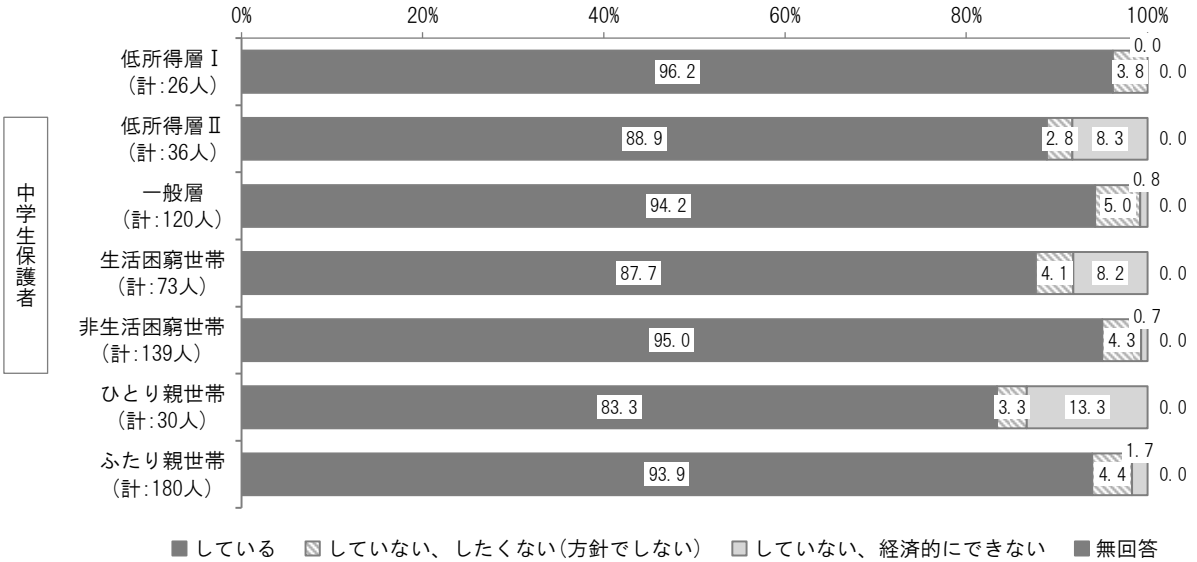
⑧クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる

- ◆ クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげているかとたずねたところ、保護者全体では「している」と回答した保護者の割合が最も高く、96.7%となっています。次いで、「していない、経済的にできない」（2.2%）、「していない、したくない(方針でしない)」（1.1%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「している」と回答した保護者の割合が最も高くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「している」と回答した保護者の割合が最も高くなっています。
- ◆ 中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「している」と回答した保護者の割合が最も高くなっています。




小学校低学年保護者
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:46人）
93.5
6.5
0.0
低所得層Ⅱ（計:60人）
100.0
0.0
0.0
0.0
一般層（計:259人）
99.2
0.4
0.4
0.0
生活困窮世帯（計:124人）
96.0
4.0
0.0
0.0
非生活困窮世帯（計:287人）
99.7
0.3
0.0
0.0
ひとり親世帯（計:41人）
90.2
9.8
0.0
0.0
ふたり親世帯（計:370人）
99.5
0.3
0.3
0.0
■している
▧していない、したくない(方針でしない)
□していない、経済的にできない
■無回答


小学校高学年保護者
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:40人）
90.0
2.5
7.5
0.0
低所得層Ⅱ（計:46人）
100.0
0.0
0.0
0.0
一般層（計:237人）
99.6
0.4
0.0
0.0
生活困窮世帯（計:105人）
90.5
1.9
7.6
0.0
非生活困窮世帯（計:264人）
99.6
0.4
0.0
0.0
ひとり親世帯（計:49人）
89.8
2.0
8.2
0.0
ふたり親世帯（計:318人）
98.4
0.3
1.3
0.0
■している
▧していない、したくない(方針でしない)
□していない、経済的にできない
■無回答


中学生保護者
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
96.2
3.8
0.0
0.0
低所得層Ⅱ（計:36人）
88.9
2.8
8.3
0.0
一般層（計:120人）
94.2
5.0
0.8
0.0
生活困窮世帯（計:73人）
87.7
4.1
8.2
0.0
非生活困窮世帯（計:139人）
95.0
4.3
0.7
0.0
ひとり親世帯（計:30人）
83.3
3.3
13.3
0.0
ふたり親世帯（計:180人）
93.9
4.4
1.7
0.0
■している
▧していない、したくない(方針でしない)
□していない、経済的にできない
■無回答

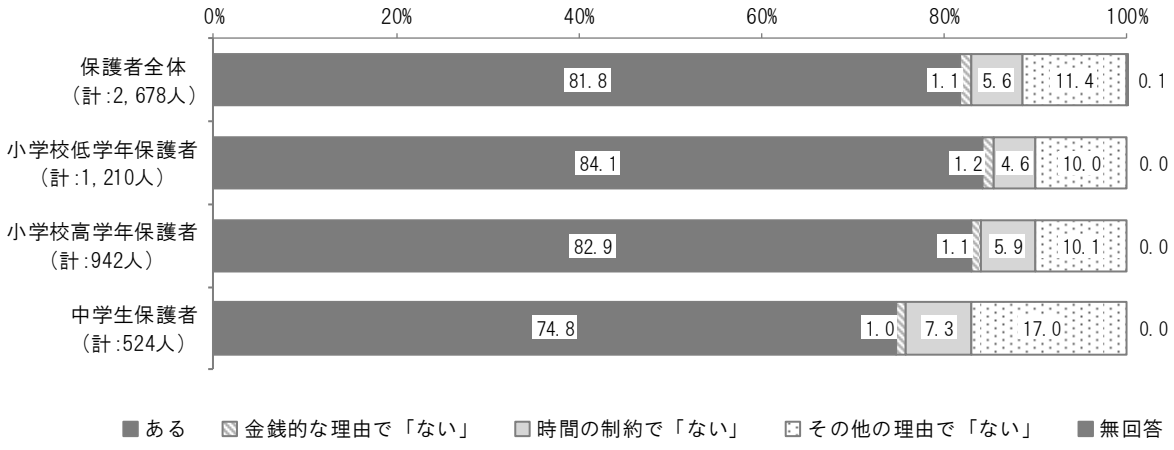
（５）子どもの体験

ａ）子どもの体験について

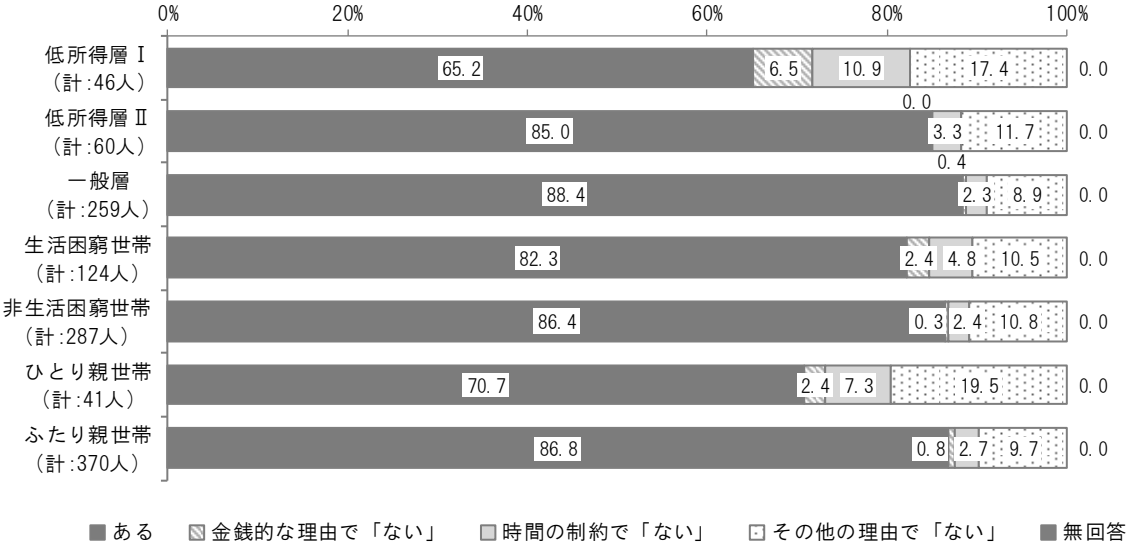
＜保護者票＞問 16　あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をする、またはこれまでにしたことがありますか。（①～⑥それぞれについて、あてはまるもの１つに○）

①　海水浴に行く

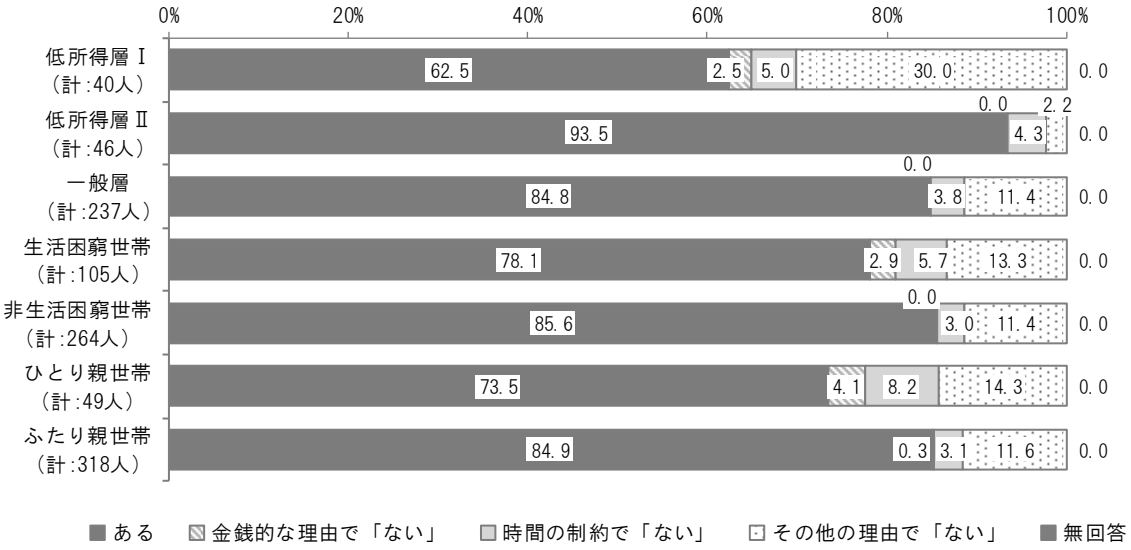
- ◆ お子さんと海水浴に行くことがあるかとたずねたところ、保護者全体では「ある」と回答した保護者の割合が最も高く、81.8%となっています。次いで、「その他の理由で「ない」」（11.4%）、「時間の制約で「ない」」（5.6%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



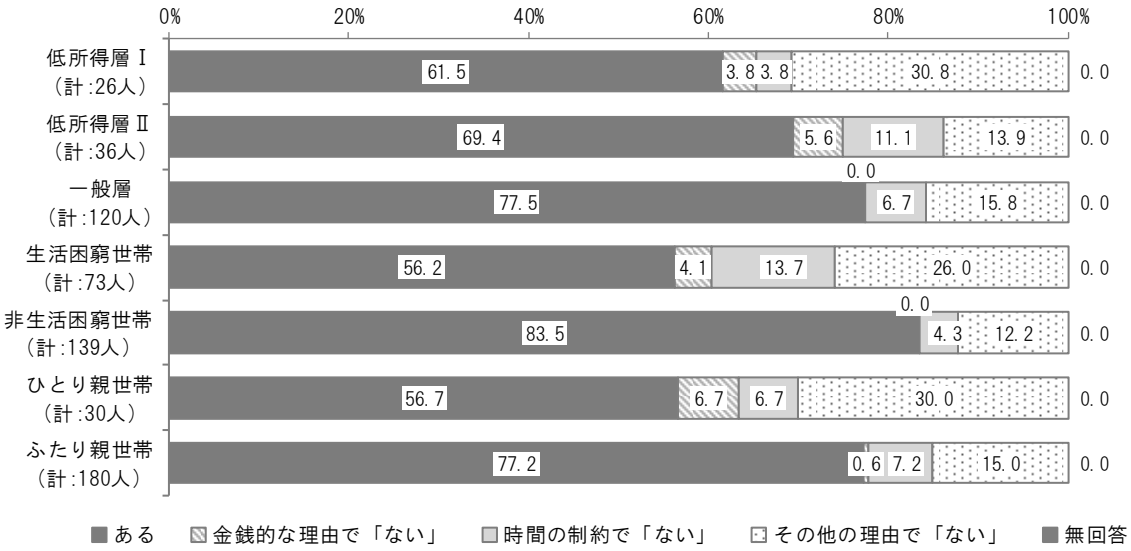
小学校低学年保護者



小学校高学年保護者

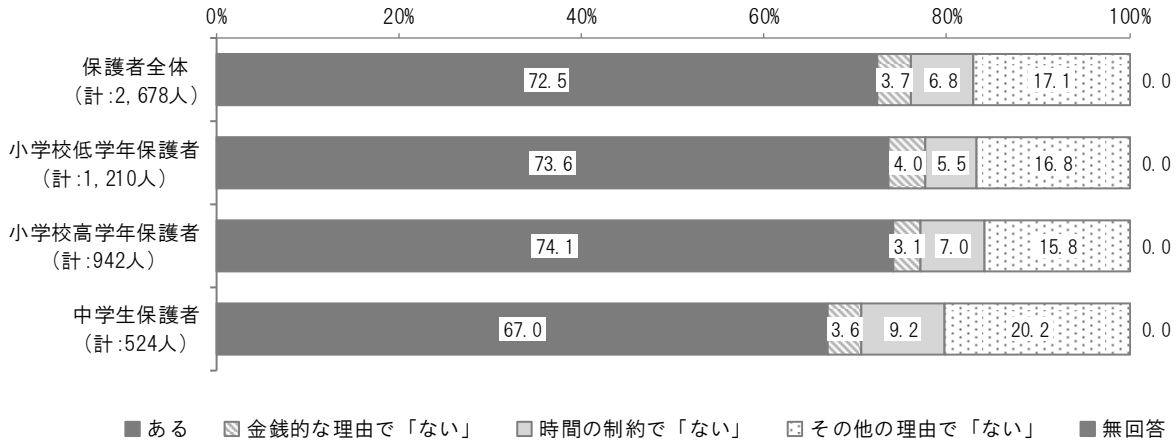


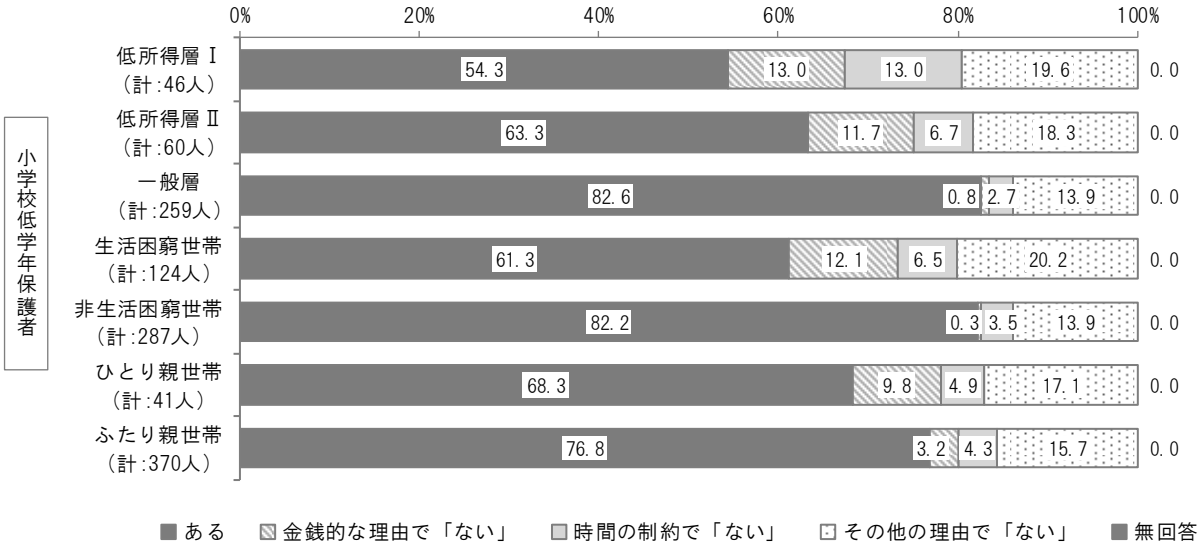
中学生保護者

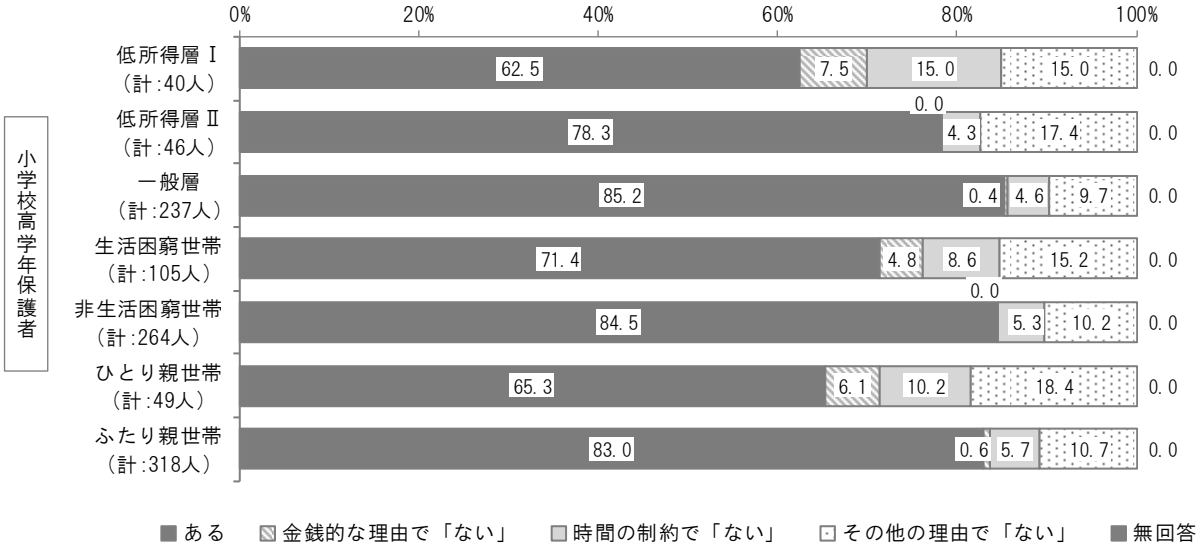


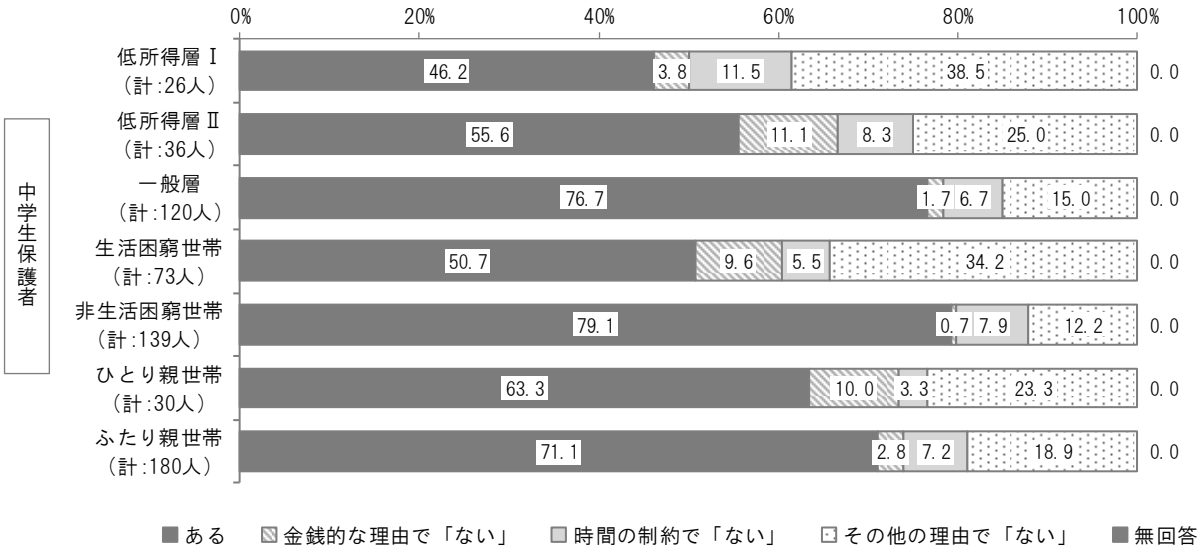
② 博物館・科学館・美術館などに行く

- ◆ 博物館・科学館・美術館などに行くことがあるかとたずねたところ、保護者全体では「ある」と回答した保護者の割合が最も高く、72.5%となっています。次いで、「その他の理由で「ない」」（17.1%）、「時間の制約で「ない」」（6.8%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



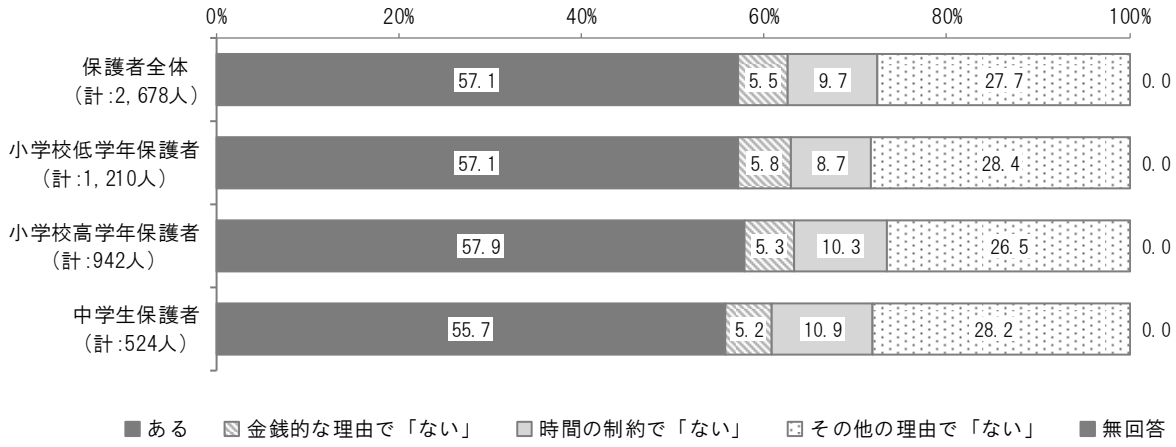

小学校低学年保護者
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:46人）
54.3
13.0
13.0
19.6
0.0
低所得層Ⅱ（計:60人）
63.3
11.7
6.7
18.3
0.0
一般層（計:259人）
82.6
0.8
2.7
13.9
0.0
生活困窮世帯（計:124人）
61.3
12.1
6.5
20.2
0.0
非生活困窮世帯（計:287人）
82.2
0.3
3.5
13.9
0.0
ひとり親世帯（計:41人）
68.3
9.8
4.9
17.1
0.0
ふたり親世帯（計:370人）
76.8
3.2
4.3
15.7
0.0
ある
金銭的な理由で「ない」
時間の制約で「ない」
その他の理由で「ない」
無回答

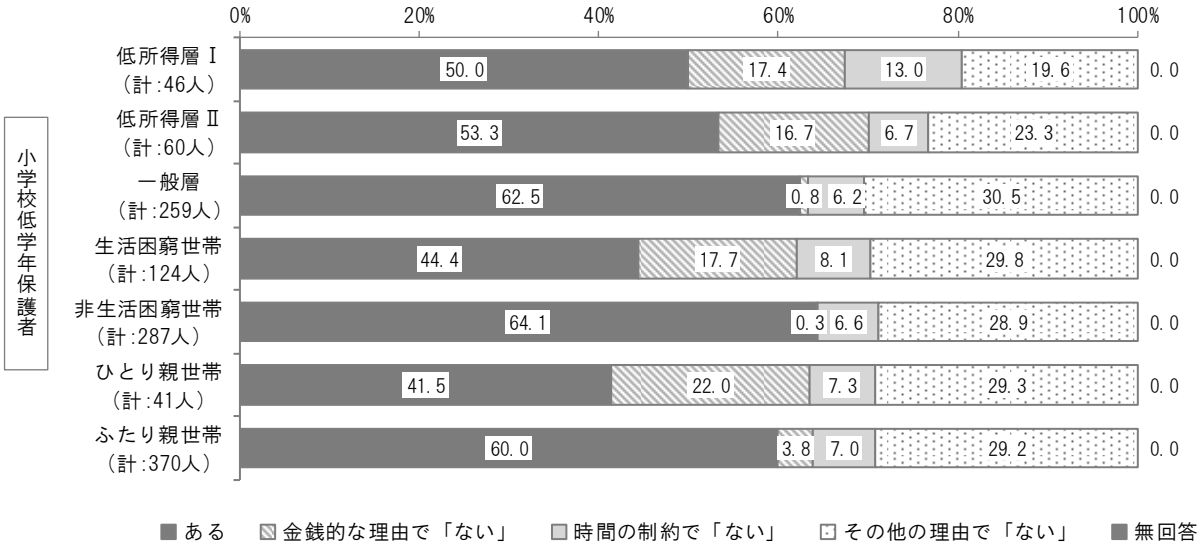

小学校高学年保護者
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:40人）
62.5
7.5
15.0
15.0
0.0
低所得層Ⅱ（計:46人）
78.3
0.0
4.3
17.4
0.0
一般層（計:237人）
85.2
0.4
4.6
9.7
0.0
生活困窮世帯（計:105人）
71.4
4.8
8.6
15.2
0.0
非生活困窮世帯（計:264人）
84.5
0.0
5.3
10.2
0.0
ひとり親世帯（計:49人）
65.3
6.1
10.2
18.4
0.0
ふたり親世帯（計:318人）
83.0
0.6
5.7
10.7
0.0
ある
金銭的な理由で「ない」
時間の制約で「ない」
その他の理由で「ない」
無回答

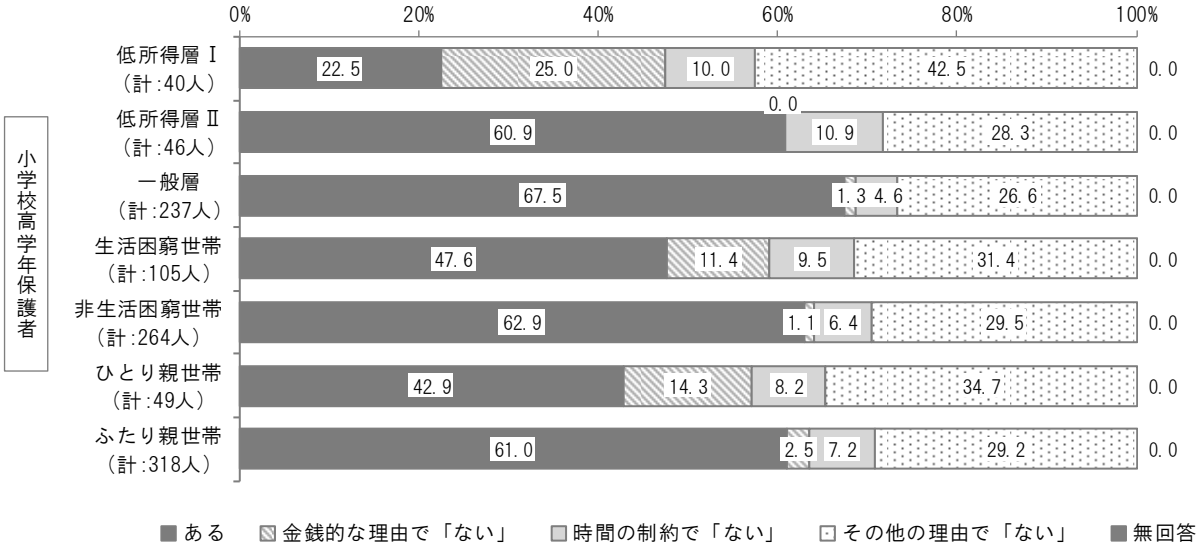

中学生保護者
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
46.2
3.8
11.5
38.5
0.0
低所得層Ⅱ（計:36人）
55.6
11.1
8.3
25.0
0.0
一般層（計:120人）
76.7
1.7
6.7
15.0
0.0
生活困窮世帯（計:73人）
50.7
9.6
5.5
34.2
0.0
非生活困窮世帯（計:139人）
79.1
0.7
7.9
12.2
0.0
ひとり親世帯（計:30人）
63.3
10.0
3.3
23.3
0.0
ふたり親世帯（計:180人）
71.1
2.8
7.2
18.9
0.0
ある
金銭的な理由で「ない」
時間の制約で「ない」
その他の理由で「ない」
無回答

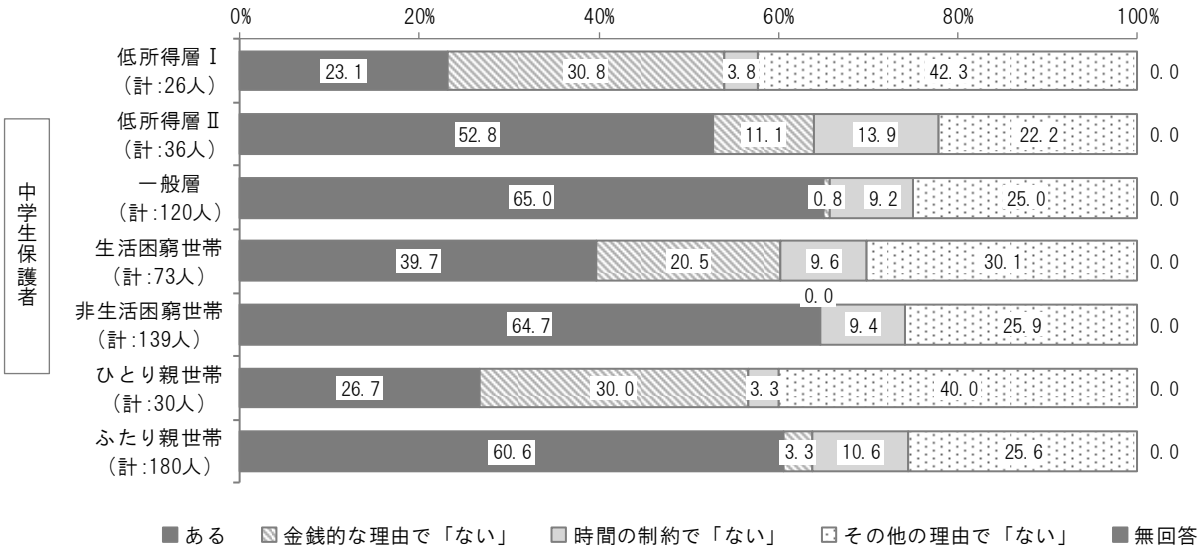
③　キャンプやバーベキューに行く

- ◆　キャンプやバーベキューに行くことがあるかとたずねたところ、保護者全体では「ある」と回答した保護者の割合が最も高く、57.1%となっています。次いで、「その他の理由で「ない」」（27.7%）、「時間の制約で「ない」」（9.7%）となっています。
- ◆　小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆　小学校高学年では、低所得層Ⅰを除き全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆　中学生では、全体の傾向と異なり、「金銭的な理由でない」と回答した保護者の割合も高くなっています。また、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



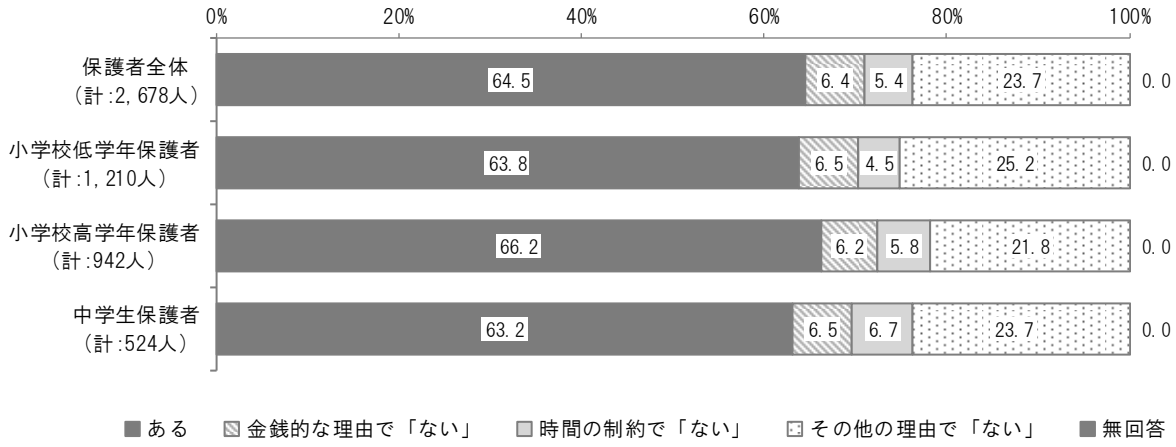

小学校低学年保護者
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:46人）
50.0
17.4
13.0
19.6
0.0
低所得層Ⅱ（計:60人）
53.3
16.7
6.7
23.3
0.0
一般層（計:259人）
62.5
0.8
6.2
30.5
0.0
生活困窮世帯（計:124人）
44.4
17.7
8.1
29.8
0.0
非生活困窮世帯（計:287人）
64.1
0.3
6.6
28.9
0.0
ひとり親世帯（計:41人）
41.5
22.0
7.3
29.3
0.0
ふたり親世帯（計:370人）
60.0
3.8
7.0
29.2
0.0
ある
金銭的な理由で「ない」
時間の制約で「ない」
その他の理由で「ない」
無回答


小学校高学年保護者
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:40人）
22.5
25.0
10.0
42.5
0.0
低所得層Ⅱ（計:46人）
0.0
60.9
10.9
28.3
0.0
一般層（計:237人）
67.5
1.3
4.6
26.6
0.0
生活困窮世帯（計:105人）
47.6
11.4
9.5
31.4
0.0
非生活困窮世帯（計:264人）
62.9
1.1
6.4
29.5
0.0
ひとり親世帯（計:49人）
42.9
14.3
8.2
34.7
0.0
ふたり親世帯（計:318人）
61.0
2.5
7.2
29.2
0.0
ある
金銭的な理由で「ない」
時間の制約で「ない」
その他の理由で「ない」
無回答

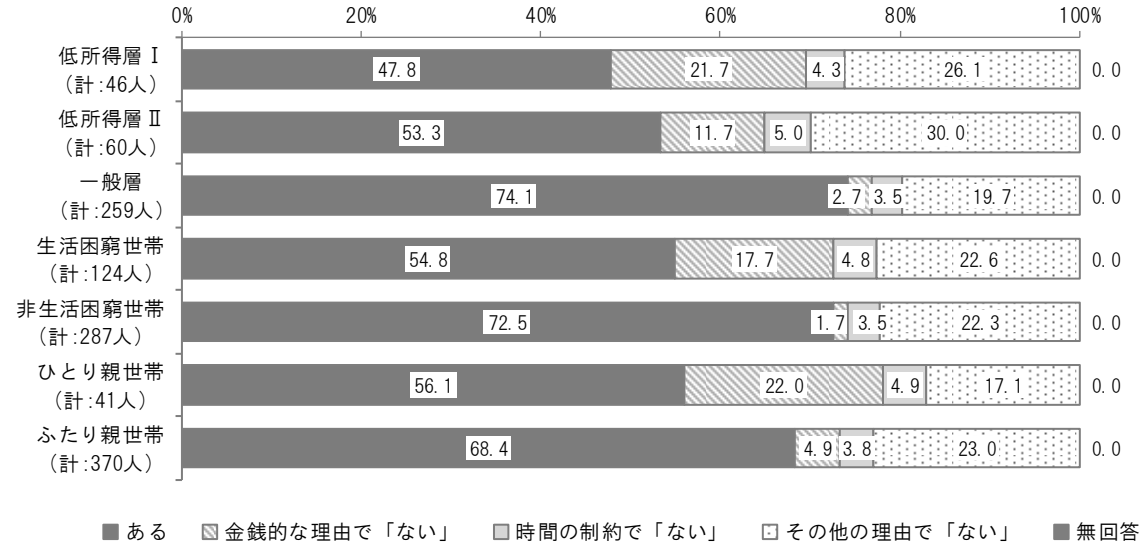

中学生保護者
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
23.1
30.8
3.8
42.3
0.0
低所得層Ⅱ（計:36人）
52.8
11.1
13.9
22.2
0.0
一般層（計:120人）
65.0
0.8
9.2
25.0
0.0
生活困窮世帯（計:73人）
39.7
20.5
9.6
30.1
0.0
非生活困窮世帯（計:139人）
0.0
64.7
9.4
25.9
0.0
ひとり親世帯（計:30人）
26.7
30.0
3.3
40.0
0.0
ふたり親世帯（計:180人）
60.6
3.3
10.6
25.6
0.0
ある
金銭的な理由で「ない」
時間の制約で「ない」
その他の理由で「ない」
無回答

④　スポーツ観戦や劇場に行く

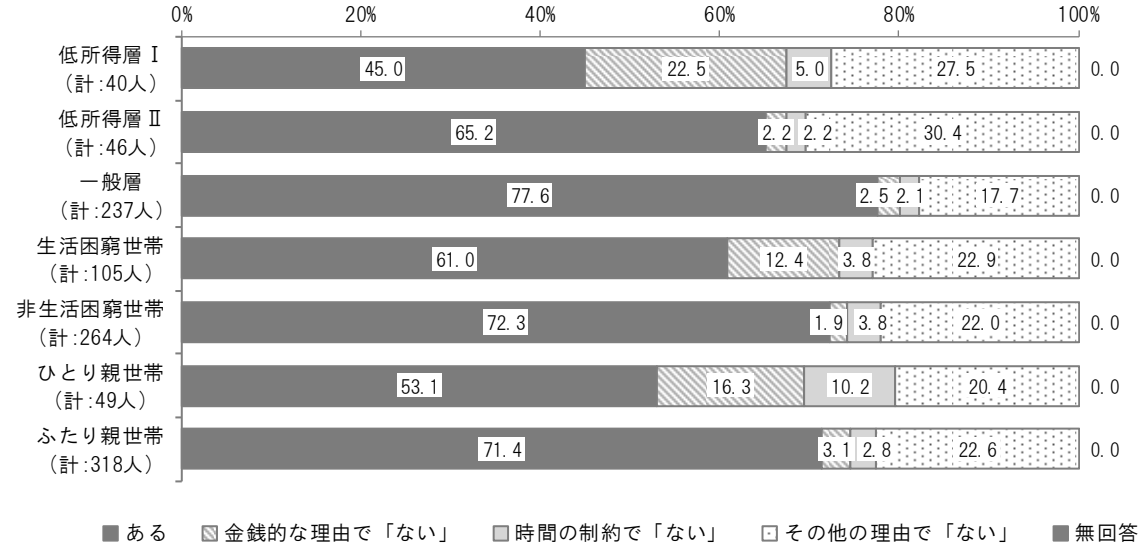
- ◆　スポーツ観戦や劇場に行くことがあるかとたずねたところ、保護者全体では「ある」と回答した保護者の割合が最も高く、64.5%となっています。次いで、「その他の理由で「ない」」（23.7%）、「金銭的な理由で「ない」」（6.4%）となっています。
- ◆　小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆　小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆　中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



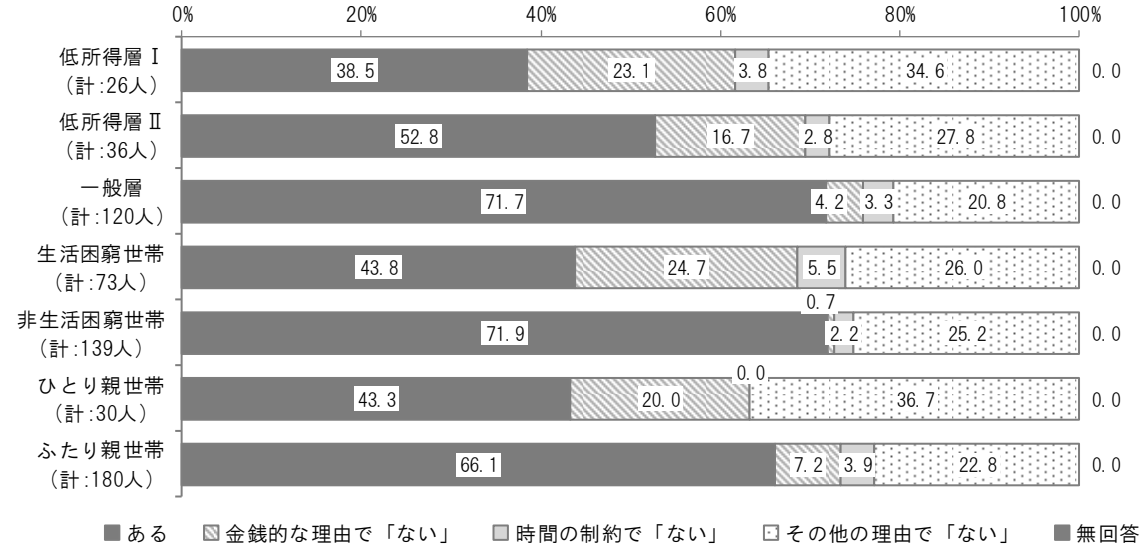
小学校低学年保護者



小学校高学年保護者

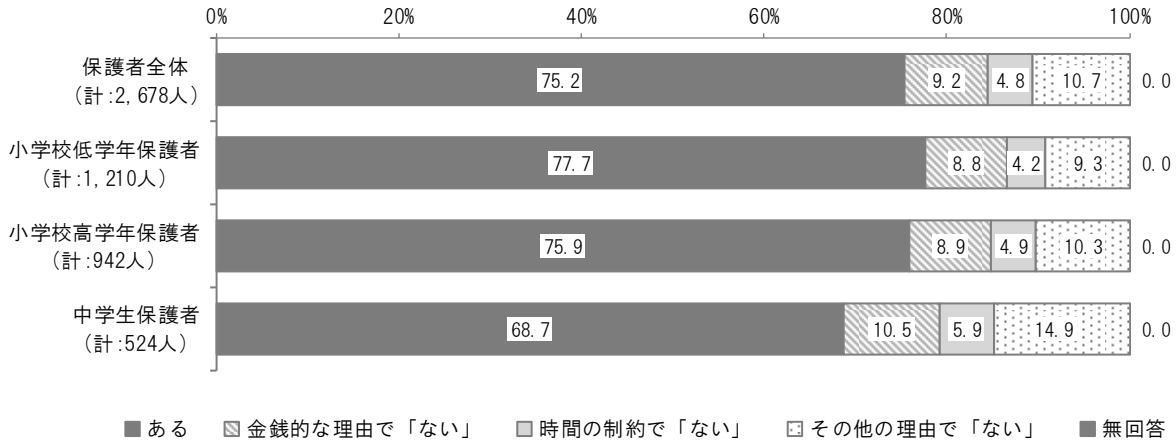


中学生保護者

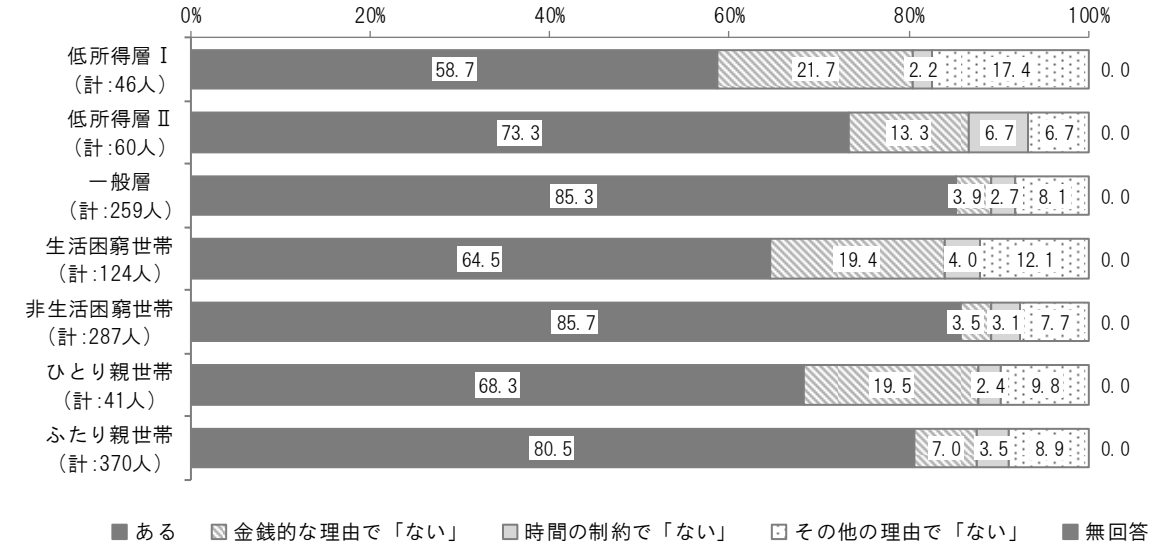


⑤　遊園地やテーマパークに行く

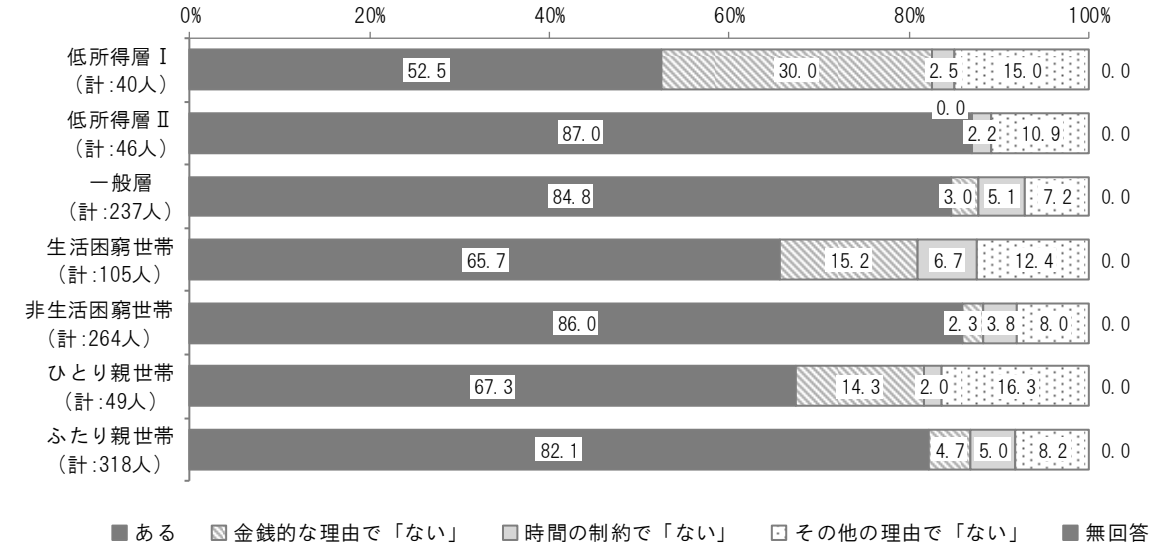
- ◆　遊園地やテーマパークに行くことがあるかとたずねたところ、保護者全体では「ある」と回答した保護者の割合が最も高く、75.2%となっています。次いで、「その他の理由で「ない」」（10.7%）、「金銭的な理由で「ない」」（9.2%）となっています。
- ◆　小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆　小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆　中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



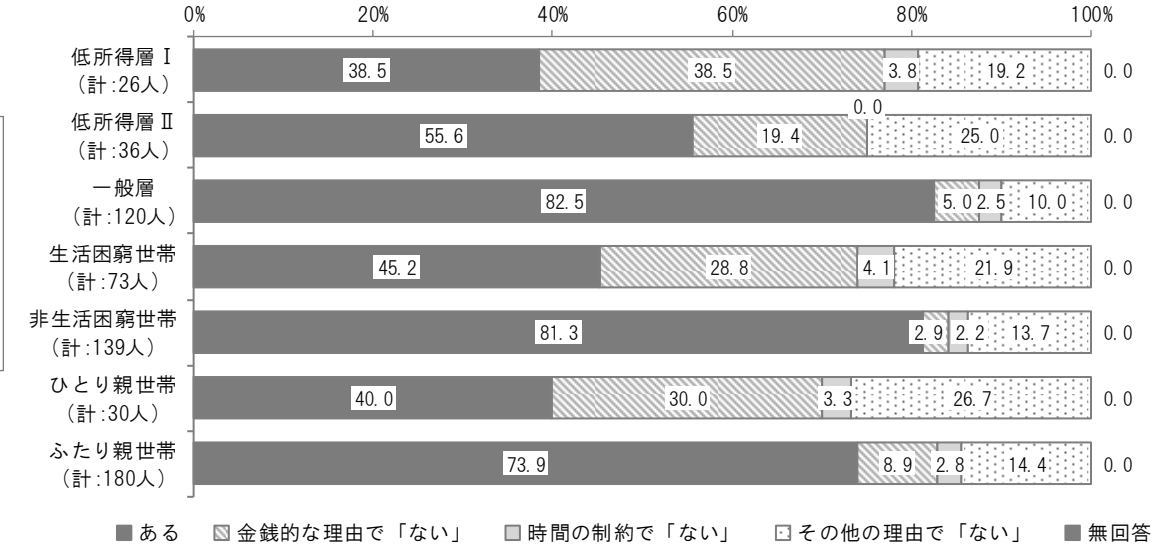
小学校低学年保護者



小学校高学年保護者

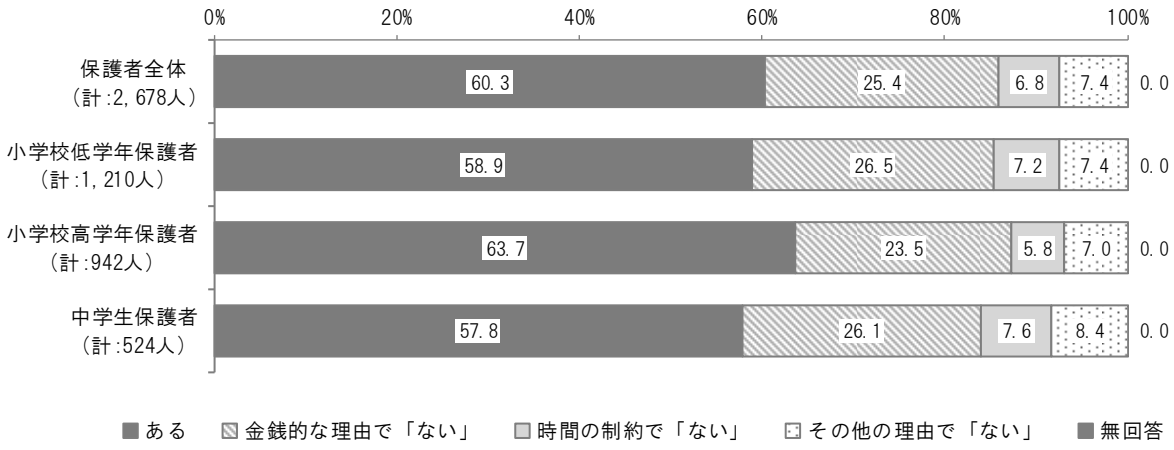


中学生保護者

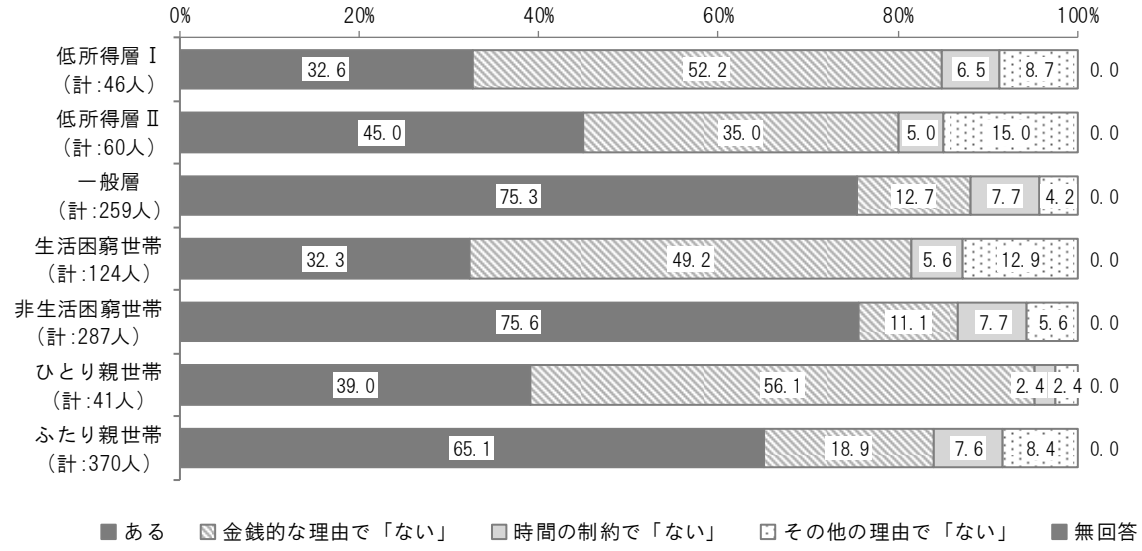


⑥　県外への旅行に行く

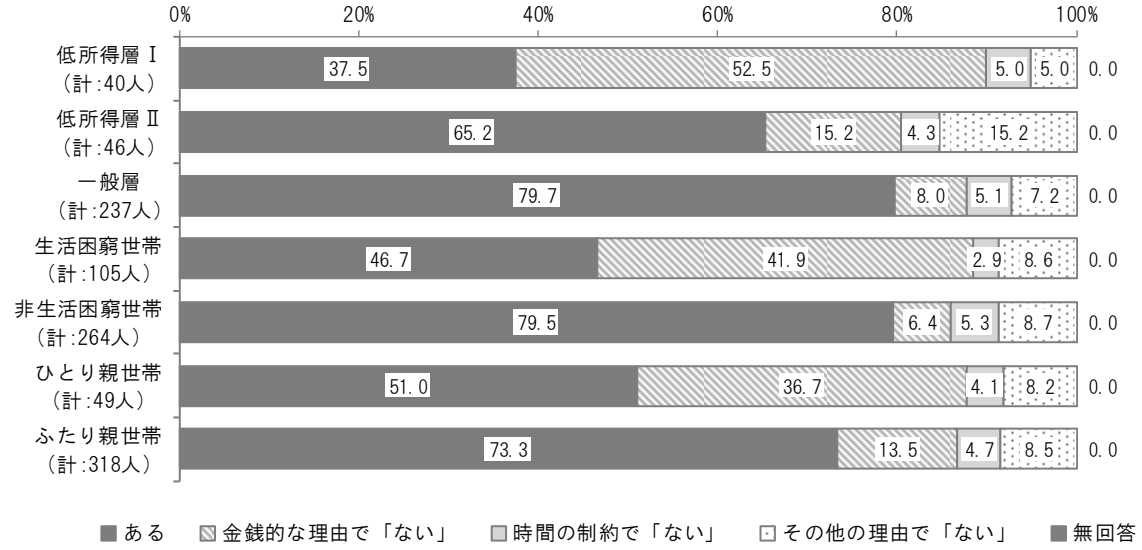
- ◆ 県外への旅行に行くことがあるかとたずねたところ、保護者全体では「ある」と回答した保護者の割合が最も高く、60.3%となっています。次いで、「金銭的な理由で「ない」」（25.4%）、「その他の理由で「ない」」（7.4%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっていますが、「金銭的な理由でない」と回答した保護者の割合も一部の困窮分類において高くなっています。また、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、低所得層Ⅰを除き全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「ある」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、全体の傾向と異なり、「金銭的な理由でない」と回答した保護者の割合が高くなっています。低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「ある」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



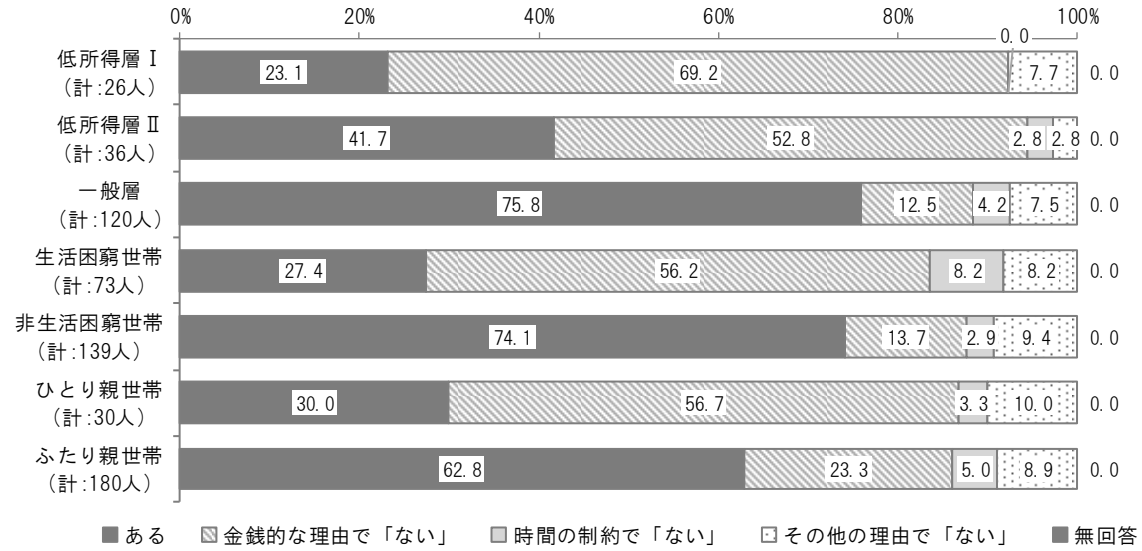
小学校低学年保護者



小学校高学年保護者



中学生保護者

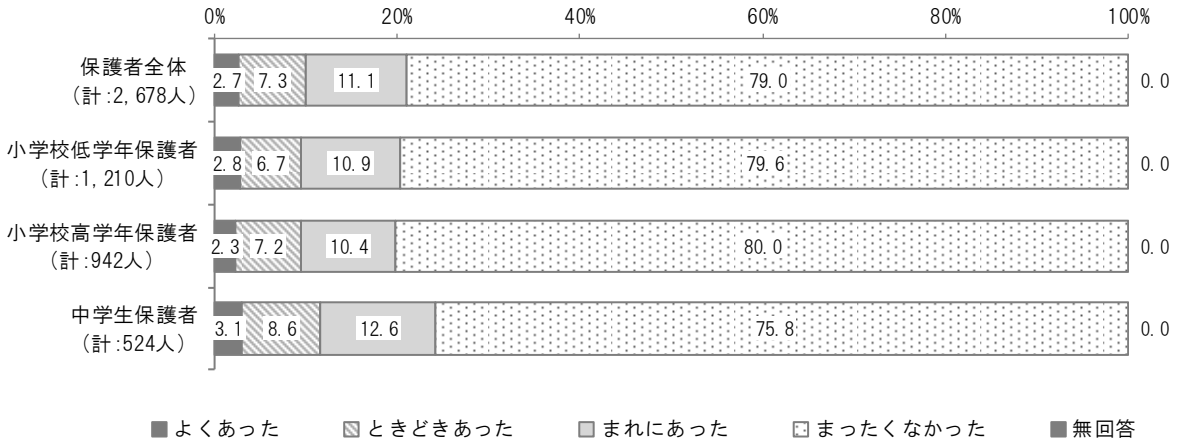


（６）食料・衣服が買えなかった経験

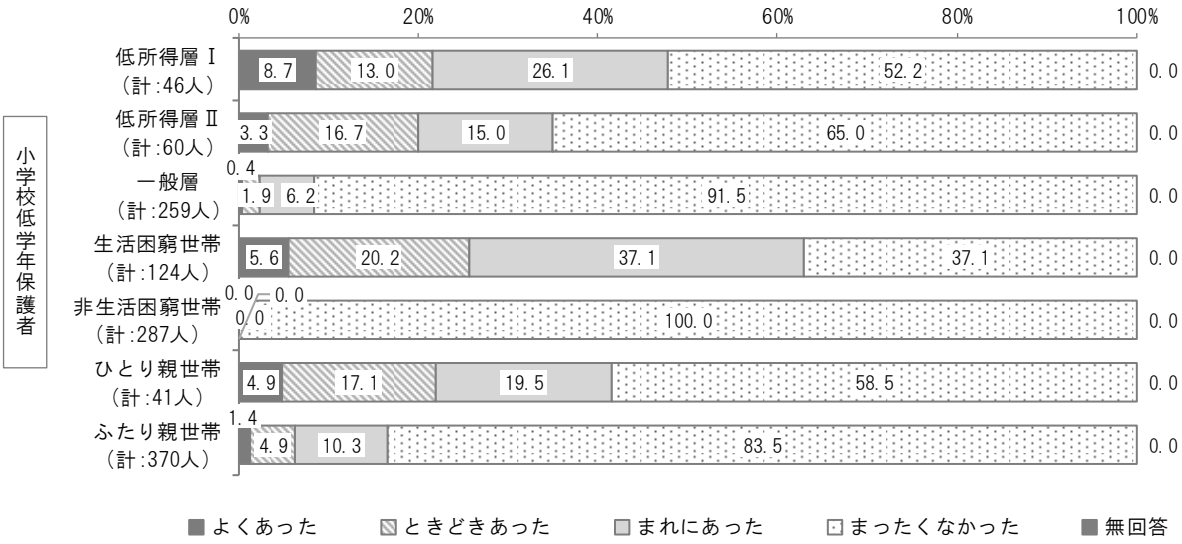
＜保護者票＞問 20　あなたの世帯では、過去１年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。（①と②それぞれについて、あてはまるもの１つに○）

①　食料が買えなかった経験

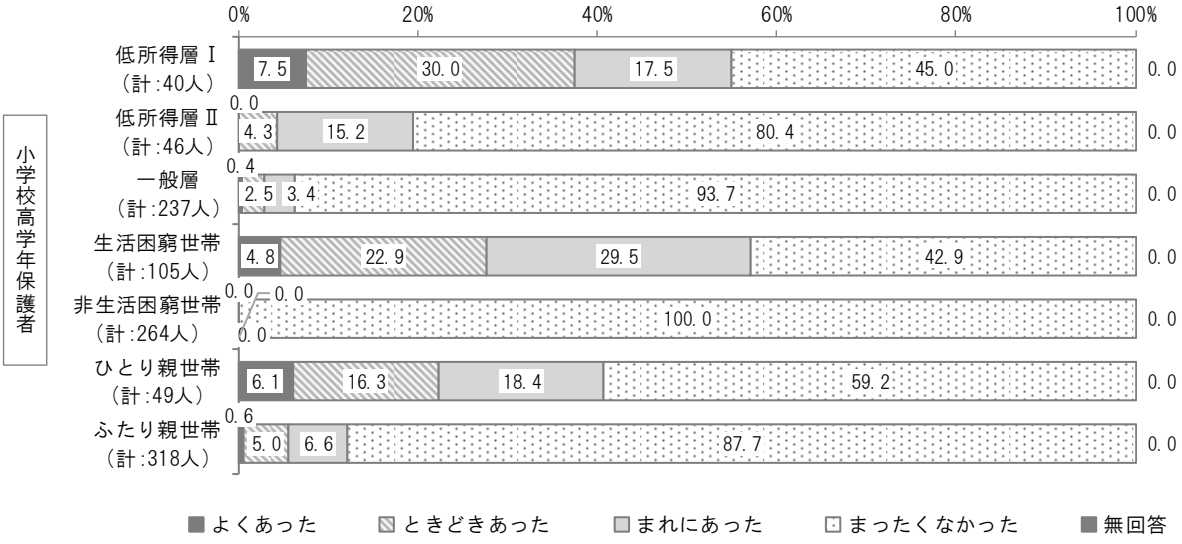
- ◆ 過去１年の間に、食料が買えなかった経験はあるかとたずねたところ、保護者全体では「まったくなかった」と回答した保護者の割合が最も高く、79.0%となっています。次いで、「まれにあった」（11.1%）、「ときどきあった」（7.3%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「まったくなかった」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「まったくなかった」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「まったくなかった」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「まったくなかった」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「まったくなかった」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「まったくなかった」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



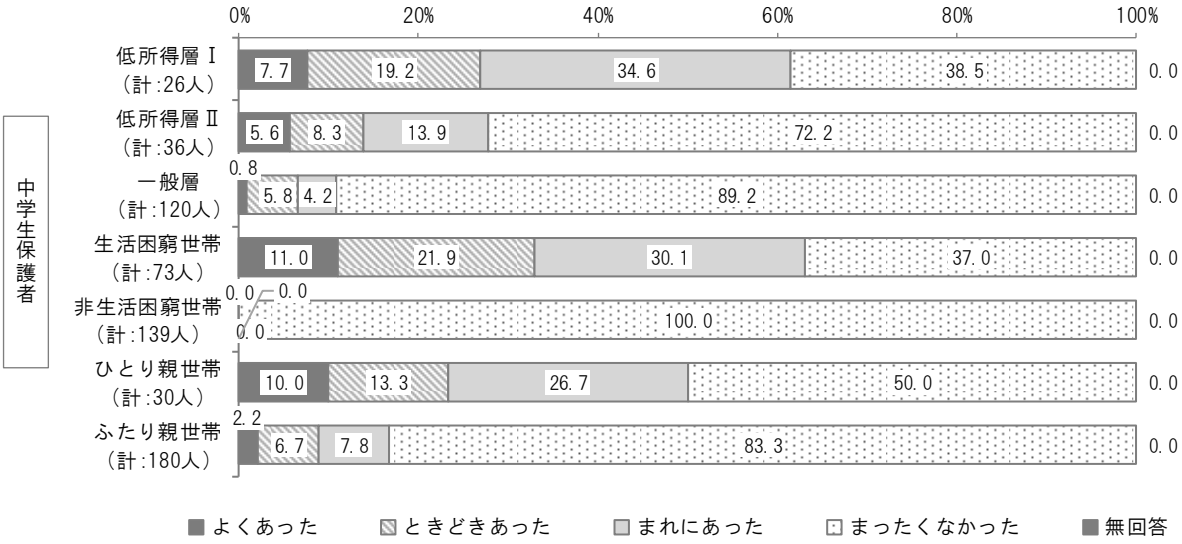
小学校低学年保護者



小学校高学年保護者

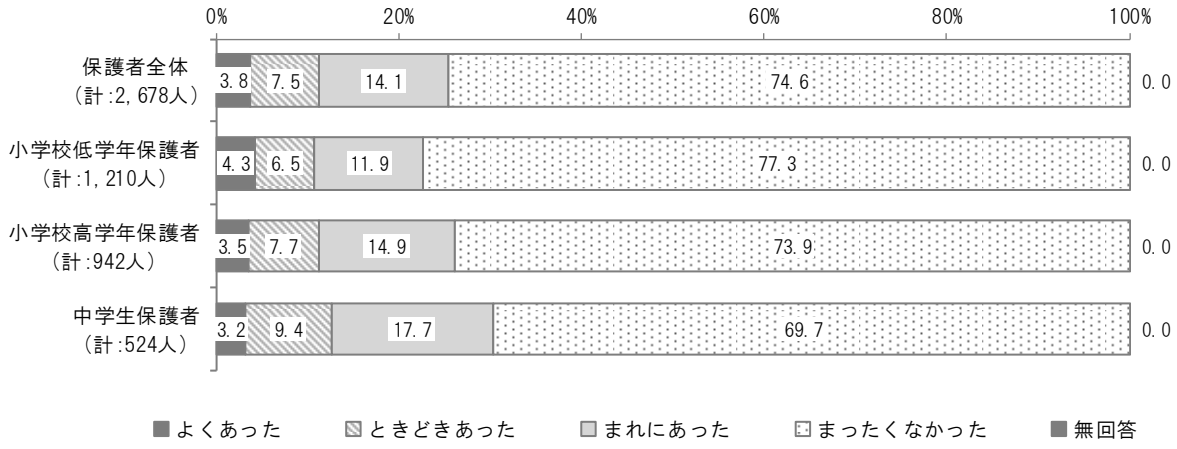


中学生保護者

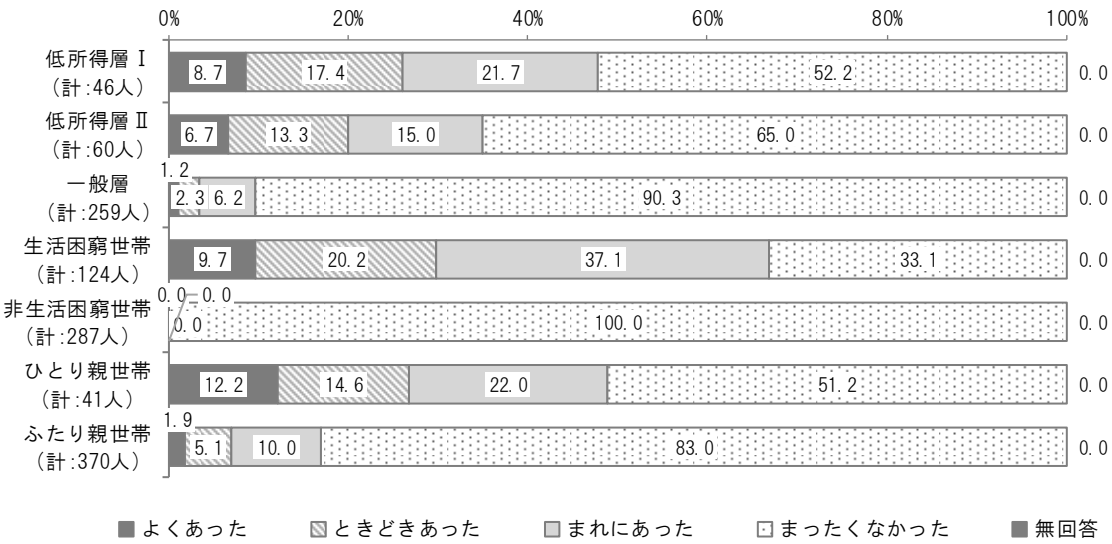


② 衣料が買えなかった経験

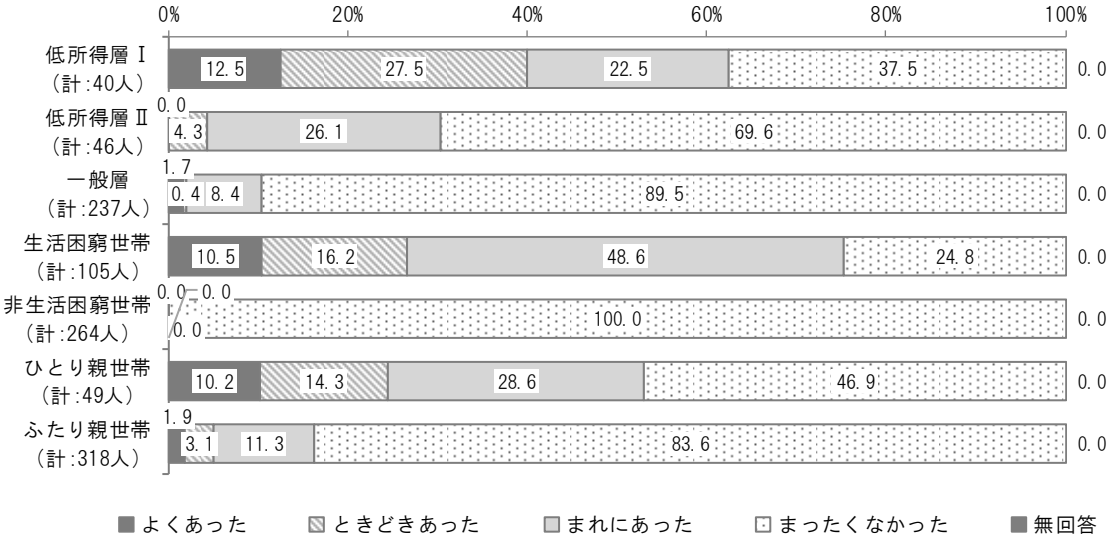
- ◆ 衣料が買えなかった経験があるかとたずねたところ、保護者全体では「まったくなかった」と回答した保護者の割合が最も高く、74.6%となっています。次いで、「まれにあった」（14.1%）、「ときどきあった」（7.5%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、生活困窮世帯を除き全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「まったくなかった」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「まったくなかった」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、生活困窮世帯を除き全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「まったくなかった」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「まったくなかった」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、低所得層Ⅰと生活困窮世帯を除き全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「まったくなかった」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「まったくなかった」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



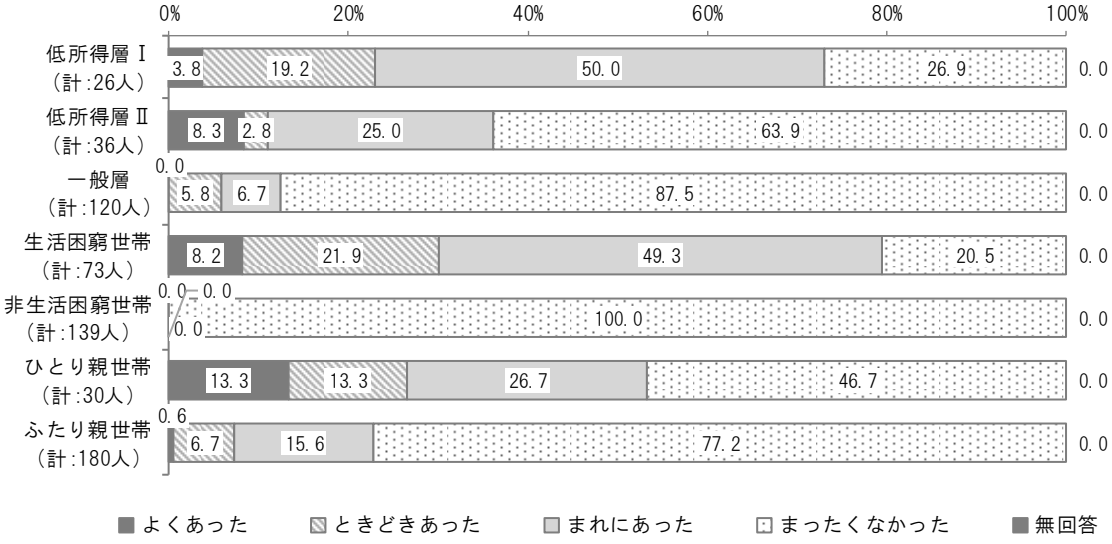
小学校低学年保護者



小学校高学年保護者



中学生保護者



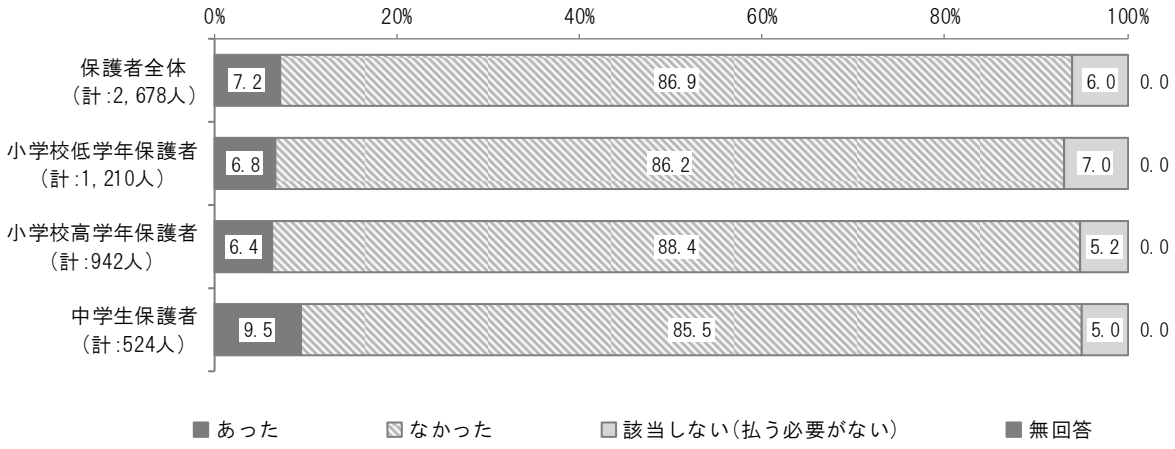
（7）滞納経験

ａ）経済的な理由で月々の料金の支払い、家賃・住宅ローンなどの滞納経験

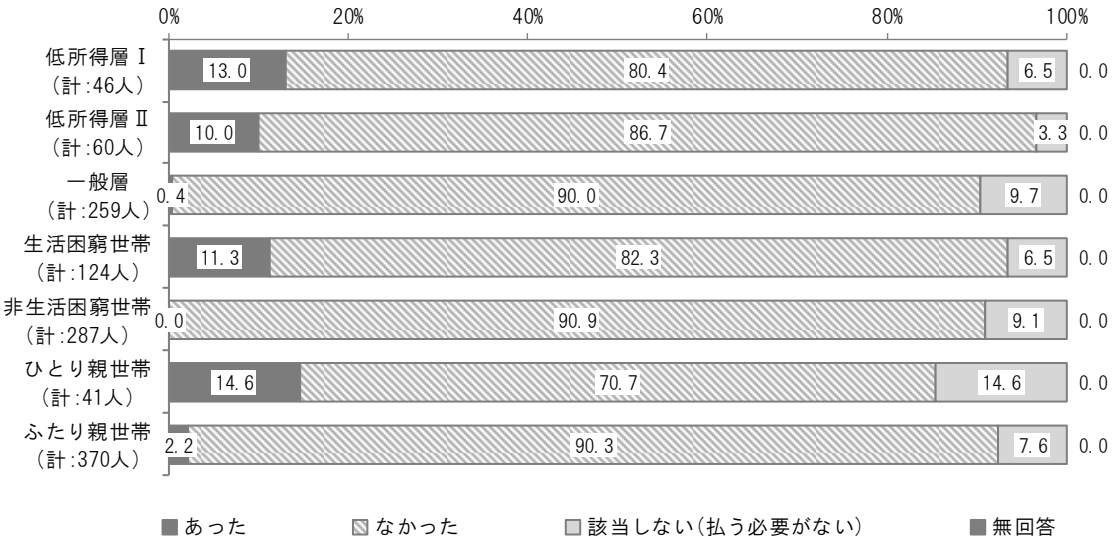
＜保護者票＞問 21　あなたの世帯では、過去１年の間に、経済的な理由で月々の料金の支払い、家賃・住宅ローンなどの滞納、債務の返済ができないことがありましたか。
（①～⑧それぞれについて、あてはまるもの１つに○）

①　電話料金

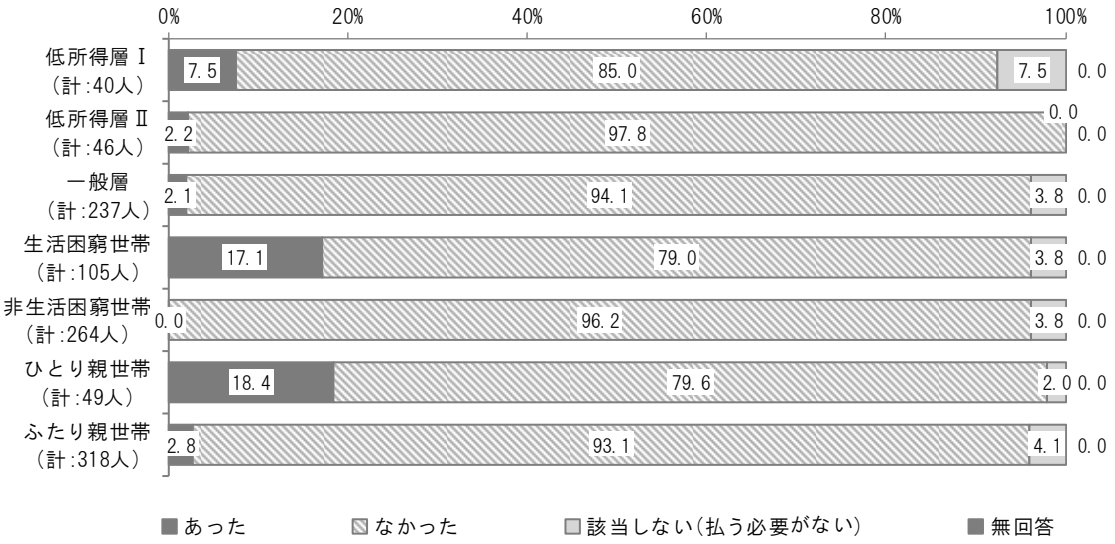
- ◆ 過去１年の間に、経済的な理由で電話料金を滞納したことがあるかとたずねたところ、保護者全体では「なかった」と回答した保護者の割合が最も高く、86.9%となっています。次いで、「あった」(7.2%)、「該当しない(払う必要がない)」(6.0%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「なかった」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「なかった」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「なかった」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「なかった」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「なかった」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「なかった」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



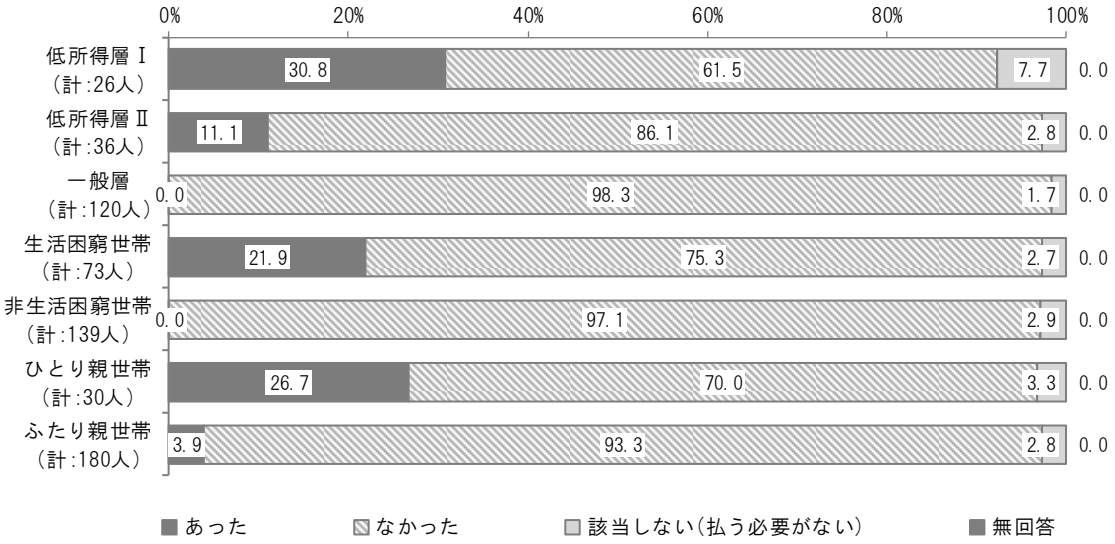
小学校低学年保護者



小学校高学年保護者

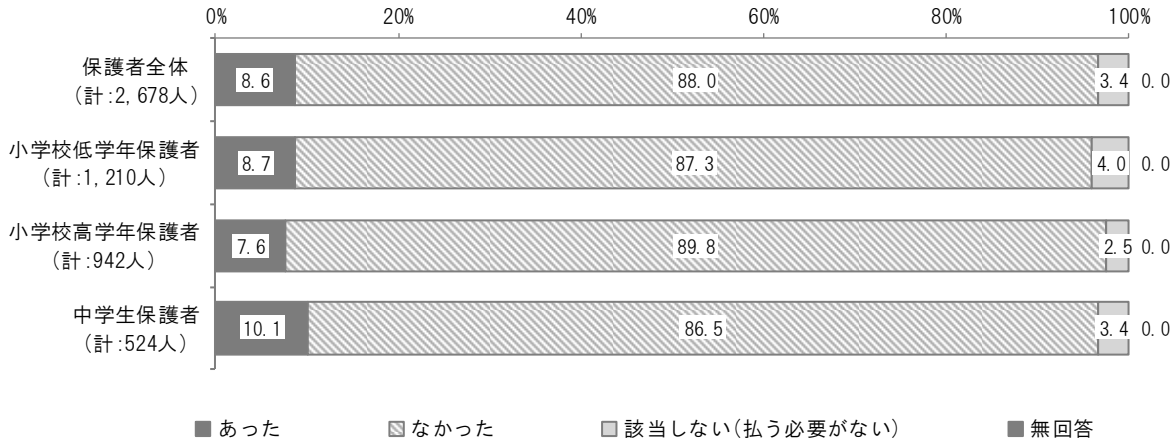


中学生保護者

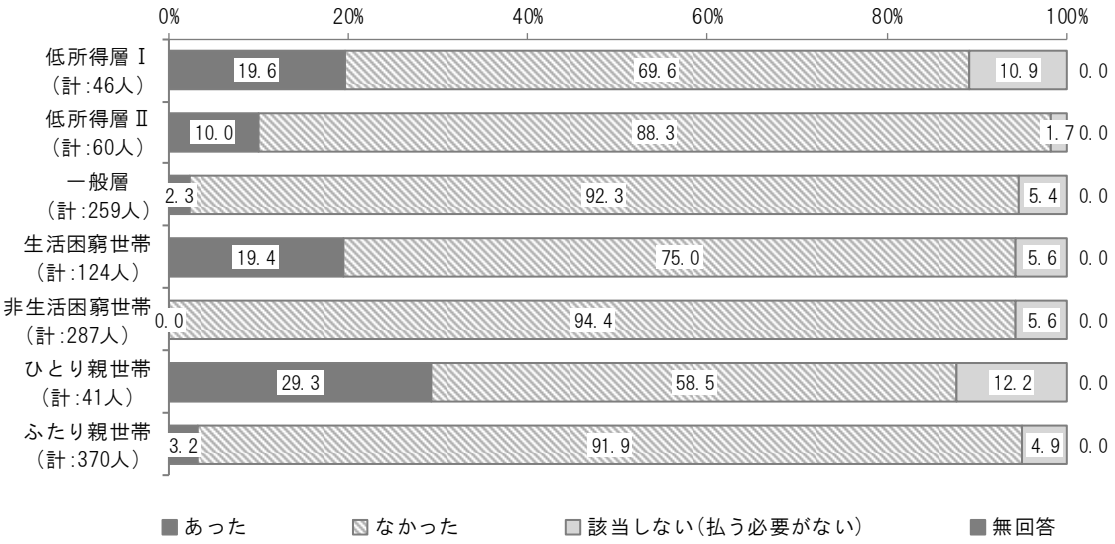


② 電気料金

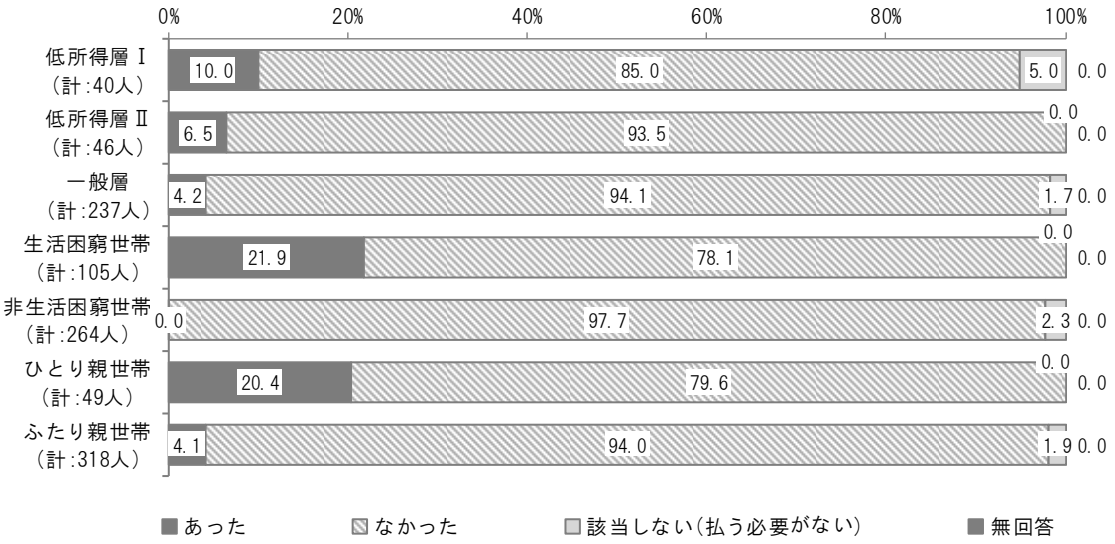
- ◆ 電気料金の滞納について、保護者全体では「なかった」と回答した保護者の割合が最も高く、88.0%となっています。次いで、「あった」(8.6%)、「該当しない(払う必要がない)」(3.4%) となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「なかった」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「なかった」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「なかった」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「なかった」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「なかった」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「なかった」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



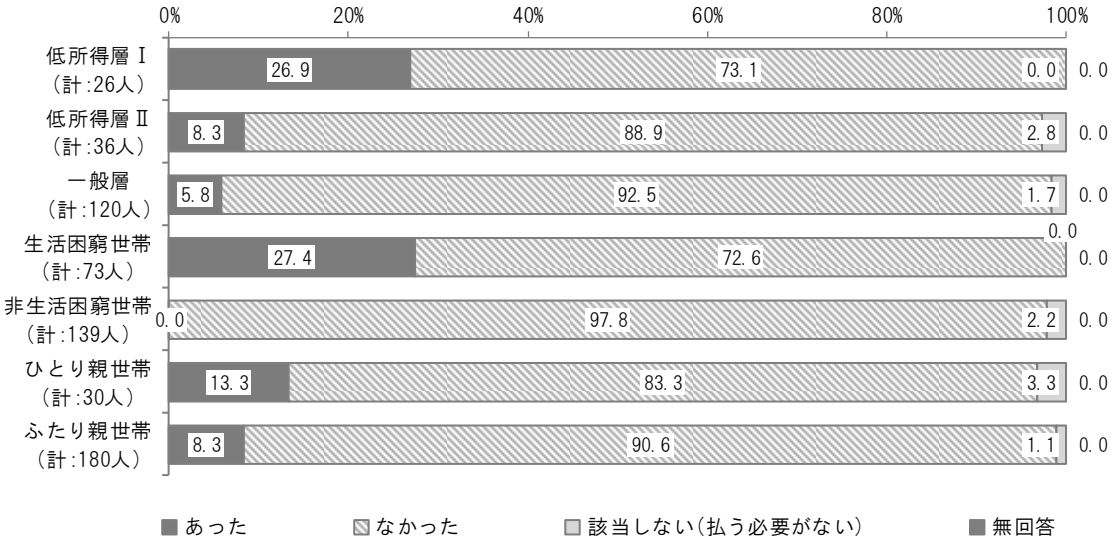
小学校低学年保護者



小学校高学年保護者

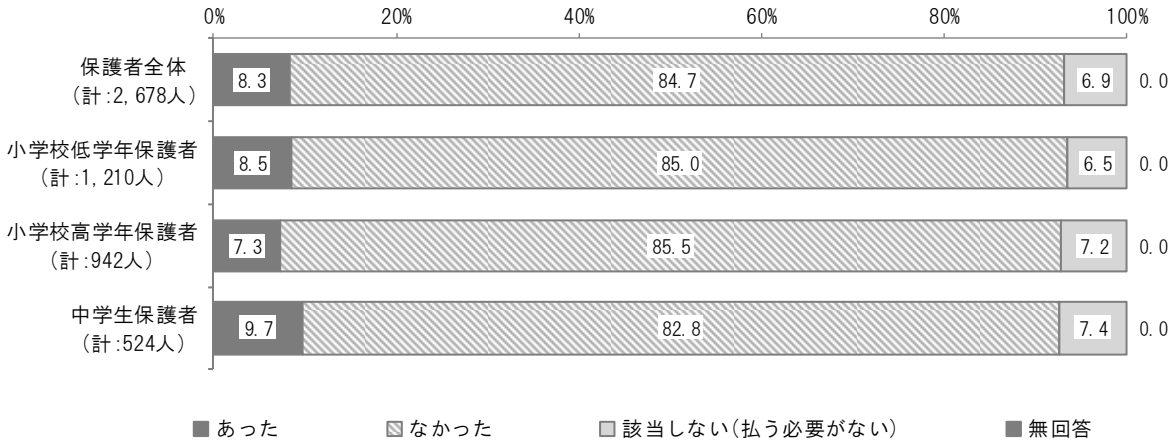


中学生保護者

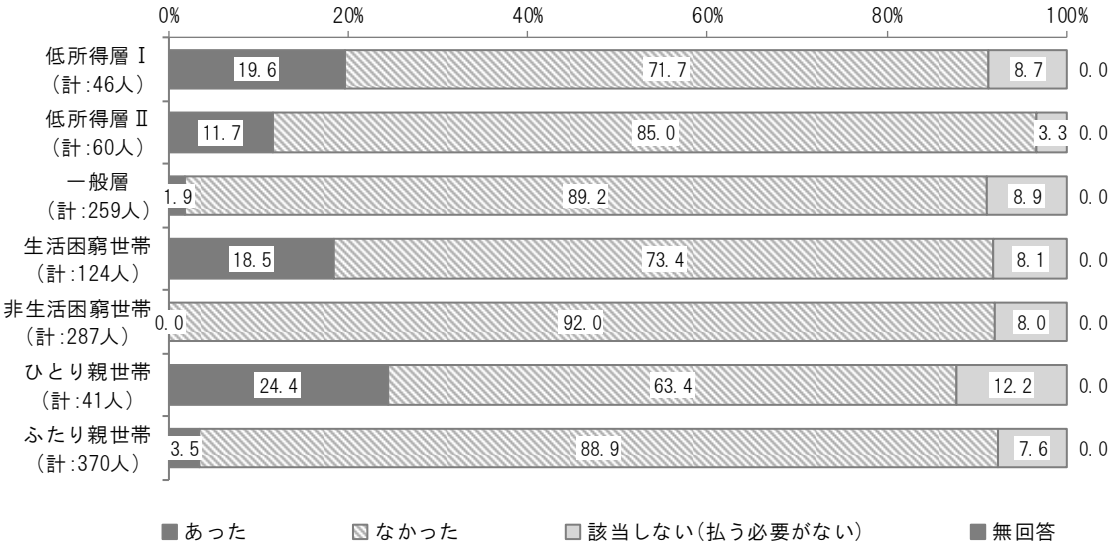


③ガス料金

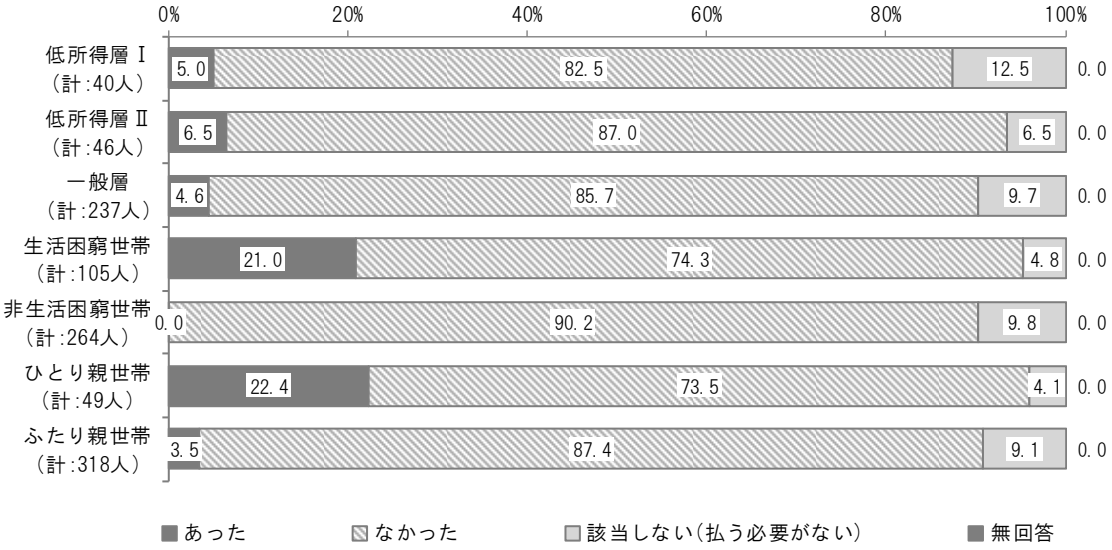
- ◆ ガス料金の滞納について、保護者全体では「なかった」と回答した保護者の割合が最も高く、84.7%となっています。次いで、「あった」(8.3%)、「該当しない(払う必要がない)」(6.9%)となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「なかった」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「なかった」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「なかった」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「なかった」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「なかった」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「なかった」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



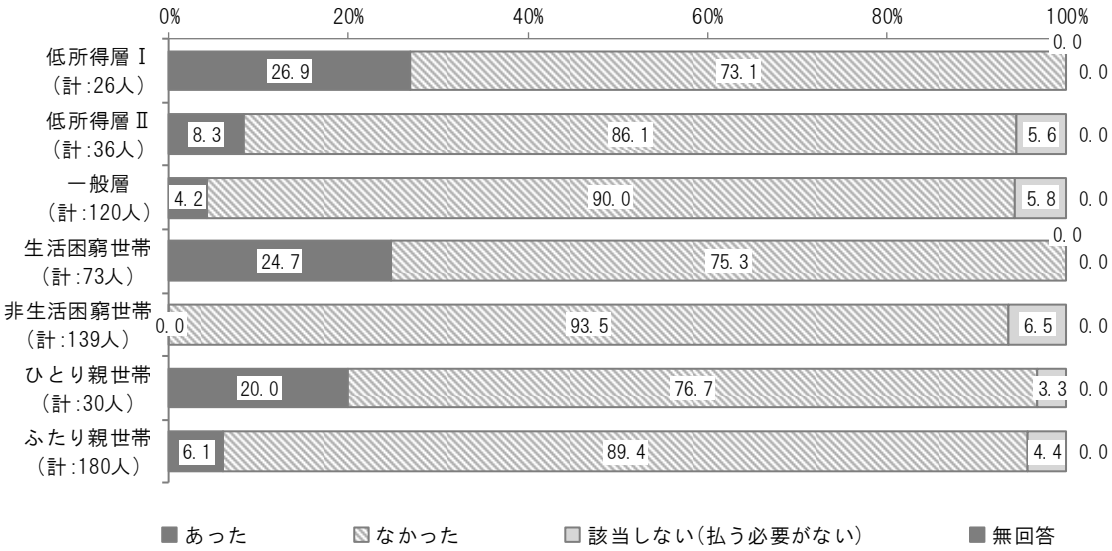
小学校低学年保護者



小学校高学年保護者

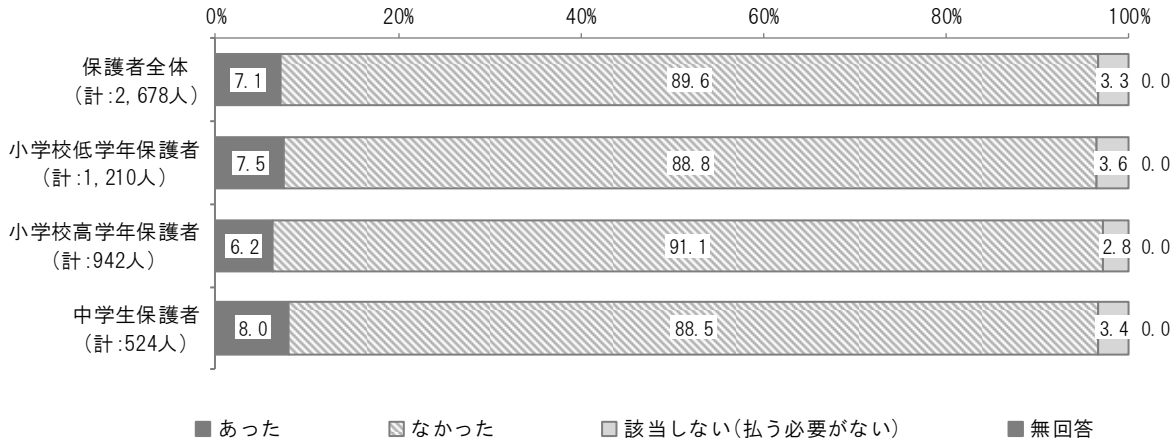


中学生保護者

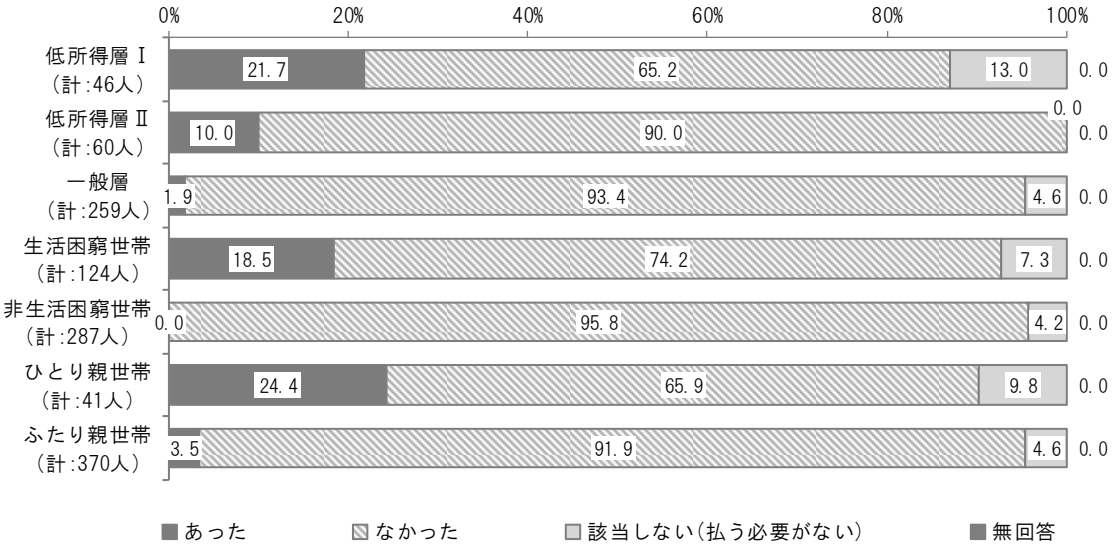


④水道料金

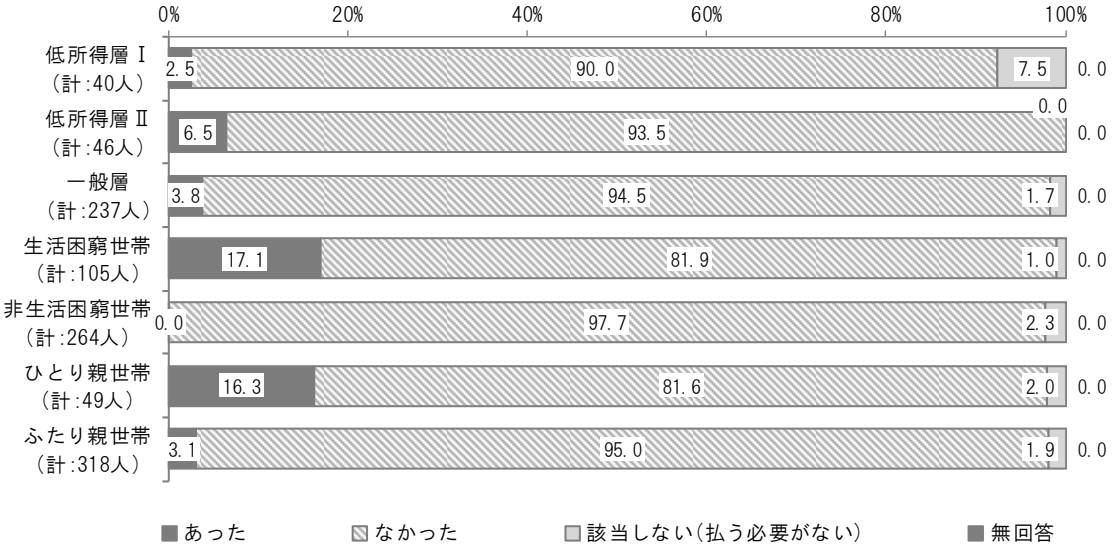
- ◆ 水道料金の滞納について、保護者全体では「なかった」と回答した保護者の割合が最も高く、89.6%となっています。次いで、「あった」(7.1%)、「該当しない(払う必要がない)」(3.3%)となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「なかった」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「なかった」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「なかった」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「なかった」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「なかった」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「なかった」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



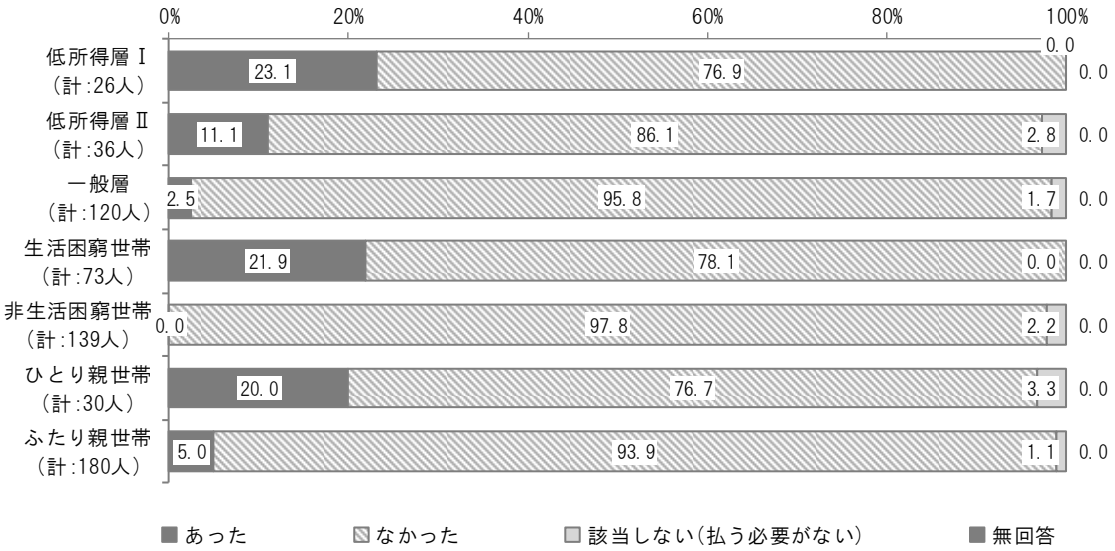
小学校低学年保護者



小学校高学年保護者

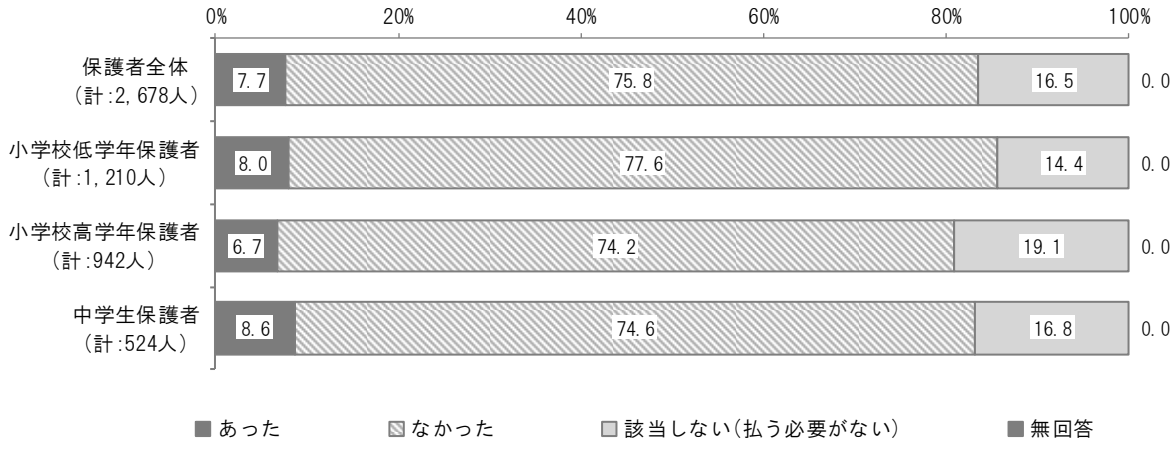


中学生保護者

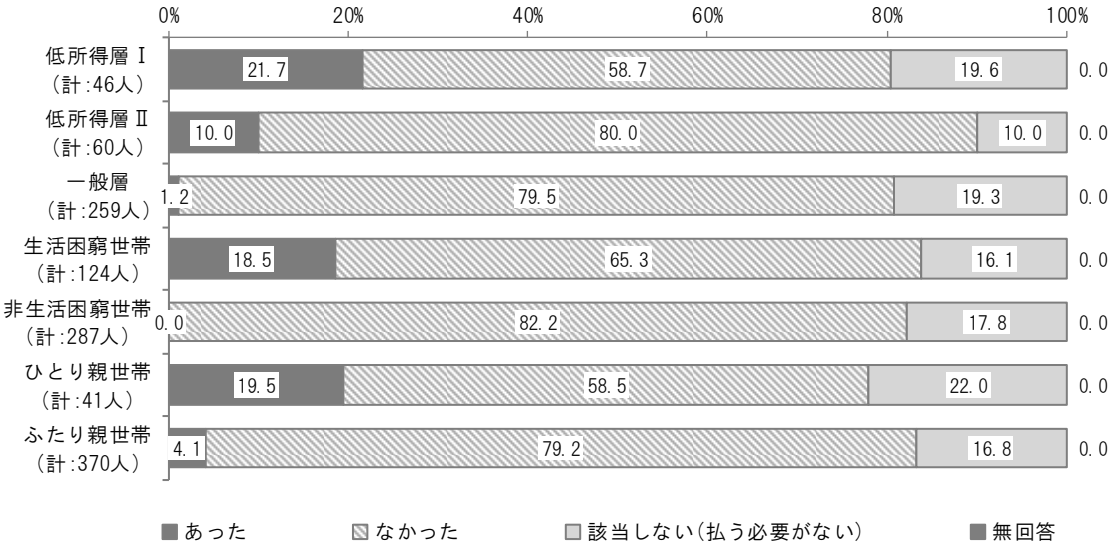


⑤家賃

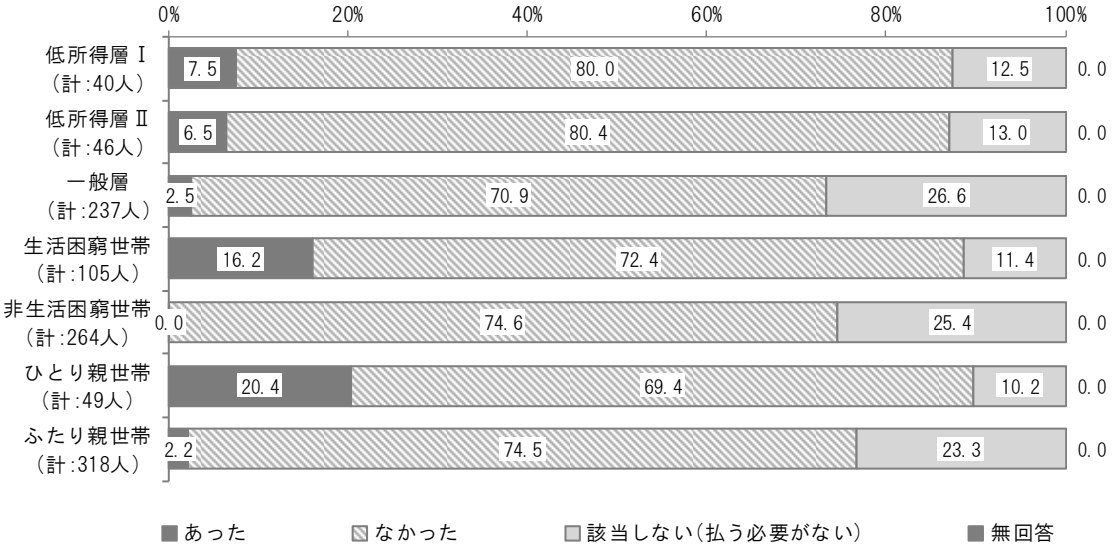
- ◆ 家賃の滞納について、保護者全体では「なかった」と回答した保護者の割合が最も高く、75.8%となっています。次いで、「該当しない(払う必要がない)」(16.5%)、「あった」(7.7%)となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「なかった」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「なかった」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「なかった」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「なかった」と回答した保護者の割合が非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「なかった」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「なかった」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



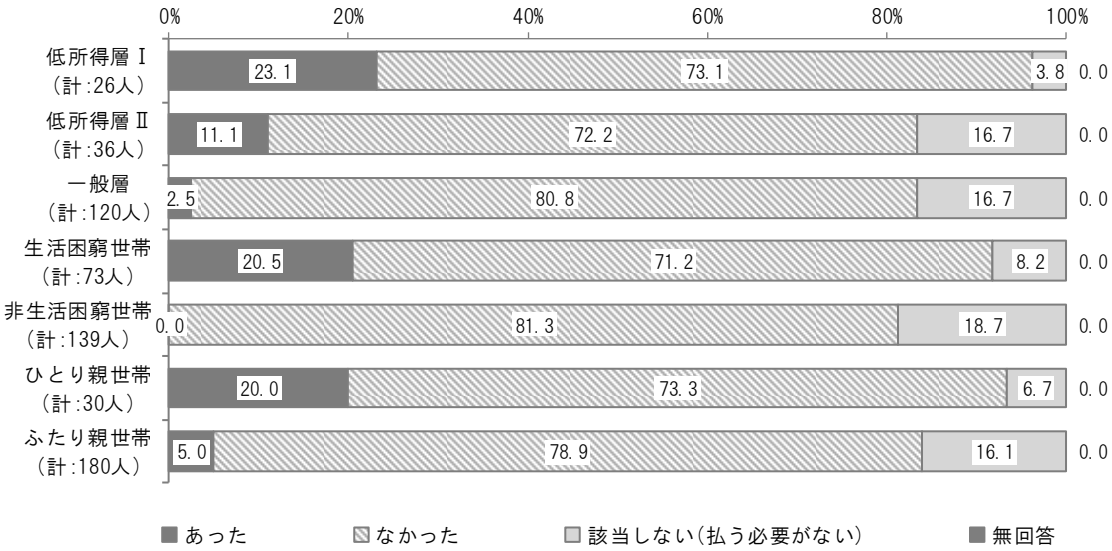
小学校低学年保護者



小学校高学年保護者

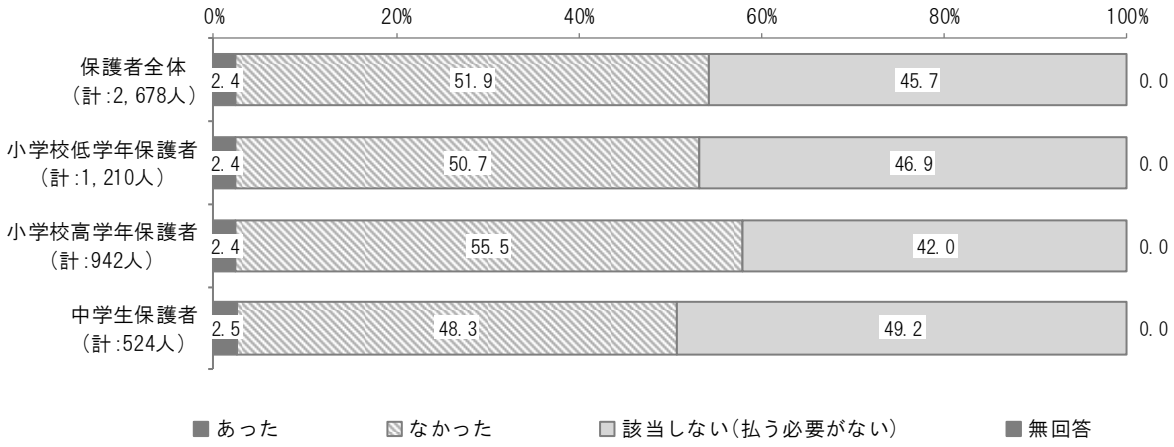


中学生保護者

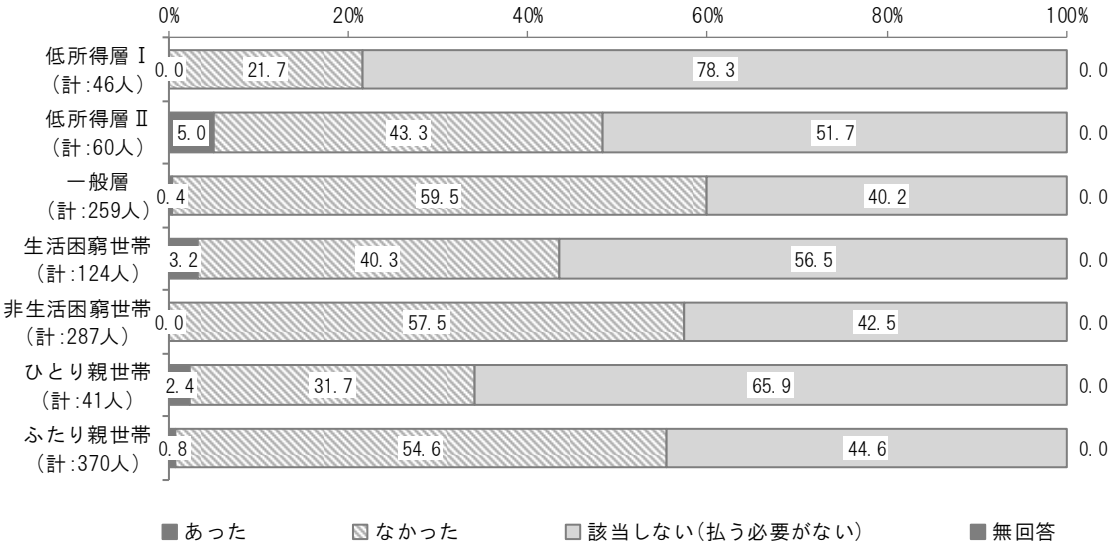


⑥住宅ローン

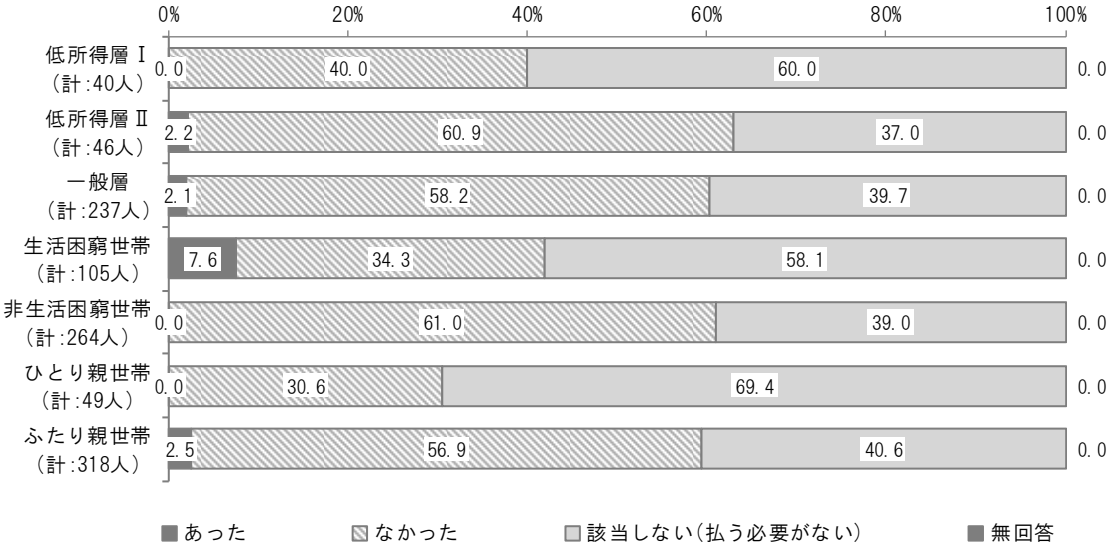
- ◆ 住宅ローンの滞納について、保護者全体では「なかった」と回答した保護者の割合が最も高く、51.9%となっています。次いで、「該当しない(払う必要がない)」(45.7%)、「あった」(2.4%)となっています。
- ◆ 小学校低学年では、困窮分類に関わらず「該当しない(払う必要がない)」と回答した保護者の割合が高くなっています。低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「なかった」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、困窮分類に関わらず「該当しない(払う必要がない)」と回答した保護者の割合が高くなっています。低所得層Ⅰ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「なかった」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、困窮分類に関わらず「該当しない(払う必要がない)」と回答した保護者の割合が高くなっています。低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「なかった」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



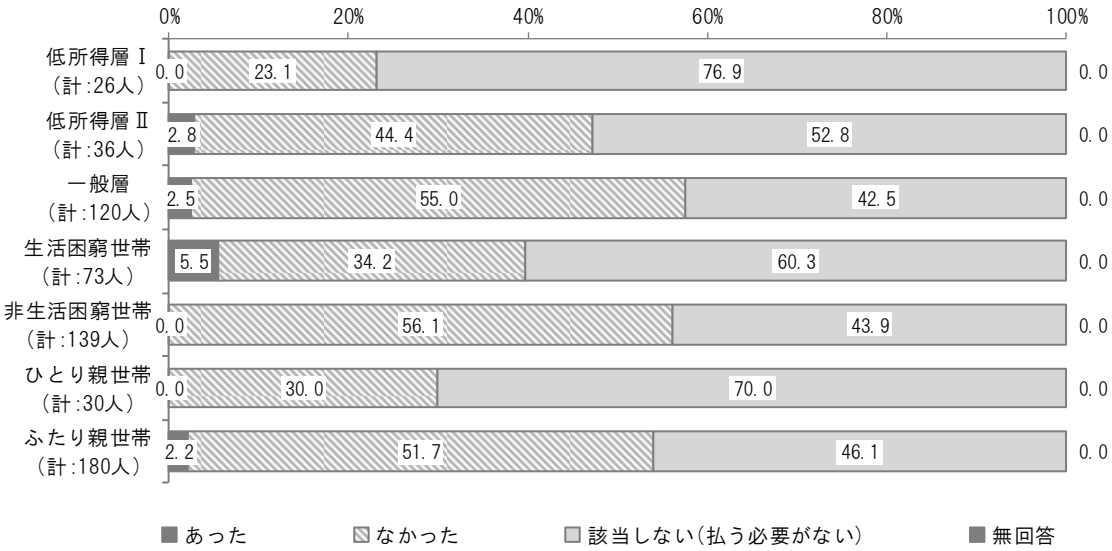
小学校低学年保護者



小学校高学年保護者

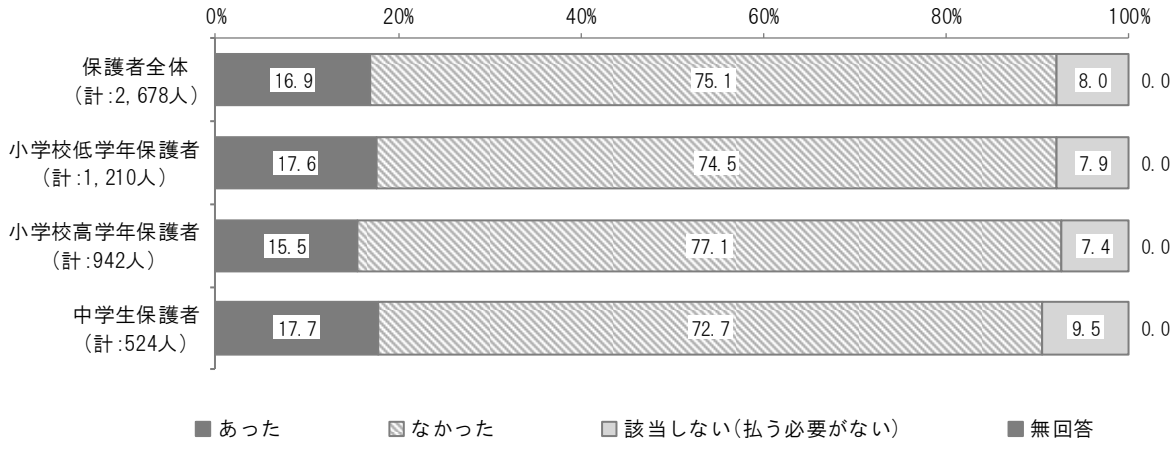


中学生保護者

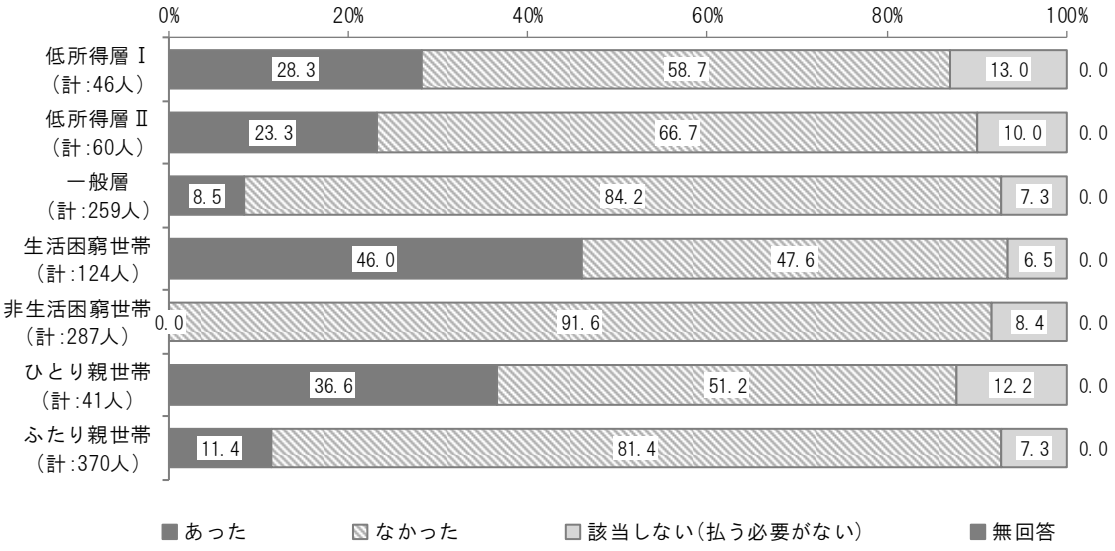


⑦クレジットカードやほかの借金の支払い

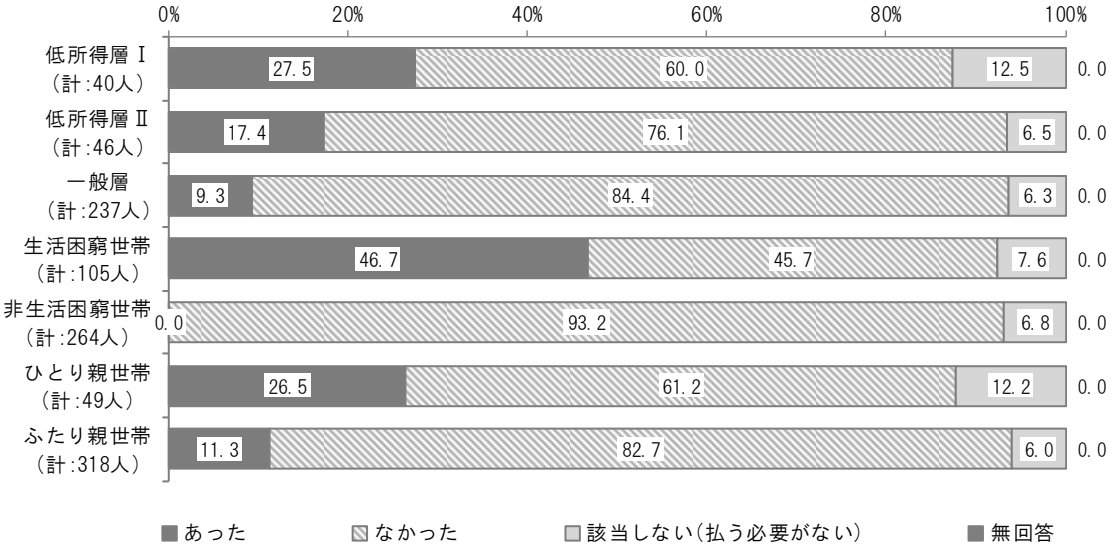
- ◆ クレジットカードやほかの借金の支払いの滞納について、保護者全体では「なかった」と回答した保護者の割合が最も高く、75.1%となっています。次いで、「あった」（16.9%）、「該当しない(払う必要がない)」（8.0%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「なかった」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「なかった」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、生活困窮世帯を除き全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「なかった」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「なかった」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、生活困窮世帯を除き全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「なかった」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「なかった」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



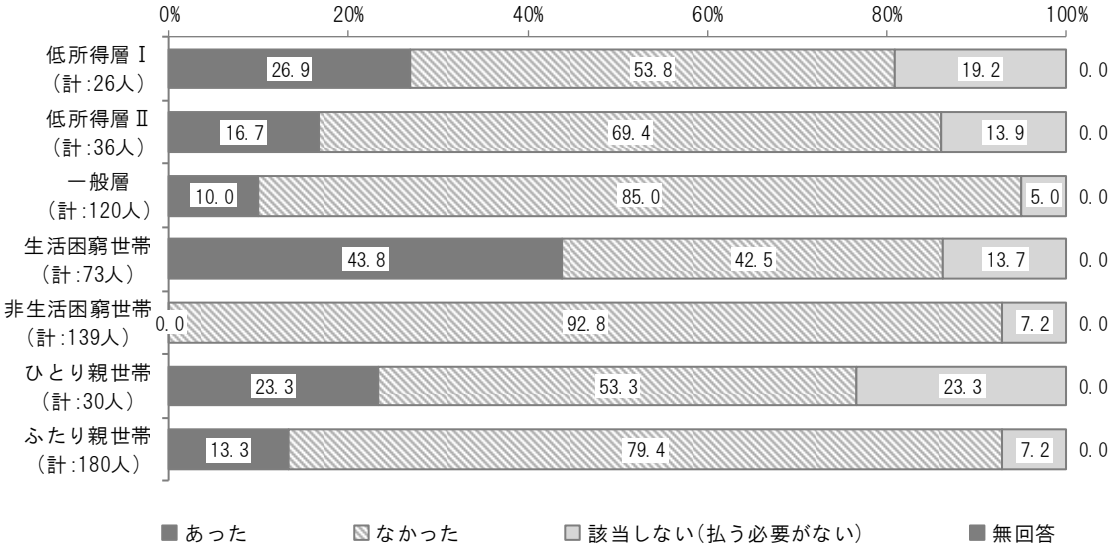
小学校低学年保護者



小学校高学年保護者

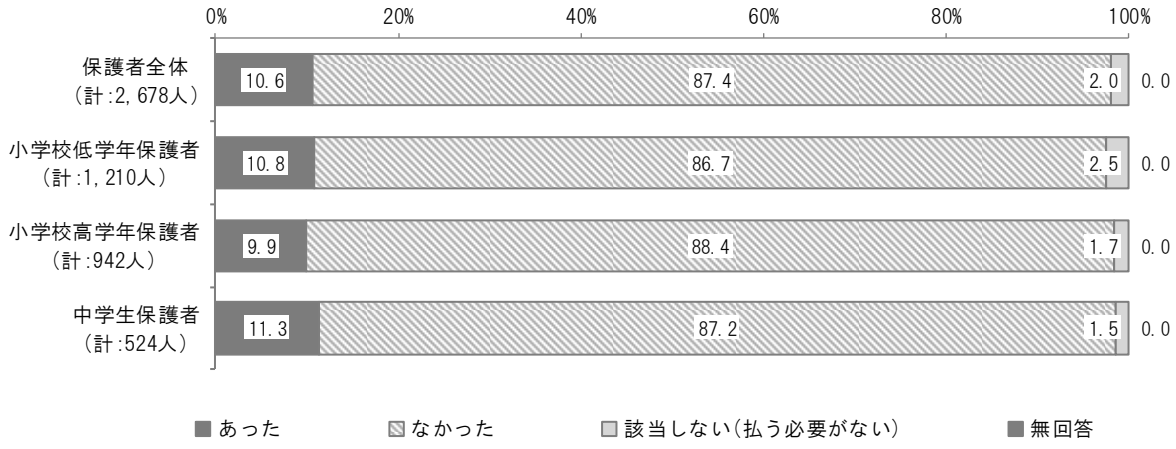


中学生保護者

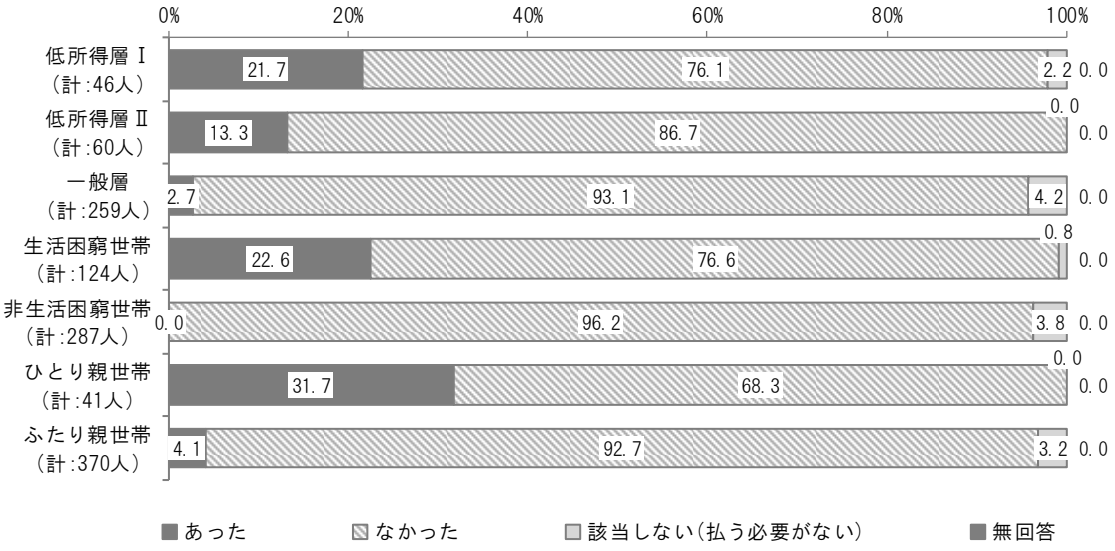


⑧校納金（学校に支払うもの）

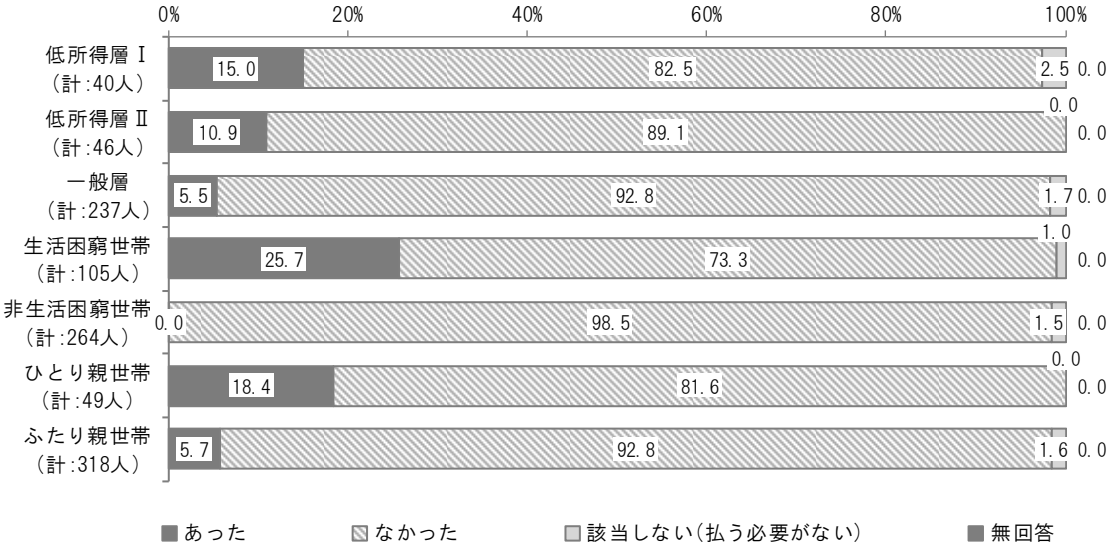
- ◆ 校納金（学校に支払うもの）の滞納について、保護者全体では「なかった」と回答した保護者の割合が最も高く、87.4%となっています。次いで、「あった」（10.6%）、「該当しない(払う必要がない)」（2.0%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「なかった」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「なかった」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「なかった」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「なかった」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「なかった」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「なかった」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



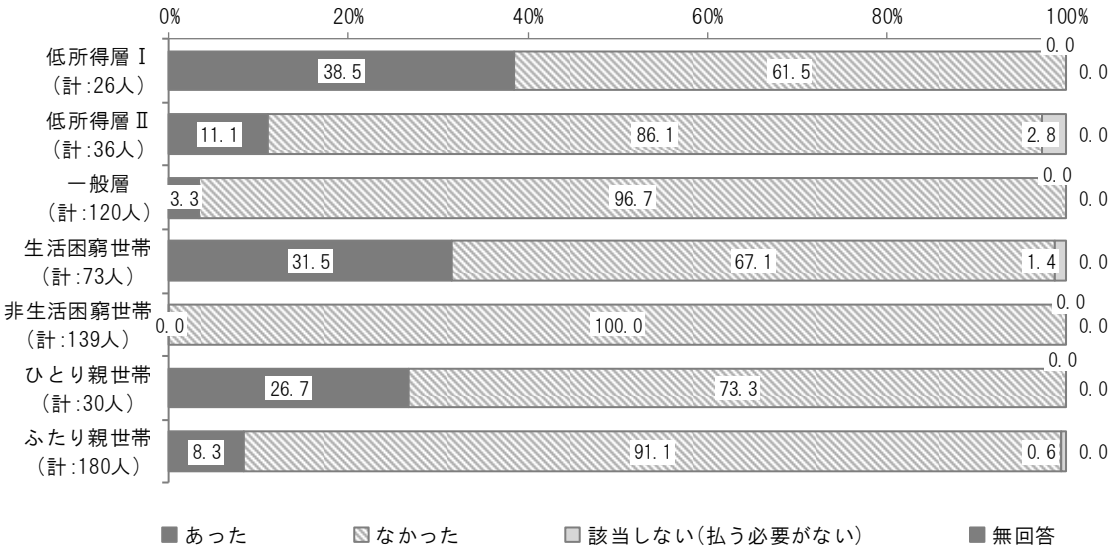
小学校低学年保護者



小学校高学年保護者



中学生保護者



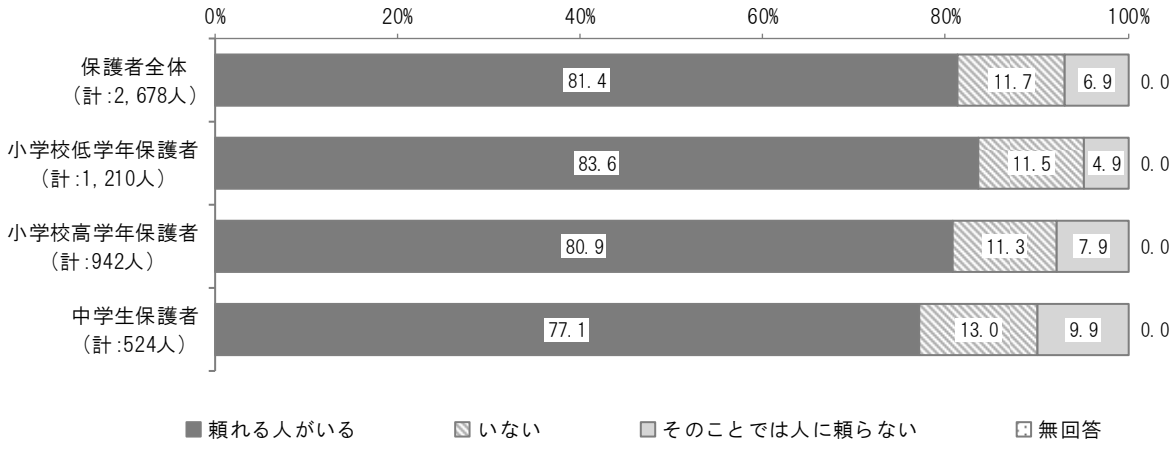
（8）相談相手

＜保護者票＞問 17　あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか（あてはまるもの 1 つに○）。また、「1. 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。（あてはまるものすべてに○）

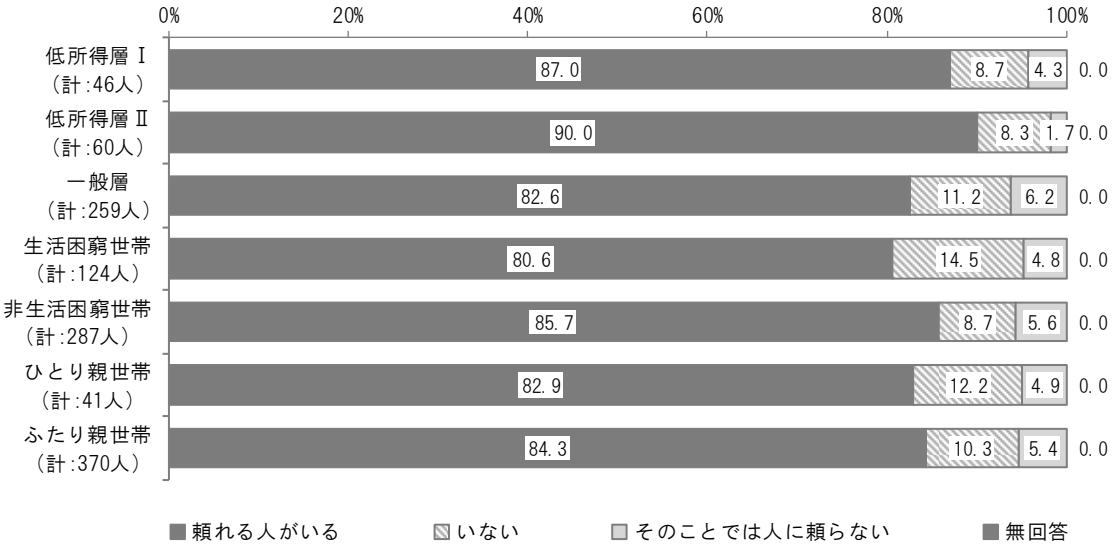
①　子育てに関する相談

ア．子育てに関する相談について

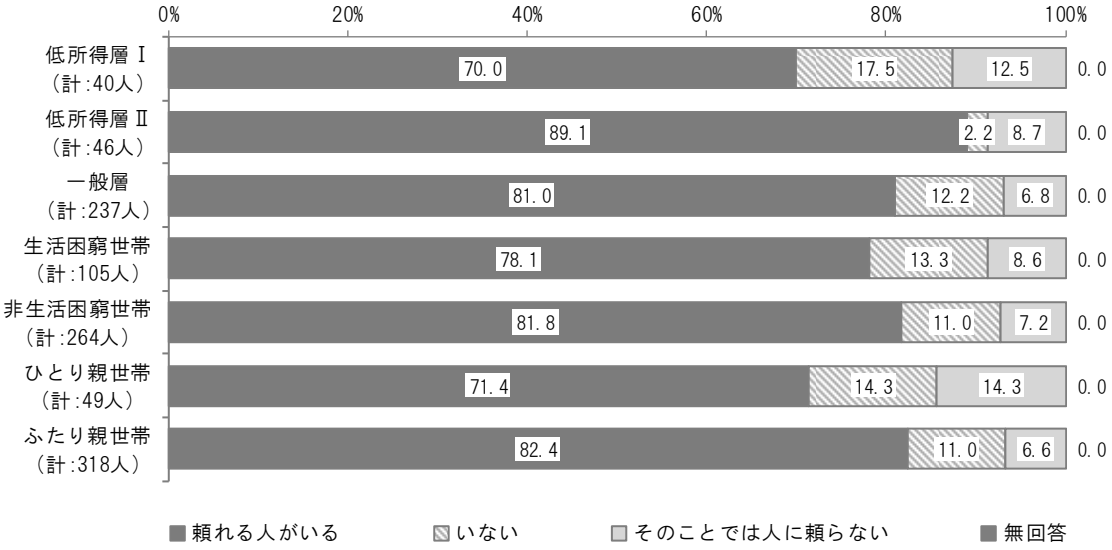
- ◆ 子育てに関する相談相手について、保護者全体では「頼れる人がいる」と回答した保護者の割合が最も高く、81.4%となっています。次いで、「いない」（11.7%）、「そのことでは人に頼らない」（6.9%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「頼れる人がいる」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「頼れる人がいる」と回答した保護者の割合が非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「頼れる人がいる」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「頼れる人がいる」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「頼れる人がいる」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「頼れる人がいる」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



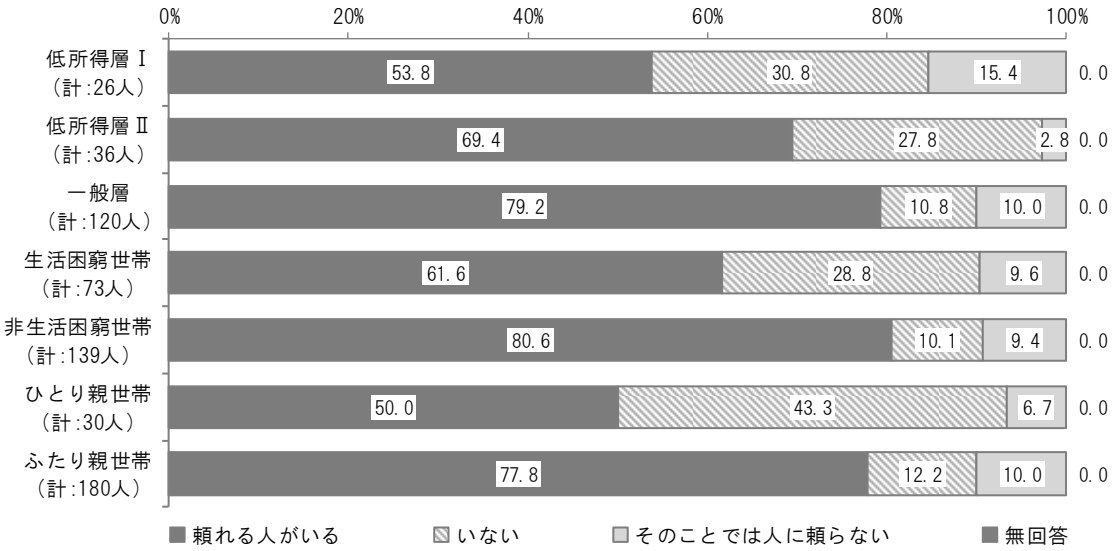
小学校低学年保護者



小学校高学年保護者

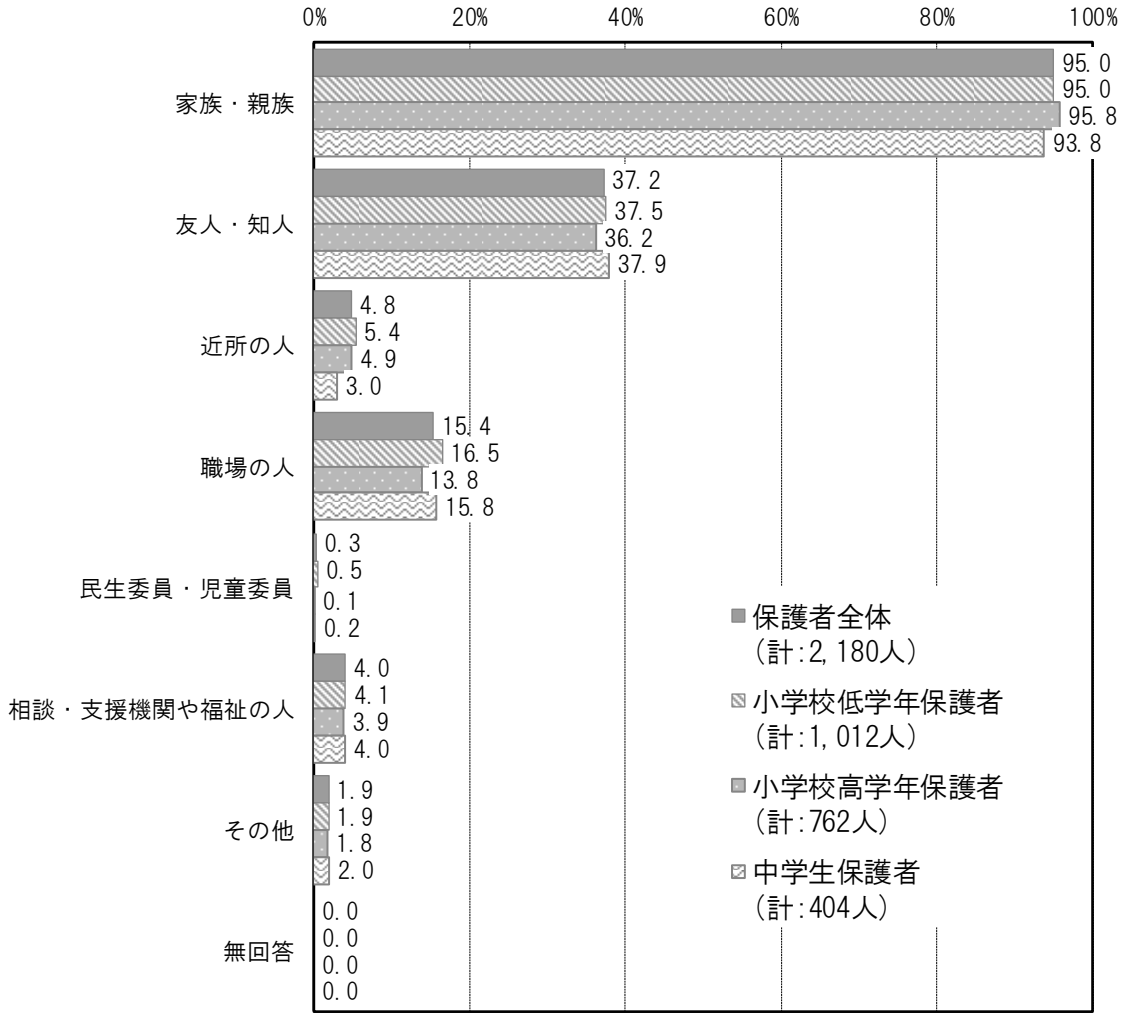


中学生保護者



イ．子育てに関する相談相手

- ◆ 子育てに関する相談相手について、保護者全体では「頼れる人がいる」と回答した方に、それはだれかとたずねたところ、「家族・親族」と回答した保護者の割合が最も高く、95.0%となっています。次いで、「友人・知人」（37.2%）、「職場の人」（15.4%）となっています。
- ◆ 小学校低学年・高学年、中学生では、困窮分類に関わらず全体同様の傾向となっています。



（%）		家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	その他	無回答
小学校低学年保護者	低所得層Ⅰ（計:40人）	97.5	45.0	7.5	25.0	2.5	10.0	5.0	0.0
	低所得層Ⅱ（計:54人）	98.1	33.3	1.9	11.1	0.0	5.6	3.7	0.0
	一般層（計:214人）	94.9	33.6	2.8	15.9	0.0	2.3	1.9	0.0
	生活困窮世帯（計:100人）	93.0	41.0	7.0	16.0	1.0	6.0	4.0	0.0
	非生活困窮世帯（計:246人）	96.7	33.3	4.1	17.1	0.0	3.3	1.6	0.0
	ひとり親世帯（計:34人）	88.2	47.1	5.9	41.2	2.9	14.7	5.9	0.0
	ふたり親世帯（計:312人）	96.5	34.3	4.8	14.1	0.0	2.9	1.9	0.0

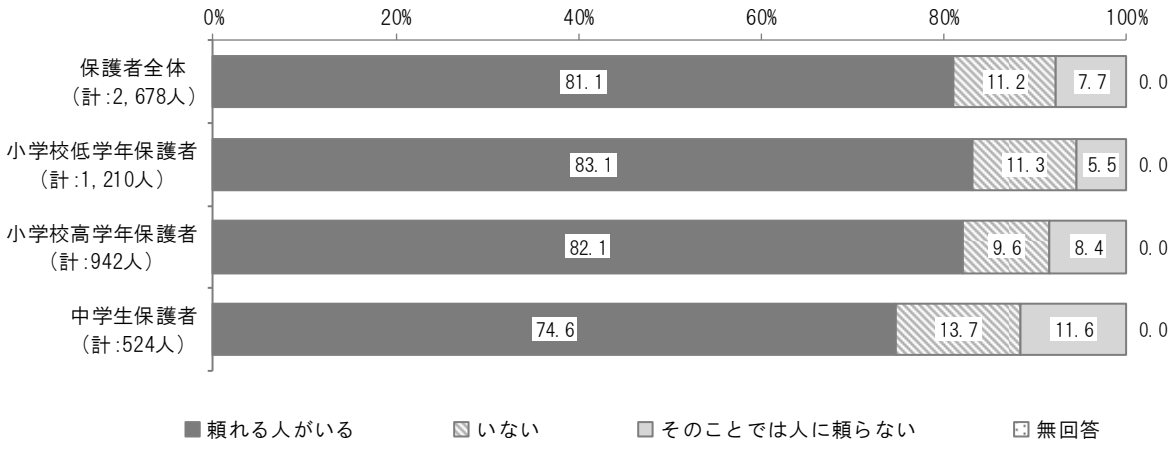
（%）		家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	その他	無回答
小学校高学年保護者	低所得層Ⅰ（計:28人）	96.4	25.0	3.6	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	低所得層Ⅱ（計:41人）	95.1	39.0	12.2	12.2	0.0	2.4	4.9	0.0
	一般層（計:192人）	95.8	38.0	3.6	14.6	0.0	1.6	1.0	0.0
	生活困窮世帯（計:82人）	90.2	35.4	3.7	11.0	1.2	2.4	2.4	0.0
	非生活困窮世帯（計:216人）	97.7	35.2	6.5	13.4	0.0	2.3	1.4	0.0
	ひとり親世帯（計:35人）	88.6	37.1	2.9	17.1	0.0	8.6	0.0	0.0
	ふたり親世帯（計:262人）	96.9	34.7	6.1	12.2	0.0	1.1	1.9	0.0

（%）		家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	その他	無回答
中学生保護者	低所得層Ⅰ（計:14人）	92.9	35.7	7.1	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0
	低所得層Ⅱ（計:25人）	92.0	36.0	4.0	16.0	0.0	4.0	4.0	0.0
	一般層（計:95人）	95.8	33.7	1.1	14.7	1.1	2.1	3.2	0.0
	生活困窮世帯（計:45人）	91.1	28.9	4.4	15.6	0.0	8.9	4.4	0.0
	非生活困窮世帯（計:112人）	93.8	38.4	1.8	14.3	0.9	1.8	2.7	0.0
	ひとり親世帯（計:15人）	80.0	46.7	6.7	33.3	0.0	13.3	6.7	0.0
	ふたり親世帯（計:140人）	95.0	34.3	1.4	12.9	0.7	2.9	2.1	0.0

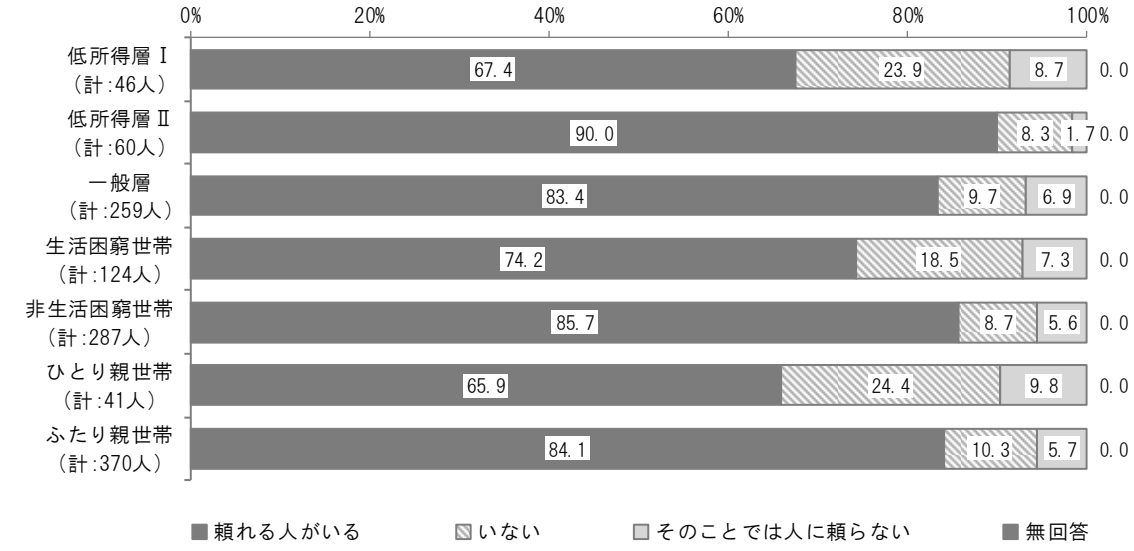
② 重要な事柄の相談

ア．重要な事柄の相談について

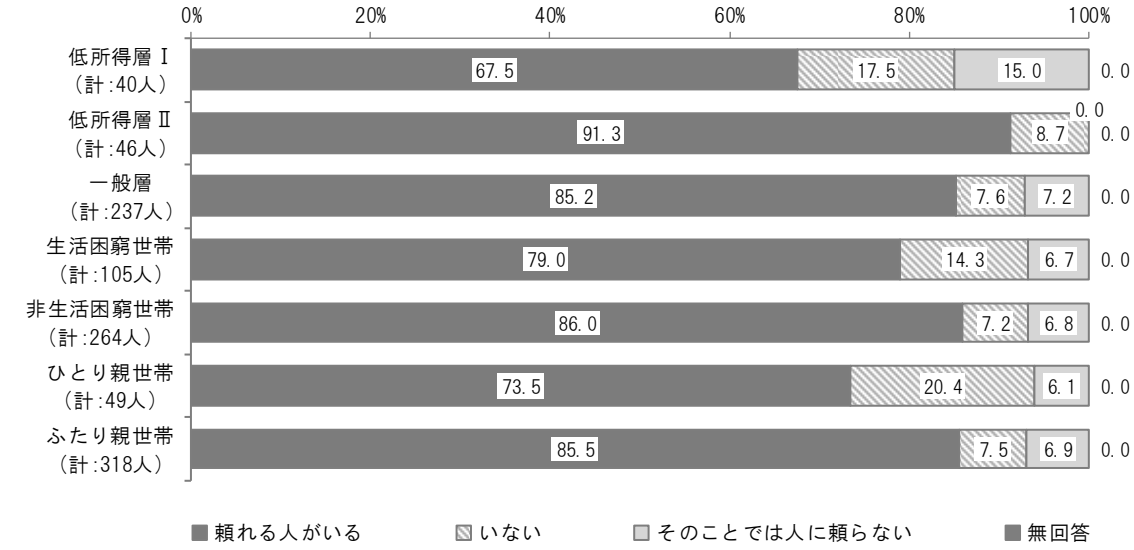
- ◆ 重要な事柄の相談相手について、保護者全体では「頼れる人がいる」と回答した保護者の割合が最も高く、81.1%となっています。次いで、「いない」（11.2%）、「そのことでは人に頼らない」（7.7%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「頼れる人がいる」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「頼れる人がいる」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「頼れる人がいる」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「頼れる人がいる」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「頼れる人がいる」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「頼れる人がいる」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



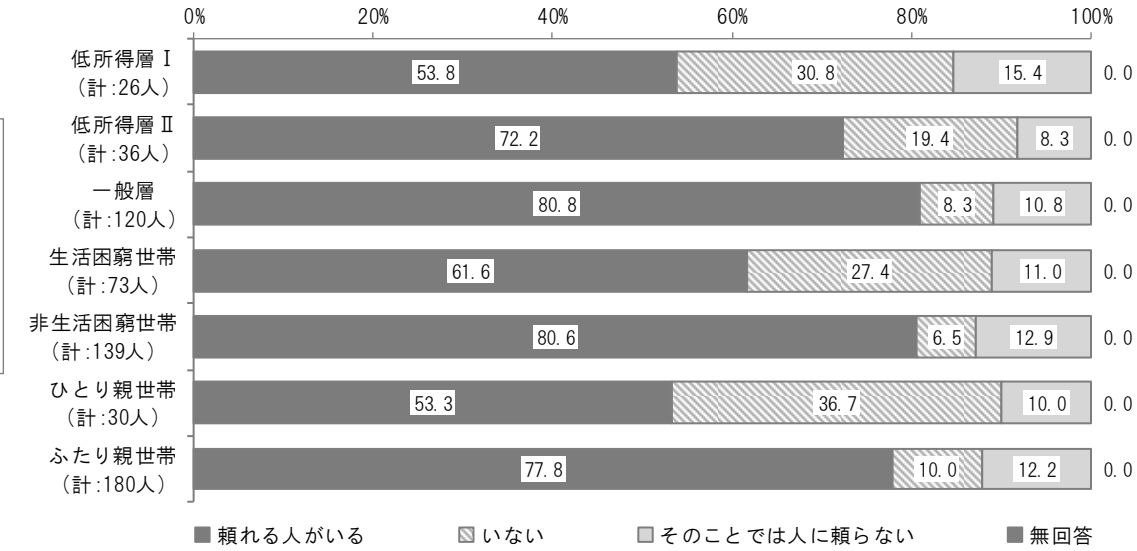
小学校低学年保護者



小学校高学年保護者

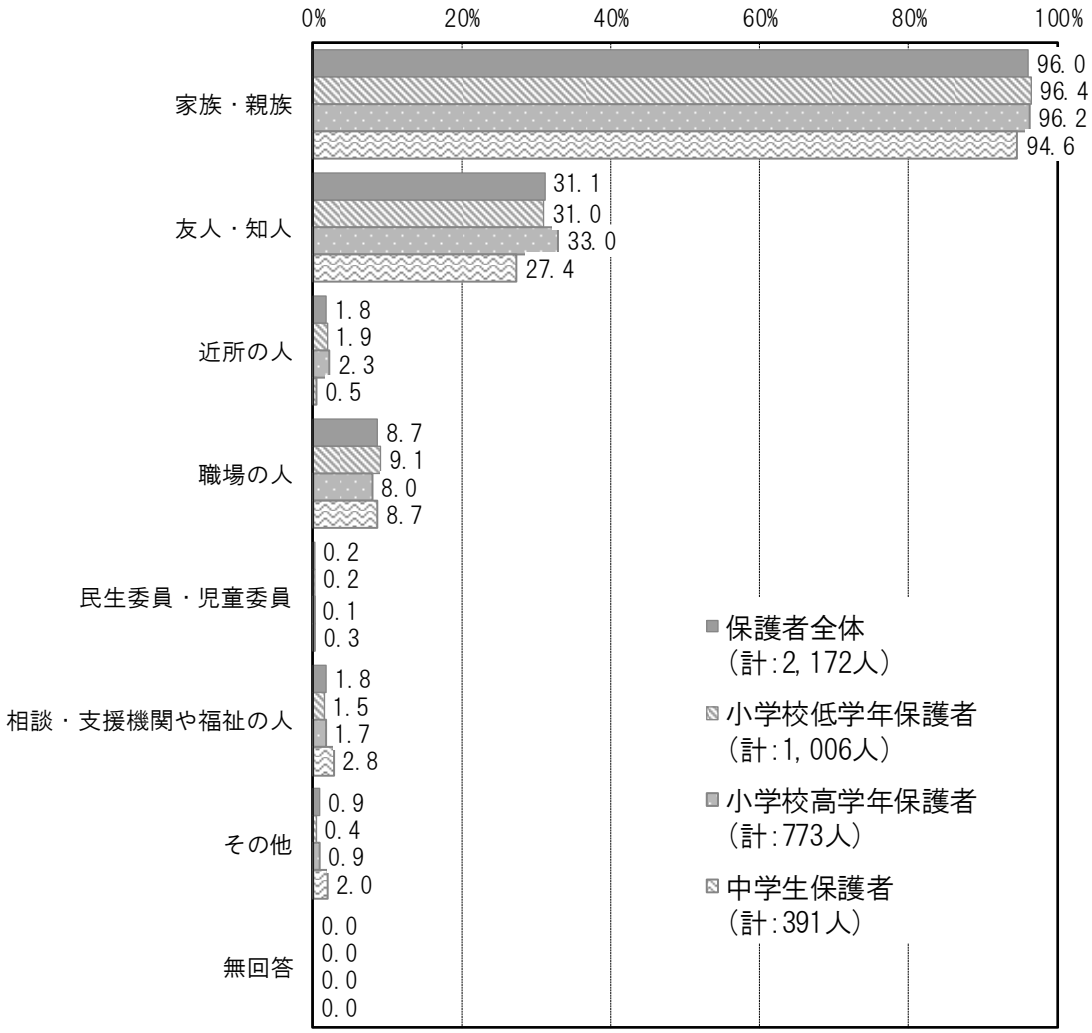


中学生保護者



イ．重要な事柄の相談相手

- ◆ 重要な事柄の相談について、保護者全体では「頼れる人がいる」と回答した方に、それはだれかとたずねたところ、「家族・親族」と回答した保護者の割合が最も高く、96.0%となっています。次いで、「友人・知人」（31.1%）、「職場の人」（8.7%）となっています。
- ◆ 小学校低学年・高学年、中学生では、困窮分類に関わらず全体同様の傾向となっています。



（%）		家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	その他	無回答
小学校低学年保護者	低所得層Ⅰ（計:31人）	93.5	45.2	3.2	9.7	0.0	3.2	0.0	0.0
	低所得層Ⅱ（計:54人）	98.1	33.3	1.9	7.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	一般層（計:216人）	97.7	29.2	0.9	10.6	0.0	1.4	0.0	0.0
	生活困窮世帯（計:92人）	91.3	31.5	0.0	6.5	0.0	2.2	0.0	0.0
	非生活困窮世帯（計:246人）	98.4	30.5	1.6	10.6	0.0	1.6	0.0	0.0
	ひとり親世帯（計:27人）	85.2	33.3	0.0	14.8	0.0	3.7	0.0	0.0
	ふたり親世帯（計:311人）	97.4	30.5	1.3	9.0	0.0	1.6	0.0	0.0

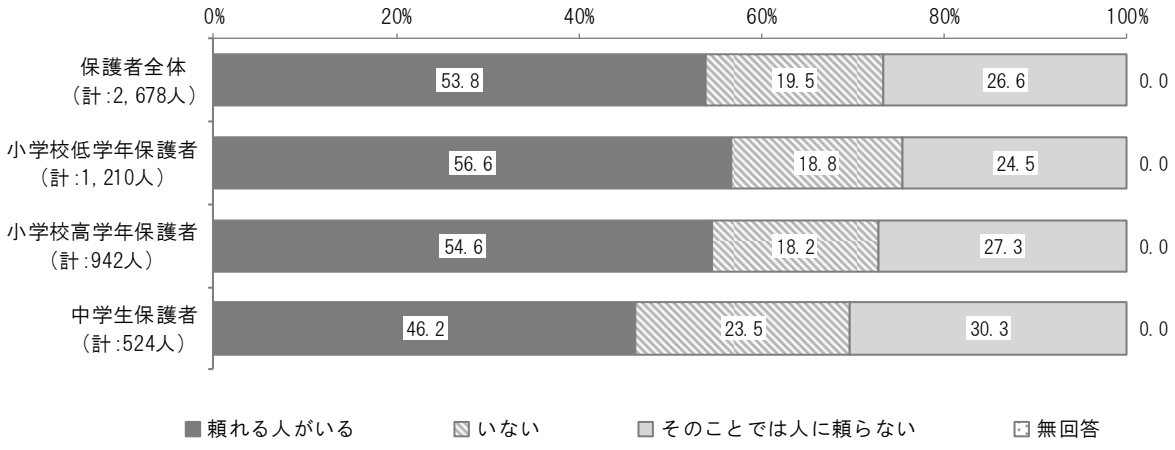
（%）		家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	その他	無回答
小学校高学年保護者	低所得層Ⅰ（計:27人）	96.3	25.9	3.7	7.4	0.0	0.0	3.7	0.0
	低所得層Ⅱ（計:42人）	100.0	33.3	9.5	4.8	0.0	2.4	0.0	0.0
	一般層（計:202人）	96.0	31.2	1.0	10.4	0.5	1.5	1.0	0.0
	生活困窮世帯（計:83人）	90.4	25.3	1.2	6.0	2.4	4.8	2.4	0.0
	非生活困窮世帯（計:227人）	97.8	31.7	3.5	9.7	0.0	0.9	0.9	0.0
	ひとり親世帯（計:36人）	91.7	36.1	0.0	8.3	0.0	2.8	2.8	0.0
	ふたり親世帯（計:272人）	96.7	29.4	3.3	8.8	0.4	1.5	1.1	0.0

（%）		家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	その他	無回答
中学生保護者	低所得層Ⅰ（計:14人）	92.9	14.3	0.0	14.3	0.0	7.1	0.0	0.0
	低所得層Ⅱ（計:26人）	100.0	23.1	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	一般層（計:97人）	99.0	21.6	0.0	11.3	1.0	0.0	3.1	0.0
	生活困窮世帯（計:45人）	97.8	13.3	0.0	4.4	0.0	2.2	0.0	0.0
	非生活困窮世帯（計:112人）	98.2	24.1	0.0	11.6	0.9	0.0	2.7	0.0
	ひとり親世帯（計:16人）	100.0	6.3	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	ふたり親世帯（計:140人）	97.9	22.9	0.0	9.3	0.7	0.7	2.1	0.0

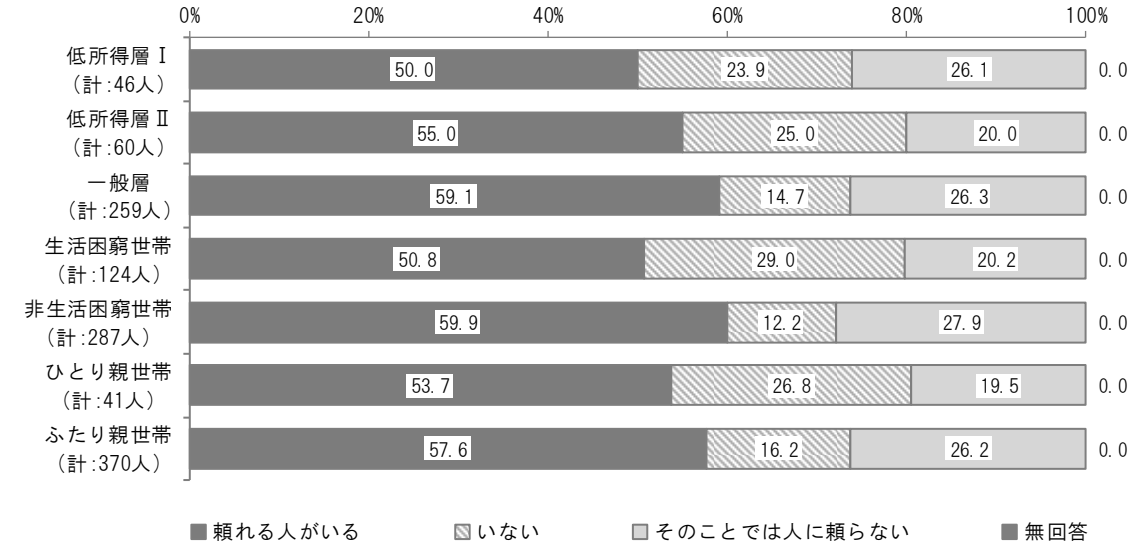
③　いざという時のお金の援助

ア．いざという時のお金の援助について

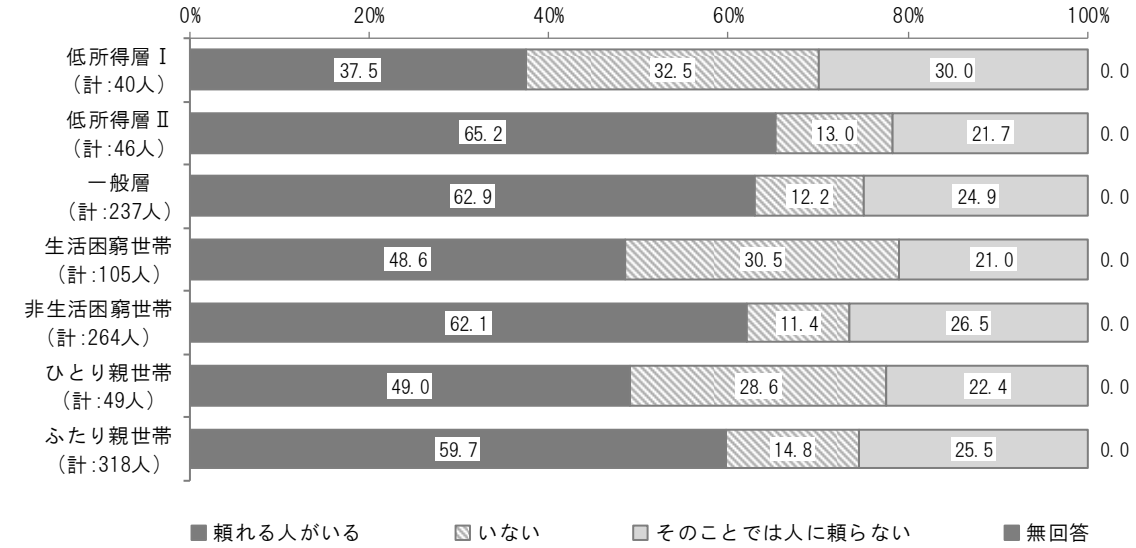
- ◆ いざという時のお金の援助について、保護者全体では「頼れる人がいる」と回答した保護者の割合が最も高く、53.8%となっています。次いで、「そのことでは人に頼らない」（26.6%）、「いない」（19.5%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「頼れる人がいる」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「頼れる人がいる」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「頼れる人がいる」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「頼れる人がいる」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「頼れる人がいる」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「頼れる人がいる」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



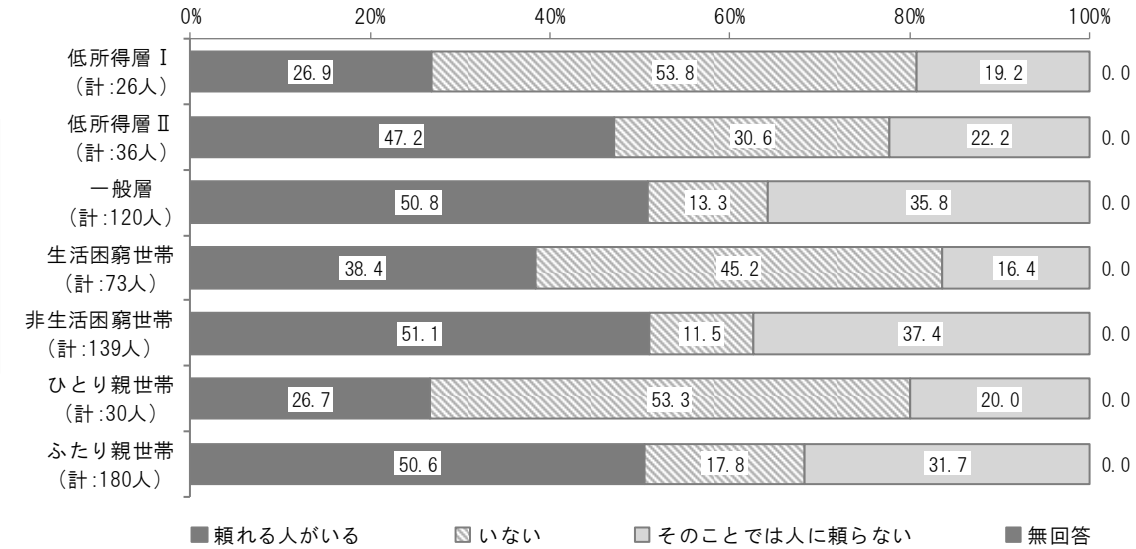
小学校低学年保護者



小学校高学年保護者

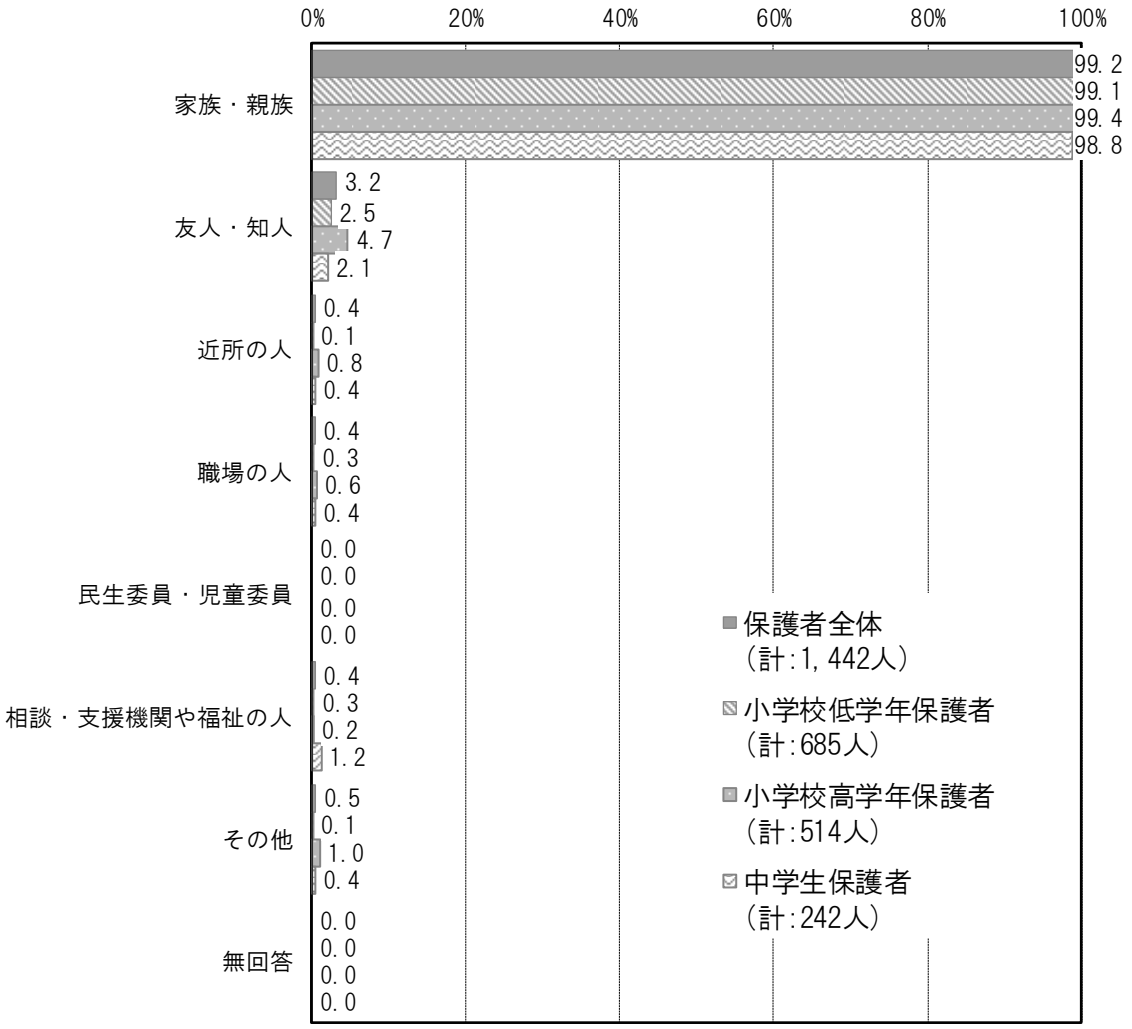


中学生保護者



イ．いざという時のお金の援助者

- ◆ いざという時のお金の援助について、「頼れる人がいる」と回答した方に、それはだれかとたずねたところ、保護者全体では「家族・親族」と回答した保護者の割合が最も高く、99.2%となっています。次いで、「友人・知人」(3.2%)、「近所の人」(0.4%)となっています。
- ◆ 小学校低学年・高学年、中学生では、困窮分類に関わらず全体同様の傾向となっています。



（%）		家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	その他	無回答
小学校低学年保護者	低所得層Ⅰ（計:23人）	95.7	4.3	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	低所得層Ⅱ（計:33人）	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	一般層（計:153人）	99.3	2.6	0.0	0.0	0.0	0.7	0.7	0.0
	生活困窮世帯（計:63人）	98.4	1.6	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	非生活困窮世帯（計:172人）	99.4	2.3	0.0	0.0	0.0	0.6	0.6	0.0
	ひとり親世帯（計:22人）	95.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0
	ふたり親世帯（計:213人）	99.5	2.3	0.0	0.5	0.0	0.5	0.0	0.0

（%）		家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	その他	無回答
小学校高学年保護者	低所得層Ⅰ（計:15人）	100.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	低所得層Ⅱ（計:30人）	100.0	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0
	一般層（計:149人）	99.3	4.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	生活困窮世帯（計:51人）	100.0	7.8	2.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0
	非生活困窮世帯（計:164人）	99.4	4.3	0.6	0.6	0.0	0.0	0.6	0.0
	ひとり親世帯（計:24人）	100.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ふたり親世帯（計:190人）	99.5	4.2	1.1	0.5	0.0	0.0	1.1	0.0

（%）		家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	その他	無回答
中学生保護者	低所得層Ⅰ（計:7人）	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	低所得層Ⅱ（計:17人）	100.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	一般層（計:61人）	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	生活困窮世帯（計:28人）	100.0	7.1	3.6	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	非生活困窮世帯（計:71人）	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ひとり親世帯（計:8人）	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ふたり親世帯（計:91人）	100.0	2.2	1.1	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0

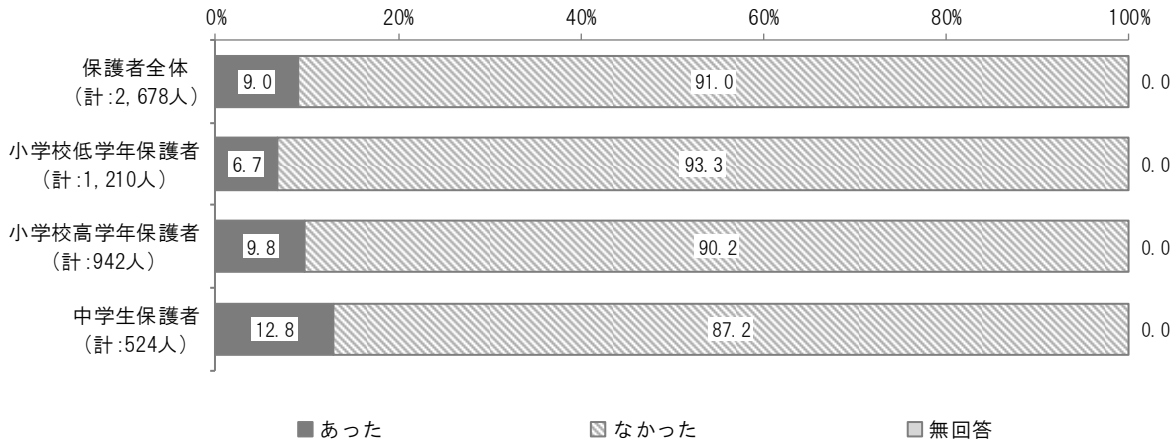
（9）子どもが受診できなかった経験

a）病院や歯医者の受診状況

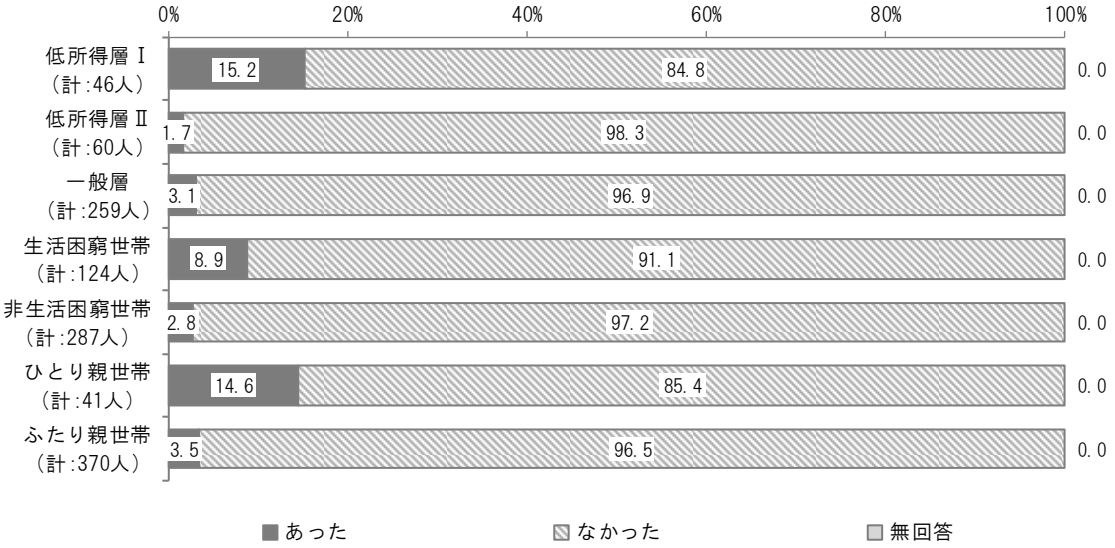
ア．病院や歯医者を受診させなかった経験

＜保護者票＞問 23　お子さんの状況についてお聞きします。過去１年間に、お子さんを病院や歯医者で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。（１つに○）

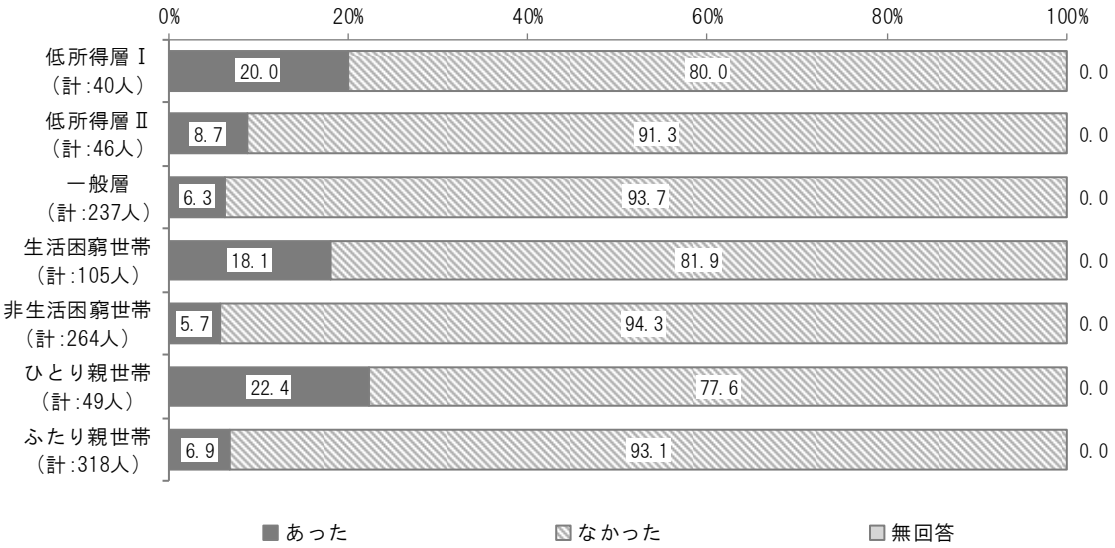
- ◆ 過去１年間に、お子さんを病院や歯医者で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたかとたずねたところ、保護者全体では「あった」と回答した保護者の割合は 9.0%となっています。一方、「なかった」と回答した保護者の割合は 91.0%となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「なかった」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「なかった」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「なかった」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「なかった」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「なかった」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「なかった」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



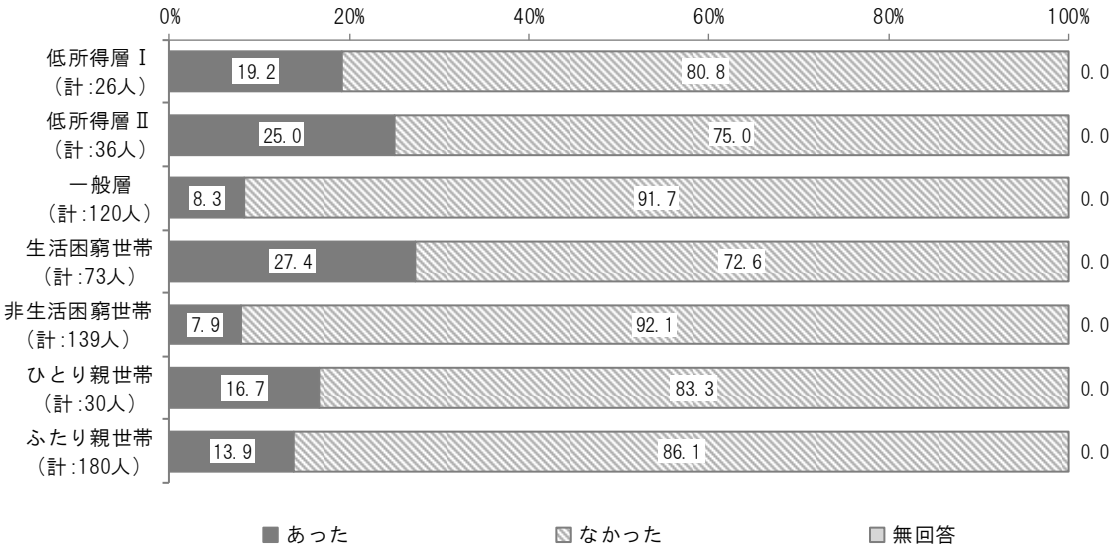
小学校低学年保護者



小学校高学年保護者



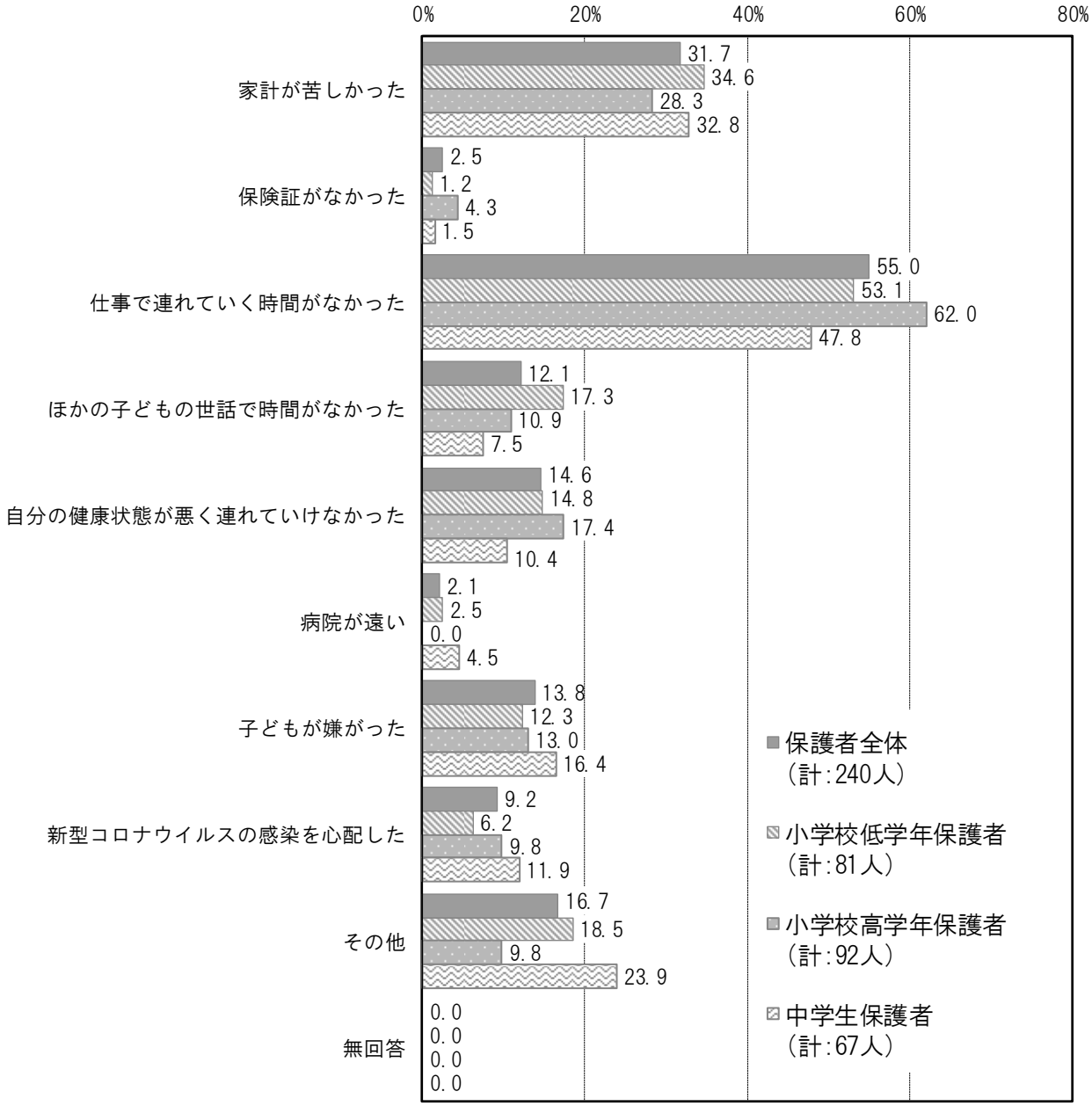
中学生保護者



イ．病院や歯医者を受診させなかった理由

＜保護者票＞問 23-1 《問 23 で「1．あった」を選んだ方にお聞きします。》
その理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

- ◆ 問 23 で「1．あった」を選んだ方に、その理由をたずねたところ、保護者全体では「仕事で連れていく時間がなかった」と回答した保護者の割合が最も高く、55.0%となっています。次いで、「家計が苦しかった」（31.7%）、「自分の健康状態が悪く連れていけなかった」（14.6%）となっています。
- ◆ 小学校低学年・高学年、中学生では、困窮分類に関わらず概ね全体同様の傾向となっています。



（%）		家計が苦しかった	保険証がなかった	仕事で連れていく時間がなかった	ほかの子どもの世話で時間がなかった	自分の健康状態が悪く連れていけなかった	病院が遠い	子どもが嫌がった	新型コロナウイルスの感染を心配した	その他	無回答
小学校低学年保護者	低所得層Ⅰ（計:7人）	57.1	0.0	42.9	28.6	14.3	0.0	14.3	0.0	42.9	0.0
	低所得層Ⅱ（計:1人）	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	一般層（計:8人）	0.0	0.0	87.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0
	生活困窮世帯（計:11人）	63.6	0.0	45.5	18.2	9.1	0.0	9.1	0.0	36.4	0.0
	非生活困窮世帯（計:8人）	0.0	0.0	87.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0
	ひとり親世帯（計:6人）	66.7	0.0	33.3	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	33.3	0.0
	ふたり親世帯（計:13人）	23.1	0.0	76.9	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	23.1	0.0

（%）		家計が苦しかった	保険証がなかった	仕事で連れていく時間がなかった	ほかの子どもの世話で時間がなかった	自分の健康状態が悪く連れていけなかった	病院が遠い	子どもが嫌がった	新型コロナウイルスの感染を心配した	その他	無回答
小学校高学年保護者	低所得層Ⅰ（計:8人）	25.0	12.5	62.5	12.5	25.0	0.0	12.5	12.5	12.5	0.0
	低所得層Ⅱ（計:4人）	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	75.0	25.0	0.0
	一般層（計:15人）	13.3	6.7	53.3	0.0	13.3	0.0	26.7	6.7	13.3	0.0
	生活困窮世帯（計:19人）	36.8	5.3	42.1	10.5	26.3	0.0	26.3	21.1	5.3	0.0
	非生活困窮世帯（計:15人）	6.7	6.7	53.3	0.0	6.7	0.0	13.3	13.3	20.0	0.0
	ひとり親世帯（計:11人）	45.5	18.2	45.5	0.0	9.1	0.0	0.0	18.2	18.2	0.0
	ふたり親世帯（計:22人）	9.1	0.0	50.0	9.1	22.7	0.0	27.3	13.6	9.1	0.0

（%）		家計が苦しかった	保険証がなかった	仕事で連れていく時間がなかった	ほかの子どもの世話で時間がなかった	自分の健康状態が悪く連れていけなかった	病院が遠い	子どもが嫌がった	新型コロナウイルスの感染を心配した	その他	無回答
中学生保護者	低所得層Ⅰ（計:5人）	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	40.0	0.0	40.0	0.0
	低所得層Ⅱ（計:9人）	22.2	0.0	55.6	22.2	33.3	0.0	11.1	22.2	11.1	0.0
	一般層（計:10人）	20.0	0.0	70.0	0.0	20.0	0.0	0.0	10.0	20.0	0.0
	生活困窮世帯（計:20人）	35.0	0.0	50.0	5.0	15.0	5.0	25.0	20.0	20.0	0.0
	非生活困窮世帯（計:11人）	9.1	0.0	54.5	9.1	18.2	0.0	9.1	18.2	18.2	0.0
	ひとり親世帯（計:5人）	20.0	0.0	40.0	20.0	40.0	20.0	20.0	20.0	40.0	0.0
	ふたり親世帯（計:25人）	24.0	0.0	56.0	4.0	12.0	0.0	20.0	20.0	16.0	0.0

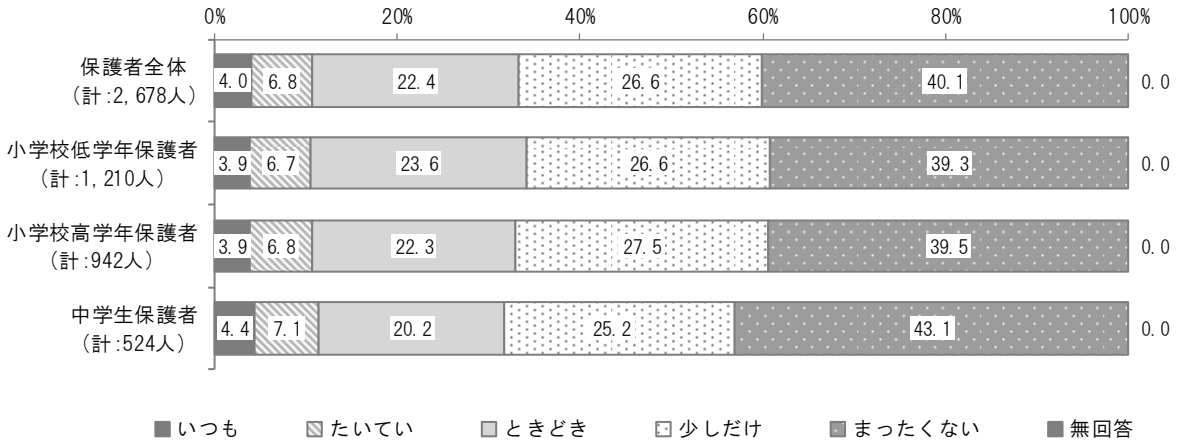
10）心理的ストレス

a）心の状態

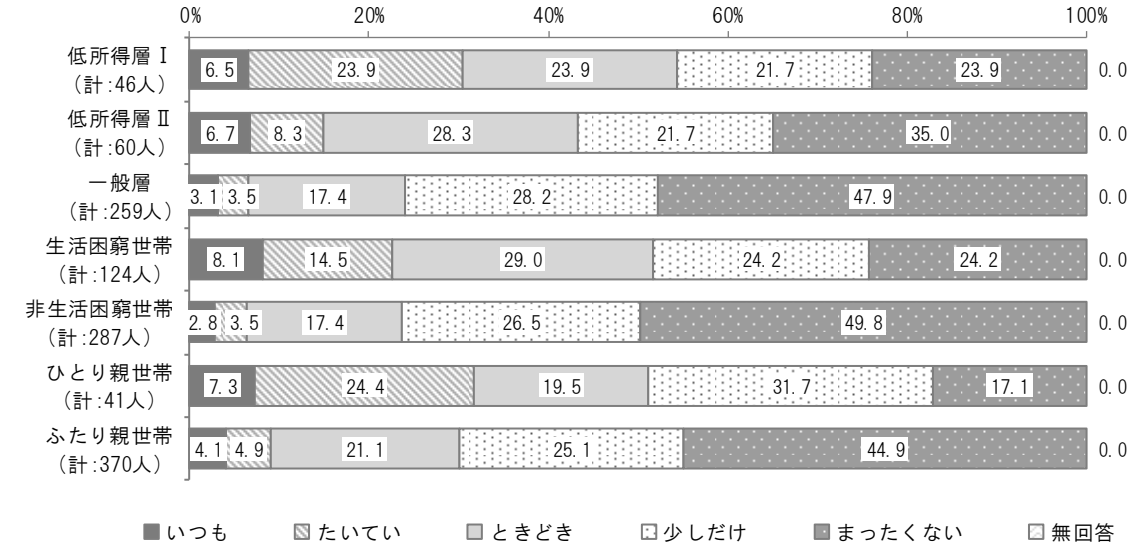
＜保護者票＞問 24　あなたの心の状態についてお聞きします。ここ１か月の間にどれくらいの頻度で次のことがありましたか。(①～⑥それぞれについて、あてはまるもの１つに○)

①　神経過敏に感じましたか

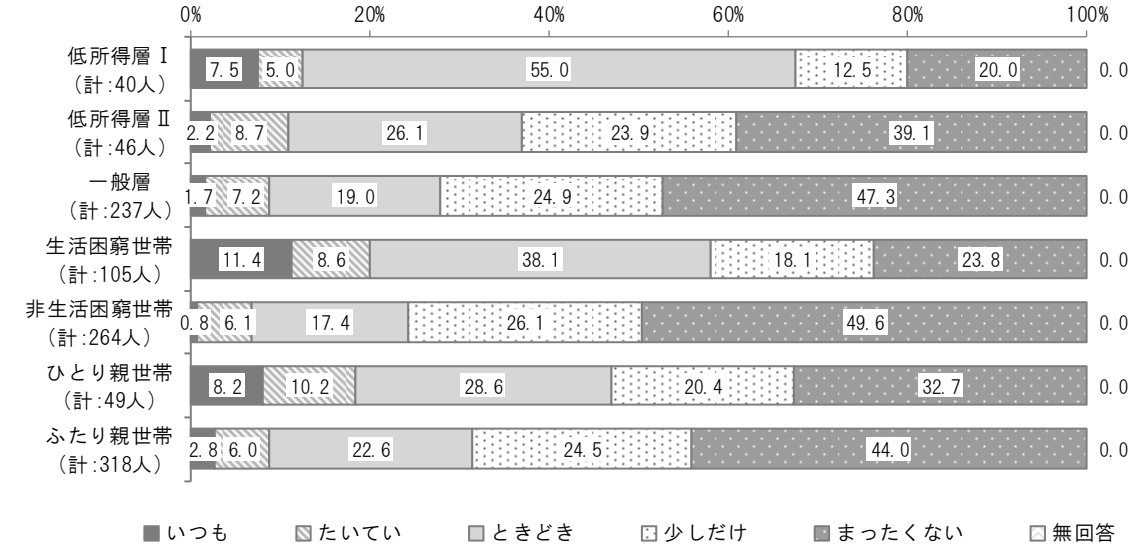
- ◆ ここ１か月の間にどれくらいの頻度で『神経過敏に感じましたか』とたずねたところ、保護者全体では「まったくない」と回答した保護者の割合が最も高く、40.1%となっています。次いで、「少しだけ」（26.6%）、「ときどき」（22.4%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体の傾向と一部が異なり、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「まったくない」と回答した保護者の割合が低くなっています。低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「まったくない」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体の傾向と一部が異なり、低所得層Ⅰ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「まったくない」と回答した保護者の割合が低くなっています。低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「まったくない」と回答した保護者割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、全体の傾向と一部が異なり、低所得層Ⅰ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「まったくない」と回答した保護者の割合が低くなっています。低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「まったくない」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



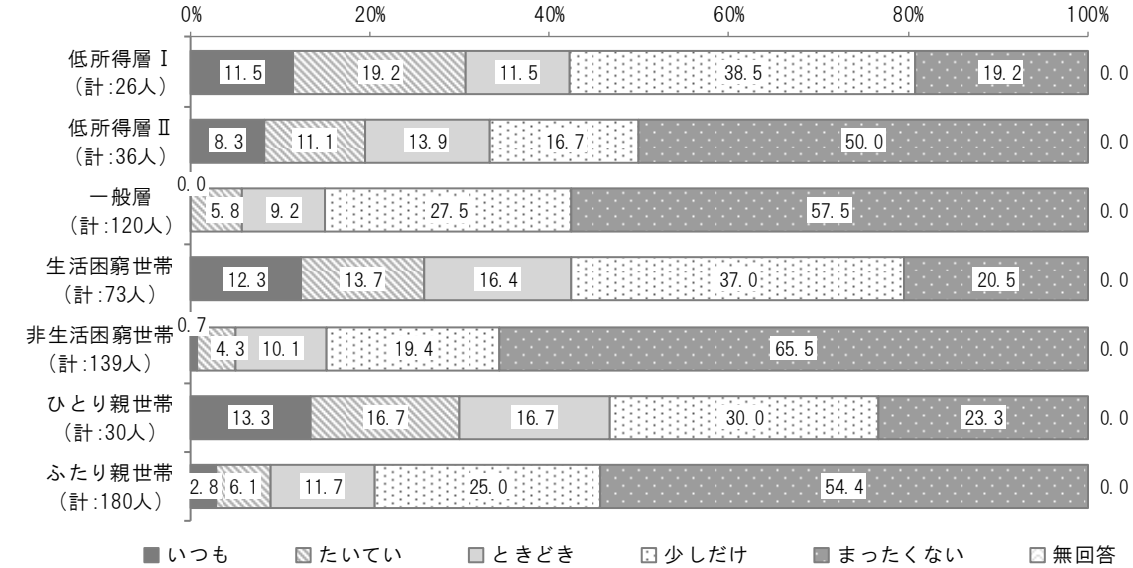
小学校低学年保護者



小学校高学年保護者

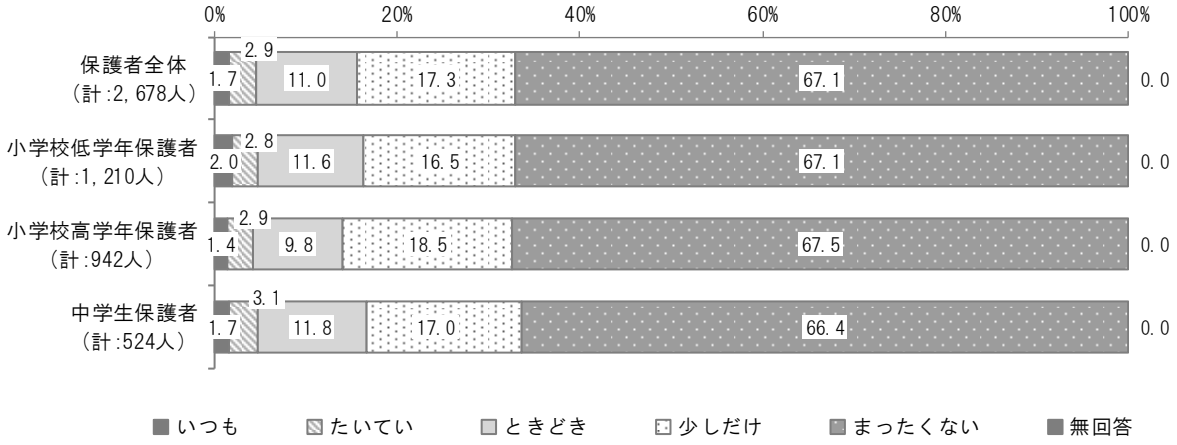


中学生保護者

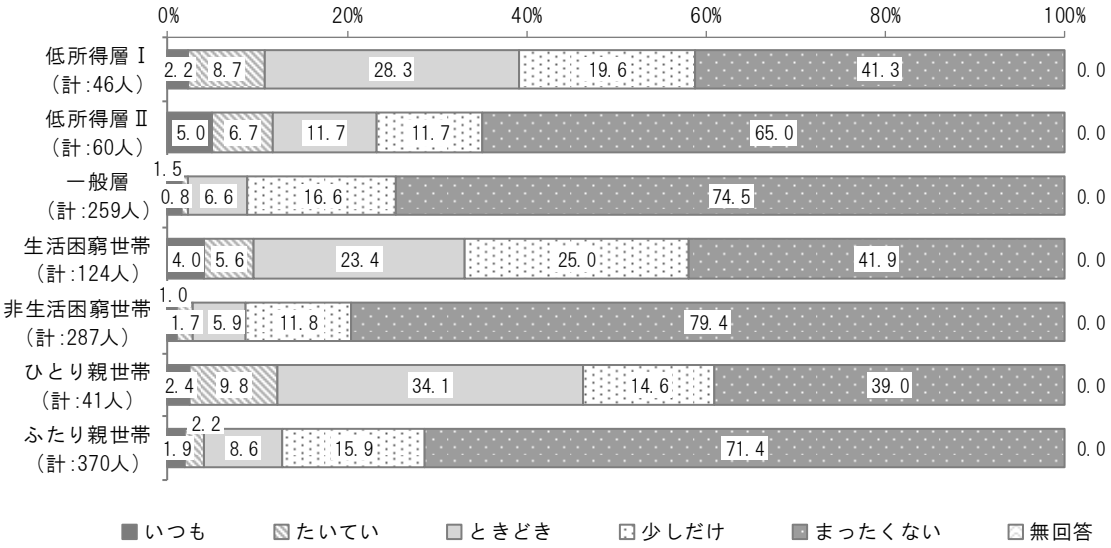


② 絶望的だと感じましたか

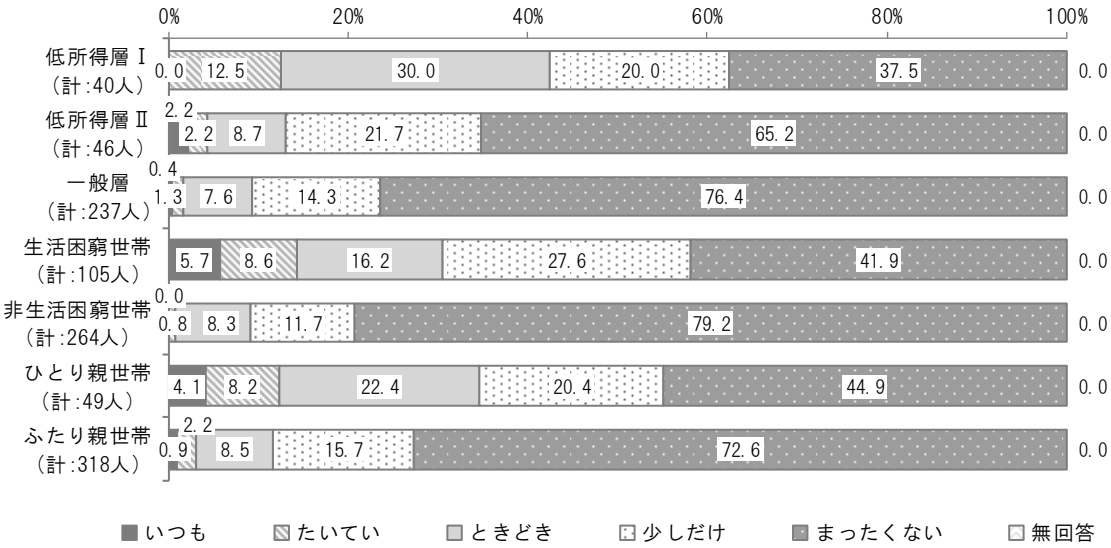
- ◆ ここ１か月の間にどれくらいの頻度で『絶望的だと感じましたか』とたずねたところ、保護者全体では「まったくない」と回答した保護者の割合が最も高く、67.1%となっています。次いで、「少しだけ」（17.3%）、「ときどき」（11.0%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「まったくない」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「まったくない」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「まったくない」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「まったくない」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「まったくない」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「まったくない」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



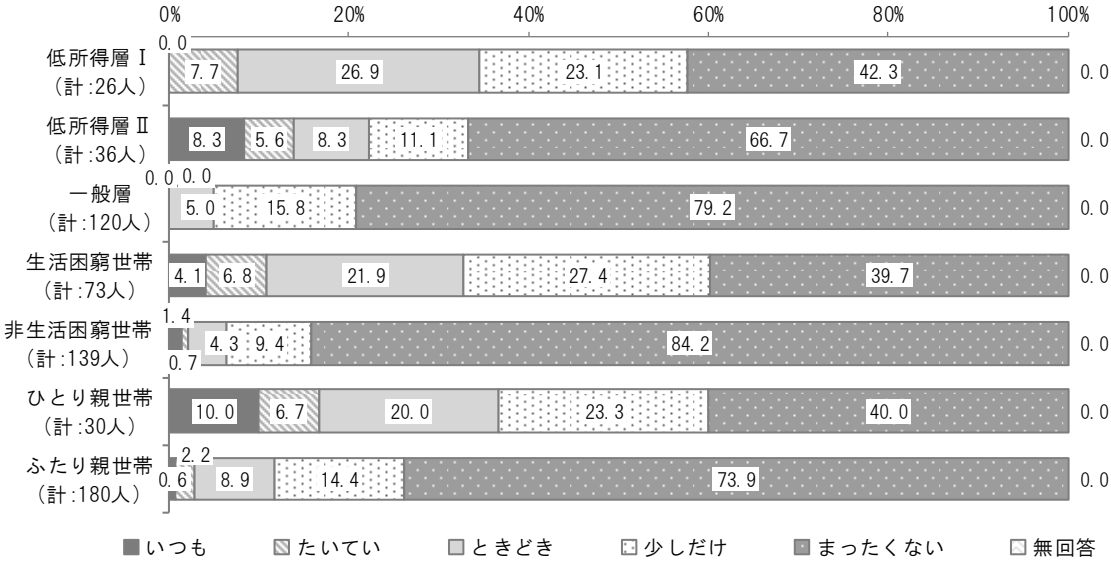
小学校低学年保護者



小学校高学年保護者

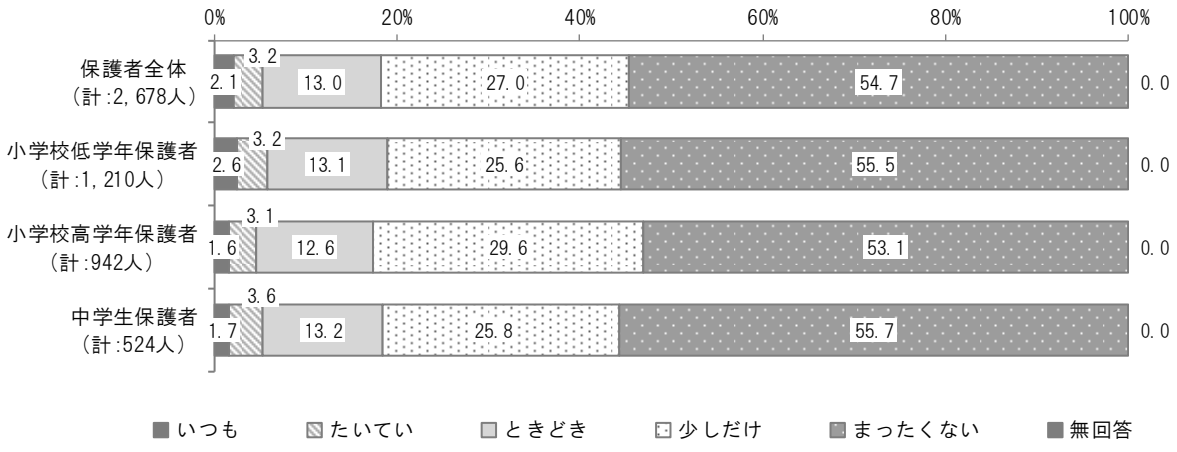


中学生保護者

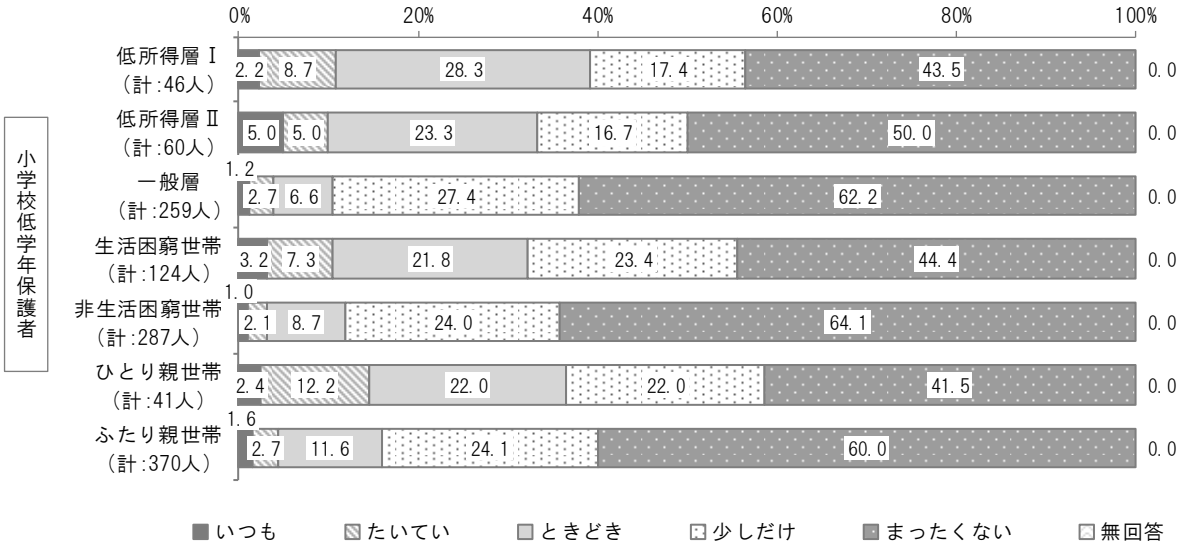


③　そわそわ、落ち着かなく感じましたか

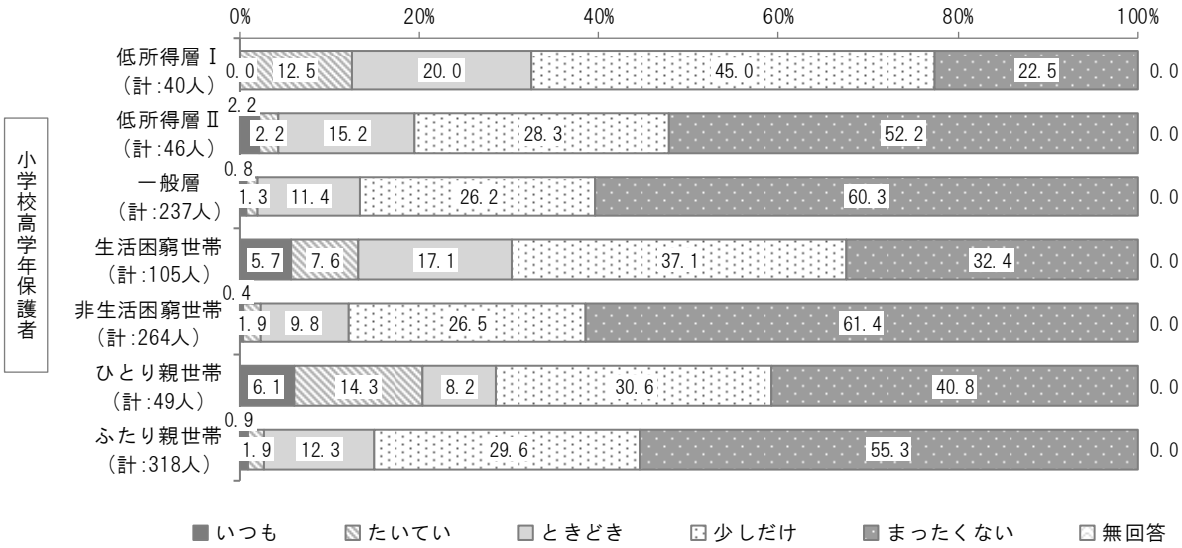
- ◆　ここ１か月の間にどれくらいの頻度で『そわそわ、落ち着かなく感じましたか』とたずねたところ、保護者全体では「まったくない」と回答した保護者の割合が最も高く、54.7%となっています。次いで、「少しだけ」（27.0%）、「ときどき」（13.0%）となっています。
- ◆　小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「まったくない」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「まったくない」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆　小学校高学年では、低所得層Ⅰと生活困窮世帯を除き全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「まったくない」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「まったくない」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆　中学生では、生活困窮世帯を除き全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「まったくない」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「まったくない」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



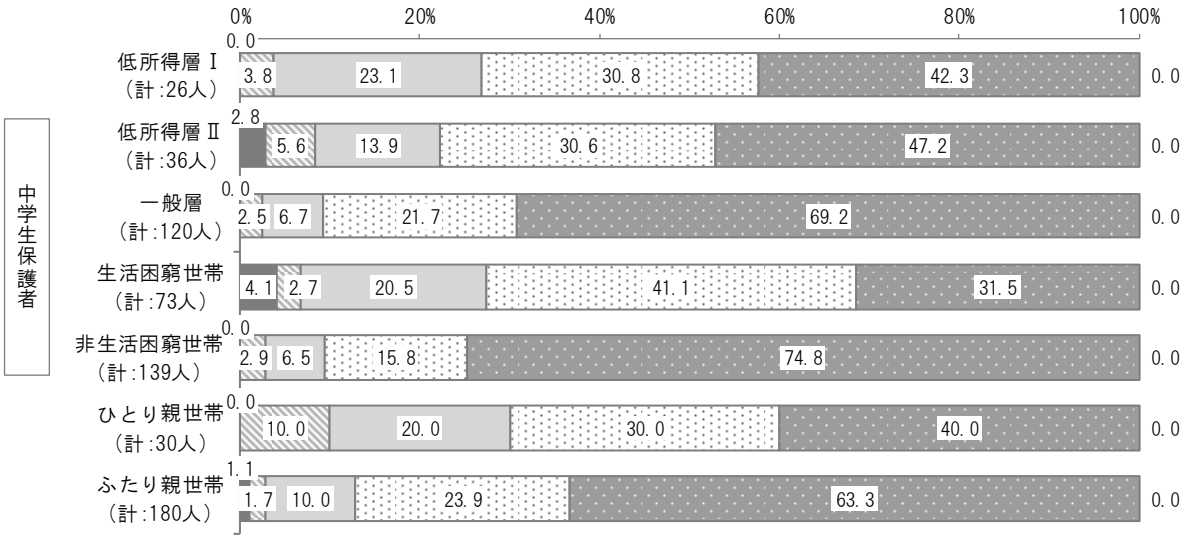
小学校低学年保護者



小学校高学年保護者

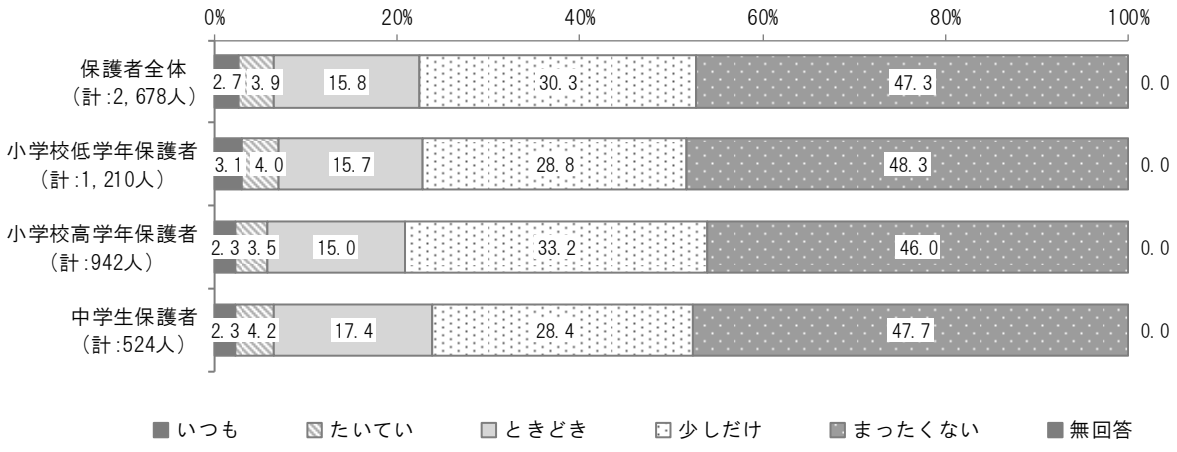


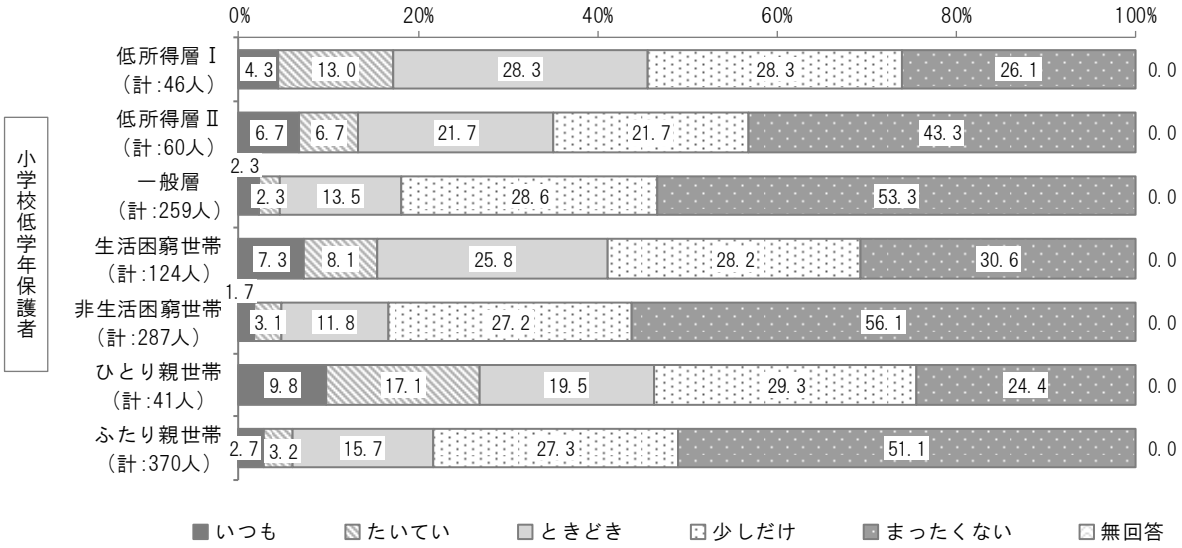
中学生保護者

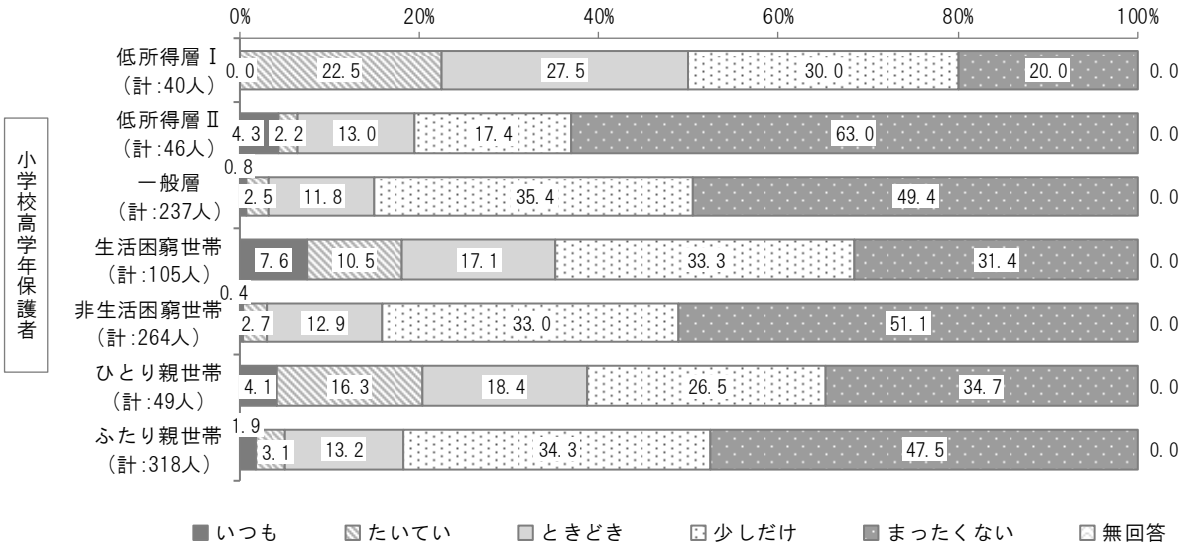


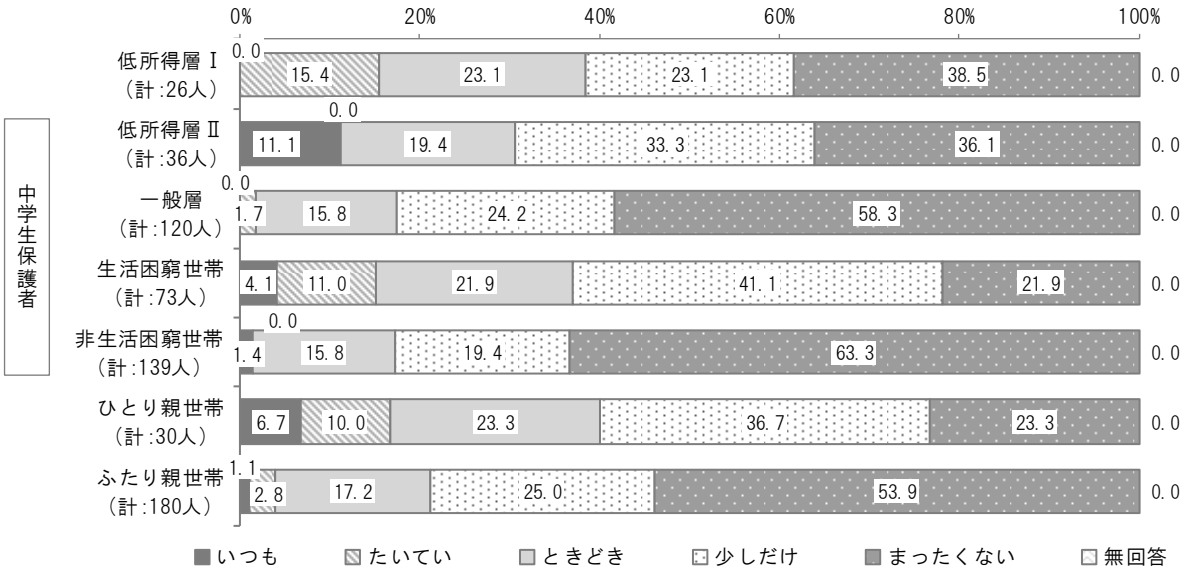
④　気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じましたか

- ◆　ここ１か月の間にどれくらいの頻度で『気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じましたか』とたずねたところ、保護者全体では「まったくない」と回答した保護者の割合が最も高く、47.3%となっています。次いで、「少しだけ」（30.3%)、「ときどき」(15.8%）となっています。
- ◆　小学校低学年では、全体の傾向と一部が異なり、低所得層Ⅰ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「まったくない」と回答した保護者の割合が低くなっています。低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「まったくない」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆　小学校高学年では、全体の傾向と一部が異なり、低所得層Ⅰ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「まったくない」と回答した保護者の割合が低くなっています。低所得層Ⅰ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「まったくない」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆　中学生では、全体の傾向と一部が異なり、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「まったくない」と回答した保護者の割合が低くなっています。低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「まったくない」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



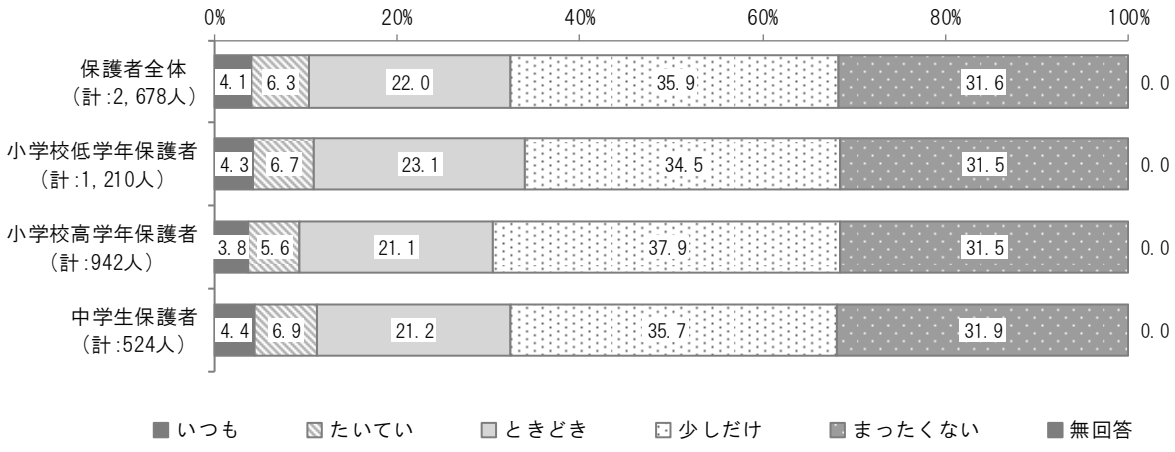

小学校低学年保護者
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:46人）
4.3 13.0 28.3 28.3 26.1 0.0
低所得層Ⅱ（計:60人）
6.7 6.7 21.7 21.7 43.3 0.0
一般層（計:259人）
2.3 2.3 13.5 28.6 53.3 0.0
生活困窮世帯（計:124人）
7.3 8.1 25.8 28.2 30.6 0.0
非生活困窮世帯（計:287人）
1.7 3.1 11.8 27.2 56.1 0.0
ひとり親世帯（計:41人）
9.8 17.1 19.5 29.3 24.4 0.0
ふたり親世帯（計:370人）
2.7 3.2 15.7 27.3 51.1 0.0
いつも
たいてい
ときどき
少しだけ
まったくない
無回答


小学校高学年保護者
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:40人）
0.0 22.5 27.5 30.0 20.0 0.0
低所得層Ⅱ（計:46人）
4.3 2.2 13.0 17.4 63.0 0.0
一般層（計:237人）
0.8 2.5 11.8 35.4 49.4 0.0
生活困窮世帯（計:105人）
7.6 10.5 17.1 33.3 31.4 0.0
非生活困窮世帯（計:264人）
0.4 2.7 12.9 33.0 51.1 0.0
ひとり親世帯（計:49人）
4.1 16.3 18.4 26.5 34.7 0.0
ふたり親世帯（計:318人）
1.9 3.1 13.2 34.3 47.5 0.0
いつも
たいてい
ときどき
少しだけ
まったくない
無回答

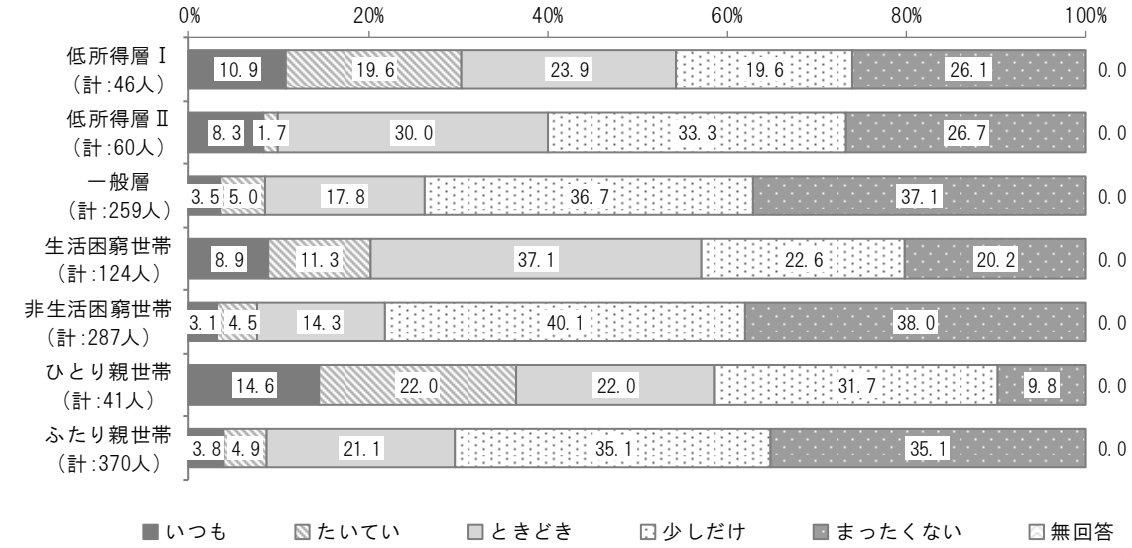

中学生保護者
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
0.0 15.4 23.1 23.1 38.5 0.0
低所得層Ⅱ（計:36人）
0.0 11.1 19.4 33.3 36.1 0.0
一般層（計:120人）
0.0 1.7 15.8 24.2 58.3 0.0
生活困窮世帯（計:73人）
4.1 11.0 21.9 41.1 21.9 0.0
非生活困窮世帯（計:139人）
0.0 1.4 15.8 19.4 63.3 0.0
ひとり親世帯（計:30人）
6.7 10.0 23.3 36.7 23.3 0.0
ふたり親世帯（計:180人）
1.1 2.8 17.2 25.0 53.9 0.0
いつも
たいてい
ときどき
少しだけ
まったくない
無回答

⑤何をするのも面倒だと感じましたか

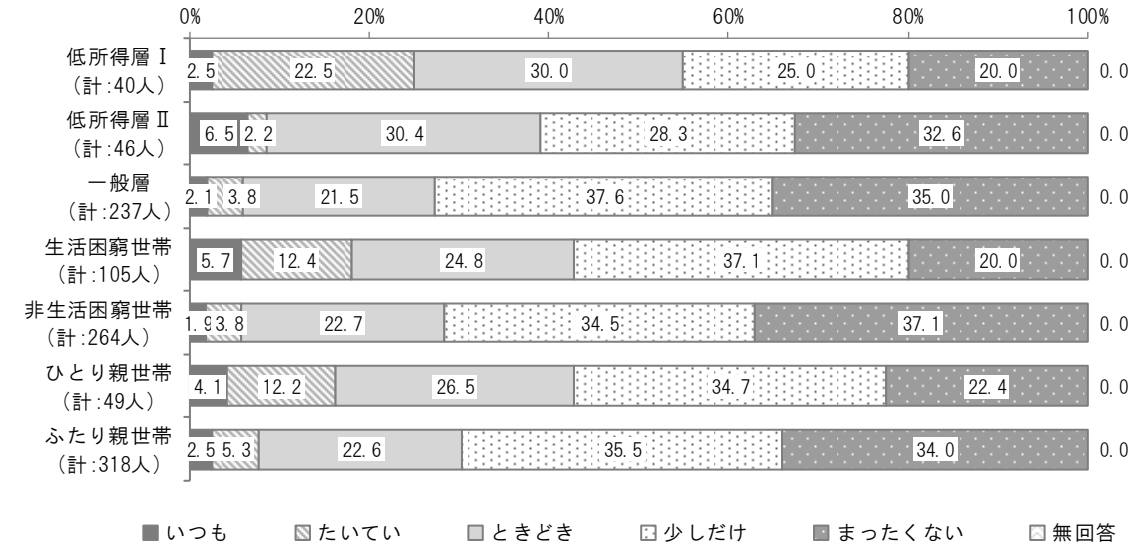
- ◆ ここ１か月の間にどれくらいの頻度で『何をするのも面倒だと感じましたか』とたずねたところ、保護者全体では「少しだけ」と回答した保護者の割合が最も高く、35.9%となっています。次いで、「まったくない」（31.6%）、「ときどき」（22.0%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、低所得層Ⅰと生活困窮世帯を除き全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「少しだけ」と回答した保護者の割合が最も高くなっています。低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「まったくない」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、低所得層Ⅰ・Ⅱと非生活困窮世帯を除き全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「少しだけ」と回答した保護者の割合が最も高くなっています。低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「まったくない」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、非生活困窮世帯を除き全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「少しだけ」と回答した保護者の割合が最も高くなっています。低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「まったくない」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



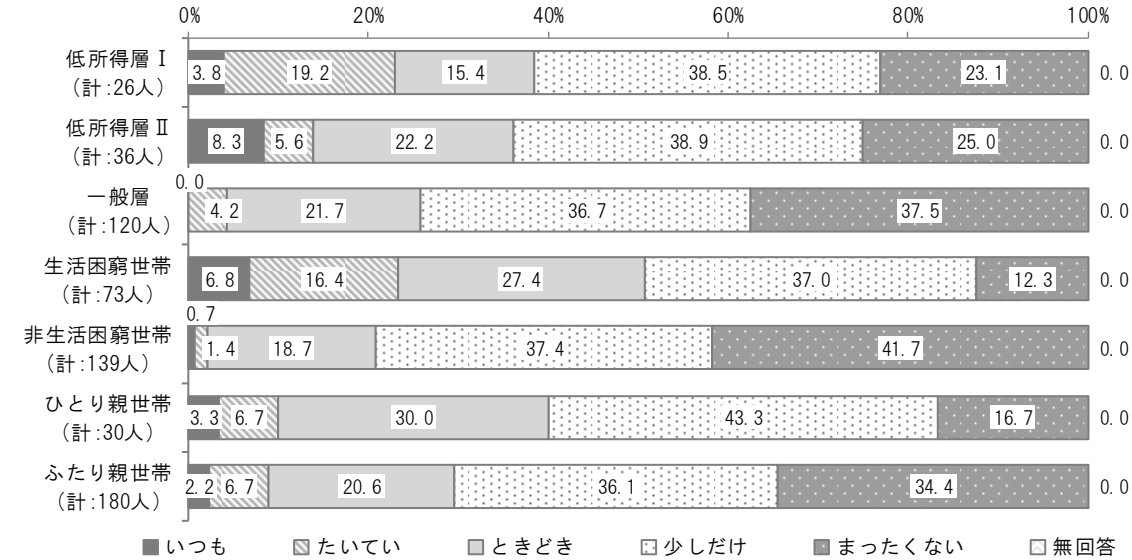
小学校低学年保護者



小学校高学年保護者

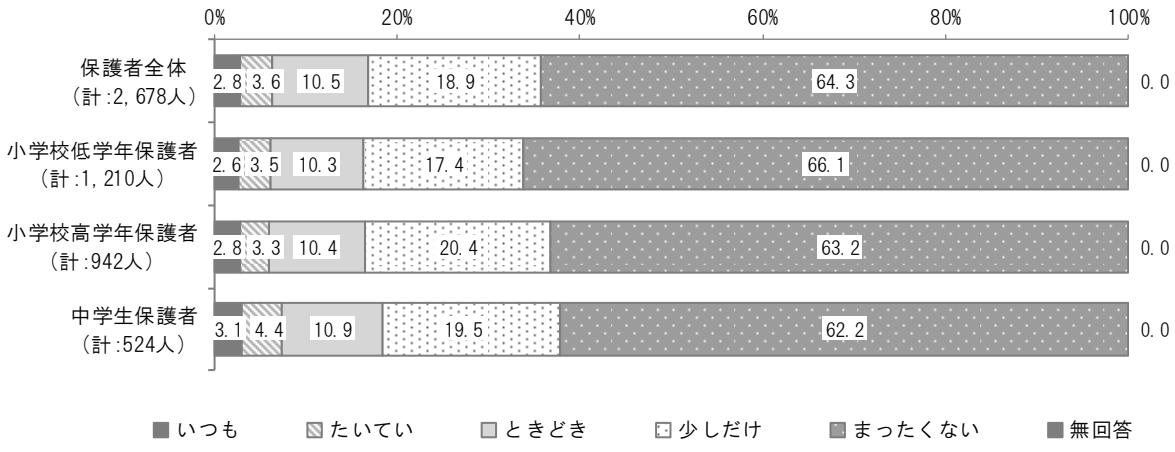


中学生保護者

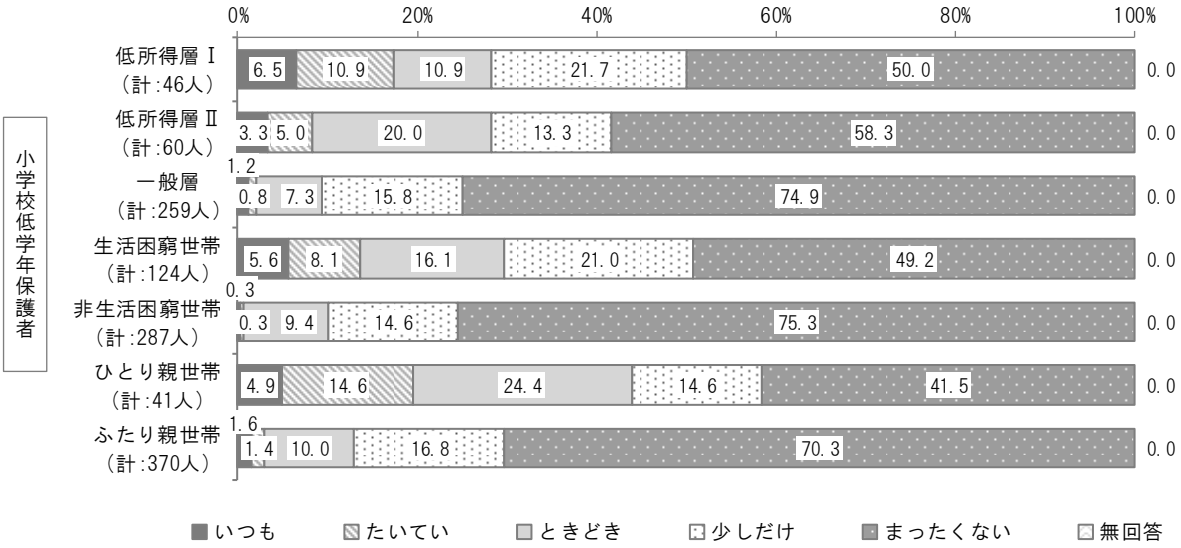


⑥自分は価値のない人間だと感じましたか

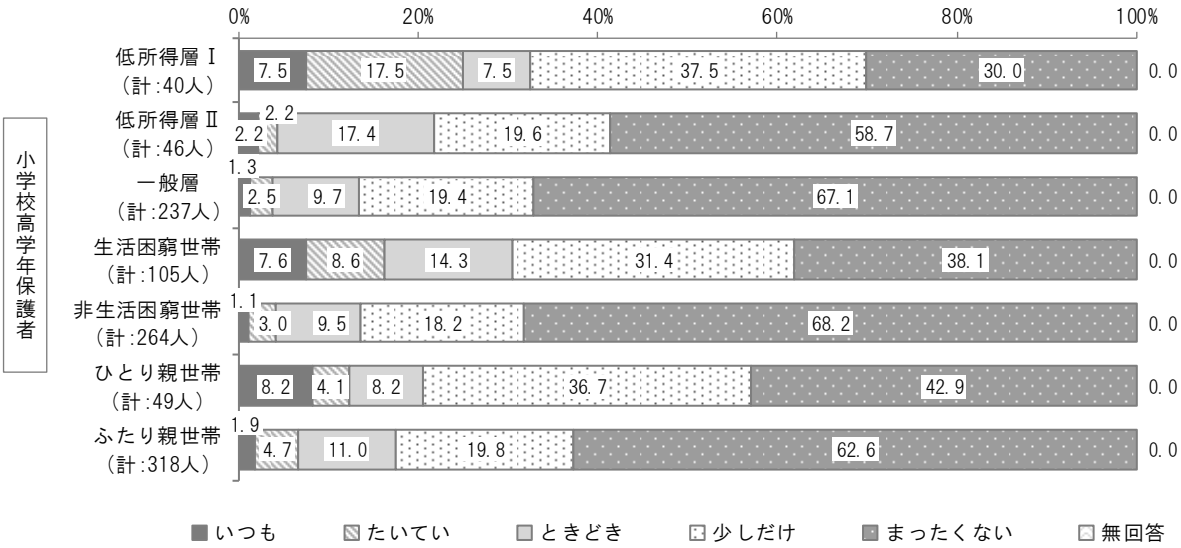
- ◆ ここ１か月の間にどれくらいの頻度で『自分は価値のない人間だと感じましたか』とたずねたところ、保護者全体では「まったくない」と回答した保護者の割合が最も高く、64.3%となっています。次いで、「少しだけ」（18.9%）、「ときどき」（10.5%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「まったくない」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「まったくない」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「まったくない」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「まったくない」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。
- ◆ 中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「まったくない」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「まったくない」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より低くなっています。



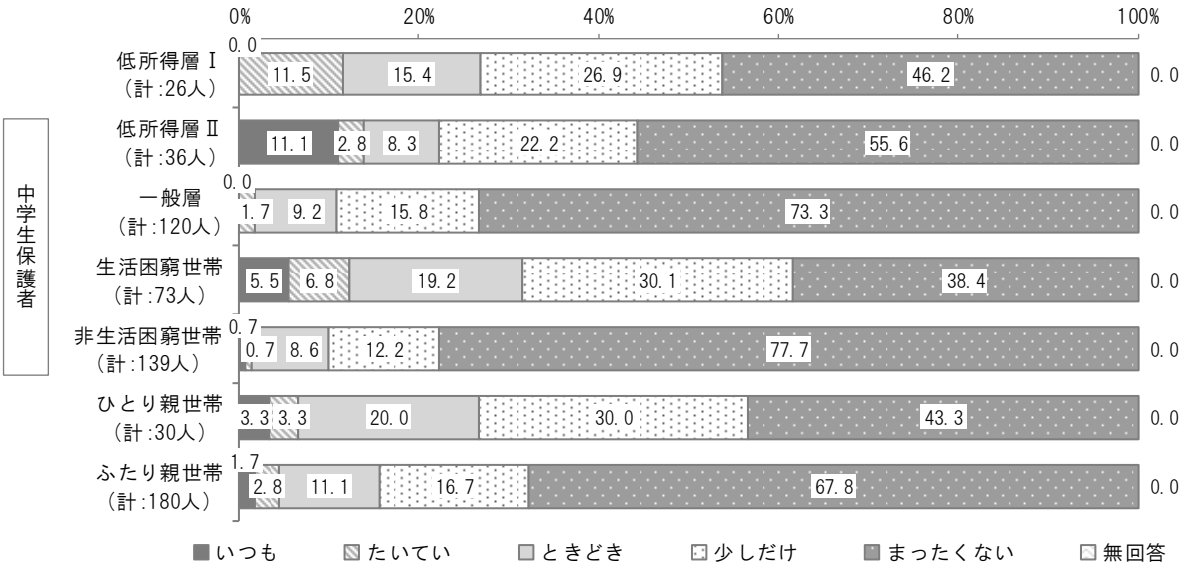
小学校低学年保護者



小学校高学年保護者



中学生保護者



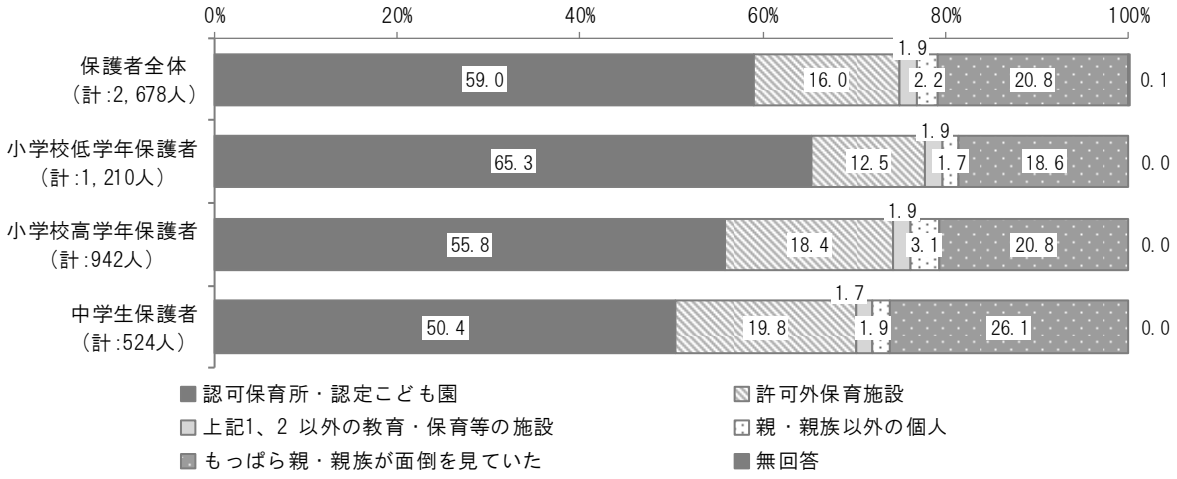
6．制度の利用状況

（1）保育所等の利用

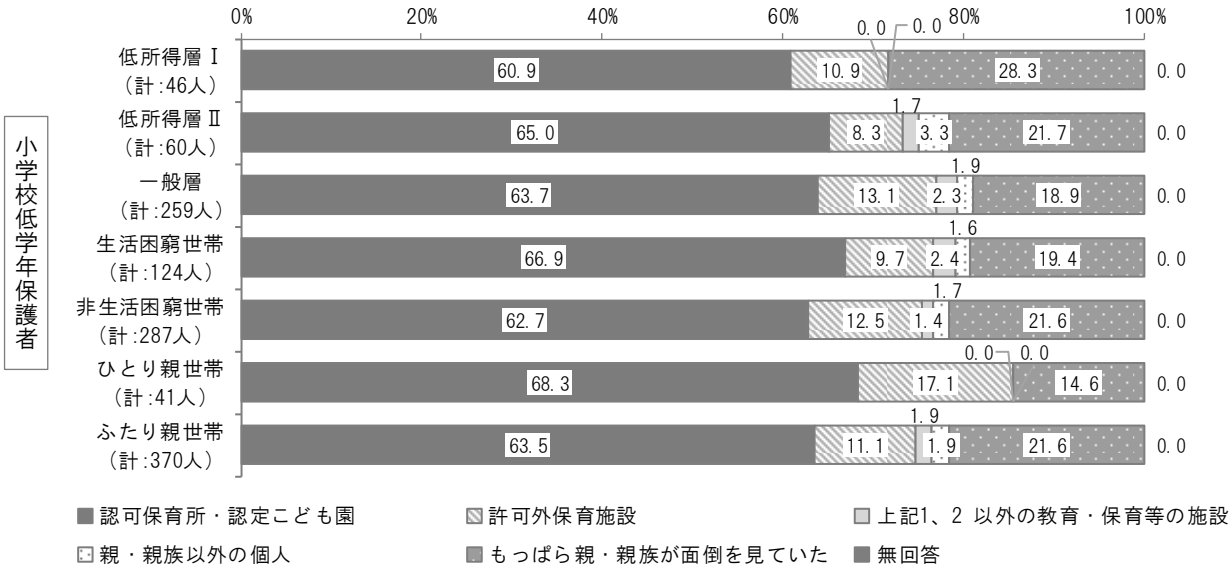
＜保護者票＞問 11　お子さんが通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。

a）お子さんが通っていた教育・保育施設（0～2歳の頃）

- ◆ お子さんが0～2歳の頃、通っていた教育・保育施設等で最も主なものについて、保護者全体では「認可保育所・認定こども園」と回答した保護者の割合が最も高く、59.0%となっています。次いで、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」（20.8%）、「許可外保育施設」（16.0%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「認可保育所・認定こども園」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「認可保育所・認定こども園」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より高くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「認可保育所・認定こども園」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「認可保育所・認定こども園」と回答した保護者の割合が非生活困窮世帯、ふたり親世帯より高くなっています。
- ◆ 中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「認可保育所・認定こども園」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「認可保育所・認定こども園」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より高くなっています。

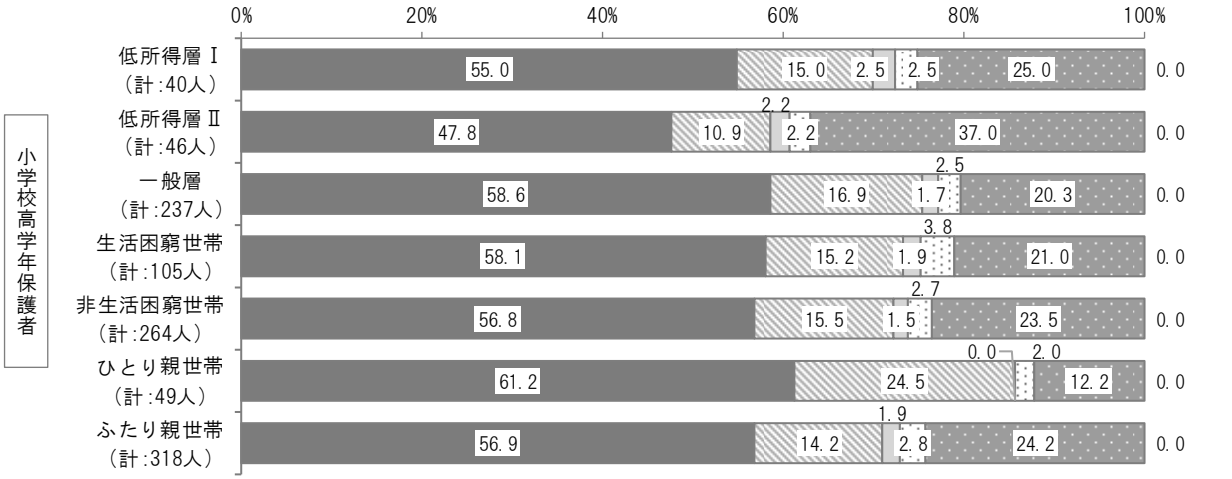


小学校低学年保護者



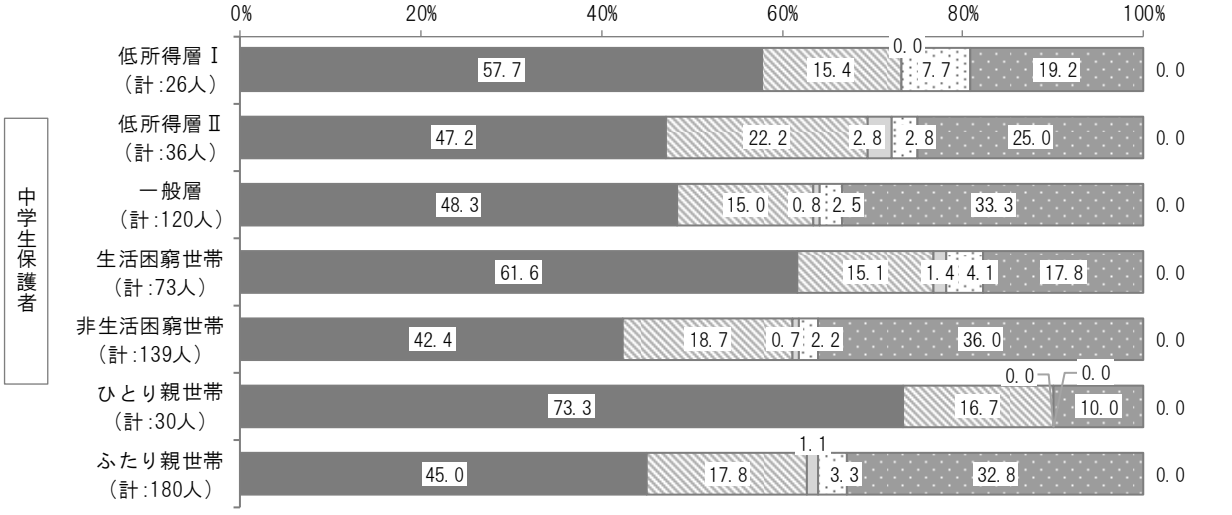
■認可保育所・認定こども園　▨許可外保育施設　□上記1、2 以外の教育・保育等の施設
▩親・親族以外の個人　■もっぱら親・親族が面倒を見ていた　■無回答

小学校高学年保護者



■認可保育所・認定こども園　▨許可外保育施設　□上記1、2 以外の教育・保育等の施設
▩親・親族以外の個人　■もっぱら親・親族が面倒を見ていた　■無回答

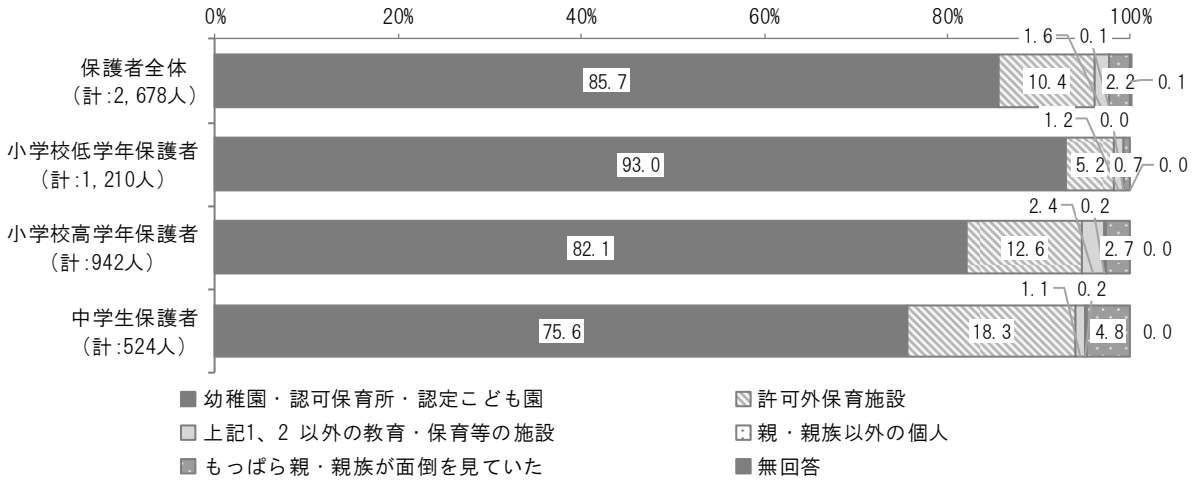
中学生保護者



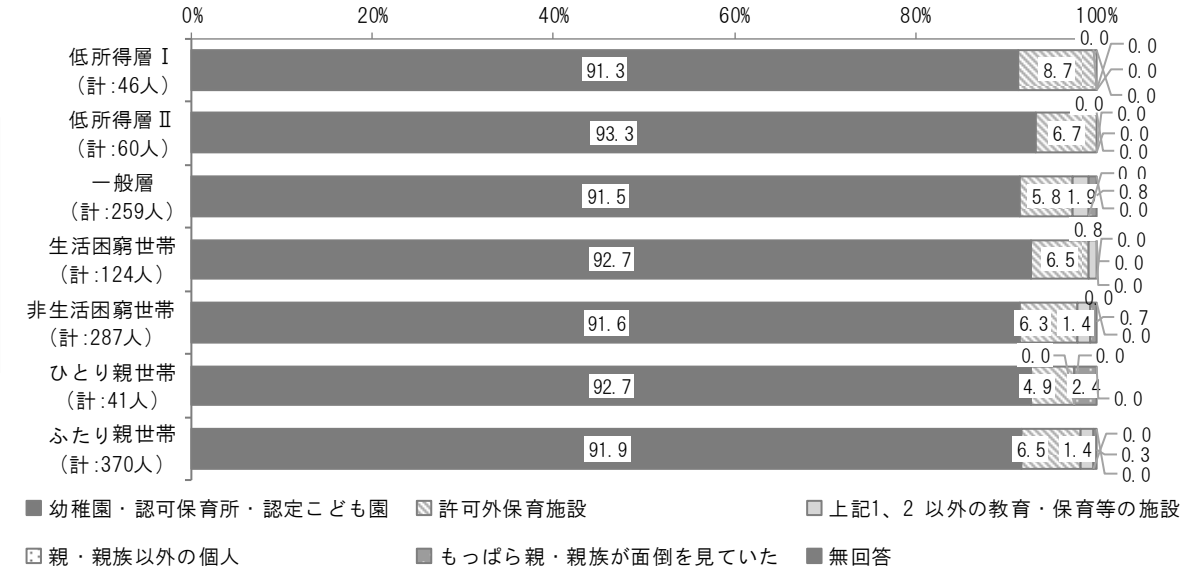
■認可保育所・認定こども園　▨許可外保育施設　□上記1、2 以外の教育・保育等の施設
▩親・親族以外の個人　■もっぱら親・親族が面倒を見ていた　■無回答

b）お子さんが通っていた教育・保育施設（３～５歳の頃）

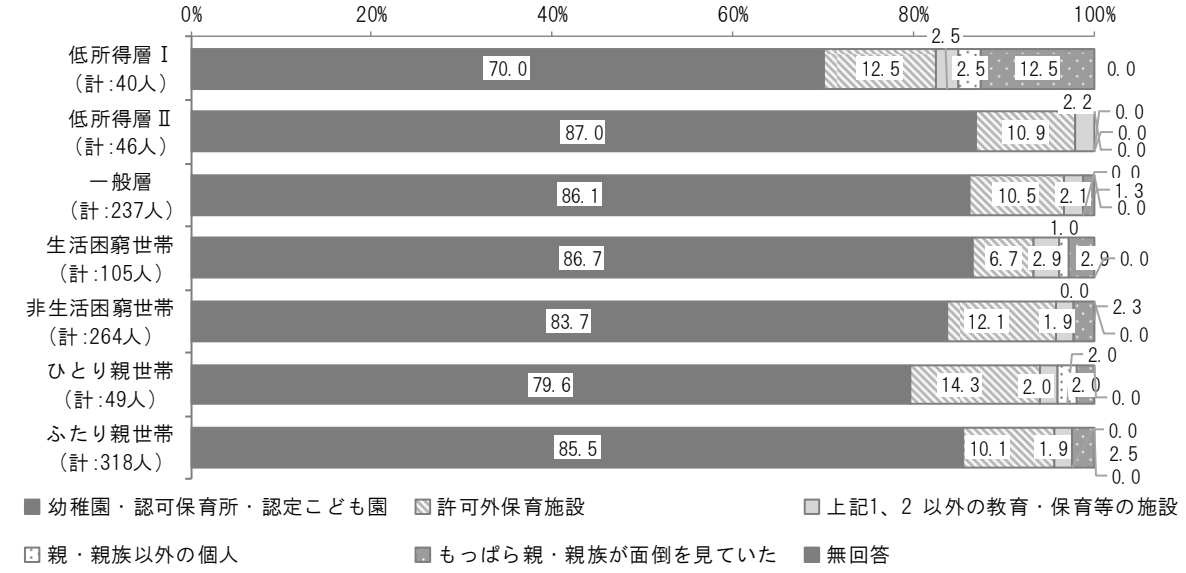
- ◆ お子さんが３～５歳の頃、通っていた教育・保育施設等で最も主なものについて、保護者全体では「幼稚園・認可保育所・認定こども園」と回答した保護者の割合が最も高く、85.7%となっています。次いで、「許可外保育施設」（10.4%）、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」（2.2%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「幼稚園・認可保育所・認定こども園」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「幼稚園・認可保育所・認定こども園」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より高くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「幼稚園・認可保育所・認定こども園」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅱ、生活困窮世帯で「幼稚園・認可保育所・認定こども園」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯より高い傾向があります。
- ◆ 中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「幼稚園・認可保育所・認定こども園」と回答した保護者の割合が最も高くなっていますが、低所得層Ⅰ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「幼稚園・認可保育所・認定こども園」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より高くなっています。



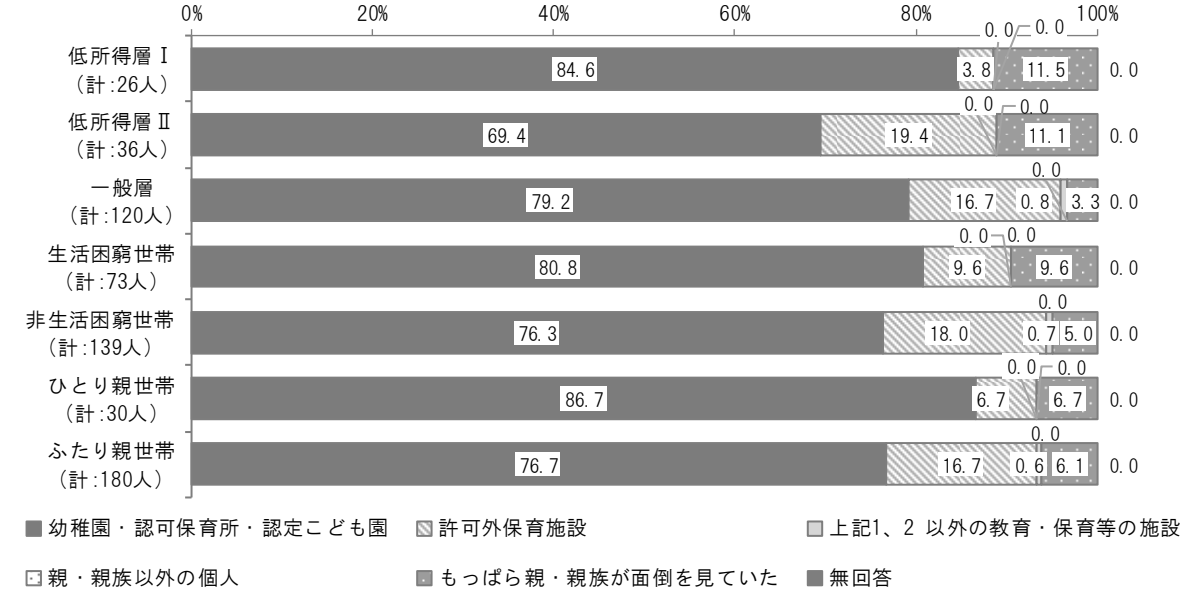
小学校低学年保護者



小学校高学年保護者



中学生保護者

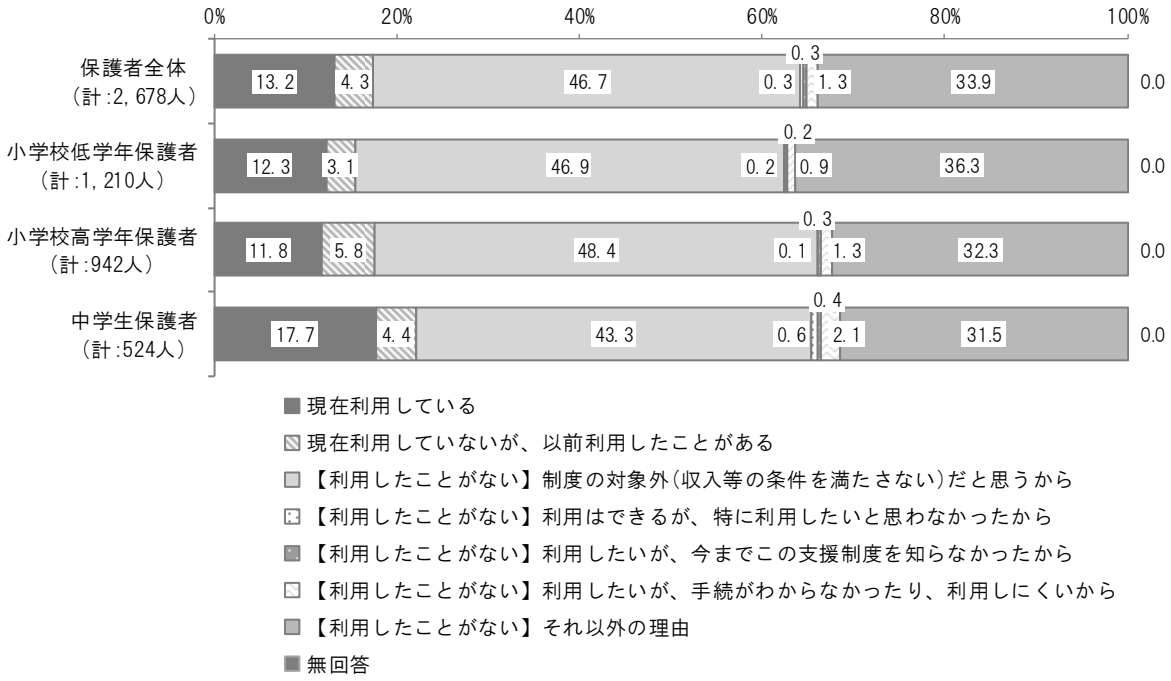


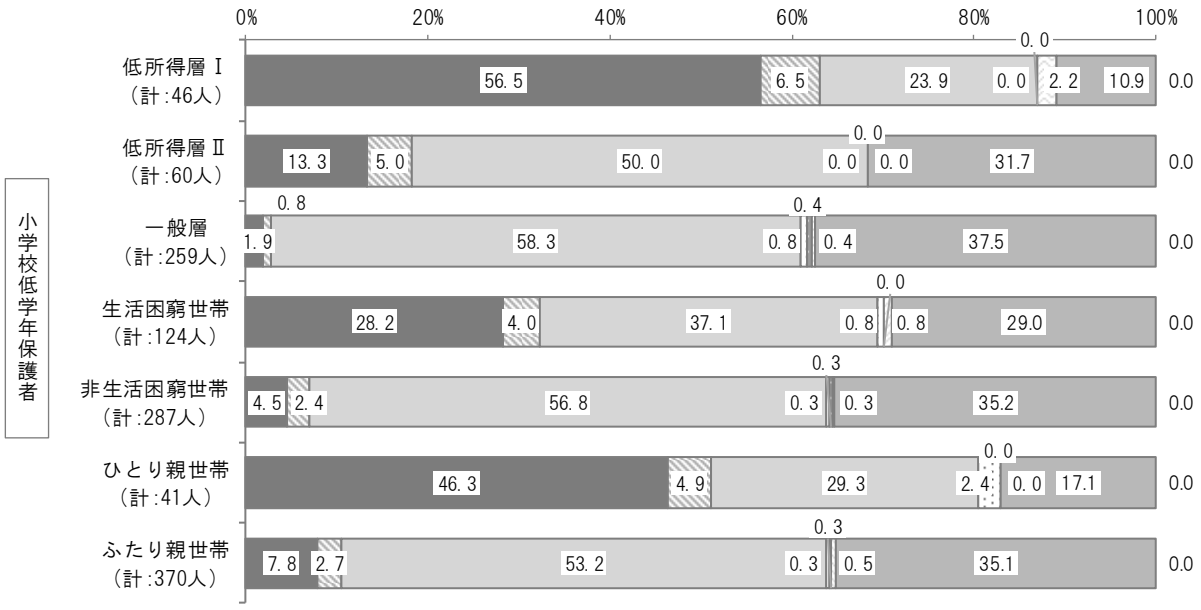
（２）就学援助の利用状況

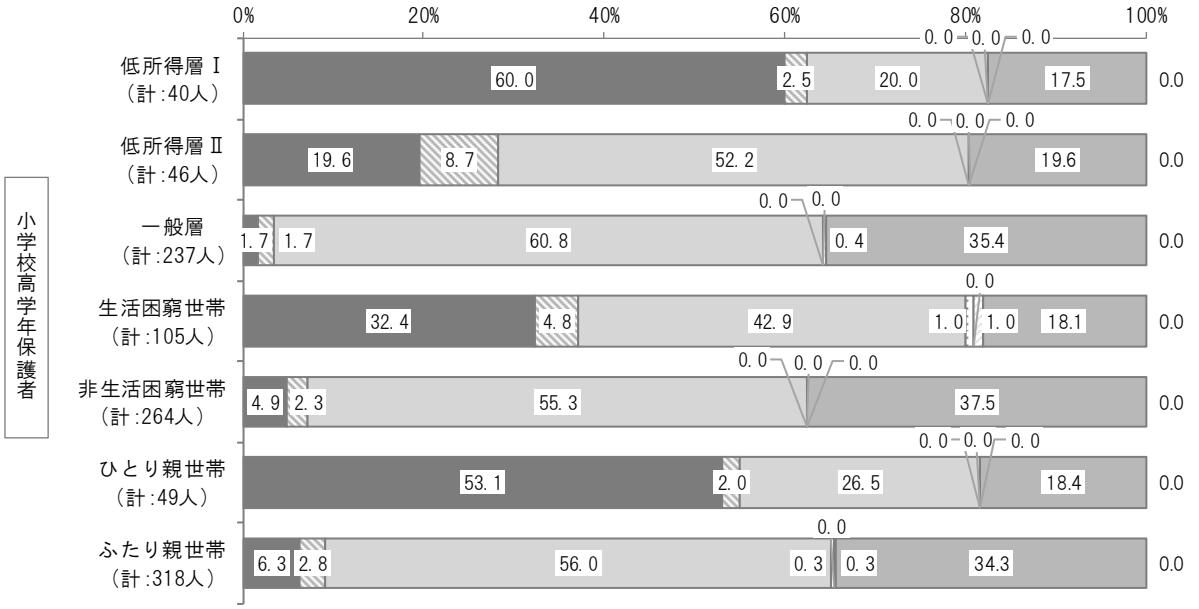
＜保護者票＞問 27　あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。（①～⑤それぞれについて、あてはまるもの１つに○）

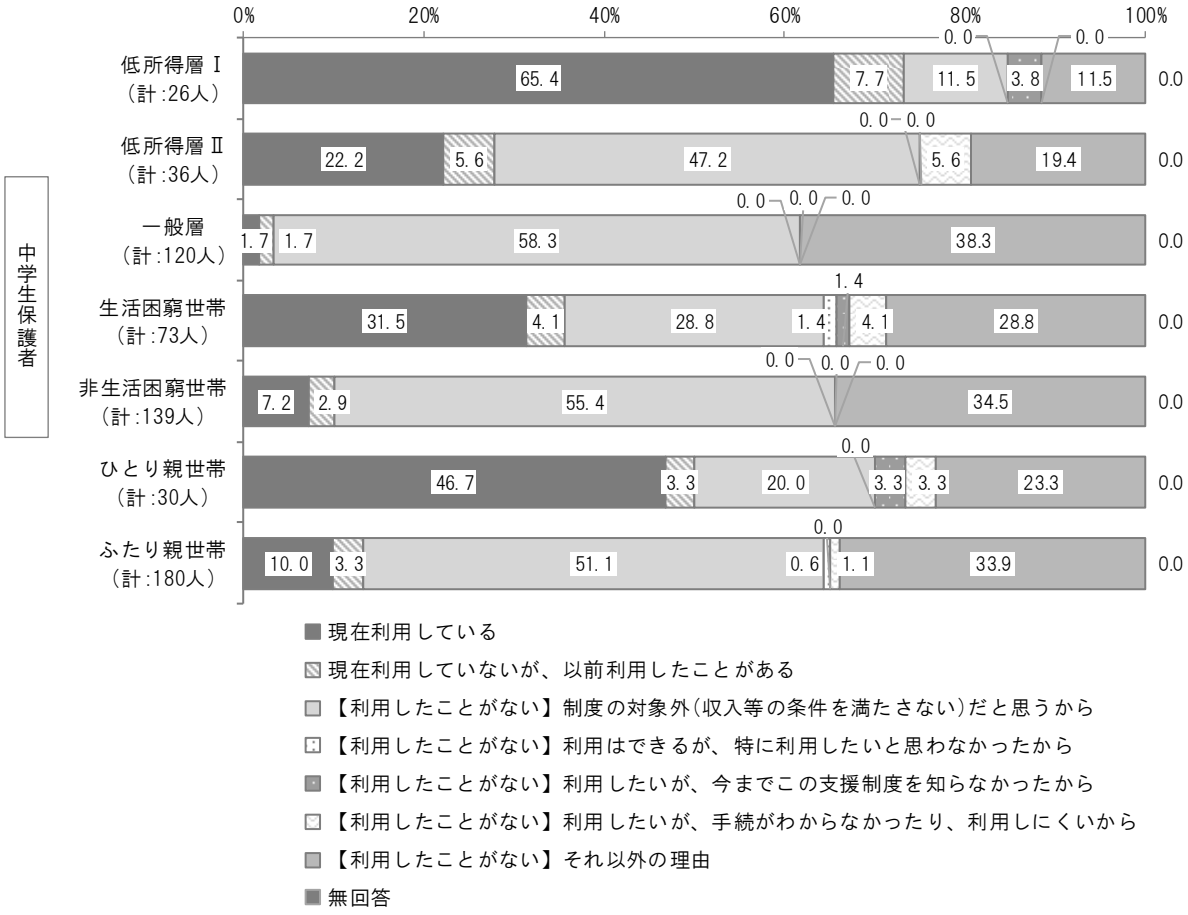
⑤　就学援助の利用状況について

- ◆ 就学援助の利用について、保護者全体では「【利用したことがない】制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから」と回答した人の割合が最も高く、46.7%となっています。次いで、「【利用したことがない】それ以外の理由」(33.9%)、「現在利用している」(13.2%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、低所得層Ⅰとひとり親世帯を除き全体同様の傾向となっています。低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「現在利用している」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より高くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、低所得層Ⅰとひとり親世帯を除き全体同様の傾向となっています。低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「現在利用している」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より高くなっています。
- ◆ 中学生では、低所得層Ⅰとひとり親世帯を除き全体同様の傾向となっています。低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「現在利用している」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より高くなっています。




小学校低学年保護者
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:46人）
56.5
6.5
23.9
0.0
0.0
2.2
10.9
0.0
低所得層Ⅱ（計:60人）
13.3
5.0
50.0
0.0
0.0
31.7
0.0
一般層（計:259人）
1.9
0.8
58.3
0.8
0.4
0.4
37.5
0.0
生活困窮世帯（計:124人）
28.2
4.0
37.1
0.8
0.0
0.8
29.0
0.0
非生活困窮世帯（計:287人）
4.5
2.4
56.8
0.3
0.3
0.3
35.2
0.0
ひとり親世帯（計:41人）
46.3
4.9
29.3
2.4
0.0
0.0
17.1
0.0
ふたり親世帯（計:370人）
7.8
2.7
53.2
0.3
0.5
0.3
35.1
0.0
現在利用している
現在利用していないが、以前利用したことがある
【利用したことがない】制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから
【利用したことがない】利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
【利用したことがない】利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
【利用したことがない】利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから
【利用したことがない】それ以外の理由
無回答

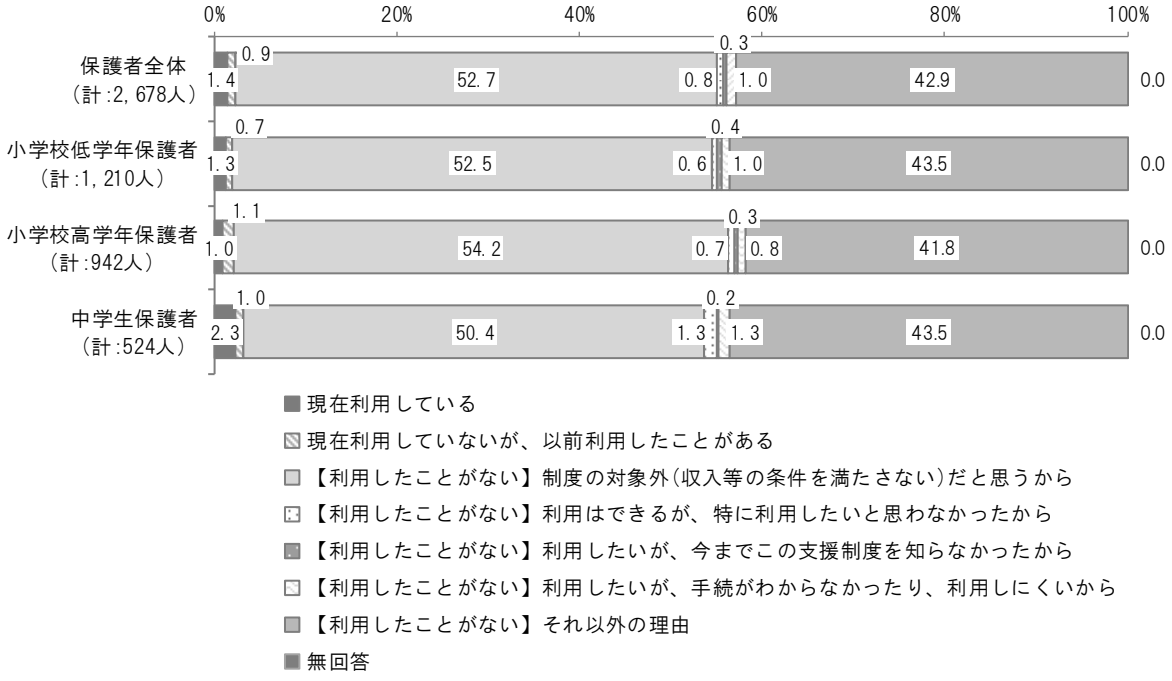

小学校高学年保護者
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:40人）
60.0
2.5
20.0
0.0
0.0
0.0
17.5
0.0
低所得層Ⅱ（計:46人）
19.6
8.7
52.2
0.0
0.0
0.0
19.6
0.0
一般層（計:237人）
1.7
1.7
60.8
0.0
0.4
0.0
35.4
0.0
生活困窮世帯（計:105人）
32.4
4.8
42.9
1.0
0.0
1.0
18.1
0.0
非生活困窮世帯（計:264人）
4.9
2.3
55.3
0.0
0.0
0.0
37.5
0.0
ひとり親世帯（計:49人）
53.1
2.0
26.5
0.0
0.0
0.0
18.4
0.0
ふたり親世帯（計:318人）
6.3
2.8
56.0
0.0
0.3
0.3
34.3
0.0
現在利用している
現在利用していないが、以前利用したことがある
【利用したことがない】制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから
【利用したことがない】利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
【利用したことがない】利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
【利用したことがない】利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから
【利用したことがない】それ以外の理由
無回答

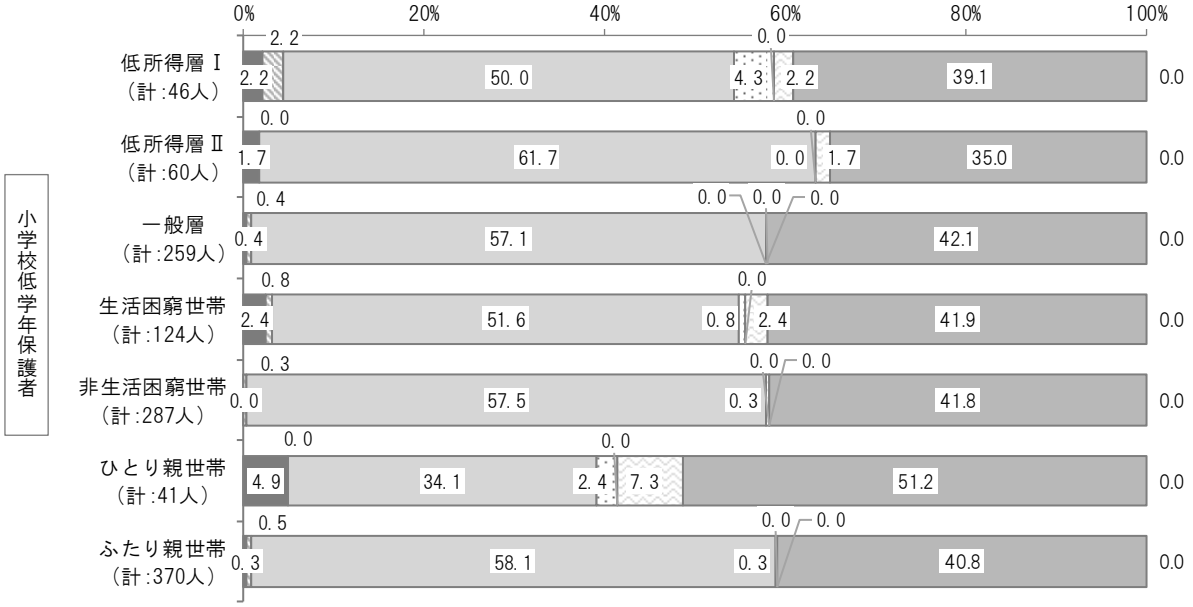

中学生保護者
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
65.4
7.7
11.5
3.8
11.5
0.0
低所得層Ⅱ（計:36人）
22.2
5.6
47.2
5.6
19.4
0.0
一般層（計:120人）
1.7
1.7
58.3
38.3
0.0
生活困窮世帯（計:73人）
31.5
4.1
28.8
1.4
4.1
28.8
0.0
非生活困窮世帯（計:139人）
7.2
2.9
55.4
34.5
0.0
ひとり親世帯（計:30人）
46.7
3.3
20.0
3.3
3.3
23.3
0.0
ふたり親世帯（計:180人）
10.0
3.3
51.1
0.6
1.1
33.9
0.0
現在利用している
現在利用していないが、以前利用したことがある
【利用したことがない】制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから
【利用したことがない】利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
【利用したことがない】利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
【利用したことがない】利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから
【利用したことがない】それ以外の理由
無回答

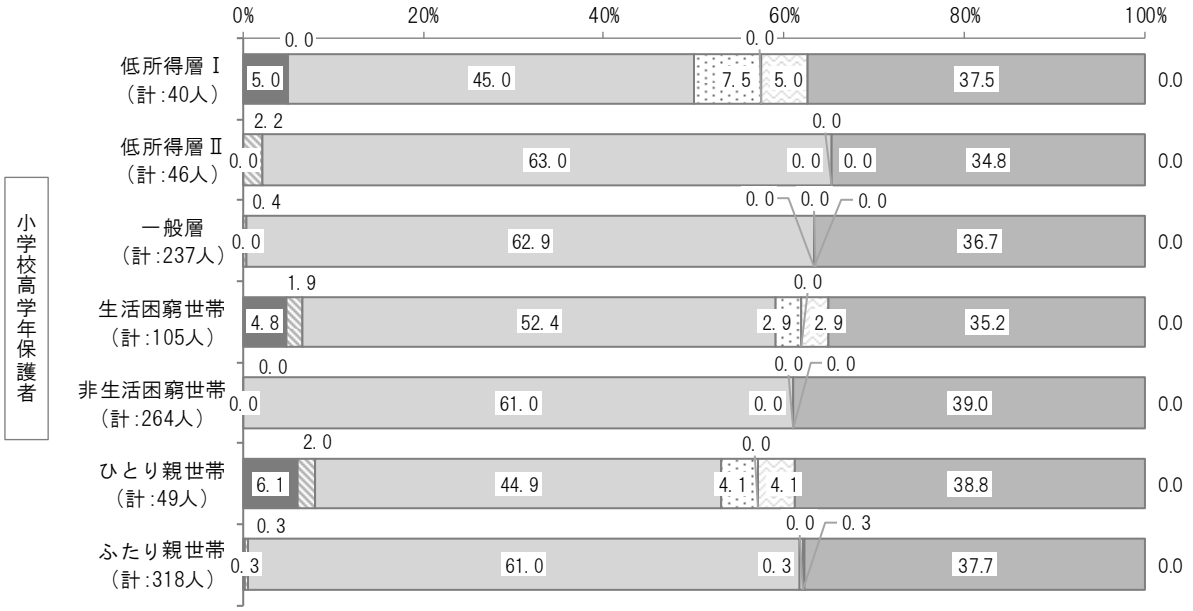
（3）支援制度の利用状況

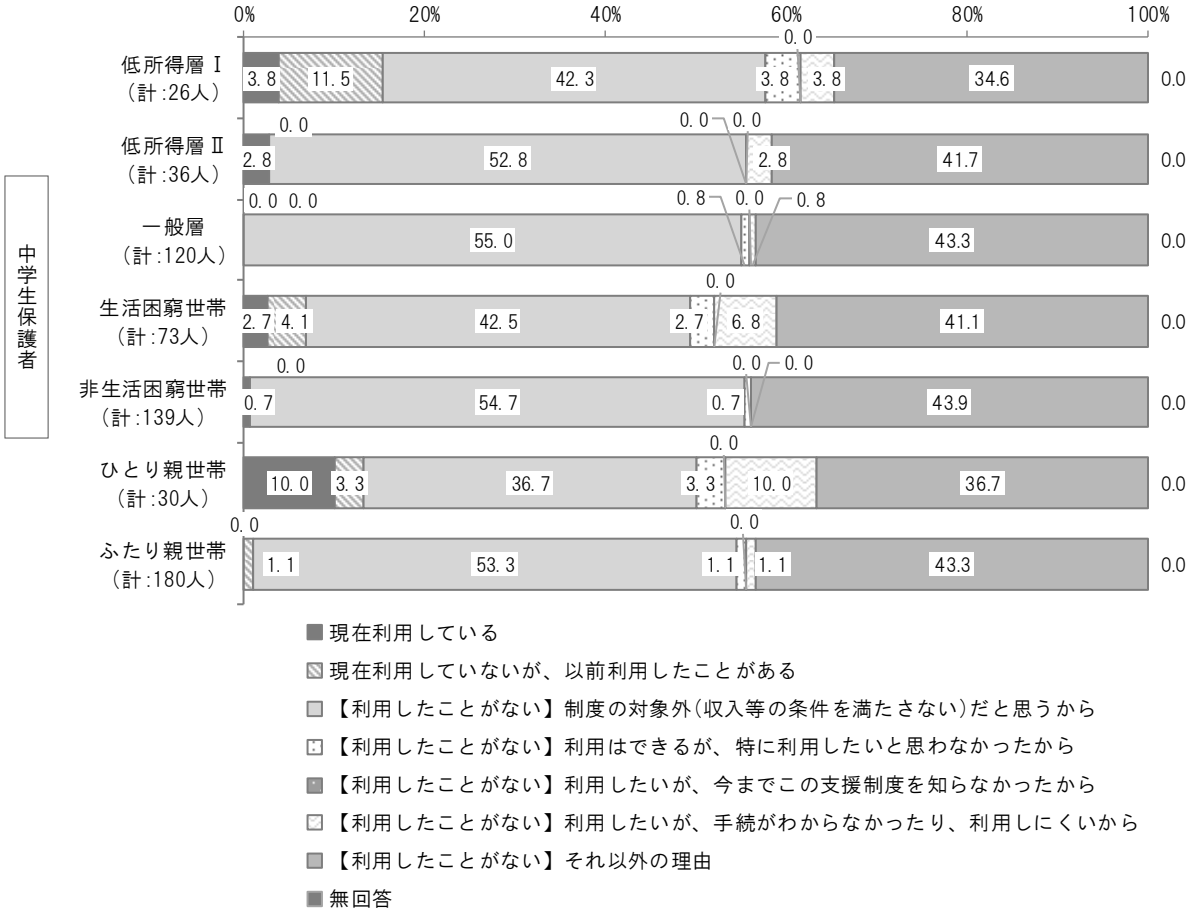
① 生活保護の利用状況

- ◆ 生活保護の利用について、保護者全体では「【利用したことがない】制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから」と回答した人の割合が最も高く、52.7%となっています。次いで、「【利用したことがない】それ以外の理由」(42.9%)、「現在利用している」(1.4%)となっています。
- ◆ 小学校低学年では、ひとり親世帯を除き全体同様の傾向となっています。低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「現在利用している」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より高くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっています。低所得層Ⅰ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「現在利用している」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より高くなっています。
- ◆ 中学生では、全体同様の傾向となっています。低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「現在利用している」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より高くなっています。



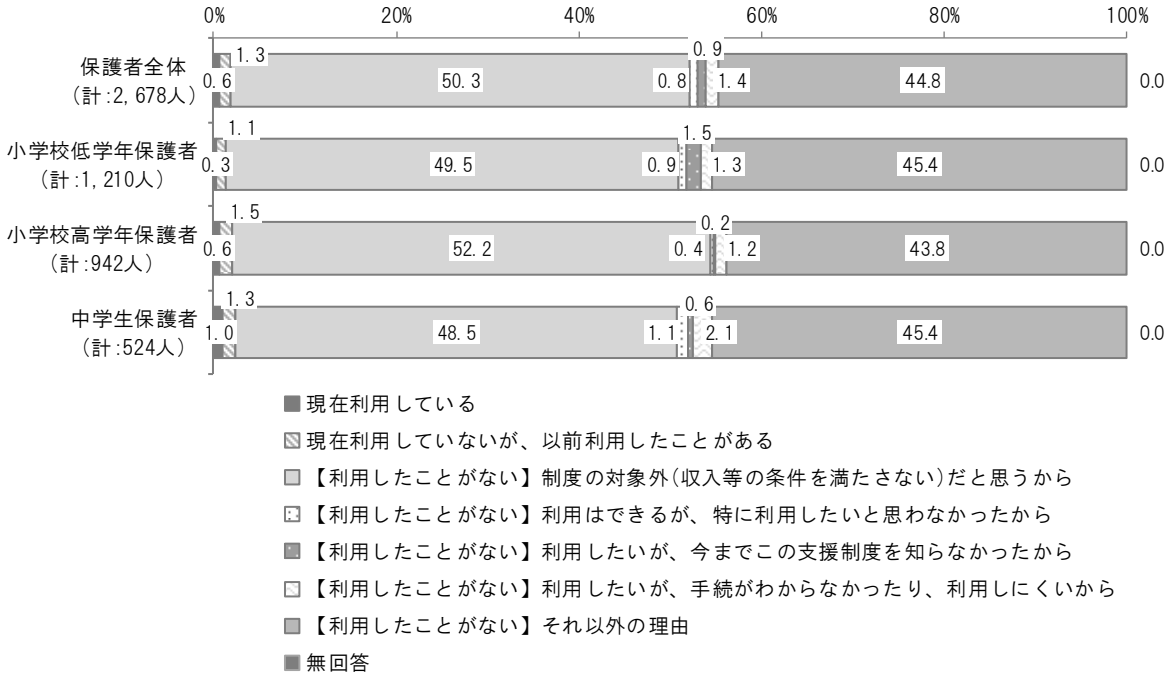

小学校低学年保護者
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:46人）
2.2 0.0
2.2 50.0 4.3 2.2 39.1 0.0
低所得層Ⅱ（計:60人）
0.0 0.0
1.7 61.7 0.0 1.7 35.0 0.0
一般層（計:259人）
0.4 0.0 0.0 0.0
0.4 57.1 42.1 0.0
生活困窮世帯（計:124人）
0.8 0.0
2.4 51.6 0.8 2.4 41.9 0.0
非生活困窮世帯（計:287人）
0.3 0.0 0.0
0.0 57.5 0.3 41.8 0.0
ひとり親世帯（計:41人）
0.0 0.0
4.9 34.1 2.4 7.3 51.2 0.0
ふたり親世帯（計:370人）
0.5 0.0 0.0
0.3 58.1 0.3 40.8 0.0
現在利用している
現在利用していないが、以前利用したことがある
【利用したことがない】制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから
【利用したことがない】利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
【利用したことがない】利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
【利用したことがない】利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから
【利用したことがない】それ以外の理由
無回答


小学校高学年保護者
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:40人）
0.0 0.0
5.0 45.0 7.5 5.0 37.5 0.0
低所得層Ⅱ（計:46人）
2.2 0.0
0.0 63.0 0.0 0.0 34.8 0.0
一般層（計:237人）
0.4 0.0 0.0 0.0
0.0 62.9 36.7 0.0
生活困窮世帯（計:105人）
1.9 0.0
4.8 52.4 2.9 2.9 35.2 0.0
非生活困窮世帯（計:264人）
0.0 0.0 0.0
0.0 61.0 0.0 39.0 0.0
ひとり親世帯（計:49人）
2.0 0.0
6.1 44.9 4.1 4.1 38.8 0.0
ふたり親世帯（計:318人）
0.3 0.0 0.3
0.3 61.0 0.3 37.7 0.0
現在利用している
現在利用していないが、以前利用したことがある
【利用したことがない】制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから
【利用したことがない】利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
【利用したことがない】利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
【利用したことがない】利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから
【利用したことがない】それ以外の理由
無回答

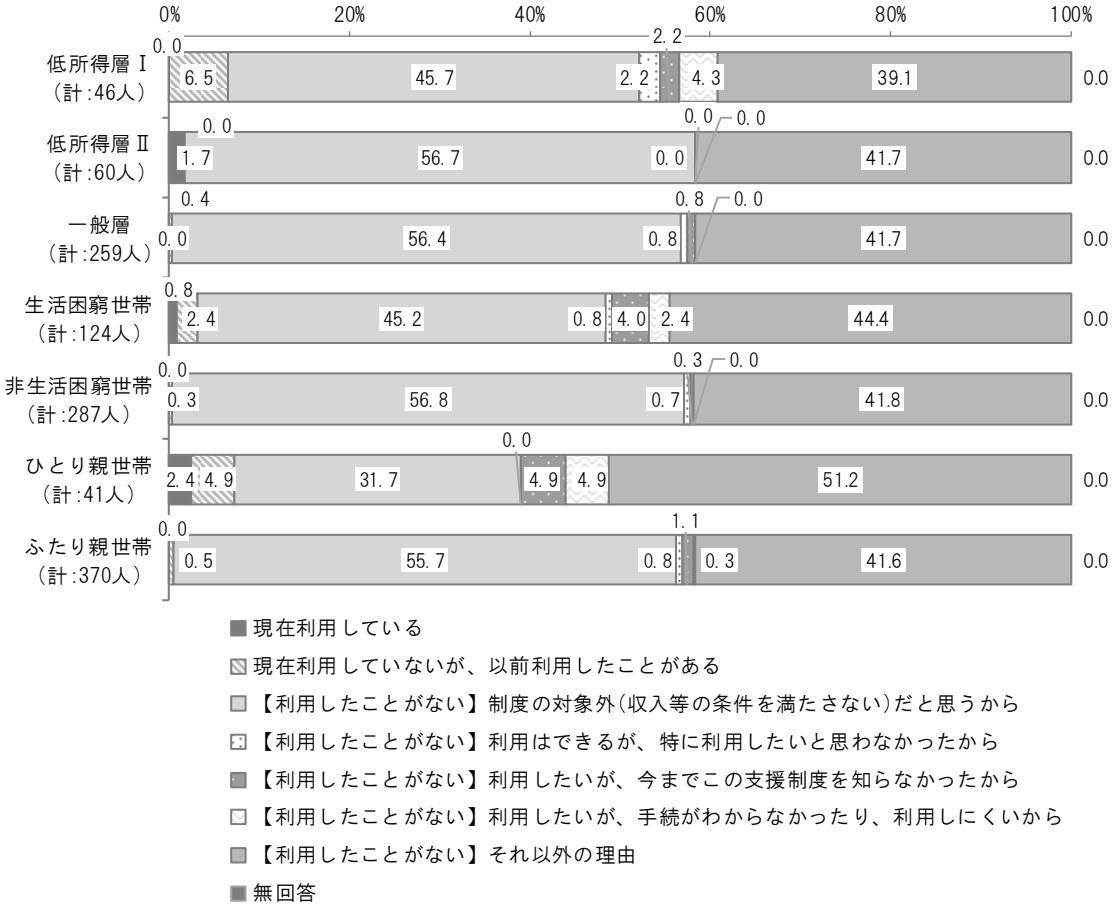

中学生保護者
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
3.8
11.5
42.3
3.8
3.8
34.6
0.0
0.0
低所得層Ⅱ（計:36人）
0.0
2.8
52.8
0.0
0.0
2.8
41.7
0.0
一般層（計:120人）
0.0
0.0
55.0
0.8
0.0
0.8
43.3
0.0
生活困窮世帯（計:73人）
2.7
4.1
42.5
0.0
2.7
6.8
41.1
0.0
非生活困窮世帯（計:139人）
0.0
0.7
54.7
0.0
0.0
0.7
43.9
0.0
ひとり親世帯（計:30人）
10.0
3.3
36.7
0.0
3.3
10.0
36.7
0.0
ふたり親世帯（計:180人）
0.0
1.1
53.3
0.0
1.1
1.1
43.3
0.0
現在利用している
現在利用していないが、以前利用したことがある
【利用したことがない】制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから
【利用したことがない】利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
【利用したことがない】利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
【利用したことがない】利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから
【利用したことがない】それ以外の理由
無回答

② 生活困窮者の自立支援相談窓口

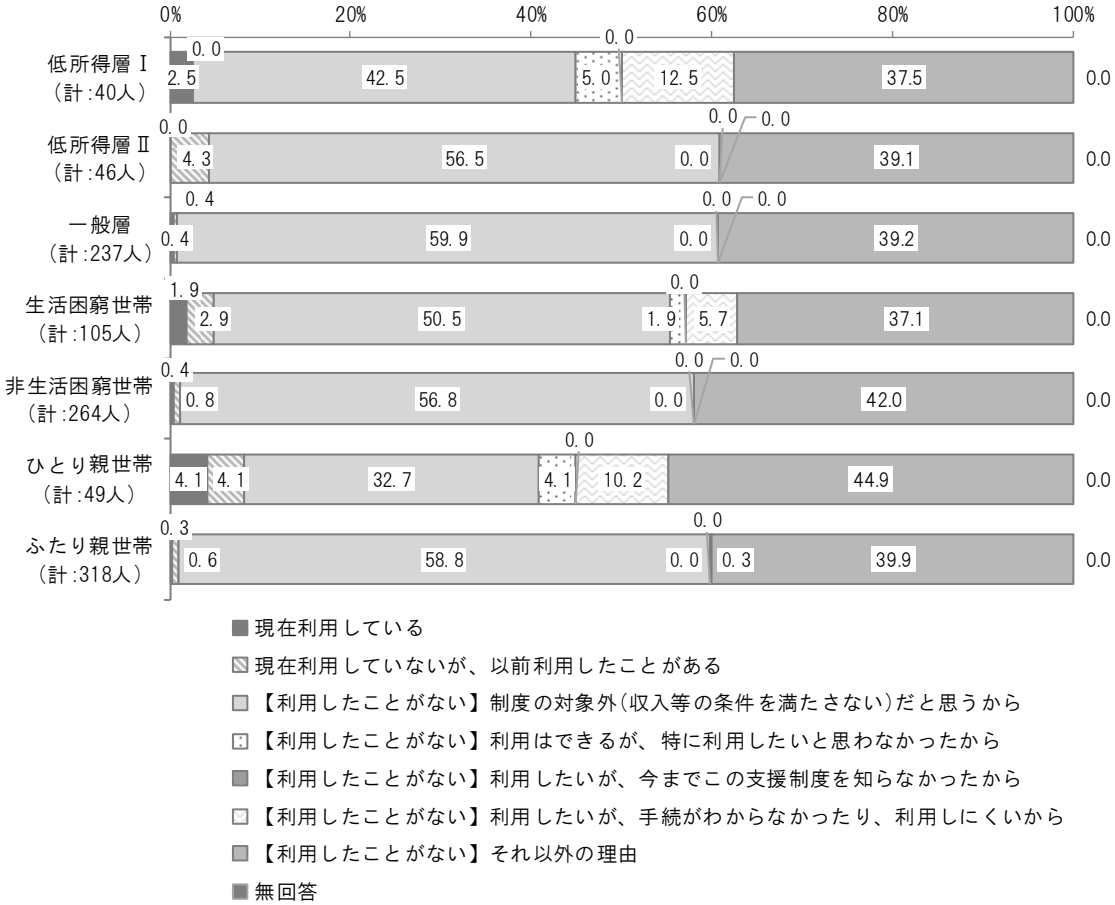
- ◆ 生活困窮者の自立支援相談窓口の利用について、保護者全体では「【利用したことがない】制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから」と回答した人の割合が最も高く、50.3%となっています。次いで、「【利用したことがない】それ以外の理由」(44.8%)、「【利用したことがない】利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから」(1.4%)となっています。
- ◆ 小学校低学年では、ひとり親世帯を除き全体同様の傾向となっています。低所得層Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「現在利用している」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より高くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、ひとり親世帯を除き全体同様の傾向となっています。低所得層Ⅰ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「現在利用している」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より高くなっています。
- ◆ 中学生では、全体同様の傾向となっています。ひとり親世帯で「現在利用している」と回答した保護者の割合がふたり親世帯より高くなっています。



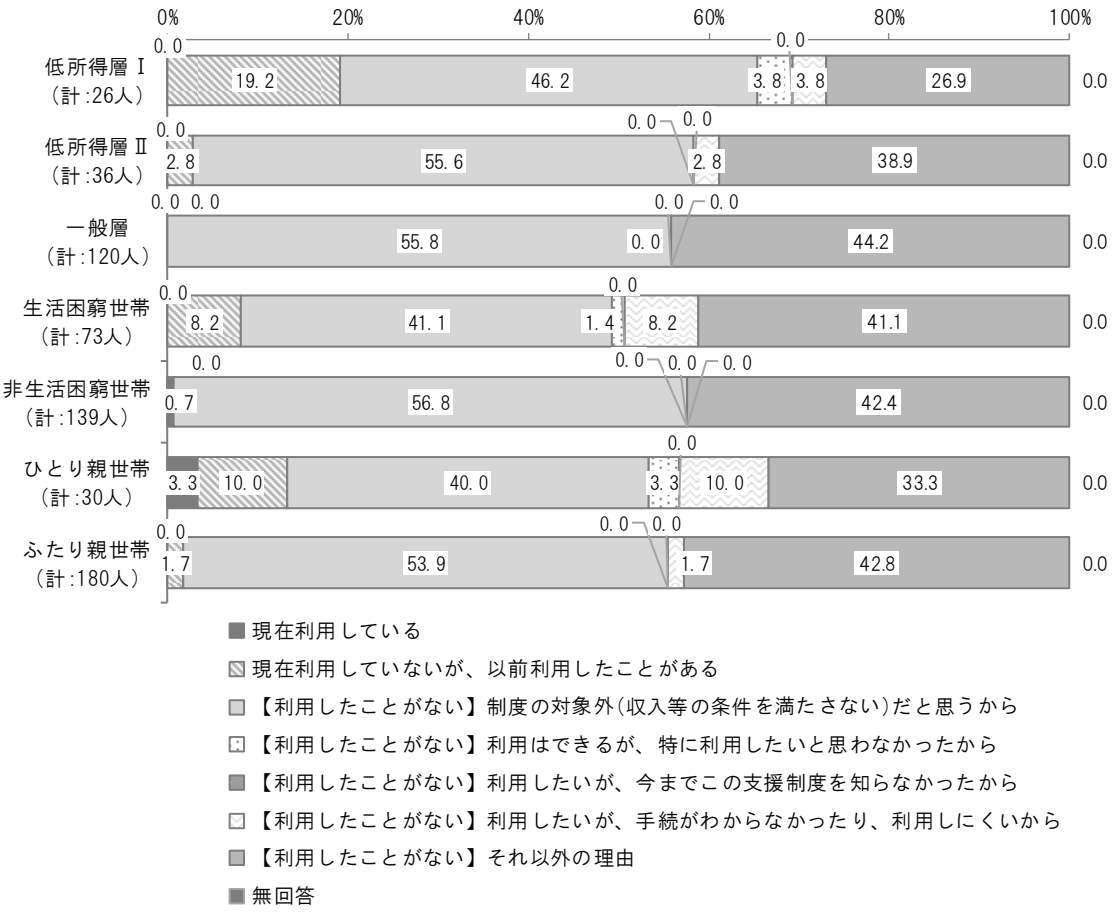
小学校低学年保護者



小学校高学年保護者

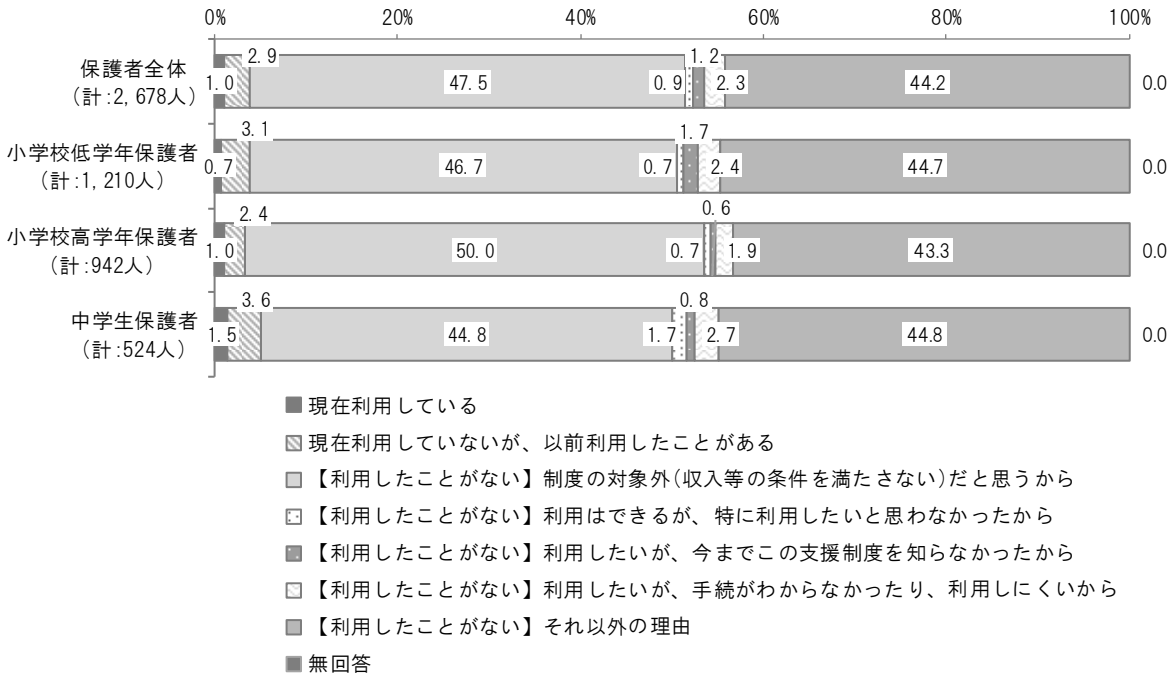


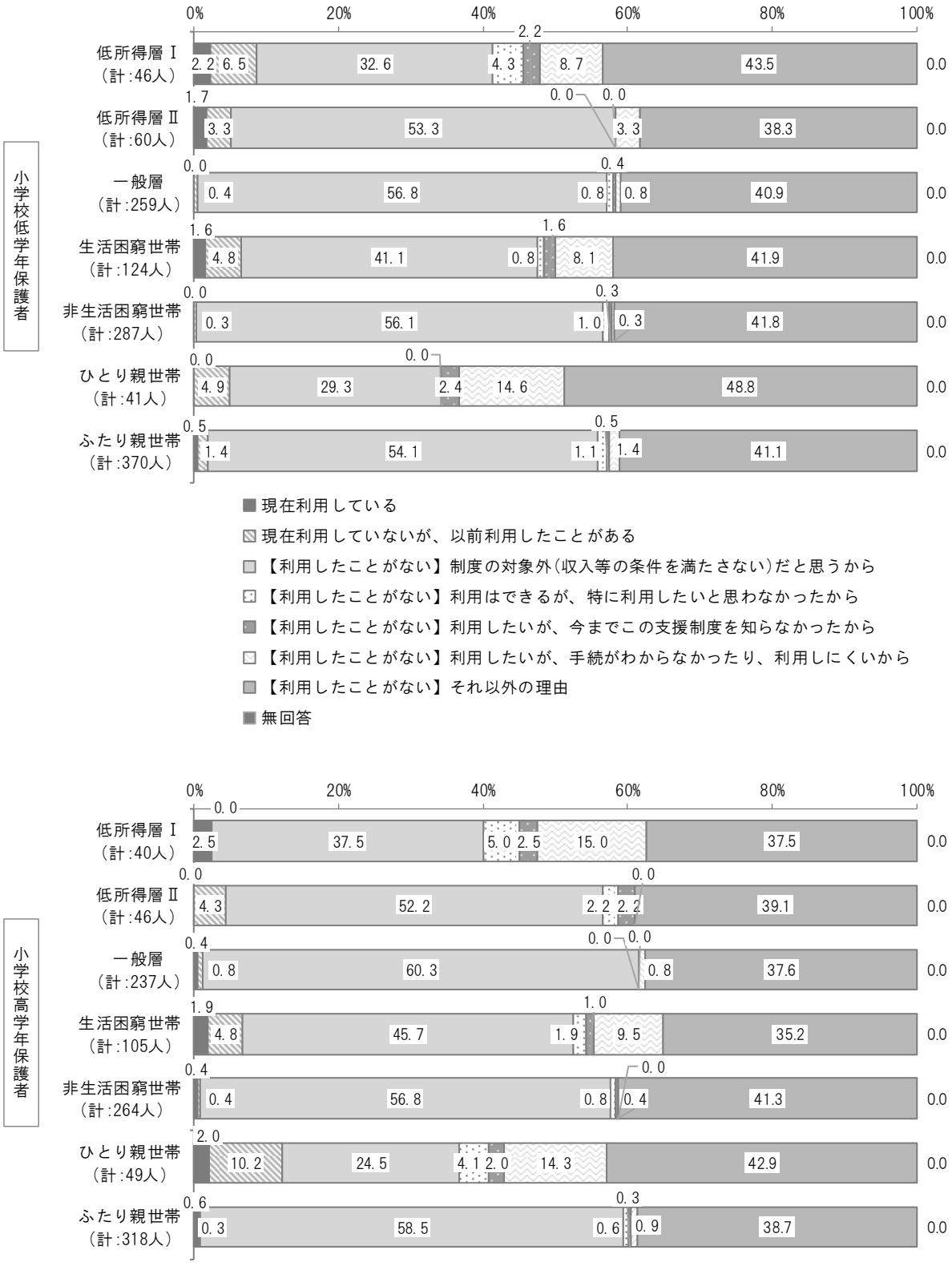
中学生保護者


0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
0.0 0.0 19.2 46.2 3.8 3.8 26.9 0.0
低所得層Ⅱ（計:36人）
0.0 2.8 55.6 0.0 0.0 2.8 38.9 0.0
一般層（計:120人）
0.0 0.0 55.8 0.0 0.0 0.0 44.2 0.0
生活困窮世帯（計:73人）
0.0 8.2 41.1 0.0 1.4 8.2 41.1 0.0
非生活困窮世帯（計:139人）
0.0 0.7 56.8 0.0 0.0 0.0 42.4 0.0
ひとり親世帯（計:30人）
3.3 10.0 40.0 0.0 3.3 10.0 33.3 0.0
ふたり親世帯（計:180人）
0.0 1.7 53.9 0.0 0.0 1.7 42.8 0.0
現在利用している
現在利用していないが、以前利用したことがある
【利用したことがない】制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから
【利用したことがない】利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
【利用したことがない】利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
【利用したことがない】利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから
【利用したことがない】それ以外の理由
無回答

③　生活福祉資金貸付金

- ◆　生活福祉資金貸付金の利用について、保護者全体では「【利用したことがない】制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから」と回答した人の割合が最も高く、47.5%となっています。次いで、「【利用したことがない】それ以外の理由」（44.2%)、「現在利用していないが、以前利用したことがある」(2.9%）となっています。
- ◆　小学校低学年では、低所得層Ⅰ、生活困窮世帯、ひとり親世帯を除き全体同様の傾向となっています。低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯で「現在利用している」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯より高くなっています。
- ◆　小学校高学年では、ひとり親世帯を除き全体同様の傾向となっています。低所得層Ⅰ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「現在利用している」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より高くなっています。
- ◆　中学生では、生活困窮世帯とひとり親世帯を除き全体同様の傾向となっています。低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「現在利用している」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より高くなっています。




小学校低学年保護者
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:46人）
2.2 6.5 32.6 4.3 8.7 43.5 0.0
低所得層Ⅱ（計:60人）
1.7 3.3 53.3 0.0 3.3 0.0 38.3 0.0
一般層（計:259人）
0.0 0.4 56.8 0.8 0.4 40.9 0.0
生活困窮世帯（計:124人）
1.6 4.8 41.1 0.8 1.6 8.1 41.9 0.0
非生活困窮世帯（計:287人）
0.0 0.3 56.1 1.0 0.3 41.8 0.0
ひとり親世帯（計:41人）
0.0 4.9 29.3 0.0 2.4 14.6 48.8 0.0
ふたり親世帯（計:370人）
0.5 1.4 54.1 1.1 0.5 1.4 41.1 0.0
現在利用している
現在利用していないが、以前利用したことがある
【利用したことがない】制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから
【利用したことがない】利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
【利用したことがない】利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
【利用したことがない】利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから
【利用したことがない】それ以外の理由
無回答

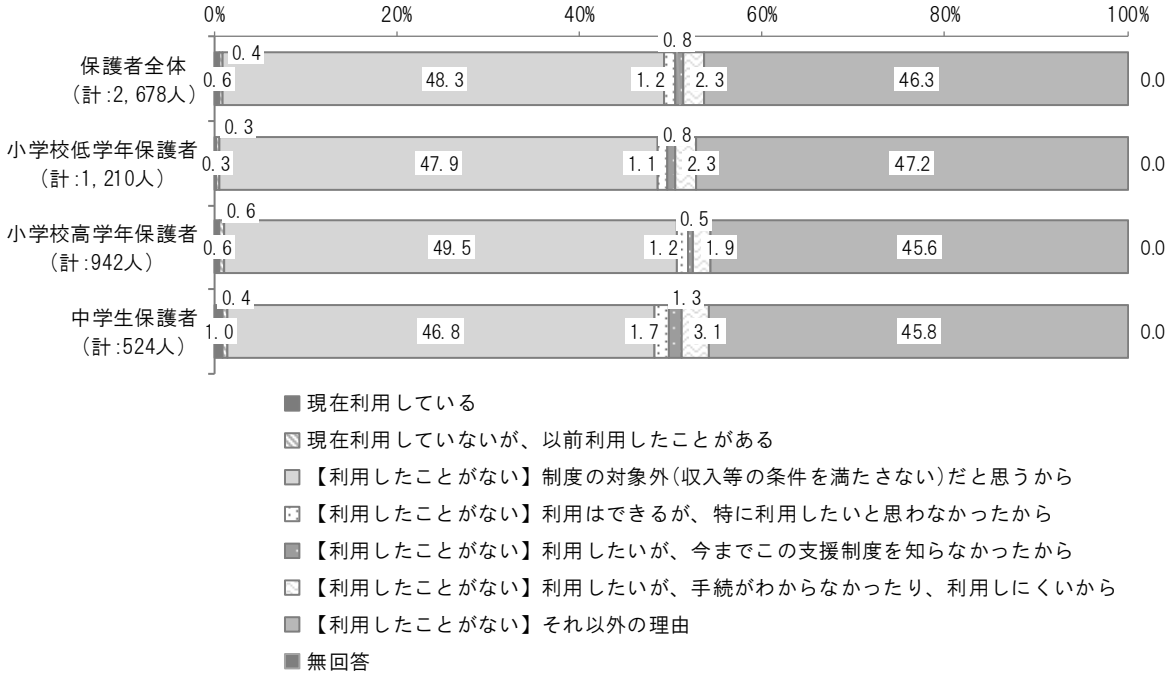
小学校高学年保護者
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:40人）
0.0 2.5 37.5 5.0 2.5 15.0 37.5 0.0
低所得層Ⅱ（計:46人）
0.0 4.3 52.2 0.0 2.2 2.2 39.1 0.0
一般層（計:237人）
0.4 0.8 60.3 0.0 0.0 0.8 37.6 0.0
生活困窮世帯（計:105人）
1.9 4.8 45.7 1.0 1.9 9.5 35.2 0.0
非生活困窮世帯（計:264人）
0.4 0.4 56.8 0.8 0.0 0.4 41.3 0.0
ひとり親世帯（計:49人）
2.0 10.2 24.5 4.1 2.0 14.3 42.9 0.0
ふたり親世帯（計:318人）
0.6 0.3 58.5 0.6 0.3 0.9 38.7 0.0
現在利用している
現在利用していないが、以前利用したことがある
【利用したことがない】制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから
【利用したことがない】利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
【利用したことがない】利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
【利用したことがない】利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから
【利用したことがない】それ以外の理由
無回答

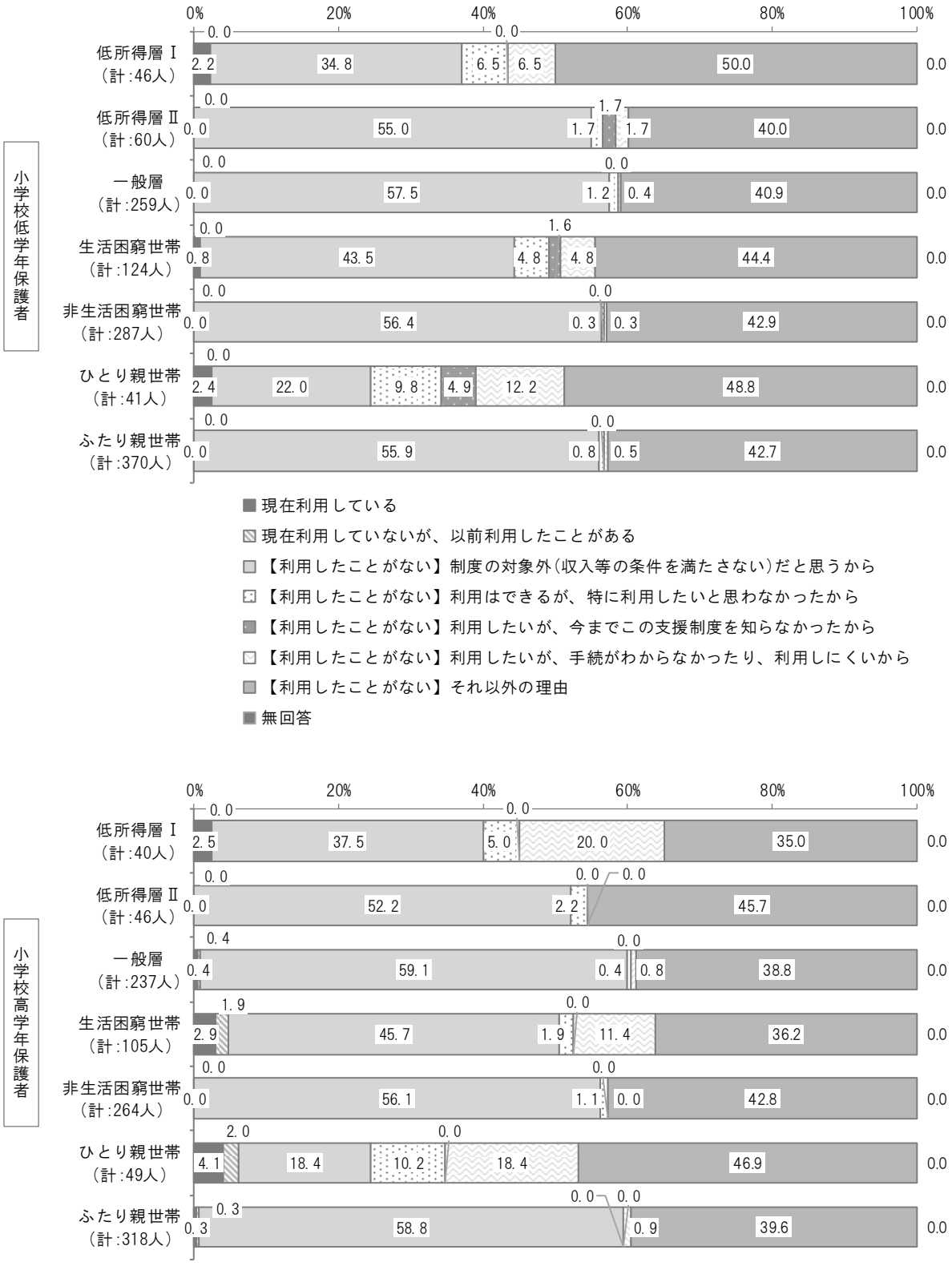
中学生保護者


0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
7.7
19.2
38.5
3.8
7.7
23.1
0.0
低所得層Ⅱ（計:36人）
5.6
5.6
50.0
2.8
5.6
30.6
0.0
一般層（計:120人）
0.8
54.2
0.8
44.2
0.0
生活困窮世帯（計:73人）
6.8
9.6
31.5
2.7
9.6
38.4
0.0
非生活困窮世帯（計:139人）
1.4
56.1
42.4
0.0
ひとり親世帯（計:30人）
6.7
10.0
26.7
3.3
16.7
36.7
0.0
ふたり親世帯（計:180人）
3.3
51.7
0.6
1.1
41.1
0.0
現在利用している
現在利用していないが、以前利用したことがある
【利用したことがない】制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから
【利用したことがない】利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
【利用したことがない】利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
【利用したことがない】利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから
【利用したことがない】それ以外の理由
無回答

④　母子父子寡婦福祉資金貸付金

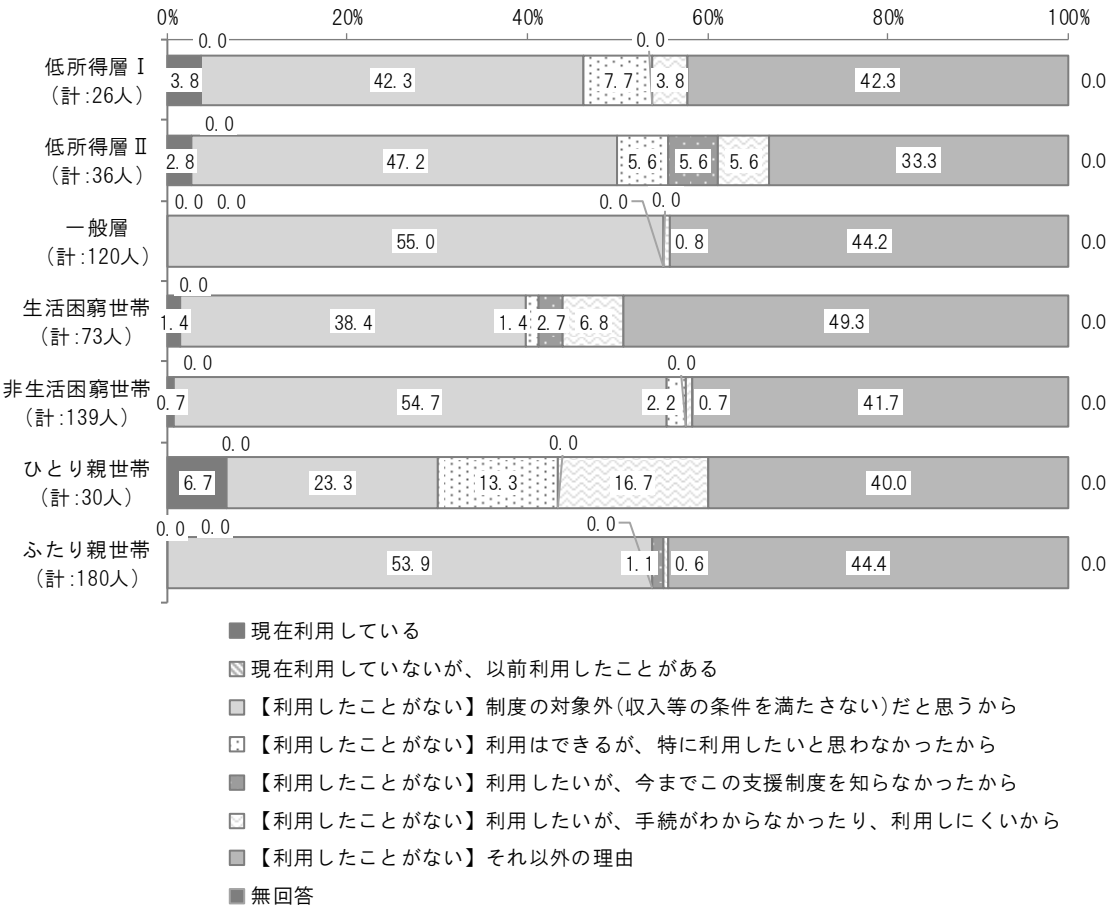
- ◆ 母子父子寡婦福祉資金貸付金の利用について、保護者全体では「【利用したことがない】制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから」と回答した人の割合が最も高く、48.3%となっています。次いで、「【利用したことがない】それ以外の理由」（46.3%)、「【利用したことがない】利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから」（2.3%）となっています。
- ◆ 小学校低学年では、低所得層Ⅰ、生活困窮世帯、ひとり親世帯を除き全体同様の傾向となっています。低所得層Ⅰ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「現在利用している」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より高くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、ひとり親世帯を除き全体同様の傾向となっています。低所得層Ⅰ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「現在利用している」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より高くなっています。
- ◆ 中学生では、生活困窮世帯とひとり親世帯を除き全体同様の傾向となっています。低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「現在利用している」と回答した保護者の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より高くなっています。




小学校低学年保護者
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:46人）
0.0 0.0 2.2 34.8 6.5 6.5 50.0 0.0
低所得層Ⅱ（計:60人）
0.0 1.7 0.0 55.0 1.7 1.7 40.0 0.0
一般層（計:259人）
0.0 0.0 0.0 57.5 1.2 0.4 40.9 0.0
生活困窮世帯（計:124人）
0.0 1.6 0.8 43.5 4.8 4.8 44.4 0.0
非生活困窮世帯（計:287人）
0.0 0.0 0.0 56.4 0.3 0.3 42.9 0.0
ひとり親世帯（計:41人）
0.0 2.4 22.0 9.8 4.9 12.2 48.8 0.0
ふたり親世帯（計:370人）
0.0 0.0 0.0 55.9 0.8 0.5 42.7 0.0
現在利用している
現在利用していないが、以前利用したことがある
【利用したことがない】制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから
【利用したことがない】利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
【利用したことがない】利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
【利用したことがない】利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから
【利用したことがない】それ以外の理由
無回答

小学校高学年保護者
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:40人）
0.0 0.0 2.5 37.5 5.0 20.0 35.0 0.0
低所得層Ⅱ（計:46人）
0.0 0.0 0.0 0.0 52.2 2.2 45.7 0.0
一般層（計:237人）
0.4 0.0 0.4 59.1 0.4 0.8 38.8 0.0
生活困窮世帯（計:105人）
1.9 0.0 2.9 45.7 1.9 11.4 36.2 0.0
非生活困窮世帯（計:264人）
0.0 0.0 0.0 56.1 1.1 0.0 42.8 0.0
ひとり親世帯（計:49人）
2.0 0.0 4.1 18.4 10.2 18.4 46.9 0.0
ふたり親世帯（計:318人）
0.3 0.0 0.0 0.3 58.8 0.9 39.6 0.0
現在利用している
現在利用していないが、以前利用したことがある
【利用したことがない】制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから
【利用したことがない】利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
【利用したことがない】利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
【利用したことがない】利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから
【利用したことがない】それ以外の理由
無回答

中学生保護者


0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
3.8
42.3
7.7
3.8
42.3
0.0
低所得層Ⅱ（計:36人）
2.8
47.2
5.6
5.6
5.6
33.3
0.0
一般層（計:120人）
55.0
0.8
44.2
0.0
生活困窮世帯（計:73人）
1.4
38.4
1.4
2.7
6.8
49.3
0.0
非生活困窮世帯（計:139人）
0.7
54.7
2.2
0.7
41.7
0.0
ひとり親世帯（計:30人）
6.7
23.3
13.3
16.7
40.0
0.0
ふたり親世帯（計:180人）
53.9
1.1
0.6
44.4
0.0
現在利用している
現在利用していないが、以前利用したことがある
【利用したことがない】制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから
【利用したことがない】利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
【利用したことがない】利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
【利用したことがない】利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから
【利用したことがない】それ以外の理由
無回答

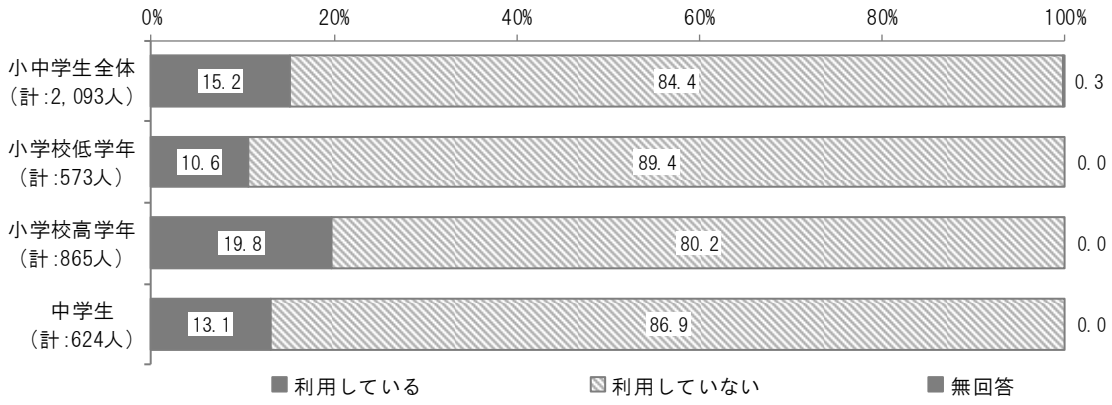
（4）子どもの居場所の利用

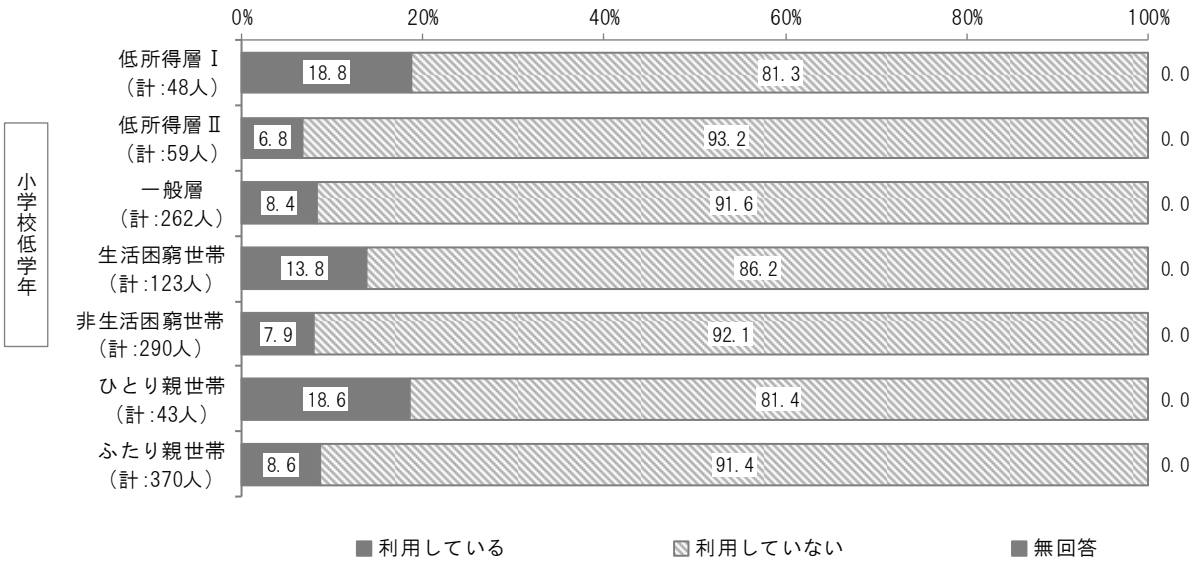
a）子どもの居場所の利用状について

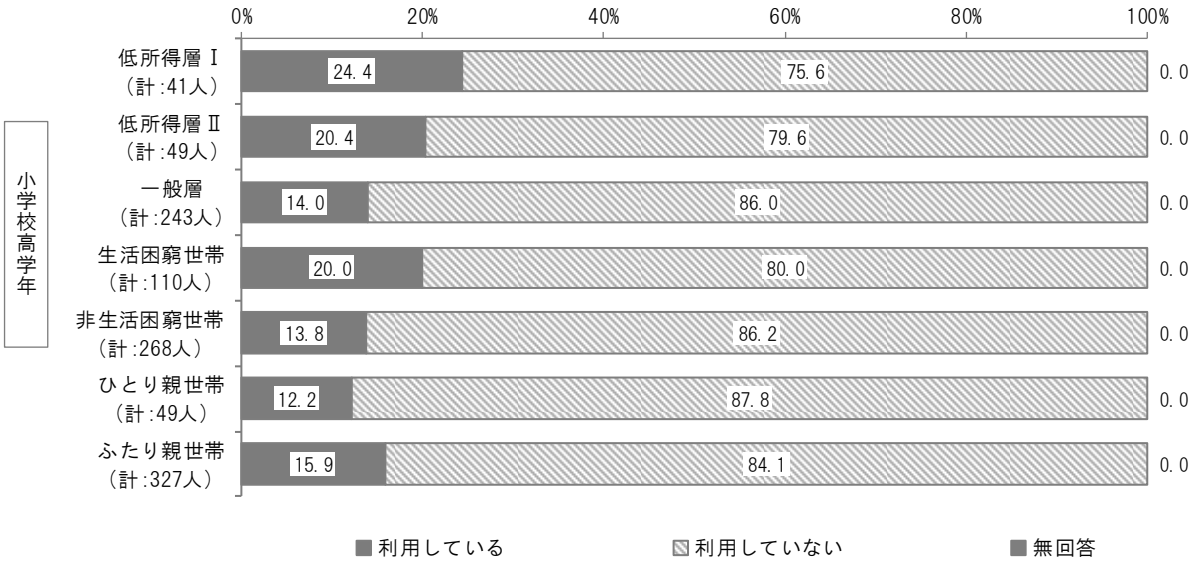
ア．子どもの居場所の利用状況について

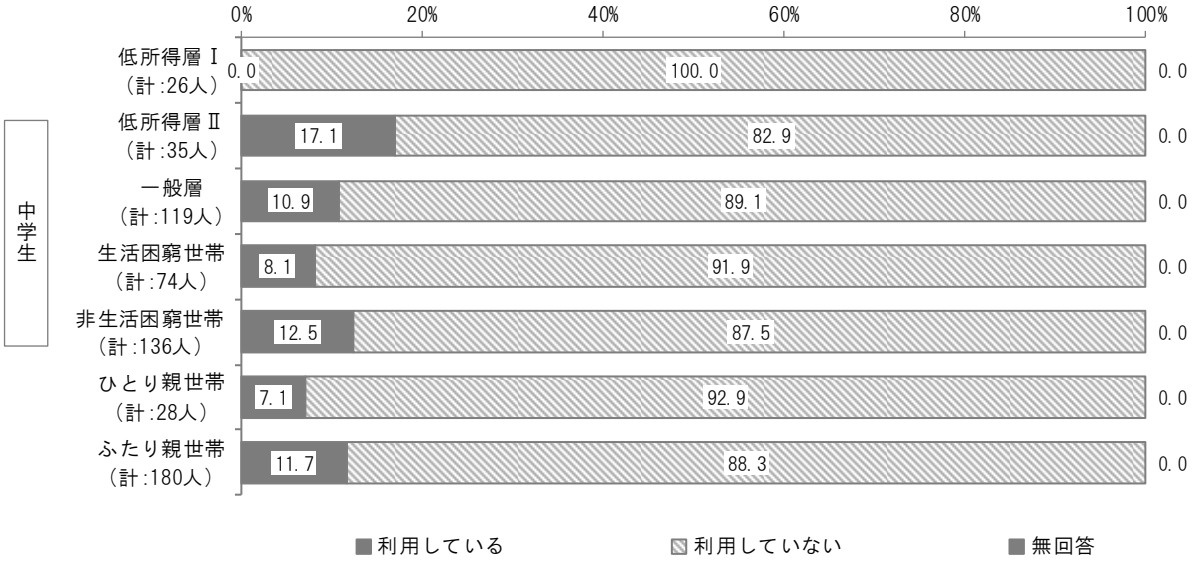
＜小学生・中学生票＞問 19　あなたは、子どもの居場所（無料で食事が食べられたり、勉強を教えてもらうところ）を利用していますか。（１つに○）

- ◆ あなたは、子どもの居場所を利用していますかとたずねたところ、小中学生全体では「利用している」と回答した児童・生徒の割合は 15.2%となっています。一方、「利用していない」と回答した児童・生徒の割合は 84.4%となっています。
- ◆ 小学校低学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「利用していない」と回答した児童の割合が最も高くなっています。低所得層Ⅰ、生活困窮世帯、ひとり親世帯で「利用している」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯、ふたり親世帯より高くなっています。
- ◆ 小学校高学年では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「利用していない」と回答した児童の割合が最も高くなっています。低所得層Ⅰ・Ⅱ、生活困窮世帯で「利用している」と回答した児童の割合が一般層、非生活困窮世帯より高くなっています。
- ◆ 中学生では、全体同様の傾向となっており、困窮分類に関わらず「利用していない」と回答した生徒の割合が最も高くなっています。低所得層Ⅱで「利用している」と回答した生徒の割合が一般層より高くなっています。




小学校低学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:48人）
18.8
81.3
0.0
低所得層Ⅱ（計:59人）
6.8
93.2
0.0
一般層（計:262人）
8.4
91.6
0.0
生活困窮世帯（計:123人）
13.8
86.2
0.0
非生活困窮世帯（計:290人）
7.9
92.1
0.0
ひとり親世帯（計:43人）
18.6
81.4
0.0
ふたり親世帯（計:370人）
8.6
91.4
0.0
利用している
利用していない
無回答

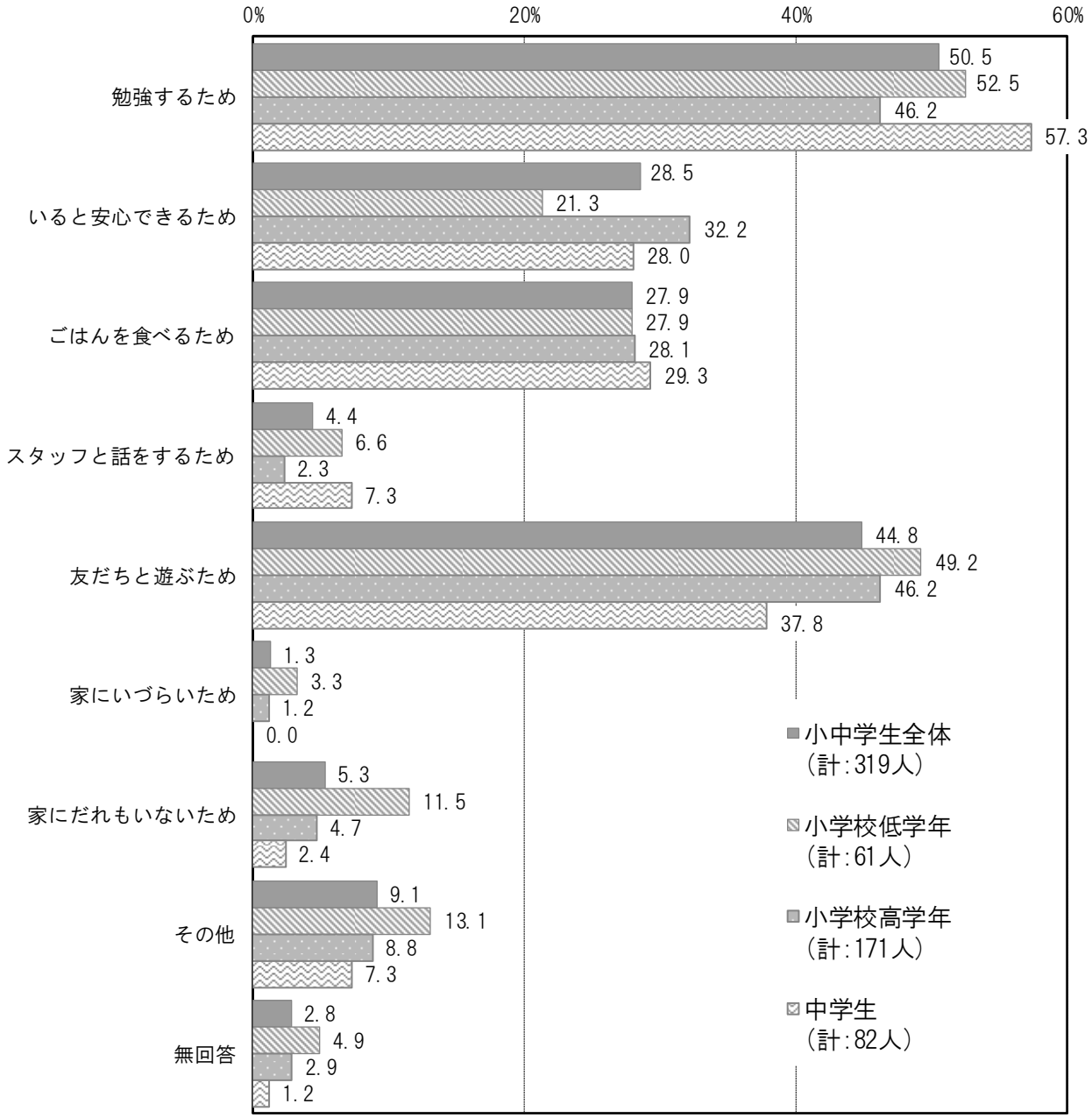

小学校高学年
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:41人）
24.4
75.6
0.0
低所得層Ⅱ（計:49人）
20.4
79.6
0.0
一般層（計:243人）
14.0
86.0
0.0
生活困窮世帯（計:110人）
20.0
80.0
0.0
非生活困窮世帯（計:268人）
13.8
86.2
0.0
ひとり親世帯（計:49人）
12.2
87.8
0.0
ふたり親世帯（計:327人）
15.9
84.1
0.0
利用している
利用していない
無回答


中学生
0%
20%
40%
60%
80%
100%
低所得層Ⅰ（計:26人）
0.0
100.0
0.0
低所得層Ⅱ（計:35人）
17.1
82.9
0.0
一般層（計:119人）
10.9
89.1
0.0
生活困窮世帯（計:74人）
8.1
91.9
0.0
非生活困窮世帯（計:136人）
12.5
87.5
0.0
ひとり親世帯（計:28人）
7.1
92.9
0.0
ふたり親世帯（計:180人）
11.7
88.3
0.0
利用している
利用していない
無回答

イ．居場所を利用する理由

＜小学生・中学生票＞問 19-1 《問 19 で「1」を選んだ人にお聞きします。》
あなたが居場所を利用する理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

- ◆ 問 19 で「居場所を利用している」を選んだ人に、利用する理由をたずねたところ、小中学生全体では「勉強するため」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、50.5%となっています。次いで、「友だちと遊ぶため」（44.8%）、「いると安心できるため」（28.5%）となっています。
- ◆ 小学校低学年・高学年、中学生では、困窮分類に関わらず概ね全体同様の傾向となっています。



（%）		勉強するため	いると安心できるため	ごはんを食べるため	スタッフと話をするため	友だちと遊ぶため	家にいづらいため	家にだれもいないため	その他	無回答
小学校低学年	低所得層Ⅰ（計:9人）	44.4	22.2	22.2	0.0	55.6	0.0	11.1	22.2	11.1
	低所得層Ⅱ（計:4人）	25.0	25.0	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	一般層（計:22人）	59.1	22.7	18.2	0.0	40.9	0.0	9.1	4.5	4.5
	生活困窮世帯（計:17人）	47.1	11.8	23.5	0.0	47.1	0.0	5.9	11.8	11.8
	非生活困窮世帯（計:23人）	56.5	26.1	21.7	0.0	47.8	0.0	8.7	8.7	4.3
	ひとり親世帯（計:8人）	37.5	0.0	37.5	0.0	25.0	0.0	12.5	25.0	12.5
	ふたり親世帯（計:32人）	56.3	25.0	18.8	0.0	53.1	0.0	6.3	6.3	6.3

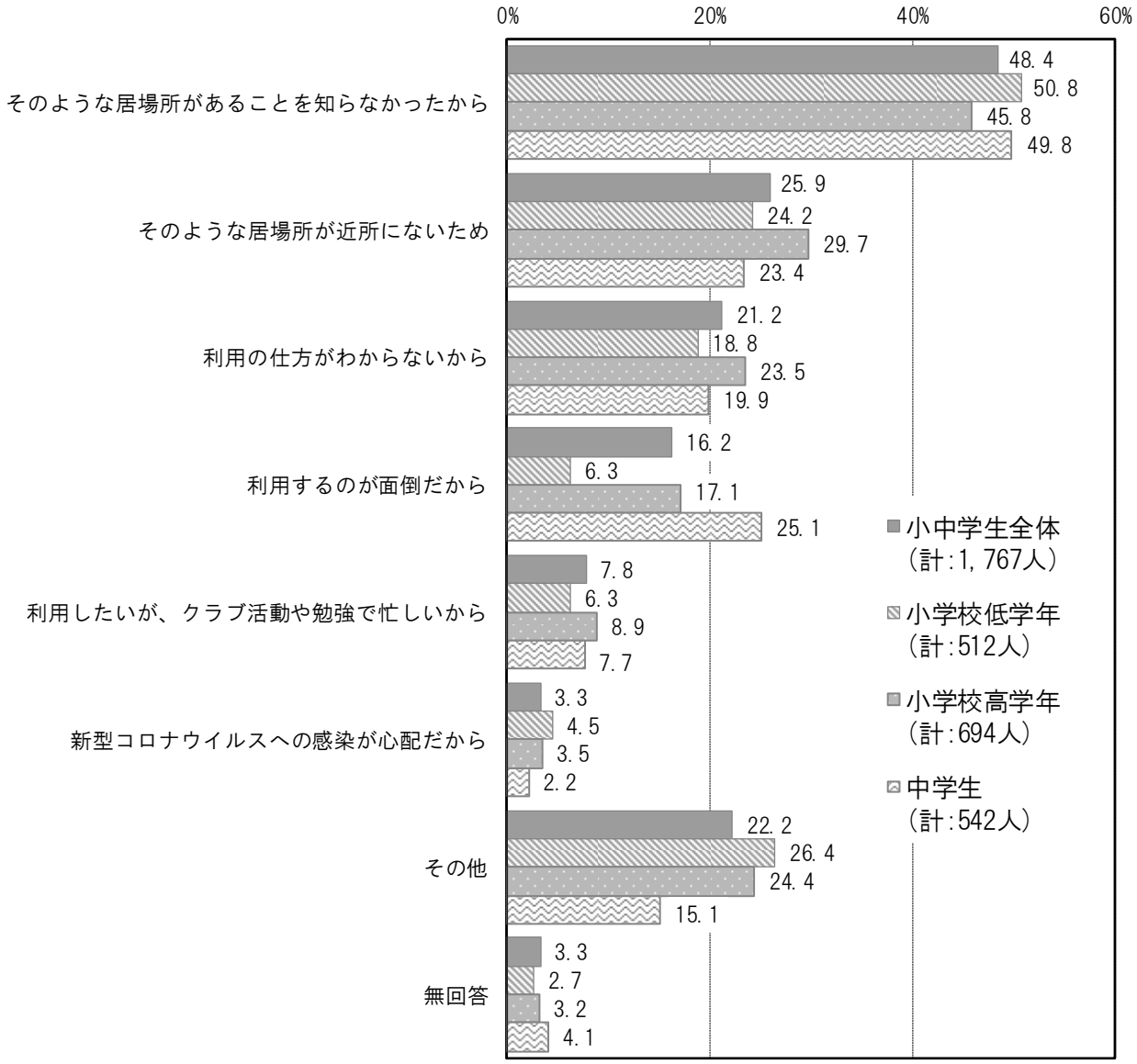
（%）		勉強するため	いると安心できるため	ごはんを食べるため	スタッフと話をするため	友だちと遊ぶため	家にいづらいため	家にだれもいないため	その他	無回答
小学校高学年	低所得層Ⅰ（計:10人）	50.0	50.0	50.0	10.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	低所得層Ⅱ（計:10人）	10.0	20.0	30.0	0.0	50.0	0.0	10.0	20.0	0.0
	一般層（計:34人）	44.1	23.5	20.6	0.0	64.7	0.0	8.8	2.9	0.0
	生活困窮世帯（計:22人）	22.7	36.4	31.8	0.0	50.0	0.0	4.5	18.2	0.0
	非生活困窮世帯（計:37人）	51.4	27.0	24.3	2.7	62.2	0.0	8.1	5.4	0.0
	ひとり親世帯（計:6人）	50.0	33.3	33.3	16.7	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0
	ふたり親世帯（計:52人）	38.5	30.8	25.0	0.0	59.6	0.0	7.7	9.6	0.0

（%）		勉強するため	いると安心できるため	ごはんを食べるため	スタッフと話をするため	友だちと遊ぶため	家にいづらいため	家にだれもいないため	その他	無回答
中学生	低所得層Ⅰ（計:0人）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	低所得層Ⅱ（計:6人）	16.7	16.7	33.3	16.7	50.0	0.0	0.0	16.7	0.0
	一般層（計:13人）	53.8	7.7	30.8	0.0	30.8	0.0	0.0	7.7	0.0
	生活困窮世帯（計:6人）	33.3	16.7	0.0	16.7	50.0	0.0	0.0	16.7	16.7
	非生活困窮世帯（計:17人）	52.9	11.8	41.2	5.9	23.5	0.0	0.0	5.9	0.0
	ひとり親世帯（計:2人）	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ふたり親世帯（計:21人）	47.6	9.5	28.6	4.8	33.3	0.0	0.0	9.5	4.8

ウ．居場所を利用しない理由

＜小学生・中学生票＞問 19-２《問 19 で「２」を選んだ人にお聞きします。》
あなたが居場所を利用しない理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

- ◆ 問 19 で「２．居場所を利用していない」を選んだ人に、利用しない理由をたずねたところ、小中学生全体では「そのような居場所があることを知らなかったから」と回答した児童・生徒の割合が最も高く、48.4%となっています。次いで、「そのような居場所が近所にないため」（25.9%）、「利用の仕方がわからないから」（21.2%）となっています。
- ◆ 小学校低学年・高学年では、困窮分類に関わらず概ね全体同様の傾向となっています。
- ◆ 中学生では、「利用するのが面倒だから」と回答した生徒の割合が高くなっています。



	（%）	そのような居場所があることを知らなかったから	そのような居場所が近所にないため	利用の仕方がわからないから	利用するのが面倒だから	利用したいが、クラブ活動や勉強で忙しいから	新型コロナウイルスへの感染が心配だから	その他	無回答
小学校低学年	低所得層Ⅰ（計:39人）	51.3	41.0	28.2	7.7	7.7	5.1	17.9	2.6
	低所得層Ⅱ（計:55人）	49.1	16.4	23.6	7.3	3.6	3.6	30.9	3.6
	一般層（計:240人）	52.5	22.5	20.0	2.9	7.1	3.3	29.2	2.1
	生活困窮世帯（計:106人）	48.1	29.2	28.3	6.6	6.6	2.8	19.8	3.8
	非生活困窮世帯（計:267人）	53.6	22.5	18.0	3.4	6.0	4.5	30.7	1.9
	ひとり親世帯（計:35人）	42.9	37.1	22.9	8.6	8.6	5.7	17.1	2.9
	ふたり親世帯（計:338人）	53.0	23.1	20.7	3.8	5.9	3.8	28.7	2.4

	（%）	そのような居場所があることを知らなかったから	そのような居場所が近所にないため	利用の仕方がわからないから	利用するのが面倒だから	利用したいが、クラブ活動や勉強で忙しいから	新型コロナウイルスへの感染が心配だから	その他	無回答
小学校高学年	低所得層Ⅰ（計:31人）	38.7	25.8	9.7	9.7	12.9	6.5	22.6	3.2
	低所得層Ⅱ（計:39人）	46.2	41.0	20.5	25.6	7.7	5.1	15.4	0.0
	一般層（計:209人）	44.5	31.1	22.5	15.3	7.7	3.8	26.8	3.3
	生活困窮世帯（計:88人）	43.2	33.0	17.0	13.6	8.0	6.8	21.6	1.1
	非生活困窮世帯（計:231人）	46.3	31.2	23.8	16.9	8.7	3.0	25.5	3.0
	ひとり親世帯（計:43人）	46.5	27.9	18.6	16.3	11.6	7.0	20.9	0.0
	ふたり親世帯（計:275人）	45.5	32.4	22.5	15.6	8.0	3.6	25.1	2.9

	（%）	そのような居場所があることを知らなかったから	そのような居場所が近所にないため	利用の仕方がわからないから	利用するのが面倒だから	利用したいが、クラブ活動や勉強で忙しいから	新型コロナウイルスへの感染が心配だから	その他	無回答
中学生	低所得層Ⅰ（計:26人）	19.2	19.2	19.2	50.0	7.7	11.5	15.4	0.0
	低所得層Ⅱ（計:29人）	37.9	27.6	27.6	27.6	6.9	0.0	10.3	10.3
	一般層（計:106人）	47.2	17.0	21.7	25.5	9.4	1.9	22.6	4.7
	生活困窮世帯（計:68人）	38.2	20.6	27.9	42.6	10.3	4.4	11.8	2.9
	非生活困窮世帯（計:119人）	43.7	18.5	18.5	21.0	8.4	1.7	22.7	6.7
	ひとり親世帯（計:26人）	30.8	26.9	30.8	38.5	15.4	7.7	11.5	7.7
	ふたり親世帯（計:159人）	43.4	18.2	20.8	27.0	8.2	1.9	20.1	5.0

資料編

調査票

１．小学生児童・中学生生徒票

１．性別・学年について

問１　あなたの性別を教えてください。（１つに○）

１．女	２．男	３．その他・答えたくない

問２　あなたは、小学生ですか。それとも中学生ですか。（１つに○）

◆小学生の人が回答してください

１．小学１年生	２．小学２年生	３．小学３年生
４．小学４年生	５．小学５年生	６．小学６年生

◆中学生の人が回答してください

１．中学１年生	２．中学２年生	３．中学３年生

２．学校・勉強について

問３　あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。勉強には学校の宿題もふくみます。（あてはまるものすべてに○）

１．自分で勉強する	２．塾で勉強する
３．学校の補習を受ける	４．家庭教師に教えてもらう
５．地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	６．家の人に教えてもらう
７．友だちと勉強する	８．その他
９．学校の授業以外で勉強はしない	

問４　あなたは、ふだん学校の授業以外に、１日どれくらいの時間勉強をしますか。学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。（①と②について、あてはまるもの１つに○）

	まったくしない	30分より少ない	30分以上、1時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	3時間以上
①学校がある日（月～金曜日）	1	2	3	4	5	6
②学校がない日（土・日曜日・祝日）	1	2	3	4	5	6

問5　あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。（1つに○）

1．上のほう	2．やや上のほう	3．まん中あたり
4．やや下のほう	5．下のほう	6．わからない

問6　あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。（1つに○）

1．いつもわかる　⇒　問7へ	2．だいたいわかる　⇒　問7へ
3．教科によってはわからないことがある	4．わからないことが多い
5．ほとんどわからない	

《問6で3～5を選んだ人にお聞きします。》

問6-1　いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。（1つに○）

◆小学生の人が回答してください

1．小学1・2年生のころ	2．　2．小学3・4年生のころ
3．小学5・6年生になってから	

◆中学生の人が回答してください

1．小学1・2年生のころ	2．小学3・4年生のころ	3．小学5・6年生のころ
4．中学1年生のころ	5．中学2年生のころ	6．中学3年生のころ

問7　あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。（1つに○）

1．中学まで	2．高校まで	3．専門学校まで

4．短大・高専まで	5．大学またはそれ以上	6．まだわからない⇒問８へ

《問７で１～５を選んだ人にお聞きします。》

問7-1　その理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

1．希望する学校や職業があるから	2．自分の成績から考えて
3．親がそう言っているから	4．兄弟・姉妹がそうしているから
5．まわりの先輩や友だちがそうしているから	6．家にお金がないと思うから
7．早く働く必要があるから	8．その他
9．とくに理由はない	

問８　あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。（１つに○）

1．参加している　⇒　問９へ	2．参加していない　⇒　問８-１へ

《問８で「2．参加していない」を選んだ人にお聞きします。》

問8-1　参加していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1．入りたいクラブ・部活動がないから	2．塾や習い事が忙しいから
3．費用がかかるから	4．家の事情(家族の世話、家事など)があるから
5．一緒に入る友だちがいないから	6．その他

３．ふだんのくらしについて

問９　あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。（①～③それぞれについて、あてはまるもの１つに○）

	毎日食べる（週７日）	週５～６日	週３～４日	週１～２日、ほとんど食べない
①朝食	1	2	3	4

②夕食	1	2	3	4
③夏休みや冬休みなどの期間の昼食	1	2	3	4

問10　あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時間に寝ていますか。（１つに○）

1．そうである	2．どちらかといえばそうである
3．どちらかといえばそうではない	4．そうではない

問11　あなたは、次のようなことをどれくらいしていますか。①～④について教えてください。
（①～④それぞれについて、あてはまるもの１つに○）

	ほとんど毎日	週に4～5回	週に2～3回	週に1回程度	月に1～2回	ほとんどない	まったくない
①おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらいますか	1	2	3	4	5	6	7
②おうちの大人の人と学校でのできごとについて話しますか	1	2	3	4	5	6	7
③朝ごはんをおうちの大人の人と一緒に食べますか	1	2	3	4	5	6	7
④夕ごはんをおうちの大人の人と一緒に食べますか	1	2	3	4	5	6	7

問12　あなたは、次のことにどれくらいあてはまりますか。（①と②について、あてはまるもの１つに○）

	あてはまる	どちらかといえば、あてはまる	どちらかといえば、あてはまらない	あてはまらない
①自分には、よいところがあると思う	1	2	3	4
②将来の夢や目標を持っている	1	2	3	4

問13　あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。（あてはまるものすべてに○）

1．親	2．兄弟・姉妹	3．祖父母・親せきなど
4．学校の先生	5．学校の友だち	6．学校外の友だち
7．スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど		
8．その他の大人（塾・習い事の先生、地域の人など）		
9．ネットで知り合った人	10．だれにも相談できない、相談したくない	

問14　あなたは、自分が使うことができる、以下のものがありますか。ある場合は「１」に○をつけてください。ない場合で、それがほしいものであれば「２」、ほしくないと思うものであれば「３」に○をつけてください。（①～⑮それぞれについて、あてはまるもの１つに○）

	ある	ない	
		ほしい	ほしくない
①自分だけの本（学校の教科書やマンガはのぞく）	1	2	3
②自分の部屋（兄弟・姉妹と使っている場合もふくみます）	1	2	3
③（自宅で）インターネットにつながるパソコン、タブレット	1	2	3
④自宅で宿題をすることができる場所	1	2	3
⑤自分専用の勉強机	1	2	3
⑥スポーツ用品（野球のグローブやサッカーボールなど）	1	2	3
⑦ゲーム機（ニンテンドースイッチ、ＤＳ、プレステなど）	1	2	3
⑧多くの友だちが持っているおもちゃ	1	2	3
⑨自転車	1	2	3
⑩おやつや、ちょっとしたおもちゃを買うおこづかい	1	2	3
⑪友だちが着ているのと同じような服	1	2	3
⑫２足以上のサイズのあった靴	1	2	3
⑬けいたい電話、スマートフォン	1	2	3
⑭けいたい音楽プレーヤーなど	1	2	3
⑮上記以外（①～⑭）のその他のもの	1	2	3

問15　あなたの思いや気持ちを聞かせてください。（①～④それぞれについて、あてはまるもの１つに○）

	とてもそう思う	どちらかと言えばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
①がんばれば、むくわれる	1	2	3	4
②自分は家族に大事にされている	1	2	3	4
③不安（心配）に感じることはない	1	2	3	4
④孤独を（さみしいと）感じることはない	1	2	3	4

問16　あなたは、これまでに①～⑥のようなことがありましたか。（①～⑥それぞれについて、あてはまるもの１つに○）

	よくあった	時々あった	あまりなかった	なかった	答えたくない・わからない
①学校に行きたくないと思った	1	2	3	4	5
②１か月以上学校を休んだ（病気の時をのぞく）	1	2	3	4	5
③嫌がらせをうけたり、悪口を言われた	1	2	3	4	5
④夜遅くまで子どもだけで過ごした	1	2	3	4	5
⑤学校に遅刻した	1	2	3	4	5
⑥家事や家族の世話で勉強する時間がとれなかった	1	2	3	4	5

問17　あなたは、「安心できる場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所）」がありますか。
（あてはまるものすべてに○）

1．自分の部屋
2．家族が集まる場所（リビング・親族の家など）
3．友だちの家
4．学校（教室・図書室など）
5．クラブ活動・部活動の場所
6．放課後児童クラブ
7．塾や習いごとの場所
8．地域にある公共施設（図書館・公民館・公園・児童センターなど）
9．お店（ゲームセンター・カラオケボックス・ネットカフェなど）
10．インターネット空間（ＳＮＳ・動画サイト・オンラインゲームなど）
11．その他（　　）
12．居場所はない

問18　あなたは現在の生活に満足していますか。（１つに○）

1．とても満足している	2．満足している	3．ふつう
4．満足していない	5．とても不満である	6．答えたくない

４．その他

問19　あなたは、子どもの居場所（無料で食事が食べられたり、勉強を教えてもらうところ）を利用していますか。（１つに○）

1．利用している　⇒　問19-1 へ	2．利用していない　⇒　問19-2 へ

《問19 で「１」を選んだ人にお聞きします。》

問19-１　あなたが居場所を利用する理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

1．勉強するため	2．いると安心できるため
3．ごはんを食べるため	4．スタッフと話をするため

5．友だちと遊ぶため	6．家にいづらいため
7．家にだれもいないため	8．その他

《問19で「2」を選んだ人にお聞きします。》

問19-2　あなたが居場所を利用しない理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

1．そのような居場所があることを知らなかったから
2．そのような居場所が近所にないため
3．利用の仕方がわからないから
4．利用するのが面倒だから
5．利用したいが、クラブ活動や勉強で忙しいから
6．新型コロナウイルスへの感染が心配だから
7．その他（　　）

ここからは、少し難しい質問です。
小学生のみなさんは、わからない質問があったときは「わからない」に○をつけてください。

問20　あなたは、あなた自身のことについてどのように思っていますか。（①～④それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない
①今の自分が好き	1	2	3	4	5
②自分には「自分らしさ」がある	1	2	3	4	5
③どこかに助けてくれる人がいる	1	2	3	4	5
④今まで日常生活をスムーズに送れた	1	2	3	4	5

問21　あなたは、①～⑦のことができていますか。（①～⑧それぞれについて、あてはまるもの１つに○）

	いつも、できている	どちらかといえば、できている	どちらかといえば、できていない	できていない	わからない
①あいさつができる	1	2	3	4	5
②相手の顔をみて話すことができる	1	2	3	4	5
③相手の話を最後まで聞くことができる	1	2	3	4	5
④わからないことを質問できる	1	2	3	4	5
⑤困っている人を助ける（声をかける）ことができる	1	2	3	4	5
⑥相手に感謝することができる	1	2	3	4	5
⑦困ったときに誰かに相談できる	1	2	3	4	5
⑧嫌なことを断ることができる	1	2	3	4	5

問22　あなたは、以下のことについてどのように思っていますか。（①～④それぞれについて、あてはまるもの１つに○）

	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない
①こども政策に関して意見を聞いてもらえている	1	2	3	4	5
②自分の将来は明るい	1	2	3	4	5
③日本の将来は明るい	1	2	3	4	5
④日常生活において自分の意見を言えている	1	2	3	4	5

※こども政策とは、すべてのこどもたちが元気ですこやかにそだち、自分らしくいきることができる社会を作るために国が決めた取り組みです。

問23　あなたは、「こどもまんなか社会」の実現に向けて、こどもの意見を聞いてもらえる会（場所）があったら、参加したいと思いますか。（１つに○）

１．参加したい	２．参加したくない	３．どちらでもよい

※「こどもまんなか社会」とは、すべてのこどもが幸せな生活を送ることができる社会を目指して、社会全体で、こどもに関する取組「こども施策（おとなになるまでのサポート）」を行い、こどもを社会の真ん中に考えることをいいます。

問24　このアンケートの感想や、大人の人に伝えたいことなどがありましたら、下の枠の中に書いてください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

２．保護者票

１．お子さんとお子さんのご家族について

問１　この調査票が配布されたお子さんは、何年生ですか。（１つに○）

１．小学１年生	２．小学２年生	３．小学３年生
４．小学４年生	５．小学５年生	６．小学６年生
７．中学１年生	８．中学２年生	９．中学３年生

問２　お子さんの性別を教えてください。（１つに○）

１．男	２．女	３．その他・答えたくない

問３　お住まいの地区についておうかがいします。（１つに○）

【居住地区】

１．本庁地区	２．真和志地区	３．首里地区
４．小禄地区	５．那覇市外	６．わからない

問４　お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんから見た続柄でお答えください。（１つに○）

１．母親（継母を含む）	２．父親（継父を含む）	３．祖父母
４．おじ、おばなどの親戚	５．施設職員・里親※	６．その他

※「５．施設職員・里親」に該当される方は、以下は回答せずにご提出ください。

問５　お子さんと生計が同じご家族の人数（お子さんを含む）を教えてください。別居であっても、生計が同じご家族（単身赴任やひとり暮らしのお子さんなど）も含みます。※２世帯住宅の場合、生計が別であれば、家族の人数として数えないでください。（枠内に数字で記入してください）

ご家族の人数（お子さんを含む）		人

問６　お子さんと生計が同じご家族の方は、どなたですか。それぞれ人数も教えてください。お子さんから見た続柄でお答えください。（あてはまるものすべてに○、人数は枠内に数字で記入してください）

１．母親	２．父親	３．祖母（　　）人
４．祖父（　　）人	５．兄（　　）人	６．姉（　　）人
７．弟（　　）人	８．妹（　　）人	９．その他の親戚（　　）人

10．その他（　　）人

問７　お子さんと同居し、生計を同一にしているあなたの婚姻状況を教えてください。（１つに○）

１．結婚している（再婚や事実婚を含む）　　２．離婚　　⇒　問７-１へ

３．死別　　４．未婚

５．いない、わからない

※生計を同一にしているとは、単身赴任も含みます。

《問７で「２．離婚」を選んだ方にお聞きします。》

問７-１　離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。（１つに○）

１．取り決めをしており、養育費を受け取っている

２．特に取り決めはしていないが、養育費を受け取っている

３．養育費の取り決めをしているが、受け取っていない

４．養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない

問８　お子さんの親の最終学歴（卒業した学校）をお答えください。（①と②について、あてはまるもの１つに○）

	中学（中学部）まで	高校（高等部）まで	専門学校まで	短大・高専まで	大学またはそれ以上	いない、わからない
①母親	1	2	3	4	5	6
②父親	1	2	3	4	5	6

２．お子さんの母親のお仕事について

※ひとり親家庭の方は母親、父親のどちらかにお答えください。

問９　お子さんの母親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。現在、産前・産後休業、育児・介護休業を取得している方は、就労時の状況をお答えください。（１つに○）

１．正社員・正規職員・会社役員　　２．嘱託・契約社員・派遣職員

３．パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員

４．自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む）

5．いない、わからない　　⇒　問 10 へ 6．働いていない（専業主婦を含む）　　⇒　問９-１へ

《問９で「６．働いていない」を選んだ方にお聞きします。》

問９-１　働いていない最も主な理由を教えてください。（１つに○）

1．働きたいが、希望する条件の仕事がないため	2．子育てを優先したいため
3．家族の介護・介助のため	4．自分の病気や障害のため
5．通学しているため	6．その他の理由

※現在、産前・産後休業、育児・介護休業を取得している方は、就労時の状況をお答えください。

《問９で「１～４」を選んだ方にお聞きします。》

問９-２　１週間の平均的な労働日数を教えてください。複数のお仕事をしている場合はすべて合わせた日数をお答えください。（１つに○）

1．1日	2．2日	3．3日	4．4日
5．5日	6．6日	7．7日	

問９-３　働いている日の平均的な労働時間（残業時間を含む）を教えてください。複数のお仕事をしている場合はすべて合わせた時間をお答えください。（１つに○）

1．2時間未満	2．2～4時間未満	3．4～6時間未満
4．6～8時間未満	5．8～10 時間未満	6．10～12 時間未満
7．12 時間以上		

３．お子さんの父親のお仕事について

※ひとり親家庭の方は母親、父親のどちらかにお答えください。

問 10　お子さんの父親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。現在、育児・介護休業を取得している方は、就労時の状況をお答えください。（１つに○）

1．正社員・正規職員・会社役員　　2．嘱託・契約社員・派遣職員 3．パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員 4．自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む） 5．いない、わからない　　⇒　問 11 へ 6．働いていない（専業主夫を含む）　　⇒　問 10-１へ

《問 10 で「６．働いていない」を選んだ方にお聞きします。》

問 10-１　働いていない最も主な理由を教えてください。（１つに○）

１．働きたいが、希望する条件の仕事がないため	２．子育てを優先したいため
３．家族の介護・介助のため	４．自分の病気や障害のため
５．通学しているため	６．その他の理由

※現在、産前・産後休業、育児・介護休業を取得している方は、就労時の状況をお答えください。

《問 10 で「１～４」を選んだ方にお聞きします。》

問 10-２　１週間の平均的な労働日数を教えてください。複数のお仕事をしている場合はすべて合わせた日数をお答えください。（１つに○）

１．１日	２．２日	３．３日	４．４日
５．５日	６．６日	７．７日	

問 10-３　働いている日の平均的な労働時間（残業時間を含む）を教えてください。複数のお仕事をしている場合はすべて合わせた時間をお答えください。（１つに○）

１．２時間未満	２．２～４時間未満	３．４～６時間未満
４．６～８時間未満	５．８～10 時間未満	６．10～12 時間未満
７．12 時間以上		

４．お子さんのこと、お子さんとの関わりなどについて

問 11　お子さんが通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（お子さんが０～２歳、３～５歳、それぞれ１つに○）

お子さんが０～２歳の頃	お子さんが３～５歳の頃
１．認可保育所・認定こども園	１．幼稚園・認可保育所・認定こども園
２．許可外保育施設	２．許可外保育施設
３．上記 1、2 以外の教育・保育等の施設	３．上記 1、2 以外の教育・保育等の施設
４．親・親族以外の個人	４．親・親族以外の個人
５．もっぱら親・親族が面倒を見ていた	５．もっぱら親・親族が面倒を見ていた

問 12　あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。（①～④それぞれについて、あてはまるもの１つに○）

	あてはまる	どちらかといえば、あてはまる	どちらかといえば、あてはまらない	あてはまらない
①テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている	1	2	3	4
②お子さんに本や新聞を読むように勧めている	1	2	3	4
③お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた	1	2	3	4
④お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる	1	2	3	4

問 13　あなたは、次のようなことをどの程度していますか。（①と②について、あてはまるもの１つに○）

	よく参加している	ときどき参加している	あまり参加していない	まったく参加していない
①授業参観や運動会などの学校行事への参加	1	2	3	4
②PTA 活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加	1	2	3	4

問 14　お子さんは将来、現実的に見てどの段階まで進学すると思いますか。（１つに○）

１．中学まで	２．高校まで	３．専門学校まで
４．短大・高専まで	５．大学またはそれ以上	６．まだわからない

《問 14 で「１～５」を選んだ方にお聞きします。》

問 14-1　その理由はなんですか。（あてはまるものすべてに○）

１．お子さんがそう希望しているから	２．一般的な進路だと思うから
３．お子さんの学力から考えて	４．家庭の経済的な状況から考えて
５．その他	６．特に理由はない

問 15　あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。（①～⑧それぞれについて、あてはまるもの１つに○）

①～⑧について、「1．している」「2．していない、したくない（方針でしない）」「3．していない、経済的にできない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。	している	していない	
		したくない（方針でしない）	経済的にできない
①毎月お小遣いを渡す	1	2	3
②毎年新しい洋服・靴を買う	1	2	3
③習い事（音楽・スポーツ・習字等）に通わせる	1	2	3
④学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）	1	2	3
⑤お誕生日のお祝いをする	1	2	3
⑥１年に１回くらいは家族旅行に行く	1	2	3
⑦体験活動やレジャーなど年数回行う	1	2	3
⑧クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる	1	2	3

問 16　あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をする、またはこれまでにしたことがありますか。（①～⑥それぞれについて、あてはまるもの１つに○）

	ある	ない		
		金銭的な理由で	時間の制約で	その他の理由で
①海水浴に行く	1	2	3	4
②博物館・科学館・美術館などに行く	1	2	3	4
③キャンプやバーベキューに行く	1	2	3	4
④スポーツ観戦や劇場に行く	1	2	3	4
⑤遊園地やテーマパークに行く	1	2	3	4
⑥県外への旅行に行く	1	2	3	4

５．現在の暮らしについて

問 17　あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。（①～③それぞれについて、あてはまるもの１つに○）

また、「１．頼れる人がいる」場合、それはだれですか。（１～７それぞれについて、あてはまるものすべてに○）

	頼れる人はいますか（○は１つ）		それは誰ですか（複数回答可）						
			家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	その他
①子育てに関する相談	1．頼れる人がいる 2．いない 3．そのことでは人に頼らない	→	1	2	3	4	5	6	7
②重要な事柄の相談	1．頼れる人がいる 2．いない 3．そのことでは人に頼らない	→	1	2	3	4	5	6	7
③いざという時のお金の援助	1．頼れる人がいる 2．いない 3．そのことでは人に頼らない	→	1	2	3	4	5	6	7

問 18　あなたは、日常生活をしていて、孤独感がありますか。（１つに○）

１．よく感じる	２．ときどき感じる
３．あまり感じない	４．ほとんど感じない

問 19　あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。（１つに○）

１．大変ゆとりがある	２．ゆとりがある	３．ふつう
４．苦しい	５．大変苦しい	

問 20　あなたの世帯では、過去１年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。（①と②それぞれについて、あてはまるもの１つに○）

①食料が買えなかった経験	１．よくあった	２．ときどきあった
	３．まれにあった	４．まったくなかった
②衣料が買えなかった経験	１．よくあった	２．ときどきあった
	３．まれにあった	４．まったくなかった

問 21　あなたの世帯では、過去１年の間に、経済的な理由で月々の料金の支払い、家賃・住宅ローンなどの滞納、債務の返済ができないことがありましたか。（①～⑧それぞれについて、あてはまるもの１つに○）

	あった	なかった	該当しない（払う必要がない）
①電話料金	1	2	3
②電気料金	1	2	3
③ガス料金	1	2	3
④水道料金	1	2	3
⑤家賃	1	2	3
⑥住宅ローン	1	2	3
⑦クレジットカードやほかの借金の支払い	1	2	3
⑧校納金（学校に支払うもの）	1	2	3

問 22　次のもののうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1．子どもの年齢に合った本	2．子ども用のスポーツ用品・おもちゃ
3．子どもが自宅で宿題をすることができる場所	4．洗濯機
5．炊飯器	6．掃除機
7．冷房機器	8．電子レンジ
9．電話（固定電話・携帯電話を含む）	
10．インターネットにつながるパソコン・タブレット	
11．新聞の定期購読（ネット含む）	12．世帯人数分のベッドまたは布団
13．急な出費のための貯金（５万円以上）	14．自家用車
15．あてはまるものはない	

６．健康状況について

問 23　お子さんの状況についてお聞きします。過去１年間に、お子さんを病院や歯医者で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。（１つに○）

1．あった　⇒　問 22-1 へ	2．なかった　⇒　問 24 へ

《問 23 で「1．あった」を選んだ方にお聞きします。》

問 23-1　その理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

1．家計が苦しかった	2．保険証がなかった
3．仕事で連れていく時間がなかった	4．ほかの子どもの世話で時間がなかった
5．自分の健康状態が悪く連れていけなかった	6．病院が遠い
7．子どもが嫌がった	8．新型コロナウイルスの感染を心配した
9．その他	

問 24　あなたの心の状態についてお聞きします。ここ１か月の間にどれくらいの頻度で次のことがありましたか。（①～⑥それぞれについて、あてはまるもの１つに○）

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない
①神経過敏に感じましたか	1	2	3	4	5
②絶望的だと感じましたか	1	2	3	4	5
③そわそわ、落ち着かなく感じましたか	1	2	3	4	5
④気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じましたか	1	2	3	4	5
⑤何をするのも面倒だと感じましたか	1	2	3	4	5
⑥自分は価値のない人間だと感じましたか	1	2	3	4	5

問 25　あなたは現在の生活に満足していますか（１つに○）

1．とても満足している	2．満足している	3．ふつう
4．満足していない	5．とても不満である	6．答えたくない

7．収入や制度の利用について

問 26　お子さんと生計（家計）を共にしている方全員の収入を合わせた、昨年の「世帯の年間手取り収入（ボーナス含む手取り額）」を教えてください。世帯の収入から、税金や社会保険料の額を差し引いた後の額でお答えください。

また、世帯の手取り収入のうち、お子さんの母親（または母親にかわる方）と父親（または父親にかわる方）のおおよその年間収入を教えてください。（①～③それぞれについて、あてはまるもの１つに○）

①世帯の年間手取り収入	②母親の年間手取り収入	③父親の年間手取り収入
１．50 万円未満	１．50 万円未満	１．50 万円未満
２．50～100 万円未満	２．50～100 万円未満	２．50～100 万円未満
３．100～150 万円未満	３．100～150 万円未満	３．100～150 万円未満
４．150～200 万円未満	４．150～200 万円未満	４．150～200 万円未満
５．200～250 万円未満	５．200～250 万円未満	５．200～250 万円未満
６．250～300 万円未満	６．250～300 万円未満	６．250～300 万円未満
７．300～350 万円未満	７．300～350 万円未満	７．300～350 万円未満
８．350～400 万円未満	８．350～400 万円未満	８．350～400 万円未満
９．400～500 万円未満	９．400～500 万円未満	９．400～500 万円未満
10．500～600 万円未満	10．500～600 万円未満	10．500～600 万円未満
11．600～700 万円未満	11．600～700 万円未満	11．600～700 万円未満
12．700～800 万円未満	12．700～800 万円未満	12．700～800 万円未満
13．800～900 万円未満	13．800～900 万円未満	13．800～900 万円未満
14．900～1,000 万円未満	14．900～1,000 万円未満	14．900～1,000 万円未満
15．1,000 万円以上	15．1,000 万円以上	15．1,000 万円以上
	16．収入はない	16．収入はない
	17．わからない	17．わからない
	16．母親はいない	16．父親はいない

問 27　あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。（①～⑤それぞれについて、あてはまるもの１つに○）

	現在利用している	現在利用していないが、以前利用したことがある	利用したことがない				
			制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	それ以外の理由
①生活保護	1	2	3	4	5	6	7
②生活困窮者の自立支援相談窓口	1	2	3	4	5	6	7
③生活福祉資金貸付金	1	2	3	4	5	6	7
④母子父子寡婦福祉資金貸付金	1	2	3	4	5	6	7
⑤就学援助	1	2	3	4	5	6	7

【生活保護】
病気や失業などのため、生活費や医療費に困り、ほかに方法がないときは一定の条件により、生活、教育、住宅、医療、介護、出産、生業、葬祭の８種類について援助が受けられる制度。窓口は市町村役場及び県福祉事務所。

【生活福祉資金貸付金】
所得が一定水準以下の世帯や新型コロナウイルスで休業したり失業した世帯等を対象とした低利または無利子の資金貸付。窓口は市町村の社会福祉協議会。

【母子父子寡婦福祉資金貸付金】
ひとり親世帯を対象にした、低利または無利子の資金貸付。窓口は市町村役場。

【就学援助】
経済的理由により子どもの就学が困難な場合に、学用品費等を補助する制度。窓口は市町村教育委員会または学校。

問 28　最後に、那覇市の子育ての環境や子育て支援、児童館に関してご意見がございましたら、自由に記入してください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。